Infrastructure Manager /
Infrastructure Manager for PRIMEFLEX
V3.1.0

REST API リファレンスマニュアル

CA92344-5878-01
2025年3月

まえがき

本書の目的

本書では、Infrastructure Manager（以降、「ISM」と表記）、およびInfrastructure Manager for PRIMEFLEX（以降、「ISM for PRIMEFLEX」と表記）のAPIについて説明します。

本製品では、お客様が作成したアプリケーションと連携するためのAPIを用意しています。本製品のAPIは、TLS（Transport Layer Security）プロトコルで通信し、JSON（JavaScript Object Notation）形式のデータの送受信により実現する、REST（Representational State Transfer）インターフェイスです。

製品マニュアル

マニュアル名称	説明
Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.1.0 入門書	本製品を初めて使用する利用者向けのマニュアルです。 本製品の製品体系／ライセンス、利用手順の概要について説明しています。 マニュアル内では、『入門書』と表記します。
Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.1.0 解説書	本製品の機能、導入手順、操作方法を説明したマニュアルです。 本製品の全機能、全操作を把握できます。 マニュアル内では、『解説書』と表記します。
Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.1.0 操作手順書	本製品の導入手順、利用シーンに応じた操作手順を説明したマニュアルです。 マニュアル内では、『操作手順書』と表記します。
Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.1.0 REST API リファレンスマニュアル	お客様が作成したアプリケーションと本製品を連携する際に必要なAPIの使用方法、サンプル、パラメーター情報などを説明したマニュアルです。 マニュアル内では、『REST API リファレンスマニュアル』と表記します。
Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.1.0 メッセージ集	ISM使用時に出力される各種メッセージの説明と、そのメッセージに対しての対処方法について説明しています。 マニュアル内では、『ISM メッセージ集』と表記します。
Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.1.0 メッセージ集	ISM for PRIMEFLEX使用時に出力される各種メッセージの説明と、そのメッセージに対しての対処方法について説明しています。 マニュアル内では、『ISM for PRIMEFLEX メッセージ集』と表記します。
Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.1.0 プロファイル管理機能 プロファイル設定項目集	管理対象機器のプロファイル作成の設定を行う際に選択する項目の詳細情報について説明しています。 マニュアル内では、『プロファイル管理機能 プロファイル設定項目集』と表記します。
Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.1.0 クラスタ作成／拡張機能 設定値一覧	ISM for PRIMEFLEX使用時においてクラスタ作成機能、クラスタ拡張機能の自動設定内容や各機能で使用されるクラスタ定義パラメーターについて説明しています。 マニュアル内では、『ISM for PRIMEFLEX 設定値一覧』と表記します。
Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.1.0 用語集	本製品を使用するうえで理解が必要な用語の定義を説明した用語集です。 マニュアル内では、『用語集』と表記します。

マニュアル名称	説明
Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.1.0 Plug-in and Management Pack セットアップガイド	Infrastructure Manager Plug-inの以下の機能について、インストールから利用方法までと注意事項や参考情報を説明します。 ・ Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Operations Manager ・ Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Center Virtual Machine Manager ・ Infrastructure Manager Plug-in for VMware vCenter Server Appliance ・ Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft Windows Admin Center マニュアル内では、『ISM Plug-in/MP セットアップガイド』と表記します。

上記マニュアルと併せて、ISMに関する最新情報については、当社の本製品Webサイトを参照してください。

https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/

管理対象の各ハードウェアについては、各ハードウェアのマニュアルを参照してください。

PRIMERGYの場合は、「ServerView Suite ServerBooks」、またはPRIMERGYマニュアルページを参照してください。

https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/

本書の読者

このマニュアルは、ハードウェアとソフトウェアについて十分な知識を持っているシステム管理者、ネットワーク管理者、ファシリティー管理者およびサービス専門家を対象とします。

本書の表記について

表記

キーボード

印字されない文字のキーストロークは、[Enter]や[F1]などのキーアイコンで表示されます。例えば、[Enter]はEnterというラベルの付いたキーを押すことを意味し、[Ctrl]+[B]は、CtrlまたはControlというラベルの付いたキーを押しながら[B]キーを押すことを意味します。

記号

特に注意すべき事項の前には、以下の記号が付いています。

ポイント

ポイントとなる内容について説明します。

注意

注意する項目について説明します。

変数:＜xxx＞

お使いの環境に応じた数値／文字列に置き換える必要のある変数を表します。

例:＜IPアドレス＞

略称

本書では、以下の例のとおりOSを略称で記載することがあります。

正式名称	略称	
Microsoft® Windows Server® 2022 Datacenter	Windows Server 2022 Datacenter	Windows Server 2022 またはWindows
Microsoft® Windows Server® 2022 Standard	Windows Server 2022 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2022 Essentials	Windows Server 2022 Essentials	
Red Hat Enterprise Linux 9.3 (for Intel64)	RHEL 9.3	Red Hat Enterprise Linux またはLinux
SUSE Linux Enterprise Server 15 SP5 (for AMD64 & Intel64)	SUSE 15 SP5(AMD64) SUSE 15 SP5(Intel64) または SLES 15 SP5(AMD64) SLES 15 SP5(Intel64)	SUSE Linux Enterprise Server またはLinux
SUSE Linux Enterprise Server 15 (for AMD64 & Intel64)	SUSE 15(AMD64) SUSE 15(Intel64) または SLES 15(AMD64) SLES 15(Intel64)	
VMware ESXi™ 8.0	VMware ESXi 8.0	VMware ESXi
VMware Virtual SAN	vSAN	
Microsoft Storage Spaces Direct	S2D	

本書では、VMware by Broadcom社をVMwareと表記します。

用語

本書で使用している主な略語および用語については、『用語集』を参照してください。

PDF表示アプリケーション（Adobe Readerなど）での操作について

PDF表示アプリケーションで以下の操作を行った場合、表示アプリケーションの仕様により、不具合（余分な半角空白や改行の追加、半角空白や行末のハイフンの欠落、改行だけの行の欠落など）が発生することがあります。

- テキストファイルへの保存
- テキストのコピー&ペースト

高度な安全性が要求される用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対してもエフサステクノロジーズ会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。また、本製品を安全にお使いいただくためには、本製品のご使用にあたり各製品（ハードウェア、ソフトウェア）をご理解いただく必要があります。必ず各製品の注意事項に従ったうえで本製品をご使用ください。本書は本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

免責事項

本書を無断で複載・転載することを禁止します。本製品の運用を理由とする損失、免失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねます。本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

登録商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Hyper-V、Active Directory、またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red Hat およびRed Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の商標または登録商標です。

SUSEおよびSUSEロゴは、米国およびその他の国におけるSUSE LLCの商標または登録商標です。

VMware、VMwareロゴ、VMware ESXi、VMware SMPおよびVMotionはVMware,Incの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、インテル、Xeonは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。

Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Zabbixはラトビア共和国にあるZabbix LLCの商標です。

PostgreSQLはPostgreSQLの米国およびその他の国における商標です。

Apacheは、Apache Software Foundationの商標または登録商標です。

Ciscoは、米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. およびその関連会社の商標です。

Elasticsearchは、Elasticsearch BVの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Xenは、XenSource, Inc.の商標です。

Trend MicroおよびDeep Securityは、トレンドマイクロ株式会社の商標または登録商標です。

その他の会社名と各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

著作権表示

Copyright 2017-2025 Fsas Technologies Inc.

本書を無断で複載・転載することを禁止します。

改版履歴

版数	作成年月	変更内容	章・節・項	変更箇所
01	2025年3月	新規作成	―	―

目　次

第1章 概要 1
1.1 概略 1
1.2 取り扱いリソース 1
1.3 前提条件 2

第2章 共通仕様 3
2.1 プロトコル 3
2.1.1 通信方法 3
2.1.2 リクエストデータ 3
2.1.3 レスポンスデータ 4
2.2 HTTPヘッダー 5
2.2.1 リクエストヘッダー 5
2.2.2 レスポンスヘッダー 6
2.2.3 ヘッダーを使用した排他制御 7
2.3 ステータスコード 7
2.4 暗号化 8
2.5 認証 9
2.5.1 セッション認証 9
2.5.2 ワンタイム認証 10
2.6 リソースID 10
2.6.1 リソースIDの取得 10

第3章 使用方法 13
3.1 認証 13
3.1.1 準備 13
3.1.2 セッション認証 14
3.1.2.1 実行例 14
3.1.3 ワンタイム認証 14
3.1.3.1 実行例 15
3.1.4 curlコマンド使用上の注意事項 15
3.2 REST API単位の排他制御 15
3.3 登録 16
3.4 情報取得 17
3.5 更新 17
3.6 削除 18
3.7 操作 18
3.8 タスク 18

第4章 APIリファレンス 20
4.1 ユーザー管理機能 20
4.1.1 ログイン（セッション認証） 20
4.1.2 ログアウト（セッション認証） 23
4.1.3 ユーザーの登録 24
4.1.4 ユーザーの一覧取得 27
4.1.5 ユーザーの個別取得 29
4.1.6 ユーザー情報の更新 31
4.1.7 ユーザーの削除 36
4.1.8 ユーザーグループの登録 36
4.1.9 ユーザーグループの検索 41
4.1.10 ユーザーグループの選択 42
4.1.11 ユーザーグループの一覧取得 43
4.1.12 ユーザーグループの個別取得 44
4.1.13 ユーザーグループ情報の更新 47
4.1.14 ユーザーグループの削除 53
4.1.15 LDAP情報の取得 53
4.1.16 LDAP情報の更新 56

4.1.17 LDAP情報の切替 62
4.1.18 ポリシー情報の取得 62
4.1.19 ポリシー情報の更新 64
4.2 ライセンス管理機能 68
4.2.1 ライセンスの設定 68
4.2.2 ライセンスの一覧取得 69
4.2.3 ライセンス削除 70
4.2.4 ライセンスの置換え 71
4.3 ノード管理機能 72
4.3.1 ノード登録 72
4.3.2 ノードの一覧取得 83
4.3.3 ノードの個別取得 87
4.3.4 ノードの更新 91
4.3.5 ノード削除 96
4.3.6 ラック登録 97
4.3.7 ラックの一覧取得 99
4.3.8 ラックの個別取得 100
4.3.9 ラックの更新 102
4.3.10 ラック削除 104
4.3.11 フロア登録 105
4.3.12 フロアの一覧取得 106
4.3.13 フロアの個別取得 107
4.3.14 フロアの更新 108
4.3.15 フロア削除 110
4.3.16 データセンター登録 110
4.3.17 データセンターの一覧取得 111
4.3.18 データセンターの個別取得 112
4.3.19 データセンターの更新 113
4.3.20 データセンター削除 114
4.3.21 ノードグループ登録 114
4.3.22 ノードグループの一覧取得 115
4.3.23 ノードグループの個別取得 116
4.3.24 ノードグループの更新 117
4.3.25 ノードグループ削除 118
4.3.26 ノードのノードグループ割当て 118
4.3.27 アカウント登録 119
4.3.28 アカウントの一覧取得 122
4.3.29 アカウント情報の個別取得 123
4.3.30 アカウント情報の更新 124
4.3.31 アカウント削除 128
4.3.32 ノードのアラーム解除 128
4.3.33 メンテナンスモードの変更 129
4.3.34 ノードタグの一覧取得 129
4.3.35 AIS Gatewayへのノード登録スクリプトファイル作成 130
4.3.36 ノードの一括更新 130
4.3.37 手動登録ノードの認証確認（ISM 3.0.0.010以降） 134
4.4 ノード検出機能 137
4.4.1 ノード手動検出実行 137
4.4.2 ノードの手動検出結果取得 139
4.4.3 手動検出ノードの登録 144
4.4.4 ノードの自動検出結果取得 150
4.4.5 自動検出ノードの登録 151
4.4.6 CSV指定によるノード手動検出実行 158
4.4.7 CSVファイルに記載するキー名、値の選択肢取得 159
4.4.8 ノード手動検出の中止 160
4.4.9 自動検出ノードの認証確認（ISM 3.0.0.010以降） 160
4.4.10 手動検出ノードの認証確認（ISM 3.0.0.010以降） 162

4.5 ノード操作機能 163
4.5.1 電源の状態変更指示 163
4.5.2 ノードのLED情報の取得 163
4.5.3 ノードLEDの状態変更指示 164
4.5.4 電源状態の出力 165
4.5.5 iRMCログインセッションの取得 165
4.6 ノードの詳細情報管理機能 166
4.6.1 ノード情報取得の実行指示 166
4.6.2 ノードの詳細情報の一覧取得 167
4.6.3 ノードの詳細情報の個別取得 180
4.6.4 OS情報登録 181
4.6.5 OSの一覧取得 184
4.6.6 OSの個別取得 185
4.6.7 OS情報の更新 187
4.6.8 OS情報の削除 189
4.6.9 仮想情報取得の実行指示 190
4.6.10 仮想マシンの一覧取得 190
4.6.11 仮想マシンの個別取得 193
4.6.12 仮想スイッチの一覧取得 195
4.6.13 仮想スイッチの個別取得 196
4.6.14 仮想ルーターの一覧取得 198
4.6.15 仮想ルーターの個別取得 199
4.6.16 仮想化管理ソフトウェアの接続テスト 200
4.6.17 OS情報の一括更新 202
4.6.18 ノード情報取得のスケジュール設定 203
4.7 モニタリング機能 204
4.7.1 監視項目情報の一覧取得 204
4.7.2 監視項目の登録 205
4.7.3 監視項目の取得 207
4.7.4 監視項目の更新 209
4.7.5 監視項目の削除 212
4.7.6 監視履歴の取得 212
4.7.7 ノード共通監視設定の更新 213
4.7.8 ノード共通監視設定の取得 213
4.7.9 ネットワーク監視設定の取得 213
4.7.10 ネットワーク監視設定の更新 215
4.7.11 ネットワーク監視履歴の取得 218
4.7.12 CPU使用率予測しきい値の更新 219
4.7.13 CPU使用率予測しきい値の取得 219
4.7.14 CO2排出係数設定の取得 220
4.7.15 CO2排出係数設定の更新 220
4.7.16 CO2排出量情報の取得 221
4.7.17 CO2排出量情報ファイル作成 224
4.7.18 CO2排出量情報ファイル作成キャンセル 225
4.8 イベント機能／アラーム機能 225
4.8.1 アクション設定の登録 225
4.8.2 アクション設定の一覧取得 229
4.8.3 アクション設定の更新 231
4.8.4 アクション設定の削除 234
4.8.5 アラーム設定の登録 235
4.8.6 アラーム設定の一覧取得 237
4.8.7 アラーム設定の更新 238
4.8.8 アラーム設定の削除 241
4.8.9 SMTPサーバー設定情報の登録 241
4.8.10 SMTPサーバー設定情報の取得 242
4.8.11 SNMPサーバー設定情報の登録 243
4.8.12 SNMPサーバー設定情報の一覧取得 245

4.8.13 SNMPサーバー設定情報の更新 246
4.8.14 SNMPサーバー設定情報の削除 248
4.8.15 使用可能なSNMPトラップの一覧取得 248
4.8.16 使用可能なISMイベントIDの一覧取得 249
4.8.17 受信したSNMPトラップのログ一覧取得 249
4.8.18 除外対象SNMPトラップの登録 251
4.8.19 除外対象SNMPトラップ情報の一覧取得 251
4.8.20 除外対象SNMPトラップの削除 252
4.8.21 アラーム共通設定の登録 252
4.8.22 アラーム共通設定の取得 253
4.8.23 アクションのテスト実行 253
4.8.24 SNMPトラップ受信設定情報の追加 254
4.8.25 SNMPトラップ受信設定情報の取得 255
4.8.26 SNMPトラップ受信設定情報の更新 256
4.8.27 SNMPトラップ受信設定情報の削除 258
4.9 イベントリスト管理機能 259
4.9.1 ログ種類の出力 259
4.9.2 運用ログの一覧取得 259
4.9.3 監査ログの一覧取得 261
4.9.4 アノマリ検知ログの一覧取得 263
4.9.5 運用ログの個別取得 265
4.9.6 監査ログの個別取得 266
4.9.7 アノマリ検知ログの個別取得 267
4.9.8 運用ログのエクスポート 268
4.9.9 監査ログのエクスポート 269
4.9.10 アノマリ検知ログのエクスポート 270
4.9.11 保存期間の表示 271
4.9.12 保存期間の更新 271
4.10 プロファイル管理機能 272
4.10.1 プロファイルのカテゴリー一覧取得 272
4.10.2 プロファイルのカテゴリー変換 273
4.10.3 プロファイルの追加 274
4.10.4 プロファイルの一覧取得 279
4.10.5 プロファイルの個別取得 283
4.10.6 プロファイルの更新 290
4.10.7 プロファイルの削除 291
4.10.8 プロファイルのノードへの適用 291
4.10.9 プロファイルのノードへの適用の中止 292
4.10.10 プロファイルのノードへの適用解除 293
4.10.11 プロファイルのノードへの適用解除の中止 293
4.10.12 プロファイルグループの追加 293
4.10.13 プロファイルグループの一覧取得 294
4.10.14 プロファイルグループの個別取得 294
4.10.15 プロファイルグループの更新 295
4.10.16 プロファイルグループの削除 296
4.10.17 ポリシーの追加 296
4.10.18 ポリシーの一覧取得 299
4.10.19 ポリシーの個別取得 300
4.10.20 ポリシーの更新 303
4.10.21 ポリシーの削除 304
4.10.22 ポリシーグループの追加 304
4.10.23 ポリシーグループの一覧取得 305
4.10.24 ポリシーグループの個別取得 305
4.10.25 ポリシーグループの更新 306
4.10.26 ポリシーグループの削除 307
4.10.27 プロファイルのインポート 307
4.10.28 プロファイルのエクスポート 308

4.10.29 DVDインポート 308
4.10.30 DVDインポートの中止 312
4.10.31 登録済みリポジトリの一覧取得 312
4.10.32 登録済みリポジトリ削除 313
4.10.33 パッケージ、アプリケーション一覧取得 314
4.10.34 ハードウェア設定バックアップ 316
4.10.35 ハードウェア設定バックアップの中止 317
4.10.36 登録済みバックアップの一覧取得 317
4.10.37 登録済みバックアップ削除 319
4.10.38 登録済みバックアップのエクスポート 320
4.10.39 登録済みバックアップからのプロファイル追加 320
4.10.40 登録済みバックアップからのポリシー追加 321
4.10.41 バックアップのインポート 322
4.10.42 ハードウェア設定リストア 323
4.10.43 ハードウェア設定リストアの中止 324
4.10.44 プロファイル情報のノード一覧取得 324
4.10.45 プロファイルのベリファイ 326
4.10.46 プロファイルのベリファイの中止 327
4.10.47 eIMの最新版数への更新 327
4.10.48 eIMの最新版数への更新の中止 328
4.11 ファームウェア管理機能 328
4.11.1 ファームウェア／ドライバーアップデートの開始 328
4.11.2 ファームウェアアップデートの中止 332
4.11.3 ファームウェアのドキュメント一覧取得 332
4.11.4 登録済みリポジトリの一覧取得 333
4.11.5 ファームウェアの一覧取得 334
4.11.6 版数テンプレート情報の取得 336
4.11.7 DVDインポート 337
4.11.8 DVDインポートの中止 338
4.11.9 個別ファームウェアインポート 338
4.11.10 個別ファームウェアインポートの中止 339
4.11.11 リポジトリの削除 340
4.11.12 個別ファームウェアの削除 340
4.11.13 ファームウェアアップデートのジョブの一覧表示 341
4.11.14 ファームウェアアップデートのジョブの削除 341
4.11.15 ファームウェアベースラインの作成情報の取得 342
4.11.16 ファームウェアベースラインの作成編集 343
4.11.17 ファームウェアベースラインの削除 344
4.11.18 ファームウェアベースラインの割当て 344
4.11.19 ファームウェアベースラインの割当て解除 345
4.11.20 ファームウェアベースラインの一覧取得 345
4.11.21 ファームウェアツールインポート 349
4.11.22 ファームウェアツールインポートの中止 349
4.11.23 ファームウェアツールの一覧取得 350
4.11.24 ファームウェアツールの削除 350
4.12 ログ管理機能 351
4.12.1 ログ収集設定の取得 351
4.12.2 ログ収集設定の変更 353
4.12.3 ログファイル情報の取得 358
4.12.4 ノード状態の取得 359
4.12.5 ログ収集 360
4.12.6 ログ収集の中止 361
4.12.7 ノードログダウンロードファイル作成 361
4.12.8 ノードログダウンロードファイル作成の中止 362
4.12.9 保管ログダウンロードファイル作成 363
4.12.10 保管ログダウンロードファイル作成の中止 364
4.12.11 ノードログダウンロードファイル情報の取得 364

4.12.12 保管ログダウンロードファイル情報の取得 365
4.12.13 ログファイル削除 366
4.12.14 ログファイル削除の中止 367
4.13 ネットワーク管理機能 368
4.13.1 全ノードのポート情報取得 368
4.13.2 全ノードの仮想スイッチ接続情報の取得 369
4.13.3 全ノードの仮想マシン接続情報の取得 370
4.13.4 手動接続定義の一覧取得 370
4.13.5 手動接続定義の変更 371
4.13.6 ネットワーク接続の変化情報の取得 372
4.13.7 ネットワーク接続の変化情報の基準設定 372
4.13.8 ネットワーク管理情報の更新実施情報の取得 373
4.13.9 ネットワーク管理情報の更新 373
4.13.10 VLAN設定の一覧取得 374
4.13.11 複数ノードのVLAN設定の一括変更 374
4.13.12 複数ノードのVLAN設定の一括変更の中止 375
4.13.13 リンクアグリゲーション設定の取得 375
4.13.14 リンクアグリゲーション設定の変更 376
4.13.15 VFAB設定の一覧取得 378
4.13.16 インターフェイスグループ情報の一覧取得 378
4.13.17 全ノードの仮想ルーター接続情報の取得 379
4.14 電力制御機能（ISM 3.0.0から使用できません） 380
4.15 仮想リソース管理機能 380
4.15.1 ストレージプールの一覧取得 380
4.15.2 ストレージプールの個別取得 381
4.15.3 ストレージプール情報の更新 384
4.15.4 クラスタの一覧取得 384
4.15.5 クラスタの個別取得 385
4.15.6 仮想マシンの移動 389
4.15.7 仮想マシンの電源投入 389
4.15.8 仮想マシンの電源切断 390
4.15.9 ノードの再起動 390
4.15.10 ノードのメンテナンスモード設定 391
4.15.11 ノードのメンテナンスモード解除 392
4.15.12 ストレージプールの履歴情報取得 392
4.15.13 ノードのシャットダウン 394
4.16 タスク管理機能 394
4.16.1 タスクの個別取得 394
4.16.2 タスクの一覧取得 396
4.17 ISM-VA管理機能 397
4.17.1 VA操作権の取得と解放 397
4.17.2 VA操作権のパスワード変更 399
4.17.3 VA操作権情報表示 400
4.17.4 ISM-VAシステム情報表示 400
4.17.5 ISM-VAシステム情報設定 401
4.17.6 保守ログ採取 403
4.17.7 プラグイン適用 405
4.17.8 修正適用 406
4.17.9 プラグイン表示 407
4.17.10 プラグイン削除 408
4.17.11 ISM-VAのログイン状況表示 408
4.17.12 再起動前操作結果表示 409
4.17.13 Webサーバーログ出力 410
4.17.14 ロケール/キーマップ表示 410
4.17.15 ロケール/キーマップ設定 411
4.17.16 設定可能ロケール表示 412
4.17.17 設定可能キーマップ表示 412

4.17.18 時刻情報表示 413
4.17.19 時刻情報設定 415
4.17.20 設定可能タイムゾーン表示 419
4.17.21 ボリューム設定表示 420
4.17.22 LVMボリューム作成 421
4.17.23 ユーザーグループのLVMボリューム割当て 422
4.17.24 ユーザーグループのLVMボリューム割当て解除 423
4.17.25 LVMボリューム削除 423
4.17.26 LVMボリューム拡張 424
4.17.27 SSL証明書表示 425
4.17.28 SSL証明書配置 426
4.17.29 SSL証明書出力 426
4.17.30 ISM-VA内部DHCPサーバー情報表示 427
4.17.31 ISM-VA内部DHCPサーバー設定 428
4.17.32 ISM-VA内部DHCP設定ファイル出力 429
4.17.33 ドメイン設定初期化 430
4.17.34 ドメイン設定追加 431
4.17.35 ドメイン設定を1つ前の状態に戻す 432
4.17.36 ドメイン設定の表示 432
4.17.37 ISM-VAの再起動 433
4.17.38 ISM-VAの停止 434
4.17.39 サービス状態表示 434
4.17.40 ISM版数の取得 435
4.17.41 CAS設定の取得 435
4.17.42 CAS設定の更新 436
4.17.43 ISMバックアップの実行 437
4.17.44 ISMリストアの実行 439
4.18 共通情報 440
4.18.1 FTPファイルの一覧取得 440
4.18.2 仮想化管理ソフトウェア登録 441
4.18.3 仮想化管理ソフトウェアの一覧取得 445
4.18.4 仮想化管理ソフトウェアの個別取得 446
4.18.5 仮想化管理ソフトウェアの更新 447
4.18.6 仮想化管理ソフトウェアの削除 450
4.18.7 プールの設定 451
4.18.8 プール情報の取得 452
4.18.9 プールから値の払い出し 453
4.18.10 払い出した値の解放 454
4.18.11 共有ディレクトリーの追加 455
4.18.12 共有ディレクトリーの一覧取得 457
4.18.13 共有ディレクトリーの個別取得 458
4.18.14 共有ディレクトリーの更新 459
4.18.15 共有ディレクトリーの削除 461
4.18.16 共有ディレクトリーのマウント 461
4.18.17 共有ディレクトリーのマウント解除 463
4.18.18 プロキシ設定の追加 463
4.18.19 プロキシ設定の表示 464
4.18.20 プロキシ設定の更新 465
4.18.21 プロキシ設定の削除 466
4.18.22 プロキシ設定の接続テスト 467
4.18.23 仮想化管理ソフトウェアのイベント出力抑止モードの変更 468
4.18.24 中継ルート設定の取得 469
4.18.25 中継ルート設定の更新 470
4.18.26 中継ルート情報の取得 471

付録A 各APIの権限一覧表 472

付録B REST APIの使用例 485

B.1 ノード登録(検出～登録) 485
B.2 ノードのステータス一覧表示 489
B.3 プロファイルの適用 490
B.4 ファームウェアアップデート 494
B.5 ログの取り出し 501

付録C プロファイルパラメーター(ProfileData) 506
C.1 Server-BX 506
C.2 Storage-DX 527
C.3 Storage-OntapCluster 529
C.4 Switch-SRX 531
C.5 Switch-CFX 534
C.6 Switch-VDX 539
C.7 Switch-PSWITCH 553

付録D プロファイルパラメーター(ProfileData)の詳細 557
D.1 BIOS 557
D.2 iRMC 569
D.3 IOVirtualization 584
D.3.1 CNAAdapter 586
D.3.2 LANAdapter 592
D.3.3 FCAdapter 595
D.4 OSInstallation 596
D.5 MMB 622
D.6 Monitoring 624
D.7 RAID 625
D.8 BIOSByModel 626
D.9 iRMCByModel 626
D.10 iRMCUser 627

索引 632

第1章 概要

この章では、本製品のAPIの概要を説明します。

1.1 概略

本製品では、お客様が作成したアプリケーションと連携するためのAPIを用意しています。

本製品のAPIは、TLS（Transport Layer Security）プロトコルで通信し、JSON（JavaScript Object Notation）形式のデータの送受信により実現する、REST（Representational State Transfer）インターフェイスです。

本製品では、以下の形式のREST API体系があります。

- 登録、削除、取得、更新

  ノードやユーザーなどの対象リソース（情報）を操作するAPIを示します。

- 処理実行

  ログインやファームウェアアップデートなど、特定の処理を実行するAPIを示します。

1.2 取り扱いリソース

本製品では、以下のリソースがあります。

カテゴリー	リソース名	説明
ユーザー	/users	ユーザー情報、認証情報です。
	/usergroups	ユーザーグループ情報です。
ノード	/nodes	ノードの情報です。
	/networks/nodes	
	/resources/nodes	
	/nodes/profiles	
	/nodegroups	ノードグループ情報です。
OS	/nodes/{nodeid}/os	ノードのOS情報です。
仮想ノード	/resources	仮想リソースの情報です。
	/resources/virtualmachines	仮想マシン情報です。
	/resources/virtualswitches	仮想スイッチ情報です。
	/resources/virtualrouters	仮想ルーター情報です。
設置位置	/datacenters	データセンター情報です。
	/floors	フロア情報です。
	/racks	ラック情報です。
イベント	/event	イベントの情報です。 （ISMの運用ログ、監査ログ、SNMPトラップ）
タスク	/tasks	タスク情報です。
ネットワーク管理	/networks	ネットワーク管理情報です。
プロファイル	/profiles/profiles	プロファイル定義やプロファイル定義グループの情報です。
	/profiles/policies	ポリシーやポリシーグループの情報です。
	/profiles/categories	機器のカテゴリーの情報です。

カテゴリー	リソース名	説明
	/profiles/backups	ハードウェア設定のバックアップ情報です。
システム設定	/system	システム設定の情報です。
	/system/licenses	ライセンスの情報です。
	/system/settings	ISMの設定の情報です。
	/system/settings/repositories	ISMのリポジトリ情報です。
ISM VA	/ismva	ISM-VAの情報です。

1.3 前提条件

本製品のAPIを使用するには、以下の機能が使用できる環境が必要です。

- TLSプロトコルでHTTP1.1に基づくリクエストの送信、レスポンスの受信
- TLSプロトコルの通信におけるPEM形式のX.509 CA証明書の利用
- 任意のHTTPメソッド、HTTPヘッダーの指定
- JSONの解釈、生成
- URLエンコード（パーセントエンコーディング）、URLデコード（パーセントデコーディング）
- AES-256-CBCの暗号化/復号、BASE64の符号/復号（例:OpenSSL）

第2章 共通仕様

この章では、本製品のREST APIを利用する際の共通仕様を説明します。

- 2.1 プロトコル
- 2.2 HTTPヘッダー
- 2.3 ステータスコード
- 2.4 暗号化
- 2.5 認証
- 2.6 リソースID

2.1 プロトコル

REST APIのプロトコルを説明します。

2.1.1 通信方法

HTTPSで通信します。

2.1.2 リクエストデータ

リクエストデータの構造は以下のとおりです。

メソッド

メソッドには、以下の種類があります。

- GET
- POST
- PATCH
- DELETE

URL

URLの仕様は以下のとおりです。

```
https://＜IPアドレスまたはサーバーのFQDN＞:＜ポート番号＞/ism/api/v2/＜リソース＞ [?＜クエリパラメーター＞]
```

- ポート番号

  25566を指定します。

  ポート番号を変更したい場合には、『解説書』を参照してください。

- リソース

  APIの種類を示すリソースを指定します。詳細は、「第4章 APIリファレンス」を参照してください。

- クエリパラメーター

  GETメソッドの場合のみ、以下の書式で指定します。

  ```
  パラメーター名1＝パラメーター値1&パラメーター名2＝パラメーター値2&・・・
  ```

  - APIのパラメーター名とパラメーター値を=で結びます。
  - パラメーター値は、URLエンコード(パーセントエンコード)した値を設定してください。
  - 複数のパラメーターを指定する場合は、&でつなげてください。

HTTPヘッダー(リクエストヘッダー)

文字コード種、APIのバージョン、セッションIDなどをリクエストヘッダーに指定します。

詳細は、「2.2.1 リクエストヘッダー」を参照してください。

HTTPボディ(リクエストボディ)

REST APIを使用する場合、HTTPボディには、以下のキー名に値を指定してください。

キー名	形式	内容
IsmBody	オブジェクト	各APIのリクエストパラメーター

例)

```
{
 "IsmBody":{
        <各APIのリクエストパラメーター>
  }
}
```

APIのパラメーターがない場合

APIによっては、IsmBodyで指定するパラメーターがないものもあります。その場合は、IsmBodyのキー自体指定する必要はありません。

RESTを実行するツールによっては、POSTにおいてHTTPボディ(リクエストボディ)を省略できない場合があります。その場合は、空のHTTPボディを指定してください。

2.1.3 レスポンスデータ

レスポンスデータの構造は以下のとおりです。

HTTPヘッダー(レスポンスヘッダー)

リクエストの処理結果(正常またはエラー)や、APIのバージョン、セッションIDなどがレスポンスヘッダーに返却されます。

詳細は、「2.2.2 レスポンスヘッダー」を参照してください。

HTTPボディ(レスポンスボディ)

REST APIの結果、HTTPボディには以下のキー名と値が返却されます。

キー名	形式	内容
IsmBody	オブジェクト	APIの処理結果 APIの処理結果が返却されます。詳細は、「第4章 APIリファレンス」を参照してください。
MessageInfo	配列	メッセージ情報 APIの処理に伴う、エラー、警告、通知メッセージ情報が返却されます。 情報が存在しない場合は、キー名だけが返却されます。
SchemaType	文字列	HTTPボディ全体の構造を示すJSONスキーマが記述されたファイル名(JSONスキーマファイル名)が返却されます。

例)

```
{
  "IsmBody":{
          <各サービスAPIの出力データ>
  },
  "MessageInfo":[],
```

```
  "SchemaType":"https://＜IPアドレスまたはサーバーのFQDN＞:＜ポート番号＞/ism/schema/v2/＜リソース＞/＜JSONスキーマファイル名＞"
}
```

SchemaType

SchemaTypeで返却される構造は、以下のとおりです。

```
https://＜IPアドレスまたはサーバーのFQDN＞:＜ポート番号＞/ism/schema/v2/＜リソース＞/＜JSONスキーマファイル名＞
```

ー JSONスキーマファイル名

JSONスキーマファイルは、以下のように命名されています。

＜リソース名＞＜メソッド名＞＜-Out-(版数)＞.json

- リソース名

  APIのリソースに対応した一意の名前

- メソッド名

  GET、POST、PATCH、DELETEのどれか

- 版数

  APIの版数

例）

```
"SchemaType": "https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/Nodes/Nodes-GET-Out.0.0.1.json"
```

ポイント

JSONスキーマとは、使用しているAPIのデータ入出力のフォーマットを明記することで、ユーザーが作成するアプリケーションで利用できるようにしたものです。

MessageInfo

MessageInfoで返却される配列要素の構造は、以下のとおりです。

キー名	形式	内容
MessageId	文字列	メッセージID メッセージごとに一意となるIDが返却されます。
API	文字列	APIの種類 APIの種類が、メソッド名 URIの形式で返却されます。
Message	文字列	APIの処理結果 APIの処理結果がレスポンスパラメーターとして返却されます。
Timestamp	文字列	タイムスタンプ情報 メッセージのタイムスタンプ情報が返却されます。

2.2 HTTPヘッダー

REST APIのHTTPヘッダーを説明します。

2.2.1 リクエストヘッダー

REST APIをリクエストする場合、以下のHTTPヘッダーを指定してください。

表2.1 リクエストヘッダー一覧

ヘッダー名	内容	説明
Content-Type	application/JSON;charset=UTF-8	必ず指定します。
X-FJ-Ism-Version	2.0.0	使用するバージョンを指定します。 省略時は最新のバージョンを使用します。
X-Ism-Authorization	セッションID	セッション認証を使用する場合に指定します。 セッション認証の詳細は、「2.5.1 セッション認証」を参照してください。
Authorization	ISM認証文字列	ワンタイム認証を使用する場合に指定します。 ワンタイム認証の詳細は、「2.5.2 ワンタイム認証」を参照してください。
Cookie	X-Ism-Authorization =セッションID	クライアントのCookieで保持されたセッションIDが指定されます。
If-Match	前回のREST API実行時のレスポンスヘッダーで返却されるETag値	ETagによる排他制御を行う場合に指定します。 REST APIを順番に使用する場合には、ETagを使用することを推奨します。 省略時はETagによる排他を行いません。 詳細は、「2.2.3 ヘッダーを使用した排他制御」を参照してください。

例)

```
Content-Type: application/JSON; charset=UTF-8
X-FJ-Ism-Version:2.0.0
X-Ism-Authorization: xxxxxxxxxxxxx
Authorization: ISM xxxxxxxxxxxxx
If-Match: "686897696a7c876b7e"
```

2.2.2 レスポンスヘッダー

REST APIのレスポンスには、以下のHTTPヘッダーが返却されます。

表2.2 レスポンスヘッダー一覧

ヘッダー名	内容	説明
HTTP/1.1	ステータスコードが設定されます。 ステータスコード例 ・ 正常時:200 OK ・ エラー時:400 Bad Requestなど	ステータスライン 必ず返却されます。 ステータスコードの詳細は、「2.3 ステータスコード」を参照してください。
Content-Type	application/JSON; charset=UTF-8	必ず返却されます。
Allow	次のどれかが設定されます。 GET、POST、PATCH、DELETE	指定したURIで使用可能なメソッドが返却されます。
X-FJ-Ism-Version	2.0.0	使用したバージョンが返却されます。
X-Ism-Authorization	セッションID	セッション認証用のセッションIDが返却されます。 セッション認証の詳細は、「2.5.1 セッション認証」を参照してください。
Set-Cookie	X-Ism-Authorization=セッションID;Secure;Httponly	セッション認証で、Cookieにセッション IDを設定する場合に返却されます。

ヘッダー名	内容	説明
ETag	ETag値	ETagによる排他制御を行う場合に指定します。 REST APIを順番に使用する場合には、ETagを使用することを推奨します。 省略時はETagによる排他を行いません。 詳細は、「2.2.3 ヘッダーを使用した排他制御」を参照してください。

例)

```
HTTP/1.1 200 OK
Content-Type: application/JSON; charset=UTF-8
Allow:GET,DELETE
X-FJ-Ism-Version:2.0.0
X-Ism-Authorization: xxxxxxxxxxxxx
```

2.2.3 ヘッダーを使用した排他制御

REST API単位の排他制御に、HTTPレスポンスヘッダーに含まれるETagを利用します。

ETagは対象リソースとリソースバージョンを結び付ける一意の値が設定されます。

リソースの更新処理を行う際、前回リソースへアクセスしたときに受け取ったETag値を、リクエストヘッダーのIf-Matchに設定してアクセスすることで、ISM内部で保持しているETag値と比較してREST APIを処理するかしないかを制御できます。

If-Matchに設定しているETag値と 内部で保持しているETag値の関係	処理
一致	処理します。
一致しない	処理をせず、ステータスコードに412を設定し返却します。

使い方の詳細は、「第3章 使用方法」を参照してください。

2.3 ステータスコード

REST APIの処理が正常終了したのか、エラー終了したのかは、HTTPプロトコルのステータスコードとしてレスポンスヘッダーのステータスラインに返却されます。

分類	コード	コード	ステータス	説明
成功	2xx	200	OK	OK 処理結果は、HTTPレスポンスボディに返却されます。
		201	Created	生成 新しい資源が生成されました。
		202	Accepted	受理 リクエストは受理されました。
		204	No Content	コンテンツなし 返却する内容がありませんが、ヘッダは有用です。
エラー	4xx	400	Bad Request	不正リクエスト 不正なリクエストであるために、処理はエラーとなりました。
		401	Unauthorized	許可なし

分類	コード	コード	ステータス	説明
				リクエストが認証されていません。
		403	Forbidden	禁止 アクセス権がありません。
		404	Not Found	存在なし URLと一致するAPIがありません。
		405	Method Not Allowed	禁止メソッド URLで示されるリソースでサポートされていないメソッドです。
		412	Precondition failed	前提条件による失敗 （ETagの排他制御による失敗）
接続不可	5xx	500	Internal Server Error	内部エラー 処理中、ISM内部でエラーが発生しました。
		501	Not Implemented	未サポート リクエストに必要な機能がサポートされていません。
		503	Service Unavailable	サービス利用不可 一時的な過負荷であったり、メンテナンス中であったり、リクエストが処理できませんでした。

2.4 暗号化

REST APIのクエリパラメーター、またはリクエストパラメーターにパスワードを指定する場合、以下の手順で暗号化した文字列を各APIのパスワードに設定してください。

以下のLinuxのコマンド使用例を参考にして、暗号化してください。

```
$ echo -n ＜パスワード＞ | openssl enc -aes-256-cbc -e -base64 -pass pass:＜サーバーIPアドレス＞ -A -md md5
```

サーバーIPアドレス

ISM-VAのIPアドレスを暗号化キーとして使用します。

キーとするIPアドレスについて、以下に示します。

－ IPv4の場合

IPアドレスを構成する数値の先頭の0は省略します。

例）

○10.26.144.10

×010.026.144.010

－ IPv6の場合

IPアドレスを構成する数値は一切省略しません。

アルファベットは小文字を使用してください。

例）

○2001:0db8:bd05:01d2:288a:1fc0:0001:10ee

×2001:db8:bd05:1d2:288a:1fc0:1:10ee

×2001:db8::1234:0:0:9abc

×2001:db8::9abc

注意

- OpenSSLバージョンによる非互換について

  OpenSSLバージョンによって、以下のように-mdオプションの初期値が異なります。

  ー OpenSSL1.0.2以前:md5

  ー OpenSSL1.1.0以降:sha256

  OpenSSL1.1.0以降の場合、REST API使用時の暗号化には、-mdオプションにmd5を指定してください。

  -md md5を指定してopensslコマンドを実行すると以下のメッセージが表示されますが、問題はありません。

```
   *** WARNING : deprecated key derivation used.
Using -iter or -pbkdf2 would be better.
```

- その他の暗号化方法について

  openssslコマンド以外で暗号化する場合、暗号化した結果をopensslコマンドで復号化して同じパスワードとなるか確認してください。

  以下、暗号化コマンドの例を示します。

  例)

  JavaScriptのcrypto-jsライブラリ、AES.encryptメソッド

```
crypto-js.AES.encrypt(crypto-js.enc.Utf8.parse(<パスワード>), <サーバーIPアドレス>)
```

2.5 認証

ISMのAPIを使用する場合、認証操作が必要です。

認証には以下の2種類が存在します。

- 2.5.1 セッション認証
- 2.5.2 ワンタイム認証

2.5.1 セッション認証

複数のAPIを連続して発行する際に使用します。

1. 「2.4 暗号化」の手順に従い、パスワードを暗号化します。
2. 「4.1.1 ログイン(セッション認証)」でセッションIDを取得します。

   セッションIDは、以下の箇所に返却されます。

返却場所	返却キー
レスポンスヘッダー	X-Ism-Authorization
レスポンスボディ	IsmBody内のAuthキー

3. 手順2で返却されたセッションIDを、リクエストヘッダー(X-Ism-Authorization)に指定して、APIを発行します。
4. ログアウトします。

   アクセスが終了した場合、セッションIDをリクエストヘッダー(X-Ism-Authorization)に指定して、ログアウトAPIを発行してください。

注意

- ログインが失敗した場合の注意事項は以下のとおりです。

  ー セキュリティポリシーで、セッション有効時間、ロックしきい値、ロック時間が設定されます。

- ロックしきい値以上の回数を連続して失敗すると、そのユーザーはロック時間ログインできません。
- ロック時間経過後、失敗した回数は0回に戻ります。

- ログイン後、最終アクセスから何の操作もせずにセッション有効時間を経過した場合、自動的にログアウトされます。
- 同じユーザーで複数回ログインできます。
- 多要素認証を有効にしたユーザーがログインする場合の注意事項を以下に示します。
  - 認証コードは30秒に1回更新されます。一度認証に成功した認証コードを再使用できません。
  - 認証コードによる認証が、30秒間に3回失敗すると、その後30秒間はログインできません。

2.5.2 ワンタイム認証

1回のAPIの発行でログイン、ログアウトの操作を含めることで、簡単にAPIを発行できます。

1. 「2.4 暗号化」の手順に従い、ユーザー名/パスワード/認証コードの文字列を暗号化します。

   ```
   <ユーザー名>:<パスワード>
   ```

   多要素認証が有効なユーザー

   ```
   <ユーザー名>:<パスワード>:<認証コード>
   ```

2. 手順1で暗号化された文字列を、リクエストヘッダー(Authorization)に指定して、APIを発行します。

   HTTPヘッダーの例)

   ```
   Authorization:ISM <暗号化文字列>
   ```

注意

- 内部でログイン、ログアウト処理が行われるため、APIを複数回実行する場合は、セッション認証より性能が悪くなります。
- 認証が失敗した場合の注意事項は、以下のとおりです。
  - セキュリティポリシーで、セッション有効時間、ロックしきい値、ロック時間が設定されます。
  - ロックしきい値以上の回数を連続して失敗すると、そのユーザーはロック時間ログインできません。
  - ロック時間経過後、失敗した回数は0回に戻ります。

2.6 リソースID

本製品では、各リソースはIDで管理されています。APIを実行する際には、リソースIDの指定が必要な場合があります。

2.6.1 リソースIDの取得

本製品で使用されるリソースIDと、リソースIDを取得するREST APIを以下に示します。

リソースID	パラメーター	REST API	参照先
ユーザーID	UserId	GET /users	4.1.4 ユーザーの一覧取得
ユーザーグループID	UserGroupId	GET /usergroups	4.1.11 ユーザーグループの一覧取得
ノードID	NodeId	GET /nodes	4.3.2 ノードの一覧取得
ラックID	RackId	GET /racks	4.3.7 ラックの一覧取得
フロアID	FloorId	GET /floors	4.3.12 フロアの一覧取得
データセンターID	DataCenterId	GET /datacenters	4.3.17 データセンターの一覧取得

リソースID	パラメーター	REST API	参照先
ノードグループID	NodeGroupId	GET /nodegroups	4.3.22 ノードグループの一覧取得
アカウントID	AccountId	GET /nodes/{nodeid}/accounts	4.3.28 アカウントの一覧取得
アクションID	ActionId	GET /event/actions	4.8.2 アクション設定の一覧取得
アラーム設定ID	AlarmId	GET /event/alarms	4.8.6 アラーム設定の一覧取得
カテゴリID	CategoryId	GET /profiles/categories	4.10.1 プロファイルのカテゴリー一覧取得
仮想化管理ソフトウェアID	CmsId	GET /system/settings/cms	4.18.3 仮想化管理ソフトウェアの一覧取得
ファームウェアID	FirmwareId	GET /system/settings/firmware/list	4.11.5 ファームウェアの一覧取得
ポリシーグループID	PolicyGroupId	GET /profiles/policies/groups	4.10.23 ポリシーグループの一覧取得
プロファイルグループID	ProfileGroupId	GET /profiles/profiles/groups	4.10.13 プロファイルグループの一覧取得
監視項目ID	ItemId	GET /nodes/monitor/items	4.7.3 監視項目の取得
ログID	Id	GET /event/history/audit/show	4.9.3 監査ログの一覧取得
ノードの手動検出ID	ManualDiscoveryId	GET /nodes/discovery/manual	4.4.2 ノードの手動検出結果取得
手動検出ノードID	ManualNodeId	GET /nodes/discovery/manual	4.4.2 ノードの手動検出結果取得
自動検出ノードID	DiscoveredNodeId	GET /nodes/discovery/auto	4.4.4 ノードの自動検出結果取得
ポリシーID	PolicyId	GET /profiles/policies	4.10.18 ポリシーの一覧取得
プロファイルID	ProfileId	GET /profiles/profiles	4.10.4 プロファイルの一覧取得
バックアップID	BackupId	GET /profiles/backups	4.10.36 登録済みバックアップの一覧取得
リポジトリID	RepositoryId	GET /system/settings/firmware/repositories GET /system/settings/repositories/profiles	4.11.4 登録済みリポジトリの一覧取得 4.10.31 登録済みリポジトリの一覧取得
タスクID	TaskId	GET /tasks	4.16.2 タスクの一覧取得
VFAB ID	VfabId	GET /networks/nodes/{nodeid}/vfabs	4.13.15 VFAB設定の一覧取得
仮想マシンID	VirtualMachineId	GET /resources/virtualmachines	4.6.10 仮想マシンの一覧取得
仮想スイッチID	VirtualSwitchId	GET /resources/virtualswitches GET /networks/virtualswitches	4.6.12 仮想スイッチの一覧取得 4.13.2 全ノードの仮想スイッチ接続情報の取得
仮想ルーターID	VirtualRouterId	GET /resources/virtualrouters	4.6.14 仮想ルーターの一覧取得
ストレージプールID	PoolId	GET /resources/storagepools	4.15.1 ストレージプールの一覧取得
クラスタID	ClusterId	GET /resources/clusters	4.15.4 クラスタの一覧取得
SNMPの設定管理ID	SNMPServerId	GET /event/snmpmanagers	4.8.12 SNMPサーバー設定情報の一覧取得
マウントID	MountId	GET /system/settings/shareddirectory	4.18.12 共有ディレクトリーの一覧取得
ジョブID	JobId	GET /system/settings/job/firmwareupdate	4.11.13 ファームウェアアップデートのジョブの一覧表示
仮想スイッチ識別ID	VirtualSwitchInstanceId	GET /resources/virtualswitches	4.6.12 仮想スイッチの一覧取得

ノードIDを取得する場合の例を以下に示します。

「4.3.2 ノードの一覧取得」では、クエリパラメーターを指定することで、取得するノードを絞り込むことができます。

ノード名を指定して取得する

ノード名が「Server-1」のノードを取得する場合、以下のREST APIを実行します。

```
GET /nodes?name=Server-1
```

ノードタイプを指定して取得する

ノードタイプが「server」のノードを取得する場合、以下のREST APIを実行します。

ノードタイプについては、「4.3.1 ノード登録」の[ノードタイプ]を参照してください。

```
GET /nodes?type=server
```

第3章 使用方法

この章では、Linux環境でcurlコマンドを使用したREST APIの呼出し方法の例を説明します。

3.1 認証

REST APIを使用する場合の認証操作について説明します。

3.1.1 準備

https通信を行うために、curlコマンドでの証明書の検証に関して、次の3つの利用方法があります。

- 自己署名証明書をISMで作成し、作成したCA証明書を取得して利用する場合
- 認証局で署名した証明書をISMに登録して利用する場合
- 開発中の環境などにより、証明書を無視して利用する場合

自己署名証明書をISMで作成し、作成したCA証明書を取得して利用する場合

1. 自己署名証明書を作成します。

   作成方法については、『解説書』の「4.7.4自己署名証明書作成」を参照してください。

2. ISMからCA証明書を取得します。

```
$ curl -o /tmp/certificate.crt "https://192.168.1.2:25566/ca.crt" --insecure
```

3. CA証明書をご利用の環境に適用するか、またはREST API発行時にcurlコマンドの--cacertオプションで取得したCA証明書を指定して利用します。

   --cacertオプションを使用した実行例）

```
$ curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes" -X GET --cacert /tmp/certificate.crt
-H "X-Ism-Authorization: <session id>"
```

注意

この場合、CA証明書の取得時のみ、--insecureオプションを指定してください。

認証局で署名した証明書をISMに登録して利用する場合

中間CA証明書など不足しているCA証明書がある場合、認証局からCA証明書を取得し、「自己署名証明書をISMで作成し、作成したCA証明書を取得して利用する場合」と同様にCA証明書をご利用の環境に適用するか、または--cacertオプションで取得したCA証明書を指定して利用します。

開発中の環境などにより、証明書を無視して利用する場合

REST API発行時にcurlコマンドの--insecureオプションを指定することにより、証明書の検証を無効にできます。

--insecureオプションを使用した実行例）

```
$ curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes" -X GET --insecure -H "X-Ism-Authorization: <session id>"
```

注意

この方法は、恒久的に使用する環境では推奨できません。

3.1.2 セッション認証

複数のAPIを連続して発行する際に使用します。

事前にログインのAPIを発行してセッションIDを取得します。

後続のAPIではセッションIDを指定して発行します。必要なAPIを発行後、ログアウトのAPIを発行します。

手順は、「2.5.1 セッション認証」を参照してください。

3.1.2.1 実行例

パスワードの暗号化

パスワードを、「2.4 暗号化」の方法で暗号化します。

```
$ enc_passwd=`echo -n "password123" | openssl enc -aes-256-cbc -e -base64 -A -md md5 -pass pass:192.168.1.2`
$ echo $enc_passwd
U2FsdGVkX1/FlRxcsia+3hh1bBhmRD+E8ApWf/fZHWLJz5ZQU6hbsRHN72GnMk8D
```

ログイン

セッションIDを取得します。

```
$ session_id=`curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/users/login" -X POST -H "Content-Type: application/JSON; charset=UTF-8" --cacert /tmp/certificate.crt -d "{ ¥"IsmBody¥": { ¥"UserName¥" : ¥"administrator¥", ¥"Password¥": ¥"${enc_passwd}¥"}}" -s --include | grep "X-Ism-Authorization" | sed -e 's/X-Ism-Authorization:[ ¥t]*//' -e 's/[¥r¥n]//g'`
$ echo $session_id
f55f5bf5abd7db99db706fdd27c9d85f
```

ログイン（多要素認証が有効なユーザー）

セッションIDを取得します。

```
$ session_id=`curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/users/login" -X POST -H "Content-Type: application/JSON; charset=UTF-8" --cacert /tmp/certificate.crt -d "{ ¥"IsmBody¥": { ¥"UserName¥" : ¥"administrator¥", ¥"Password¥": ¥"${enc_passwd}¥", ¥"Code¥" : ¥"256352¥"}}" -s --include | grep "X-Ism-Authorization" | sed -e 's/X-Ism-Authorization:[ ¥t]*//' -e 's/[¥r¥n]//g'`
$ echo $session_id
f55f5bf5abd7db99db706fdd27c9d85f
```

APIの実行

セッションIDをリクエストヘッダーに指定して、APIを実行します。

```
$ curl  "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes?DcId=2&FloorId=3&RackId=4" -X GET  --cacert /tmp/certificate.crt -H "X-Ism-Authorization: $session_id" -H "Content-Type: application/JSON; charset=UTF-8"
```

ログアウト

セッションIDをリクエストヘッダーに指定して、ログアウトします。

```
$ curl  "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/users/logout" -X POST  --cacert /tmp/certificate.crt -H "X-Ism-Authorization: $session_id" -H "Content-Type: application/JSON; charset=UTF-8"
```

3.1.3 ワンタイム認証

1回のAPIの発行でログイン、ログアウトの操作を含めることができます。

手順は、「2.5.2 ワンタイム認証」を参照してください。

3.1.3.1 実行例

ユーザー名/パスワードの暗号化

```
$ auth=`echo -n "user123:password123" | openssl enc -aes-256-cbc -e -base64 -A -md md5 -pass pass:192.168.1.2`
$ echo $ auth
U2FsdGVkX1/FlRxcsia+3hh1bBhmRD+E8ApWf/fZHWLJz5ZQU6hbsRHN72GnMk8D
```

ユーザー名/パスワード/認証コードの暗号化（多要素認証が有効なユーザー）

```
$ auth=`echo -n "user123:password123:237692" | openssl enc -aes-256-cbc -e -base64 -A -md md5 -pass pass:192.168.1.2`
$ echo $ auth
U2FsdGVkX1/FlRxcsia+3hh1bBhmRD+E8ApWf/fZHWLJz5ZQU6hbsRHN72GnMk8D
```

対象のAPIの実行

```
$ curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes?DcId=2&FloorId=3&RackId=4" -X GET --cacert /tmp/certificate.crt -H
"Authorization: ISM $auth" -H "Content-Type: application/JSON; charset=UTF-8"
```

3.1.4 curlコマンド使用上の注意事項

curlコマンドを使ううえでの注意事項を以下に示します。

- --cacertオプションを使うことを推奨します。

  -kオプションや、--insecureオプションを使うこともできますが、証明書が正しく設定されている状態で使用してください。

- URLを記述する部分は、""で囲んでください。

  GETメソッドのときのクエリパラメーターを指定する際、&を使うため、""で囲まないと、Linuxのコマンドとして解釈されてしまい、正しく動作しません。

3.2 REST API単位の排他制御

HTTPレスポンスヘッダーに含まれるETagを利用した排他制御の例を示します。

1. REST APIを発行して、レスポンスヘッダーのETagの値を取得します。

   レスポンスヘッダー例）

   ```
   Content-Type: application/JSON,charset=UTF-8
   Allow:GET,DELETE
   x-FJ-ism-version:2.0.0
   ETag: “686897696a7c876b7e”
   ```

2. 取得したETagの値をリクエストヘッダーに指定します。

   手順1の処理結果をもとにリソースの更新を行う場合のリクエストヘッダー例）

   ```
   Content-Type: application/JSON,charset=UTF-8
   Allow:GET,DELETE
   x-FJ-ism-version:2.0.0
   If-Match: “686897696a7c876b7e”
   ```

   ― 手順1と2の間で、リソースの更新がない場合

   リクエストが処理されます。

   ― リソースの更新があった場合

   以下のように返却されます。

   レスポンスヘッダー

   ```
   HTTP/1.1 412 Precondition Failed
   Content-Type: application/JSON,charset=UTF-8
   Allow:GET,DELETE
   ```

```
x-FJ-ism-version:2.0.0
ETag: “347923840f34db4234”
```

HTTPボディ

```
{
  “SchemaType”:” https://{サーバーのURL}:{ポート番号}/ism/schema/v2/…”,
  “MessageInfo”:[
     {
          “Timestamp”:”2016-07-30T15:30:45.250Z “,
          “MessageId”:”50200003”,
          “API”:” POST https:// XXX. XXX….”,
          “Message”:”Etagが更新されています。”
     }
  ],
   “IsmBody”:{ }
}
```

ポイント

手順1と2の間でリソースの更新があり、リクエストを再実行したい場合は、手順1からやり直してください。

3.3 登録

リソース情報を登録します。POSTメソッドを使用し、メッセージボディに必要なパラメーターをJSON形式で入力します。

ラック情報を登録する場合

```
# curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/racks"
-X POST
--cacert /tmp/certificate.crt
-H "X-Ism-Authorization: $session_id"
-d  '{"IsmBody" : {"Rack" : {"Name" : "Rack-1","Unit" : 50,"Width" : 700,"Depth" : 1000,"Height" : 2000,"FloorId" :
1,"Angle" : 0,"Xposition" : 10,"Yposition" : 10,"Description" : "memo"}}}'
```

レスポンス（JSON）

```
{
    "IsmBody": {
        "Rack": {
            "AlarmStatus": "Normal",
            "Angle": 0,
            "Depth": 1000,
            "Description": " memo",
            "FloorId": 1,
            "Height": 2000,
            "Name": " Rack-1",
            "RackId": 1,
            "Status": "Normal",
            "Unit": 50,
            "UpdateDate": "2016-01-10T14:30:36.222Z",
            "Width": 700,
            "Xposition": 10,
            "Yposition": 10
        }
    },
    "MessageInfo": [],
    "SchemaType": ""
}
```

3.4 情報取得

リソース情報を取得します。

基本的にはGETメソッドを使用し、クエリパラメーターをURIに指定します。

一部POSTメソッドを使用するものがあります。その場合はパラメーターをJSON形式でリクエストボディに入力してください。

ラック情報を取得する場合

```
# curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/racks?FloorId=1"
-X GET
--cacert /tmp/certificate.crt
-H "X-Ism-Authorization: $session_id"
```

レスポンス（JSON）

```
{
    "IsmBody": {
        "Racks": [
            {
                "AlarmStatus": "Normal",
                "Angle": 0,
                "Depth": 1000,
                "Description": " memo",
                "FloorId": 1,
                "Height": 2000,
                "Name": "Rack-1",
                "RackId": 1,
                "Status": "Normal",
                "Unit": 50,
                "UpdateDate": "2016-01-10T14:30:36.222Z",
                "Width": 700,
                "Xposition": 10,
                "Yposition": 10
            }
        ]
    },
    "MessageInfo": [],
    "SchemaType": ""
}
```

3.5 更新

リソース情報を更新します。PATCHメソッドを使用し、メッセージボディに必要なパラメーターをJSON形式で入力します。

ラック情報を更新する場合

```
# curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/racks/1"
-X PATCH
--cacert /tmp/certificate.crt
-H "X-Ism-Authorization: $session_id"
-d  '{"IsmBody" : {"Rack" : {"Name" : "Rack-1-1","Unit" : 50,"Width" : 700,"Depth" : 1000,"Height" : 2000,"FloorId" :
1,"Angle" : 0,"Xposition" : 10,"Yposition" : 10,"Description" : "memomemo"}}}'
```

レスポンス（JSON）

```
{
    "IsmBody": {
        "Rack": {
            "AlarmStatus": "Normal",
            "Angle": 0,
            "Depth": 1000,
            "Description": "memomemo",
```

```
            "FloorId": 1,
            "Height": 2000,
            "Name": "Rack-1-1",
            "RackId": 1,
            "Status": "Normal",
            "Unit": 50,
            "UpdateDate": "2016-01-10T15:02:59.093Z",
            "Width": 700,
            "Xposition": 10,
            "Yposition": 10
        }
    },
    "MessageInfo": [],
    "SchemaType": ""
}
```


3.6 削除

リソース情報を削除します。DELETEメソッドを使用します。

ラック情報を削除する場合

```
# curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/racks/1"
-X DELETE
--cacert /tmp/certificate.crt
-H "X-Ism-Authorization: $session_id"
```

レスポンス（JSON）


```
{
    "IsmBody": { },
    "MessageInfo": [],
    "SchemaType": ""
}
```


3.7 操作

リソースに対して、特定の処理を実行します。POSTメソッドを使用し、パラメーター指定が必要な場合はリクエストボディにJSON形式で入力します。

ノードの詳細情報取得を指示する場合

```
curl  "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/1/inventory/refresh"
-X POST
--cacert /tmp/certificate.crt
-H "X-Ism-Authorization: $session_id"
```

レスポンス（JSON）


```
{
    "IsmBody": { },
    "MessageInfo": [],
    "SchemaType": ""
}
```


3.8 タスク

「4.11.1 ファームウェア／ドライバーアップデートの開始」や「4.10.8 プロファイルのノードへの適用」など、画面と非同期で動作する処理を開始させるAPIは、レスポンスボディでTaskIdを返す場合があります。

これらのAPIについては、「4.16.1 タスクの個別取得」のAPIにより進捗情報（StatusやResult）を確認することで、処理の完了を検出することができます。

```
$ curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/tasks/1" -X GET -H "Authorization: ISM ¥"xxxxxx xxxxx¥"" -s -k
```

第4章 APIリファレンス

この章では、ISMのREST APIについて説明します。

以降では、APIの形式を以下のとおり示します。

```
＜メソッド＞＜リソース＞
```

実際のURLを構成する場合は、「2.1.2 リクエストデータ」を参照してください。

4.1 ユーザー管理機能

4.1.1 ログイン（セッション認証）

[概要]

ユーザーのセッション認証におけるログインを行います。

[形式]

```
POST /users/login
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserName	string	ユーザー名
Password	string	パスワード 暗号化したパスワードを指定します。暗号化の方法は「2.4 暗号化」を参照してください。
SetCookie	string	Cookie設定 Cookie設定のレスポンスヘッダーを返すか否かを指定します。 ・ Enable：Cookie設定のレスポンスヘッダーを返す。 ・ Disable：Cookie設定のレスポンスヘッダーを返さない。 キー省略、または設定値が空（""）の場合、Cookie設定は行われません。 本指定を行うと、ログインが正常終了した際、Cookie設定用レスポンスヘッダーにセッションIDを出力します。
Code	string	認証コード 多要素認証の認証コードを指定します。 多要素認証を有効に設定しているユーザーがログインする場合、[注意事項]を参照してください。 多要素認証を無効に設定しているユーザーでは、キーを省略可能です。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Auth	string	セッションID ログインして得られたセッションIDが出力されます。
SetCookie	string	Cookie設定 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
UserId	string	ユーザーID ログインしたユーザーのユーザーIDが出力されます。
MessageId	string	未使用
Message	string	未使用
MessageList	array	メッセージリスト
MessageId	string	ログインメッセージ用ID ログイン時に通知されるメッセージに対応するメッセージIDです。
Message	string	ログインメッセージ ログイン時に通知されるメッセージです。
CasLoginUrl	string	CASログイン用URL CASにログインが必要な場合、出力されます。 ・ "":CASログインする必要なし ・ "https://＜ISMのURL＞:＜CASポート番号＞/cas/login?ismlogin=true"
CasEffective	string	CAS有効 ログインユーザーがCAS有効か無効かが出力されます。 ・ Enable : 有効 ・ Disable : 無効 以下の条件に合致するユーザーがCAS有効です。 ・ ISM状態 ー CAS有効 ・ ユーザー ー 全ノードを管理するユーザーグループに所属 ー LDAP認証対象のユーザーグループに所属 ー CASで指定されたユーザーロールより強いユーザーロールを持つ
UserGroupList	array	所属可能ユーザーグループ名リスト ログインユーザータイプがLDAPの場合のみ出力されます。 ログインユーザータイプがISMの場合は、キーも出力されません。
GroupName	string	所属可能ユーザーグループ名 ログインユーザータイプがLDAPの場合のみ出力されます。
CurrentGroupName	string	現在所属しているユーザーグループ名 ログインユーザータイプがLDAPの場合のみ出力されます。

パラメーター	型	説明
		ログインユーザータイプがISMの場合は、キーも出力されません。
SwitchResult	string	アクティブホスト切替えの有無 Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携を使用したログイン時にアクティブホストが接続不可で、待機ホストへの切替えがあったか、なかったかが出力されます。 ・ Switched:アクティブホスト切替えあり ・ None:アクティブホスト切替えなし
SwitchMessageId	string	アクティブホスト切替えメッセージ用ID Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携を使用したログイン時にアクティブホストの切替えがあった場合に通知されるメッセージに対応するメッセージIDです。
SwitchMessage	string	アクティブホスト切替えメッセージ Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携を使用したログイン時にアクティブホストの切替えがあった場合に通知されるメッセージです。
SetupKey	string	セットアップキー 多要素認証のセットアップキーが出力されます。 ISM-VAのIPアドレスを暗号化キーとします。多要素認証を有効にしたユーザーが初めてログインする場合に出力されます。
OTPAuthURI	string	OTPAuthURI 多要素認証のotpauth URIが出力されます。 ISM-VAのIPアドレスを暗号化キーとします。多要素認証を有効にしたユーザーが初めてログインする場合に出力されます。
EmergencyCode	string	緊急用コード 多要素認証の緊急用コードが出力されます。 多要素認証を有効にしたユーザーが初めてログインする場合に出力されます。

[注意事項]

- ログインが失敗した場合の注意事項を以下に示します。
  - 連続して失敗すると、一定時間ログインできません。このしきい値とログインできない時間は、セキュリティポリシーで指定されます。
  - 一定時間経過後、失敗した回数は0回に戻ります。
  - パスワードの有効期限が過ぎた場合、ログインできません。ユーザーの詳細情報で確認してください。
- ログイン後、最終アクセスから何の操作もせず一定時間経過した場合、自動的にログアウトされます。この時間は、セキュリティポリシーで指定されます。
- 多要素認証を有効にしたユーザーがログインする場合の注意事項を以下に示します。
  - 初めてログインする場合、リクエストパラメーターのCodeを省略して実行します。HTTPプロトコルのステータスコードは401 Unauthorizedで返却され、レスポンスパラメーターとしてSetupKey、OTPAuthURI、EmergencyCodeが返却されます。SetupKeyを多要素認証クライアントアプリケーションにセットアップすることで、認証コードを取得できます。
  - 認証コードは30秒に1回更新されます。一度認証に成功した認証コードを再使用できません。
  - 認証コードによる認証が、30秒間に3回失敗すると、その後30秒間はログインできません。

・ SetCookieを指定した際のレスポンスヘッダーについて以下に示します。

レスポンスヘッダー："Set-Cookie: X-Ism-Authorization=セッションID; secure"

・ ログインメッセージは、ISMのログにも出力されます。APIを呼び出した結果として参照してほしい以下のメッセージを通知します。

ID	内容
30061903	パスワードの有効期限が過ぎています。直ちにパスワードを変更してください。
30061904	パスワードの有効期限が近づいています。パスワードを変更してください。
30061905	初期設定のパスワードが変更されていません。パスワードを変更してください。
10060005	修正パッチ/アップグレードプログラムが適用されました。（$S1）
50060004	修正パッチ/アップグレードプログラムの適用に失敗しました。（$S1）

・ Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携を使用する場合、以下のようにAPIを実行してください。

1. ログイン（セッション認証）を実行します。
2. 手順1で出力された所属可能ユーザーグループリストから、使用したいユーザーグループを指定して、ユーザーグループの選択を実行します。

・ CASを使用する場合、出力されたCASログイン用URLを用いて、クライアント環境でログインしてください。

・ アクティブホスト切替えメッセージは、ISMのログにも出力されます。APIを呼び出した結果として参照してほしい以下のメッセージを通知します。

ID	内容
30061914	設定されていたLDAPサーバーとの通信に失敗したため、待機中のサーバーに接続しました。
30061915	設定されていたLDAPサーバーとの通信に失敗したため、待機中のサーバーに接続しました。 接続先LDAPサーバーを変更したため、CASを再起動します。

4.1.2 ログアウト（セッション認証）

[概要]

ユーザーのログアウトを行います。

[形式]

```
POST /users/logout
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

・ セッションIDを以下のようにhttpヘッダーで指定します。

X-Ism-Authentication: セッションID

4.1.3 ユーザーの登録

[概要]

ISMのユーザーを登録します。

[形式]

```
POST /users
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserName	string	ユーザー名 以下の制約があります。 ・ 最大長:32 ・ 半角英数字 ・ 数字、アルファベット(大文字、小文字)、アンダーバー、$、ピリオド、ハイフン、アットマークを使用可能 ・ 先頭の「-」、最後以外の「$」は使用できません。
Password	string	パスワード 暗号化したパスワードを指定します。暗号化の方法は「2.4 暗号化」を参照してください。 なお、復号結果が80文字以内となる暗号化文字列を指定してください。 また復号化した際のパスワードには、日本語が使用できます。
UserRoles	array(string)	ユーザーロール情報 リスト ユーザーに与えるロールを以下のIDから指定します。 ・ Administrator ・ Operator ・ Monitor 複数指定できますが、強いロールが追加されます。
UserGroupId	string	ユーザーグループID ユーザーが属するユーザーグループIDを指定します。
Language	string	言語種別 ログイン後に出力されるメッセージの言語を以下で指定します。 ・ English:英語(初期値) ・ Japanese:日本語
Authentication	string	認証方式 認証方式を指定します。 ・ ISM:ISM認証 ・ null:ユーザーグループの認証方式に従う。

パラメーター	型	説明
		空文字の場合、nullが指定されたものとします。
AuthMFA	string	多要素認証を指定します。 ・ Disable：無効 ・ Group：ユーザーグループのAuthMFAに従う キー省略時は、Disableとします。
Description	string	説明 自由な情報が設定できるコメント欄です。制御には使用しません。
MomUser	string	ISM連携の有無を指定します。 ・ Enable：連携します。 ・ Disable：連携しません。（初期値）
InnerControl	string	内部制御用情報 ISMの内部制御で使用する情報のため、設定しないでください。
UserLogin	string	ユーザーのログインの有効／無効を指定します。 （administratorユーザーのみ） ・ Enable：ユーザー有効（ログイン可能）（初期値） ・ Disable：ユーザー無効（ログイン不可）
SessionTime （ISM 3.0.0.010以降）	integer	セッション有効時間 ・ 範囲：2～1440分 ・ null：セキュリティポリシーのセッション有効時間に従う。 キー省略時は、nullとします。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserId	string	ユーザーID 追加されたユーザーのIDが出力されます。
UserName	string	ユーザー名 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
Password	string	パスワード リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
UserRoles	array(string)	ユーザーロール情報リスト ユーザーに与えられたロールが出力されます。
UserGroupId	string	ユーザーグループID リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
NodeGroups	array	ノードグループ情報リスト ユーザーグループに対応付いたノードグループの情報が出力されます。
NodeGroupId	integer	ノードグループID
Description	string	説明

パラメーター	型	説明
		リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
MomUser	string	ISM連携の有無が出力されます。 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
Language	string	言語 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
Authentication	string	認証方式 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
AuthMFA	string	多要素認証 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
InnerControl	string	内部制御用情報
Modified	string	更新日付 追加された日時がUTC時間で出力されます。
UserLoginControl	string	ユーザーログインの有効／無効指定可否が出力されます。 ・ Enable:指定可能(administratorユーザーのみ) ・ Disable:指定不可能
UserLogin	string	ユーザーのログインの有効／無効が出力されます。 (administratorユーザーのみ) ・ Enable:ユーザー有効(ログイン可能) ・ Disable:ユーザー無効(ログイン不可)
SessionTime (ISM 3.0.0.010以降)	integer	セッション有効時間 ・ 範囲:2～1440分 ・ null:セキュリティポリシーのセッション有効時間に従う。

[注意事項]

- 付与するロールは、以下の順で強い方のロールが追加されます。

  Administrator > Operator > Monitor
- Administratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 以下の名称は、ISMで使用しているため、使用できません。
  - 先頭が__で始まる名称
  - administrator
  - Admin
  - anonymous
  - root
  - bin
  - daemon
  - adm
  - lp
  - sync

- shutdown
- halt
- mail
- operator
- games
- ftp
- nobody
- avahi-autoipd
- systemd-bus-proxy
- systemd-network
- dbus
- polkitd
- abrt
- libstoragemgmt
- tss
- postfix
- chrony
- sshd
- ntp
- tcpdump
- vaadmin
- apache
- postgres
- svtuser
- elasticsearch
- zabbix

・ ユーザーはISM全体で一意となります。

・ MomUserパラメーターをEnableに指定できるのは、Administratorグループの Administratorロールを持つユーザーだけです。

4.1.4 ユーザーの一覧取得

[概要]

ISMのユーザー情報を一覧取得します。

[形式]

```
GET /users
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserGroupId	string	ユーザーグループID

パラメーター	型	説明
		取得するユーザーの範囲を指定します。省略した場合、実行したユーザーに応じたユーザーグループのユーザーが取得されます。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Users	array	ユーザー情報リスト
UserId	string	ユーザーID
UserName	string	ユーザー名
UserRoles	array(string)	ユーザーロール情報リスト
UserGroups	array	ユーザーグループ情報リスト 所属するユーザーグループが配列で出力されます。
UserGroupId	string	ユーザーグループID
UserGroupName	string	ユーザーグループ名
Authentication	string	認証方式 認証方式が出力されます。 ・ ISM:ISM認証 ・ LDAP:LDAP認証 ・ null:データ取得できず 本値は、以下の値が出力されます。 ー ユーザー認証方式:ISM認証の場合 ISM ー ユーザー認証方式:ユーザーグループに従う場合 ユーザーグループの認証方式
AuthMFA	string	多要素認証の有無が出力されます。 ・ Enable:有効 ・ Disable:無効 本値は、ユーザーのAuthMFA(Group/Disable)に設定されている値により、以下のとおり出力されます(出力値:ユーザーAuthMFA設定値)。 ・ ユーザーグループのAuthMFA(Enable/Disable):Groupの場合 ・ Disable:Disableの場合
Description	string	説明
MomUser	string	ISM連携の有無が出力されます。 ・ Enable:連携します。 ・ Disable:連携しません。
LastAccessTime	string	最終アクセス日時

パラメーター	型	説明
		ユーザーの最終アクセス日時がUTC時間で出力されます。
UserType	string	ユーザー種別 LDAP連携でログインされているユーザーかどうかが出力されます。 ・ LDAP:LDAP連携でログインしたユーザー ・ ISM:LDAP連携でログインしたユーザーではない
UserLoginControl	string	ユーザーログインの有効／無効指定可否が出力されます。 ・ Enable:指定可能(administratorユーザーのみ) ・ Disable:指定不可能
UserLogin	string	ユーザーのログインの有効／無効が出力されます。(administratorユーザーのみ) ・ Enable:ユーザー有効(ログイン可能) ・ Disable:ユーザー無効(ログイン不可)
SessionTime (ISM 3.0.0.010以降)	integer	セッション有効時間 ・ 範囲:2～1440分 ・ null:セキュリティポリシーのセッション有効時間に従う。

[注意事項]

- リクエストパラメーターを省略した場合、以下の範囲のユーザーが取得できます。
  - 実行したユーザーがAdministratorグループに属していた場合

    ISMに登録されている全ユーザーグループの全ユーザーが取得できます。
  - 実行したユーザーがAdministratorグループ以外のユーザーグループに属していた場合

    実行したユーザーと同じユーザーグループの全ユーザーが取得できます。
- 実行したユーザーが持つユーザーロールによって、一覧取得される範囲を以下に示します。
  - Administratorロールを持つ場合

    出力対象のユーザーグループに属するユーザーすべてが出力されます。
  - Administratorロールを持たない場合

    実行ユーザーのみ出力されます。

4.1.5 ユーザーの個別取得

[概要]

ISMのユーザー情報の個別情報を取得します。

[形式]

```
GET /users/{userid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserId	string	ユーザーID
UserName	string	ユーザー名
UserRoles	array(string)	ユーザーロール情報リスト
UserGroupId	string	作成時指定のユーザーグループID
UserGroupName	string	作成時指定のユーザーグループ名
Language	string	言語 ・ English：英語 ・ Japanese：日本語
Authentication	string	認証方式 認証方式が出力されます。 ・ ISM：ISM認証 ・ null：ユーザーグループの認証方式に従う
AuthMFA	string	多要素認証の設定が出力されます。 ・ Disable：無効 ・ Group：ユーザーグループのAuthMFAに従う
Description	string	説明
MomUser	string	ISM連携の有無が出力されます。 ・ Enable：連携します。 ・ Disable：連携しません。
SessionCount	integer	セッション数
LastAccessTime	string	最終アクセス日時
Modified	string	更新日付 追加、更新された日時がUTC時間で出力されます。
InnerControl	string	内部制御用情報
Status	string	状態 ログイン可能かどうかの状態が出力されます。 ・ OK ログイン可能 ・ LoginLock 連続してログイン失敗したため、ログイン不可。一定時間経過後ログイン可能。 ・ ExpirePassword パスワードの有効期限が過ぎたため、ログイン不可。パスワード再設定後ログイン可能。
PasswordValidTime	integer	パスワードの有効期間 パスワードの有効期限が設定されている場合、パスワードの有効期限（日）が出力されます。 1日未満は切り捨てられて出力されます。

パラメーター	型	説明
		パスワードの有効期限が設定されていない場合、nullが出力されます。
UserLoginControl	string	ユーザーログインの有効／無効指定可否が出力されます。 ・ Enable：指定可能（administratorユーザーのみ） ・ Disable：指定不可能
UserLogin	string	ユーザーのログインの有効／無効が出力されます。（administratorユーザーのみ） ・ Enable：ユーザー有効（ログイン可能） ・ Disable：ユーザー無効（ログイン不可）
AccessibleUserGroups	array	アクセス可能なユーザーグループ情報リスト
UserGroup	object	ユーザーグループ情報
UserGroupId	string	ユーザーグループID
UserGroupName	string	ユーザーグループ名
NodeGroups	array	ノードグループ情報リスト
NodeRoleId	string	ノードロールID
NodeGroupId	integer	ノードグループID
SessionTime （ISM 3.0.0.010以降）	integer	セッション有効時間 ・ 範囲：2～1440分 ・ null：セキュリティポリシーのセッション有効時間に従う。

[注意事項]

- 実行したユーザーがAdministratorロールを持つ場合のみ、実行ユーザー以外のユーザー詳細が取得できます。
- 実行したユーザーがAdministratorロールを持たない場合、実行ユーザーの詳細のみ取得できます。
- 本APIの出力できる範囲を以下に示します。
  - ー 実行したユーザーがAdministratorグループに属していた場合

    任意のユーザー詳細が取得できます。
  - ー 実行したユーザーがAdministratorグループ以外のユーザーグループに属していた場合

    実行したユーザーと同じユーザーグループのユーザー詳細が取得できます。
- 内部制御情報は、ISMの内部制御で使用する情報です。

4.1.6 ユーザー情報の更新

[概要]

ISMのユーザー情報の更新を行います。

[形式]

```
PATCH /users/{userid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserName	string	ユーザー名 以下の制約があります。 ・ 最大長:32 ・ 半角英数字 ・ 数字、アルファベット(大文字、小文字)、アンダーバー、$、ピリオド、ハイフンを使用可能 ・ 先頭の「-」、最後以外の「$」は使用できません。
Password	string	パスワード 暗号化したパスワードを指定します。暗号化の方法は「2.4 暗号化」を参照してください。 なお、復号結果が80文字以内となる暗号化文字列を指定してください。
CurrentPassword	string	現在のパスワード パスワード変更時、現在のパスワードを指定します。 暗号化したパスワードを指定します。暗号化の方法は「2.4 暗号化」を参照してください。 なお、復号結果が80文字以内となる暗号化文字列を指定してください。 指定したパスワードが現在のパスワードと異なる場合、エラーとなります。 パスワードを変更しない場合はキー省略可能です。 本指定は、自分のパスワードを変更する場合のみ有効となります。
UserRoles	array(string)	ユーザーロール情報リスト ユーザーに与えるロールを以下のIDから指定します。 ・ Administrator ・ Operator ・ Monitor
UserGroupId	string	ユーザーグループID ユーザーが属するユーザーグループIDを指定します。
Authentication	string	認証方式 認証方式を指定します。 ・ ISM:ISM認証 ・ null:ユーザーグループの認証方式に従う 空文字("")の場合、nullが指定されたものとします。 キー省略時は、本パラメーターの変更は行いません。
AuthMFA	string	多要素認証を指定します。 ・ Disable:無効 ・ Group:ユーザーグループのAuthMFAに従う

パラメーター	型	説明
		キー省略時は、本パラメーターの変更は行いません。
Description	string	説明 自由な情報が設定できるコメント欄です。制御には使用しません。
MomUser	string	ISM連携の有無を指定します。 ・ Enable：連携します。 ・ Disable：連携しません。（初期値）
InnerControl	string	内部制御用情報 ISMの内部制御で使用する情報のため、設定しないでください。
UserLogin	string	ユーザーのログインの有効／無効を指定します。 （administratorユーザーのみ） ・ Enable：ユーザー有効（ログイン可能）（初期値） ・ Disable：ユーザー無効（ログイン不可）
SessionTime （ISM 3.0.0.010以降）	integer	セッション有効時間 ・ 範囲：2～1440分 ・ null：セキュリティポリシーのセッション有効時間に従う。 キー省略時は、nullとします。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserId	string	ユーザーID
UserName	string	ユーザー名 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
Password	string	パスワード リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
UserRoles	array(string)	ユーザーロール情報リスト
UserGroupId	string	ユーザーグループID リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
AccessibleUserGroups	array	アクセス可能なユーザーグループ情報リスト
UserGroup	object	ユーザーグループ情報
UserGroupId	string	ユーザーグループID
NodeGroups	array	ノードグループ情報リスト
NodeRoleId	string	ノードロールID ""のみが出力されます。
NodeGroupId	integer	ノードグループID
Description	string	説明 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
MomUser	string	ISM連携の有無が出力されます。 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。

パラメーター	型	説明
Authentication	string	認証方式 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
AuthMFA	string	多要素認証 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
Modified	string	更新日付 更新された日時がUTC時間で出力されます。
InnerControl	string	内部制御用情報 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
UserLoginControl	string	ユーザーログインの有効／無効指定可否が出力されます。 ・ Enable：指定可能（administratorユーザーのみ） ・ Disable：指定不可能
UserLogin	string	ユーザーのログインの有効／無効が出力されます。 （administratorユーザーのみ） ・ Enable：ユーザー有効（ログイン可能） ・ Disable：ユーザー無効（ログイン不可）
SessionTime （ISM 3.0.0.010以降）	integer	セッション有効時間 ・ 範囲：2～1440分 ・ null：セキュリティポリシーのセッション有効時間に従う。

[注意事項]

- 本APIで変更できるユーザーの範囲を以下に示します。
  - ー 実行したユーザーがAdministratorグループに属していた場合
    任意のユーザーを変更できます。
  - ー 実行したユーザーがAdministratorグループ以外のユーザーグループに属していた場合
    実行したユーザーと同じユーザーグループのユーザーを変更できます。
- 変更内容ごとの必要となる条件を以下に示します。
  - ー UserGroupIdを変更する場合
    Administratorグループに属し、かつAdministratorロールを持つ実行ユーザーのみ変更できます。
  - ー UserRolesを変更する場合
    Administratorロールを持つ実行ユーザーのみ変更できます。
  - ー UserName、Password、Language、Description、InnerControlを変更する場合
    Administratorロールを持つ実行ユーザー、または実行ユーザー自身の情報のみ変更できます。
  - ー InnerControlは、ISMの内部制御で使用する情報のため、変更しないでください。
  - ー Password,InnerControlについて、キーを指定しない場合、内容は変更されません。
  - ー 変更内容に、""を指定した場合、内容は削除されます。
- 以下の名称は、ISMで使用しているため、使用できません。
  - ー 先頭が__で始まる名称
  - ー administrator

- Admin
- anonymous
- root
- bin
- daemon
- adm
- lp
- sync
- shutdown
- halt
- mail
- operator
- games
- ftp
- nobody
- avahi-autoipd
- systemd-bus-proxy
- systemd-network
- dbus
- polkitd
- abrt
- libstoragemgmt
- tss
- postfix
- chrony
- sshd
- ntp
- tcpdump
- vaadmin
- apache
- postgres
- svtuser
- elasticsearch
- zabbix

・ ユーザーはISM全体で一意となります。

・ MomUserパラメーターをEnableに指定できるのは、AdministratorグループのAdministratorロールを持つユーザーだけです。

・ パスワード変更時、変更前のパスワードでログインしたセッションは、ユーザー情報の更新を実行したセッション以外、切断されます。

・ パスワード変更時、現在のパスワードに誤った値を指定した場合の注意事項を以下に示します。

ー 連続して失敗すると、ユーザー情報の更新を実行したセッションは切断され、一定時間ログインできません。このしきい値とログインできない時間は、セキュリティポリシーで指定されます。

ー 一定時間経過後、失敗した回数は0回に戻ります。

4.1.7 ユーザーの削除

[概要]

ISMのユーザーを削除します。

[形式]

```
DELETE /users/{userid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

・ AdministratorグループのAdministratorロールを持つユーザーが1人もいなくなるような削除はできません。

・ 本APIで変更できるユーザーの範囲を以下に示します。

ー 実行したユーザーがAdministratorグループに属していた場合

任意のユーザーを削除できます。

ー 実行したユーザーがAdministratorグループ以外のユーザーグループに属していた場合

実行したユーザーと同じユーザーグループのユーザーを削除できます。

4.1.8 ユーザーグループの登録

[概要]

ISMのユーザーグループを登録します。

[形式]

```
POST /usergroups
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserGroupName	string	ユーザーグループ名 以下の制約があります。

パラメーター	型	説明
		・ 最大長:64 ・ 日本語、数字、アルファベット(大文字、小文字)、アンダーバー、$、ピリオド、ハイフンを使用可能 以下は、使用できません。 ・ シングルクォーテーション ・ スラッシュ ・ 先頭のピリオド
Authentication	string	認証方式 認証方式を以下から指定します。 ・ ISM ISM認証(初期値) ・ LDAP OpenLDAP、またはMicrosoft Active Directory連携認証
AuthMFA	string	多要素認証を指定します。 ・ Enable:有効 ・ Disable:無効 キー省略時はDisableとします。
IrmcLoginSessionEnable	string	iRMCログイン許可 ・ Enable:有効 ・ Disable:無効 キー省略時は、Disableで設定されます。
ParentsUserGroupId	string	親ユーザーグループID ""のみを指定してください。
AccessRange	string	アクセス範囲 ユーザーグループのアクセス範囲を別グループと同等にするかどうかを指定します。 ・ Administrator:Administratorグループと同じアクセス範囲 ・ null:指定なし ・ "":指定なし 上記以外は指定できません。
Description	string	説明 自由な情報が設定できるコメント欄です。制御には使用しません。
DomainGroups	array	ドメイングループ情報 ドメイングループ情報を登録する場合に指定します。
DomainName	string	ドメイン名 同じ配列要素にグループ名が指定されている場合は省略できません。
GroupName	string	グループ名

パラメーター	型	説明
		同じ配列要素にドメイン名が指定されている場合は省略できません。
LdapLink	string	Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携 ・ Enable：Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携を行う。 ・ Disable：Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携を行わない。 本キー省略時、または空文字指定時は、Disableが指定されたものとします。
LdapLinkUserRole	string	Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携時のユーザーロール Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携ユーザーのユーザーロールを指定します。 ・ Administrator ・ Operator ・ Monitor
NodeGroupId	integer	ノードグループID 関係付けるノードグループIDを指定します。 キー省略時、null指定時は、関連付けない。
DirSize	object	ディレクトリーサイズ情報
All	object	ユーザーグループのディレクトリーサイズ情報 ユーザーグループのディレクトリーサイズ情報を指定します。（単位：MB） キー省略時、null指定時は、設定しません。
MaxSize	integer	ユーザーグループの使用ディレクトリー最大サイズ nullの場合、最大値の設定は行いません。 省略した場合、null指定として扱います。
Threshold	integer	ユーザーグループの使用ディレクトリーサイズのしきい値 省略した場合、null指定として扱います。
ArchiveLogDir	object	Archiveのノードログ保存ディレクトリーサイズ情報 Archiveで使用できるディレクトリーサイズ（MB）を指定します。 キー省略時、null指定時は、最大値は0、しきい値は0で設定されます。
MaxSize	integer	ノードログ保存ディレクトリーの最大サイズ キー省略時、null指定時は、0GBで設定されます。
Threshold	integer	ノードログ保存ディレクトリーしきい値 null指定時、0(%)が指定されたとします。 キー省略時、0(%)が指定されたとします。
ArchiveMaterialDir	object	Archiveの保管ログ保存ディレクトリーサイズ情報 Archiveで使用できるディレクトリーサイズ（MB）を指定します。

パラメーター	型	説明
		キー省略時、null指定時は、最大値は0、しきい値は0%で設定されます。
MaxSize	integer	保管ログ保存ディレクトリーの最大サイズ キー省略時、null指定時は、0GBで設定されます。
Threshold	integer	保管ログ保存ディレクトリーしきい値 null指定時、0(%)が指定されたとします。 キー省略時、0(%)が指定されたとします。
ArchiveLogDirForSearch	object	Archiveの検索用ノードログディレクトリーサイズ情報 Archiveで使用できるディレクトリーサイズ(MB)を指定します。 キー省略時、null指定時は、最大値は0、しきい値は0%で設定されます。
MaxSize	integer	検索用ノードログディレクトリーの最大サイズ キー省略時、null指定時は、0GBで設定されます。
Threshold	integer	検索用ノードログディレクトリーしきい値 null指定時、0(%)が指定されたとします。 キー省略時、0(%)が指定されたとします。
RepositoryDirectory	object	リポジトリのディレクトリーサイズ情報 リポジトリのディレクトリーサイズを指定します。(単位:MB) キー省略時、null指定時は、設定しません。
MaxSize	integer	ディレクトリーの最大サイズ nullの場合、最大値の設定は行いません。 省略した場合、null指定として扱います。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserGroupId	string	ユーザーグループID
UserGroupName	string	ユーザーグループ名 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
Authentication	string	認証方式 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
AuthMFA	string	多要素認証 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
IrmcLoginSessionEnable	string	iRMCログイン許可 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
ParentsUserGroupId	string	親ユーザーグループID ""のみが出力されます。
AccessRange	string	アクセス範囲 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
Description	string	説明 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。

パラメーター	型	説明
DomainGroups	array	ドメイングループ情報 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
DomainName	string	ドメイン名 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
GroupName	string	グループ名 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
Exist	boolean	ドメインがLdap設定に存在するか ・ true：存在する ・ false：存在しない
LdapLink	string	Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
LdapLinkUserRole	string	Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携時のユーザーロール リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
NodeGroupId	integer	ノードグループID 関係するノードグループID
DiskSize	integer	ユーザーグループに割り当てられたディスクサイズ 値がnullの場合はディスク設定されていません。
DirSize	object	ディレクトリーサイズ情報 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
All	object	ユーザーグループのディレクトリーサイズ情報 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
MaxSize	integer	ユーザーグループの使用ディレクトリー最大サイズ
Threshold	integer	ユーザーグループの使用ディレクトリーサイズのしきい値
ArchiveLogDir	object	Archiveのノードログ保存ディレクトリーサイズ情報 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
MaxSize	integer	ノードログ保存ディレクトリーの最大サイズ
Threshold	integer	ノードログ保存ディレクトリーしきい値
ArchiveMaterialDir	object	Archiveの保管ログ保存ディレクトリーサイズ情報 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
MaxSize	integer	保管ログ保存ディレクトリーの最大サイズ
Threshold	integer	保管ログ保存ディレクトリーしきい値
ArchiveLogDirForSearch	object	Archiveの検索用ノードログディレクトリーサイズ情報 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
MaxSize	integer	検索用ノードログディレクトリーの最大サイズ
Threshold	integer	検索用ノードログディレクトリーしきい値
RepositoryDirectory	object	リポジトリのディレクトリーサイズ情報 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
MaxSize	integer	ディレクトリーの最大サイズ

パラメーター	型	説明
UserList	array(string)	所属ユーザーIDリスト
Modified	string	更新日付 追加された日時がUTC時間で出力されます。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- Authenticationの注意事項を以下に示します。
  - 認証方式は、ISM全体で1つしか指定できません。
  - LDAPで指定できる認証方式は、OpenLDAPまたは、Microsoft Active Directoryのどちらかのみです。
  - 認証方式を指定しない場合、ISMが指定されたものとします。
- ユーザーグループ作成時に、登録ユーザーを指定することはできません。
  ユーザーを登録したい場合は、ユーザーグループを作成後、ユーザーグループの変更、またはユーザーの変更を行ってください。
- 以下の名称は、ISMで使用しているため、使用できません。
  - 先頭が__で始まる名称
  - Administrator
  - AbstractionLayer
  - anonymous
  - svimcontent
- ユーザーグループはISM全体で一意となります。

4.1.9 ユーザーグループの検索

[概要]

LDAPサーバーのグループを検索します。

[形式]

```
GET /usergroups/search
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
SearchKeyword	string	グループ名検索キーワード 検索するグループ名を指定します。 前方一致で検索する場合、末尾に*を指定してください。 後方一致で検索する場合、先頭に*を指定してください。
DomainName	string	検索対象のドメイン名

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
GroupNameList		array	グループ名検索結果リスト
	GroupName	string	グループ名

パラメーター	型	説明
SwitchResult	string	アクティブホスト切替えの有無 グループ検索時にアクティブホストが接続不可で、待機ホストへの切替えがあったか、なかったかが出力されます。 ・ Switched : アクティブホスト切替えあり ・ None : アクティブホスト切替えなし
SwitchMessageId	string	アクティブホスト切替えメッセージ用ID グループ検索時にアクティブホストの切替えがあった場合に通知されるメッセージに対応するメッセージIDです。
SwitchMessage	string	アクティブホスト切替えメッセージ グループ検索時にアクティブホストの切替えがあった場合に通知されるメッセージです。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- LDAP情報が設定されている必要があります。
- 指定されたドメイン名を持つLDAP設定が登録されていない場合、エラーとなります。
- アクティブホスト切替えメッセージは、ISMのログにも出力されます。APIを呼び出した結果として参照してほしい以下のメッセージを通知します。

ID	内容
30061914	設定されていたLDAPサーバーとの通信に失敗したため、待機中のサーバーに接続しました。
30061915	設定されていたLDAPサーバーとの通信に失敗したため、待機中のサーバーに接続しました。 接続先LDAPサーバーを変更した為、CASを再起動します。

4.1.10 ユーザーグループの選択

[概要]

LDAPサーバーのグループを選択し、ログインしたユーザーの所属グループ、ユーザーロールを変更します。

[形式]

```
POST /users/{userid}/selectgroup
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserGroupName	string	ユーザグループ名 変更先のユーザグループ名を指定します。 省略された場合、現在所属しているグループが指定されたこととします。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserGroupName	string	ユーザグループ名

パラメーター	型	説明
		変更先のユーザグループ名が出力されます。

[注意事項]

- ログインしたユーザー自身の情報のみ実行できます。
- LDAP情報が設定されている必要があります。

4.1.11 ユーザーグループの一覧取得

[概要]

ISMのユーザーグループの情報を一覧取得します。

[形式]

```
GET /usergroups
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserGroups	array	ユーザーグループ情報リスト
UserGroupId	string	ユーザーグループID
UserGroupName	string	ユーザーグループ名
NodeGroups	array	ノードグループ情報 リスト
NodeRoleId	string	ノードロールID
NodeGroupId	integer	ノードグループID
Authentication	string	認証方式
AuthMFA	string	多要素認証 ・ Enable:有効 ・ Disable:無効
IrmcLoginSessionEnable	string	iRMCログイン許可 ・ Enable:有効 ・ Disable:無効
UserCount	integer	ユーザー数
ParentsUserGroupId	string	親ユーザーグループID ""のみが出力されます。
ChildUserGroupCount	integer	従属ユーザーグループ数 0のみ出力されます。
ChildUserGroups	array(string)	従属ユーザーグループ情報 リスト [ ]のみ出力されます。
UserGroupId	string	ユーザーグループID
AccessRange	string	アクセス範囲

パラメーター		型	説明
			ユーザーグループのアクセス範囲を別グループと同等にするかどうかが通知されます。 ・ Administrator：Administratorグループと同じアクセス範囲 ・ null：指定なし ・ “”：指定なし
	Description	string	説明

4.1.12 ユーザーグループの個別取得

[概要]

ISMのユーザーグループの個別情報を取得します。

[形式]

```
GET /usergroups/{usergroupid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
UserGroupId		string	ユーザーグループID
UserGroupName		string	ユーザーグループ名
NodeGroups		array	ノードグループ情報リスト
	NodeRoleId	string	ノードロールID
	NodeGroupId	integer	ノードグループID
Authentication		string	認証方式
AuthMFA		string	多要素認証 ・ Enable：有効 ・ Disable：無効
IrmcLoginSessionEnable		string	iRMCログイン許可 ・ Enable：有効 ・ Disable：無効
UserCount		integer	ユーザー数
ParentsUserGroupId		string	親ユーザーグループID
ChildUserGroupCount		integer	従属ユーザーグループ数 ""のみが出力されます。
ChildUserGroups		array(string)	従属ユーザーグループ情報リスト
	UserGroupId	string	ユーザーグループID
AccessRange		string	アクセス範囲 ユーザーグループのアクセス範囲を別グループと同等にするかどうかが通知されます。

パラメーター	型	説明
		・ Administrator：Administratorグループと同じアクセス範囲 ・ null：指定なし ・ ""：指定なし
Description	string	説明
DomainGroups	array	ドメイングループ情報
DomainName	string	ドメイン名
GroupName	string	グループ名
Exist	boolean	ドメインがLdap設定に存在するか ・ true：存在する ・ false：存在しない
DomainGroupsTimestamp	string	更新日時
LdapLink	string	Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携 ・ Enable：Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携を行う。 ・ Disable：Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携を行わない。
LdapLinkUserRole	string	Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携時のユーザーロール Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携ユーザーのユーザーロールが出力されます。 ・ Administrator ・ Operator ・ Monitor
SystemVolumeSize	object	ISM-VAのシステムボリューム情報 ISM-VAのシステムボリューム情報が出力されます。（単位：MB） Administratorグループ以外はnullが出力されます。
Size	integer	システムボリュームサイズ
Threshold	integer	使用システムボリュームサイズのしきい値 範囲：0.00～100.00(%) 小数点以下2桁が小数点なしの形式で出力されます。 例）10.12%の場合：1012 値がnullの場合は、使用システムボリュームサイズのしきい値が設定されていません。
UsedSize	integer	使用中システムボリュームサイズ
UsedSizeRate	integer	システムボリュームサイズの使用率 範囲：0.00～100.00(%) 小数点以下2桁が小数点なしの形式で出力されます。 例）10.12%の場合：1012
DiskSize	integer	ユーザーグループに割り当てられたディスクサイズ

パラメーター	型	説明
		値がnullの場合はディスク設定されていません。
DirSize	object	ディレクトリーサイズ情報 ユーザーグループのディレクトリーサイズ情報が出力されます。
All	object	ユーザーグループのディレクトリーサイズ情報 ユーザーグループのディレクトリーサイズ情報が出力されます。（単位:MB）
MaxSize	integer	ユーザーグループの使用ディレクトリー最大サイズ 値がnullの場合は設定されていません。
Threshold	integer	ユーザーグループの使用ディレクトリーサイズのしきい値 値がnullの場合は設定されていません。
UsedSize	integer	使用中ディレクトリーサイズ
ArchiveLogDir	object	Archiveのノードログ保存ディレクトリーサイズ情報 Archiveのノードログ保存ディレクトリーサイズ情報が出力されます。（単位:MB）
MaxSize	integer	ノードログ保存ディレクトリーの最大サイズ
Threshold	integer	ノードログ保存ディレクトリーしきい値
UsedSize	integer	使用中ノードログ保存ディレクトリーサイズ
ArchiveMaterialDir	object	Archiveの保管ログ保存ディレクトリーサイズ情報 Archiveの保管ログ保存ディレクトリーサイズ情報が出力されます。（単位:MB）
MaxSize	integer	保管ログ保存ディレクトリーの最大サイズ
Threshold	integer	保管ログ保存ディレクトリーしきい値
UsedSize	integer	使用中ノード保管ログ保存ディレクトリーサイズ
ArchiveLogDirForSearch	object	Archiveの検索用ノードログディレクトリーサイズ情報 Archiveの検索用ノードログディレクトリーサイズ情報が出力されます。（単位:MB）
MaxSize	integer	検索用ノードログディレクトリーの最大サイズ
Threshold	integer	検索用ノードログディレクトリーしきい値
UsedSize	integer	使用中検索用ノードログディレクトリーサイズ
RepositoryDirectory	object	リポジトリのディレクトリーサイズ情報 リポジトリのディレクトリーサイズ情報が出力されます。（単位:MB）
MaxSize	integer	ディレクトリーの最大サイズ 値がnullの場合は設定されていません。
UsedSize	integer	使用中ディレクトリーサイズ
Users	array	ユーザー情報リスト
UserId	string	ユーザーID
UserName	string	ユーザー名
Modified	string	更新日付 追加、更新された日時がUTC時間で出力されます。

[注意事項]

- 実行したユーザーがAdministratorロールを持つ場合のみ、実行できます。
- 本APIの出力できる範囲を以下に示します。
  - ー 実行したユーザーがAdministratorグループに属していた場合

    任意ユーザーグループの詳細が取得できます。
  - ー 実行したユーザーがAdministratorグループ以外のユーザーグループに属していた場合

    実行したユーザーと同じユーザーグループの詳細が取得できます。

4.1.13 ユーザーグループ情報の更新

[概要]

ISMのユーザーグループ情報の更新を行います。

[形式]

```
PATCH /usergroups/{usergroupid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserGroupName	string	ユーザーグループ名 以下の制約があります。 ・ 最大長:64 ・ 日本語、数字、アルファベット(大文字、小文字)、アンダーバー、$、ピリオド、ハイフンを使用可能 以下は、使用できません。 ・ シングルクォーテーション ・ スラッシュ ・ 先頭のピリオド
Authentication	string	認証方式 認証方式を以下から指定します。 ・ ISM ISM認証(初期値) ・ LDAP OpenLDAP、またはMicrosoft Active Directory連携認証
AuthMFA	string	多要素認証を指定します。 ・ Enable:有効 ・ Disable:無効 キー省略時は変更なしとします。
IrmcLoginSessionEnable	string	iRMCログイン許可

パラメーター	型	説明
		・ Enable：有効 ・ Disable：無効 キー省略時は、Disableで設定されます。
ParentsUserGroupId	string	親ユーザーグループID ""のみ
AccessRange	string	アクセス範囲 ユーザーグループのアクセス範囲を別グループと同等にするかどうかを指定します。 ・ Administrator：Administratorグループと同じアクセス範囲 ・ null：指定なし ・ ""：指定なし 上記以外は指定できません。
Description	string	説明 自由な情報が設定できるコメント欄です。制御には使用しません。
DomainGroups	array	ドメイングループ情報 ドメイングループ情報を登録する場合に指定します。
DomainName	string	ドメイン名 同じ配列要素にグループ名が指定されている場合は省略できません。
GroupName	string	グループ名 同じ配列要素にドメイン名が指定されている場合は省略できません。
LdapLinkUserRole	string	Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携時のユーザーロール Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携ユーザーのユーザーロールを指定します。 ・ Administrator ・ Operator ・ Monitor Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携で作成したユーザーグループでのみ有効です。
NodeGroupId	integer	ノードグループID 関係付けるノードグループIDを指定します。 ・ null：ノードグループに関連付けをしません。関連付いていた場合は、関連付けを解除します。 ・ ノードグループID：ノードグループに関連付けます。関連付いていた場合は、関連付けを変更します。
SystemVolumeSize	object	ISM-VAのシステムボリューム情報 Administratorグループ以外の場合、そのISM-VAのシステムボリューム情報は無視します。 キー省略時は、設定を変更しません。

パラメーター	型	説明
		null指定時は、設定を削除します。
Threshold	integer	使用システムボリュームサイズのしきい値 範囲:0.00～100.00(%) 小数点以下2桁を小数点なしの形式で指定してください。 例)10.12%の場合:1012
DirSize	object	ディレクトリーサイズ情報 ユーザーグループのディレクトリーサイズ情報を指定します。 キー省略時は、設定を変更しません。 null指定時は、設定を削除(すべて初期値)します。
All	object	ユーザーグループのディレクトリーサイズ情報 ユーザーグループのディレクトリーサイズ情報を指定します。(単位:MB) キー省略時は、設定を変更しません。 null指定時は、設定を削除します。
MaxSize	integer	ユーザーグループの使用ディレクトリー最大サイズ キー省略時は、設定を変更しません。 null指定時は設定を削除します。
Threshold	integer	ユーザーグループの使用ディレクトリーサイズのしきい値 キー省略時は、設定を変更しません。 null指定時は設定を削除します。
ArchiveLogDir	object	Archiveのノードログ保存ディレクトリーサイズ情報 Archiveのノードログ保存ディレクトリーサイズ情報を指定します。(単位:MB) キー省略時、設定を変更しません。 null指定時は、設定を0にします。
MaxSize	integer	ノードログ保存ディレクトリーの最大サイズ キー省略時は、設定を変更しません。 null指定時は0が指定されたとします。
Threshold	integer	ノードログ保存ディレクトリーしきい値 キー省略時は、設定を変更しません。 null指定時は0(%)が指定されたとします。
ArchiveMaterialDir	object	Archiveの保管ログ保存ディレクトリーサイズ情報 Archiveの保管ログ保存ディレクトリーサイズ情報を指定します。(単位:MB) キー省略時、設定を変更しません。 null指定時は、設定を削除します。
MaxSize	integer	保管ログ保存ディレクトリーの最大サイズ キー省略時は、設定を変更しません。 null指定時は0が指定されたとします。
Threshold	integer	保管ログ保存ディレクトリーしきい値

パラメーター	型	説明
		キー省略時は、設定を変更しません。 null指定時は0が指定されたとします。
ArchiveLogDirForSearch	object	Archiveの検索用ノードログディレクトリーサイズ情報 Archiveの検索用ノードログディレクトリーサイズ情報を指定します。(単位:MB) キー省略時、設定を変更しません。 null指定時は、設定を削除します。
MaxSize	integer	検索用ノードログディレクトリーの最大サイズ キー省略時は、設定を変更しません。 null指定時は0が指定されたとします。
Threshold	integer	検索用ノードログディレクトリーしきい値 キー省略時は、設定を変更しません。 null指定時は0が指定されたとします。
RepositoryDirectory	object	リポジトリのディレクトリーサイズ情報 リポジトリのディレクトリーサイズ情報を指定します。(単位:MB) キー省略時、設定を変更しません。 null指定時は、設定を削除します。
MaxSize	integer	ディレクトリーの最大サイズ キー省略時は、設定を変更しません。 null指定時は最大値の指定を削除します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserGroupId	string	ユーザーグループID
UserGroupName	string	ユーザーグループ名
Authentication	string	認証方式
AuthMFA	string	多要素認証 ・ Enable:有効 ・ Disable:無効
IrmcLoginSessionEnable	string	iRMCログイン許可 ・ Enable:有効 ・ Disable:無効
NodeGroupId	integer	ノードグループID 関係付くノードグループID
AccessableNodeGroups	array	ノードグループ情報リスト
NodeRoleId	string	ノードロールID
NodeGroupId	integer	ノードグループID
Users	array	ユーザー情報
UserId	string	ユーザーID

パラメーター	型	説明
UserName	string	ユーザー名
ParentsUserGroupId	string	親ユーザーグループID ""のみが出力されます。
AccessRange	string	アクセス範囲 ユーザーグループのアクセス範囲を別グループと同等にするかどうかが通知されます。 ・ Administrator:Administratorグループと同じアクセス範囲 ・ null:指定なし ・ "":指定なし
Description	string	説明
DomainGroups	array	ドメイングループ情報 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
DomainName	string	ドメイン名 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
GroupName	string	グループ名 リクエストパラメーターと同じものが出力されます。
Exist	boolean	ドメインがLdap設定に存在するか ・ true:存在する ・ false:存在しない
DomainGroupsTimestamp	string	更新日時
LdapLinkUserRole	string	Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携時のユーザーロール Microsoft Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携ユーザーのユーザーロールが出力されます。 ・ Administrator ・ Operator ・ Monitor
SystemVolumeSize	object	ISM-VAのシステムボリューム情報 ISM-VAのシステムボリューム情報が出力されます。(単位:MB) Administratorグループ以外はnullが出力されます。
Size	integer	システムボリュームサイズ
Threshold	integer	使用システムボリュームサイズのしきい値 範囲:0.00～100.00(%) 小数点以下2桁が小数点なしの形式で出力されます。 例)10.12%の場合:1012 値がnullの場合は、使用システムボリュームサイズのしきい値が設定されていません。
UsedSize	integer	使用中システムボリュームサイズ
UsedSizeRate	integer	システムボリュームサイズの使用率

パラメーター	型	説明
		範囲:0.00～100.00(%) 小数点以下2桁が小数点なしの形式で出力されます。 例)10.12%の場合:1012
DiskSize	integer	ユーザーグループに割り当てられたディスクサイズ 値がnullの場合はディスク設定されていません。
DirSize	object	ディレクトリーサイズ情報
All	object	ユーザーグループのディレクトリーサイズ情報
MaxSize	integer	ユーザーグループの使用ディレクトリー最大サイズ
Threshold	integer	ユーザーグループの使用ディレクトリーサイズのしきい値
UsedSize	integer	使用中ディレクトリーサイズ
ArchiveLogDir	object	Archiveのノードログ保存ディレクトリーサイズ情報
MaxSize	integer	ノードログ保存ディレクトリーの最大サイズ
Threshold	integer	ノードログ保存ディレクトリーしきい値
UsedSize	integer	使用中ノードログ保存ディレクトリーサイズ
ArchiveMaterialDir	object	Archiveの保管ログ保存ディレクトリーサイズ情報
MaxSize	integer	保管ログ保存ディレクトリーの最大サイズ
Threshold	integer	保管ログ保存ディレクトリーしきい値
UsedSize	integer	使用中ノード保管ログ保存ディレクトリーサイズ
ArchiveLogDirForSearch	object	Archiveの検索用ノードログディレクトリーサイズ情報
MaxSize	integer	検索用ノードログディレクトリーの最大サイズ
Threshold	integer	検索用ノードログディレクトリーしきい値
UsedSize	integer	使用中検索用ノードログディレクトリーサイズ
RepositoryDirectory	object	リポジトリのディレクトリーサイズ情報
MaxSize	integer	ディレクトリーの最大サイズ
UsedDirSize	integer	使用中ディレクトリーサイズ
Modified	string	更新日付 更新された日時がUTC時間で出力されます。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、Administratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- Authenticationの注意事項を以下に示します。
  - 認証方式は、ISM全体で1つしか指定できません。
  - LDAPで指定できる認証方式は、OpenLDAPまたは、Microsoft Active Directoryのどちらかのみです。
  - 認証方式を指定しない場合、ISMが指定されたものとします。
  - 認証方式にLDAPを指定した場合、事前にLDAP情報が設定されていないとエラーとなります。
- 変更内容に、""を指定した場合、内容は削除されます。
- 以下の名称は、ISMで使用しているため、使用できません。
  - 先頭が__で始まる名称
  - Administrator

- AbstractionLayer
- anonymous

- ユーザーグループはISM全体で一意となります。
- ユーザーグループに関連付くノードグループは1つです。
- ノードグループに関連付いた状態のユーザーグループに再度、ノードグループとの関連付けを行った場合、事前に関連付いた状態のノードグループは解除されます。
- 関連付けるノードグループについての条件を以下に示します。
  - ISMDefaultGroupは関連付けできません。
  - ISMSharedGroupは関連付けできません。
  - 存在しないノードグループは関連付けできません。

4.1.14 ユーザーグループの削除

[概要]

ISMのユーザーグループを削除します。

[形式]

```
DELETE /usergroups/{usergroupid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- ユーザーが存在するユーザーグループは、削除できません。

  ユーザーグループを削除する場合は、事前にユーザーを削除または他のユーザーグループへ変更したあと、削除してください。
- ノードグループに関連付いた状態のユーザーグループは削除できます。

  この場合、ノードグループは削除されません。
- ユーザーグループの削除後、元には戻せないため注意してください。
- ユーザーグループに関連したデータはすべて削除されます。
- Administratorグループは削除できません。

4.1.15 LDAP情報の取得

[概要]

ISMで設定されているLDAP情報を取得します。

[形式]

```
GET /system/settings/ldaps
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
LdapId	integer	LDAPサーバーID 3～7：Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携用設定
SwitchHostFlg	string	アクティブホスト切替えフラグ アクティブホストが接続不可の場合に待機ホストに切替えするか、切替えしないかを指定します。 ・ Enable：切替えする ・ Disable：切替えしない

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Ldaps		array	LDAP情報
	LdapId	integer	LDAPサーバーID ・ 1:LDAP認証プライマリー ・ 2:LDAP認証セカンダリー ・ 3～7:Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携用設定
	LdapSetting	string	LDAP設定有効/無効 LdapIdが3～7の場合のみ有効です。 ・ Enable：有効 ・ Disable：無効
	CasSetting	string	CAS有効/無効 LdapIdが3～7の場合のみ有効です。 ・ Enable：有効 ・ Disable：無効
	DomainName	string	ドメイン名 LdapIdが3～7のときのみ出力されます。
	LdapHost	string	LDAPサーバー名（アクティブホスト）
	Port	integer	ポート番号（アクティブホスト）
	BaseDn	string	基本パス
	SearchAttribute	string	検索属性
	BindDn	string	バインド用アカウント
	SSLcertificate	string	SSL証明書（アクティブホスト） SSL証明書の有無が出力されます。 ・ "On"：SSL証明書の指定あり

パラメーター	型	説明
		・ "Off" : SSL証明書の指定なし
Status	string	LDAP状態 LDAP状態が出力されます。 ・ LdapIdが1、2の場合 ー "Used" : 本情報が現在使用されている ー "Reserved" : 本情報が現在使用されていない ・ Ldapの設定がされていない場合、またはLdapIdが3～7の場合 ー 空文字
LdapStatus	string	LDAPサーバー状態（アクティブホスト） LDAPサーバーの状態が出力されます。 ・ 有効(Success) ・ エラー(Failed) ・ 未確認(""(空文字)) LdapIdによって、以下のように出力されます ・ LdapIdが1、2の場合 ー LDAPサーバー名が設定されている場合、LDAPサーバーの状態が出力されます。 ー LDAPサーバー名が設定されていない場合、未確認(""(空文字))が出力されます。 ・ LdapIdが3～7の場合 ー LDAP設定が有効の場合、LDAPサーバーの状態が出力されます。 ー LDAP設定が無効の場合、未確認(""(空文字))が出力されます。
Modified	string	更新日付 更新された日時がUTC時間で出力されます。
SwitchResult	string	アクティブホスト切替えの有無 LDAP情報の取得時にアクティブホストが接続不可で、待機ホストへの切替えがあったか、なかったかが出力されます。 ・ Switched : アクティブホスト切替えあり ・ None : アクティブホスト切替えなし
SwitchMessageId	string	アクティブホスト切替えメッセージ用ID LDAP情報の取得時にアクティブホスト切替えありの場合に通知されるメッセージに対応するメッセージIDです。
SwitchMessage	string	アクティブホスト切替えメッセージ LDAP情報の取得時にアクティブホスト切替えありの場合に通知されるメッセージです。
LdapServerList	array	LDAPサーバーリスト LdapIdが3～7のときのみ出力されます。

パラメーター	型	説明
LdapHost	string	LDAPサーバー名
Port	integer	ポート番号
SSLcertificate	string	SSL証明書 SSL証明書の有無が出力されます。 ・ "On":SSL証明書の指定あり ・ "Off":SSL証明書の指定なし
SSLcertificateInfo	object	SSL証明書情報
Issuer	string	発行者
Subject	string	発行先
ValidityNotBefore	string	有効期限の開始
ValidityNotAfter	string	有効期限の終了
Fingerprint	string	フィンガープリント
HostStatus	string	LDAPホストステータス LDAPホストの接続状態が出力されます。 ・ Normal:接続成功 ・ Error:接続失敗 ・ Invalid:接続確認なし
HostSetting	string	LDAPホスト設定有効/無効 ・ Enable:有効 ・ Disable:無効

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 一度もLDAP情報の設定が行われてない場合、Portパラメーター以外、すべて空文字が取得されます。
- アクティブホスト切替えメッセージは、ISMのログにも出力されます。APIを呼び出した結果として参照してほしい以下のメッセージを通知します。

ID	内容
30061914	設定されていたLDAPサーバーとの通信に失敗したため、待機中のサーバーに接続しました。
30061915	設定されていたLDAPサーバーとの通信に失敗したため、待機中のサーバーに接続しました。 接続先LDAPサーバーを変更したため、CASを再起動します。

- LdapId3～7のLDAP情報の注意事項を以下に示します。

  アクティブホストが接続不可の場合、LDAPサーバーリスト順に接続可能なホストがみつかるまで接続を確認します。接続可能なホストをアクティブホストとします。

4.1.16 LDAP情報の更新

[概要]

ISMにLDAP情報を設定します。

[形式]

```
PATCH /system/settings/ldaps
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Ldaps	array	LDAP情報
LdapId	integer	LDAPサーバーID ・1:LDAP認証プライマリー ・2:LDAP認証セカンダリー ・3～7:Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携用設定
LdapSetting	string	LDAP設定有効/無効 LdapIdが3～7の場合のみ有効です。 ・Enable:有効 ・Disable:無効
CasSetting	string	CAS有効/無効 LdapIdが3～7の場合のみ有効です。 ・Enable:有効 ・Disable:無効
LdapHost	string	LDAPサーバー名 LDAPホストを1つのみ登録したい場合に指定します。
Port	integer	ポート番号 LDAPホストを1つのみ登録したい場合に指定します。
BaseDn	string	基本パス
SearchAttribute	string	検索属性
BindDn	string	バインド用アカウント
BindPassword	string	バインドパスワード 暗号化したパスワードを指定します。暗号化の方法は「2.4 暗号化」を参照してください。 なお、復号結果が128文字以内となる暗号化文字列を指定してください。
SSLcertificate	string	SSL証明書 SSL経由でディレクトリーサーバーに接続する場合に指定します。 "Administrator"ディレクトリーにftpで事前に登録したSSL証明書のファイル名を指定します。 LDAPホストを1つのみ登録したい場合に指定します。
LdapServerList	array	LDAPサーバーリスト

パラメーター	型	説明
		LdapIdが3～7のときのみ指定します。LDAPホストを複数登録したい場合に指定します。
LdapHost	string	LDAPサーバー名
Port	integer	ポート番号
SSLcertificate	string	SSL証明書 SSL経由でディレクトリーサーバーに接続する場合に指定します。 "Administrator"ディレクトリーにftpで事前に登録したSSL証明書のファイル名を指定します。
HostSetting	string	LDAPホスト設定有効/無効 ・ Enable：有効 ・ Disable：無効
Operation	string	動作モード 動作モードを指定します。 ・ Update：通常の更新モード ・ Check：チェックモード

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Ldaps	array	LDAP情報
LdapId	integer	LDAPサーバーID ・ 1：LDAP認証プライマリー ・ 2：LDAP認証セカンダリー ・ 3～7：Active DirectoryまたはOpenLDAPのグループ連携用設定
LdapSetting	string	LDAP設定有効/無効 LdapIdが3～7の場合のみ有効です。 ・ Enable：有効 ・ Disable：無効
CasSetting	string	CAS有効/無効 LdapIdが3～7の場合のみ有効です。 ・ Enable：有効 ・ Disable：無効
DomainName	string	ドメイン名 LdapIdが3～7のときのみ出力されます。
LdapHost	string	LDAPサーバー名
Port	integer	ポート番号
BaseDn	string	基本パス
SearchAttribute	string	検索属性
BindDn	string	バインド用アカウント

パラメーター	型	説明
BindPassword	string	バインドパスワード 指定したパラメーターが出力されます。
SSLcertificate	string	SSL証明書 指定したSSL証明書が出力されます。
Status	string	LDAP状態 LDAP状態が出力されます。 ・ LdapIdが1、2の場合 ー "Used":本情報が現在使用されている ー "Reserved":本情報が現在使用されていない ・ Ldapの設定がされていない場合、またはLdapIdが3～7の場合 ー 空文字
Modified	string	更新日付 更新された日時がUTC時間で出力されます。
LdapServerList	array	LDAPサーバーリスト LdapIdが3～7のときのみ出力されます。
LdapHost	string	LDAPサーバー名
Port	integer	ポート番号
SSLcertificate	string	SSL証明書 指定したSSL証明書が出力されます。
SSLcertificateInfo	object	SSL証明書情報 指定したSSL証明書情報が出力されます。 OperationがUpdateで、かつREST APIが正常の場合に出力されます。
Issuer	string	発行者
Subject	string	発行先
ValidityNotBefore	string	有効期限の開始
ValidityNotAfter	string	有効期限の終了
Fingerprint	string	フィンガープリント
HostStatus	string	LDAPホストステータス LDAPホストの接続状態が出力されます。 ・ Enable:接続成功 ・ Certificate Error:接続失敗(SSL証明書エラー) ・ Authentication Error:接続失敗(応答があったすべてのホストが認証エラー) ・ Referral Error:接続失敗(BaseDNエラー) ・ Connection Error:接続失敗(その他接続エラー) ・ Invalid:接続確認なし
LdapMessageId	string	LDAPホスト接続エラーメッセージ用ID

パラメーター	型	説明
		LDAPホストが接続エラーのときに通知されるメッセージに対応するメッセージIDです。
LdapMessage	string	LDAPホスト接続エラーメッセージ LDAPホストが接続エラーのときに通知されるメッセージです。
HostSetting	string	LDAPホスト設定有効/無効 ・ Enable：有効 ・ Disable：無効
OperationResult	string	LDAP情報の更新の結果 LdapIdが3～7のときのみ出力されます。 ・ Success： ー 動作モードがUpdate：登録を完了した。 ー 動作モードがCheck：すべてのホストが接続可 ・ Warning： ー 動作モードがCheck：接続不可のホストあり ・ Referral Error：すべてのホストが接続不可（ベースDNエラーを含む） ・ Host Setting Error：すべてのホストが接続不可（認証失敗と証明書エラーを含む） ・ Connection Error：すべてのホストが接続不可（応答なし） ・ Authentication Error：すべてのホストが接続不可（認証エラーとタイムアウト）
LdapMessageId	string	LDAP情報の更新の結果メッセージ用ID LDAP情報の更新の結果に応じて通知されるメッセージに対応するメッセージIDです。 LdapIdが3～7のときのみ出力されます。
LdapMessage	string	LDAP情報の更新の結果メッセージ LDAP情報の更新の結果に応じて通知されるメッセージです。 LdapIdが3～7のときのみ出力されます。
Cas	object	CAS情報 OperationResultがUpdateのときのみ出力されます。
TaskId	string	タスクID CASを起動した場合、起動したタスクIDが出力されます。 CASを起動しない場合、""が出力されます。 CASが更新中の場合、""が出力されます。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- LdapIdのみ指定し、他の情報を空とした場合、該当LdapIdの情報を削除します。
- LdapIdが2の情報は、1の情報と共に指定してください。
- LdapIdは同じIDを重複して指定することはできません。

- LdapId1～2とLdapId3～7を同時に指定することはできません。
- OperationがCheckの場合、指定された情報でLDAPサーバーと接続して確認します。
- レスポンスデータは、リクエストデータで指定されたLdapIdの情報のみ出力されます。
- LdapId3～7の場合、OperationResultがSuccess、Warning以外でもレスポンスデータを返却します。
- 更新時、同じDomainNameを持つサーバーが登録されている場合、エラーとなります。
- 1つのLdapIdに同じLDAPサーバー名は指定できません。
- LDAPサーバー名が既に別のLdapIdに登録されている場合、エラーとなります。
- LdapId1～2のLDAP情報の注意事項を以下に示します。
  - 認証方式は、ISM全体でプライマリー、セカンダリーそれぞれ1つしか指定できません。
  - LDAPで指定できる認証方式は、OpenLDAPまたはMicrosoft Active Directoryのどちらか一方だけです。
- LdapId3～7のLDAP情報の注意事項を以下に示します。
  - ドメインに対して複数のLDAPホストが指定できます。
  - LDAPサーバーリスト順にLDAPホスト設定が有効なホストの接続を確認します。接続可能なホストのうちリストの一番上のホストをアクティブホストとします。
  - ユーザーを識別する属性はCNを使用します。
- SSL証明書は、以下の手順で指定します。

  ADサーバーの場合

  1. [コントロールパネル] - [管理ツール] - [証明機関] を選択します。
  2. 目的のサーバーを右クリックし、[プロパティ] - [全般] - [CA証明書] を選択します。
  3. 証明書を確認し、[証明書の表示]を選択します。
  4. 表示されたダイアログの詳細を選択し、ファイルにコピーを選択します。
  5. 証明書のエクスポートウィザードで、[次へ]を選択し、「Base64 encoded X509(CER)(S)」を選択して、保存パスを指定し、[完了]を選択します。
  6. 保存したファイルをftpで、"Administrator/ftp/"のディレクトリーにアップロードします。
  7. 上記のファイル名を指定します（Administrator/ftpの指定は不要です）。
- LDAPホスト接続エラーメッセージは、APIを呼び出した結果として参照してほしい以下のメッセージを通知します。

ID	内容
50061720	SSL接続に失敗しました。正しい証明書を指定し再実行してください。
50061730	LDAPサーバーとの接続に失敗しました。正しいホスト名／ポート番号を指定し、再実行してください。 正しく設定されている場合、LDAPサーバーが起動しているかを確認してください。
50061740	該当するベースDNがありません。LDAPサーバーの設定を確認し、正しい内容を指定して再実行してください。
50061750	バインドDNのユーザー認証に失敗しました。バインドDNに指定されているユーザーおよびパスワードに正しい内容を入力して再実行してください。

- LDAP情報の更新の結果メッセージは、APIを呼び出した結果として参照してほしい以下のメッセージを通知します。

ID	内容
50061740	該当するベースDNがありません。LDAPサーバーの設定を確認し、正しい内容を指定して再実行してください。

ID	内容
50061750	バインドDNのユーザー認証に失敗しました。バインドDNに指定されているユーザーおよびパスワードに正しい内容を入力して再実行してください。

4.1.17 LDAP情報の切替

[概要]

LDAP情報を切り替えます。

[形式]

```
POST /system/settings/ldaps/switch
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Ldaps		array	LDAP情報 プライマリー、セカンダリーの順でLDAP情報が出力されます。
	LdapHost	string	LDAPサーバー名
	Port	integer	ポート番号
	BaseDn	string	基本パス
	SearchAttribute	string	検索属性
	BindDn	string	バインド用アカウント
	SSLcertificate	string	SSL証明書 SSL証明書の有無が出力されます。 ・ "On":SSL証明書の指定あり ・ "Off":SSL証明書の指定なし
	Status	string	LDAP状態 切り替えたLDAP状態が出力されます。 ・ "Used":本情報が現在使用されている ・ "Reserved":本情報が現在使用されていない
	Modified	string	更新日付 更新された日時がUTC時間で出力されます。

[注意事項]

・ Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。

4.1.18 ポリシー情報の取得

[概要]

ユーザー管理で設定されているセキュリティポリシー情報を取得します。

[形式]

```
GET /users/policy
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
PasswordPolicy	object	パスワードポリシー
UnavailablePastData	integer	使用できない過去のパスワード 指定範囲:0～24 初期値:0(過去のパスワード制限を行わない)
MinimumLength	integer	最低パスワード長 指定範囲:1～80 初期値:1 文字数ではなく、バイト数
UseCharacterType	integer	パスワード使用文字種類 以下から、何種類使用するかが出力されます。 ・ 数字 ・ 小文字 ・ 大文字 ・ 特殊文字 範囲:0～4 初期値:0(指定なし)
ValidPeriod	integer	パスワード有効期限 範囲:0～365(日) 初期値:0(無期限)
InValidUserAction	string	期間超過後のユーザー操作 ・ "Warning":警告メッセージのみ ・ "Lock":ログインロック(無期限)
UseUserName	boolean	ユーザー名と同一のパスワードの指定可否が出力されます。 ・ true:指定可能 ・ false:指定不可能
UnavailableString	array(string)	パスワードとして指定できない文字列が配列で出力されます。 0個～256個が出力されます。 パスワードとして指定できない文字列が暗号化した文字列として出力されます。暗号化の方法は、「2.4 暗号化」を参照してください。

パラメーター	型	説明
LoginLockPolicy	object	ログインロックポリシー
Threshold	integer	ロックしきい値 本値以上、連続してログインが失敗するとログインがロックされます。 指定範囲:6～256 初期値:6
LockTime	integer	ロック時間 指定範囲:1～1440(分) 初期値:30
SessionTime	integer	セッション有効時間 範囲:2～60分 範囲:2～1440分(ISM 3.0.0.010以降) 初期値:30分
Modified	string	更新日付 更新された日時がUTC時間で出力されます。
LoginMessage	string	設定されたログインメッセージが出力されます。
LoginMessageValid	boolean	ログインメッセージの有効／無効の設定が出力されます。 ・ true:有効 ・ false:無効

[注意事項]

- PasswordPolicyは、どのユーザーでも取得できます。この場合、PasswordPolicy以外はnullが取得されます。
- Administratorのロールを持つユーザーは、全情報を取得できます。

4.1.19 ポリシー情報の更新

[概要]

ユーザー管理で設定されているセキュリティポリシー情報を更新します。

設定項目ごとの動作を以下に示します。

- "使用できない過去のパスワード"

  変更後、直ちに有効となります。ユーザー更新でパスワード設定時に本設定内容がチェックされます。違反時は、ユーザー更新がエラー終了します。

- "最低パスワード長"、"パスワード使用文字種類"、"ユーザー名と同一パスワードの指定"、"パスワードとして指定できない文字列"

  変更後、直ちに有効となります。ユーザー追加、ユーザー更新でパスワード設定時に本設定内容がチェックされます。違反時は、ユーザー追加、ユーザー更新がエラー終了します。

- "パスワード有効期限"

  変更後、直ちに有効となります。有効期限が0以外指定されると、次のように動作します。

  ー 期間超過後のユーザー操作:"Warning"の場合

  ログイン時、有効期限が超過していた場合、「パスワードの有効期限が過ぎています。直ちにパスワードを変更してください。」のメッセージが出力されます。

ログイン時、有効期限が2週間以内となっていた場合、「パスワードの有効期限が近づいています。パスワードを変更してください。」のメッセージが出力されます。

ー 期間超過後のユーザー操作:"Lock"の場合

ログイン時、有効期限が超過していた場合、「パスワードの有効期限が過ぎています。直ちにパスワードを変更してください。」のメッセージが出力され、以降ログインはできなくなります。

メッセージ出力後、パスワードを変更すると、以降もログインできます。

- "ロックしきい値"、"ロック時間"、"セッション有効時間"、"ログインメッセージ"、"ログインメッセージの有効／無効の設定"

  変更後、直ちに有効となります。

[形式]

```
PATCH /users/policy
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
PasswordPolicy	object	パスワードポリシー
UnavailablePastData	integer	使用できない過去のパスワード 指定範囲:0～24 初期値:0(過去のパスワード制限を行わない)
MinimumLength	integer	最低パスワード長 指定範囲:1～80 初期値:1 文字数ではなく、バイト数
UseCharacterType	integer	パスワード使用文字種類 以下から、何種類使用するかを指定します。 ・ 数字 ・ 小文字 ・ 大文字 ・ 特殊文字 範囲:0～4 初期値:0(指定なし)
ValidPeriod	integer	パスワード有効期限 範囲:0～365(日) 初期値:0(無期限)
InValidUserAction	string	期間超過後のユーザー操作 ・ "Warning":警告メッセージのみ ・ "Lock":ログインロック(無期限)
UseUserName	boolean	ユーザー名と同一のパスワードの指定可否を指定します。 ・ true:指定可能

パラメーター	型	説明
		・ false：指定不可能 初期値：false
UnavailableString	array(string)	パスワードとして指定できない文字列を配列で指定 0個～256個が指定可能 初期値：0個 パスワードとして指定できない文字列を暗号化した文字列で指定します。暗号化の方法は、「2.4 暗号化」を参照してください。 なお、復号結果が80文字以内となる暗号化文字列を指定してください。
LoginLockPolicy	object	ログインロックポリシー
Threshold	integer	ロックしきい値 本値以上、連続してログインが失敗するとログインがロックされます。 指定範囲：6～256 初期値：6
LockTime	integer	ロック時間 指定範囲：1～1440（分） 初期値：30
SessionTime	integer	セッション有効時間 範囲：2～60分 範囲：2～1440分（ISM 3.0.0.010以降） 初期値：30分
LoginMessage	string	ログイン時に表示するメッセージを設定します。
LoginMessageValid	boolean	ログインメッセージの有効／無効を指定します。 ・ true：有効 ・ false：無効

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
PasswordPolicy	object	パスワードポリシー
UnavailablePastData	integer	使用できない過去のパスワード 指定範囲：0～24 初期値：0（過去のパスワード制限を行わない）
MinimumLength	integer	最低パスワード長 指定範囲：1～80 初期値：1 文字数ではなく、バイト数
UseCharacterType	integer	パスワード使用文字種類 以下から、何種類使用するかが出力されます。 ・ 数字

パラメーター	型	説明
		・ 小文字 ・ 大文字 ・ 特殊文字 範囲:0～4 初期値:0(指定なし)
ValidPeriod	integer	パスワード有効期限 範囲:0～365(日) 初期値:0(無期限)
InValidUserAction	string	期間超過後のユーザー操作 ・ "Warning":警告メッセージのみ ・ "Lock":ログインロック(無期限)
UseUserName	boolean	ユーザー名と同一のパスワードの指定可否が出力されます。 ・ true:指定可能 ・ false:指定不可能
UnavailableString	array(string)	パスワードとして指定できない文字列が配列で出力されます。 0個～256個が出力されます。 パスワードとして指定できない文字列が暗号化した文字列として出力されます。暗号化の方法は、「2.4 暗号化」を参照してください。
LoginLockPolicy	object	ログインロックポリシー
Threshold	integer	ロックしきい値 本値以上、連続してログインが失敗するとログインがロックされます。 指定範囲:6～256 初期値:6
LockTime	integer	ロック時間 指定範囲:1～1440(分) 初期値:30
SessionTime	integer	セッション有効時間 範囲:2～60分 範囲:2～1440分(ISM 3.0.0.010以降) 初期値:30分
Modified	string	更新日付 更新された日時がUTC時間で出力されます。
LoginMessage	string	設定されたログインメッセージが出力されます。
LoginMessageValid	boolean	ログインメッセージの有効／無効の設定が出力されます。 ・ true:有効 ・ false:無効

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーは、本設定にかかわらず、ログインのロックはされません。常にメッセージが出力されます。

4.2 ライセンス管理機能

4.2.1 ライセンスの設定

[概要]

ライセンス情報を登録します。

[形式]

```
POST /system/licenses
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
LicenseId	string	ライセンスキー

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
License	object	ライセンス情報
LicenseId	string	ライセンスキー
Type	string	ライセンス種類 追加されたライセンスの種類が出力されます。
Grade	string	ライセンスグレード 追加されたライセンスのグレードが出力されます。
ManagementNodeNumber	integer	ライセンス数 追加されたライセンス数が出力されます。 ライセンスタイプがNodeのときのみ意味を持ち、それ以外はnullとなります。
ExpirationDate	integer	ライセンス期限 追加されたライセンスの期限が出力されます。 ライセンス期限がないときはnullとなります。
Restart	string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 ISM-VA：ISM-VAの再起動が必要 本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - ー ライセンス登録：ismadm license set
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.2.2 ライセンスの一覧取得

[概要]

ライセンス情報を取得します。

[形式]

```
GET /system/licenses
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Licenses	array	ライセンス情報
LicenseId	string	ライセンスキー
Type	string	ライセンス種類 ・ Server ・ Node
Grade	string	ライセンスグレード ・ Advanced ・ Trial ・ I4P ・ TrialI4P
InvalidFlag	boolean	無効フラグ ・ true：無効 ・ false：有効
ExpirationDate	integer	期限切れまでの残り日数 期限が切れた日以降は、-1以下になります。期限が無いライセンスの場合は0固定
ManagementNodeNumber	integer	ライセンス種類がNodeの場合、管理ノード数 それ以外の場合は0固定
LicenseStatus	string	ライセンスのステータス ・ Valid ：有効 ・ Expires soon：期限切れ間近（30日以内） ・ Expired ：期限切れ

パラメーター		型	説明
	RegistrationTimestampInfomation	string	登録日
	ExpirationTimestampInfomation	string	期限切れ日
	UpdateTimestampInfomation	string	更新日
ManagementNodeTotalNumber		integer	管理ノード総数
ManagementNodeLeftNumber		integer	残り管理ノード総数 管理ノード数からISMで登録済みのノード数を引いた数
Grade		string	動作中のライセンスグレード
OperationMode		string	動作モード ・ Advanced ・ Advanced (Trial) ・ Advanced for PRIMEFLEX ・ Advanced for PRIMEFLEX (Trial) ・ Essential

4.2.3 ライセンス削除

[概要]

ライセンスを削除します。

[形式]

```
POST /system/licenses/delete
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
LicenseId	string	ライセンスキー

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
License		object	削除されたライセンス情報
	LicenseId	string	ライセンスキー
	Type	string	ライセンス種類 追加されたライセンスの種類が出力されます。
	Grade	string	ライセンスグレード 追加されたライセンスのグレードが出力されます。
	ManagementNodeNumber	integer	ライセンス数 追加されたライセンス数が出力されます。 ライセンス種類がNodeのときのみ意味を持ち、それ以外はnullとなります。

パラメーター		型	説明
	ExpirationDate	integer	ライセンス期限 追加されたライセンスの期限が出力されます。 ライセンス期限がないときはnullとなります。
Restart		string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 ISM-VA:ISM-VAの再起動が必要 本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - ー ライセンス削除:ismadm license delete
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.2.4 ライセンスの置換え

[概要]

ライセンス情報を置き換えます。

[形式]

```
PATCH /system/licenses
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
LicenseList		array	ライセンス情報
	LicenseId	string	ライセンスキー

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
LicenseList		array	置き換えたライセンス情報
	LicenseId	string	ライセンスキー
	Type	string	ライセンス種類 追加されたライセンスの種類が出力されます。
	Grade	string	ライセンスグレード 追加されたライセンスのグレードが出力されます。
	ManagementNodeNumber	integer	ライセンス数 追加されたライセンス数が出力されます。

パラメーター	型	説明
		ライセンス種類がNodeのときのみ意味を持ち、それ以外はnullとなります。
ExpirationDate	integer	ライセンス期限 追加されたライセンスの期限が出力されます。 ライセンス期限がないときはnullとなります。
ReplacedLicenseList	array	置き換えられたライセンス情報
LicenseId	string	ライセンスキー
Type	string	ライセンス種類 削除されたライセンスの種類が出力されます。
Grade	string	ライセンスグレード 削除されたライセンスのグレードが出力されます。
ManagementNodeNumber	integer	ライセンス数 削除されたライセンス数が出力されます。 ライセンス種類がNodeのときのみ意味を持ち、それ以外はnullとなります。
ExpirationDate	integer	ライセンス期限 削除されたライセンスの期限が出力されます。 ライセンス期限がないときはnullとなります。
Restart	string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 ISM-VA:ISM-VAの再起動が必要 本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - ライセンス削除:ismadm license delete
  - ライセンス登録:ismadm license set
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.3 ノード管理機能

4.3.1 ノード登録

[概要]

ノードを登録します。

[形式]

```
POST /nodes
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Node	object	ノード情報
Name	string	ノード名 ISM で一意の名前を指定してください。
Type	string	ノードタイプ 機器に対応するノードタイプを指定してください。 指定できるノードタイプについては、[ノードタイプ]を参照してください。
Model	string	モデル名 機器のモデル名を指定してください。サポート機種の場合、正しいモデル名を指定しないと正常に動作しないことがあります。
IpAddress	string	IPアドレス ISMで一意のIPアドレスを指定してください。
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4:IPv4 ・ V6:IPv6
WebUrl	string	メインで使用するWebURL（機器のWebUIなど） キー省略可
Urls	array	その他のWebURL情報 キー省略可
Url	string	WebURL
UrlName	string	WebURL名
Description	string	説明 キー省略可
NodeTagList	array	ノードタグ情報 キー省略可
NodeTag	string	ノードタグ名
ManagementLanOption	object	管理LAN情報 キー省略可 サーバーのPXEブート時に使用する管理LANを設定します。
ManagementLanMode	string	管理LAN指定モード ・ null:指定なし PXEブート時はスロット0のオーダーが小さいポートが使用されます。 ・ MACAddress:MACアドレスを指定 ・ Adapter:アダプターを指定
AdapterInfo	object	管理LANとして使用するアダプターの情報

パラメーター	型	説明
		指定モードが "Adapter" の場合、指定必須
SlotIndex	integer	Slot番号 オンボードの場合は 0 を指定します。
PortIndex	integer	ポート番号
Type	string	種別 ・ Onboard:オンボード ・ PCICard:PCIカード
MACAddress	string	管理LANとして使用するMACアドレス 指定モードが "MACAddress" の場合、指定必須です。 有効になっている場合のみ、入力形式のチェックを行います。
RackInfo	object	ラック搭載位置情報
RackId	integer	搭載ラックID 搭載ラックID、またはnullを指定します。 以下の場合、nullを指定してください。 ・ ラックに搭載していない場合 ・ 搭載しているラックがISMに登録されていない場合
Position	integer	搭載位置(ユニット番号) ノードが占有する一番下のユニット番号、またはnullを指定します。 以下の場合、nullを指定してください。 ・ ラックに搭載していない場合 ・ 搭載しているラックがISMに登録されていない場合 GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
OccupySize	integer	ラック占有ユニット数 ラック占有ユニット数、またはnullを指定します。 以下の場合、nullを指定してください。 ・ ラックに搭載していない場合 ・ 搭載しているラックがISMに登録されていない場合
MountType	string	PDUのマウントタイプ キー省略可 ・ Rack:通常のノードと同様に搭載するタイプ ・ 0U:ラック横に搭載するタイプ
PduPosition	string	使用しません。 キー省略可
Outlet	array	PDUの接続情報一覧 キー省略可 現在は未サポートです。
PowerSocket	integer	ソケット番号 現在は未サポートです。

パラメーター	型	説明
NodeId	integer	接続先のノード ID 現在は未サポートです。
Accounts	array	アカウント情報 キー省略可 ノードにアクセスするための情報を設定してください。必要とするアカウント情報はマニュアルを参照してください。
AccountType	string	アカウントタイプ 指定したアカウントタイプに関連する情報のみ使用されます。 ・ Ipmi：iRMC/BMC/MMBなど、IPMIで通信する際に使用されます。 ・ Ssh：Sshで通信する際に使用されます。 ・ Ssh-Privileged：Sshログイン後に権限昇格が必要な機種で使用されます。 ・ SnmpV1：SNMP v1で通信する際に使用されます。 ・ SnmpV2：SNMP v2cで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV3：SNMP v3 で通信する際に使用されます。 ・ Https：HTTPS(REST)で通信する際に使用されます。
PortNum	integer	使用ポート番号 ポート番号、またはnullを指定します。 nullを指定した場合、プロトコルの標準ポート番号が設定されます。 ・ IPMI（623番） ・ SSH（22番） ・ SNMP（161番） ・ HTTPS（443番）
AccountName	string	ユーザーアカウント名 アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3, Https
Password	string	アカウントパスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3（セキュリティレベルが"authPriv"または"authNoPriv"の場合のみ）, Https SnmpV3の場合、暗号化前の文字列長は最低8文字
NewPassword	string	新アカウントパスワード PRIMERGY M7シリーズ、PRIMERGY RX1440 M2、PRIMERGY RX2450 M2、PRIMERGY 1WAY M6、PRIMEQUEST 4000シリーズ（iRMC）の工場出荷時のパスワードを新アカウントパスワードにする場合に指定します。 すでに、パスワードを変更済の場合は指定不要です。

パラメーター	型	説明
		「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。アカウントタイプが、Httpsの場合に使用されます。
Property	object	アカウントタイプに応じた追加情報
Ipmi	string	Ipmi 情報 キー省略可 現在は未サポートです。
Ssh	string	Ssh 情報 キー省略可 現在は未サポートです。
SnmpV1	object	SnmpV1 情報 キー省略可 アカウントタイプがSnmpV1の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV2	object	SnmpV2 情報 キー省略可 アカウントタイプがSnmpV2の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV3	object	SnmpV3 情報 キー省略可 アカウントタイプがSnmpV3の場合、使用されます。
SecurityLevel	string	セキュリティレベル ・ authPriv：認証・暗号化あり ・ authNoPriv：認証あり、暗号化なし ・ noAuthNoPriv：認証・暗号化なし
AuthProtocol	string	認証プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" または "authNoPriv" の場合に使用されます。 アカウント情報はAccountName、パスワードはPasswordに指定してください。 ・ MD5：MD5による認証 ・ SHA：SHAによる認証
PrivProtocol	string	暗号化プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 ・ DES：DESによる暗号化 ・ AES：AESによる暗号化
PrivPassword	string	暗号化パスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 暗号化前の文字列長は最低8文字
ContextName	string	コンテキスト名

パラメーター	型	説明
EngineId	string	エンジン ID
SupportPeriod	object	保守期間
EndDate	string	保守終了日 YYYY-MM-DD（年-月-日）
Notification	integer	保守終了日の事前通知 保守終了日の何日前に通知するかを指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Node	object	ノード情報
NodeId	integer	ノードID
Name	string	ノード名
Type	string	ノードタイプ
Model	string	モデル名
IpAddress	string	IPアドレス
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6
WebUrl	string	メインで使用するWebURL（機器のWebUIなど）
Urls	array	その他のWebURL情報
Url	string	WebURL
UrlName	string	WebURL名
Description	string	説明
NodeTagList	array	ノードタグ情報
NodeTag	string	ノードタグ名
ManagementLanOption	object	管理LAN情報 サーバーのPXEブート時に使用する管理LANが出力されます。
ManagementLanMode	string	管理LAN指定モード ・ null：指定なし PXEブート時はスロット0のオーダーが小さいポートが使用されます。 ・ MACAddress：MACアドレス ・ Adapter：アダプター
AdapterInfo	object	管理LANとして使用するアダプターの情報
SlotIndex	integer	Slot番号
PortIndex	integer	ポート番号
Type	string	種別 ・ Onboard：オンボード

パラメーター	型	説明
		・ PCICard：PCIカード
MACAddress	string	管理LANとして使用するMACアドレス
RackInfo	object	ラック搭載位置情報
RackId	integer	搭載ラック ID
Position	integer	搭載位置（ユニット番号） ノードが占有する一番下のユニット番号が出力されます。
OccupySize	integer	ラック占有ユニット数
MountType	string	PDUのマウントタイプ ・ Rack：通常のノードと同様に搭載するタイプ ・ 0U：ラック横に搭載するタイプ
PduPosition	string	使用しません。
Outlet	array	PDUの接続情報一覧 現在は未サポートです。
PowerSocket	integer	ソケット番号 現在は未サポートです。
NodeId	integer	接続先のノード ID 現在は未サポートです。
SlotNum	integer	シャーシ内スロット番号 CXサーバー、BXサーバーブレード、コネクションブレードの場合、ノード情報取得時に自動的に設定されます。
ParentNodeId	integer	親ノードのノードID ノード情報取得時に自動的に設定されます。BXサーバーブレード、コネクションブレードの場合はBXシャーシのノード情報取得時に設定されます。
ParentFabricId	integer	所属するファブリックノードのノードID ファブリックスイッチの場合、ファブリックのノード情報取得時に自動的に設定されます。
ChildNodeList	array	子ノード情報 子ノードの関係となるノードが格納されます。
NodeId	integer	子ノードのノードID
Type	string	子ノードのノードタイプ
SlotNum	integer	シャーシ内スロット番号
Fabric	array	ファブリックを構成するスイッチノード情報
NodeId	integer	スイッチノードのノード ID
Status	string	ノードのステータス ・ Error：エラー ・ Warning：警告 ・ Unknown：通信不可 ・ Normal：正常 ・ Updating：通信中

パラメーター	型	説明
PowerStatus	string	ノードのパワーステータス ・ On：電源投入状態 サーバー、スイッチ、ストレージの電源が投入されている状態です。サーバーの場合は、OSが起動していなくても電源が投入されていればOnとなります。 ・ Off：電源切断状態 サーバーはiRMCから電源節電状態と応答があった状態です。スイッチ、ストレージは装置と通信不可の状態です。 ・ Standby：スタンバイ PRIMERGYの旧モデル(iRMC S4以前)のサーバーで、電源がOff→Onの間に一時的にスタンバイになる状態です。iRMC S5以降のサーバー、スイッチ、ストレージはこの状態になりません。 ・ Unknown：通信不可 サーバーは通電されておらず、iRMC自体の電源がOFFになっている状態、もしくは疎通できない（通信できない）状態です。スイッチ、ストレージはこの状態になりません。 ・ N/A：利用不可、メンテナンスモード メンテナンスモードに設定している状態、ノード登録後にノード情報取得していない状態、もしくはノードリストの監視タブにパワーステータスがない状態です。
AlarmStatus	string	ノードのアラームステータス 配下のノード（ChildNodeListまたはFabric）が存在する場合、配下のノードも含めて一番重大度が高いステータスを表示します。 ・ Error：エラー ・ Warning：警告 ・ Info：情報 ・ Normal：通知なし ステータスの優先度：Normal < Info < Warning < Error
MaintenanceMode	string	メンテナンスモード ・ Normal：通常モード ・ Maintenance：メンテナンスモード
NodeGroupId	integer	ノードグループID
UniqInfo	string	内部管理用特定情報
AdditionalData	object	内部管理情報
UpdateDate	string	最終更新時刻
EnabledGetELCMUpdInfo	boolean	eLCM Onlineアップデート情報取得の有効/無効 ・ False：無効（取得しない）（初期値） ・ True：有効（取得する）

パラメーター	型	説明
IpmiMode	boolean	IPMIモード設定 PRIMERGY M7シリーズ、PRIMERGY RX1440 M2、PRIMERGY RX2450 M2、PRIMEQUEST 4000シリーズとの通信で使用するIPMIプロトコルの有効/無効状態を示します。 ・ False:無効(使用しない)(初期値) ・ True:有効(使用する)
SupportPeriod	object	保守期間
EndDate	string	保守終了日 YYYY-MM-DD (年-月-日)
Notification	integer	保守終了日の事前通知 保守終了日の何日前に通知するかを示します。

[注意事項]

- ISM管理者のみ実行可能です。
- 先頭がアンダーバー "_" で始まるノード名は、ISM で使用しているため、使用できません。
- ノード名には、以下の文字は使用できません。

  スラッシュ(/)、バックスラッシュ(¥)、コロン(:)、アスタリスク(*)、クエスチョンマーク(?)、ダブルクォーテーション(")、山括弧(<>)、パイプライン(|)
- GUIで表示する場合、以下の制御が行われます。

  ー ラック搭載位置情報の搭載位置

  ノードタイプがfacilityの場合、101を指定してください。ラックCDUとして、ラックの上部に表示されます。

  ノードタイプがpduまたはintelligent-pduであり、かつPDUマウントタイプが0Uの場合、201-204を指定してください。0U PDUとして、ラック横に表示されます。

  ー ラック搭載位置情報のラック占有ユニット数

  高さが 44.5mm×ラック占有ユニット数のノードとして表示されます。

[ノードタイプ]

ノードタイプ	機種	ノード登録	ノード情報取得	ノード削除	メンテナンスモード設定
server	PRIMERGY RXサーバーなど	○	○	○	○
server-primergylx	PRIMERGY LXサーバー	○	○	○	○
server-primequest3000b	PRIMEQUEST 3000B	○	○	○	○
server-primequest2000b	PRIMEQUEST 2000B	○	○	○	○
server-ipcomvx	IPCOM VX2	○	○	○	○
server-generic	他社機	○	○	○	○
server-primergycx	PRIMERGY CXサーバー	○	○	○	○
server-primergybx	PRIMERGY BXサーバー	○	○	○	○
server-zz5000	PRIMERGY CX1430 M1	○	○	○	○
server-snmp	サーバー(SNMP監視)	○	○	○	○

ノードタイプ	機種	ノード登録	ノード情報取得	ノード削除	メンテナンスモード設定
server-ping	サーバー（Ping監視）	○	○	○	○
Primequest	PRIMEQUEST 2000シリーズ	○	○	○[注13]	○
primequest-3000e	PRIMEQUEST 3000Eシリーズ	○	○	○[注13]	○
primequest-4000	PRIMEQUEST 4000 シャーシのみ	×[注2]	×[注8]	○[注15]	○
Partition	PRIMEQUEST パーティション	×[注1]	×[注7]	×[注14]	×[注21]
partition-primequest4000	PRIMEQUEST 4000 パーティション	○	○	○	○
extended-partition	PRIMEQUEST 拡張パーティション	×[注1]	×[注7]	×[注14]	×[注21]
Chassis	PRIMERGY CXシャーシ	×[注2]	×[注8]	○[注15]	○
chassis-primergybx	PRIMERGY BXシャーシ（MMB）	○	○	○[注15]	○
fabric-vcs	VCSファブリック (Brocade VCSファブリック)(以降VCSファブリックと表記)	○	○	○[注16]	○
fabric-cfx	コンバージドファブリック（C-FABRIC）	○	○	○[注16]	○
fabricswitch-vdx	VDXスイッチ	×[注3]	×[注9]	○	×[注22]
fabricswitch-cfx	CFXスイッチ	×[注4]	×[注10]	○	×[注23]
fabricswitch-bxsbax3	PY CB Eth Switch 10/40Gb 18/8+2（ファブリックモード）	×[注4]	×[注10]	○	×[注23]
Switch	スイッチ	○	○	○	○
switch-fos	PSWITCH	○	○	○	○
switch-nexus	Cisco Nexusスイッチ	○	○	○	○
switch-bxpassthru	PY CB Eth Pass Thru 10Gb 18/18	×[注26]	○	○	○
switch-bxsb11	PY CB Eth Switch/IBP 1Gbコネクションブレード	○	○	○	○
switch-bxsbax2	PY CB Eth Switch/IBP 10Gb 18/8	○	○	○	○
switch-bxsbax3	PY CB Eth Switch 10/40Gb 18/8+2	○	○	○	○
switch-ipcomex	IPCOM EX2	○	○	○	○
switch-juniper	Juniper QFX/EXスイッチ	○	○	○	○
switch-snmp	スイッチ（SNMP監視）	○	○	○	○
switch-generic	Arista 7000 Family	○	○	○	○
switch-ping	スイッチ（Ping監視）	○	○	○	○
sanswitch-brocade	FCスイッチ	○	○	○	○
sanswitch-brocadebxfc	FCスイッチブレード	○	○	○	○
switch-extremexos	ExtremeSwitching X440/460-G2	○	○	○	○
Storage	ETERNUS DX/AF	○	○	○[注17]	○
storage-generic	ETERNUS CS800 ETERNUS LT	○	○	○	○
storage-nr	NetApp（ETERNUS NR）、 ETERNUS HX/AX ETERNUS AC	×[注5]	×[注11]	×[注18]	×[注24]

ノードタイプ	機種	ノード登録	ノード情報取得	ノード削除	メンテナンスモード設定
storage-dx900	ETERNUS DX900 S5 ETERNUS DX900 S6（ISM 3.0.0.010以降)	○	○	○	○
storage-hb	ETERNUS AB/HB	○	○	○	○
storage-snmp	ストレージ（SNMP監視）	○	○	○	○
storage-ping	ストレージ（Ping監視）	○	○	○	○
cluster-nr	NetApp（ETERNUS NR）クラスタ、 ETERNUS HX/AXクラスタ ETERNUS ACクラスタ	○	○	○[注19]	○
Pdu	PDU	○	○	○	○
intelligent-pdu	Intelligent PDU	○	○	○	○
Ups	UPS	○	○	○	○
Facility	ラックCDU	○	○	○	○
facility-snmp	ファシリティー機器（SNMP監視）	○	○	○	○
facility-ping	ファシリティー機器（Ping監視）	○	○	○	○
frontend-enclosure	ETERNUS DX900 S5フロントエンドエンクロージャー ETERNUS DX900 S6フロントエンドエンクロージャー（ISM 3.0.0.010以降)	×[注6]	×[注12]	×[注20]	×[注25]
controller-enclosure	ETERNUS DX900 S5コントローラーエンクロージャー ETERNUS DX900 S6コントローラーエンクロージャー（ISM 3.0.0.010以降)	×[注6]	×[注12]	×[注20]	×[注25]
drive-enclosure	ETERNUS DX/AFドライブエンクロージャー	×[注6]	×[注12]	×[注20]	×[注25]
driveenclosure-nr	NetApp (ETERNUS NR) 外付けディスクシェルフ ETERNUS HX/AX外付けディスクシェルフ ETERNUS AC外付けディスクシェルフ	×[注5]	×[注11]	×[注18]	×[注24]
driveenclosure-hb	ETERNUS AB/HBドライブエンクロージャー	×[注6]	×[注12]	×[注20]	×[注25]
other	その他	○	○	○	○

[注1]：PRIMEQUEST 2000/3000Eシリーズのノード情報取得時に自動的にノードが生成されます。

[注2]：PRIMERGY CXサーバー、PRIMEQUEST 4000シリーズのノード情報取得時に自動的にノードが生成されます。

[注3]： VCSファブリック(Brocade VCSファブリック)(以降VCSファブリックと表記)のノード情報取得時に自動的にノードが生成されます。

[注4]：コンバージドファブリック（C-FABRIC）のノード情報取得時に自動的にノードが生成されます。

[注5]：NetApp（ETERNUS NR）クラスタ、ETERNUS HX/AXクラスタ、ETERNUS ACクラスタのノード情報取得時に自動的にノードが生成されます。

[注6]：ETERNUS DX/AF/AB/HBのノード情報取得を実行してください。

[注7]：PRIMEQUEST 2000/3000Eシリーズのノード情報取得を実行してください。

[注8]:PRIMERGY CXサーバー、PRIMEQUEST 4000 パーティションのノード情報取得を実行してください。

[注9]: VCSファブリックのノード情報取得を実行してください。

[注10]:コンバージドファブリック(C-FABRIC)のノード情報取得を実行してください。

[注11]:NetApp(ETERNUS NR)クラスタ、ETERNUS HX/AXクラスタ、ETERNUS ACクラスタのノード情報取得を実行してください。

[注12]:ETERNUS DX/AF/AB/HBのノード情報取得を実行してください。

[注13]:配下のパーティション/拡張パーティションも一緒に削除されます。

[注14]:いなくなっていた場合、PRIMEQUEST 2000/3000Eシリーズのノード情報取得時に自動的にノード削除されます。

[注15]:シャーシに搭載されているサーバーノードやスイッチブレードも一緒に削除されます。

[注16]:ファブリックを構成しているスイッチも一緒に削除されます。

[注17]:クラスタ内のストレージや外付けディスクシェルフも一緒に削除されます。

[注18]:いなくなっていた場合、NetApp(ETERNUS NR)クラスタ、ETERNUS HX/AXクラスタ、ETERNUS ACクラスタのノード情報取得時に自動的にノード削除されます。

[注19]:接続されているドライブエンクロージャーも一緒に削除されます。

[注20]:いなくなっていた場合、ETERNUS DX/AF/AB/HBのノード情報取得時に自動的にノード削除されます。

[注21]:PRIMEQUEST 2000/3000Eシリーズをメンテナンスモードに設定してください。

[注22]: VCSファブリックをメンテナンスモードに設定してください。

[注23]:コンバージドファブリック(C-FABRIC)をメンテナンスモードに設定してください。

[注24]:NetApp(ETERNUS NR)クラスタ、ETERNUS HX/AXクラスタ、ETERNUS ACクラスタをメンテナンスモードに設定してください。

[注25]:ETERNUS DX/AF/AB/HBをメンテナンスモードに設定してください。

[注26]:PRIMERGY BXシャーシ(MMB)のノード情報取得時に自動的にノードが生成されます。

4.3.2 ノードの一覧取得

[概要]

ユーザーが属しているユーザーグループで管理しているすべてのノードの情報を取得します。

クエリパラメーターにより、取得するノードを絞り込むことができます。

[形式]

```
GET /nodes
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
name	string	ノード名による絞り込み
type	string	ノードタイプによる絞り込み 指定できるノードタイプについては、「4.3.1 ノード登録」の[ノードタイプ]を参照してください。
model	string	モデル名による絞り込み
ipaddress	string	IP アドレスによる絞り込み
rackid	integer	ラック ID による絞り込み
floorid	integer	フロア ID による絞り込み
dcid	integer	データセンター ID による絞り込み
nodegroupid	integer	ノードグループ ID による絞り込み

パラメーター	型	説明
status	string	ステータスによる絞り込み ・ Error：エラー ・ Warning：警告 ・ Unknown：通信不可 ・ Normal：正常 ・ Updating：通信中
powerstatus	string	パワーステータスによる絞り込み ・ On：電源投入状態 ・ Off：電源切断状態 ・ Standby：スタンバイ ・ Unknown：通信不可 ・ N/A：利用不可、メンテナンスモード ノードのパワーステータスの詳細は「4.3.1 ノード登録」の[レスポンスパラメーター]を参照してください。
alarmstatus	string	アラームステータスによる絞り込み ・ Error：エラー ・ Warning：警告 ・ Info：情報 ・ Normal：通知なし
nodetag	string	ノードタグ名による絞り込み
uniqinfo	string	内部管理用
initialnodeid	integer	開始ノードID
nodenumber	integer	ノード取得件数

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Nodes	array	ノード情報
NodeId	integer	ノードID
Name	string	ノード名
Type	string	ノードタイプ
Model	string	モデル名
IpAddress	string	IPアドレス
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6
WebUrl	string	メインで使用するWebURL（機器のWebUIなど）
LogUrl	string	LogのURL PRIMERGYサーバーかつiRMCのバージョンがS5以降の場合に出力されます。

パラメーター	型	説明
		上記以外は、キーも出力されません。
Urls	array	その他のWebURL情報
Url	string	WebURL
UrlName	string	WebURL名
Description	string	説明
NodeTagList	array	ノードタグ情報
NodeTag	string	ノードタグ名
ManagementLanOption	object	管理LAN情報 サーバーのPXEブート時に使用する管理LANが出力されます。
ManagementLanMode	string	管理LAN指定モード ・ null：指定なし PXEブート時はスロット0のオーダーが小さいポートが使用されます。 ・ MACAddress：MACアドレス ・ Adapter：アダプター
AdapterInfo	object	管理LANとして使用するアダプターの情報
SlotIndex	integer	Slot番号
PortIndex	integer	ポート番号
Type	string	種別 ・ Onboard：オンボード ・ PCICard：PCIカード
MACAddress	string	管理LANとして使用するMACアドレス
RackInfo	object	ラック搭載位置情報
RackId	integer	搭載ラック ID
Name	string	ラック名
Position	integer	搭載位置（ユニット番号） ノードが占有する一番下のユニット番号が出力されます。
OccupySize	integer	ラック占有ユニット数
FloorInfo	object	フロア情報
FloorId	integer	フロア ID
Name	string	フロア名
DataCenterInfo	object	データセンター情報
DcId	integer	データセンター ID
Name	string	データセンター名
MountType	string	PDUのマウントタイプ ・ Rack：通常のノードと同様に搭載するタイプ ・ 0U：ラック横に搭載するタイプ
PduPosition	string	使用しません。
Outlet	array	PDUの接続情報一覧

パラメーター	型	説明
		現在は未サポートです。
PowerSocket	integer	ソケット番号 現在は未サポートです。
NodeId	integer	接続先のノード ID 現在は未サポートです。
SlotNum	integer	シャーシ内スロット番号 CXサーバー、BXサーバーブレード、コネクションブレードの場合、ノード情報取得時に自動的に設定されます。
ParentNodeId	integer	親ノードのノードID ノード情報取得時に自動的に設定されます。BXサーバーブレード、コネクションブレードの場合はBXシャーシのノード情報取得時に設定されます。
ParentFabricId	integer	所属するファブリックノードのノードID ファブリックスイッチの場合、ファブリックのノード情報取得時に自動的に設定されます。
ChildNodeList	array	子ノード情報 子ノードの関係となるノードが格納されます。
NodeId	integer	子ノードのノードID
Type	string	子ノードのノードタイプ
SlotNum	integer	シャーシ内スロット番号
Fabric	array	ファブリックを構成するスイッチノード情報
NodeId	integer	スイッチノードのノード ID
Status	string	ノードのステータス ・ Error:エラー ・ Warning:警告 ・ Unknown:通信不可 ・ Normal:正常 ・ Updating:通信中
PowerStatus	string	ノードのパワーステータス ・ On:電源投入状態 ・ Off:電源切断状態 ・ Standby:スタンバイ ・ Unknown:通信不可 ・ N/A:利用不可、メンテナンスモード ノードのパワーステータスの詳細は「4.3.1 ノード登録」の[レスポンスパラメーター]を参照してください。
AlarmStatus	string	ノードのアラームステータス 配下のノード(ChildNodeListまたはFabric)が存在する場合、配下のノードも含めて一番重大度が高いステータスを表示します。 ・ Error:エラー

パラメーター	型	説明
		・ Warning：警告 ・ Info：情報 ・ Normal：通知なし ステータスの優先度：Normal < Info < Warning < Error
MaintenanceMode	string	メンテナンスモード ・ Normal：通常モード ・ Maintenance：メンテナンスモード
NodeGroupId	integer	ノードグループID
NodeGroupName	string	ノードグループ名
UniqInfo	string	内部管理用特定情報
AdditionalData	object	内部管理情報
UpdateDate	string	最終更新時刻
InventoryUpdateDate	string	ノード情報取得日時
UpdateProgress	string	ノード情報取得の状態 ・ Complete：完了 ・ Updating：取得中 ・ Error：失敗
OsRefreshDate （ISM 3.0.0.010以降）	string	OS情報取得日時
EnabledGetELCMUpdInfo	boolean	eLCM Onlineアップデート情報取得の有効/無効 ・ False：無効（取得しない）（初期値） ・ True：有効（取得する）
IpmiMode	boolean	IPMIモード設定 PRIMERGY M7シリーズ、PRIMERGY RX1440 M2、PRIMERGY RX2450 M2、PRIMEQUEST 4000シリーズとの通信で使用するIPMIプロトコルの有効/無効状態を示します。 ・ False：無効（使用しない）（初期値） ・ True：有効（使用する）
SupportPeriod	object	保守期間
EndDate	string	保守終了日 YYYY-MM-DD（年-月-日）
Notification	integer	保守終了日の事前通知 保守終了日の何日前に通知するかを示します。
AllNodeNumber	integer	ノード件数
ReturnNodeNumber	integer	返却ノード件数
NextInitialNodeId	integer	次回開始ノードID

4.3.3 ノードの個別取得

[概要]

指定したノードの情報を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/{nodeid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Node	object	ノード情報
NodeId	integer	ノードID
Name	string	ノード名
Type	string	ノードタイプ
Model	string	モデル名
IpAddress	string	IPアドレス
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4:IPv4 ・ V6:IPv6
WebUrl	string	メインで使用するWebURL(機器のWebUIなど)
LogUrl	string	LogのURL PRIMERGYサーバーかつiRMCのバージョンがS5以降の場合に出力されます。 上記以外は、キーも出力されません。
Urls	array	その他のWebURL情報
Url	string	WebURL
UrlName	string	WebURL名
Description	string	説明
NodeTagList	array	ノードタグ情報
NodeTag	string	ノードタグ名
ManagementLanOption	object	管理LAN情報 サーバーのPXEブート時に使用する管理LANが出力されます。
ManagementLanMode	string	管理LAN指定モード ・ null:指定なし PXEブート時はスロット0のオーダーが小さいポートが使用されます。 ・ MACAddress:MACアドレス ・ Adapter:アダプター
AdapterInfo	object	管理LANとして使用するアダプターの情報
SlotIndex	integer	Slot番号
PortIndex	integer	ポート番号

パラメーター	型	説明
Type	string	種別 ・ Onboard:オンボード ・ PCICard:PCIカード
MACAddress	string	管理LANとして使用するMACアドレス
RackInfo	object	ラック搭載位置情報
RackId	integer	搭載ラック ID
Position	integer	搭載位置(ユニット番号) ノードが占有する一番下のユニット番号が出力されます。
OccupySize	integer	ラック占有ユニット数
MountType	string	PDUのマウントタイプ ・ Rack:通常のノードと同様に搭載するタイプ ・ 0U:ラック横に搭載するタイプ
PduPosition	string	使用しません。
Outlet	array	PDUの接続情報一覧 現在は未サポートです。
PowerSocket	integer	ソケット番号 現在は未サポートです。
NodeId	integer	接続先のノード ID 現在は未サポートです。
SlotNum	integer	シャーシ内スロット番号 CXサーバー、BXサーバーブレード、コネクションブレードの場合、ノード情報取得時に自動的に設定されます。
ParentNodeId	integer	親ノードのノードID ノード情報取得時に自動的に設定されます。BXサーバーブレード、コネクションブレードの場合はBXシャーシのノード情報取得時に設定されます。
ParentFabricId	integer	所属するファブリックノードのノードID ファブリックスイッチの場合、ファブリックのノード情報取得時に自動的に設定されます。
ChildNodeList	array	子ノード情報 子ノードの関係となるノードが格納されます。
NodeId	integer	子ノードのノードID
Type	string	子ノードのノードタイプ
SlotNum	integer	シャーシ内スロット番号
Fabric	array	ファブリックを構成するスイッチノード情報
NodeId	integer	スイッチノードのノード ID
Status	string	ノードのステータス ・ Error:エラー ・ Warning:警告 ・ Unknown:通信不可

パラメーター	型	説明
		・ Normal：正常 ・ Updating：通信中
PowerStatus	string	ノードのパワーステータス ・ On：電源投入状態 ・ Off：電源切断状態 ・ Standby：スタンバイ ・ Unknown：通信不可 ・ N/A：利用不可、メンテナンスモード ノードのパワーステータスの詳細は「4.3.1 ノード登録」の[レスポンスパラメーター]を参照してください。
AlarmStatus	string	ノードのアラームステータス 配下のノード（ChildNodeListまたはFabric）が存在する場合、配下のノードも含めて一番重大度が高いステータスを表示します。 ・ Error：エラー ・ Warning：警告 ・ Info：情報 ・ Normal：通知なし ステータスの優先度：Normal < Info < Warning < Error
MaintenanceMode	string	メンテナンスモード ・ Normal：通常モード ・ Maintenance：メンテナンスモード
NodeGroupId	integer	ノードグループID
UniqInfo	string	内部管理用特定情報
AdditionalData	object	内部管理情報
UpdateDate	string	最終更新時刻
InventoryUpdateDate	string	ノード情報取得日時
UpdateProgress	string	ノード情報取得の状態 ・ Complete：完了 ・ Updating：取得中 ・ Error：失敗
OsRefreshDate （ISM 3.0.0.010以降）	string	OS情報取得日時
EnabledGetELCMUpdInfo	boolean	eLCM Onlineアップデート情報取得の有効/無効 ・ False：無効（取得しない）（初期値） ・ True：有効（取得する）
IpmiMode	boolean	IPMIモード設定 PRIMERGY M7シリーズ、PRIMERGY RX1440 M2、PRIMERGY RX2450 M2、PRIMEQUEST 4000シリーズとの通信で使用するIPMIプロトコルの有効/無効状態を示します。

パラメーター			型	説明
				・ False：無効（使用しない）（初期値） ・ True：有効（使用する）
	SupportPeriod		object	保守期間
		EndDate	string	保守終了日 YYYY-MM-DD（年-月-日）
		Notification	integer	保守終了日の事前通知 保守終了日の何日前に通知するかを示します。

4.3.4 ノードの更新

[概要]

指定したノードの登録情報を更新します。

複数ノードに対して、登録情報を一括して更新する場合は、「4.3.36 ノードの一括更新」を参照してください。

[形式]

```
PATCH /nodes/{nodeid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター			型	説明
Node			object	ノード情報
	Name		string	ノード名 ISM で一意の名前を指定してください。
	Model		string	モデル名 機器のモデル名を指定してください。サポート機種の場合、正しいモデル名を指定しないと正常に動作しないことがあります。
	IpAddress		string	IPアドレス ISMで一意のIPアドレスを指定してください。
	IpVersion		string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6
	WebUrl		string	メインで使用するWebURL（機器のWebUIなど） キー省略可
	Urls		array	その他のWebURL情報 キー省略可
		Url	string	WebURL
		UrlName	string	WebURL名
	Description		string	説明 キー省略可

パラメーター	型	説明
NodeTagList	array	ノードタグ情報 キー省略可
NodeTag	string	ノードタグ名
ManagementLanOption	object	管理LAN情報 キー省略可 サーバーのPXEブート時に使用する管理LANを設定します。
ManagementLanMode	string	管理LAN指定モード ・ null:指定なし PXEブート時はスロット0のオーダーが小さいポートが使用されます。 ・ MACAddress:MACアドレスを指定 ・ Adapter:アダプターを指定
AdapterInfo	object	管理LANとして使用するアダプターの情報 指定モードが "Adapter" の場合、指定必須
SlotIndex	integer	Slot番号 オンボードの場合は 0 を指定します。
PortIndex	integer	ポート番号
Type	string	種別 ・ Onboard:オンボード ・ PCICard:PCIカード
MACAddress	string	管理LANとして使用するMACアドレス 指定モードが "MACAddress" の場合、指定必須 有効になっている場合のみ、入力形式のチェックを行います。
RackInfo	object	ラック搭載位置情報
RackId	integer	搭載ラックID 搭載ラックID、またはnullを指定します。 以下の場合、nullを指定してください。 ・ ラックに搭載していない場合 ・ 搭載しているラックがISMに登録されていない場合
Position	integer	搭載位置(ユニット番号) ノードが占有する一番下のユニット番号、またはnullを指定します。 以下の場合、nullを指定してください。 ・ ラックに搭載していない場合 ・ 搭載しているラックがISMに登録されていない場合 GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
OccupySize	integer	ラック占有ユニット数 ラック占有ユニット数、またはnullを指定します。 以下の場合、nullを指定してください。

パラメーター	型	説明
		・ ラックに搭載していない場合 ・ 搭載しているラックがISMに登録されていない場合
MountType	string	PDUのマウントタイプ キー省略可 ・ Rack：通常のノードと同様に搭載するタイプ ・ 0U：ラック横に搭載するタイプ
PduPosition	string	使用しません。 キー省略可
Outlet	array	PDUの接続情報一覧 キー省略可 現在は未サポートです。
PowerSocket	integer	ソケット番号 現在は未サポートです。
NodeId	integer	接続先のノード ID 現在は未サポートです。
EnabledGetELCMUpdInfo	boolean	eLCM Onlineアップデート情報取得の有効/無効 ・ False：無効（取得しない）（初期値） ・ True：有効（取得する）
IpmiMode	boolean	IPMIモード設定 PRIMERGY M7シリーズ、PRIMERGY RX1440 M2、PRIMERGY RX2450 M2、PRIMEQUEST 4000シリーズとの通信で使用するIPMIプロトコルの有効/無効状態を指定します。 ・ False：無効（使用しない）（初期値） ・ True：有効（使用する）
SupportPeriod	object	保守期間
EndDate	string	保守終了日 YYYY-MM-DD（年-月-日）
Notification	integer	保守終了日の事前通知 保守終了日の何日前に通知するかを指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Node	object	ノード情報
NodeId	integer	ノードID
Name	string	ノード名
Type	string	ノードタイプ
Model	string	モデル名
IpAddress	string	IPアドレス
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン

パラメーター	型	説明
		・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6
WebUrl	string	メインで使用するWebURL（機器のWebUIなど）
Urls	array	その他のWebURL情報
Url	string	WebURL
UrlName	string	WebURL名
Description	string	説明
NodeTagList	array	ノードタグ情報
NodeTag	string	ノードタグ名
ManagementLanOption	object	管理LAN情報 サーバーのPXEブート時に使用する管理LANが出力されます。
ManagementLanMode	string	管理LAN指定モード ・ null：指定なし PXEブート時はスロット0のオーダーが小さいポートが使用されます。 ・ MACAddress：MACアドレス ・ Adapter：アダプター
AdapterInfo	object	管理LANとして使用するアダプターの情報
SlotIndex	integer	Slot番号
PortIndex	integer	ポート番号
Type	string	種別 ・ Onboard：オンボード ・ PCICard：PCIカード
MACAddress	string	管理LANとして使用するMACアドレス
RackInfo	object	ラック搭載位置情報
RackId	integer	搭載ラック ID
Position	integer	搭載位置（ユニット番号） ノードが占有する一番下のユニット番号が出力されます。
OccupySize	integer	ラック占有ユニット数
MountType	string	PDUのマウントタイプ ・ Rack：通常のノードと同様に搭載するタイプ ・ 0U：ラック横に搭載するタイプ
PduPosition	string	使用しません。
Outlet	array	PDUの接続情報一覧 現在は未サポートです。
PowerSocket	integer	ソケット番号 現在は未サポートです。
NodeId	integer	接続先のノード ID 現在は未サポートです。

パラメーター	型	説明
SlotNum	integer	シャーシ内スロット番号 CXサーバー、BXサーバーブレード、コネクションブレードの場合、ノード情報取得時に自動的に設定されます。
ParentNodeId	integer	親ノードのノードID ノード情報取得時に自動的に設定されます。BXサーバーブレード、コネクションブレードの場合はBXシャーシのノード情報取得時に設定されます。
ParentFabricId	integer	所属するファブリックノードのノードID ファブリックスイッチの場合、ファブリックのノード情報取得時に自動的に設定されます。
ChildNodeList	array	子ノード情報 子ノードの関係となるノードが格納されます。
NodeId	integer	子ノードのノードID
Type	string	子ノードのノードタイプ
SlotNum	integer	シャーシ内スロット番号
Fabric	array	ファブリックを構成するスイッチノード情報
NodeId	integer	スイッチノードのノード ID
Status	string	ノードのステータス ・ Error：エラー ・ Warning：警告 ・ Unknown：通信不可 ・ Normal：正常 ・ Updating：通信中
PowerStatus	string	ノードのパワーステータス ・ On：電源投入状態 ・ Off：電源切断状態 ・ Standby：スタンバイ ・ Unknown：通信不可 ・ N/A：利用不可、メンテナンスモード ノードのパワーステータスの詳細は「4.3.1 ノード登録」の[レスポンスパラメーター]を参照してください。
AlarmStatus	string	ノードのアラームステータス 配下のノード（ChildNodeListまたはFabric）が存在する場合、配下のノードも含めて一番重大度が高いステータスを表示します。 ・ Error：エラー ・ Warning：警告 ・ Info：情報 ・ Normal：通知なし ステータスの優先度：Normal < Info < Warning < Error

パラメーター	型	説明
MaintenanceMode	string	メンテナンスモード ・ Normal：通常モード ・ Maintenance：メンテナンスモード
NodeGroupId	integer	ノードグループID
UniqInfo	string	内部管理用特定情報
AdditionalData	object	内部管理情報
UpdateDate	string	最終更新時刻
EnabledGetELCMUpdInfo	boolean	eLCM Onlineアップデート情報取得の有効/無効 ・ False：無効（取得しない）（初期値） ・ True：有効（取得する）
IpmiMode	boolean	IPMIモード設定 PRIMERGY M7シリーズ、PRIMERGY RX1440 M2、PRIMERGY RX2450 M2、PRIMEQUEST 4000シリーズとの通信で使用するIPMIプロトコルの有効/無効状態を示します。 ・ False：無効（使用しない）（初期値） ・ True：有効（使用する）
SupportPeriod	object	保守期間
EndDate	string	保守終了日 YYYY-MM-DD（年-月-日）
Notification	integer	保守終了日の事前通知 保守終了日の何日前に通知するかを示します。

[注意事項]

- 以下の値の変更はISM管理者のみ実行可能です。

  RackId, Position, OccupySize, MountType, PduPosition

- 先頭がアンダーバー "_" で始まるノード名は、ISM で使用しているため、使用できません。
- ノード名には、以下の文字は使用できません。

  スラッシュ(/)、バックスラッシュ(¥)、コロン(:)、アスタリスク(*)、クエスチョンマーク(?)、ダブルクォーテーション(")、山括弧(<>)、パイプライン(|)

- GUIで表示する場合、以下の制御が行われます。

  ー ラック搭載位置情報の搭載位置

  ノードタイプがfacilityの場合、101を指定してください。ラックCDUとして、ラックの上部に表示されます。

  ノードタイプがpduまたはintelligent-pduであり、かつPDUマウントタイプが0Uの場合、201-204を指定してください。0U PDUとして、ラック横に表示されます。

  ー ラック搭載位置情報のラック占有ユニット数

  高さが 44.5mm×ラック占有ユニット数のノードとして表示されます。

4.3.5 ノード削除

[概要]

指定したノードを削除します。

[形式]

```
DELETE /nodes/{nodeid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- ISM管理者のみ実行可能です。

4.3.6 ラック登録

[概要]

ラックを登録します。

[形式]

```
POST /racks
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Rack	object	ラック情報
Name	string	ラック名 ISM で一意の名前を指定してください。
Unit	integer	ユニットサイズ GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
Width	integer	ラックの幅 単位はミリメートル GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
Depth	integer	ラックの奥行き 単位はミリメートル GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
Height	integer	ラックの高さ 単位はミリメートル GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
FloorId	integer	ラックが設置されているフロア ID

パラメーター	型	説明
		省略可
Angle	integer	ラックの配置角度 省略可 GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
Xposition	integer	ラックが設置されている X 位置 単位はミリメートル 省略可 平面図で右向きに増加。GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
Yposition	integer	ラックが設置されている Y 位置 単位はミリメートル 省略可 平面図で下向きに増加。GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
Description	string	説明 省略可

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Rack	object	ラック情報
RackId	integer	ラック ID
Name	string	ラック名
Unit	integer	ユニットサイズ
Width	integer	ラックの幅 単位はミリメートル
Depth	integer	ラックの奥行き 単位はミリメートル
Height	integer	ラックの高さ 単位はミリメートル
FloorId	integer	ラックが設置されているフロア ID
Angle	integer	ラックの配置角度
Xposition	integer	ラックが設置されている X 位置 単位はミリメートル
Yposition	integer	ラックが設置されている Y 位置 単位はミリメートル
Description	string	説明
Status	string	ラックのステータス 搭載されているノードの一番重大度が高いステータスを表示します。

パラメーター		型	説明
			ステータスの優先度:Updating < Normal < Unknown < Warning < Error
	AlarmStatus	string	ラックのアラームステータス 搭載されているノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Normal < Info < Warning < Error
	UpdateDate	string	最終更新時刻

[注意事項]

- ISM管理者のみ実行可能です。
- GUIで表示する場合、以下のように設定してください。
  - ユニットサイズは10 - 50の範囲で設定してください。
  - ラックの幅は1-3000の範囲で設定してください。500以下の場合、GUIでは500mmで表示されます。
  - ラックの奥行きは1-3000の範囲で設定してください。700以下の場合、GUIでは700mmで表示されます。
  - ラックの高さは1-3000の範囲で設定してください。ユニットサイズを元に自動計算した値より小さい場合、自動計算の値で表示されます。

    自動計算:ラックの底板と天板(110mm) + 1ユニットの高さ(44.5mm) × ユニットサイズ
  - ラックの配置角度は0, 90, 180, 270を設定してください。それ以外の場合、0, 90, 180, 270のどれかで表示されます。
  - ラックが設置されているX位置およびY位置はフロア内に収まる値を設定してください。範囲外を設定すると、GUIで表示されません。

4.3.7 ラックの一覧取得

[概要]

すべてのラックの情報を取得します。

クエリパラメーターにより、取得するラックを絞り込むことができます。

[形式]

```
GET /racks
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
floorid	integer	フロア ID による絞り込み
dcid	integer	データセンター ID による絞り込み

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Racks		array	ラック情報
	RackId	integer	ラック ID
	Name	string	ラック名
	Unit	integer	ユニットサイズ
	Width	integer	ラックの幅

パラメーター		型	説明
			単位はミリメートル
	Depth	integer	ラックの奥行き 単位はミリメートル
	Height	integer	ラックの高さ 単位はミリメートル
	FloorId	integer	ラックが設置されているフロア ID
	Angle	integer	ラックの配置角度
	Xposition	integer	ラックが設置されている X 位置 単位はミリメートル
	Yposition	integer	ラックが設置されている Y 位置 単位はミリメートル
	Description	string	説明
	Status	string	ラックのステータス 搭載されているノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Updating < Normal < Unknown < Warning < Error
	AlarmStatus	string	ラックのアラームステータス 搭載されているノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Normal < Info < Warning < Error
	UpdateDate	string	最終更新時刻

4.3.8 ラックの個別取得

[概要]

指定したラックの情報を取得します。

[形式]

```
GET /racks/{rackid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Rack		object	ラック情報
	RackId	integer	ラック ID
	Name	string	ラック名
	Unit	integer	ユニットサイズ
	Width	integer	ラックの幅 単位はミリメートル

パラメーター	型	説明
Depth	integer	ラックの奥行き 単位はミリメートル
Height	integer	ラックの高さ 単位はミリメートル
FloorId	integer	ラックが設置されているフロア ID
Angle	integer	ラックの配置角度
Xposition	integer	ラックが設置されている X 位置 単位はミリメートル
Yposition	integer	ラックが設置されている Y 位置 単位はミリメートル
Description	string	説明
Status	string	ラックのステータス 搭載されているノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Updating < Normal < Unknown < Warning < Error
AlarmStatus	string	ラックのアラームステータス 搭載されているノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Normal < Info < Warning < Error
UpdateDate	string	最終更新時刻
Nodes	array	ラックに搭載されているノード情報
NodeId	integer	ノードID
Name	string	ノード名
Type	string	ノードタイプ
RackInfo	object	ラック搭載位置情報
RackId	integer	搭載ラック ID
Position	integer	搭載位置(ユニット番号) ノードが占有する一番下のユニット番号が出力されます。
OccupySize	integer	ノードのラック占有数
MountType	string	PDUのマウントタイプ ・ Rack:通常のノードと同様に搭載するタイプ ・ 0U:ラック横に搭載するタイプ
PduPosition	string	使用しません。
Outlet	array	PDUの接続情報一覧 現在は未サポートです。
PowerSocket	integer	ソケット番号 現在は未サポートです。
NodeId	integer	接続先のノード ID 現在は未サポートです。
SlotNum	integer	シャーシ内スロット番号

パラメーター			型	説明
				CXサーバー、BXサーバーブレード、コネクションブレードの場合、ノード情報取得時に自動的に設定されます。
		ParentNodeId	integer	親ノードのノードID ノード情報取得時に自動的に設定されます。BXサーバーブレード、コネクションブレードの場合はBXシャーシのノード情報取得時に設定されます。
		ChildNodeList	array	子ノード情報 子ノードの関係となるノードが格納されます。
		NodeId	integer	子ノードのノードID
		Type	string	子ノードのノードタイプ
		SlotNum	integer	シャーシ内スロット番号
		Status	string	ノードのステータス ・ Error:エラー ・ Warning:警告 ・ Unknown:通信不可 ・ Normal:正常 ・ Updating:通信中
		PowerStatus	string	ノードのパワーステータス ・ On:電源投入状態 ・ Off:電源切断状態 ・ Standby:スタンバイ ・ Unknown:通信不可 ・ N/A:利用不可、メンテナンスモード ノードのパワーステータスの詳細は「4.3.1 ノード登録」の[レスポンスパラメーター]を参照してください。
		AlarmStatus	string	ノードのアラームステータス ・ Error:エラー ・ Warning:警告 ・ Info:情報 ・ Normal:通知なし
		UpdateDate	string	最終更新時刻

4.3.9 ラックの更新

[概要]

指定したラックの情報を更新します。

[形式]

```
PATCH /racks/{rackid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Rack	object	ラック情報
Name	string	ラック名 ISM で一意の名前を指定してください。
Unit	integer	ユニットサイズ GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
Width	integer	ラックの幅 単位はミリメートル GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
Depth	integer	ラックの奥行き 単位はミリメートル GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
Height	integer	ラックの高さ 単位はミリメートル GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
FloorId	integer	ラックが設置されているフロア ID 省略可
Angle	integer	ラックの配置角度 省略可 GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
Xposition	integer	ラックが設置されている X 位置 単位はミリメートル 省略可 平面図で右向きに増加。GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
Yposition	integer	ラックが設置されている Y 位置 単位はミリメートル 省略可 平面図で下向きに増加。GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
Description	string	説明 省略可

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Rack	object	ラック情報
RackId	integer	ラック ID

パラメーター		型	説明
	Name	string	ラック名
	Unit	integer	ユニットサイズ
	Width	integer	ラックの幅 単位はミリメートル
	Depth	integer	ラックの奥行き 単位はミリメートル
	Height	integer	ラックの高さ 単位はミリメートル
	FloorId	integer	ラックが設置されているフロア ID
	Angle	integer	ラックの配置角度
	Xposition	integer	ラックが設置されている X 位置 単位はミリメートル
	Yposition	integer	ラックが設置されている Y 位置 単位はミリメートル
	Description	string	説明
	Status	string	ラックのステータス 搭載されているノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Updating < Normal < Unknown < Warning < Error
	AlarmStatus	string	ラックのアラームステータス 搭載されているノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Normal < Info < Warning < Error
	UpdateDate	string	最終更新時刻

[注意事項]

- ISM管理者のみ実行可能です。
- GUIで表示する場合、以下のように設定してください。
  - ユニットサイズは10 - 50の範囲で設定してください。
  - ラックの幅は1-3000の範囲で設定してください。500以下の場合、GUIでは500mmで表示されます。
  - ラックの奥行きは1-3000の範囲で設定してください。700以下の場合、GUIでは700mmで表示されます。
  - ラックの高さは1-3000の範囲で設定してください。ユニットサイズを元に自動計算した値より小さい場合、自動計算の値で表示されます。

    自動計算:ラックの底板と天板(110mm) + 1ユニットの高さ(44.5mm) × ユニットサイズ
  - ラックの配置角度は0, 90, 180, 270を設定してください。それ以外の場合、0, 90, 180, 270のどれかで表示されます。
  - ラックが設置されているX位置およびY位置はフロア内に収まる値を設定してください。範囲外を設定すると、GUIで表示されません。

4.3.10 ラック削除

[概要]

指定したラックを削除します。

[形式]

```
DELETE /racks/{rackid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

・ ISM管理者のみ実行可能です。

4.3.11 フロア登録

[概要]

フロアを登録します。

[形式]

```
POST /floors
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
Floor		object	フロア情報
	Name	string	フロア名 ISM で一意の名前を指定してください。
	DcId	integer	フロアが配置されているデータセンター ID 省略可
	Xsize	integer	フロアの X 幅 単位はメートル GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
	Ysize	integer	フロアの Y 幅 単位はメートル GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
	Description	string	説明 省略可

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Floor		object	フロア情報
	FloorId	integer	フロア ID
	Name	string	フロア名
	DcId	integer	フロアが配置されているデータセンター ID
	Xsize	integer	フロアの X 幅 単位はメートル
	Ysize	integer	フロアの Y 幅 単位はメートル
	Description	string	説明
	Status	string	フロアのステータス フロア内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Updating < Normal < Unknown < Warning < Error
	AlarmStatus	string	フロアのアラームステータス フロア内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Normal < Info < Warning < Error
	UpdateDate	string	最終更新時刻

[注意事項]

- ISM管理者のみ実行可能です。
- GUIで表示する場合、以下のように設定してください。

  フロアのX幅およびY幅は2-20の範囲で設定してください。範囲外を設定した場合、GUIのフロアビューおよび3Dビューが表示されません。

4.3.12 フロアの一覧取得

[概要]

すべてのフロアの情報を取得します。

クエリパラメーターにより、取得するフロアを絞り込むことができます。

[形式]

```
GET /floors
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
dcid	integer	データセンター ID による絞り込み

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Floors	array	フロア情報

パラメーター		型	説明
	FloorId	integer	フロア ID
	Name	string	フロア名
	DcId	integer	フロアが配置されているデータセンター ID
	Xsize	integer	フロアの X 幅 単位はメートル
	Ysize	integer	フロアの Y 幅 単位はメートル
	Description	string	説明
	Status	string	フロアのステータス フロア内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Updating < Normal < Unknown < Warning < Error
	AlarmStatus	string	フロアのアラームステータス フロア内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Normal < Info < Warning < Error
	UpdateDate	string	最終更新時刻

4.3.13 フロアの個別取得

[概要]

指定したフロア情報を取得します。

[形式]

```
GET /floors/{floorid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Floor		object	フロア情報
	FloorId	integer	フロア ID
	Name	string	フロア名
	DcId	integer	フロアが配置されているデータセンター ID
	Xsize	integer	フロアの X 幅 単位はメートル
	Ysize	integer	フロアの Y 幅 単位はメートル
	Description	string	説明
	Status	string	フロアのステータス フロア内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。

パラメーター	型	説明
		ステータスの優先度:Updating < Normal < Unknown < Warning < Error
AlarmStatus	string	フロアのアラームステータス フロア内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Normal < Info < Warning < Error
UpdateDate	string	最終更新時刻
Racks	array	フロア内のラック情報
RackId	integer	ラック ID
Name	string	ラック名
Unit	integer	ユニットサイズ
Width	integer	ラックの幅 単位はミリメートル
Depth	integer	ラックの奥行き 単位はミリメートル
Height	integer	ラックの高さ 単位はミリメートル
FloorId	integer	ラックが設置されているフロア ID
Angle	integer	ラックの配置角度
Xposition	integer	ラックが設置されている X 位置 単位はミリメートル
Yposition	integer	ラックが設置されている Y 位置 単位はミリメートル
Description	string	説明
Status	string	ラックのステータス 搭載されているノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Updating < Normal < Unknown < Warning < Error
AlarmStatus	string	ラックのアラームステータス 搭載されているノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Normal < Info < Warning < Error
UpdateDate	string	最終更新時刻

4.3.14 フロアの更新

[概要]

指定したフロアの情報を更新します。

[形式]

```
PATCH /floors/{floorid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
Floor		object	フロア情報
	Name	string	フロア名 ISM で一意の名前を指定してください。
	DcId	integer	フロアが配置されているデータセンター ID 省略可
	Xsize	integer	フロアの X 幅 単位はメートル GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
	Ysize	integer	フロアの Y 幅 単位はメートル GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
	Description	string	説明 省略可

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Floor		object	フロア情報
	FloorId	integer	フロア ID
	Name	string	フロア名
	DcId	integer	フロアが配置されているデータセンター ID
	Xsize	integer	フロアの X 幅 単位はメートル
	Ysize	integer	フロアの Y 幅 単位はメートル
	Description	string	説明
	Status	string	フロアのステータス フロア内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Updating < Normal < Unknown < Warning < Error
	AlarmStatus	string	フロアのアラームステータス フロア内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Normal < Info < Warning < Error
	UpdateDate	string	最終更新時刻

[注意事項]

・ ISM管理者のみ実行可能です。

・ GUIで表示する場合、以下のように設定してください。

フロアのX幅およびY幅は2-20の範囲で設定してください。範囲外を設定した場合、GUIのフロアビューおよび3Dビューが表示されません。

4.3.15 フロア削除

[概要]

指定したフロアを削除します。

[形式]

```
DELETE /floors/{floorid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

・ ISM管理者のみ実行可能です。

4.3.16 データセンター登録

[概要]

データセンターを登録します。

[形式]

```
POST /datacenters
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
DataCenter		object	データセンター情報
	Name	string	データセンター名 ISM で一意の名前を指定してください。
	Description	string	説明 省略可

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
DataCenter		object	データセンター情報
	DcId	integer	データセンター ID
	Name	string	データセンター名
	Description	string	説明
	Status	string	データセンターのステータス データセンター内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Updating < Normal < Unknown < Warning < Error
	AlarmStatus	string	データセンターのアラームステータス データセンター内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Normal < Info < Warning < Error
	UpdateDate	string	最終更新時刻

[注意事項]

- ISM管理者のみ実行可能です。

4.3.17 データセンターの一覧取得

[概要]

すべてのデータセンターの情報を取得します。

[形式]

```
GET /datacenters
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
DataCenters		array	データセンター情報
	DcId	integer	データセンター ID
	Name	string	データセンター名
	Description	string	説明
	Status	string	データセンターのステータス データセンター内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Updating < Normal < Unknown < Warning < Error
	AlarmStatus	string	データセンターのアラームステータス データセンター内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。

パラメーター		型	説明
			ステータスの優先度:Normal < Info < Warning < Error
	UpdateDate	string	最終更新時刻

4.3.18 データセンターの個別取得

[概要]

指定したデータセンター情報を取得します。

[形式]

```
GET /datacenters/{datacenterid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター			型	説明
DataCenter			object	データセンター情報
	DcId		integer	データセンター ID
	Name		string	データセンター名
	Description		string	説明
	Status		string	データセンターのステータス データセンター内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Updating < Normal < Unknown < Warning < Error
	AlarmStatus		string	データセンターのアラームステータス データセンター内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Normal < Info < Warning < Error
	UpdateDate		string	最終更新時刻
	Floors		array	データセンター内のフロア情報
		FloorId	integer	フロア ID
		Name	string	フロア名
		DcId	integer	フロアが配置されているデータセンター ID
		Xsize	integer	フロアの X 幅 単位はメートル
		Ysize	integer	フロアの Y 幅 単位はメートル
		Description	string	説明
		Status	string	フロアのステータス フロア内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。

パラメーター			型	説明
				ステータスの優先度:Updating < Normal < Unknown < Warning < Error
		AlarmStatus	string	フロアのアラームステータス フロア内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Normal < Info < Warning < Error
		UpdateDate	string	最終更新時刻

4.3.19 データセンターの更新

[概要]

指定したデータセンターの情報を更新します。

[形式]

```
PATCH /datacenters/{datacenterid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
DataCenter		object	データセンター情報
	Name	string	データセンター名 ISM で一意の名前を指定してください。
	Description	string	説明 省略可

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
DataCenter		object	データセンター情報
	DcId	integer	データセンター ID
	Name	string	データセンター名
	Description	string	説明
	Status	string	データセンターのステータス データセンター内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Updating < Normal < Unknown < Warning < Error
	AlarmStatus	string	データセンターのアラームステータス データセンター内のノードの一番重大度が高いステータスを表示します。 ステータスの優先度:Normal < Info < Warning < Error
	UpdateDate	string	最終更新時刻

[注意事項]

・ ISM管理者のみ実行可能です。

4.3.20 データセンター削除

[概要]

指定したデータセンターを削除します。

[形式]

```
DELETE /datacenters/{datacenterid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

・ ISM管理者のみ実行可能です。

4.3.21 ノードグループ登録

[概要]

ノードグループを登録します。

[形式]

```
POST /nodegroups
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
NodeGroup		object	ノードグループ情報
	Name	string	ノードグループ名 ISM で一意の名前を指定してください。
	ParentGroupId	integer	親ノードグループ 省略可 現在は未サポートです。
	Type	integer	ノードグループタイプ 省略可 現在は 0 のみサポートです。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
NodeGroup	object	ノードグループ情報
NodeGroupId	integer	ノードグループ ID
Name	string	ノードグループ名
ParentGroupId	integer	親ノードグループ 現在は未サポートです。
Type	integer	ノードグループタイプ ・ 0:ユーザー作成のノードグループ ・ 1:ISMDefaultGroup ・ 2:ISMSharedGroup
UpdateDate	string	最終更新時刻

[注意事項]

- ISM管理者のみ実行可能です。
- ノードグループ作成時に、ノードを指定することはできません。ノードをノードグループに設定する場合、ノードグループを作成後にノードのノードグループ割当てを行ってください。
- 以下のノードグループ名は、ISM で使用しているため、使用できません。
  - 先頭がアンダーバー "_" で始まる名前
  - ISMDefaultGroup
  - ISMSharedGroup

4.3.22 ノードグループの一覧取得

[概要]

ユーザーが属しているユーザーグループで管理しているすべてのノードグループの情報を取得します。

クエリパラメーターにより、取得するノードグループを絞り込むことができます。

[形式]

```
GET /nodegroups
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
type	integer	ノードグループタイプによる絞り込み

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
NodeGroups	array	ノードグループ情報
NodeGroupId	integer	ノードグループ ID
Name	string	ノードグループ名
ParentGroupId	integer	親ノードグループ

パラメーター	型	説明
		現在は未サポートです。
Type	integer	ノードグループタイプ ・ 0:ユーザー作成のノードグループ ・ 1:ISMDefaultGroup ・ 2:ISMSharedGroup
Nodes	array	ノードグループ内のノード情報
NodeId	integer	ノード ID
NodeGroups	array	ノードグループ内のノードグループ情報 ISMDefaultGroup のみ情報が格納されます。
NodeGroupId	integer	ノードグループ ID
UpdateDate	string	最終更新時刻

4.3.23 ノードグループの個別取得

[概要]

指定したノードグループの情報を取得します。

[形式]

```
GET /nodegroups/{nodegroupid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
NodeGroup	object	ノードグループ情報
NodeGroupId	integer	ノードグループ ID
Name	string	ノードグループ名
ParentGroupId	integer	親ノードグループ 現在は未サポートです。
Type	integer	ノードグループタイプ ・ 0:ユーザー作成のノードグループ ・ 1:ISMDefaultGroup ・ 2:ISMSharedGroup
Nodes	array	ノードグループ内のノード情報
NodeId	integer	ノード ID
NodeGroups	array	ノードグループ内のノードグループ情報 ISMDefaultGroup のみ情報が格納されます。
NodeGroupId	integer	ノードグループ ID
UpdateDate	string	最終更新時刻

4.3.24 ノードグループの更新

[概要]

指定したノードグループ情報を更新します。

[形式]

```
PATCH /nodegroups/{nodegroupid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
NodeGroup		object	ノードグループ情報
	Name	string	ノードグループ名 ISM で一意の名前を指定してください。
	ParentGroupId	integer	親ノードグループ 省略可 現在は未サポートです。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
NodeGroup		object	ノードグループ情報
	NodeGroupId	integer	ノードグループ ID
	Name	string	ノードグループ名
	ParentGroupId	integer	親ノードグループ 現在は未サポートです。
	Type	integer	ノードグループタイプ ・ 0:ユーザー作成のノードグループ ・ 1:ISMDefaultGroup ・ 2:ISMSharedGroup
	UpdateDate	string	最終更新時刻

[注意事項]

- ISM管理者のみ実行可能です。
- ISMDefaultGroupおよびISMSharedGroupを指定することはできません。
- 以下のノードグループ名は、ISM で使用しているため、使用できません。
  - 先頭がアンダーバー "_" で始まる名前
  - ISMDefaultGroup
  - ISMSharedGroup

4.3.25 ノードグループ削除

[概要]

ノードグループを削除します。

[形式]

```
DELETE /nodegroups/{nodegroupid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- ISM管理者のみ実行可能です。
- ISMDefaultGroupおよびISMSharedGroupを指定することはできません。

4.3.26 ノードのノードグループ割当て

[概要]

指定したノードを指定したノードグループに割り当てます。

[形式]

```
POST /nodes/nodegroups/assign
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
Nodes		array	ノードのノードグループ割当て情報
	NodeId	integer	ノード ID
	NodeGroupId	integer	ノードグループ ID ISMSharedGroup は指定できません。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Nodes		array	ノードのノードグループ割当て情報
	NodeId	integer	ノード ID
	NodeGroupId	integer	ノードグループ ID

[注意事項]

- ISM管理者のみ実行可能です。
- 親子関係にあるノード (ParentNodeId, ParentFabricId, ChildNodeList, Fabricで紐付いているノード同士) は同じノードグループとなるように指定してください。

4.3.27 アカウント登録

[概要]

ノードにアカウント情報を登録します。

ノードにアクセスするための情報を設定してください。必要とするアカウント情報はマニュアルを参照してください。

[形式]

```
POST /nodes/{nodeid}/accounts
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Account	object	アカウント情報
AccountType	string	アカウントタイプ 指定したアカウントタイプに関連する情報のみ使用されます。 ・ Ipmi:iRMC/BMC/MMBなど、IPMIで通信する際に使用されます。 ・ Ssh:Sshで通信する際に使用されます。 ・ Ssh-Privileged:Sshログイン後に権限昇格が必要な機種で使用されます。 ・ SnmpV1:SNMP v1で通信する際に使用されます。 ・ SnmpV2:SNMP v2cで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV3:SNMP v3で通信する際に使用されます。 ・ Https:HTTPS(REST)で通信する際に使用されます。
PortNum	integer	使用ポート番号 ポート番号、またはnullを指定します。 nullを指定した場合、プロトコルの標準ポート番号が設定されます。 ・ IPMI(623番) ・ SSH(22番) ・ SNMP(161番) ・ HTTPS(443番)
AccountName	string	ユーザーアカウント名 アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3, Https

パラメーター	型	説明
Password	string	アカウントパスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3(セキュリティレベルが"authPriv"または"authNoPriv"の場合のみ), Https SnmpV3の場合、暗号化前の文字列長は最低8文字
Property	object	アカウントタイプに応じた追加情報
Ipmi	string	Ipmi 情報 キー省略可 現在は未サポートです。
Ssh	string	Ssh 情報 キー省略可 現在は未サポートです。
SnmpV1	object	SnmpV1 情報 キー省略可 アカウントタイプがSnmpV1の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV2	object	SnmpV2 情報 キー省略可 アカウントタイプがSnmpV2の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV3	object	SnmpV3 情報 キー省略可 アカウントタイプがSnmpV3の場合、使用されます。
SecurityLevel	string	セキュリティレベル ・ authPriv:認証・暗号化あり ・ authNoPriv:認証あり、暗号化なし ・ noAuthNoPriv:認証・暗号化なし
AuthProtocol	string	認証プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" または "authNoPriv" の場合に使用されます。 アカウント情報はAccountName、パスワードはPasswordに指定してください。 ・ MD5:MD5による認証 ・ SHA:SHAによる認証
PrivProtocol	string	暗号化プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 ・ DES:DESによる暗号化 ・ AES:AESによる暗号化
PrivPassword	string	暗号化パスワード

パラメーター	型	説明
		「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 暗号化前の文字列長は最低8文字
ContextName	string	コンテキスト名
EngineId	string	エンジン ID

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Account	object	アカウント情報
AccountId	integer	アカウント ID
NodeId	integer	ノード ID
AccountType	string	アカウントタイプ ・ Ipmi：iRMC/BMC/MMBなど、IPMIで通信する際に使用されます。 ・ Ssh：Sshで通信する際に使用されます。 ・ Ssh-Privileged：Sshログイン後に権限昇格が必要な機種で使用されます。 ・ SnmpV1：SNMP v1で通信する際に使用されます。 ・ SnmpV2：SNMP v2cで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV3：SNMP v3で通信する際に使用されます。 ・ Https：HTTPS(REST)で通信する際に使用されます。
PortNum	integer	使用ポート番号
AccountName	string	ユーザーアカウント名 アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3, Https
Property	object	アカウントタイプに応じた追加情報
Ipmi	string	Ipmi 情報 現在は未サポートです。
Ssh	string	Ssh 情報 現在は未サポートです。
SnmpV1	object	SnmpV1 情報 アカウントタイプがSnmpV1の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV2	object	SnmpV2 情報 アカウントタイプがSnmpV2の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV3	object	SnmpV3 情報 アカウントタイプがSnmpV3の場合、使用されます。
SecurityLevel	string	セキュリティレベル ・ authPriv：認証・暗号化あり

パラメーター	型	説明
		・ authNoPriv：認証あり、暗号化なし ・ noAuthNoPriv：認証・暗号化なし
AuthProtocol	string	認証プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" または "authNoPriv" の場合に使用されます。 ・ MD5：MD5による認証 ・ SHA：SHAによる認証
PrivProtocol	string	暗号化プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 ・ DES：DESによる暗号化 ・ AES：AESによる暗号化
ContextName	string	コンテキスト名
EngineId	string	エンジン ID
UpdateDate	string	最終更新時刻

[注意事項]

・ 対象ノードがPRIMERGY（CX1430 M1 を除く）の場合、同時にIpmi／Https（アカウントタイプ）両方を登録してください。このとき、Ipmi／Httpsに同じユーザーアカウント名とアカウントパスワードを設定してください。

4.3.28 アカウントの一覧取得

[概要]

指定されたノードのすべてのアカウント情報を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/{nodeid}/accounts
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Accounts	array	アカウント情報
AccountId	integer	アカウント ID
NodeId	integer	ノード ID
AccountType	string	アカウントタイプ ・ Ipmi：iRMC/BMC/MMBなど、IPMIで通信する際に使用されます。 ・ Ssh：Sshで通信する際に使用されます。 ・ Ssh-Privileged：Sshログイン後に権限昇格が必要な機種で使用されます。 ・ SnmpV1：SNMP v1で通信する際に使用されます。

パラメーター	型	説明
		・ SnmpV2：SNMP v2cで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV3：SNMP v3で通信する際に使用されます。 ・ Https：HTTPS(REST)で通信する際に使用されます。
AccountName	string	ユーザーアカウント名 アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3, Https
UpdateDate	string	最終更新時刻

4.3.29 アカウント情報の個別取得

[概要]

指定したノードのアカウント情報を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/{nodeid}/accounts/{accountid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Account	object	アカウント情報
AccountId	integer	アカウント ID
NodeId	integer	ノード ID
AccountType	string	アカウントタイプ ・ Ipmi：iRMC/BMC/MMBなど、IPMIで通信する際に使用されます。 ・ Ssh：Sshで通信する際に使用されます。 ・ Ssh-Privileged：Sshログイン後に権限昇格が必要な機種で使用されます。 ・ SnmpV1：SNMP v1で通信する際に使用されます。 ・ SnmpV2：SNMP v2cで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV3：SNMP v3で通信する際に使用されます。 ・ Https：HTTPS(REST)で通信する際に使用されます。
PortNum	integer	使用ポート番号
AccountName	string	ユーザーアカウント名 アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3, Https
Property	object	アカウントタイプに応じた追加情報
Ipmi	string	Ipmi 情報 現在は未サポートです。

パラメーター	型	説明
Ssh	string	Ssh 情報 現在は未サポートです。
SnmpV1	object	SnmpV1 情報 アカウントタイプがSnmpV1の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV2	object	SnmpV2 情報 アカウントタイプがSnmpV2の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV3	object	SnmpV3 情報 アカウントタイプがSnmpV3の場合、使用されます。
SecurityLevel	string	セキュリティレベル ・ authPriv:認証・暗号化あり ・ authNoPriv:認証あり、暗号化なし ・ noAuthNoPriv:認証・暗号化なし
AuthProtocol	string	認証プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" または "authNoPriv" の場合に使用されます。 ・ MD5:MD5による認証 ・ SHA:SHAによる認証
PrivProtocol	string	暗号化プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 ・ DES:DESによる暗号化 ・ AES:AESによる暗号化
ContextName	string	コンテキスト名
EngineId	string	エンジン ID
UpdateDate	string	最終更新時刻

4.3.30 アカウント情報の更新

[概要]

指定したノードのアカウント情報を更新します。

[形式]

```
PATCH /nodes/{nodeid}/accounts/{accountid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Account	object	アカウント情報

パラメーター	型	説明
AccountType	string	アカウントタイプ 指定したアカウントタイプに関連する情報のみ使用されます。 ・ Ipmi：iRMC/BMC/MMBなど、IPMIで通信する際に使用されます。 ・ Ssh：Sshで通信する際に使用されます。 ・ Ssh-Privileged：Sshログイン後に権限昇格が必要な機種で使用されます。 ・ SnmpV1：SNMP v1で通信する際に使用されます。 ・ SnmpV2：SNMP v2cで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV3：SNMP v3で通信する際に使用されます。 ・ Https：HTTPS(REST)で通信する際に使用されます。
PortNum	integer	使用ポート番号 ポート番号、またはnullを指定します。 nullを指定した場合、プロトコルの標準ポート番号が設定されます。 ・ IPMI（623番） ・ SSH（22番） ・ SNMP（161番） ・ HTTPS（443番）
AccountName	string	ユーザーアカウント名 アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3, Https
Password	string	アカウントパスワード 更新しない場合、キー省略可 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3(セキュリティレベルが"authPriv"または"authNoPriv"の場合のみ), Https SnmpV3の場合、暗号化前の文字列長は最低8文字
NewPassword	string	新アカウントパスワード PRIMERGY M7シリーズ、PRIMERGY RX1440 M2、PRIMERGY RX2450 M2、PRIMERGY 1WAY M6、PRIMEQUEST 4000シリーズ（iRMC）の工場出荷時のパスワードを新アカウントパスワードにする場合に指定します。 すでに、パスワードを変更済の場合は指定不要です。 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。アカウントタイプが、Httpsの場合に使用されます。
Property	object	アカウントタイプに応じた追加情報 更新しない場合、キー省略可
Ipmi	string	Ipmi 情報 キー省略可

パラメーター	型	説明
		現在は未サポートです。
Ssh	string	Ssh 情報 キー省略可 現在は未サポートです。
SnmpV1	object	SnmpV1 情報 キー省略可 アカウントタイプがSnmpV1の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV2	object	SnmpV2 情報 キー省略可 アカウントタイプがSnmpV2の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV3	object	SnmpV3 情報 キー省略可 アカウントタイプがSnmpV3の場合、使用されます。
SecurityLevel	string	セキュリティレベル ・ authPriv：認証・暗号化あり ・ authNoPriv：認証あり、暗号化なし ・ noAuthNoPriv：認証・暗号化なし
AuthProtocol	string	認証プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" または "authNoPriv" の場合に使用されます。 アカウント情報はAccountName、パスワードはPasswordに指定してください。 ・ MD5：MD5による認証 ・ SHA：SHAによる認証
PrivProtocol	string	暗号化プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 ・ DES：DESによる暗号化 ・ AES：AESによる暗号化
PrivPassword	string	暗号化パスワード 更新しない場合、キー省略可 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 暗号化前の文字列長は最低8文字
ContextName	string	コンテキスト名
EngineId	string	エンジン ID

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Account	object	アカウント情報
AccountId	integer	アカウント ID
NodeId	integer	ノード ID
AccountType	string	アカウントタイプ ・ Ipmi：iRMC/BMC/MMBなど、IPMIで通信する際に使用されます。 ・ Ssh：Sshで通信する際に使用されます。 ・ Ssh-Privileged：Sshログイン後に権限昇格が必要な機種で使用されます。 ・ SnmpV1：SNMP v1で通信する際に使用されます。 ・ SnmpV2：SNMP v2cで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV3：SNMP v3で通信する際に使用されます。 ・ Https：HTTPS(REST)で通信する際に使用されます。
PortNum	integer	使用ポート番号
AccountName	string	ユーザーアカウント名 アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3, Https
Property	object	アカウントタイプに応じた追加情報
Ipmi	string	Ipmi 情報 現在は未サポートです。
Ssh	string	Ssh 情報 現在は未サポートです。
SnmpV1	object	SnmpV1 情報 アカウントタイプがSnmpV1の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV2	object	SnmpV2 情報 アカウントタイプがSnmpV2の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV3	object	SnmpV3 情報 アカウントタイプがSnmpV3の場合、使用されます。
SecurityLevel	string	セキュリティレベル ・ authPriv：認証・暗号化あり ・ authNoPriv：認証あり、暗号化なし ・ noAuthNoPriv：認証・暗号化なし
AuthProtocol	string	認証プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" または "authNoPriv" の場合に使用されます。 ・ MD5：MD5による認証 ・ SHA：SHAによる認証

パラメーター				型	説明
			PrivProtocol	string	暗号化プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 ・ DES：DESによる暗号化 ・ AES：AESによる暗号化
			ContextName	string	コンテキスト名
			EngineId	string	エンジン ID
	UpdateDate			string	最終更新時刻

[注意事項]

・ 対象ノードがPRIMERGY（CX1430 M1 を除く）の場合、同時にIpmi／Https（アカウントタイプ）両方を更新してください。このとき、Ipmi／Httpsに同じユーザーアカウント名とアカウントパスワードを設定してください。

4.3.31 アカウント削除

[概要]

指定したノードのアカウント情報を削除します。

[形式]

```
DELETE /nodes/{nodeid}/accounts/{accountid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

4.3.32 ノードのアラーム解除

[概要]

指定したノードのアラームを解除します。

アラームを解除すると、ノードのアラームステータスはNormalになります。

[形式]

```
POST /nodes/{nodeid}/alarmstatus/deactivate
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- 配下のノード(ChildNodeListまたはFabric)が存在するノードの場合、配下のノードを含めて重大度が高いアラームステータスを表示しています。配下ノードのアラームステータスがNormalでない場合、アラーム解除をしてもアラームステータスはNormalになりません。配下のノードに対してアラーム解除を実行してください。

4.3.33 メンテナンスモードの変更

[概要]

ノードのメンテナンスモードを変更します。

メンテナンスモードが "Maintenance" のノードは監視・定期のノード情報取得・イベント通知が行われません。

[形式]

```
PATCH /nodes/{nodeid}/maintenancemode
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
Node		object	ノード情報
	MaintenanceMode	string	メンテナンスモード ・ Normal:メンテナンスモード無効 ・ Maintenance:メンテナンスモード有効

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Node		object	ノード情報
	MaintenanceMode	string	メンテナンスモード ・ Normal:メンテナンスモード無効 ・ Maintenance:メンテナンスモード有効

[注意事項]

- メンテナンスモードを変更可能なノードタイプについては、「4.3.1 ノード登録」の[ノードタイプ]を参照してください。

4.3.34 ノードタグの一覧取得

[概要]

ユーザーが属しているユーザーグループで管理しているすべてのノードタグの情報を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/nodetags
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
NodeTagList	array	ノードタグ情報
NodeTag	string	ノードタグ名

4.3.35 AIS Gatewayへのノード登録スクリプトファイル作成

[概要]

AIS Gatewayへのノード登録スクリプトファイルを作成してダウンロードURLを返却します。

対象ノードはユーザーが属しているユーザーグループで管理しているすべてのPRIMERGYサーバー（CX1430 M1 を除く）のみです。

[形式]

```
POST /nodes/aisgateway/scripts/download
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
AisGateway	object	AIS Gateway情報
ZipPassword	string	zipパスワード 暗号化したパスワードを指定します。暗号化の方法は「2.4 暗号化」を参照してください。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
AisGateway	object	AIS Gateway情報
DownloadUrl	string	ダウンロードURL
IncompleteNodeCount	integer	コメントアウトされているノードID数
IncompleteNodeList	array(integer)	コメントアウトされているノードID

[注意事項]

- IPアドレスが設定されていない、またはシリアル番号が取得されていないノードの行がコメントアウトされます。

4.3.36 ノードの一括更新

[概要]

指定した複数ノードに対して、登録情報を一括更新します。

[形式]

```
PATCH /nodes/nodes
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Nodes	array	ノード情報
NodeId	integer	ノードID
Node	object	ノード情報
Description	string	説明 キー省略可
Accounts	array	アカウント情報 ノードにアクセスするための情報を設定してください。
AccountType	string	アカウントタイプ 指定したアカウントタイプに関連する情報のみ使用されます。 ・ Ipmi：iRMC/BMC/MMBなど、IPMIで通信する際に使用されます。 ・ Ssh：Sshで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV1：SNMP v1で通信する際に使用されます。 ・ SnmpV2：SNMP v2cで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV3：SNMP v3で通信する際に使用されます。 ・ Https：HTTPS(REST)で通信する際に使用されます。
PortNum	integer	使用ポート番号 ポート番号、またはnullを指定します。 nullを指定した場合、プロトコルの標準ポート番号が設定されます。 ・ IPMI（623番） ・ SSH（22番） ・ SNMP（161番） ・ HTTPS（443番）
AccountName	string	ユーザーアカウント名 アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3, Https
Password	string	アカウントパスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3(セキュリティレベルが"authPriv"または"authNoPriv"の場合のみ), Https SnmpV3の場合、暗号化前の文字列長は最低8文字
Property	object	アカウントタイプに応じた追加情報
Ipmi	string	Ipmi 情報 現在は未サポートです。
Ssh	string	Ssh 情報 現在は未サポートです。
SnmpV1	object	SnmpV1 情報

パラメーター	型	説明
		アカウントタイプがSnmpV1の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV2	object	SnmpV2 情報 アカウントタイプがSnmpV2の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV3	object	SnmpV3 情報 アカウントタイプがSnmpV3の場合、使用されます。
SecurityLevel	string	セキュリティレベル ・ authPriv：認証・暗号化あり ・ authNoPriv：認証あり、暗号化なし ・ noAuthNoPriv：認証・暗号化なし
AuthProtocol	string	認証プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" または "authNoPriv" の場合に使用されます。 アカウント情報はAccountName、パスワードはPasswordに指定してください。 ・ MD5：MD5による認証 ・ SHA：SHAによる認証
PrivProtocol	string	暗号化プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 ・ DES：DESによる暗号化 ・ AES：AESによる暗号化
PrivPassword	string	暗号化パスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 暗号化前の文字列長は最低8文字
ContextName	string	コンテキスト名
EngineId	string	エンジン ID
SupportPeriod	object	保守期間
EndDate	string	保守終了日 YYYY-MM-DD（年-月-日）
Notification	integer	保守終了日の事前通知 保守終了日の何日前に通知するかを指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Nodes	array	ノード情報
NodeId	integer	ノードID
Description	string	説明
Accounts	array	アカウント情報

パラメーター			型	説明
AccountId			integer	アカウント ID
AccountType			string	アカウントタイプ ・ Ipmi：iRMC/BMC/MMBなど、IPMIで通信する際に使用されます。 ・ Ssh：Sshで通信する際に使用されます。 ・ Ssh-Privileged：Sshログイン後に権限昇格が必要な機種で使用されます。 ・ SnmpV1：SNMP v1で通信する際に使用されます。 ・ SnmpV2：SNMP v2cで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV3：SNMP v3で通信する際に使用されます。 ・ Https：HTTPS(REST)で通信する際に使用されます。
PortNum			integer	使用ポート番号
AccountName			string	ユーザーアカウント名 アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3, Https
Property			object	アカウントタイプに応じた追加情報
	Ipmi		string	Ipmi 情報 現在は未サポートです。
	Ssh		string	Ssh 情報 現在は未サポートです。
	SnmpV1		object	SnmpV1 情報 アカウントタイプがSnmpV1の場合、使用されます。
		CommunityName	string	コミュニティー名
	SnmpV2		object	SnmpV2 情報 アカウントタイプがSnmpV2の場合、使用されます。
		CommunityName	string	コミュニティー名
	SnmpV3		object	SnmpV3 情報 アカウントタイプがSnmpV3の場合、使用されます。
		SecurityLevel	string	セキュリティレベル ・ authPriv：認証・暗号化あり ・ authNoPriv：認証あり、暗号化なし ・ noAuthNoPriv：認証・暗号化なし
		AuthProtocol	string	認証プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" または "authNoPriv" の場合に使用されます。 ・ MD5：MD5による認証 ・ SHA：SHAによる認証
		PrivProtocol	string	暗号化プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。

パラメーター	型	説明
		・ DES：DESによる暗号化 ・ AES：AESによる暗号化
ContextName	string	コンテキスト名
EngineId	string	エンジン ID
SupportPeriod	object	保守期間
EndDate	string	保守終了日 YYYY-MM-DD（年-月-日）
Notification	integer	保守終了日の事前通知 保守終了日の何日前に通知するかを示します。

4.3.37 手動登録ノードの認証確認（ISM 3.0.0.010以降）

[概要]

手動登録するノードの認証情報を確認します。

[形式]

```
POST /nodes/account/authentication/check
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Node	object	ノード情報
Type	string	ノードタイプ 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
Model	string	モデル名 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
IpAddress	string	IPアドレス 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
Accounts	array	アカウント情報 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
AccountType	string	アカウントタイプ 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
PortNum	integer	使用ポート番号 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
AccountName	string	ユーザーアカウント名 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
Password	string	アカウントパスワード

パラメーター	型	説明
		「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
Property	object	アカウントタイプに応じた追加情報 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
Ipmi	string	Ipmi 情報 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
Ssh	string	Ssh 情報 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
SnmpV1	object	SnmpV1 情報 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
CommunityName	string	コミュニティー名 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
SnmpV2	object	SnmpV2 情報 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
CommunityName	string	コミュニティー名 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
SnmpV3	object	SnmpV3 情報 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
SecurityLevel	string	セキュリティレベル 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
AuthProtocol	string	認証プロトコル 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
PrivProtocol	string	暗号化プロトコル 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
PrivPassword	string	暗号化パスワード 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
ContextName	string	コンテキスト名 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。
EngineId	string	エンジン ID 「4.3.1 ノード登録」と同じ指定をしてください。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Node	object	ノード情報
Type	string	ノードタイプ
Model	string	機器のモデル名
IpAddress	string	IPアドレス
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4:IPv4 ・ V6:IPv6
Status	string	指定した認証情報の成否 ・ Success: 指定した認証情報が正しい

パラメーター	型	説明
		・ Error : 指定した認証情報が誤り
NodeSubStatus	object	ステータスの詳細
DnsLookUpResult	string	名前解決結果 ・ Success：成功 ・ Failure：失敗 ・ NoNeed：対象外（IPアドレス指定の場合）
PingResult	string	通信結果 ・ Success：成功 ・ Failure：失敗 ・ Unexecuted：未実施 ・ NoNeed：対象外
SnmpResult	string	通信結果 ・ Success：成功 ・ PortClosed：ポート閉塞 ・ AuthenticationFailed：認証失敗※SnmpV3指定時のみ ・ CommunicationFailed：通信失敗 ・ Unexecuted：未実施 ・ NoAccount：アカウントなし ・ NoNeed：対象外
IpmiResult	string	通信結果 ・ Success：成功 ・ PortClosed：ポート閉塞 ・ CommunicationFailed：通信失敗 ・ Unexecuted：未実施 ・ NoAccount：アカウントなし ・ NoNeed：対象外
SshResult	string	通信結果 ・ Success：成功 ・ PortClosed：ポート閉塞 ・ CommunicationFailed：通信失敗 ・ Unexecuted：未実施 ・ NoAccount：アカウントなし ・ NoNeed：対象外
HttpsResult	string	通信結果 ・ Success：成功 ・ PortClosed：ポート閉塞 ・ AuthenticationFailed：認証失敗

パラメーター	型	説明
		・ CommunicationFailed：通信失敗 ・ RedfishDisabled：Redfish無効 ・ Unexecuted：未実施 ・ NoAccount：アカウントなし ・ NoNeed：対象外
HttpsStatusCode	string	HTTPSステータスコード

[注意事項]

・ ISM管理者のみ実行可能です。

4.4 ノード検出機能

4.4.1 ノード手動検出実行

[概要]

指定した条件でノードの手動検出を実行します。

[形式]

```
POST /nodes/discovery/manual
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
ManualDiscoverySetting	object	手動検出設定情報
Ranges	array	検出対象のIPアドレス範囲
IpAddressRange	string	IPアドレス範囲またはFQDN名 IPアドレス範囲の指定方法は、[注意事項]を参照してください。
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6 ・ FQDN：FQDN
Accounts	array	アカウント情報 ノードにアクセスするための情報を設定してください。
AccountType	string	アカウントタイプ 指定したアカウントタイプに関連する情報のみ使用されます。 ・ Ipmi：iRMC/BMC/MMBなど、IPMIで通信する際に使用されます。 ・ Ssh：Sshで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV1：SNMP v1で通信する際に使用されます。

パラメーター	型	説明
		・ SnmpV2：SNMP v2cで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV3：SNMP v3で通信する際に使用されます。 ・ Https：HTTPS(REST)で通信する際に使用されます。
PortNum	integer	使用ポート番号 ポート番号、またはnullを指定します。 nullを指定した場合、プロトコルの標準ポート番号が設定されます。 ・ IPMI（623番） ・ SSH（22番） ・ SNMP（161番） ・ HTTPS（443番）
AccountName	string	ユーザーアカウント名 アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3, Https
Password	string	アカウントパスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3(セキュリティレベルが"authPriv"または"authNoPriv"の場合のみ), Https SnmpV3の場合、暗号化前の文字列長は最低8文字
Property	object	アカウントタイプに応じた追加情報
Ipmi	string	Ipmi 情報 現在は未サポートです。
Ssh	string	Ssh 情報 現在は未サポートです。
SnmpV1	object	SnmpV1 情報 アカウントタイプがSnmpV1の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV2	object	SnmpV2 情報 アカウントタイプがSnmpV2の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV3	object	SnmpV3 情報 アカウントタイプがSnmpV3の場合、使用されます。
SecurityLevel	string	セキュリティレベル ・ authPriv：認証・暗号化あり ・ authNoPriv：認証あり、暗号化なし ・ noAuthNoPriv：認証・暗号化なし
AuthProtocol	string	認証プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" または "authNoPriv" の場合に使用されます。

パラメーター	型	説明
		アカウント情報はAccountName、パスワードはPasswordに指定してください。 ・ MD5：MD5による認証 ・ SHA：SHAによる認証
PrivProtocol	string	暗号化プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 ・ DES：DESによる暗号化 ・ AES：AESによる暗号化
PrivPassword	string	暗号化パスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 暗号化前の文字列長は最低8文字
ContextName	string	コンテキスト名
EngineId	string	エンジン ID

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ManualDiscoveryId	integer	ノードの手動検出ID

[注意事項]

- ノードの手動検出実行は、ユーザーのセッションID単位で管理されます。同じセッションIDでのリクエストのみ検出結果を取得できます。

  IP アドレス範囲の指定方法例）

  ー 特定の IP アドレスを指定する場合

  "192.168.1.10"

  ー 範囲を指定する場合

  次のいずれかの形式で指定します。

  "192.168.2.10-90"：第4オクテットの指定値の部分を "-"（ハイフン）でつなげて指定。

  "192.168.2.10-3.90"：第3オクテットと第4オクテットの指定値の部分を "-"（ハイフン）でつなげて指定。

4.4.2 ノードの手動検出結果取得

[概要]

ユーザーが属しているユーザーグループで管理しているすべてのノードの手動検出結果を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/discovery/manual
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
manualdiscoveryid	integer	ノードの手動検出IDによる絞り込み

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ManualDiscoveryList	array	ノードの手動検出結果
ManualDiscoveryId	integer	ノードの手動検出ID
Status	string	検出処理ステータス ・ Running：実行中 ・ Complete：完了 ・ Cancel-Running：キャンセル実行中 ・ Cancel-Complete：キャンセル完了
TotalIpAddressCount	integer	検出対象IPアドレス数
CompletedIpAddressCount	integer	検出完了IPアドレス数
ManualDiscoveredNodes	array	手動検出ノード
ManualNodeId	integer	手動検出ノードID
IpAddress	string	手動検出ノードのIPアドレス
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6
NodeStatus	string	手動検出ノードステータス ・ Success：成功（サポート対象） ・ Not supported：サポート対象外 ・ Error：検出失敗 (Ping通信は成功。情報の取得に失敗) ・ Only automatic registration：ノード登録対象外（ファブリックスイッチの場合） ・ Registered：ISMにノード登録済
NodeSubStatus	object	検出ステータスの詳細
NodeId	integer	登録済みのノードID
NodeName	string	登録済みのノード名
DnsLookUpResult	string	名前解決結果 ・ Success：成功 ・ Failure：失敗 ・ NoNeed：対象外（IPアドレス指定の場合）
PingResult	string	通信結果 ・ Success：成功 ・ Failure：失敗 ・ Unexecuted：未実施 ・ NoNeed：対象外
SnmpResult	string	通信結果 ・ Success：成功 ・ PortClosed：ポート閉塞

パラメーター	型	説明
		・ AuthenticationFailed：認証失敗※SnmpV3指定時のみ ・ CommunicationFailed：通信失敗 ・ Unexecuted：未実施 ・ NoAccount：アカウントなし ・ NoNeed：対象外
IpmiResult	string	通信結果 ・ Success：成功 ・ PortClosed：ポート閉塞 ・ CommunicationFailed：通信失敗 ・ Unexecuted：未実施 ・ NoAccount：アカウントなし ・ NoNeed：対象外
SshResult	string	通信結果 ・ Success：成功 ・ PortClosed：ポート閉塞 ・ CommunicationFailed：通信失敗 ・ Unexecuted：未実施 ・ NoAccount：アカウントなし ・ NoNeed：対象外
HttpsResult	string	通信結果 ・ Success：成功 ・ PortClosed：ポート閉塞 ・ AuthenticationFailed：認証失敗 ・ CommunicationFailed：通信失敗 ・ RedfishDisabled：Redfish無効 ・ Unexecuted：未実施 ・ NoAccount：アカウントなし ・ NoNeed：対象外
HttpsStatusCode	string	HTTPSステータスコード
NodeType	string	ノードタイプ ノードタイプについては、「4.3.1 ノード登録」の[ノードタイプ]を参照してください。 サポート対象外または検出失敗の場合、"other" が設定されます。
Model	string	機器のモデル名
SerialNumber	string	機器のシリアル番号
DomainName	string	機器のFQDN名

パラメーター	型	説明
		DNSから、検出したIPアドレスで逆引きしたFQDN名です。取得できなかった場合、nullが設定されます。 ノード手動検出実行でFQDN名を指定した場合は、指定したFQDN名が設定されます。
Chassis	object	シャーシ情報 PRIMERGY CXサーバーのみ。その他の機種ではnullが設定されます。
Model	string	シャーシのモデル名
SerialNumber	string	シャーシのシリアル番号
SlotNum	integer	検出機器のシャーシ内スロット番号
Accounts	array	接続に成功したアカウント情報 表示されているアカウント情報のみ、手動検出ノード登録時にノードのアカウント情報として登録されます。
AccountType	string	アカウントタイプ ・ Ipmi：iRMC/BMC/MMBなど、IPMIで通信する際に使用されます。 ・ Ssh：Sshで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV1：SNMP v1で通信する際に使用されます。 ・ SnmpV2：SNMP v2cで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV3：SNMP v3で通信する際に使用されます。 ・ Https：HTTPS(REST)で通信する際に使用されます。
AccountName	string	ユーザーアカウント名 アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3, Https
PortNum	integer	使用ポート番号
HasInputPassword	boolean	パスワードの指定状態 PRIMERGY M7シリーズ、PRIMERGY RX1440 M2、PRIMERGY RX2450 M2、PRIMERGY 1WAY M6、PRIMEQUEST 4000シリーズの検出時に、HTTPSアカウント情報のパスワードが指定された状態であるかどうかを示します。 ・ True：指定済み ・ False：未指定
HasInputNewPassword	boolean	変更後パスワードの指定状態 PRIMERGY M7シリーズ、PRIMERGY RX1440 M2、PRIMERGY RX2450 M2、PRIMERGY 1WAY M6、PRIMEQUEST 4000シリーズの検出時に、HTTPSアカウント情報の変更後パスワードが指定された状態であるかどうかを示します。 ・ True：指定済み ・ False：未指定
DiscoveredDate	string	検出時刻
ManualDiscoveryType	string	手動検出タイプ

パラメーター	型	説明
		・ Ranges：IPアドレス範囲指定で検出 ・ Csv：CSVファイル指定で検出
CsvFile	string	CSVファイル名 ManualDiscoveryTypeがCsvの場合に出力されます。
ManualDiscoverySetting	object	手動検出設定情報 ManualDiscoveryTypeがRangesの場合に出力されます。
Ranges	array	検出対象のIPアドレス範囲
IpAddressRange	string	IPアドレス範囲またはFQDN名
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6 ・ FQDN：FQDN
Accounts	array	アカウント情報
AccountType	string	アカウントタイプ ・ Ipmi：iRMC/BMC/MMBなど、IPMIで通信する際に使用されます。 ・ Ssh：Sshで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV1：SNMP v1で通信する際に使用されます。 ・ SnmpV2：SNMP v2cで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV3：SNMP v3で通信する際に使用されます。 ・ Https：HTTPS(REST)で通信する際に使用されます。
PortNum	integer	使用ポート番号
AccountName	string	ユーザーアカウント名
Property	object	アカウントタイプに応じた追加情報
Ipmi	string	Ipmi 情報 現在は未サポートです。
Ssh	string	Ssh 情報 現在は未サポートです。
SnmpV1	object	SnmpV1 情報 アカウントタイプがSnmpV1の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV2	object	SnmpV2 情報 アカウントタイプがSnmpV2の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV3	object	SnmpV3 情報 アカウントタイプがSnmpV3の場合、使用されます。
SecurityLevel	string	セキュリティレベル ・ authPriv：認証・暗号化あり ・ authNoPriv：認証あり、暗号化なし

パラメーター	型	説明
		・ noAuthNoPriv：認証・暗号化なし
AuthProtocol	string	認証プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" または "authNoPriv" の場合に使用されます。 ・ MD5：MD5による認証 ・ SHA：SHAによる認証
PrivProtocol	string	暗号化プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 ・ DES：DESによる暗号化 ・ AES：AESによる暗号化
ContextName	string	コンテキスト名
EngineId	string	エンジンID

[注意事項]

- ノードの手動検出実行はユーザーのセッションID単位で管理されます。同じセッションIDでのリクエストのみ検出結果を取得できます。
- すでにノード登録されているIPアドレスは検出されません。

4.4.3 手動検出ノードの登録

[概要]

手動検出ノードをノード登録します。

[形式]

```
POST /nodes/discovery/manual/{manualdiscoveryid}/{manualnodeid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Node	object	ノード情報
Name	string	ノード名
Type	string	ノードタイプ 指定できるノードタイプについては、「4.3.1 ノード登録」の[ノードタイプ]を参照してください。 ノードの手動検出結果取得で取得したノードタイプを指定してください。変更したい場合は、設定したいノードタイプを指定してください。正しく指定しないと正常に動作しない場合があります。
Model	string	モデル名 ノードの手動検出結果取得で取得したモデル名を指定してください。変更したい場合は、設定したいモデル名を指定して

パラメーター	型	説明
		ください。正しいモデル名を指定しないと正常に動作しない場合があります。
ModifyIpAddress	object	機器のIPアドレス設定(変更)情報 キー省略可 キー省略時は機器の設定は行いません。 [注意事項]を参照してください。
IpModifyMode	string	IPアドレス変更モード 指定がない場合 NotModifyDevice で動作します。 ・ ModifyDevice:機器のIPアドレスを設定(変更)します。 ・ NotModifyDevice:機器の設定は行いません。
IpAddress	string	機器に設定するIPアドレス IpModifyMode が ModifyDevice 場合に指定してください。
IpVersion	string	機器に設定するIPアドレスのIPバージョン IpModifyMode が ModifyDevice の場合に指定してください。検出されたIPアドレスと同じIPバージョンを指定してください。 ・ V4:IPv4 ・ V6:IPv6
Subnet	string	機器に設定するIPアドレスのサブネット IpModifyMode が ModifyDevice の場合に指定してください。 IPバージョンがIPv4の場合はIPアドレス形式、IPv6の場合はプレフィックス形式で指定してください。 例) IPv4の場合:"255.255.255.0" IPv6の場合:"64"
Gateway	string	機器に設定するゲートウェイ IpModifyMode が ModifyDevice の場合に指定してください。
WebUrl	string	メインで使用するWebURL(機器のWebUIなど)
Description	string	説明
NodeTagList	array	ノードタグ情報 キー省略可
NodeTag	string	ノードタグ名
RackInfo	object	ラック搭載位置情報 PRIMERGY CXサーバーの場合、シャーシのラック搭載位置情報として登録されます。
RackId	integer	搭載ラックID 搭載ラックID、またはnullを指定します。 以下の場合、nullを指定してください。 ・ ラックに搭載していない場合 ・ 搭載しているラックがISMに登録されていない場合
Position	integer	搭載位置(ユニット番号)

パラメーター	型	説明
		ノードが占有する一番下のユニット番号、またはnullを指定します。 以下の場合、nullを指定してください。 ・ ラックに搭載していない場合 ・ 搭載しているラックがISMに登録されていない場合 GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
OccupySize	integer	ラック占有ユニット数 ラック占有ユニット数、またはnullを指定します。 以下の場合、nullを指定してください。 ・ ラックに搭載していない場合 ・ 搭載しているラックがISMに登録されていない場合
MountType	string	PDUのマウントタイプ ・ Rack：通常のノードと同様に搭載するタイプ ・ 0U：ラック横に搭載するタイプ
PduPosition	string	使用しません
Outlet	array	PDUの接続情報一覧 現在は未サポートです。
PowerSocket	integer	ソケット番号 現在は未サポートです。
NodeId	integer	接続先のノード ID 現在は未サポートです。
Chassis	object	シャーシ情報 PRIMERGY CXサーバーの場合、シャーシが未登録であればノード登録します。シャーシがすでに登録されていた場合、シャーシ情報は更新されません。
Name	string	シャーシのノード名
WebUrl	string	シャーシのメインで使用するWebURL
Description	string	シャーシの説明
Accounts	array	アカウント情報 ノードにアクセスするための情報を設定してください。
AccountType	string	アカウントタイプ 指定したアカウントタイプに関連する情報のみ使用されます。 ・ Ipmi：iRMC/BMC/MMBなど、IPMIで通信する際に使用されます。 ・ Ssh：Sshで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV1：SNMP v1で通信する際に使用されます。 ・ SnmpV2：SNMP v2cで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV3：SNMP v3で通信する際に使用されます。 ・ Https：HTTPS(REST)で通信する際に使用されます。
PortNum	integer	使用ポート番号

パラメーター	型	説明
		null を指定した場合、プロトコルの標準ポート番号が設定されます。
AccountName	string	ユーザーアカウント名 アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3, Https
Password	string	アカウントパスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3（セキュリティレベルが"authPriv"または"authNoPriv"の場合のみ）, Https SnmpV3の場合、暗号化前の文字列長は最低8文字
NewPassword	string	変更後パスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。アカウントタイプが、Httpsの場合に使用されます。
Property	object	アカウントタイプに応じた追加情報
Ipmi	string	Ipmi 情報 現在は未サポートです。
Ssh	string	Ssh 情報 現在は未サポートです。
SnmpV1	object	SnmpV1 情報 アカウントタイプがSnmpV1の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV2	object	SnmpV2 情報 アカウントタイプがSnmpV2の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV3	object	SnmpV3 情報 アカウントタイプがSnmpV3の場合、使用されます。
SecurityLevel	string	セキュリティレベル ・ authPriv：認証・暗号化あり ・ authNoPriv：認証あり、暗号化なし ・ noAuthNoPriv：認証・暗号化なし
AuthProtocol	string	認証プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" または "authNoPriv" の場合に使用されます。 アカウント情報はAccountName、パスワードはPasswordに指定してください。 ・ MD5：MD5による認証 ・ SHA：SHAによる認証
PrivProtocol	string	暗号化プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 ・ DES：DESによる暗号化

パラメーター	型	説明
		・ AES：AESによる暗号化
PrivPassword	string	暗号化パスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 暗号化前の文字列長は最低8文字
ContextName	string	コンテキスト名
EngineId	string	エンジン ID

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Node	object	ノード情報
NodeId	integer	ノードID
Name	string	ノード名
Type	string	ノードタイプ ノードタイプについては、「4.3.1 ノード登録」の[ノードタイプ]を参照してください。
Model	string	モデル名
IpAddress	string	IPアドレス
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6
WebUrl	string	メインで使用するWebURL(機器のWebUIなど)
Description	string	説明
NodeTagList	array	ノードタグ情報
NodeTag	string	ノードタグ名
RackInfo	object	ラック搭載位置情報
RackId	integer	搭載ラック ID
Position	integer	搭載位置 (ユニット番号) ノードが占有する一番下のユニット番号が出力されます。
OccupySize	integer	ラック占有ユニット数
MountType	string	PDUのマウントタイプ ・ Rack：通常のノードと同様に搭載するタイプ ・ 0U：ラック横に搭載するタイプ
PduPosition	string	使用しません
Outlet	array	PDUの接続情報一覧 現在は未サポートです。
PowerSocket	integer	ソケット番号 現在は未サポートです。
NodeId	integer	接続先のノード ID 現在は未サポートです。

パラメーター	型	説明
SlotNum	integer	シャーシ内スロット番号 CXサーバー、BXサーバーブレード、コネクションブレードの場合、ノード情報取得時に自動的に設定されます。
ParentNodeId	integer	親ノードのノードID ノード情報取得時に自動的に設定されます。BXサーバーブレード、コネクションブレードの場合はBXシャーシのノード情報取得時に設定されます。
ParentFabricId	integer	所属するファブリックノードのノードID ファブリックスイッチの場合、ファブリックのノード情報取得時に自動的に設定されます。
ChildNodeList	array	子ノード情報 子ノードの関係となるノードが格納されます。
NodeId	integer	子ノードのノードID
Type	string	子ノードのノードタイプ
SlotNum	integer	シャーシ内スロット番号
Fabric	array	ファブリックを構成するスイッチノード情報
NodeId	integer	スイッチノードのノード ID
Status	string	ノードのステータス ・ Error:エラー ・ Warning:警告 ・ Unknown:通信不可 ・ Normal:正常 ・ Updating:通信中
AlarmStatus	string	ノードのアラームステータス 配下のノード(ChildNodeListまたはFabric)が存在する場合、配下のノードも含めて一番重大度が高いステータスを表示します。 ・ Error:エラー ・ Warning:警告 ・ Info:情報 ・ Normal:通知なし ステータスの優先度:Normal < Info < Warning < Error
MaintenanceMode	string	メンテナンスモード ・ Normal:通常モード ・ Maintenance:メンテナンスモード
NodeGroupId	integer	ノードグループID
UniqInfo	string	内部管理用特定情報
UpdateDate	string	最終更新時刻

[注意事項]

- ノードの手動検出実行はユーザーのセッションID単位で管理されます。同じセッションIDでのリクエストのみ手動検出ノードの登録ができます。
- ノードのIPアドレスには検出された値が設定されます。
- ノードのアカウント情報は検出時に利用したアカウント情報が設定されます。
- GUIで表示する場合、以下の制御が行われます。
  - ラック搭載位置情報の搭載位置

    ノードタイプがfacilityの場合、101を指定してください。ラックCDUとして、ラックの上部に表示されます。

    ノードタイプがpduまたはintelligent-pduであり、かつPDUマウントタイプが0Uの場合、201-204を指定してください。0U PDUとして、ラック横に表示されます。
  - ラック搭載位置情報のラック占有ユニット数

    高さが 44.5mm×ラック占有ユニット数のノードとして表示されます。
- 機器のIPアドレス設定(変更)については、以下を参照してください。
  - 機器のネットワーク設定がDHCP設定の場合、指定した固定IPアドレスが設定されます。すでに固定IPアドレスが設定されている場合、IPアドレスの変更はできません。
  - 検出したIPアドレスと同じIPバージョンのみ設定できます。
  - 対象機種は、以下のとおりです。
    - PRIMERGY サーバー(CX1430 M1 を除く)
    - PRIMEQUEST 3000B

4.4.4 ノードの自動検出結果取得

[概要]

すべての自動検出されたノードを取得します。

[形式]

```
GET /nodes/discovery/auto
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
DiscoveredNodeList	array	ノードの自動検出結果
DiscoveredNodeId	integer	自動検出ノードID
DiscoveryType	string	自動検出タイプ ・ Upnp:Upnpによる自動検出 ・ Redfish:Redfish による自動検出
Ipv4Address	string	検出されたIPv4アドレス
Ipv6Address	string	検出されたIPv6アドレス DiscoveryType が Upnp / Redfish の場合、IPv6リンクローカルアドレスが検出されます。IPv6リンクローカルアドレスはノード登録できません。

パラメーター		型	説明
	NodeStatus	string	自動検出ノードステータス ・ Success:成功 (サポート対象) ・ Not supported:サポート対象外 ・ Error:検出失敗
	NodeType	string	ノードタイプ ノードタイプについては、「4.3.1 ノード登録」の[ノードタイプ]を参照してください。 サポート対象外または検出失敗の場合、"other" が設定されます。
	Model	string	機器のモデル名
	SerialNumber	string	機器のシリアル番号
	DomainName	string	機器のFQDN名 DNSから、検出したIPアドレスで逆引きしたFQDN名です。取得できなかった場合、nullが設定されます。
	Chassis	object	シャーシ情報 PRIMERGY CXサーバーのみ。その他の機種ではnullが設定されます。
	Model	string	シャーシのモデル名
	SerialNumber	string	シャーシのシリアル番号
	SlotNum	integer	検出機器のシャーシ内スロット番号
	DiscoveredDate	string	検出時刻

[注意事項]

- 自動検出の対応機種は、以下のとおりです。
  - Upnp:PSWITCH
  - Redfish:PRIMERGY サーバー、PRIMEQUEST 3000B
- すでにISMに登録されている機器は検出されません。
- 機器が検出されたあと、30分以上機器から通知が受信されなかった場合、検出結果から削除されます。ネットワークから外された機器は30分後に検出結果から削除されます。
- 機器をネットワークに接続したあと、自動検出結果に表示されるまでに最大で機器に設定されている定期通知間隔だけの時間がかかります。

4.4.5 自動検出ノードの登録

[概要]

自動検出したノードをノード登録します。

[形式]

```
POST /nodes/discovery/auto/{discoverednodeid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Node	object	ノード情報
Name	string	ノード名
Type	string	ノードタイプ 指定できるノードタイプについては、「4.3.1 ノード登録」の[ノードタイプ]を参照してください。 ノードの自動検出結果取得で取得したノードタイプを指定してください。変更したい場合は、設定したいノードタイプを指定してください。正しく指定しないと正常に動作しない場合があります。
Model	string	モデル名 ノードの自動検出結果取得で取得したモデル名を指定してください。変更したい場合は、設定したいモデル名を指定してください。正しいモデル名を指定しないと正常に動作しない場合があります。
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ISMに登録するIPバージョンを指定してください。
ModifyIpAddress	object	機器のIPアドレス設定(変更)情報 キー省略可 キー省略時は機器の設定は行いません。 [注意事項]を参照してください。
IpModifyMode	string	IPアドレス変更モード 指定がない場合 NotModifyDevice で動作します。 ・ ModifyDevice:機器のIPアドレスを設定(変更)します。 ・ NotModifyDevice:機器の設定は行いません。
IpAddress	string	機器に設定するIPアドレス IpModifyMode が ModifyDevice 場合に指定してください。
IpVersion	string	機器に設定するIPアドレスのIPバージョン IpModifyMode が ModifyDevice の場合に指定してください。 ・ V4:IPv4 ・ V6:IPv6
Subnet	string	機器に設定するIPアドレスのサブネット IpModifyMode が ModifyDevice の場合に指定してください。 IPバージョンがIPv4の場合はIPアドレス形式、IPv6の場合はプレフィックス形式で指定してください。 例) IPv4の場合:"255.255.255.0" IPv6の場合:"64"
Gateway	string	機器に設定するゲートウェイ IpModifyMode が ModifyDevice の場合に指定してください。
WebUrl	string	メインで使用するWebURL(機器のWebUIなど)

パラメーター	型	説明
Description	string	説明
NodeTagList	array	ノードタグ情報 キー省略可
NodeTag	string	ノードタグ名
RackInfo	object	ラック搭載位置情報 PRIMERGY CXサーバーの場合、シャーシのラック搭載位置情報として登録されます。
RackId	integer	搭載ラックID 搭載ラックID、またはnullを指定します。 以下の場合、nullを指定してください。 ・ ラックに搭載していない場合 ・ 搭載しているラックがISMに登録されていない場合
Position	integer	搭載位置(ユニット番号) ノードが占有する一番下のユニット番号、またはnullを指定します。 以下の場合、nullを指定してください。 ・ ラックに搭載していない場合 ・ 搭載しているラックがISMに登録されていない場合 GUIで表示する場合、[注意事項]を参照してください。
OccupySize	integer	ラック占有ユニット数 ラック占有ユニット数、またはnullを指定します。 以下の場合、nullを指定してください。 ・ ラックに搭載していない場合 ・ 搭載しているラックがISMに登録されていない場合
MountType	string	PDUのマウントタイプ ・ Rack:通常のノードと同様に搭載するタイプ ・ 0U:ラック横に搭載するタイプ
PduPosition	string	使用しません。
Outlet	array	PDUの接続情報一覧 現在は未サポートです。
PowerSocket	integer	ソケット番号 現在は未サポートです。
NodeId	integer	接続先のノード ID 現在は未サポートです。
Chassis	object	シャーシ情報 PRIMERGY CXサーバーの場合、シャーシが未登録であればノード登録します。シャーシがすでに登録されていた場合、シャーシ情報は更新されません。
Name	string	シャーシのノード名
WebUrl	string	シャーシのメインで使用するWebURL

パラメーター	型	説明
Description	string	シャーシの説明
Accounts	array	アカウント情報 ノードにアクセスするための情報を設定してください。
AccountType	string	アカウントタイプ 指定したアカウントタイプに関連する情報のみ使用されます。 ・ Ipmi：iRMC/BMC/MMBなど、IPMIで通信する際に使用されます。 ・ Ssh：Sshで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV1：SNMP v1で通信する際に使用されます。 ・ SnmpV2：SNMP v2cで通信する際に使用されます。 ・ SnmpV3：SNMP v3で通信する際に使用されます。 ・ Https：HTTPS(REST)で通信する際に使用されます。
PortNum	integer	使用ポート番号 ポート番号、またはnullを指定します。 nullを指定した場合、プロトコルの標準ポート番号が設定されます。 ・ IPMI（623番） ・ SSH（22番） ・ SNMP（161番） ・ HTTPS（443番）
AccountName	string	ユーザーアカウント名 アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3, Https
Password	string	アカウントパスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3（セキュリティレベルが"authPriv"または"authNoPriv"の場合のみ）, Https SnmpV3の場合、暗号化前の文字列長は最低8文字
NewPassword	string	新アカウントパスワード PRIMERGY M7シリーズ、PRIMERGY RX1440 M2、PRIMERGY RX2450 M2、PRIMERGY 1WAY M6（iRMC）の工場出荷時のパスワードを新アカウントパスワードにする場合に指定します。 すでに、パスワード変更済の場合は指定不要です。 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。アカウントタイプが、Httpsの場合に使用されます。
Property	object	アカウントタイプに応じた追加情報
Ipmi	string	Ipmi 情報 現在は未サポートです。
Ssh	string	Ssh 情報

パラメーター	型	説明
		現在は未サポートです。
SnmpV1	object	SnmpV1 情報 アカウントタイプがSnmpV1の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV2	object	SnmpV2 情報 アカウントタイプがSnmpV2の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV3	object	SnmpV3 情報 アカウントタイプがSnmpV3の場合、使用されます。
SecurityLevel	string	セキュリティレベル ・ authPriv：認証・暗号化あり ・ authNoPriv：認証あり、暗号化なし ・ noAuthNoPriv：認証・暗号化なし
AuthProtocol	string	認証プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" または "authNoPriv" の場合に使用されます。 アカウント情報はAccountName、パスワードはPasswordに指定してください。 ・ MD5：MD5による認証 ・ SHA：SHAによる認証
PrivProtocol	string	暗号化プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 ・ DES：DESによる暗号化 ・ AES：AESによる暗号化
PrivPassword	string	暗号化パスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 暗号化前の文字列長は最低8文字
ContextName	string	コンテキスト名
EngineId	string	エンジン ID

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Node	object	ノード情報
NodeId	integer	ノードID
Name	string	ノード名
Type	string	ノードタイプ ノードタイプについては、「4.3.1 ノード登録」の[ノードタイプ]を参照してください。
Model	string	モデル名

パラメーター	型	説明
IpAddress	string	IPアドレス
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4:IPv4 ・ V6:IPv6
WebUrl	string	メインで使用するWebURL(機器のWebUIなど)
Description	string	説明
NodeTagList	array	ノードタグ情報
NodeTag	string	ノードタグ名
RackInfo	object	ラック搭載位置情報
RackId	integer	搭載ラック ID
Position	integer	搭載位置 (ユニット番号) ノードが占有する一番下のユニット番号が出力されます。
OccupySize	integer	ラック占有ユニット数
MountType	string	PDUのマウントタイプ ・ Rack:通常のノードと同様に搭載するタイプ ・ 0U:ラック横に搭載するタイプ
PduPosition	string	使用しません。
Outlet	array	PDUの接続情報一覧 現在は未サポートです。
PowerSocket	integer	ソケット番号 現在は未サポートです。
NodeId	integer	接続先のノード ID 現在は未サポートです。
SlotNum	integer	シャーシ内スロット番号 CXサーバー、BXサーバーブレード、コネクションブレードの場合、ノード情報取得時に自動的に設定されます。
ParentNodeId	integer	親ノードのノードID ノード情報取得時に自動的に設定されます。BXサーバーブレード、コネクションブレードの場合はBXシャーシのノード情報取得時に設定されます。
ParentFabricId	integer	所属するファブリックノードのノードID ファブリックスイッチの場合、ファブリックのノード情報取得時に自動的に設定されます。
ChildNodeList	array	子ノード情報 子ノードの関係となるノードが格納されます。
NodeId	integer	子ノードのノードID
Type	string	子ノードのノードタイプ
SlotNum	integer	シャーシ内スロット番号
Fabric	array	ファブリックを構成するスイッチノード情報
NodeId	integer	スイッチノードのノード ID

パラメーター		型	説明
	Status	string	ノードのステータス ・ Error：エラー ・ Warning：警告 ・ Unknown：通信不可 ・ Normal：正常 ・ Updating：通信中
	AlarmStatus	string	ノードのアラームステータス 配下のノード(ChildNodeListまたはFabric)が存在する場合、配下のノードも含めて一番重大度が高いステータスを表示します。 ・ Error：エラー ・ Warning：警告 ・ Info：情報 ・ Normal：通知なし ステータスの優先度：Normal < Info < Warning < Error
	MaintenanceMode	string	メンテナンスモード ・ Normal：通常モード ・ Maintenance：メンテナンスモード
	NodeGroupId	integer	ノードグループID
	UniqInfo	string	内部管理用特定情報
	UpdateDate	string	最終更新時刻

[注意事項]

- GUIで表示する場合、以下の制御が行われます。
  - ー ラック搭載位置情報の搭載位置
    - ノードタイプがfacilityの場合

      101を指定してください。ラックCDUとして、ラックの上部に表示されます。
    - ノードタイプがpduまたはintelligent-pduであり、かつPDUマウントタイプが0Uの場合

      201-204を指定してください。0U PDUとして、ラック横に表示されます。
  - ー ラック搭載位置情報のラック占有ユニット数

    高さが 44.5mm×ラック占有ユニット数のノードとして表示されます。
- 機器のIPアドレス設定(変更)については以下を参照してください。
  - ー 機器をIPv6リンクローカルアドレスで管理することはできません。検出されたIPアドレスがIPv6リンクローカルアドレスのみの場合、IPアドレス設定（変更）が必要です。
  - ー PRIMERGYサーバー / PRIMEQUEST 3000B

    機器のネットワーク設定がDHCP設定の場合、指定した固定IPアドレスが設定されます。すでに固定IPアドレスが設定されている場合、IPアドレスの変更はできません。正しいIPアドレスを機器に設定して検出してください。

ー PSWITCH

機器のネットワーク設定が固定設定の場合、指定した固定IPアドレスが設定されます。DHCP設定の場合、IPアドレスの変更はできません。正しいIPアドレスを機器に設定して検出してください。

4.4.6 CSV指定によるノード手動検出実行

[概要]

CSVファイルに記載された情報でノードの手動検出を実行します。

[形式]

```
POST /nodes/discovery/manual/csv
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
FilePath	string	CSVファイルを格納したフォルダーパスを含めたファイル名
PasswordMode	string	パスワードの暗号化モード 指定がない場合、暗号化ありで動作します。 ・ Encrypted:暗号化あり ・ Unencrypted:暗号化なし
FileOption	string	ファイルオプション 指定がない場合、ファイルは削除されません。 ・ Delete:ファイルを削除 ・ NotDelete:ファイルを削除しない

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ManualDiscoveryId	integer	ノードの手動検出ID

[注意事項]

・ CSV指定によるノードの手動検出実行は、ユーザーのセッションID単位で管理されます。同じセッションIDでのリクエストのみ検出結果を取得できます。

・ FilePathの指定について

FTP転送でISMにCSVファイルを格納する際は、ファイル転送用領域に格納し、ファイル転送用領域配下のフォルダーパスを含めたファイル名を指定してください。

FilePathの指定例）

ファイル転送用領域:ftpログインルート/＜ユーザーグループ名＞/ftp/

ー ファイル転送用領域に「manualCsv.csv」を格納した場合:manualCsv.csv

ー ファイル転送用領域にフォルダー（xxx）を作成して「manualCsv.csv」を格納した場合:xxx/manualCsv.csv

・ CSVファイルの記載内容については、『解説書』の「2.2.1.6 ノードの検出」を参照してください。

4.4.7 CSVファイルに記載するキー名、値の選択肢取得

[概要]

CSVファイルに記載するキー名のリスト、および選択肢を持つキーの選択肢を出力します。

[形式]

```
GET /nodes/discovery/manual/csvitems
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
AccountType	string	アカウントタイプ 特定のアカウントタイプに対するキー名を取得する際に指定してください。 指定がない場合は、すべてのAccountTypeに対するキー名を取得します。 ・ Ipmi:IPMIで通信する際に必要なキー名を取得する場合に指定します。 ・ Ssh:SSHで通信する際に必要なキー名を取得する場合に指定します。 ・ SnmpV1:SNMP v1で通信する際に必要なキー名を取得する場合に指定します。 ・ SnmpV2:SNMP v2cで通信する際に必要なキー名を取得する場合に指定します。 ・ SnmpV3:SNMP v3で通信する際に必要なキー名を取得する場合に指定します。 ・ Https:HTTPSで通信する際に必要なキー名を取得する場合に指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
CsvItems	object	手動検出CSVファイル記載情報
KeyList	array(string)	手動検出CSVファイルのキーリスト
ValueProperty	object	キーに対する値の情報
SnmpType	object	SnmpTypeの情報
SelectionList	array(string)	手動検出CSVファイルのキー(SnmpType)に対する値の選択肢
V3SecLevel	object	V3SecLevelの情報
SelectionList	array(string)	手動検出CSVファイルのキー(V3SecLevel)に対する値の選択肢
V3AuthProtocol	object	V3AuthProtocolの情報
SelectionList	array(string)	手動検出CSVファイルのキー(V3AuthProtocol)に対する値の選択肢
V3PrivProtocol	object	V3PrivProtocolの情報

パラメーター	型	説明
SelectionList	array(string)	手動検出CSVファイルのキー（V3PrivProtocol）に対する値の選択肢

[注意事項]

・ CSVファイルの記載内容については、『解説書』の「2.2.1.6 ノードの検出」を参照してください。

4.4.8 ノード手動検出の中止

[概要]

ノードの手動検出処理を中止します。

[形式]

```
POST /nodes/discovery/manual/{manualdiscoveryid}/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

・ 中止実行権限がないユーザーが実行した場合や、存在しないノードの手動検出ID（manualdiscoveryid）が指定された場合は、エラーとなります。

4.4.9 自動検出ノードの認証確認（ISM 3.0.0.010以降）

[概要]

自動検出したノードの認証情報を確認します。

[形式]

```
POST /nodes/discovery/auto/{autonodeid}/authentication/check
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Node	object	ノード情報
Accounts	array	アカウント情報 ノードにアクセスするための情報を設定してください。
AccountType	string	アカウントタイプ 指定したアカウントタイプに関連する情報のみ使用されます。

パラメーター	型	説明
		• Ipmi：iRMC/BMC/MMBなど、IPMIで通信する際に使用されます。 • Ssh：Sshで通信する際に使用されます。 • SnmpV1：SNMP v1で通信する際に使用されます。 • SnmpV2：SNMP v2cで通信する際に使用されます。 • SnmpV3：SNMP v3で通信する際に使用されます。 • Https：HTTPS(REST)で通信する際に使用されます。
PortNum	integer	使用ポート番号 ポート番号、またはnullを指定します。 nullを指定した場合、プロトコルの標準ポート番号が設定されます。 • IPMI（623番） • SSH（22番） • SNMP（161番） • HTTPS（443番）
AccountName	string	ユーザーアカウント名 アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3, Https
Password	string	アカウントパスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。アカウントタイプが以下の場合、使用されます。 Ipmi, Ssh, Ssh-Privileged, SnmpV3（セキュリティレベルが"authPriv"または"authNoPriv"の場合のみ）, Https SnmpV3の場合、暗号化前の文字列長は最低8文字
Property	object	プロパティリスト アカウントタイプに応じた追加情報
Ipmi	string	Ipmi 情報 現在は未サポートです。
Ssh	string	Ssh 情報 現在は未サポートです。
SnmpV1	object	SnmpV1 情報 アカウントタイプがSnmpV1の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV2	object	SnmpV2 情報 アカウントタイプがSnmpV2の場合、使用されます。
CommunityName	string	コミュニティー名
SnmpV3	object	SnmpV3 情報 アカウントタイプがSnmpV3の場合、使用されます。
SecurityLevel	string	セキュリティレベル • authPriv：認証・暗号化あり

パラメーター	型	説明
		・ authNoPriv：認証あり、暗号化なし ・ noAuthNoPriv：認証・暗号化なし
AuthProtocol	string	認証プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" または "authNoPriv" の場合に使用されます。 アカウント情報はAccountName、パスワードはPasswordに指定してください。 ・ MD5：MD5による認証 ・ SHA：SHAによる認証
PrivProtocol	string	暗号化プロトコル セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 ・ DES：DESによる暗号化 ・ AES：AESによる暗号化
PrivPassword	string	暗号化パスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。セキュリティレベルが "authPriv" の場合に使用されます。 暗号化前の文字列長は最低8文字
ContextName	string	コンテキスト名
EngineId	string	エンジン ID

[レスポンスパラメーター]

「4.3.37 手動登録ノードの認証確認（ISM 3.0.0.010以降）」のレスポンスパラメーターを参照してください。

4.4.10 手動検出ノードの認証確認（ISM 3.0.0.010以降）

[概要]

手動検出したノードの認証情報を確認します。

[形式]

```
POST /nodes/discovery/manual/{manualdiscoveryid}/{manualnodeid}/authentication/check
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

「4.4.9 自動検出ノードの認証確認（ISM 3.0.0.010以降）」のリクエストパラメーターを参照してください。

[レスポンスパラメーター]

「4.3.37 手動登録ノードの認証確認（ISM 3.0.0.010以降）」のレスポンスパラメーターを参照してください。

4.5 ノード操作機能

4.5.1 電源の状態変更指示

[概要]

電源の状態変更を指示します。

[形式]

```
PATCH /nodes/{nodeid}/power
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
Parts		array	電源 のリスト
	Name	string	電源名 PowerManagement を設定します。
	PowerStatus	string	電源の状態 状態を変更するための操作を設定します。PowerOn、Reset、Shutdownのいずれかの値を設定します。 ノードのパワーステータスの詳細は「4.3.1 ノード登録」の[レスポンスパラメーター]を参照してください。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Parts		array	電源 のリスト
	Name	string	電源名 PowerManagementが設定されます。
	PowerStatus	string	電源の状態 On、Off、Standby、Unknownのいずれかの値が設定されます。 ノードのパワーステータスの詳細は「4.3.1 ノード登録」の[レスポンスパラメーター]を参照してください。

4.5.2 ノードのLED情報の取得

[概要]

指定したノード内のLED情報を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/{nodeid}/led
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Parts	array	LEDのリスト
Name	string	LED名 LED名が設定されます。 LED名にはPower LED Status、Global Error LED Status、CSS LED Status、Identify LED Statusがあります。
LedStatus	string	LEDの状態 On、Off、Blinkingのいずれかの値が設定されます。
LedChoices	array(string)	LEDの選択肢 操作可能な選択肢がすべて設定されます。選択肢には、On、Off、Blinkingがあります。 操作できない場合は、空リスト([ ])となります。

4.5.3 ノードLEDの状態変更指示

[概要]

指定したノードの識別LEDの状態変更を指示します。

[形式]

```
PATCH /nodes/{nodeid}/led
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Parts	array	LEDのリスト
Name	string	LED名 Identify LED Statusを設定します。
LedStatus	string	LEDの状態 変更したい状態を設定します。On、Off、Blinkingのいずれかの値を設定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Parts	array	LEDのリスト
Name	string	LED名 Identify LED Statusが設定されます。
LedStatus	string	LEDの状態 LEDの状態が設定されます。On、Off、Blinkingのいずれかの値が設定されます。

4.5.4 電源状態の出力

[概要]

電源情報を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/{nodeid}/power
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Parts		array	電源 のリスト
	Name	string	電源名 PowerManagementが設定されます。
	PowerStatus	string	電源の状態 On、Off、Standby、Unknownのいずれかの値が設定されます。 ノードのパワーステータスの詳細は「4.3.1 ノード登録」の[レスポンスパラメーター]を参照してください。
	PowerChoices	array(string)	電源の選択肢 操作可能な選択肢がすべて設定されます。選択肢には、PowerOn、Reset、Shutdownがあります。 なお、PowerOn、Reset、Shutdown以外の操作可能な選択肢は、ノードによって異なります。 操作できない場合は、空リスト([ ])となります。

4.5.5 iRMCログインセッションの取得

[概要]

指定したノードのiRMCログインセッション情報、およびアクセス先URLを取得します。

[形式]

```
POST /nodes/{nodeid}/irmcloginsession
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
IrmcLogin		object	iRMCログイン情報
	RoleId	string	ロールID ・ Administrator ・ Operator

パラメーター		型	説明
			・ ReadOnly 省略時はReadOnlyが指定されます。
	UseVideoRedirection	boolean	AVR使用指定 ・ true：使用する ・ false：使用しない 省略時はfalseが指定されます。
	UseRemoteStorage	boolean	リモートストレージ使用指定 ・ true：使用する ・ false：使用しない 省略時はfalseが指定されます。
	RelayRouteId	integer	中継ルート番号 ISMを経由してiRMCにアクセスする場合、中継ルート番号を指定します。 省略時は未指定となります。 中継ルートは、「4.18.25 中継ルート設定の更新」で設定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
IrmcLogin		object	iRMCログイン情報
	X-Auth-Token	string	トークンキー
	Id	integer	セッションID
	Url	string	アクセス先URL

[注意事項]

- 以下の場合、エラーとなります。
  - ユーザーグループ設定のパラメーター（IrmcLoginSessionEnable）の値が、「Disable」の場合
  - UseVideoRedirectionまたはUseRemoteStorageにtrueを指定、かつRelayRouteIdを指定した場合
  - 指定したRelayRouteIdに対して設定されているIPアドレスと、自クライアントからISMとの通信に使用しているIPアドレスが異なる場合
- RelayRouteIdを指定する場合、あらかじめ中継ルート設定を行っておく必要があります。
- RelayRouteIdを指定する場合、クライアントのブラウザにクライアント証明書をインポートしておく必要があります。

4.6 ノードの詳細情報管理機能

4.6.1 ノード情報取得の実行指示

[概要]

指定したノードに対して、機器から情報を取得します。

OS情報が登録されている場合、OSからも情報取得を実行します。

[形式]

```
POST /nodes/{nodeid}/inventory/refresh
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
RefreshDate	string	ノード情報取得指示の実行時刻

[注意事項]

- ノード情報取得には時間がかかります。完了後、運用ログにメッセージ(10020303) が出力されます。運用ログを確認してください。
- ノード情報取得に失敗した場合、運用ログにエラーが出力されます。
- ノード情報取得の進捗状況はノードの詳細情報取得から確認できます。
- ノード情報取得の実行中にノード情報取得の実行指示を行った場合、前回のノード情報取得完了後にもう一度機器からの情報取得を実行します。
- OS情報が登録されている場合、OSからも情報取得を実行します。ただし、OSからの情報取得に失敗してもノード情報取得は続行し、正常に完了します。
- OS情報取得に失敗した場合、運用ログにエラーが表示されます。運用ログを確認してください。

4.6.2 ノードの詳細情報の一覧取得

[概要]

ユーザーが属しているユーザーグループで管理しているすべてのノードの詳細情報を取得します。

クエリパラメーターにより、表示する内容を指定できます。

[形式]

```
GET /nodes/inventory
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
level	string	取得処理レベル VariableDataの取得有無を指定します。指定がない場合、Topで動作します。 ・ Top:VariableData情報なし ・ All:VariableData情報あり クエリパラメーター"target"と組み合わせて使用することを推奨します。
target	string	部品タイプ指定

パラメーター	型	説明
		VariableData内のパラメーターを指定してください。指定した情報のみ表示されます。取得処理レベルはAllを指定してください。 指定例） /nodes/inventory?level=All&target=Firmware → VariableData 内は Firmware のみ表示されます。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Node	array	ノードの詳細情報
NodeId	integer	ノードID
ProductName	string	機種名
Manufacture	string	ベンダー名
SerialNumber	string	シリアル番号
Name	string	システム名
MacAddress	string	機器のMACアドレス
Wwnn	string	WWNN
HardwareLogTarget	integer	ノードログ収集可否情報 ログ管理機能で使用します。 ・ 0:不可 ・ 1:可
SoftwareLogTarget	integer	OSログ収集可否情報 ログ管理機能で使用します。 ・ 0:不可 ・ 1:可
ServerViewLogTarget	integer	ServerViewログ収集可否情報 ログ管理機能で使用します。 ・ 0:不可 ・ 1:可
RaidLogTarget	integer	RAIDログ収集可否情報 ログ管理機能で使用します。 ・ 0:不可 ・ 1:可
Progress	string	ノード情報取得の進捗状況 ・ Updating:取得中。前回取得済みの情報を表示します。 ・ Complete:取得完了。最新の情報を表示します。 ・ Error:情報取得に失敗しました。情報は更新されません。
VariableData	object	詳細情報
Slot	string	スロット番号

パラメーター	型	説明
		PRIMERGY CXサーバーの場合に表示されます。
PartitionId	string	パーティション番号 PRIMEQUEST パーティション/拡張パーティションの場合に表示されます。
ParentId	string	親パーティション番号 PRIMEQUEST 拡張パーティションの場合に表示されます。
PartitioningMode	string	パーティション状態 PRIMEQUEST パーティション/拡張パーティションの場合に表示されます。 ・ Enable:パーティションが有効です。OSを起動して使用可能な状態です。 ・ Disable:パーティションが無効です。OSを起動できません。
Fans	array	FAN情報
Name	string	名前
Status	string	ステータス
Model	string	モデル名
PartNumber	string	部品番号
SerialNumber	string	シリアル番号
ParentName	string	搭載元情報
Psus	array	PSU情報
Name	string	名前
Status	string	ステータス
Model	string	モデル名
PartNumber	string	部品番号
SerialNumber	string	シリアル番号
ParentName	string	搭載元情報
Ports	array	ポート情報
Name	string	ポート名
Number	string	ポート番号
PortMacAddress	string	ポートMACアドレス 仮想アドレスが振られていた場合、仮想アドレスが表示されます。
PortWWNN	string	WWNN 仮想アドレスが振られていた場合、仮想アドレスが表示されます。
PortWWPN	string	WWPN 仮想アドレスが振られていた場合、仮想アドレスが表示されます。
ManufactureMacAddress	string	物理ポートMACアドレス
ManufactureWWNN	string	物理WWNN
ManufactureWWPN	string	物理WWPN

パラメーター	型	説明
Category	string	ポートカテゴリー LAN/ FC/ FCoE/ iSCSI/ IB/ CNA/ Unknown
SubCategory	string	ポートサブカテゴリー
TechnologyType	string	ポート種別
InterfaceType	string	インターフェイスタイプ
InterfaceDirection	string	スイッチポートリンク方向
LinkStatus	string	リンク状態
Speed	object	通信速度
Value	string	値
Unit	string	単位
Duplex	string	duplex Unknown/ Half/ Full
VLans	array	VLAN情報
VLanId	integer	VLAN ID
Tag	string	tagあり/なし
Ctag	integer	CTag情報
Lldp	string	LLDP設定 Enable/ Disable
NeighborDevices	array	接続先情報
ChassisMacAddress	string	接続先シャーシMACアドレス
PortName	string	接続先ポート名
PortMacAddress	string	接続先ポートMACアドレス
PortWwpn	string	接続先ポートWWPN
Wwnn	string	接続先ポート／接続先ノードWWNN
IpAddress	object	IPアドレス情報
V4	string	IPv4アドレス
V6	string	IPv6アドレス
Location	object	位置情報
PciSlotId	string	スロットID
PciVenderId	string	ベンダーID
PciDeviceId	string	デバイスID
PciSubVendorId	string	サブベンダーID
PciSubSystemId	string	サブシステムID
Component	object	構成ユニット情報 どのコンポーネント上にあるかを表示します。
Type	string	構成ユニットの種類 例）"PCIe"
Name	string	構成ユニットの名前 例）PCIeのPCIe名

パラメーター	型	説明
ParentName	string	搭載元情報
DetectedOrder	integer	検出番号 PRIMERGYサーバーの場合に表示されます。
ModuleType	string	モジュールタイプ 例）"Onboard"
PCIes	array	PCIe 情報
PortMacAddress	string	ポートMACアドレス
PortWWPN	string	WWPN
Category	string	ポートカテゴリー
Name	string	PCIe 名
Model	string	モデル名
Type	string	PCIeタイプ
SlotId	string	カードのスロット番号
BusNumber	integer	カードのバス番号
DeviceNumber	integer	カードのデバイス番号
FunctionNumber	integer	カードのファンクション番号
Component	object	構成ユニット情報 どのコンポーネント上にあるかを表示します。
Type	string	構成ユニットの種類 例）MMB
Name	string	構成ユニットの名前 例）MMBのMMB名
Firmware	array	ファームウェア情報
PortMacAddress	string	ポートMACアドレス
PortWWPN	string	WWPN
Category	string	ポートカテゴリー
Name	string	ファームウェア名
SlotId	string	スロットID
Model	string	モデル名
Type	string	ファームウェアタイプ
FirmwareVersion	string	ファームウェア版数
Slot	string	スロット番号
Segment	string	セグメント
Bus	string	バス番号
Device	string	デバイス番号
Function	string	ファンクション番号
Version	string	iRMCのバージョン PRIMERGYサーバーの場合に表示されます。
ParentName	string	搭載元情報

パラメーター	型	説明
Unified	string	ユニファイドモデル
Downloaded	boolean	ダウンロード状態 ・ False：準備未完了 ・ True：準備完了
SwitchConfigurations	Array	スイッチ設定
Name	string	設定名
Lag	array	リンクアグリゲーション（LAG）情報
LagName	string	LAG名
LinkStatus	string	LAGのステータス
LagMode	string	LAGの動作モード
LagType	string	LAG種別
MlagId	string	MLAG ID
CFabricType	string	C-Fabricのタイプ情報
PortNames	array(string)	ポート番号
Mlag	string	MLAG設定 Enable/ Disable
Mlags	array	MLAG情報
Domain	string	MLAGドメイン
MlagId	string	MLAG ID
MlagStatus	string	MLAGステータス
PeerLinks	array(string)	MLAGピアリンクポート
NeighborDevice	object	相手装置情報
MlagId	string	相手MLAG ID
MlagStatus	string	相手MLAGステータス
MacAddress	string	相手MACアドレス
PeerLinks	array(string)	相手MLAGピアリンクポート
FcoeMode	string	FCoE使用可否情報
Fcoes	array	FCoE情報
FcoeName	string	FCoE名
Mode	string	FCoEモード
LinkStatus	string	FCoE状態
VtepMode	string	Vtep使用可否情報
Vteps	array	Vtep情報
VxlanId	string	VXLANインターフェイス名
IpAddress	string	IPアドレス
UdpPort	string	UDPポート番号
BumTraffic	string	BUMトラフィック転送方法

パラメーター	型	説明
MalticastGroup	string	マルチキャストグループ
PinGroups	array	PinGroup情報
PinGroupName	string	PinGroup名
PortList	array	PinGroup構成ポートリスト
PortName	string	ポート名
MemoryModules	array	メモリー情報
Name	string	名前
Status	string	ステータス
Model	string	モデル名
Manufacture	string	ベンダー名
PartNumber	string	部品番号
SerialNumber	string	シリアル番号
Frequency	string	周波数
MemorySize	string	サイズ
Slot	string	スロットID
ParentName	string	搭載元情報
Cpus	array	CPU 情報
Name	string	名前
Status	string	ステータス
Model	string	モデル名
CpuId	string	CPUのID
Slot	string	スロットID
Power	string	電力
Core	string	コア数
CoreSpeed	string	CPU速度
ConnectSpeed	string	バス接続速度
CacheL1	string	キャッシュサイズ1
CacheL2	string	キャッシュサイズ2
CacheL3	string	キャッシュサイズ3
ParentName	string	搭載元情報
Disks	array	ディスク情報
Status	string	ステータス
Position	string	ディスク位置
Type	string	ディスクの種別
Manufacture	string	ベンダー名
Model	string	モデル
Health	string	寿命情報
Drive	string	ドライブ名
OwnerNodeName	string	コントローラー名

パラメーター	型	説明
StatusIndicator	string	ステータス値
Location	array	ディスク位置
Info	string	ディスク位置情報
InfoFormat	string	ディスク位置情報のフォーマット
EnclosureNumber	integer	エンクロージャー番号
EnclosureSlotNumber	integer	エンクロージャーのスロット番号
Name	string	ディスク名
DiskSize	string	容量
DiskSizeUnit	string	容量の単位
MediaType	string	ディスク種別
SerialNumber	string	シリアル番号
HotspareType	string	ホットスペアタイプ
EncryptionAbility	string	暗号化機能
EncryptionStatus	string	暗号化ステータス
RotationSpeed	string	回転数
RotationSpeedUnit	string	回転数の単位
BlockSize	string	ブロックサイズ
BlockSizeUnit	string	ブロックサイズの単位
CapableSpeed	string	最大速度
CapableSpeedUnit	string	最大速度の単位
NegotiatedSpeed	string	現行利用速度
NegotiatedSpeedUnit	string	現行利用速度の単位
Controller	object	コントローラーカード情報
SlotId	string	PCIスロット番号
BusNumber	integer	バス番号
SerialNumber	string	シリアル番号
Volume	array	ボリューム情報
Number	string	ボリューム番号
Status	string	ステータス
Type	string	ボリューム種別
Capacity	string	容量
CapacityUnit	string	容量の単位
VolumeDiskNames	array(string)	ボリュームに含まれるディスク名
SizeUsed	string	使用容量
Name	string	ボリューム名
Aggregate	string	アグリゲート名
Aggregate	array	アグリゲート情報
Name	string	アグリゲート名
RaidLevel	string	Raidレベル

パラメーター	型	説明
Status	string	ステータス
PowerStatus	string	Powerステータス
SizeUsed	string	使用容量
SizeAvail	string	空き容量
Size	string	容量
OwnerNodeName	string	コントローラー名
Raid	array	RAID 情報
Number	string	RAID 番号
Name	string	RAID 名
Status	string	ステータス
Level	string	RAIDレベル
Capacity	string	RAIDの容量
TotalCapacity	integer	RAIDの容量
TotalCapacityUnit	string	RAIDの容量の単位
FreeCapacity	integer	RAIDの空き容量
FreeCapacityUnit	string	RAIDの空き容量の単位
Disks	integer	RAIDのディスク数
VolumeDiskNames	array(string)	ボリュームに含まれるディスク名
MMBs	array	MMB情報
Name	string	MMB名
Role	string	ステータス Active/ Standby
PartNumber	string	部品番号
SerialNumber	string	シリアル番号
FirmwareVersion	string	統合ファームウェア版数
MmbFirmwareVersion	string	MMBのファームウェア版数
ProductName	string	MMBの製品名
ParentName	string	搭載元情報
SBs	array	SB情報
Name	string	SB名
Home	string	Home設定
PartNumber	string	部品番号
SerialNumber	string	シリアル番号
FirmwareVersion	string	SBのファームウェア版数
BmcFirmwareVersion	string	BMCのファームウェア版数
BiosFirmwareVersion	string	BIOSのファームウェア版数
IOUs	array	IOU情報
Name	string	IOU名
Type	string	IOUタイプ

パラメーター	型	説明
PartNumber	string	部品番号
SerialNumber	string	シリアル番号
PCI_Boxes	array	PCI_Box情報
Name	string	PCI_Box名
PartNumber	string	部品番号
SerialNumber	string	シリアル番号
Components	array	構成ユニット情報 どのコンポーネント上にあるかを表示します。
LogicalComponent	string	論理番号
Type	string	構成ユニットの種類 例）IOU
Name	string	構成ユニットの名前 例）IOUのIOU名
DUs	array	DU情報
Name	string	DU名
PartNumber	string	部品番号
SerialNumber	string	シリアル番号
Component	object	コンポーネント
Type	string	構成ユニットの種類
Name	string	構成ユニットの名前
FabricInformation	object	ファブリック情報 ファブリックノードの場合に表示されます。
FabricId	string	ファブリックID
VcsConfigMode	string	VCS設定モード
VcsMode	string	VCSモード
VcsGuid	string	VCS GUID
CfabDomainList	array	C-Fabricのドメイン情報
DomainType	string	ドメインタイプ
DomainId	integer	ドメインID
Ipv4Address	string	IPv4アドレス
Ipv6Address	string	IPv6アドレス
FabricSwitchInformation	array	ファブリックスイッチ情報
NodeId	integer	ノードID
Model	string	モデル名
UniqInfo	string	内部特定情報
DomainId	integer	ドメインID
SwitchId	integer	スイッチID
SwitchPriority	string	VCS プリンシパルスイッチ null/ Principal

パラメーター	型	説明
FirmwareVersion	string	ファームウェア版数
SwitchRole	string	C-Fabric スイッチロール master/ slave/ unknown
MacAddress	string	MACアドレス
FirmwareUpdateMode	string	ファームウェアアップデートモード
PortInformation	array	ポート情報
PortName	string	ポート名
PortNumber	string	ポート番号
Catergory	string	ポートカテゴリー
SubCategory	string	ポートサブカテゴリー
TechnologyType	string	ポート種別
InterfaceType	string	インターフェイスタイプ
LinkStatus	string	リンク状態
Speed	object	通信速度
Value	string	値
Unit	string	単位
NeighborDevices	array	接続先情報
ChassisMacAddress	string	接続先シャーシMACアドレス
PortName	string	接続先ポート名
PortMacAddress	string	接続先ポートMACアドレス
FabricInternalInformation	object	ファブリック内部情報 ファブリックスイッチの場合に表示されます。
FabricId	integer	ファブリックID
DomainId	integer	ドメインID
SwitchId	integer	スイッチID
SwitchPriority	string	VCS プリンシパルスイッチ null/ Principal
SwitchRole	string	C-Fabric スイッチロール master/ slave/ unknown
PortInformation	array	ポート情報
PortName	string	ポート名
NeighborDevices	array	接続先情報
ChassisMacAddress	string	接続先シャーシMACアドレス
PortName	string	接続先ポート名
PortMacAddress	string	接続先ポートMACアドレス
VfabInformation	array	VFAB情報
VfabId	string	VFAB ID
VfabStatus	string	VFAB動作状況

パラメーター	型	説明
VfabMode	string	VFABモード
EndPointPortInformation	array	End Pointポート情報
IfGroupId	integer	インタフェースグループID
VlanInformation	array	VLAN情報
VlanId	integer	VLAN ID
VlanType	string	VLANタイプ
CirPortInformation	array	CIRポート情報
IfGroupId	integer	インタフェースグループID
VlanInformation	array	VLAN情報
VlanId	integer	VLAN ID
VlanType	string	VLANタイプ
TranslateVlanId	integer	トランスレートVLAN
AmppAreaInformation	array	AMPPエリア情報
IfGroupId	integer	インタフェースグループID
InterfaceGroupInformation	array	インタフェースグループ情報
IfGroupId	integer	インタフェースグループID
PortInformation	array	インタフェースグループに属するポート情報
PortName	string	ポート名
LagInformation	array	インタフェースグループに属するLAG情報
LagName	string	LAG名
ControllerList	array	コントローラー情報 NetAppストレージの場合に表示されます。
Name	string	コントローラー名
Ipv4Address	string	IPv4アドレス
Ipv6Address	string	IPv6アドレス
Model	string	モデル名
Manufacture	string	ベンダー名
SerialNumber	string	シリアル番号
NodeVersion	string	コントローラーのOS版数
Partner	string	パートナー情報
Uuid	string	UUID
PortList	array	コントローラーのポート情報
PortName	string	ポート名
DiskShelfList	array	内蔵ディスクシェルフ情報 NetAppストレージの場合に表示されます。
Name	string	ディスクシェルフ名
ProductName	string	モデル名
Manufacture	string	ベンダー名
SerialNumber	string	シリアル番号

パラメーター	型	説明
ModuleType	string	モジュールタイプ
ShelfId	string	シェルフID
StackId	string	スタックID
NodeName	string	接続コントローラー名
ConnectionBladeList	array	コネクションブレード情報
Name	string	コネクションブレード名
ProductName	string	機種名
Manufacture	string	ベンダー名
SerialNumber	string	シリアル番号
SlotNumber	string	スロット番号
EkeyStatusPortOverview	string	EkeyStatusPort情報
NodeConfiguration	object	ノード設定
SnmpV3EngineId	string	SnmpV3 Engine ID情報
HardwareLogTarget	integer	ノードログ収集可否情報
IpmiOverLan	boolean	IPMI有効/無効設定 ・ False:IPMI無効 ・ True:IPMI有効
ElcmStatus	object	eLCMの状態
EnabledAndLicenced	boolean	ライセンス登録有無 ・ False:未登録 ・ True:登録済
SDCardMounted	boolean	SDカードの搭載有無 ・ False:未搭載 ・ True:搭載済
EimVersion	string	eIMのバージョン
SupportedOsList	array	サポートOSのリスト
OsType	string	OSタイプ
ElcmOfflineLastSuccessfulUpdateCheckDate	string	eLCM OfflineUpdateのイメージ作成日時
Enclosures	array	エンクロージャー情報
ProductName	string	機種名
Manufacture	string	ベンダー名
SerialNumber	string	シリアル番号
Name	string	システム名
MacAddress	string	MACアドレス
UniqInfo	string	識別情報
EnclosureNumber	integer	エンクロージャー番号
ChassisType	string	シャーシタイプ
Overview	object	iRMCのシステム概要(ISM 3.0.0.010以降)

パラメーター				型	説明
			SystemInformation	object	システム情報
			ProductName	string	モデル名
			SerialNumber	string	シリアル番号
			PartNumber	string	部品番号
			Uuid	string	システムGUID
			BiosVersion	string	BIOSバージョン
			ChassisType	string	シャーシタイプ
			AssetTag	string	資産タグ
			OsInformation	object	オペレーティングシステム(OS)情報
			OperatingSystem	string	OSの種類
			OperatingSystemVersion	string	OSバージョン
			SystemName	string	ホスト名
			SystemIps	array(string)	ホストIPアドレス
			Description	string	システム情報
			Location	string	システムの場所
			Contact	string	システムの管理者
			SystemUpTimeMin	string	OS稼働時間(分)
			ManagementSoftware	string	管理ソフトウェア
	UpdateDate			string	最終更新時刻
	InventoryScheduleTime			string	ノード情報取得のスケジュール時間 UTCで時刻を表示します。

4.6.3 ノードの詳細情報の個別取得

[概要]

指定したノードの詳細情報を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/{nodeid}/inventory
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
level	string	取得処理レベル VariableDataの取得有無を指定します。指定がない場合、Allで動作します。 ・ Top：VariableData情報なし ・ All：VariableData情報あり
target	string	部品タイプ指定 VariableData内のパラメーターを指定してください。指定した情報のみ表示されます。取得処理レベルはAllを指定してください。

パラメーター	型	説明
		指定例） /nodes/{nodeid}/inventory?level=All&target=Firmware → VariableData 内は Firmware のみ表示されます。

[レスポンスパラメーター]

「4.6.2 ノードの詳細情報の一覧取得」のレスポンスパラメーターを参照してください。

4.6.4 OS情報登録

[概要]

指定したノードにOS情報を登録します。

[形式]

```
POST /nodes/{nodeid}/os
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Host	object	OS情報
OsType	string	OS タイプ ・RedHat：Red Hat Enterprise Linux ・SUSELinuxEnterprise：SUSE Linux Enterprise Server ・AlmaLinux：AlmaLinux ・Windows：Microsoft Windows ・AzureStackHCI：Azure Stack HCI ・VMware：VMware ESXi ・IPCOM OS：IPCOM OS
OsVersion	string	OS の版数 ・RedHat：6.0/ 6.1/ 6.2/ 6.3/ 6.4/ 6.5/ 6.6/ 6.7/ 6.8/ 6.9/ 6.10/ 7.0/ 7.1/ 7.2/ 7.3/ 7.4/ 7.5/ 7.6/ 7.7/ 7.8/ 7.9/ 8.0/ 8.1/ 8.2/ 8.3/ 8.4/ 8.5/ 8.6/ 8.7/ 8.8/ 8.9/ 8.10/ 9.0/ 9.1/ 9.2/ 9.3/ 9.4 ・RedHat：9.5（ISM 3.0.0.010以降) ・SUSELinuxEnterprise：11/ 11SP1/ 11SP2/ 11SP3/ 11SP4/ 12/ 12SP1/ 12SP2/ 12SP3/ 12SP4/ 12SP5/ 15/ 15SP1/ 15SP2/ 15SP3/ 15SP4/ 15SP5/ 15SP6 ・AlmaLinux：8.10/ 9.4/ 9.5 ・Windows：2012/ 2012R2/ 2016/ 2019/ 2022/ 2025 ・AzureStackHCI：Auto ・VMware：Auto/ 6.0/ 6.5/ 6.7/ 7.0/ 8.0 ・VMware：9.0

パラメーター	型	説明
		・ IPCOM OS：1.x
OsIpAddress	string	OSのIPアドレス
OsIpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6
OsDomain	string	ドメイン名 レルムのFQDN名を指定してください。 例）ISMDOMAIN.LOCAL
OsAccount	string	アカウント名 レルムを除いたアカウント名を指定してください。 例）ismadmin
OsPassword	string	パスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。
OsPortNum	integer	使用ポート番号 ポート番号、またはnullを指定します。 nullを指定した場合、プロトコルの標準ポート番号が設定されます。 各OSの接続プロトコルは以下のとおりです。 ・ RedHat, SUSELinuxEnterprise, IPCOM OS：SSH（22番） ・ Windows, AzureStackHCI：WinRM（5986番） ・ VMware：CIM（443番）
OsInfoCollectionEnabled	boolean	定期的なOS情報収集の有効/無効

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Host	object	OS情報
NodeId	integer	ノードID
OsType	string	OS タイプ ・ RedHat：Red Hat Enterprise Linux ・ SUSELinuxEnterprise：SUSE Linux Enterprise Server ・ AlmaLinux：AlmaLinux ・ Windows：Microsoft Windows ・ AzureStackHCI：Azure Stack HCI ・ VMware：VMware ESXi ・ IPCOM OS：IPCOM OS
OsVersion	string	ユーザーが指定したOS の版数
RefOsMajorVersion	string	OSから取得したメジャー版数
RefOsMinorVersion	string	OSから取得したマイナー版数
OsIpAddress	string	OSのIPアドレス

パラメーター	型	説明
OsIpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4:IPv4 ・ V6:IPv6
OsDomain	string	ドメイン名
OsAccount	string	アカウント名
OsPortNum	integer	使用ポート番号
OsInfoCollectionEnabled	boolean	定期的なOS情報収集の有効/無効
HostName	string	ホスト名 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
MemorySize	string	OSの認識するメモリー容量 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
MemorySizeUnit	string	OSの認識するメモリー容量の単位 B/ KB/ MB/ GB/ TB ノード情報取得後、自動的に設定されます。
IpAddress	array	IPアドレス情報 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
DeviceName	string	ポートのデバイス名 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
MacAddress	string	ポートのMACアドレス ノード情報取得後、自動的に設定されます。
V4	string	IPv4のIPアドレス ノード情報取得後、自動的に設定されます。
V4SubMask	string	IPv4のサブネットマスク ノード情報取得後、自動的に設定されます。
V6	string	IPv6のIPアドレス ノード情報取得後、自動的に設定されます。
V6SubMask	string	IPv6のサブネットマスク ノード情報取得後、自動的に設定されます。
DiskUnits	array	ディスク情報 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
MountPosition	string	ボリュームの名前 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
UseSize	string	ボリュームの使用容量 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
UseSizeUnit	string	ボリュームの使用容量の単位 B/ KB/ MB/ GB/ TB ノード情報取得後、自動的に設定されます。
VolumeSize	string	ボリュームの容量 ノード情報取得後、自動的に設定されます。

パラメーター	型	説明
VolumeSizeUnit	string	OSで作成されたボリュームの容量の単位 B/ KB/ MB/ GB/ TB ノード情報取得後、自動的に設定されます。
CmsId	integer	OSが管理されている仮想化管理ソフトウェアID
UpdateDate	string	最終更新時刻
OsRefreshDate （ISM 3.0.0.010以降）	string	OS情報取得日時

[注意事項]

- OS情報を登録後、ノード情報取得の実行指示を実行してください。
- ISMがサポートするOSの種類や版数については、当社の本製品Webサイトで『管理対象機器一覧』([サポート対象OS]シートおよび[サーバー・シャーシ]シート)を参照してください。

  https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/environment/

4.6.5 OSの一覧取得

[概要]

ユーザーが属しているユーザーグループで管理しているすべてのノードのOS情報を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/os
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Hosts	array	OS情報
NodeId	integer	ノードID
OsType	string	OS タイプ ・RedHat：Red Hat Enterprise Linux ・SUSELinuxEnterprise：SUSE Linux Enterprise Server ・AlmaLinux：AlmaLinux ・Windows：Microsoft Windows ・AzureStackHCI：Azure Stack HCI ・VMware：VMware ESXi ・IPCOM OS：IPCOM OS
OsVersion	string	ユーザーが指定したOS の版数
RefOsMajorVersion	string	OSから取得したメジャー版数
RefOsMinorVersion	string	OSから取得したマイナー版数
OsIpAddress	string	OSのIPアドレス

パラメーター		型	説明
	OsIpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4:IPv4 ・ V6:IPv6
	OsDomain	string	ドメイン名
	OsAccount	string	アカウント名
	OsPortNum	integer	使用ポート番号
	OsInfoCollectionEnabled	boolean	定期的なOS情報収集の有効/無効
	HostName	string	ホスト名 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
	CmsId	integer	OSが管理されている仮想化管理ソフトウェアID
	UpdateDate	string	最終更新時刻
	OsRefreshDate （ISM 3.0.0.010以降）	string	OS情報取得日時

4.6.6 OSの個別取得

[概要]

指定したノードのOS情報を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/{nodeid}/os
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Host		object	OS情報
	NodeId	integer	ノードID
	OsType	string	OS タイプ ・ RedHat:Red Hat Enterprise Linux ・ SUSELinuxEnterprise:SUSE Linux Enterprise Server ・ AlmaLinux:AlmaLinux ・ Windows:Microsoft Windows ・ AzureStackHCI:Azure Stack HCI ・ VMware:VMware ESXi ・ IPCOM OS:IPCOM OS
	OsVersion	string	ユーザーが指定したOS の版数
	RefOsMajorVersion	string	OSから取得したメジャー版数
	RefOsMinorVersion	string	OSから取得したマイナー版数
	OsIpAddress	string	OSのIPアドレス

パラメーター	型	説明
OsIpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6
OsDomain	string	ドメイン名
OsAccount	string	アカウント名
OsPortNum	integer	使用ポート番号
OsInfoCollectionEnabled	boolean	定期的なOS情報収集の有効/無効
HostName	string	ホスト名 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
MemorySize	string	OSの認識するメモリー容量 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
MemorySizeUnit	string	OSの認識するメモリー容量の単位 B/ KB/ MB/ GB/ TB ノード情報取得後、自動的に設定されます。
IpAddress	array	IPアドレス情報 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
DeviceName	string	ポートのデバイス名 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
MacAddress	string	ポートのMACアドレス ノード情報取得後、自動的に設定されます。
V4	string	IPv4のIPアドレス ノード情報取得後、自動的に設定されます。
V4SubMask	string	IPv4のサブネットマスク ノード情報取得後、自動的に設定されます。
V6	string	IPv6のIPアドレス ノード情報取得後、自動的に設定されます。
V6SubMask	string	IPv6のサブネットマスク ノード情報取得後、自動的に設定されます。
DiskUnits	array	ディスク情報 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
MountPosition	string	ボリュームの名前 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
UseSize	string	ボリュームの使用容量 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
UseSizeUnit	string	ボリュームの使用容量の単位 B/ KB/ MB/ GB/ TB ノード情報取得後、自動的に設定されます。
VolumeSize	string	ボリュームの容量 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
VolumeSizeUnit	string	OSで作成されたボリュームの容量の単位

パラメーター	型	説明
		B/ KB/ MB/ GB/ TB ノード情報取得後、自動的に設定されます。
CmsId	integer	OSが管理されている仮想化管理ソフトウェアID
UpdateDate	string	最終更新時刻
OsRefreshDate （ISM 3.0.0.010以降）	string	OS情報取得日時

4.6.7 OS情報の更新

[概要]

指定したノードのOS情報を更新します。

複数ノードに対して、OS情報を一括して更新する場合は、「4.6.17 OS情報の一括更新」を参照してください。

[形式]

```
PATCH /nodes/{nodeid}/os
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Host	object	OS情報
OsType	string	OSタイプ OSタイプの詳細については、「4.6.4 OS情報登録」を参照してください。
OsVersion	string	OSの版数 OSの版数の詳細については、「4.6.4 OS情報登録」を参照してください。
OsIpAddress	string	OSのIPアドレス
OsIpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6
OsDomain	string	ドメイン名 レルムのFQDN名を指定してください。 例）ISMDOMAIN.LOCAL
OsAccount	string	アカウント名 レルムを除いたアカウント名を指定してください。 例）ismadmin
OsPassword	string	パスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。 更新しない場合、キーを省略してください。
OsPortNum	integer	使用ポート番号

パラメーター		型	説明
			ポート番号、またはnullを指定します。 nullを指定した場合、プロトコルの標準ポート番号が設定されます。 各OSの接続プロトコルは以下のとおりです。 ・ RedHat, SUSELinuxEnterprise, IPCOM OS：SSH（22番） ・ Windows, AzureStackHCI：WinRM（5986番） ・ VMware：CIM（443番）
	OsInfoCollectionEnabled	boolean	定期的なOS情報収集の有効/無効

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Host		object	OS情報
	NodeId	integer	ノードID
	OsType	string	OS タイプ ・ RedHat：Red Hat Enterprise Linux ・ SUSELinuxEnterprise：SUSE Linux Enterprise Server ・ AlmaLinux：AlmaLinux ・ Windows：Microsoft Windows ・ AzureStackHCI：Azure Stack HCI ・ VMware：VMware ESXi ・ IPCOM OS：IPCOM OS
	OsVersion	string	ユーザーが指定したOS の版数
	RefOsMajorVersion	string	OSから取得したメジャー版数
	RefOsMinorVersion	string	OSから取得したマイナー版数
	OsIpAddress	string	OSのIPアドレス
	OsIpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6
	OsDomain	string	ドメイン名
	OsAccount	string	アカウント名
	OsPortNum	integer	使用ポート番号
	OsInfoCollectionEnabled	boolean	定期的なOS情報収集の有効/無効
	HostName	string	ホスト名 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
	MemorySize	string	OSの認識するメモリー容量 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
	MemorySizeUnit	string	OSの認識するメモリー容量の単位 B/ KB/ MB/ GB/ TB ノード情報取得後、自動的に設定されます。

パラメーター	型	説明
IpAddress	array	IPアドレス情報 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
DeviceName	string	ポートのデバイス名 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
MacAddress	string	ポートのMACアドレス ノード情報取得後、自動的に設定されます。
V4	string	IPv4のIPアドレス ノード情報取得後、自動的に設定されます。
V4SubMask	string	IPv4のサブネットマスク ノード情報取得後、自動的に設定されます。
V6	string	IPv6のIPアドレス ノード情報取得後、自動的に設定されます。
V6SubMask	string	IPv6のサブネットマスク ノード情報取得後、自動的に設定されます。
DiskUnits	array	ディスク情報 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
MountPosition	string	ボリュームの名前 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
UseSize	string	ボリュームの使用容量 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
UseSizeUnit	string	ボリュームの使用容量の単位 B/ KB/ MB/ GB/ TB ノード情報取得後、自動的に設定されます。
VolumeSize	string	ボリュームの容量 ノード情報取得後、自動的に設定されます。
VolumeSizeUnit	string	OSで作成されたボリュームの容量の単位 B/ KB/ MB/ GB/ TB ノード情報取得後、自動的に設定されます。
CmsId	integer	OSが管理されている仮想化管理ソフトウェアID
UpdateDate	string	最終更新時刻
OsRefreshDate （ISM 3.0.0.010以降）	string	OS情報取得日時

[注意事項]

- OS情報を更新後、ノード情報取得の実行指示を実行してください。
- ISMがサポートするOSの種類や版数については、当社の本製品Webサイトで『管理対象機器一覧』([サポート対象OS]シートおよび[サーバー・シャーシ]シート)を参照してください。

  https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/environment/

4.6.8 OS情報の削除

[概要]

指定したノードのOS情報を削除します。

[形式]

```
DELETE /nodes/{nodeid}/os
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

4.6.9 仮想情報取得の実行指示

[概要]

ユーザーが属しているユーザーグループで管理している仮想化管理ソフトウェアから情報を取得します。

[形式]

```
POST /resources/inventory/refresh
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
CmsIds	array(integer)	仮想化管理ソフトウェアID 取得先の仮想化管理ソフトウェアを限定する場合、指定してください。指定がない場合、ユーザーが管理しているすべての仮想化管理ソフトウェアから情報を取得します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
RefreshDate	string	仮想情報取得指示の実行時刻

[注意事項]

- 仮想情報取得には時間がかかります。完了後、運用ログにメッセージ(10021503)が出力されます。運用ログを確認してください。
- 仮想情報取得に失敗した仮想化管理ソフトウェアが存在する場合、運用ログにエラーメッセージが出力されます。

4.6.10 仮想マシンの一覧取得

[概要]

ユーザーが属しているユーザーグループで管理しているノードのOS上にあるすべての仮想マシンを取得します。

クエリパラメーターにより、取得する情報を絞り込むことができます。

[形式]

```
GET /resources/virtualmachines
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
nodeid	integer	ノードIDによる絞り込み

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
VirtualMachines	array	仮想マシン情報
VirtualMachineId	integer	仮想マシンID
NodeId	integer	ノードID
CmsId	integer	仮想化管理ソフトウェアID
CmsType	string	仮想化管理ソフトウェアタイプ ・ vCenter：VMware vCenter Server ・ MicrosoftFailoverCluster：Microsoft Failover Cluster ・ SystemCenter：Microsoft System Center Virtual Machine Manager ・ KVM RedHat：Red Hat Enterprise Linux上で動作しているKVM ・ KVM SUSELinuxEnterprise：SUSE Linux Enterprise Server上で動作しているKVM ・ OpenStack：OpenStack
CmsVersion	string	仮想化管理ソフトウェアの版数
OperatingSystem	string	仮想マシンのOS情報
VirtualMachineInstanceId	string	仮想マシン識別ID 仮想化管理ソフトウェアで採番されているIDが表示されます。
VirtualMachineName	string	仮想マシン名
VirtualMachinePowerStatus	string	仮想マシンの起動状態 ・ ON：起動状態 ・ OFF：起動状態以外
VirtualCpuCoreNum	integer	仮想CPUコア数
VirtualMachineMemoryMax	integer	メモリー容量の最大値設定 最大、最小の設定がない場合にはどちらも同じ値が入ります。
VirtualMachineMemoryMaxUnit	string	メモリー容量の最大値設定の単位 B/ KB/ MB/ GB/ TB
VirtualMachineMemoryMin	integer	メモリー容量の最小値設定 最大、最小の設定がない場合にはどちらも同じ値が入ります。
VirtualMachineMemoryMinUnit	string	メモリー容量の最小値設定の単位

パラメーター	型	説明
		B/ KB/ MB/ GB/ TB
VirtualDiskTotal	integer	ディスクストレージの容量 複数ディスクが割り当てられている場合、合計値が表示されます。
VirtualDiskTotalUnit	string	ディスクストレージの容量の単位 B/ KB/ MB/ GB/ TB
VirtualMachineOptionVCenter	object	vCenter用の付加情報
ManagementObjectId	string	ManagementObjectReferenceごとに付けられるID
VirtualAdapterInformation	array	仮想アダプター情報
VirtualAdapterName	string	仮想アダプター名
VirtualAdapterNumber	string	仮想アダプター番号
MacAddress	string	MACアドレス
VlanInformation	array	VLAN情報
VlanId	string	VLAN ID 複数の値がある場合はコンマ(,)つなぎで表示されます。3つ以上連続した値はハイフン(-)でつなげて表示されます。 例）"1-10,21,22,30-45"
VlanType	string	VLANタイプ VLAN/ Trunk/ Private-Primary
RemoteVirtualSwitchInformation	object	接続先仮想スイッチ情報 仮想アダプターが仮想スイッチと接続している場合に表示されます。
SwitchType	string	接続先仮想スイッチタイプ Standard/ Distributed
RemoteVirtualSwitchId	integer	接続先仮想スイッチID
RemoteVirtualSwitchPortName	string	接続先仮想スイッチポート名
RemoteVirtualRouterInformation	object	接続先仮想ルーター情報 仮想アダプターが仮想ルーターと接続している場合に表示されます。
RemoteVirtualRouterId	integer	接続先仮想ルーターID
RemoteVirtualRouterPortName	string	接続先仮想ルーターポート名
PhysicalAdapterInformation	object	物理アダプター情報 仮想アダプターが物理アダプターと接続している場合に表示されます。
NodeId	integer	ノードID
PhysicalAdapterName	string	物理アダプター名
UpdateDate	string	最終更新時刻

[注意事項]

- 仮想マシン情報を表示するためには、仮想化管理ソフトウェアを登録し、「4.6.9 仮想情報取得の実行指示」を行う必要があります。

4.6.11 仮想マシンの個別取得

[概要]

指定された仮想マシン情報を取得します。

[形式]

```
GET /resources/virtualmachines/{virtualmachineid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
VirtualMachine	object	仮想マシン情報
VirtualMachineId	integer	仮想マシンID
NodeId	integer	ノードID
CmsId	integer	仮想化管理ソフトウェアID
CmsType	string	仮想化管理ソフトウェアタイプ ・ vCenter：VMware vCenter Server ・ MicrosoftFailoverCluster：Microsoft Failover Cluster ・ SystemCenter：Microsoft System Center Virtual Machine Manager ・ KVM RedHat：Red Hat Enterprise Linux上で動作しているKVM ・ KVM SUSELinuxEnterprise：SUSE Linux Enterprise Server上で動作しているKVM ・ OpenStack：OpenStack
CmsVersion	string	仮想化管理ソフトウェアの版数
OperatingSystem	string	仮想マシンのOS情報
VirtualMachineInstanceId	string	仮想マシン識別ID 仮想化管理ソフトウェアで採番されているIDが表示されます。
VirtualMachineName	string	仮想マシン名
VirtualMachinePowerStatus	string	仮想マシンの起動状態 ・ ON：起動状態 ・ OFF：起動状態以外
VirtualCpuCoreNum	integer	仮想CPUコア数
VirtualMachineMemoryMax	integer	メモリー容量の最大値設定 最大、最小の設定がない場合にはどちらも同じ値が入ります。
VirtualMachineMemoryMaxUnit	string	メモリー容量の最大値設定の単位 B/ KB/ MB/ GB/ TB
VirtualMachineMemoryMin	integer	メモリー容量の最小値設定 最大、最小の設定がない場合にはどちらも同じ値が入ります。

パラメーター	型	説明
VirtualMachineMemoryMinUnit	string	メモリー容量の最小値設定の単位 B/ KB/ MB/ GB/ TB
VirtualDiskTotal	integer	ディスクストレージの容量 複数ディスクが割り当てられている場合、合計値が表示されます。
VirtualDiskTotalUnit	string	ディスクストレージの容量の単位 B/ KB/ MB/ GB/ TB
VirtualMachineOptionVCenter	object	vCenter用の付加情報
ManagementObjectId	string	ManagementObjectReferenceごとに付けられるID
VirtualAdapterInformation	array	仮想アダプター情報
VirtualAdapterName	string	仮想アダプター名
VirtualAdapterNumber	string	仮想アダプター番号
MacAddress	string	MACアドレス
VlanInformation	array	VLAN情報
VlanId	string	VLAN ID 複数の値がある場合はコンマ(,)つなぎで表示されます。3つ以上連続した値はハイフン(-)でつなげて表示されます。 例）"1-10,21,22,30-45"
VlanType	string	VLANタイプ VLAN/ Trunk/ Private-Primary
RemoteVirtualSwitchInformation	object	接続先仮想スイッチ情報 仮想アダプターが仮想スイッチと接続している場合に表示されます。
SwitchType	string	接続先仮想スイッチタイプ Standard/ Distributed
RemoteVirtualSwitchId	integer	接続先仮想スイッチID
RemoteVirtualSwitchPortName	string	接続先仮想スイッチポート名
RemoteVirtualRouterInformation	object	接続先仮想ルーター情報 仮想アダプターが仮想ルーターと接続している場合に表示されます。
RemoteVirtualRouterId	integer	接続先仮想ルーターID
RemoteVirtualRouterPortName	string	接続先仮想ルーターポート名
PhysicalAdapterInformation	object	物理アダプター情報 仮想アダプターが物理アダプターと接続している場合に表示されます。
NodeId	integer	ノードID
PhysicalAdapterName	string	物理アダプター名
UpdateDate	string	最終更新時刻

[注意事項]

・ 仮想マシン情報を表示するためには、仮想化管理ソフトウェアを登録し、「4.6.9 仮想情報取得の実行指示」を行う必要があります。

4.6.12 仮想スイッチの一覧取得

[概要]

ユーザーが属しているユーザーグループで管理しているノードのOS上にあるすべての仮想スイッチを取得します。

[形式]

```
GET /resources/virtualswitches
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
VirtualSwitches	array	仮想スイッチ情報
VirtualSwitchId	integer	仮想スイッチID
VirtualSwitchType	string	仮想スイッチタイプ Standard/ Distributed
VirtualSwitchInstanceId	string	仮想スイッチ識別ID 仮想化管理ソフトウェアで採番されているIDが表示されます。
VirtualSwitchName	string	仮想スイッチ名
Nodes	array	ノード情報 仮想スイッチが作成されているノードが表示されます。
NodeId	integer	ノードID
CmsId	integer	仮想化管理ソフトウェアID
VirtualSwitchPortInformation	array	仮想スイッチポート情報
VirtualSwitchPortName	string	仮想スイッチポート名
VirtualSwitchPortNumber	string	仮想スイッチポート番号
TunnelingInformation	object	ノード間のトンネリングをする際の情報
TunnelingType	string	トンネリングタイプ gre/ vxlan
SourceIpAddress	string	トンネリング接続元IPアドレス
TargetIpAddress	string	トンネリング接続先IPアドレス
TunnelingOptions	array	その他のオプション情報
TunnelingOptionKey	string	オプションキー
TunnelingOptionValue	string	オプションバリュー
VirtualMachineInformation	object	仮想マシン情報 仮想スイッチポートが仮想マシンと接続している場合に表示されます。
VirtualMachineId	integer	仮想マシンID

パラメーター	型	説明
VirtualAdapterName	string	仮想アダプター名
RemoteVirtualSwitchInformation	object	接続先仮想スイッチ情報 仮想スイッチポートが仮想スイッチと接続している場合に表示されます。
RemoteVirtualSwitchId	integer	接続先仮想スイッチID
RemoteVirtualSwitchPortName	string	接続先仮想スイッチポート名
RemoteVirtualRouterInformation	object	接続先仮想ルーター情報 仮想スイッチポートが仮想ルーターと接続している場合に表示されます。
RemoteVirtualRouterId	integer	接続先仮想ルーターID
RemoteVirtualRouterPortName	string	接続先仮想ルーターポート名
PhysicalAdapterInformation	object	物理アダプター情報 仮想スイッチポートが物理アダプターと接続している場合に表示されます。
NodeId	integer	ノードID
PhysicalAdapterName	string	物理アダプター名
VlanInformation	array	VLAN情報
VlanId	string	VLAN ID 複数の値がある場合はコンマ(,)つなぎで表示されます。3つ以上連続した値はハイフン(-)でつなげて表示されます。 例）"1-10,21,22,30-45"
VlanType	string	VLANタイプ VLAN/ Trunk/ Private-Primary
UpdateDate	string	最終更新時刻

[注意事項]

- 仮想スイッチ情報を表示するためには、仮想化管理ソフトウェアを登録し、「4.6.9 仮想情報取得の実行指示」を行う必要があります。

4.6.13 仮想スイッチの個別取得

[概要]

指定した仮想スイッチ情報を取得します。

[形式]

```
GET /resources/virtualswitches/{virtualswitchid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
VirtualSwitch	object	仮想スイッチ情報
VirtualSwitchId	integer	仮想スイッチID
VirtualSwitchType	string	仮想スイッチタイプ Standard/ Distributed
VirtualSwitchInstanceId	string	仮想スイッチ識別ID 仮想化管理ソフトウェアで採番されているIDが表示されます。
VirtualSwitchName	string	仮想スイッチ名
Nodes	array	ノード情報 仮想スイッチが作成されているノードが表示されます。
NodeId	integer	ノードID
CmsId	integer	仮想化管理ソフトウェアID
VirtualSwitchPortInformation	array	仮想スイッチポート情報
VirtualSwitchPortName	string	仮想スイッチポート名
VirtualSwitchPortNumber	string	仮想スイッチポート番号
TunnelingInformation	object	ノード間のトンネリングをする際の情報
TunnelingType	string	トンネリングタイプ gre/ vxlan
SourceIpAddress	string	トンネリング接続元IPアドレス
TargetIpAddress	string	トンネリング接続先IPアドレス
TunnelingOptions	array	その他のオプション情報
TunnelingOptionKey	string	オプションキー
TunnelingOptionValue	string	オプションバリュー
VirtualMachineInformation	object	仮想マシン情報 仮想スイッチポートが仮想マシンと接続している場合に表示されます。
VirtualMachineId	integer	仮想マシンID
VirtualAdapterName	string	仮想アダプター名
RemoteVirtualSwitchInformation	object	接続先仮想スイッチ情報 仮想スイッチポートが仮想スイッチと接続している場合に表示されます。
RemoteVirtualSwitchId	integer	接続先仮想スイッチID
RemoteVirtualSwitchPortName	string	接続先仮想スイッチポート名
RemoteVirtualRouterInformation	object	接続先仮想ルーター情報 仮想スイッチポートが仮想ルーターと接続している場合に表示されます。
RemoteVirtualRouterId	integer	接続先仮想ルーターID
RemoteVirtualRouterPortName	string	接続先仮想ルーターポート名
PhysicalAdapterInformation	object	物理アダプター情報 仮想スイッチポートが物理アダプターと接続している場合に表示されます。

パラメーター	型	説明
NodeId	integer	ノードID
PhysicalAdapterName	string	物理アダプター名
VlanInformation	array	VLAN情報
VlanId	string	VLAN ID 複数の値がある場合はコンマ(,)つなぎで表示されます。3つ以上連続した値はハイフン(-)でつなげて表示されます。 例）"1-10,21,22,30-45"
VlanType	string	VLANタイプ VLAN/ Trunk/ Private-Primary
UpdateDate	string	最終更新時刻

[注意事項]

- 仮想スイッチ情報を表示するためには、仮想化管理ソフトウェアを登録し、「4.6.9 仮想情報取得の実行指示」を行う必要があります。

4.6.14 仮想ルーターの一覧取得

[概要]

ユーザーが属しているユーザーグループで管理しているノードのOS上にあるすべての仮想ルーターを取得します。

[形式]

```
GET /resources/virtualrouters
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
VirtualRouters	array	仮想ルーター情報
VirtualRouterId	integer	仮想ルーターID
VirtualRouterName	string	仮想ルーター名
Nodes	array	ノードIDリスト
NodeId	integer	ノードID
CmsId	integer	仮想化管理ソフトウェアID
VirtualRouterPortInformation	array	仮想ルーターポート情報
VirtualRouterPortName	string	仮想ルーターポート名
VirtualRouterPortNumber	string	仮想ルーターポート番号
IpAddress	string	仮想ルーターポートIPアドレス
VirtualMachineInformation	object	仮想マシン情報 仮想ルーターポートが仮想マシンと接続している場合に表示されます。
VirtualMachineId	integer	仮想マシンID
VirtualAdapterName	string	仮想アダプター名

パラメーター	型	説明
RemoteVirtualSwitchInformation	object	接続先仮想スイッチ情報 仮想ルーターポートが仮想スイッチと接続している場合に表示されます。
RemoteVirtualSwitchId	integer	接続先仮想スイッチID
RemoteVirtualSwitchPortName	string	接続先仮想スイッチポート名
RemoteVirtualRouterInformation	object	接続先仮想ルーター情報 仮想ルーターポートが仮想ルーターと接続している場合に表示されます。
RemoteVirtualRouterId	integer	接続先仮想ルーターID
RemoteVirtualRouterPortName	string	接続先仮想ルーターポート名
PhysicalAdapterInformation	object	物理アダプター情報 仮想ルーターポートが物理アダプターと接続している場合に表示されます。
NodeId	integer	ノードID
PhysicalAdapterName	string	物理アダプター名
UpdateDate	string	最終更新時刻

[注意事項]

- 仮想ルーター情報を表示するためには、仮想化管理ソフトウェアを登録し、「4.6.9 仮想情報取得の実行指示」を行う必要があります。

4.6.15 仮想ルーターの個別取得

[概要]

指定した仮想ルーター情報を取得します。

[形式]

```
GET /resources/virtualrouters/{virtualrouterid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
VirtualRouter	object	仮想ルーター情報
VirtualRouterId	integer	仮想ルーターID
VirtualRouterName	string	仮想ルーター名
Nodes	array	ノードIDリスト
NodeId	integer	ノードID
CmsId	integer	仮想化管理ソフトウェアID
VirtualRouterPortInformation	array	仮想ルーターポート情報
VirtualRouterPortName	string	仮想ルーターポート名

パラメーター			型	説明
	VirtualRouterPortNumber		string	仮想ルーターポート番号
	IpAddress		string	仮想ルーターポートIPアドレス
	VirtualMachineInformation		object	仮想マシン情報 仮想ルーターポートが仮想マシンと接続している場合に表示されます。
		VirtualMachineId	integer	仮想マシンID
		VirtualAdapterName	string	仮想アダプター名
	RemoteVirtualSwitchInformation		object	接続先仮想スイッチ情報 仮想ルーターポートが仮想スイッチと接続している場合に表示されます。
		RemoteVirtualSwitchId	integer	接続先仮想スイッチID
		RemoteVirtualSwitchPortName	string	接続先仮想スイッチポート名
	RemoteVirtualRouterInformation		object	接続先仮想ルーター情報 仮想ルーターポートが仮想ルーターと接続している場合に表示されます。
		RemoteVirtualRouterId	integer	接続先仮想ルーターID
		RemoteVirtualRouterPortName	string	接続先仮想ルーターポート名
	PhysicalAdapterInformation		object	物理アダプター情報 仮想ルーターポートが物理アダプターと接続している場合に表示されます。
		NodeId	integer	ノードID
		PhysicalAdapterName	string	物理アダプター名
	UpdateDate		string	最終更新時刻

[注意事項]

- 仮想ルータ情報を表示するためには、仮想化管理ソフトウェアを登録し、「4.6.9 仮想情報取得の実行指示」を行う必要があります。

4.6.16 仮想化管理ソフトウェアの接続テスト

[概要]

仮想化管理ソウトウェアの接続テストをします。

[形式]

```
POST /resources/inventory/virtualmachine/test
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
CmsInfo	object	仮想化管理ソフトウェア情報

パラメーター	型	説明
CmsId	integer	仮想化管理ソフトウェアID 本キーを省略した場合には、必ずPasswordキーを指定してください。
CmsType	string	仮想化管理ソフトウェアタイプ ・ vCenter：VMware vCenter Server ・ SystemCenter：Microsoft System Center Virtual Machine Manager
CmsVersion	string	仮想化管理ソフトウェアの版数 ・ vCenter：5.5/ 6.0/ 6.5/ 6.7/ 7.0 ・ SystemCenter：2012/ 2012R2/ 2016/ 2019
IpAddress	string	仮想化管理ソフトウェアのIPアドレス
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6
PortNum	integer	使用ポート番号 null を指定した場合、ISM 設定ファイルに記載されたポート番号が設定されます。 各仮想化管理ソフトウェアの接続プロトコルは以下のとおりです。 ・ vCenter：CIM（443番） ・ SystemCenter：WinRM（5986 番）
DomainName	string	ドメイン名 仮想化管理ソフトウェアタイプにより指定するドメイン名は以下 のとおりです。 ・ vCenter,SystemCenter：Windowsドメイン名 Windowsドメイン名の場合、レルムのFQDN名を指定してくだ さい。 例）ISMDOMAIN.LOCAL SystemCenterの場合、指定必須です。
AccountName	string	アカウント名 レルムを除いたアカウント名を指定してください。 例)ismadmin
Password	string	パスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で暗号化してください。 CmsIdキー省略時には必須です。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TestInfo	object	テスト情報
TestResult	string	テストのステータス

パラメーター	型	説明
		• Success：成功 • IPaddressFailed：IPアドレス不正 • PortClosed：ポート閉塞 • IpaddressOrPortFailed：IPアドレス不正またはポート閉塞 • AuthenticationFailed：認証失敗 • UnspecifiedCMS：指定していないCMS • UnexpectedFailed：予期せぬ失敗
TestDetails	string	通信結果 失敗時：詳細メッセージ

4.6.17 OS情報の一括更新

[概要]

指定した複数ノードに対して、OS情報を一括更新します。

[形式]

```
PATCH /nodes/nodes/os
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Nodes	array	ノード情報
NodeId	integer	ノードID
Host	object	OS情報
OsType	string	OS タイプ OSタイプの詳細については、「4.6.4 OS情報登録」を参照してください。
OsVersion	string	OS の版数 OSの版数の詳細については、「4.6.4 OS情報登録」を参照してください。
OsDomain	string	ドメイン名 レルムのFQDN名を指定してください。 例）ISMDOMAIN.LOCAL
OsAccount	string	アカウント名 レルムを除いたアカウント名を指定してください。 例）ismadmin
OsPassword	string	パスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。

パラメーター		型	説明
			更新しない場合、キーを省略してください。
	OsPortNum	integer	使用ポート番号 ポート番号、またはnullを指定します。 nullを指定した場合、プロトコルの標準ポート番号が設定されます。 各OSの接続プロトコルは以下のとおりです。 ・ RedHat, SUSELinuxEnterprise, IPCOM OS：SSH（22番） ・ Windows, AzureStackHCI：WinRM（5986番） ・ VMware：CIM（443番）

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Hosts		array	OS情報
	NodeId	integer	ノードID
	OsType	string	OS タイプ ・ RedHat：Red Hat Enterprise Linux ・ SUSELinuxEnterprise：SUSE Linux Enterprise Server ・ AlmaLinux：AlmaLinux ・ Windows：Microsoft Windows ・ AzureStackHCI：Azure Stack HCI ・ VMware：VMware ESXi ・ IPCOM OS：IPCOM OS
	OsVersion	string	ユーザーが指定したOS の版数
	OsDomain	string	ドメイン名
	OsAccount	string	アカウント名
	OsPortNum	integer	使用ポート番号

[注意事項]

- OS情報を更新後、ノード情報取得の実行指示を実行してください。
- ISMがサポートするOSの種類や版数については、当社の本製品Webサイトで『管理対象機器一覧』([サポート対象OS]シートおよび[サーバー・シャーシ]シート)を参照してください。

  https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/environment/

4.6.18 ノード情報取得のスケジュール設定

[概要]

指定した複数ノードに対して、ノード情報取得のスケジュール時刻を一括設定します。

[形式]

```
PATCH /nodes/schedules
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
NodeIdList	array	ノード情報
NodeId	integer	ノードID
ScheduleEnable	boolean	スケジュール設定の有効/無効 ・ false：無効 ・ true：有効
TimeZone	string	タイムゾーン 例）Asia/Tokyo
InventoryScheduleTime	string	ノード情報取得のスケジュール時刻 例) 11:45

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
NodeIdList	array	ノード情報
NodeId	integer	ノードID
ScheduleEnable	boolean	スケジュール設定の有効/無効 ・ false：無効 ・ true：有効
TimeZone	string	タイムゾーン 例）Asia/Tokyo
InventoryScheduleTime	string	ノード情報取得のスケジュール時刻 例) 11:45

4.7 モニタリング機能

4.7.1 監視項目情報の一覧取得

[概要]

指定したノードに関して、監視可能な項目の情報をすべて取得します。

[形式]

```
GET /nodes/{nodeid}/monitor/itemlist
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Items	array	監視項目のリスト
ItemName	string	監視項目名 例）Ambient Temperature
Type	string	監視項目のタイプ 例）Temperature
ValueType	string	値の型を示します。以下のどれかに該当します。 ・ integer（整数） ・ real（小数） ・ string（文字列）
Unit	string	単位 例）Degree Celsius

4.7.2 監視項目の登録

[概要]

監視項目を登録します。

[形式]

```
POST /nodes/monitor/items
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
NodeId	integer	対象のノードIDを指定します。
ItemName	string	監視項目名を指定します。
IsActive	string	パフォーマンス監視状態を指定します。 ・ 有効：Enabled ・ 無効：Disabled
IsThresholdMonitoringActive	string	しきい値監視状態を指定します。 ・ 有効：Enabled ・ 無効：Disabled しきい値監視を有効にするには、パフォーマンス監視（IsActive）を有効にする必要があります。 値の型がstring(文字列型)の監視項目の場合Enabledは指定できません。
UpperCritical	object	しきい値（上限異常）情報を指定します。
Value	string	上限異常しきい値を整数または小数で指定します。
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度を指定します。 nullを指定した場合、初期値（Error）が適用されます。

パラメーター		型	説明
			以下のいずれかを選択します。 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
UpperWarning		object	しきい値（上限警告）情報を指定します。
	Value	string	上限警告しきい値を整数または小数で指定します。
	Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度を指定します。 nullを指定した場合、初期値（Warning）が適用されます。 以下のいずれかを選択します。 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
LowerCritical		object	しきい値（下限異常）情報を指定します。
	Value	string	下限異常しきい値を整数または小数で指定します。
	Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度を指定します。 nullを指定した場合、初期値（Error）が適用されます。 以下のいずれかを選択します。 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
LowerWarning		object	しきい値（下限警告）情報を指定します。
	Value	string	下限警告しきい値を整数または小数で指定します。
	Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度を指定します。 nullを指定した場合、初期値（Warning）が適用されます。 以下のいずれかを選択します。 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ItemId	string	監視項目ID
NodeId	integer	対象のノードID
ItemName	string	監視項目名

パラメーター	型	説明
IsActive	string	パフォーマンス監視状態 ・ 有効:Enabled ・ 無効:Disabled
IsThresholdMonitoringActive	string	しきい値監視状態 ・ 有効:Enabled ・ 無効:Disabled
UpperCritical	object	しきい値(上限異常)情報
Value	string	上限異常しきい値
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
UpperWarning	object	しきい値(上限警告)情報
Value	string	上限警告しきい値
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
LowerCritical	object	しきい値(下限異常)情報
Value	string	下限異常しきい値
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
LowerWarning	object	しきい値(下限警告)情報
Value	string	下限警告しきい値
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal

4.7.3 監視項目の取得

[概要]

監視項目を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/monitor/items
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	説明
NodeId	ノードIDを指定します。 指定したノードIDに設定されている監視項目をすべて取得します。ItemIdパラメーターとの併用はできません。
ItemId	監視項目IDを指定します。 指定した監視項目IDを取得します。NodeIdパラメーターとの併用はできません。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Items		array	監視項目情報(リスト)
	ItemId	string	監視項目ID
	NodeId	integer	対象のノードID
	ItemName	string	監視項目名
	ValueType	string	値の型を示します。以下のどれかに該当します。 ・ integer(整数) ・ real(小数) ・ string(文字列)
	Unit	string	単位
	IsActive	string	パフォーマンス監視状態 ・ 有効:Enabled ・ 無効:Disabled
	IsThresholdMonitoringActive	string	しきい値監視状態 ・ 有効:Enabled ・ 無効:Disabled
UpperCritical		object	しきい値(上限異常)情報
	Value	string	上限異常しきい値
	Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
UpperWarning		object	しきい値(上限警告)情報
	Value	string	上限警告しきい値
	Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error

パラメーター		型	説明
			・ Warning ・ Info ・ Normal
LowerCritical		object	しきい値(下限異常)情報
	Value	string	下限異常しきい値
	Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
LowerWarning		object	しきい値(下限警告)情報
	Value	string	下限警告しきい値
	Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal

4.7.4 監視項目の更新

[概要]

指定した監視項目を更新します。

[形式]

```
PATCH /nodes/monitor/items/{itemid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
IsActive	string	パフォーマンス監視状態を指定します。 ・ 有効:Enabled ・ 無効:Disabled
IsThresholdMonitoringActive	string	しきい値監視状態を指定します。 ・ 有効:Enabled ・ 無効:Disabled しきい値監視を有効にするには、パフォーマンス監視(IsActive)を有効にする必要があります。

パラメーター		型	説明
			値の型がstring(文字列型)の監視項目の場合Enabledは指定できません。
UpperCritical		object	しきい値（上限異常）情報を指定します。
	Value	string	上限異常しきい値を整数または小数で指定します。
	Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度を指定します。 nullを指定した場合、初期値（Error）が適用されます。 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
UpperWarning		object	しきい値（上限警告）情報を指定します。
	Value	string	上限警告しきい値を整数または小数で指定します。
	Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度を指定します。 nullを指定した場合、初期値（Warning）が適用されます。 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
LowerCritical		object	しきい値（下限異常）情報を指定します。
	Value	string	下限異常しきい値を整数または小数で指定します。
	Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度を指定します。 nullを指定した場合、初期値（Error）が適用されます。 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
LowerWarning		object	しきい値（下限警告）情報を指定します。
	Value	string	下限警告しきい値を整数または小数で指定します。
	Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度を指定します。 nullを指定した場合、初期値（Warning）が適用されます。 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ItemId	string	監視項目ID

パラメーター	型	説明
NodeId	integer	対象のノードID
ItemName	string	監視項目名
IsActive	string	パフォーマンス監視状態 ・ 有効:Enabled ・ 無効:Disabled
IsThresholdMonitoringActive	string	しきい値監視状態 ・ 有効:Enabled ・ 無効:Disabled
UpperCritical	object	しきい値(上限異常)情報
Value	string	上限異常しきい値
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
UpperWarning	object	しきい値(上限警告)情報
Value	string	上限警告しきい値
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
LowerCritical	object	しきい値(下限異常)情報
Value	string	下限異常しきい値
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
LowerWarning	object	しきい値(下限警告)情報
Value	string	下限警告しきい値
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal

4.7.5 監視項目の削除

[概要]

指定した監視項目を削除します。

[形式]

```
DELETE /nodes/monitor/items/{itemid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

4.7.6 監視履歴の取得

[概要]

監視履歴を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/monitor/items/{itemid}/history
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	説明
TimeFrom	出力する期間を指定する場合に使用します。 指定した日時以降のレコードを返却します。フォーマットはRFC3339で指定してください。 例）2016-04-01T12:34:45Z000 "Count"パラメーターとの併用はできません。
TimeTill	出力する期間を指定する場合に使用します。 指定した日時までのレコードを返却します。フォーマットはRFC3339で指定してください。 例）2016-04-02T12:34:45Z000 "Count"パラメーターとの併用はできません。
Count	最新値からn番目までのレコードを返却します。 "TimeFrom"および"TimeTill"パラメーターとの併用はできません。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Records	array	レコード情報リスト
Timestamp	string	タイムスタンプ

パラメーター		型	説明
			フォーマットはRFC3339となります。 例）2016-04-01T12:34:45Z000
	Value	string	値

4.7.7 ノード共通監視設定の更新

[概要]

指定したノードの監視に関する設定情報を更新します。

[形式]

```
PATCH /nodes/{nodeid}/monitor/settings
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Interval	integer	監視間隔を指定します。 単位は秒で、下限は60[秒]となります。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Interval	integer	監視間隔

4.7.8 ノード共通監視設定の取得

[概要]

指定したノードの監視に関する設定を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/{nodeid}/monitor/settings
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Interval	integer	監視間隔

4.7.9 ネットワーク監視設定の取得

[概要]

指定したノードについて、ネットワーク性能監視設定を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/monitor/network
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	説明
NodeId	取得するノードを指定する場合に指定します。NodeIdは複数指定可能で、その場合該当するノードすべての情報を取得します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
NetworkMonitoringSettingsList	array	ネットワーク性能監視情報(リスト)
NodeId	string	ノードID
OperationStatus	string	ネットワーク監視状態を示します。初期状態はDisabledとなっています。ネットワーク性能監視がサポートされていないノードの場合、Unavailableが表示されます。OffとDisabledはともにネットワーク性能情報の定期取得が停止している状態ですが、Offは監視履歴を保持しているのに対してDisabledは保持しません。 ・ 有効:On ・ 一時的無効:Off ・ 無効:Disabled ・ 利用不可:Unavailable
Items	array	監視項目情報(リスト)
ItemName	string	監視項目名
ValueType	string	値の型 ・ integer(整数) ・ real(小数) ・ string(文字列)
Unit	string	単位
IsThresholdMonitoringActive	string	しきい値監視状態 ・ 有効:Enabled ・ 無効:Disabled
UpperCritical	object	しきい値(上限異常)情報
Value	string	上限異常しきい値
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
UpperWarning	object	しきい値(上限警告)情報
Value	string	上限警告しきい値

パラメーター	型	説明
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
LowerCritical	object	しきい値（下限異常）情報
Value	string	下限異常しきい値
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
LowerWarning	object	しきい値（下限警告）情報
Value	string	下限警告しきい値
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal

4.7.10 ネットワーク監視設定の更新

[概要]

指定したノードについて、ネットワーク性能監視設定を更新(有効化/無効化)します。

[形式]

```
PATCH /nodes/{nodeid}/monitor/network
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
NetworkMonitoringSettings	object	ネットワーク性能監視情報を指定します。
OperationStatus	string	ネットワーク監視状態を指定します。ネットワーク性能監視を停止する場合、OffまたはDisabledを指定します。なお、Offは監視履歴を保持したまま停止するのに対し、Disabledは監視履歴も削除します。 ・ 有効:On ・ 一時無効:Off ・ 無効:Disabled

パラメーター	型	説明
Items	array	監視項目情報を指定します。
ItemName	string	監視項目名を指定します。
IsThresholdMonitoringActive	string	しきい値監視状態を指定します。 ・ 有効:Enabled ・ 無効:Disabled
UpperCritical	object	しきい値(上限異常)情報を指定します。
Value	string	上限異常しきい値上限異常しきい値を整数または小数で指定します。
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度を指定します。 nullを指定した場合、初期値(Error)が適用されます。 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
UpperWarning	object	しきい値(上限警告)情報を指定します。
Value	string	上限警告しきい値を整数または小数で指定します。
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度を指定します。 nullを指定した場合、初期値(Warning)が適用されます。 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
LowerCritical	object	しきい値(下限異常)情報を整数または小数で指定します。
Value	string	下限異常しきい値を整数または小数で指定します。
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度を指定します。 nullを指定した場合、初期値(Error)が適用されます。 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
LowerWarning	object	しきい値(下限警告)情報を指定します。
Value	string	下限警告しきい値を整数または小数で指定します。
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度を指定します。 nullを指定した場合、初期値(Warning)が適用されます。 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
NetworkMonitoringSettings	object	ネットワーク性能監視情報(リスト)
OperationStatus	string	ネットワーク監視状態を示します。 ・ On(有効) ・ Off(一時的無効) ・ Disabled(無効)
Items	array	監視項目情報(リスト)
ItemName	string	監視項目名
ValueType	string	値の型 ・ integer(整数) ・ real(小数) ・ string(文字列)
Unit	string	単位
IsThresholdMonitoringActive	string	しきい値監視状態 ・ 有効:Enabled ・ 無効:Disabled
UpperCritical	object	しきい値(上限異常)情報
Value	string	上限異常しきい値
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
UpperWarning	object	しきい値(上限警告)情報
Value	string	上限警告しきい値
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal
LowerCritical	object	しきい値(下限異常)情報
Value	string	下限異常しきい値
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal

パラメーター	型	説明
LowerWarning	object	しきい値（下限警告）情報
Value	string	下限警告しきい値
Severity	string	しきい値超過時のイベント重要度 ・ Error ・ Warning ・ Info ・ Normal

4.7.11 ネットワーク監視履歴の取得

[概要]

指定したノードについて、ネットワーク性能監視履歴を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/{nodeid}/monitor/network/history
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	説明
ItemName	監視項目名を指定します。監視項目名は複数指定可能です。
PortName	ポート名を指定します。ポート名は複数指定可能です。
StartTime	出力期間を指定する場合に指定します。 指定した日時以降のレコードを返却します。フォーマットはRFC3339で指定してください。 例）2016-04-02T12:34:45Z000
EndTime	出力期間を指定する場合に指定します。 指定した日時までのレコードを返却します。フォーマットはRFC3339で指定してください。 例）2016-04-02T12:34:45Z000
Count	最新値からn番目までのレコードを返却します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Items	array	ネットワーク性能監視情報(リスト)
NodeId	string	ノードID
PortName	string	ポート名
ItemName	string	監視項目名
Records	array	レコード情報リスト
Timestamp	string	タイムスタンプ フォーマットはRFC3339となります。 例）2016-04-01T12:34:45Z000
Value	string	値

4.7.12 CPU使用率予測しきい値の更新

[概要]

アノマリ検知としてCPU使用率予測の高騰予測を行う際に、高騰予測の判定基準とするしきい値を更新します。

[形式]

```
PATCH /nodes/monitor/prediction/globalthreshold
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
Item		object	CPU使用率予測のしきい値を指定します。
	PacketRecieveProcess	integer	パケット受信プロセスのしきい値を指定します。
	PacketSendProcess	integer	パケット送信プロセスのしきい値を指定します。
	VirtualCPU	integer	仮想CPUのしきい値を指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Item		object	CPU使用率予測のしきい値
	PacketRecieveProcess	integer	パケット受信プロセスのしきい値
	PacketSendProcess	integer	パケット送信プロセスのしきい値
	VirtualCPU	integer	仮想CPUのしきい値

4.7.13 CPU使用率予測しきい値の取得

[概要]

アノマリ検知としてCPU使用率予測の高騰予測を行う際に、高騰予測の判定基準とするしきい値を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/monitor/prediction/globalthreshold
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Item		object	CPU使用率予測のしきい値
	PacketRecieveProcess	integer	パケット受信プロセスのしきい値
	PacketSendProcess	integer	パケット送信プロセスのしきい値

パラメーター	型	説明
VirtualCPU	integer	仮想CPUのしきい値

4.7.14 CO2排出係数設定の取得

[概要]

CO2排出係数の設定を取得します。

[形式]

```
GET /sustainability/settings
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Settings	object	サステナビリティモニターの設定
Co2Emissions	object	CO2排出量の設定
Co2EmissionFactor	string	CO2排出係数

4.7.15 CO2排出係数設定の更新

[概要]

CO2排出係数の設定を更新します。

[形式]

```
PATCH /sustainability/settings
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Settings	object	サステナビリティモニターの設定
Co2Emissions	object	CO2排出量の設定
Co2EmissionFactor	string	CO2排出係数

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Settings	object	サステナビリティモニターの設定
Co2Emissions	object	CO2排出量の設定

パラメーター	型	説明
Co2EmissionFactor	string	CO2排出係数

4.7.16 CO2排出量情報の取得

[概要]

CO2排出量情報を取得します。

[形式]

```
GET /sustainability/co2emissions/summary
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
TimeZone	string	タイムゾーン 例）Asia/Tokyo

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Co2EmissionsSummary	object	CO2排出量情報の設定
Status	string	データ集計ステータス ・ 集計済:Counted ・ 集計中:Counting ・ 未集計:Uncounted
LastCountedDate	string	最終集計日時 フォーマットはRFC3339となります。 例）2016-04-01T12:34:45.000Z
TotalNumberOfTargetNodes	integer	集計対象ノード総数
TimeZone	string	タイムゾーン 例）Asia/Tokyo
Co2EmissionFactor	object	CO2排出係数情報
Value	string	CO2排出係数の値
Unit	string	CO2排出係数の単位
Co2EmissionsUnit	string	CO2排出量の単位
PowerConsumptionUnit	string	消費電力量の単位
HourlyCo2EmissionsSummary	object	CO2排出量情報1時間分のサマリ
AllNodesInformation	object	全ノードの情報
TotalData	object	1時間分の合計データ
Co2Emissions	object	CO2排出量情報
Value	string	CO2排出量の値

パラメーター	型	説明
DailyCo2EmissionsSummary	object	CO2排出量情報1日分(24時間分)のサマリ[注1]
AllNodesInformation	object	全ノードの情報
TotalData	object	1日分(24時間分)の合計データ[注1]
Co2Emissions	object	CO2排出量情報
Value	string	CO2排出量の値
HourlyDataList	array	1日分(24時間分)の1時間毎データのリスト[注1]
Timestamp	string	タイムスタンプ フォーマットはRFC3339となります。 例）2016-04-01T12:34:45.000Z
Co2Emissions	object	CO2排出量情報
Value	string	CO2排出量の値
NodeInformationList	array	ノード毎の情報のリスト
NodeId	integer	ノードID
Ranking	integer	順位
TotalData	object	1日分(24時間分)の合計データ[注1]
Co2Emissions	object	CO2排出量情報
Value	string	CO2排出量の値
PowerConsumption	object	消費電力量情報
Value	string	消費電力量の値
HourlyDataList	array	1日分(24時間分)の1時間毎データのリスト[注1]
Timestamp	string	タイムスタンプ フォーマットはRFC3339となります。 例）2016-04-01T12:34:45.000Z
Co2Emissions	object	CO2排出量情報
Value	string	CO2排出量の値
WeeklyCo2EmissionsSummary	object	CO2排出量情報1週間分(7日分)のサマリ[注2]
AllNodesInformation	object	全ノードの情報
TotalData	object	1週間分(7日分)の合計データ[注2]
Co2Emissions	object	CO2排出量情報
Value	string	CO2排出量の値
DailyDataList	array	1週間分(7日分)の1日毎データのリスト[注2]
Timestamp	string	タイムスタンプ フォーマットはRFC3339となります。 例）2016-04-01T12:34:45.000Z
Co2Emissions	object	CO2排出量情報
Value	string	CO2排出量の値
NodeInformationList	array	ノード毎の情報のリスト
NodeId	integer	ノードID
Ranking	integer	順位

パラメーター	型	説明
TotalData	object	1週間分(7日分)の合計データ[注2]
Co2Emissions	object	CO2排出量情報
Value	string	CO2排出量の値
PowerConsumption	object	消費電力量情報
Value	string	消費電力量の値
DailyDataList	array	1週間分(7日分)の1日毎データのリスト[注2]
Timestamp	string	タイムスタンプ フォーマットはRFC3339となります。 例）2016-04-01T12:34:45.000Z
Co2Emissions	object	CO2排出量情報
Value	string	CO2排出量の値
MonthlyCo2EmissionsSummary	object	CO2排出量情報1か月分(30日分)のサマリ[注3]
AllNodesInformation	object	全ノードの情報
TotalData	object	1か月分(30日分)の合計データ[注3]
Co2Emissions	object	CO2排出量情報
Value	string	CO2排出量の値
DailyDataList	array	1か月分(30日分)の1日毎データのリスト[注3]
Timestamp	string	タイムスタンプ フォーマットはRFC3339となります。 例）2016-04-01T12:34:45.000Z
Co2Emissions	object	CO2排出量情報
Value	string	CO2排出量の値
NodeInformationList	array	ノード毎の情報のリスト
NodeId	integer	ノードID
Ranking	integer	順位
TotalData	object	1か月分(30日分)の合計データ[注3]
Co2Emissions	object	CO2排出量情報
Value	string	CO2排出量の値
PowerConsumption	object	消費電力量情報
Value	string	消費電力量の値
DailyDataList	array	1か月分(30日分)の1日毎データのリスト[注3]
Timestamp	string	タイムスタンプ フォーマットはRFC3339となります。 例）2016-04-01T12:34:45.000Z
Co2Emissions	object	CO2排出量情報
Value	string	CO2排出量の値

[注1]：1日分は現在～過去24時間分のデータを1時間単位で表示します。

[注2]：1週間分は前日24時～過去168時間分のデータを1日単位で表示します。

[注3]：1か月分は前日24時～過去720時間分のデータを1日単位で表示します。

4.7.17 CO2排出量情報ファイル作成

[概要]

CO2排出量情報ファイルを出力します。

[形式]

```
POST /sustainability/co2emissions/export
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
Export		object	エクスポート情報
	DataType	string	エクスポートするデータの種類 ・ HourlyData 全ノードの1時間毎のCO2排出量／消費電力 ・ RankingData 「CO2排出量ランキング」の全ノード・各期間の情報
	TimeZone	string	タイムゾーン 例）Asia/Tokyo

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Export		object	エクスポート情報
	DataType	string	エクスポートするデータの種類 ・ HourlyData 全ノードの1時間毎のCO2排出量／消費電力 ・ RankingData 「CO2排出量ランキング」の全ノード・各期間の情報
	Path	string	出力ファイルのパスが出力されます。 Administrator/transfer/sustainability_＜タスクID＞/ファイル名 例) ・ 全ノードの1時間毎のCO2排出量/消費電力 Administrator/transfer/sustainability_1/ co2emissions_20241007-184710_239.zip ・「CO2排出量ランキング」の全ノード・各期間の情報 Administrator/transfer/sustainability_2/ co2emissions_ranking_20241007-184710_239.zip
	TimeZone	string	タイムゾーン 例）Asia/Tokyo
	TaskId	string	タスクID

4.7.18 CO2排出量情報ファイル作成キャンセル

[概要]

CO2排出量情報ファイルの出力をキャンセルします。

[形式]

```
POST /sustainability/co2emissions/export/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

4.8 イベント機能／アラーム機能

4.8.1 アクション設定の登録

[概要]

アクション設定（通知対象のイベントが検出された場合にどのアクションをするか定義した設定）を登録します。

[形式]

```
POST /event/actions
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
ActionName	string	アクション名を指定します。
ActionType	string	アクションのタイプを指定します。 以下から選択してください。 ・ SendMail：メール送信 ・ TrapForwarding：トラップ転送 ・ SyslogForwarding：Syslog転送 ・ ExecuteRemoteCommand：リモートスクリプト実行 ・ FirmExecuteRemoteCommand：ファームウェアアップデート時スクリプト実行
RemoteCommand	object	リモートスクリプト実行設定を指定します。

パラメーター	型	説明
		アクションのタイプExecuteRemoteCommand、またはFirmExecuteRemoteCommandを選択した場合、入力必須です。
FileName	string	実行対象のファイル名（フルパス）を指定します。
ArgumentList	array(string)	実行時の引数を指定します。 引数は最大25まで、個々の引数は最大1024文字まで指定できます。
MaxTimeOut	integer	スクリプトファイルの実行時間の上限を秒単位で指定します。 null指定時は、初期値（300秒）が設定されます。
Host	object	ホストインベントリ情報を指定します。
OsType	string	OS タイプを指定します。 以下から選択してください。 ・ RedHat ・ SUSELinuxEnterprise ・ AlmaLinux ・ Windows ・ AzureStackHCI
OsIpAddress	string	IPアドレスを指定します。
OsIpVersion	string	IPアドレスのIPバージョンを指定します。 以下から選択してください。 ・ V4 ・ V6
OsDomain	string	ドメイン名を指定します。 不要の場合はnullを指定してください。
OsAccount	string	アカウント名を指定します。
OsPassword	string	パスワードを指定します。 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。
OsPortNum	integer	ポート番号を指定します。 null指定時は初期値が設定されます。 OsTypeがLinux系（RedHat, SUSELinuxEnterprise, AlmaLinux）の場合：22 OsTypeがWindows, AzureStackHCIの場合：5986
TrapForwarding	object	トラップ転送設定を指定します。 アクションのタイプTrapForwardingを選択した場合、入力必須です。
SNMPServerId	string	転送先SNMPサーバーIDを指定します。
ForwardingType	string	転送タイプを指定します。 以下から選択してください。 ・ PassThrough：送信元をISMとしてトラップを転送します。 ・ Transparent：受信したトラップをそのまま転送します。

パラメーター	型	説明
Mail	object	メール情報を指定します。 アクションのタイプSendMailを選択した場合、指定必須です。
Destination	string	宛先メールアドレスを指定します。
Sender	string	送信元メールアドレスを指定します。
Subject	string	メールの件名を指定します。
Message	string	メールの本文を指定します。
EncryptionFlag	integer	S/MIMEによる暗号化を行うかを指定します。 以下から選択してください。 ・ 暗号化する:1 ・ 暗号化しない:0
SyslogForwarding	object	Syslog転送先情報 Syslog転送先情報を指定します。 アクションのタイプSyslogForwardingを選択した場合、入力必須です。
ServerNameType	string	サーバー名のタイプ サーバー名のタイプを指定します。 以下から選択してください。 ・ IPv4 ・ IPv6 ・ FQDN
ServerName	string	サーバー名 サーバー名を指定します。
PortNumber	integer	ポート番号 ポート番号、またはnullを指定します。 キー省略時、null指定時は、ポート番号514番（TCP）が設定されます。
Protocol	string	プロトコル 以下から選択してください。 ・ TCP ・ UDP キー省略時は、初期値（TCP）が設定されます。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ActionId	string	アクションID
ActionName	string	アクション名
ActionType	string	アクションタイプ 以下から設定されます。 ・ SendMail

パラメーター	型	説明
		・ TrapForwarding ・ SyslogForwarding ・ ExecuteRemoteCommand ・ FirmExecuteRemoteCommand
RemoteCommand	object	リモートスクリプト実行設定
FileName	string	実行ファイル名
ArgumentList	array(string)	実行時引数
MaxTimeOut	integer	最大実行時間（秒）
Host	object	ホストインベントリ情報
OsType	string	OS タイプ 以下から設定されます。 ・ RedHat ・ SUSELinuxEnterprise ・ AlmaLinux ・ Windows ・ AzureStackHCI
OsIpAddress	string	IPアドレス
OsIpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン 以下から設定されます。 ・ V4 ・ V6
OsDomain	string	ドメイン名
OsAccount	string	アカウント名
OsPortNum	integer	接続ポート番号
TrapForwarding	object	トラップ転送設定
SNMPServerId	string	転送先SNMPサーバーID
ForwardingType	string	転送タイプ 以下から設定されます。 ・ PassThrough ・ Transparent
Mail	object	メール情報
Destination	string	宛先アドレス
Sender	string	送信元アドレス
Subject	string	メール件名
Message	string	メール本文
EncryptionFlag	integer	メール暗号化フラグ
SyslogForwarding	object	Syslog転送先情報
ServerNameType	string	サーバー名のタイプ 以下から設定されます。

パラメーター	型	説明
		・ IPv4 ・ IPv6 ・ FQDN
ServerName	string	サーバー名
PortNumber	integer	ポート番号
Protocol	string	プロトコル 以下から設定されます。 ・ TCP ・ UDP
Facility	string	ファシリティー

4.8.2 アクション設定の一覧取得

[概要]

アクション設定を一覧取得します。

[形式]

```
GET /event/actions
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Actions	array	アクション設定リスト
ActionId	string	アクションID
ActionName	string	アクション名
ActionType	string	アクションタイプ 以下から設定されます。 ・ SendMail ・ TrapForwarding ・ SyslogForwarding ・ ExecuteRemoteCommand ・ FirmExecuteRemoteCommand
RemoteCommand	object	リモートスクリプト実行設定
FileName	string	実行ファイル名
ArgumentList	array(string)	実行時引数
MaxTimeOut	integer	最大実行時間(秒)
Host	object	ホストインベントリ情報
OsType	string	OS タイプ

パラメーター	型	説明
		以下から設定されます。 ・ RedHat ・ SUSELinuxEnterprise ・ AlmaLinux ・ Windows ・ AzureStackHCI
OsIpAddress	string	IPアドレス
OsIpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン 以下から設定されます。 ・ V4 ・ V6
OsDomain	string	ドメイン名
OsAccount	string	アカウント名
OsPortNum	integer	接続ポート番号
TrapForwarding	object	トラップ転送設定
SNMPServerId	string	転送先SNMPサーバーID
ForwardingType	string	転送タイプ 以下から設定されます。 ・ PassThrough ・ Transparent
Mail	object	メール情報
Destination	string	宛先アドレス
Sender	string	送信元アドレス
Subject	string	メール件名
Message	string	メール本文
EncryptionFlag	integer	メール暗号化フラグ
SyslogForwarding	object	Syslog転送先情報
ServerNameType	string	サーバー名のタイプ 以下から設定されます。 ・ IPv4 ・ IPv6 ・ FQDN
ServerName	string	サーバー名
PortNumber	integer	ポート番号
Protocol	string	プロトコル 以下から設定されます。 ・ TCP ・ UDP

パラメーター	型	説明
Facility	string	ファシリティー

4.8.3 アクション設定の更新

[概要]

指定したアクション設定を更新します。

[形式]

```
PATCH /event/actions/{actionid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
ActionName	string	アクション名を指定します。
RemoteCommand	object	リモートスクリプト実行設定を指定します。 アクションのタイプExecuteRemoteCommand、またはFirmExecuteRemoteCommand を選択した場合、入力必須です。
FileName	string	実行対象のファイル名（フルパス）を指定します。
ArgumentList	array(string)	実行時の引数を指定します。 引数は最大25まで、個々の引数は最大1024文字まで指定できます。
MaxTimeOut	integer	スクリプトファイルの実行時間の上限を秒単位で指定します。 null指定時は、初期値（300秒）が設定されます。
Host	object	ホストインベントリ情報を指定します。
OsType	string	OS タイプを指定します。 以下から選択してください。 ・ RedHat ・ SUSELinuxEnterprise ・ AlmaLinux ・ Windows ・ AzureStackHCI
OsIpAddress	string	IPアドレスを指定します。
OsIpVersion	string	IPアドレスバージョンを指定します。 以下から選択してください。 ・ V4 ・ V6
OsDomain	string	ドメイン名を指定します。 不要の場合はnullを指定してください。

パラメーター	型	説明
OsAccount	string	アカウント名を指定します。
OsPassword	string	パスワードを指定します。 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。
OsPortNum	integer	ポート番号を指定します。 null指定時は初期値が設定されます。 OsTypeがLinux系（RedHat, SUSELinuxEnterprise, AlmaLinux）の場合：22 OsTypeがWindows, AzureStackHCIの場合：5986
TrapForwarding	object	トラップ転送設定を指定します。 アクションのタイプTrapForwardingを選択した場合、入力必須です。
SNMPServerId	string	転送先SNMPサーバーIDを指定します。
ForwardingType	string	転送タイプを指定します。 以下から選択してください。 ・ PassThrough：送信元をISMとしてトラップを転送します。 ・ Transparent：受信したトラップをそのまま転送します。
Mail	object	メール情報を指定します。 アクションのタイプSendMailを選択した場合、入力必須です。
Destination	string	宛先メールアドレスを指定します。
Sender	string	送信元メールアドレスを指定します。
Subject	string	メールの件名を指定します。
Message	string	メールの本文を指定します。
EncryptionFlag	integer	S/MIMEによる暗号化を行うかを指定します。 以下から選択してください。 ・ 暗号化する場合：1 ・ 暗号化しない場合：0
SyslogForwarding	object	Syslog転送先情報 Syslog転送先情報を指定します。 アクションのタイプSyslogForwardingを選択した場合、入力必須です。
ServerNameType	string	サーバー名のタイプ サーバー名のタイプを指定します。 以下から選択してください。 ・ IPv4 ・ IPv6 ・ FQDN
ServerName	string	サーバー名 サーバー名を指定します。
PortNumber	integer	ポート番号 ポート番号、またはnullを指定します。

パラメーター	型	説明
		キー省略時、null指定時は、ポート番号514番（TCP）が設定されます。
Protocol	string	プロトコル 以下から選択してください。 ・ TCP ・ UDP キー省略時は、初期値（TCP）が設定されます。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ActionId	string	アクションID
ActionName	string	アクション名
ActionType	string	アクションタイプ ・ SendMail ・ TrapForwarding ・ SyslogForwarding ・ ExecuteRemoteCommand ・ FirmExecuteRemoteCommand
RemoteCommand	object	リモートスクリプト実行設定
FileName	string	実行ファイル名
ArgumentList	array(string)	実行時引数
MaxTimeOut	integer	最大実行時間（秒）
Host	object	ホストインベントリ情報
OsType	string	OS タイプ 以下から設定されます。 ・ RedHat ・ SUSELinuxEnterprise ・ AlmaLinux ・ Windows ・ AzureStackHCI
OsIpAddress	string	IPアドレス
OsIpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン 以下から設定されます。 ・ V4 ・ V6
OsDomain	string	ドメイン名
OsAccount	string	アカウント名
OsPortNum	integer	接続ポート番号

パラメーター		型	説明
TrapForwarding		object	トラップ転送設定
	SNMPServerId	string	転送先SNMPサーバーID
	ForwardingType	string	転送タイプ 以下から設定されます。 ・ PassThrough ・ Transparent
Mail		object	メール情報
	Destination	string	宛先アドレス
	Sender	string	送信元アドレス
	Subject	string	メール件名
	Message	string	メール本文
	EncryptionFlag	integer	メール暗号化フラグ
SyslogForwarding		object	Syslog転送先情報
	ServerNameType	string	サーバー名のタイプ 以下から設定されます。 ・ IPv4 ・ IPv6 ・ FQDN
	ServerName	string	サーバー名
	PortNumber	integer	ポート番号
	Protocol	string	プロトコル 以下から設定されます。 ・ TCP ・ UDP
	Facility	string	ファシリティー

4.8.4 アクション設定の削除

[概要]

指定したアクション設定を削除します。

[形式]

```
DELETE /event/actions/{actionid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

4.8.5 アラーム設定の登録

[概要]

アラーム設定(イベント通知先設定)の定義を登録します。

[形式]

```
POST /event/alarms
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
AlarmName	string	アラーム名を指定します。
Resources	object	リソース情報を指定します
ResourceType	string	リソースのタイプを指定します。 以下から選択してください。 ・ Node ・ System ・ NodeGroup ・ AllNode
ResourceId	array(integer)	リソースIDを指定します。 同一のリソースタイプであれば複数のIDを指定することが可能です。 リソースタイプが "System" または "AllNode" の場合は空で指定してください。
Events	object	イベント情報を指定します。 トラップ情報またはISMイベント情報のどちらか一方を指定してください(同一のアラーム設定に2種類を同時に設定できません)。
SNMPTrap	object	トラップ情報を指定します。
Severity	array(string)	トラップの重要度を指定します。 重要度は複数指定することが可能で、指定した重要度を持つトラップを一括でアラーム設定の対象にすることができます。 重要度は以下から選択してください。 ・ Critical ・ Major ・ Minor ・ Informational ・ Unknown

パラメーター	型	説明
OID	array(string)	OIDを指定します。 シンボル名は複数指定することが可能で、トラップ単位で個別にアラーム設定の対象にすることができます。
ISMEvent	object	ISMイベント情報を指定します。
Severity	array(string)	ISMイベントの重要度を指定します。 重要度は複数指定することが可能で、指定した重要度を持つISMイベントを一括でアラーム設定の対象にすることができます。 重要度は以下から選択してください。 ・ Error ・ Warning ・ Info
EventInfo	array	ISMイベント情報を個別に指定します。
EventId	string	ISMイベントIDを指定します。 イベントIDは複数指定することが可能で、イベント単位で個別にアラーム設定の対象にすることができます。
Actions	array	アクション設定を指定します。 アクション設定は複数指定することが可能です。
ActionId	string	アクションIDを指定します。 アクションタイプがFirmExecuteRemoteCommandのアクションIDを指定できません 。
IsActive	string	アクション設定状態を指定します。 以下から選択してください。 ・ 有効:Enabled ・ 無効:Disabled

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
AlarmId	string	アラーム設定ID
AlarmName	string	アラーム名
Resources	object	リソース情報
ResourceType	string	リソースのタイプ 以下から設定されます。 ・ Node ・ System ・ NodeGroup ・ AllNode
ResourceId	array(integer)	リソースID
Events	object	イベント情報
SNMPTrap	object	トラップ情報

パラメーター	型	説明
Severity	array(string)	トラップの重要度 以下から設定されます。 ・ Critical ・ Major ・ Minor ・ Informational ・ Unknown
OID	array(string)	OID
ISMEvent	object	ISMイベント情報
Severity	array(string)	ISMイベントの重要度 以下から設定されます。 ・ Error ・ Warning ・ Info
EventInfo	array	ISMイベント情報
EventId	string	ISMイベントID
Actions	array	アクション設定
ActionId	string	アクションID
IsActive	string	アクション設定状態 以下から設定されます。 ・ 有効:Enabled ・ 無効:Disabled

4.8.6 アラーム設定の一覧取得

[概要]

アラーム設定(イベント通知先設定)の定義を一覧取得します。

[形式]

```
GET /event/alarms
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Alarms	array	アラーム設定リスト
AlarmId	string	アラーム設定ID
AlarmName	string	アラーム名
Resources	object	リソース情報

パラメーター	型	説明
ResourceType	string	リソースのタイプ ・ Node ・ System ・ NodeGroup ・ AllNode
ResourceId	array(integer)	リソースID
Events	object	イベント情報
SNMPTrap	object	トラップ情報
Severity	array(string)	トラップの重要度 以下から設定されます。 ・ Critical ・ Major ・ Minor ・ Informational ・ Unknown
OID	array(string)	OID
ISMEvent	object	ISMイベント情報
Severity	array(string)	ISMイベントの重要度 以下から設定されます。 ・ Error ・ Warning ・ Info
EventInfo	array	ISMイベント情報
EventId	string	ISMイベントID
Actions	array	アクション設定
ActionId	string	アクションID
IsActive	string	アクション設定状態 以下から設定されます。 ・ 有効:Enabled ・ 無効:Disabled

4.8.7 アラーム設定の更新

[概要]

アラーム設定(イベント通知先設定)の定義を更新します。

[形式]

```
PATCH /event/alarms/{alarmid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
AlarmName	string	アラーム名を指定します。
Resources	object	リソース情報を指定します
ResourceType	string	リソースのタイプを指定します。 以下から選択してください。 ・ Node ・ System ・ NodeGroup ・ AllNode
ResourceId	array(integer)	リソースIDを指定します。 同一のリソースタイプであれば複数のIDを指定することが可能です。 リソースタイプが "System" または "AllNode" の場合は空で指定してください。
Events	object	イベント情報を指定します。 トラップ情報またはISMイベント情報のどちらか一方を指定してください（同一のアラーム設定に2種類を同時に設定できません）。
SNMPTrap	object	トラップ情報を指定します。
Severity	array(string)	トラップの重要度を指定します。 重要度は複数指定することが可能で、指定した重要度を持つトラップを一括でアラーム設定の対象にすることができます。 重要度は以下から選択してください。 ・ Critical ・ Major ・ Minor ・ Informational ・ Unknown
OID	array(string)	OIDを指定します。 シンボル名は複数指定することが可能で、トラップ単位で個別にアラーム設定の対象にすることができます。
ISMEvent	object	ISMイベント情報を指定します。
Severity	array(string)	ISMイベントの重要度を指定します。 重要度は複数指定することが可能で、指定した重要度を持つISMイベントを一括でアラーム設定の対象にすることができます。 重要度は以下から選択してください。 ・ Error ・ Warning

パラメーター	型	説明
		・ Info
EventInfo	array	ISMイベント情報を個別に指定します。
EventId	string	ISMイベントIDを指定します。 イベントIDは複数指定することが可能で、イベント単位で個別にアラーム設定の対象にすることができます。
Actions	array	アクション設定を指定します。 アクション設定は複数指定することが可能です。
ActionId	string	アクションIDを指定します。 アクションタイプがFirmExecuteRemoteCommandのアクションIDを指定できません。
IsActive	string	アクション設定状態を指定します。 以下から選択してください。 ・ 有効:Enabled ・ 無効:Disabled

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
AlarmId	string	アラーム設定ID
AlarmName	string	アラーム名
Resources	object	リソース情報
ResourceType	string	リソースのタイプ 以下から設定されます。 ・ Node ・ System ・ NodeGroup ・ AllNode
ResourceId	array(integer)	リソースID
Events	object	イベント情報
SNMPTrap	object	トラップ情報
Severity	array(string)	トラップの重要度 以下から設定されます。 ・ Critical ・ Major ・ Minor ・ Informational ・ Unknown
OID	array(string)	OID
ISMEvent	object	ISMイベント情報
Severity	array(string)	ISMイベントの重要度

パラメーター	型	説明
		以下から設定されます。 ・ Error ・ Warning ・ Info
EventInfo	array	ISMイベント情報
EventId	string	ISMイベントID
Actions	array	アクション設定
ActionId	string	アクションID
IsActive	string	アクション設定状態 以下から設定されます。 ・ 有効:Enabled ・ 無効:Disabled

4.8.8 アラーム設定の削除

[概要]

アラーム設定(イベント通知先設定)の定義を削除します。

[形式]

```
DELETE /event/alarms/{alarmid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

4.8.9 SMTPサーバー設定情報の登録

[概要]

メール通知のアクション時に送信するSMTPサーバーについての設定を登録します。

[形式]

```
PATCH /system/settings/smtpserver
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
SMTPServer		object	SMTPサーバー情報を指定します。
	ServerNameType	string	サーバー名のタイプを指定します。 以下から選択できます。 IPv4, IPv6, FQDN
	ServerName	string	サーバー名を指定します。
	UserName	string	SMTP authに使用するユーザー名を指定します。 SMTP authを使用しない場合、nullを指定してください。
	Password	string	SMTP authに使用するパスワードを指定します。 SMTP authを使用しない場合、nullを指定してください。
	PortNumber	integer	ポート番号を指定します。 nullを指定した場合、初期値25が設定されます。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
SMTPServer		object	SMTPサーバー情報
	ServerNameType	string	サーバー名のタイプ 以下のいずれかが設定されます。 IPv4, IPv6, FQDN
	ServerName	string	サーバー名
	UserName	string	SMTP authユーザー名
	PortNumber	integer	ポート番号

4.8.10 SMTPサーバー設定情報の取得

[概要]

メール通知のアクション時に送信するSMTPサーバーについての設定情報を取得します。

[形式]

```
GET /system/settings/smtpserver
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
SMTPServer		object	SMTPサーバー情報
	ServerNameType	string	サーバー名のタイプ 以下のいずれかが設定されます。 IPv4, IPv6, FQDN
	ServerName	string	サーバー名
	UserName	string	認証時ユーザーアカウント

パラメーター		型	説明
			SMTP authユーザー名
	PortNumber	integer	ポート番号

4.8.11 SNMPサーバー設定情報の登録

[概要]

SNMPイベント通知のアクション時に送信するSNMPサーバーについての設定を追加します。

[形式]

```
POST /event/snmpmanagers
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
ServerNameType	string	サーバー名のタイプを指定します。 以下から選択できます。 IPv4, IPv6, FQDN
ServerName	string	サーバー名を指定します。
PortNumber	integer	SNMP通信に使用する受信ポート番号を指定します。nullを指定した場合162が自動設定されます。
SNMPVersion	string	SNMPのバージョンを指定します。 以下から選択できます。 v1, v2, v3
Community	string	コミュニティー名を指定します。 (SNMPVersionでv1あるいはv2を指定した場合のみ)
EngineId	string	エンジンIDを指定します。 (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
Context	string	コンテキスト名を指定します。 (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
SecurityLevel	string	セキュリティレベルを指定します。 以下から選択できます。 noAuthNoPriv, authNoPriv, authPriv (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
UserName	string	ユーザー名を指定します。 (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
AuthProtocol	string	認証プロトコルを指定します。 以下から選択できます。 MD5, SHA, SHA-256, SHA-384, SHA-512

パラメーター	型	説明
		(SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthNoPrivあるいはauthPrivを指定した場合のみ)
AuthPassword	string	認証パスワードを指定します。 (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthNoPrivあるいはauthPrivを指定した場合のみ) 暗号化前の文字列長は最低8文字
PrivProtocol	string	暗号化プロトコルを指定します。 以下から選択できます。 DES, AES (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthPrivを指定した場合のみ)
PrivPassword	string	暗号化パスワードを指定します。 (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthPrivを指定した場合のみ) 暗号化前の文字列長は最低8文字

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
SNMPServerId	string	SNMPの設定管理ID
ServerNameType	string	サーバー名のタイプ 以下のいずれかが設定されます。 IPv4, IPv6, FQDN
ServerName	string	サーバー名
PortNumber	integer	SNMP通信に使用する受信ポート番号
SNMPVersion	string	SNMPのバージョン 以下のいずれかが設定されます。 v1, v2, v3
Community	string	コミュニティー名 (SNMPVersionでv1あるいはv2を指定した場合のみ)
EngineId	string	エンジンID (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
Context	string	コンテキスト名 (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
SecurityLevel	string	セキュリティレベル noAuthNoPriv, authNoPriv, authPriv (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
UserName	string	ユーザー名 (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
AuthProtocol	string	認証プロトコル MD5, SHA, SHA-256, SHA-384, SHA-512

パラメーター	型	説明
		(SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthNoPrivあるいはauthPrivを指定した場合のみ)
PrivProtocol	string	暗号化プロトコル DES, AES (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthPrivを指定した場合のみ)

4.8.12 SNMPサーバー設定情報の一覧取得

[概要]

SNMPイベント通知のアクション時に送信するSNMPサーバーについての情報を一覧取得します。

[形式]

```
GET /event/snmpmanagers
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
SNMPServers	array	SNMP設定情報
SNMPServerId	string	SNMPの設定管理ID
ServerNameType	string	サーバー名のタイプ 以下のいずれかが設定されます。 IPv4, IPv6, FQDN
ServerName	string	サーバー名
PortNumber	integer	SNMP通信に使用する受信ポート番号
SNMPVersion	string	SNMPのバージョン 以下のいずれかが設定されます。 v1, v2, v3
Community	string	コミュニティー名 (SNMPVersionでv1あるいはv2を指定した場合のみ)
EngineId	string	エンジンID (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
Context	string	コンテキスト名 (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
SecurityLevel	string	セキュリティレベル noAuthNoPriv, authNoPriv, authPriv (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
UserName	string	ユーザー名 (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)

パラメーター		型	説明
	AuthProtocol	string	認証プロトコル MD5, SHA, SHA-256, SHA-384, SHA-512 (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthNoPrivあるいはauthPrivを指定した場合のみ)
	PrivProtocol	string	暗号化プロトコル DES, AES (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthPrivを指定した場合のみ)

4.8.13 SNMPサーバー設定情報の更新

[概要]

SNMPイベント通知のアクション時に送信するSNMPサーバーについての設定を更新します。

[形式]

```
PATCH /event/snmpmanagers/{snmpserverid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
ServerNameType	string	サーバー名のタイプを指定します。 以下から選択できます。 IPv4, IPv6, FQDN
ServerName	string	サーバー名を指定します。
PortNumber	integer	SNMP通信に使用する受信ポート番号を指定します。nullを指定した場合162が自動設定されます。
SNMPVersion	string	SNMPのバージョンを指定します。 以下から選択できます。 v1, v2, v3
Community	string	コミュニティー名を指定します。 (SNMPVersionでv1あるいはv2を指定した場合のみ)
EngineId	string	エンジンIDを指定します。 (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
Context	string	コンテキスト名を指定します。 (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
SecurityLevel	string	セキュリティレベルを指定します。 以下から選択できます。 noAuthNoPriv, authNoPriv, authPriv (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
UserName	string	ユーザー名を指定します。

パラメーター	型	説明
		(SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
AuthProtocol	string	認証プロトコルを指定します。 以下から選択できます。 MD5, SHA, SHA-256, SHA-384, SHA-512 (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthNoPrivあるいはauthPrivを指定した場合のみ)
AuthPassword	string	認証パスワードを指定します。 (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthNoPrivあるいはauthPrivを指定した場合のみ) 暗号化前の文字列長は最低8文字
PrivProtocol	string	暗号化プロトコルを指定します。 以下から選択できます。 DES, AES (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthPrivを指定した場合のみ)
PrivPassword	string	暗号化パスワードを指定します。 (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthPrivを指定した場合のみ) 暗号化前の文字列長は最低8文字

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
SNMPServerId	string	SNMPの設定管理ID
ServerNameType	string	サーバー名のタイプ 以下のいずれかが設定されます。 IPv4, IPv6, FQDN
ServerName	string	サーバー名
PortNumber	integer	SNMP通信に使用する受信ポート番号
SNMPVersion	string	SNMPのバージョン 以下のいずれかが設定されます。 v1, v2, v3
Community	string	コミュニティー名 (SNMPVersionでv1あるいはv2を指定した場合のみ)
EngineId	string	エンジンID (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
Context	string	コンテキスト名 (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
SecurityLevel	string	セキュリティレベル noAuthNoPriv, authNoPriv, authPriv (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)

パラメーター	型	説明
UserName	string	ユーザー名 (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
AuthProtocol	string	認証プロトコル MD5, SHA, SHA-256, SHA-384, SHA-512 (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthNoPrivあるいはauthPrivを指定した場合のみ)
PrivProtocol	string	暗号化プロトコル DES, AES (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthPrivを指定した場合のみ)

4.8.14 SNMPサーバー設定情報の削除

[概要]

SNMPイベント通知のアクション時に送信するSNMPサーバーについての設定を削除します。

[形式]

```
DELETE /event/snmpmanagers/{snmpserverid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

4.8.15 使用可能なSNMPトラップの一覧取得

[概要]

使用可能なSNMPトラップ情報を一覧取得します。

[形式]

```
GET /event/alarms/traplist
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
SNMPTraps	array	トラップ情報リスト
TrapType	string	トラップのシンボル名
OID	string	トラップのOID

パラメーター		型	説明
	Description	string	トラップの説明
	MibName	string	トラップのMIB名
	Severity	string	トラップの重要度 以下の中から設定されます。 ・ Critical ・ Major ・ Minor ・ Informational ・ Unknown
	TargetRemoteReport	boolean	リモート通報の対象かどうかを示します。 ・ False：対象外 ・ True：対象

4.8.16 使用可能なISMイベントIDの一覧取得

[概要]

使用可能なISMイベントIDを一覧取得します。

[形式]

```
GET /event/alarms/eventlist
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
ISMEvents		array	イベント情報リスト
	EventId	string	イベントID
	EventType	string	イベントタイプ
	Description	string	イベントの説明
	Severity	string	イベントの重要度
	ResourceType	array(string)	イベントの対象となるリソースタイプ 以下から対象のものが設定されます。 ・ Node ・ Facility ・ NodeGroup ・ System

4.8.17 受信したSNMPトラップのログ一覧取得

[概要]

SNMPトラップの受信履歴を一覧取得します。

[形式]

```
GET /event/history/trap
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
StartTime	string	指定した期日以降のデータを取得します。形式はRFC3339となります。
EndTime	string	指定した期日以前のデータを取得します。形式はRFC3339となります。
ResourceIdType	string	指定したリソースタイプのデータを取得します。 以下が使用できます。 ・ Node:特定のノード ・ Unknown:ISM未登録ノード
ResourceId	string	ResourceTypeでNodeを選択した場合のみ追加指定できます。 複数指定した場合、該当するものをすべて取得します。
TrapLogId	string	指定したトラップログIDのデータを取得します。 複数指定した場合、該当するものをすべて取得します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
TrapLogs		array	トラップログリスト
	TrapLogId	string	トラップログID
	TimeStamp	string	トラップ受信日時
	TrapType	string	トラップのシンボル名
	OID	string	OID
	TrapMessage	string	トラップのメッセージ
	ResourceType	string	トラップ発信元リソースのタイプ 以下から設定されます。 ・ Node ・ Unknown
	ResourceId	integer	トラップ発信元リソースID
	Severity	string	トラップの重要度 以下から設定されます。 ・ Critical ・ Major ・ Minor ・ Informational ・ Unknown

4.8.18 除外対象SNMPトラップの登録

[概要]

除外するトラップをリストに登録します。

[形式]

```
POST /event/history/trap/ignore
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
ResourceType	string	リソースのタイプを指定します。 ・ Node
ResourceId	integer	リソースIDを指定します。
OID	string	トラップのOIDを指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ResourceType	string	リソースのタイプ 以下から設定されます。 ・ Node
ResourceId	integer	リソースID
OID	string	トラップのOID

4.8.19 除外対象SNMPトラップ情報の一覧取得

[概要]

除外するトラップの情報を一覧取得します。

[形式]

```
GET /event/history/trap/ignore
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
IgnoredSNMPTraps	array	除外トラップ情報リスト
ResourceType	string	リソースのタイプ 以下から設定されます。 ・ Node

パラメーター		型	説明
	ResourceId	integer	リソースID
	OID	string	トラップのシンボル名

4.8.20 除外対象SNMPトラップの削除

[概要]

除外するトラップをリストから削除します。

[形式]

```
POST /event/history/trap/ignore/delete
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
ResourceType	string	リソースのタイプを指定します。 ・ Node
ResourceId	integer	リソースIDを指定します。
OID	string	トラップのOIDを指定します。

[レスポンスパラメーター]

なし

4.8.21 アラーム共通設定の登録

[概要]

アラーム設定で共通に使用する設定情報を登録します。

[形式]

```
PATCH /event/alarms/settings
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
InhibitionInterval	integer	トラップ受信を抑止する期間を指定します。 期間内の同一のリソースから同一のトラップ受信を抑止します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
InhibitionInterval	integer	トラップ受信を抑止する期間

4.8.22 アラーム共通設定の取得

[概要]

アラーム設定で共通に使用する設定情報を取得します。

[形式]

```
GET /event/alarms/settings
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
InhibitionInterval	integer	トラップ受信抑止期間

4.8.23 アクションのテスト実行

[概要]

指定したアクションをテスト実行します。

[形式]

```
POST /event/actions/{actionid}/test
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
TestEvent		object	アクションテスト時のパラメーターとしてイベント情報を指定します。
	ResourceType	string	リソースタイプを指定します。 以下から選択してください。 ・ System ・ Node ・ Disable 未指定の場合、自動的にSystemが代用されます。
	ResourceId	integer	リソースIDを指定します。 リソースタイプにNodeを指定した場合、指定必須です。
	EventType	string	イベントタイプを指定します。 以下から選択してください。 ・ ISMEvent ・ SNMPTrap 未指定の場合、自動的にSNMPTrapが代用されます。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
TestEvent		object	アクションテスト時のパラメーター
	ResourceType	string	リソースタイプ
	ResourceId	integer	リソースID
	EventType	string	イベントタイプ

4.8.24 SNMPトラップ受信設定情報の追加

[概要]

SNMPトラップの受信設定を追加します。

[形式]

```
POST /system/settings/snmptrapsettings
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
SNMPVersion	string	SNMPのバージョンを指定します。 以下から選択できます。 v1/v2, v3
Community	string	コミュニティー名を指定します。 (SNMPVersionでv1/v2を指定した場合のみ)
SecurityLevel	string	セキュリティレベルを指定します。 以下から選択できます。 noAuthNoPriv, authNoPriv, authPriv (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
UserName	string	ユーザー名を指定します。 (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
AuthProtocol	string	認証プロトコルを指定します。 以下から選択できます。 MD5, SHA, SHA-256, SHA-384, SHA-512 (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelで authNoPrivあるいはauthPrivを指定した場合のみ)
AuthPassword	string	認証パスワードを指定します。 (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelで authNoPrivあるいはauthPrivを指定した場合のみ) 暗号化前の文字列長は最低8文字
PrivProtocol	string	暗号化プロトコルを指定します。 以下から選択できます。

パラメーター	型	説明
		DES, AES (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthPrivを指定した場合のみ)
PrivPassword	string	暗号化パスワードを指定します。 (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthPrivを指定した場合のみ) 暗号化前の文字列長は最低8文字
NodeList	array	SNMPトラップ受信設定を使用するノード情報を指定します。 SNMPv3の場合のみ、指定必須です。
NodeId	integer	ノードIDを指定します。
EngineId	string	エンジンIDを指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
SNMPTrapSettingsId	string	SNMPトラップ受信設定ID
SNMPVersion	string	SNMPのバージョン 以下のいずれかが設定されます。 v1/v2, v3
Community	string	コミュニティー名 (SNMPVersionでv1/v2を指定した場合のみ)
SecurityLevel	string	セキュリティレベル noAuthNoPriv, authNoPriv, authPriv (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
UserName	string	ユーザー名 (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
AuthProtocol	string	認証プロトコル MD5, SHA, SHA-256, SHA-384, SHA-512 (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthNoPrivあるいはauthPrivを指定した場合のみ)
PrivProtocol	string	暗号化プロトコル DES, AES (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthPrivを指定した場合のみ)
NodeList	array	ノード情報リスト (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
NodeId	integer	ノードID
EngineId	string	エンジンID

4.8.25 SNMPトラップ受信設定情報の取得

[概要]

SNMPトラップの受信設定を取得します。

[形式]

```
GET /system/settings/snmptrapsettings
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
nodeid	integer	ノードIDを指定します。 複数指定した場合、一致したSNMPトラップ受信設定をすべて取得します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター			型	説明
SNMPTrapSettings			array	
	SNMPTrapSettingsId		string	SNMPトラップ受信設定ID
	SNMPVersion		string	SNMPのバージョン 以下のいずれかが設定されます。 v1/v2, v3
	Community		string	コミュニティー名 (SNMPVersionでv1/v2を指定した場合のみ)
	SecurityLevel		string	セキュリティレベル noAuthNoPriv, authNoPriv, authPriv (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
	UserName		string	ユーザー名 (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
	AuthProtocol		string	認証プロトコル MD5, SHA, SHA-256, SHA-384, SHA-512 (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthNoPrivあるいはauthPrivを指定した場合のみ)
	PrivProtocol		string	暗号化プロトコル DES, AES (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthPrivを指定した場合のみ)
	NodeList		array	ノード情報リスト
		NodeId	integer	ノードID
		EngineId	string	エンジンID

4.8.26 SNMPトラップ受信設定情報の更新

[概要]

SNMPトラップの受信設定を更新します。

[形式]

```
PATCH /system/settings/snmptrapsettings/{snmptrapsettingsid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
SNMPVersion	string	SNMPのバージョンを指定します。 以下から選択できます。 v1/v2, v3
Community	string	コミュニティー名を指定します。 (SNMPVersionでv1/v2を指定した場合のみ)
SecurityLevel	string	セキュリティレベルを指定します。 以下から選択できます。 noAuthNoPriv, authNoPriv, authPriv (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
UserName	string	ユーザー名を指定します。 (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
AuthProtocol	string	認証プロトコルを指定します。 以下から選択できます。 MD5, SHA, SHA-256, SHA-384, SHA-512 (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthNoPrivあるいはauthPrivを指定した場合のみ)
AuthPassword	string	認証パスワードを指定します。 (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthNoPrivあるいはauthPrivを指定した場合のみ) 暗号化前の文字列長は最低8文字
PrivProtocol	string	暗号化プロトコルを指定します。 以下から選択できます。 DES, AES (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthPrivを指定した場合のみ)
PrivPassword	string	暗号化パスワードを指定します。 (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthPrivを指定した場合のみ) 暗号化前の文字列長は最低8文字
NodeList	array	SNMPトラップ受信設定を使用するノード情報を指定します。 SNMPv3の場合のみ、指定必須です。
NodeId	integer	ノードIDを指定します。
EngineId	string	エンジンIDを指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
SNMPTrapSettingsId	string	SNMPトラップ受信設定ID
SNMPVersion	string	SNMPのバージョン 以下のいずれかが設定されます。 v1/v2, v3
Community	string	コミュニティー名 (SNMPVersionでv1/v2を指定した場合のみ)
SecurityLevel	string	セキュリティレベル noAuthNoPriv, authNoPriv, authPriv (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
UserName	string	ユーザー名 (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
AuthProtocol	string	認証プロトコル MD5, SHA, SHA-256, SHA-384, SHA-512 (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelで authNoPrivあるいはauthPrivを指定した場合のみ)
PrivProtocol	string	暗号化プロトコル DES, AES (SNMPVersionでv3を指定し、かつSecurityLevelでauthPriv を指定した場合のみ)
NodeList	array	ノード情報リスト (SNMPVersionでv3を指定した場合のみ)
NodeId	integer	ノードID
EngineId	string	エンジンID

4.8.27 SNMPトラップ受信設定情報の削除

[概要]

SNMPトラップの受信設定を削除します。

[形式]

```
DELETE /system/settings/snmptrapsettings/{snmptrapsettingsid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

4.9 イベントリスト管理機能

4.9.1 ログ種類の出力

[概要]

使用できるログの種類の情報を取得します。

[形式]

```
GET /event/history
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
LogTypes		array	ログ種別情報
	Name	string	ログ種別名 ・ event：運用ログ ・ audit：監査ログ ・ anomaly：アノマリ検知ログ
	Description	string	説明

4.9.2 運用ログの一覧取得

[概要]

指定した条件に従って運用ログを検索します。

クエリパラメーターにより、取得する運用ログを絞り込むことができます。

[形式]

```
GET /event/history/event/show
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
loglevel	string	重要度（Level）を使用した絞り込み 複数の重要度を指定できます。
logtype	string	運用ログの種類（Type）を使用した絞り込み
start	string	発生日時（OccurrenceDate）の開始日時を使用した絞り込み YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ（年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します）
end	string	発生日時（OccurrenceDate）の終了日時を使用した絞り込み YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ（年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します）
resourceidtype	string	リソースIDタイプを使用した絞り込み

パラメーター	型	説明
		使用する場合、リソースIDを指定する必要があります。
resourceid	integer	リソースIDを使用した絞り込み 複数のリソースIDを指定できます。使用する場合、リソースIDタイプを指定する必要があります。
messageid	string	メッセージIDを使用した絞り込み
extendedmessage	string	拡張メッセージを使用した絞り込み
operator	string	操作者を使用した絞り込み
continuekey	string	継続読み出しキー

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Logs	array	ログ情報リスト
Id	string	ログID 範囲：1-999999
OccurrenceDate	string	発生日時 YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ（年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します）
Level	string	重要度
MessageId	string	メッセージID
Message	string	メッセージ
Type	string	運用ログの種類
TargetInfo	object	ターゲット情報
Name	string	リソース名
ResourceIdType	string	リソースIDタイプ
ResourceId	integer	リソースID
Operator	string	操作者
LinkLogType	string	関連ログタイプ ・ SNMPTrap：SNMPトラップログ ・ ISMEvent：運用ログ ・ anomaly：アノマリ検知ログ
LinkLogId	string	関連ログID
RelationalInfo	object	関連情報
TaskId	string	タスクID
SubTaskIdList	string- array	サブタスクIDのリスト
WebUrl	string	メインで使用するWebURL（機器のWebUIなど）
LogUrl	string	LogのURL
LinkLogType	string	関連ログタイプ
LinkLogId	string	関連ログID
FirmwareName	string	ファームウェア名
FirmwareVersion	string	ファームウェア版数

パラメーター	型	説明
RowCounter	integer	総検索件数
ContinueKey	string	継続読み出しキー

[注意事項]

- 実行したユーザーがAdministratorグループに属している場合、かつAdministratorロールを持つ場合のみ、すべてのログ情報を検索できます。
- 実行したユーザーがAdministratorグループに属していない場合、またはAdministratorロールを持たない場合は、実行したユーザーと同じユーザーグループのログ情報のみ検索できます。
- クエリパラメーターで同一キーが複数指定された場合、最後の指定が有効になります。
- 開始日時と終了日時を省略した場合、すべてのログ情報を絞り込みの対象とします。
- 開始日時を省略した場合、終了日時以前のログ情報を絞り込みの対象とします。また、終了日時を省略した場合、開始日時以降のログ情報を絞り込みの対象とします。
- 出力対象となるログ情報が存在しなかった場合、0 件のログ情報が出力されます。
- 出力対象となるログ情報が 1000 件を超える場合、ログ登録日時の新しい順に 1000 件まで出力されます。
- 絞り込み条件を変えずに、出力結果の"ContinueKey(継続読み出しキー)"の値を、クエリパラメーターの"continuekey(継続読み出しキー)"の設定値として指定することで、続きのログ情報が出力されます。
- 絞り込みを行う場合、「4.9.2 運用ログの一覧取得」および「4.9.5 運用ログの個別取得」の該当する出力結果の値を、クエリパラメーターの設定値として指定してください。
- 関連ログIDは、関連ログタイプに対応する以下のログIDを通知します。

関連ログタイプ	関連ログID
SNMPTrap	「4.8.17 受信したSNMPトラップのログ一覧取得」のクエリパラメーターの"TrapLogId(トラップログIDキー)"に指定するID
ISMEvent	「4.9.5 運用ログの個別取得」の形式の{logid}に指定するID

- 関連情報は、ログ情報に関連している情報がある場合に通知します。

4.9.3 監査ログの一覧取得

[概要]

指定した条件に従って監査ログを検索します。

クエリパラメーターにより、取得する監査ログを絞り込むことができます。

[形式]

```
GET /event/history/audit/show
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
loglevel	string	重要度(Level)を使用した絞り込み 複数の重要度を指定できます。
logtype	string	監査ログの種類(Type)を使用した絞り込み
start	string	発生日時(OccurrenceDate)の開始日時を使用した絞り込み

パラメーター	型	説明
		YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ（年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します）
end	string	発生日時（OccurrenceDate）の終了日時を使用した絞り込み YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ（年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します）
resourceidtype	string	リソースIDタイプを使用した絞り込み 使用する場合、リソースIDを指定する必要があります。
resourceid	integer	リソースIDを使用した絞り込み 複数のリソースIDを指定できます。使用する場合、リソースIDタイプを指定する必要があります。
messageid	string	メッセージIDを使用した絞り込み
extendedmessage	string	拡張メッセージを使用した絞り込み
operator	string	操作者を使用した絞り込み
continuekey	string	継続読み出しキー

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Logs	array	ログ情報リスト
Id	string	ログID 範囲：1-999999
OccurrenceDate	string	発生日時 YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ（年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します）
Level	string	重要度
MessageId	string	メッセージID
Message	string	メッセージ
Type	string	監査ログの種類
TargetInfo	object	ターゲット情報
Name	string	リソース名
ResourceIdType	string	リソースIDタイプ
ResourceId	integer	リソースID
UserInfo	object	ユーザー情報
IpAddress	string	アクセス元IPアドレス
Operator	string	操作者
UserId	string	ユーザーID
SessionId	string	セッションID
RelationalInfo	object	関連情報
TaskId	string	タスクID
SubTaskIdList	string- array	サブタスクIDのリスト
WebUrl	string	メインで使用するWebURL（機器のWebUIなど）

パラメーター	型	説明
LogUrl	string	LogのURL
RowCounter	integer	総検索件数
ContinueKey	string	継続読み出しキー

[注意事項]

- 実行したユーザーがAdministratorグループに属している場合、かつAdministratorロールを持つ場合のみ、ログ情報を検索できます。
- クエリパラメーターで同一キーが複数指定された場合、最後の指定が有効になります。
- 開始日時と終了日時を省略した場合、すべてのログ情報を絞り込みの対象とします。
- 開始日時を省略した場合、終了日時以前のログ情報を絞り込みの対象とします。また、終了日時を省略した場合、開始日時以降のログ情報を絞り込みの対象とします。
- 出力対象となるログ情報が存在しなかった場合、0 件のログ情報が出力されます。
- 出力対象となるログ情報が 1000 件を超える場合、ログ登録日時の新しい順に 1000 件まで出力されます。
- 絞り込み条件を変えずに、出力結果の"ContinueKey(継続読み出しキー)"の値を、クエリパラメーターの"continuekey(継続読み出しキー)"の設定値として指定することで、続きのログ情報が出力されます。
- 絞り込みを行う場合、「4.9.3 監査ログの一覧取得」および「4.9.6 監査ログの個別取得」の該当する出力結果の値を、クエリパラメーターの設定値として指定してください。
- 関連情報は、ログ情報に関連している情報がある場合に通知します。

4.9.4 アノマリ検知ログの一覧取得

[概要]

指定した条件に従ってアノマリ検知ログを検索します。

クエリパラメーターにより、取得するアノマリ検知ログを絞り込むことができます。

[形式]

```
GET /event/history/anomaly/show
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
loglevel	string	重要度(Level)を使用した絞り込み 複数の重要度を指定できます。
logtype	string	アノマリ検知ログの種類(Type)を使用した絞り込み
start	string	発生日時(OccurrenceDate)の開始日時を使用した絞り込み YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ(年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します)
end	string	発生日時(OccurrenceDate)の終了日時を使用した絞り込み YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ(年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します)
resourceidtype	string	リソースIDタイプを使用した絞り込み 使用する場合、リソースIDを指定する必要があります。
resourceid	integer	リソースIDを使用した絞り込み

パラメーター	型	説明
		複数のリソースIDを指定できます。使用する場合、リソースIDタイプを指定する必要があります。
messageid	string	メッセージIDを使用した絞り込み
extendedmessage	string	拡張メッセージを使用した絞り込み
operator	string	操作者を使用した絞り込み
continuekey	string	継続読み出しキー

[レスポンスパラメーター]

パラメーター			型	説明
Logs			array	ログ情報リスト
	Id		string	ログID 範囲:1-199999
	OccurrenceDate		string	発生日時 YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ（年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します）
	Level		string	重要度
	MessageId		string	メッセージID
	Message		string	メッセージ
	Type		string	アノマリ検知ログの種類
	TargetInfo		object	ターゲット情報
		Name	string	リソース名
		ResourceIdType	string	リソースIDタイプ
		ResourceId	integer	リソースID
	Operator		string	操作者
	RelationalInfo		object	関連情報
		SolutionId	string	アノマリ検知解決方法ID
		DetectId	string	アノマリ検知異常検知ID
RowCounter			integer	総検索件数
ContinueKey			string	継続読み出しキー

[注意事項]

- 実行したユーザーがAdministratorグループに属している場合、かつAdministratorロールを持つ場合のみ、すべてのログ情報を検索できます。
- 実行したユーザーがAdministratorグループに属していない場合、またはAdministratorロールを持たない場合は、実行したユーザーと同じユーザーグループのログ情報のみ検索できます。
- クエリパラメーターで同一キーが複数指定された場合、最後の指定が有効になります。
- 開始日時と終了日時を省略した場合、すべてのログ情報を絞り込みの対象とします。
- 開始日時を省略した場合、終了日時以前のログ情報を絞り込みの対象とします。また、終了日時を省略した場合、開始日時以降のログ情報を絞り込みの対象とします。
- 出力対象となるログ情報が存在しなかった場合、0 件のログ情報が出力されます。
- 出力対象となるログ情報が 1000 件を超える場合、ログ登録日時の新しい順に 1000 件まで出力されます。

- 絞り込み条件を変えずに、出力結果の"ContinueKey(継続読み出しキー)"の値を、クエリパラメーターの"continuekey(継続読み出しキー)"の設定値として指定することで、続きのログ情報が出力されます。
- 絞り込みを行う場合、「4.9.4 アノマリ検知ログの一覧取得」および「4.9.7 アノマリ検知ログの個別取得」の該当する出力結果の値を、クエリパラメーターの設定値として指定してください。
- 関連情報は、ログ情報に関連している情報がある場合に通知します。

4.9.5 運用ログの個別取得

[概要]

指定した運用ログ番号の詳細情報を取得します。

[形式]

```
GET /event/history/event/logs/{logid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Logs	object	ログ情報
Id	string	ログID 範囲:1-999999
OccurrenceDate	string	発生日時 YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ(年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します)
Level	string	重要度
MessageId	string	メッセージID
Message	string	メッセージ
Type	string	運用ログの種類
TargetInfo	object	ターゲット情報
Name	string	リソース名
ResourceIdType	string	リソースIDタイプ
ResourceId	integer	リソースID
UserGroupId	string	ユーザーグループ情報
Operator	string	操作者
LinkLogType	string	関連ログタイプ ・ SNMPTrap:SNMPトラップログ ・ ISMEvent:運用ログ
LinkLogId	string	関連ログID
RelationalInfo	object	関連情報
TaskId	string	タスクID
SubTaskIdList	string- array	サブタスクIDのリスト
WebUrl	string	メインで使用するWebURL(機器のWebUIなど)

パラメーター			型	説明
		LogUrl	string	LogのURL
		LinkLogType	string	関連ログタイプ
		LinkLogId	string	関連ログID
		FirmwareName	string	ファームウェア名
		FirmwareVersion	string	ファームウェア版数

[注意事項]

- 実行したユーザーがAdministratorグループに属している場合、かつAdministratorロールを持つ場合のみ、すべてのログ情報に対して詳細情報を取得できます。
- 実行したユーザーがAdministratorグループに属していない場合、またはAdministratorロールを持たない場合は、実行したユーザーと同じユーザーグループのログ情報のみ詳細情報を取得できます。
- 関連ログIDは、関連ログタイプに対応する以下のログIDを通知します。

関連ログタイプ	関連ログID
SNMPTrap	「4.8.17 受信したSNMPトラップのログ一覧取得」のクエリパラメーターの"TrapLogId(トラップログIDキー)"に指定するID
ISMEvent	「4.9.5 運用ログの個別取得」の形式の{logid}に指定するID

- 関連情報は、ログ情報に関連している情報がある場合に通知します。

4.9.6 監査ログの個別取得

[概要]

指定した監査ログ番号の詳細情報を取得します。

[形式]

```
GET /event/history/audit/logs/{logid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Logs		object	ログ情報
	Id	string	ログID 範囲:1-999999
	OccurrenceDate	string	発生日時 YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ(年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します)
	Level	string	重要度
	MessageId	string	メッセージID
	Message	string	メッセージ
	Type	string	監査ログの種類
	TargetInfo	object	ターゲット情報

パラメーター	型	説明
Name	string	リソース名
ResourceIdType	string	リソースIDタイプ
ResourceId	integer	リソースID
UserGroupId	string	ユーザーグループ情報
UserInfo	object	ユーザー情報
IpAddress	string	アクセス元IPアドレス 現在は未サポートです。
Operator	string	操作者
UserId	string	ユーザーID
SessionId	string	セッションID
RelationalInfo	object	関連情報
TaskId	string	タスクID
SubTaskIdList	string- array	サブタスクIDのリスト
WebUrl	string	メインで使用するWebURL（機器のWebUIなど）
LogUrl	string	LogのURL

[注意事項]

- 実行したユーザーがAdministratorグループに属している場合、かつAdministratorロールを持つ場合のみ、ログ情報に対して詳細情報を取得できます。
- 関連情報は、ログ情報に関連している情報がある場合に通知します。

4.9.7 アノマリ検知ログの個別取得

[概要]

指定したアノマリ検知ログ番号の詳細情報を取得します。

[形式]

```
GET /event/history/anomaly/logs/{logid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Logs	object	ログ情報
Id	string	ログID 範囲:1-199999
OccurrenceDate	string	発生日時 YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ（年-月-日T時:分:秒.ミリ秒 Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します）
Level	string	重要度
MessageId	string	メッセージID

パラメーター			型	説明
	Message		string	メッセージ
	Type		string	アノマリ検知ログの種類
	TargetInfo		object	ターゲット情報
		Name	string	リソース名
		ResourceIdType	string	リソースIDタイプ
		ResourceId	integer	リソースID
	UserGroupId		string	ユーザーグループ情報
	Operator		string	操作者
	RelationalInfo		object	関連情報
		SolutionId	string	アノマリ検知解決方法ID
		DetectId	string	アノマリ検知異常検知ID

[注意事項]

- 実行したユーザーがAdministratorグループに属している場合、かつAdministratorロールを持つ場合のみ、すべてのログ情報に対して詳細情報を取得できます。
- 実行したユーザーがAdministratorグループに属していない場合、またはAdministratorロールを持たない場合は、実行したユーザーと同じユーザーグループのログ情報のみ詳細情報を取得できます。
- 関連情報は、ログ情報に関連している情報がある場合に通知します。

4.9.8 運用ログのエクスポート

[概要]

指定した条件に従って運用ログを検索し、ZIP形式でエクスポートします。

[形式]

```
POST /event/history/event/export
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
StartTime	string	発生日時の開始日時を使用した絞り込み YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ（年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します）
EndTime	string	発生日時の終了日時を使用した絞り込み YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ（年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します）

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
StoreInfo	object	格納情報

パラメーター			型	説明
	Url		string	保存先URL
	Log		object	ログファイル情報
		Name	string	保存ログファイル名 Events_YYYYMMDD-hhmmss_xxx.zip（YYMMDD-hhmmss_xxxは作成日時を表し、年月日-時分秒_ミリ秒に該当します）
		Size	integer	ファイルサイズ 単位:バイト

[注意事項]

- 実行したユーザーがAdministratorグループに属している場合、かつAdministratorロールを持つ場合のみ、すべてのログ情報をエクスポートすることができます。
- 実行したユーザーがAdministratorグループに属していない場合、またはAdministratorロールを持たない場合は、実行したユーザーと同じユーザーグループのログ情報のみエクスポートすることができます。
- 開始日時と終了日時を省略した場合、すべてのログ情報を絞り込みの対象とします。
- 開始日時を省略した場合、終了日時以前のログ情報を絞り込みの対象とします。また、終了日時を省略した場合、開始日時以降のログ情報を絞り込みの対象とします。

4.9.9 監査ログのエクスポート

[概要]

指定した条件に従って監査ログを検索し、ZIP形式でエクスポートします。

[形式]

```
POST /event/history/audit/export
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
StartTime	string	発生日時の開始日時を使用した絞り込み YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ（年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します）
EndTime	string	発生日時の終了日時を使用した絞り込み YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ（年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します）

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
StoreInfo		object	格納情報
	Url	string	保存先URL
	Log	object	ログファイル情報

パラメーター			型	説明
		Name	string	保存ログファイル名 Audits_YYYYMMDD-hhmmss_xxx.zip（YYMMDD-hhmmss_xxxは作成日時を表し、年月日-時分秒_ミリ秒に該当します）
		Size	integer	ファイルサイズ 単位：バイト

[注意事項]

- 実行したユーザーがAdministratorグループに属している場合、かつAdministratorロールを持つ場合のみ、ログ情報をエクスポートすることができます。
- 開始日時と終了日時を省略した場合、すべてのログ情報を絞り込みの対象とします。
- 開始日時を省略した場合、終了日時以前のログ情報を絞り込みの対象とします。また、終了日時を省略した場合、開始日時以降のログ情報を絞り込みの対象とします。

4.9.10 アノマリ検知ログのエクスポート

[概要]

指定した条件に従ってアノマリ検知ログを検索し、ZIP形式でエクスポートします。

[形式]

```
POST /event/history/anomaly/export
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
StartTime	string	発生日時の開始日時を使用した絞り込み YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ（年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します）
EndTime	string	発生日時の終了日時を使用した絞り込み YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ（年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します）

[レスポンスパラメーター]

パラメーター			型	説明
StoreInfo			object	格納情報
	Url		string	保存先URL
	Log		object	ログファイル情報
		Name	string	保存ログファイル名 Anomalies_YYYYMMDD-hhmmss_xxx.zip（YYMMDD-hhmmss_xxxは作成日時を表し、年月日-時分秒_ミリ秒に該当します）

パラメーター			型	説明
		Size	integer	ファイルサイズ 単位:バイト

[注意事項]

- 実行したユーザーがAdministratorグループに属している場合、かつAdministratorロールを持つ場合のみ、すべてのログ情報をエクスポートすることができます。
- 実行したユーザーがAdministratorグループに属していない場合、またはAdministratorロールを持たない場合は、実行したユーザーと同じユーザーグループのログ情報のみエクスポートすることができます。
- 開始日時と終了日時を省略した場合、すべてのログ情報を絞り込みの対象とします。
- 開始日時を省略した場合、終了日時以前のログ情報を絞り込みの対象とします。また、終了日時を省略した場合、開始日時以降のログ情報を絞り込みの対象とします。

4.9.11 保存期間の表示

[概要]

運用ログ／監査ログ／アノマリ検知ログのエクスポートで取得されるログファイルを保存する日数を表示します。

[形式]

```
GET /event/history/retentionperiod/settings
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
StoreTerm	integer	ログ保存期間 設定範囲:1-365

4.9.12 保存期間の更新

[概要]

運用ログ／監査ログ／アノマリ検知ログのエクスポートで取得されるログファイルを保存する日数を更新します。

[形式]

```
PATCH /event/history/retentionperiod/settings
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
StoreTerm	integer	ログ保存期間 設定範囲:1-365

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
StoreTerm	integer	ログ保存期間 設定範囲:1-365

[注意事項]

・ 実行したユーザーがAdministratorグループに属している場合、かつAdministratorロールを持つ場合のみ更新できます。

4.10 プロファイル管理機能

4.10.1 プロファイルのカテゴリー一覧取得

[概要]

プロファイルのカテゴリー一覧を取得します。

[形式]

```
GET /profiles/categories
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Server		array	分類:サーバー
	CategoryId	string	カテゴリーID
	CategoryName	string	カテゴリー名 ・ Server-BX:Server PRIMERGY BXシリーズ ・ Server-RX:Server PRIMERGY RXシリーズ ・ Server-TX:Server PRIMERGY TXシリーズ ・ Server-CX:Server PRIMERGY CXシリーズ ・ Server-PRIMEQUEST2000-Partition : Server PRIMEQUEST 2000シリーズ ・ Server-PRIMEQUEST2000B : Server PRIMEQUEST 2000B ・ Server-PRIMEQUEST3000B : Server PRIMEQUEST 3000B ・ Server-PRIMEQUEST3000E-Partition : Server PRIMEQUEST 3000Eシリーズ ・ Server-PRIMEQUEST4000E-Partition : Server PRIMEQUEST 4000Eシリーズ ・ Server:その他
Storage		array	分類:ストレージ
	CategoryId	string	カテゴリーID

パラメーター	型	説明
CategoryName	string	カテゴリー名 ・ Storage-DX：Storage ETERNUS DX シリーズ ・ Storage-OntapCluster：Storage ETERNUS NR, AX, HX, ACシリーズ
Switch	array	分類：スイッチ
CategoryId	string	カテゴリーID
CategoryName	string	カテゴリー名 ・ Switch-SRX：サーバー収容スイッチ SR-Xシリーズ ・ Switch-CFX：コンバージドファブリックスイッチCFXシリーズ ・ Switch-VDX：コンバージドスイッチVDXシリーズ ・ Switch-PSWITCH：イーサネットスイッチPSWITCHシリーズ
Other	array	分類：その他
CategoryId	string	カテゴリーID
CategoryName	string	カテゴリー名 ・ Other：その他
Monitoring	array	分類：監視
CategoryId	string	カテゴリーID
CategoryName	string	カテゴリー名 Monitoring：監視

4.10.2 プロファイルのカテゴリー変換

[概要]

指定したモデル名より、適用可能なプロファイルのカテゴリーへ変換します。

[形式]

```
POST /profiles/categories
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Model	string	モデル

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
CategoryId	string	カテゴリーID
CategoryName	string	カテゴリー名

パラメーター	型	説明
		・ Server-BX：Server PRIMERGY BXシリーズ ・ Server-RX：Server PRIMERGY RXシリーズ ・ Server-TX：Server PRIMERGY TXシリーズ ・ Server-CX：Server PRIMERGY CXシリーズ ・ Server-PRIMEQUEST2000-Partition : Server PRIMEQUEST 2000シリーズ ・ Server-PRIMEQUEST2000B：Server PRIMEQUEST 2000B ・ Server-PRIMEQUEST3000B：Server PRIMEQUEST 3000B ・ Server-PRIMEQUEST3000E-Partition : Server PRIMEQUEST 3000Eシリーズ ・ Server-PRIMEQUEST4000E-Partition : Server PRIMEQUEST 4000Eシリーズ ・ Storage-DX：Storage ETERNUS DX シリーズ ・ Storage-OntapCluster：Storage ETERNUS NR, AX, HX, ACシリーズ ・ Switch-SRX：サーバー収容スイッチ SR-Xシリーズ ・ Switch-CFX：コンバージドファブリックスイッチCFXシリーズ ・ Switch-VDX：コンバージドスイッチVDXシリーズ ・ Switch-PSWITCH：イーサネットスイッチPSWITCHシリーズ ・ Other：その他

4.10.3 プロファイルの追加

[概要]

プロファイルを追加します。

[形式]

```
POST /profiles/profiles
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProfileName	string	プロファイル名
Description	string	プロファイルの説明
CategoryId	string	カテゴリーID
ProfileGroupId	string	保存するプロファイルグループID

パラメーター	型	説明
ReferencePolicyList	array	参照の継承で利用するポリシーリスト 最大値は3000です。
PolicyId	string	参照の継承で利用するポリシーID
OneTimePasswordKey	string	パスワード情報のワンタイム暗号キー ProfileData内のすべてのパスワード情報について、AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定し、その暗号キーを指定します。
ProfileData	object	プロファイル設定内容
Server-BX	object	Server PRIMERGY BXシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「C.1 Server-BX」の「BIOS」の箇所を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「C.1 Server-BX」の「iRMC」の箇所を参照してください。
IOVirtualization	object	仮想IOの設定 詳細は、「D.3 IOVirtualization」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Server-RX	object	Server PRIMERGY RXシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
iRMCUser	object	iRMC（ユーザー）の設定 詳細は、「D.10 iRMCUser」を参照してください。
RAID	object	RAIDの設定 本RAID設定と"OSInstallation"の"RaidConfig"がどちらも設定されている場合、本RAID設定を優先します。 詳細は、「D.7 RAID」を参照してください。
IOVirtualization	object	仮想IOの設定 詳細は、「D.3 IOVirtualization」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Server-TX	object	Server PRIMERGY TXシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定

パラメーター	型	説明
		詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
iRMCUser	object	iRMC（ユーザー）の設定 詳細は、「D.10 iRMCUser」を参照してください。
RAID	object	RAIDの設定 本RAID設定と"OSInstallation"の"RaidConfig"がどちらも設定されている場合、本RAID設定を優先します。 詳細は、「D.7 RAID」を参照してください。
IOVirtualization	object	仮想IOの設定 詳細は、「D.3 IOVirtualization」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Server-CX	object	Server PRIMERGY CXシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
iRMCUser	object	iRMC（ユーザー）の設定 詳細は、「D.10 iRMCUser」を参照してください。
RAID	object	RAIDの設定 本RAID設定と"OSInstallation"の"RaidConfig"がどちらも設定されている場合、本RAID設定を優先します。 詳細は、「D.7 RAID」を参照してください。
IOVirtualization	object	仮想IOの設定 詳細は、「D.3 IOVirtualization」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST2000-Partition	object	Server PRIMEQUEST 2000シリーズ（Partition）
MMB	object	MMB(Management Board)のPartition設定 詳細は、「D.5 MMB」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定

パラメーター	型	説明
		詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST2000B	object	Server PRIMEQUEST 2000B
MMB	object	MMB(Management Board)の設定 詳細は、「D.5 MMB」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST3000B	object	Server PRIMEQUEST 3000B
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST3000E-Partition	object	Server PRIMEQUEST 3000Eシリーズ
MMB	object	MMB(Management Board)のPartition設定 詳細は、「D.5 MMB」を参照してください。
IOVirtualization	object	仮想IOの設定 詳細は、「D.3 IOVirtualization」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST4000E-Partition	object	Server PRIMEQUEST 4000Eシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
iRMCUser	object	iRMC（ユーザー）の設定 詳細は、「D.10 iRMCUser」を参照してください。
IOVirtualization	object	仮想IOの設定 詳細は、「D.3 IOVirtualization」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。

パラメーター	型	説明
Storage-DX	object	Storage ETERNUS DXシリーズ ディスクストレージシステム
StandRaid	object	Raid設定 詳細は、「C.2 Storage-DX」の「StandRaid」の箇所を参照してください。
GHotSpare	object	ホットスペア設定 詳細は、「C.2 Storage-DX」の「GHotSpare」の箇所を参照してください。
HostAffinity	object	ホストアフィニティ設定 詳細は、「C.2 Storage-DX」の「HostAffinity」の箇所を参照してください。
DetailSettings	object	プロファイルの詳細設定 詳細は、「C.2 Storage-DX」の「DetailSettings」の箇所を参照してください。
Storage-OntapCluster	object	Storage ETERNUS NR, AX, HX, ACシリーズ ネットワークディスクアレイ
Snmp	object	SNMP機能情報 詳細は、「C.3 Storage-OntapCluster」の「Snmp」の箇所を参照してください。
Ntp	object	自動時刻設定情報 詳細は、「C.3 Storage-OntapCluster」の「Ntp」の箇所を参照してください。
Switch-SRX	object	サーバー収容スイッチ SR-Xシリーズ
Snmp	object	SNMP機能情報 詳細は、「C.4 Switch-SRX」の「Snmp」の箇所を参照してください。
AutoTime	object	自動時刻設定情報 詳細は、「C.4 Switch-SRX」の「AutoTime」の箇所を参照してください。
Account	object	装置管理者のパスワード情報 詳細は、「C.4 Switch-SRX」の「Account」の箇所を参照してください。
Stp	object	STP 詳細は、「C.4 Switch-SRX」の「Stp」の箇所を参照してください。
Switch-CFX	object	コンバージドファブリックスイッチCFXシリーズ
Interface	array	インターフェイス情報 最大256個を設定可能です。 詳細は、「C.5 Switch-CFX」の「Interface」の箇所を参照してください。
Snmp	object	SNMP機能情報 詳細は、「C.5 Switch-CFX」の「Snmp」の箇所を参照してください。
AutoTime	object	自動時刻設定情報

パラメーター	型	説明
		詳細は、「C.5 Switch-CFX」の「AutoTime」の箇所を参照してください。
Account	object	装置管理者のパスワード情報 詳細は、「C.5 Switch-CFX」の「Account」の箇所を参照してください。
Aaa	object	AAA情報 詳細は、「C.5 Switch-CFX」の「Aaa」の箇所を参照してください。
Switch-VDX	object	コンバージドスイッチVDXシリーズ
Snmp	object	SNMP機能情報 詳細は、「C.6 Switch-VDX」の「Snmp」の箇所を参照してください。
AutoTime	object	自動時刻設定情報 詳細は、「C.6 Switch-VDX」の「AutoTime」の箇所を参照してください。
Account	object	アカウント情報 詳細は、「C.6 Switch-VDX」の「Account」の箇所を参照してください。
Switch-PSWITCH	object	イーサネットスイッチPSWITCHシリーズ
Snmp	object	SNMP機能情報 詳細は、「C.7 Switch-PSWITCH」の「Snmp」の箇所を参照してください。
AutoTime	object	自動時刻設定情報 詳細は、「C.7 Switch-PSWITCH」の「AutoTime」の箇所を参照してください。
Account	object	アカウント情報 詳細は、「C.7 Switch-PSWITCH」の「Account」の箇所を参照してください。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProfileId	string	プロファイルID
ProfileName	string	プロファイル名

4.10.4 プロファイルの一覧取得

[概要]

プロファイルの一覧を取得します。

[形式]

```
GET /profiles/profiles
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
status	string	アサイン状態 ・ unassigned:アンアサイン(未適用) ・ assigned:アサイン済み(適用済み) ・ mismatch:アサイン済みのOS以外のプロファイルを編集し、それが未適用の状態(プロファイルと装置に差分がある状態) ・ mismatch os:アサイン済みのOSプロファイルのみを編集した状態(再適用は不可) ・ processing:アサイン・アンアサインの処理中 ・ canceling:アサイン・アンアサインのキャンセル処理中 ・ canceled:アサイン・アンアサインのキャンセル完了 ・ error:アサイン・アンアサインに失敗した状態 assignedを指定した場合、ノードに適用されているプロファイル一覧が出力されます。
verifystatus	string	ベリファイ状態 ・ invalid:ベリファイ対象外 ・ match:ベリファイ一致状態 ・ mismatch:ベリファイ不一致状態 ・ processing:ベリファイの処理中 ・ unknown:ベリファイに失敗した状態 ・ canceling:ベリファイのキャンセル中 ・ canceled:ベリファイをキャンセルした状態
categoryid	string	カテゴリーID 指定されたカテゴリーに属するプロファイル一覧が出力されます。
profilegroupid	string	プロファイルグループID 指定されたプロファイルグループに属するプロファイル一覧が出力されます。
referencepolicyid	string	参照の継承を利用しているポリシーID 指定されたポリシーを参照の継承で利用しているプロファイル一覧が出力されます。
assignednodeid	integer	アサインされているノードID 指定したアサインされているノードIDのプロファイル一覧が出力されます。
modelname	string	モデル名 指定されたモデル名のモデル毎プロファイル一覧が出力されます。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProfileList	array	プロファイルリスト

パラメーター	型	説明
		最大値は2000です。
ProfileId	string	プロファイルID
ProfileName	string	プロファイル名
Description	string	プロファイルの説明
CategoryId	string	カテゴリーID
CategoryName	string	カテゴリー名 詳細は、「4.10.2 プロファイルのカテゴリー変換」の「CategoryName」の箇所を参照してください。
ProfileGroupId	string	現在所属しているプロファイルグループID
PathName	string	このプロファイルグループのパス名
ReferencePolicyList	array	参照の継承で利用するポリシーリスト 最大値は3000です。
PolicyId	string	参照の継承で利用するポリシーID
AssignedNodeId	integer	アサインされているノードID 未アサインの場合はnullです。
Status	string	アサイン状態を表します。 ・ unassigned:アンアサイン(未適用) ・ assigned:アサイン済み(適用済み) ・ mismatch:アサイン済みのOS以外のプロファイルを編集し、それが未適用の状態(プロファイルと装置に差分がある状態) ・ mismatch os:アサイン済みのOSプロファイルのみを編集した状態(再適用は不可) ・ processing:アサイン・アンアサインの処理中 ・ canceling:アサイン・アンアサインのキャンセル処理中 ・ canceled:アサイン・アンアサインのキャンセル完了 ・ error:アサイン・アンアサインに失敗した状態
InternalStatus	object	内部ステータス
BiosStatus	string	BIOSプロファイルのアサイン状態を表します。 ・ invalid:プロファイル未登録 ・ unassigned:プロファイル未適用 ・ assigned:プロファイル適用済 ・ reassign:プロファイル更新あり ・ processing:適用処理中
IrmcStatus	string	iRMCプロファイルのアサイン状態を表します。 ・ invalid:プロファイル未登録 ・ unassigned:プロファイル未適用 ・ assigned:プロファイル適用済 ・ reassign:プロファイル更新あり

パラメーター	型	説明
		・ processing：適用処理中 CategoryIdが以下の場合に出力します。 ・ 1（Server-BX） ・ 2（Server-CX） ・ 3（Server-RX） ・ 5（Server-PRIMEQUEST3000B） ・ 7（Server-TX） ・ 9（Server-PRIMEQUEST4000E-Partition）
MmbStatus	string	MMBプロファイルのアサイン状態を表します。 ・ invalid：プロファイル未登録 ・ unassigned：プロファイル未適用 ・ assigned：プロファイル適用済 ・ reassign：プロファイル更新あり ・ processing：適用処理中 CategoryIdが以下の場合に出力します。 ・ 4（Server-PRIMEQUEST2000-Partition） ・ 6（Server-PRIMEQUEST3000E-Partition） ・ 8（Server-PRIMEQUEST2000B）
IovStatus	string	IOVirtualizationプロファイルのアサイン状態を表します。 ・ invalid：プロファイル未登録 ・ unassigned：プロファイル未適用 ・ assigned：プロファイル適用済 ・ reassign：プロファイル更新あり ・ processing：適用処理中
OsStatus	string	OSプロファイルのアサイン状態を表します。 ・ invalid：プロファイル未登録 ・ unassigned：プロファイル未適用 ・ assigned：プロファイル適用済 ・ reassign：プロファイル更新あり ・ processing：適用処理中
RaidStatus	string	RAID構築状態を表します。 ・ invalid：プロファイル未登録 ・ unassigned：プロファイル未適用 ・ assigned：プロファイル適用済 ・ reassign：プロファイル更新あり ・ processing：適用処理中
VerifyStatus	string	ベリファイ状態を表します。

パラメーター	型	説明
		・ invalid：ベリファイ対象外 ・ match：ベリファイ一致状態 ・ mismatch：ベリファイ不一致状態 ・ processing：ベリファイの処理中 ・ unknown：ベリファイの実行に失敗した状態 ・ canceling：ベリファイのキャンセル中 ・ canceled：ベリファイをキャンセルした状態
HistoryList	array	アサイン中に編集した場合に、編集前のプロファイルIDを返します。 最大値は1です。
ProfileId	string	編集前のプロファイルID
VerifyList	array	ベリファイで不一致を検出した場合に、不一致ノードのプロファイルIDを返します。 最大値は1です。
ProfileId	string	不一致のノードのプロファイルID
TimeStampInfo	object	タイムスタンプ情報
Register	string	登録時間
Update	string	最終更新時間
Assigned	string	最終適用時間
ModelName	string	モデル名 プロファイルのモデル名です。モデル毎プロファイルの場合に返します。

4.10.5 プロファイルの個別取得

[概要]

指定したプロファイルの個別情報を取得します。

[形式]

```
GET /profiles/profiles/{profileid}
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
passwordkey	string	パスワード情報の暗号キー ProfileData内のすべてのパスワード情報について、AES256+Base64で暗号化するパスワードの暗号キーを指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProfileId	string	プロファイルID

パラメーター	型	説明
ProfileName	string	プロファイル名
Description	string	プロファイルの説明
CategoryId	string	カテゴリーID
CategoryName	string	カテゴリー名 詳細は、「4.10.2 プロファイルのカテゴリー変換」の「CategoryName」の箇所を参照してください。
ProfileGroupId	string	現在所属しているプロファイルグループID
PathName	string	このプロファイルグループのパス名 絶対パス。表示されるのはグループ名までです。
ReferencePolicyList	array	参照の継承で利用するポリシーリスト 最大値は3000です。
PolicyId	string	参照の継承で利用するポリシーID
AssignedNodeId	integer	アサインされているノードID 未アサインの場合はnullです。
Status	string	アサイン状態を表します。 ・unassigned:アンアサイン(未適用) ・assigned:アサイン済み(適用済み) ・mismatch:アサイン済みのOS以外のプロファイルを編集し、それが未適用の状態(プロファイルと装置に差分がある状態) ・mismatch os:アサイン済みのOSプロファイルのみを編集した状態(再適用は不可) ・processing:アサイン・アンアサインの処理中 ・canceling:アサイン・アンアサインのキャンセル処理中 ・canceled:アサイン・アンアサインのキャンセル完了 ・error:アサイン・アンアサインに失敗した状態
InternalStatus	object	内部ステータス
BiosStatus	string	BIOSプロファイルのアサイン状態を表します。 ・invalid:プロファイル未登録 ・unassigned:プロファイル未適用 ・assigned:プロファイル適用済 ・reassign:プロファイル更新あり ・processing:適用処理中
IrmcStatus	string	iRMCプロファイルのアサイン状態を表します。 ・invalid:プロファイル未登録 ・unassigned:プロファイル未適用 ・assigned:プロファイル適用済 ・reassign:プロファイル更新あり ・processing:適用処理中

パラメーター	型	説明
		CategoryIdが以下の場合に出力します。 ・ 1（Server-BX） ・ 2（Server-CX） ・ 3（Server-RX） ・ 5（Server-PRIMEQUEST3000B） ・ 7（Server-TX） ・ 9（Server-PRIMEQUEST4000E-Partition）
MmbStatus	string	MMBプロファイルのアサイン状態を表します。 ・ invalid：プロファイル未登録 ・ unassigned：プロファイル未適用 ・ assigned：プロファイル適用済 ・ reassign：プロファイル更新あり ・ processing：適用処理中 CategoryIdが以下の場合に出力します。 ・ 4（Server-PRIMEQUEST2000-Partition） ・ 6（Server-PRIMEQUEST3000E-Partition） ・ 8（Server-PRIMEQUEST2000B）
IovStatus	string	IOVirtualizationプロファイルのアサイン状態を表します。 ・ invalid：プロファイル未登録 ・ unassigned：プロファイル未適用 ・ assigned：プロファイル適用済 ・ reassign：プロファイル更新あり ・ processing：適用処理中
OsStatus	string	OSプロファイルのアサイン状態を表します。 ・ invalid：プロファイル未登録 ・ unassigned：プロファイル未適用 ・ assigned：プロファイル適用済 ・ reassign：プロファイル更新あり ・ processing：適用処理中
RaidStatus	string	RAID構築状態を表します。 ・ invalid：プロファイル未登録 ・ unassigned：プロファイル未適用 ・ assigned：プロファイル適用済 ・ reassign：プロファイル更新あり ・ processing：適用処理中
VerifyStatus	string	ベリファイ状態を表します。 ・ invalid：ベリファイ対象外

パラメーター	型	説明
		• match：ベリファイ一致状態 • mismatch：ベリファイ不一致状態 • processing：ベリファイの処理中 • unknown：ベリファイに失敗した状態 • canceling：ベリファイのキャンセル中 • canceled：ベリファイをキャンセルした状態
HistoryList	array	アサイン中に編集した場合に、編集前のプロファイルIDを返します。 最大値は1です。
ProfileId	string	編集前のプロファイルID
VerifyList	array	ベリファイで不一致を検出した場合に、不一致のノードのプロファイルIDを返します。 最大値は1です。
ProfileId	string	不一致のノードのプロファイルID
TimeStampInfo	object	タイムスタンプ情報
Register	string	登録時間
Update	string	最終更新時間
Assigned	string	最終適用時間
ProfileData	object	プロファイル設定内容
Server-BX	object	Server PRIMERGY BXシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「C.1 Server-BX」の「BIOS」の箇所を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「C.1 Server-BX」の「iRMC」の箇所を参照してください。
IOVirtualization	object	仮想IOの設定 詳細は、「D.3 IOVirtualization」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Server-RX	object	Server PRIMERGY RXシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
iRMCUser	object	iRMC（ユーザー）の設定 詳細は、「D.10 iRMCUser」を参照してください。

パラメーター	型	説明
RAID	object	RAIDの設定 詳細は、「D.7 RAID」を参照してください。
IOVirtualization	object	仮想IOの設定 詳細は、「D.3 IOVirtualization」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Server-TX	object	Server PRIMERGY TXシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
iRMCUser	object	iRMC（ユーザー）の設定 詳細は、「D.10 iRMCUser」を参照してください。
RAID	object	RAIDの設定 詳細は、「D.7 RAID」を参照してください。
IOVirtualization	object	仮想IOの設定 詳細は、「D.3 IOVirtualization」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Server-CX	object	Server PRIMERGY CXシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
iRMCUser	object	iRMC（ユーザー）の設定 詳細は、「D.10 iRMCUser」を参照してください。
RAID	object	RAIDの設定 詳細は、「D.7 RAID」を参照してください。
IOVirtualization	object	仮想IOの設定 詳細は、「D.3 IOVirtualization」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定

パラメーター	型	説明
		詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST2000-Partition	object	Server PRIMEQUEST 2000シリーズ（Partition）
MMB	object	MMB(Management Board)のPartition設定 詳細は、「D.5 MMB」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST2000B	object	Server PRIMEQUEST 2000B
MMB	object	MMB(Management Board)の設定 詳細は、「D.5 MMB」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST3000B	object	Server PRIMEQUEST 3000B
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST3000E-Partition	object	Server PRIMEQUEST 3000Eシリーズ
MMB	object	MMB(Management Board)のPartition設定 詳細は、「D.5 MMB」を参照してください。
IOVirtualization	object	仮想IOの設定 詳細は、「D.3 IOVirtualization」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST4000E-Partition	object	Server PRIMEQUEST 4000Eシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
iRMCUser	object	iRMC（ユーザー）の設定

パラメーター	型	説明
		詳細は、「D.10 iRMCUser」を参照してください。
IOVirtualization	object	仮想IOの設定 詳細は、「D.3 IOVirtualization」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Storage-DX	object	Storage ETERNUS DXシリーズ ディスクストレージシステム
StandRaid	object	Raid設定 詳細は、「C.2 Storage-DX」の「StandRaid」の箇所を参照してください。
GHotSpare	object	ホットスペア設定 詳細は、「C.2 Storage-DX」の「GHotSpare」の箇所を参照してください。
HostAffinity	object	ホストアフィニティ設定 詳細は、「C.2 Storage-DX」の「HostAffinity」の箇所を参照してください。
DetailSettings	object	プロファイルの詳細設定 詳細は、「C.2 Storage-DX」の「DetailSettings」の箇所を参照してください。
Storage-OntapCluster	object	Storage ETERNUS NR, AX, HX, ACシリーズ ネットワークディスクアレイ
Snmp	object	SNMP機能情報 詳細は、「C.3 Storage-OntapCluster」の「Snmp」の箇所を参照してください。
Ntp	object	自動時刻設定情報 詳細は、「C.3 Storage-OntapCluster」の「Ntp」の箇所を参照してください。
Switch-SRX	object	サーバー収容スイッチ SR-Xシリーズ
Snmp	object	SNMP機能情報 詳細は、「C.4 Switch-SRX」の「Snmp」の箇所を参照してください。
AutoTime	object	自動時刻設定情報 詳細は、「C.4 Switch-SRX」の「AutoTime」の箇所を参照してください。
Account	object	装置管理者のパスワード情報 詳細は、「C.4 Switch-SRX」の「Account」の箇所を参照してください。
Stp	object	STP 詳細は、「C.4 Switch-SRX」の「Stp」の箇所を参照してください。
Switch-CFX	object	コンバージドファブリックスイッチCFXシリーズ
Interface	array	インターフェイス情報 最大値は256です。

パラメーター	型	説明
		詳細は、「C.5 Switch-CFX」の「Interface」の箇所を参照してください。
Snmp	object	SNMP機能情報 詳細は、「C.5 Switch-CFX」の「Snmp」の箇所を参照してください。
AutoTime	object	自動時刻設定情報 詳細は、「C.5 Switch-CFX」の「AutoTime」の箇所を参照してください。
Account	object	装置管理者のパスワード情報 詳細は、「C.5 Switch-CFX」の「Account」の箇所を参照してください。
Aaa	object	AAA情報 詳細は、「C.5 Switch-CFX」の「Aaa」の箇所を参照してください。
Switch-VDX	object	コンバージドスイッチVDXシリーズ
Snmp	object	SNMP機能情報 詳細は、「C.6 Switch-VDX」の「Snmp」の箇所を参照してください。
AutoTime	object	自動時刻設定情報 詳細は、「C.6 Switch-VDX」の「AutoTime」の箇所を参照してください。
Account	object	アカウント情報 詳細は、「C.6 Switch-VDX」の「Account」の箇所を参照してください。
Switch-PSWITCH	object	イーサネットスイッチPSWITCHシリーズ
Snmp	object	SNMP機能情報 詳細は、「C.7 Switch-PSWITCH」の「Snmp」の箇所を参照してください。
AutoTime	object	自動時刻設定情報 詳細は、「C.7 Switch-PSWITCH」の「AutoTime」の箇所を参照してください。
Account	object	アカウント情報 詳細は、「C.7 Switch-PSWITCH」の「Account」の箇所を参照してください。

4.10.6 プロファイルの更新

[概要]

指定したプロファイルを更新します。

[形式]

```
PATCH /profiles/profiles/{profileid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

「4.10.3 プロファイルの追加」を参照してください。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProfileId	string	プロファイルID
ProfileName	string	プロファイル名

4.10.7 プロファイルの削除

[概要]

指定したプロファイルを削除します。

[形式]

```
DELETE /profiles/profiles/{profileid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

4.10.8 プロファイルのノードへの適用

[概要]

指定したプロファイルを指定したノードへ適用します。

[形式]

```
POST /nodes/{nodeid}/profiles/assign
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProfileId	string	アサインするプロファイルID すでにプロファイルをノードにアサインしてある場合、省略可能です。
AssignMode	string	適用モードを指定します。 ・ Normal：通常の適用 ・ Advanced：高度な適用 省略時またはnullの場合、Normalとして動作します。

パラメーター	型	説明
AdvancedKind	string	高度な適用の種別を指定します。 AssignModeがAdvancedの場合に指定します。 ・ ForcedAssign:強制適用 ・ WithoutHardwareAccess:当てたつもり適用 ・ OnlineAssign:オンライン適用 ・ ForcedOnlineAssign:オンライン強制適用 初回適用時、ForcedAssignとForcedOnlineAssignは指定できません。 AssignRangeにIOVirtualizationまたはOSInstallationが含まれる場合、OnlineAssignは指定できません。
AssignRange	array-string	アサインするProfile種別を記載します。 AssignModeがAdvancedの場合、"BIOS"、"iRMC"、"iRMCUser"、"MMB"、"IOVirtualization"または"OSInstallation"を1つ、もしくは組み合わせて、指定します。 例)["BIOS","iRMC"] 省略時またはnullの場合、ProfileDataにあるすべての種別のプロファイルがアサインされます。
FirmwareUpdate	string	プロファイル適用前に対象ノードを最新ファームウェアへアップデートします。 ・ Disable:無効

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

4.10.9 プロファイルのノードへの適用の中止

[概要]

指定したタスクIDでプロファイルのノード適用を中止します。

[形式]

```
POST /nodes/profiles/assign/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

4.10.10 プロファイルのノードへの適用解除

[概要]

指定したノードIDでプロファイルのノード適用を解除します。

[形式]

```
POST /nodes/{nodeid}/profiles/unassign
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

4.10.11 プロファイルのノードへの適用解除の中止

[概要]

指定したタスクIDでプロファイルのノード適用解除を中止します。

[形式]

```
POST /nodes/profiles/unassign/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

4.10.12 プロファイルグループの追加

[概要]

プロファイルグループを追加します。

[形式]

```
POST /profiles/profiles/groups
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProfileGroupName	string	プロファイルグループ名
Description	string	プロファイルグループの説明
ParentProfileGroupId	string	親プロファイルグループID

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProfileGroupId	string	プロファイルグループID
ProfileGroupName	string	プロファイルグループ名

4.10.13 プロファイルグループの一覧取得

[概要]

プロファイルグループの一覧を取得します。

[形式]

```
GET /profiles/profiles/groups
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
ProfileGroupList		array	プロファイルグループリスト 上限はありません。
	ProfileGroupId	string	プロファイルグループID
	ProfileGroupName	string	プロファイルグループ名
	Description	string	プロファイルグループの説明
	PathName	string	このプロファイルグループのパス名(絶対パス)
	ProfileGroupList	array	従属するプロファイルグループIDリスト 上限はありません。
	ProfileGroupId	string	プロファイルグループID
	ProfileList	array	従属するプロファイルIDリスト 最大値は2000です。
	ProfileId	string	プロファイルID
	TimeStampInfo	object	タイムスタンプ情報
	Register	string	登録時間
	Update	string	更新時間

4.10.14 プロファイルグループの個別取得

[概要]

指定したプロファイルグループの個別情報を取得します。

[形式]

```
GET /profiles/profiles/groups/{groupid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProfileGroupId	string	プロファイルグループID
ProfileGroupName	string	プロファイルグループ名
Description	string	プロファイルグループの説明
PathName	string	このプロファイルグループのパス名(絶対パス)
ProfileGroupList	array	従属するプロファイルグループIDリスト 上限はありません。
ProfileGroupId	string	従属するプロファイルグループID
ProfileList	array	従属するプロファイルIDリスト 最大値は2000です。
ProfileId	string	従属するプロファイルID
TimeStampInfo	object	タイムスタンプ情報
Register	string	登録時間
Update	string	更新時間

4.10.15 プロファイルグループの更新

[概要]

指定したプロファイルグループを更新します。

[形式]

```
PATCH /profiles/profiles/groups/{groupid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProfileGroupName	string	プロファイルグループ名
Description	string	プロファイルグループの説明
ParentProfileGroupId	string	親プロファイルグループID

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProfileGroupId	string	プロファイルグループID
ProfileGroupName	string	プロファイルグループ名

4.10.16 プロファイルグループの削除

[概要]

指定したプロファイルグループを削除します。

[形式]

```
DELETE /profiles/profiles/groups/{groupid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

4.10.17 ポリシーの追加

[概要]

ポリシーを追加します。

[形式]

```
POST /profiles/policies
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
PolicyName	string	ポリシー名
Description	string	ポリシーの説明
CategoryId	string	カテゴリーID
PolicyGroupId	string	保存するポリシーグループID
ReferencePolicyList	array	参照の継承で利用するポリシーリスト 最大値は3000です。
PolicyId	string	参照の継承で利用するポリシーID
AssignMonitoringPolicyDefault	string	監視ポリシーを適用するかを指定します。 ・ Enabled:監視ポリシーを有効にします。 ・ Disabled:監視ポリシーを無効にします。

パラメーター	型	説明
OneTimePasswordKey	string	パスワード情報のワンタイム暗号キー ProfileData内のすべてのパスワード情報について、AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定し、その暗号キーを指定します。
ProfileData	object	ポリシー設定内容
Server-BX	object	Server PRIMERGY BXシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「C.1 Server-BX」の「BIOS」の箇所を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「C.1 Server-BX」の「iRMC」の箇所を参照してください。
Server-RX	object	Server PRIMERGY RXシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
iRMCUser	object	iRMC（ユーザー）の設定 詳細は、「D.10 iRMCUser」を参照してください。
RAID	object	RAIDの設定 本RAID設定と"OSInstallation"の"RaidConfig"がどちらも設定されている場合、本RAID設定を優先します。 詳細は、「D.7 RAID」を参照してください。
Server-TX	object	Server PRIMERGY TXシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
iRMCUser	object	iRMC（ユーザー）の設定 詳細は、「D.10 iRMCUser」を参照してください。
RAID	object	RAIDの設定 本RAID設定と"OSInstallation"の"RaidConfig"がどちらも設定されている場合、本RAID設定を優先します。

パラメーター	型	説明
		詳細は、「D.7 RAID」を参照してください。
Server-CX	object	Server PRIMERGY CXシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
iRMCUser	object	iRMC（ユーザー）の設定 詳細は、「D.10 iRMCUser」を参照してください。
RAID	object	RAIDの設定 本RAID設定と"OSInstallation"の"RaidConfig"がどちらも設定されている場合、本RAID設定を優先します。 詳細は、「D.7 RAID」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST2000-Partition	object	Server PRIMEQUEST 2000シリーズ（Partition）
MMB	object	MMB(Management Board)のPartition設定 詳細は、「D.5 MMB」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST2000B	object	Server PRIMEQUEST 2000B
MMB	object	MMB(Management Board)の設定 詳細は、「D.5 MMB」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST3000B	object	Server PRIMEQUEST 3000B
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST3000E-Partition	object	Server PRIMEQUEST 3000Eシリーズ
MMB	object	MMB(Management Board)のPartition設定 詳細は、「D.5 MMB」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST4000E-Partition	object	Server PRIMEQUEST 4000Eシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。

パラメーター	型	説明
iRMC	object	iRMC(Integrated Remote Management Controller)の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC(モデル毎)の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
iRMCUser	object	iRMC(ユーザー)の設定 詳細は、「D.10 iRMCUser」を参照してください。
Server	object	Server
OSInstallation	object	OSインストールの設定 OSインストールのポリシーは、Server共通です。 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Monitoring	object	監視共通設定
TimeSync	object	時刻設定 詳細は、「D.6 Monitoring」を参照してください。
Snmp	object	SNMP設定 詳細は、「D.6 Monitoring」を参照してください。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
PolicyId	string	ポリシーID
PolicyName	string	ポリシー名

4.10.18 ポリシーの一覧取得

[概要]

ポリシーの一覧を取得します。

[形式]

```
GET /profiles/policies
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
categoryid	string	カテゴリーID 指定されたカテゴリーに属するポリシー定義一覧が出力されます。
policygroupid	string	ポリシーグループID 指定されたポリシーグループに属するポリシー定義一覧が出力されます。
policytype	string	ポリシータイプ "BIOS"、"iRMC"、"iRMCUser"、"MMB"、"OSInstallation"、または "RAID"を指定します。
ostype	string	OSタイプ

パラメーター	型	説明
		"Windows"、"Linux"、または"Vmware"を指定します。
modelname	string	モデル名 指定されたモデル名のモデル毎ポリシー定義一覧が出力されます。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
PolicyList	array	ポリシーリスト 最大値は3000です。
PolicyId	string	ポリシーID
PolicyName	string	ポリシー名
Description	string	ポリシーの説明
CategoryId	string	カテゴリーID
CategoryName	string	カテゴリー名 詳細は、「4.10.2 プロファイルのカテゴリー変換」の「CategoryName」の箇所を参照してください。
PolicyType	string	ポリシータイプ "BIOS"、"iRMC"、"iRMCUser"、"MMB"、"OSInstallation"、または "RAID"を出力します。
OsType	string	OSタイプ PolicyTypeが"OSInstallation"の場合に"Windows"、"Linux"、または"Vmware"を出力します。"OSInstallation"以外の場合は""を出力します。
PolicyGroupId	string	現在所属しているポリシーグループID
TimeStampInfo	object	タイムスタンプ情報
Register	string	登録時間
Update	string	更新時間
ModelName	string	モデル名 ポリシーのモデル名です。モデル毎ポリシーの場合に返します。

4.10.19 ポリシーの個別取得

[概要]

指定したポリシーの個別情報を取得します。

[形式]

```
GET /profiles/policies/{policyid}
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
passwordkey	string	パスワード情報の暗号キー

パラメーター	型	説明
		ProfileData内のすべてのパスワード情報について、AES256+Base64で暗号化するパスワードの暗号キーを指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
PolicyId	string	ポリシーID
PolicyName	string	ポリシー名
Description	string	ポリシーの説明
CategoryId	string	カテゴリーID
CategoryName	string	カテゴリー名 詳細は、「4.10.2 プロファイルのカテゴリー変換」の「CategoryName」の箇所を参照してください。
PolicyType	string	ポリシータイプ "BIOS"、"iRMC"、"iRMCUser"、"MMB"、"OSInstallation"、または "RAID"を出力します。
OsType	string	OSタイプ PolicyTypeが"OSInstallation"の場合に"Windows"、"Linux"、または"Vmware"を出力します。"OSInstallation"以外の場合は""を出力します。
PolicyGroupId	string	現在所属しているポリシーグループID
ReferencePolicyList	array	参照の継承で利用するポリシーリスト 最大値は3000です。
PolicyId	string	参照の継承で利用するポリシーID
AssignMonitoringPolicyDefault	string	監視ポリシーを適用するかを指定します。 ・ Enabled:監視ポリシーを有効にします。 ・ Disabled:監視ポリシーを無効にします。
TimeStampInfo	object	タイムスタンプ情報
Register	string	登録時間
Update	string	更新時間
ProfileData	object	ポリシー設定内容
Server-BX	object	Server PRIMERGY BXシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「C.1 Server-BX」の「BIOS」の箇所を参照してください。
iRMC	object	iRMC(Integrated Remote Management Controller)の設定 詳細は、「C.1 Server-BX」の「iRMC」の箇所を参照してください。
Server-RX	object	Server PRIMERGY RXシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。

パラメーター	型	説明
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
iRMCUser	object	iRMC（ユーザー）の設定 詳細は、「D.10 iRMCUser」を参照してください。
RAID	object	RAIDの設定 詳細は、「D.7 RAID」を参照してください。
Server-TX	object	Server PRIMERGY TXシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
iRMCUser	object	iRMC（ユーザー）の設定 詳細は、「D.10 iRMCUser」を参照してください。
RAID	object	RAIDの設定 詳細は、「D.7 RAID」を参照してください。
Server-CX	object	Server PRIMERGY CXシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
iRMCUser	object	iRMC（ユーザー）の設定 詳細は、「D.10 iRMCUser」を参照してください。
RAID	object	RAIDの設定 詳細は、「D.7 RAID」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST2000-Partition	object	Server PRIMEQUEST 2000シリーズ（Partition）
MMB	object	MMB(Management Board)のPartition設定 詳細は、「D.5 MMB」を参照してください。

パラメーター	型	説明
Server-PRIMEQUEST2000B	object	Server PRIMEQUEST 2000B
MMB	object	MMB(Management Board)の設定 詳細は、「D.5 MMB」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST3000B	object	Server PRIMEQUEST 3000B
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST3000E-Partition	object	Server PRIMEQUEST 3000Eシリーズ
MMB	object	MMB(Management Board)のPartition設定 詳細は、「D.5 MMB」を参照してください。
Server-PRIMEQUEST4000E-Partition	object	Server PRIMEQUEST 4000Eシリーズ
BIOS	object	BIOSの設定 詳細は、「D.1 BIOS」を参照してください。
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定 詳細は、「D.8 BIOSByModel」を参照してください。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 詳細は、「D.2 iRMC」を参照してください。
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定 詳細は、「D.9 iRMCByModel」を参照してください。
iRMCUser	object	iRMC（ユーザー）の設定 詳細は、「D.10 iRMCUser」を参照してください。
Server	object	Server
OSInstallation	object	OSインストールの設定 OSインストールのポリシーは、Server共通です。 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。
Monitoring	object	監視共通設定
TimeSync	object	時刻設定 詳細は、「D.6 Monitoring」を参照してください。
Snmp	object	SNMP設定 詳細は、「D.6 Monitoring」を参照してください。

4.10.20 ポリシーの更新

[概要]

指定したポリシーを更新します。

[形式]

```
PATCH /profiles/policies/{policyid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

「4.10.17 ポリシーの追加」を参照してください。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
PolicyId	string	ポリシーID
PolicyName	string	ポリシー名

4.10.21 ポリシーの削除

[概要]

指定したポリシーを削除します。

[形式]

```
DELETE /profiles/policies/{policyid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

4.10.22 ポリシーグループの追加

[概要]

ポリシーグループを追加します。

[形式]

```
POST /profiles/policies/groups
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
PolicyGroupName	string	ポリシーグループ名

パラメーター	型	説明
Description	string	ポリシーグループの説明
ParentPolicyGroupId	string	親ポリシーグループID

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
PolicyGroupId	string	ポリシーグループID
PolicyGroupName	string	ポリシーグループ名

4.10.23 ポリシーグループの一覧取得

[概要]

ポリシーグループの一覧を取得します。

[形式]

```
GET /profiles/policies/groups
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
PolicyGroupList		array	ポリシーグループリスト 最大値はなしです。
	PolicyGroupId	string	ポリシーグループID
	PolicyGroupName	string	ポリシーグループ名
	Description	string	ポリシーグループの説明
	PathName	string	このポリシーグループのパス名（絶対パス）
	PolicyGroupList	array	従属ポリシーグループIDリスト 最大値はなしです。
	PolicyGroupId	string	ポリシーグループID
	PolicyList	array	従属ポリシーIDリスト 最大リスト数は3000です。
	PolicyId	string	ポリシーID
	TimeStampInfo	object	タイムスタンプ情報
	Register	string	登録時間
	Update	string	更新時間

4.10.24 ポリシーグループの個別取得

[概要]

指定したポリシーグループの個別情報を取得します。

[形式]

```
GET /profiles/policies/groups/{groupid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
PolicyGroupId	string	ポリシーグループID
PolicyGroupName	string	ポリシーグループ名
Description	string	ポリシーグループの説明
PathName	string	このポリシーグループのパス名（絶対パス）
PolicyGroupList	array	従属するポリシーグループIDリスト 最大値はなしです。
PolicyGroupId	string	従属するポリシーグループID
PolicyList	array	従属するポリシーIDリスト 最大値は3000です。
PolicyId	string	従属するポリシーID
TimeStampInfo	object	タイムスタンプ情報
Register	string	登録時間
Update	string	更新時間

4.10.25 ポリシーグループの更新

[概要]

指定したポリシーグループを更新します。

[形式]

```
PATCH /profiles/policies/groups/{groupid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
PolicyGroupName	string	ポリシーグループ名
Description	string	ポリシーグループの説明
ParentPolicyGroupId	string	親ポリシーグループID

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
PolicyGroupId	string	ポリシーグループID
PolicyGroupName	string	ポリシーグループ名

4.10.26 ポリシーグループの削除

[概要]

指定したポリシーグループを削除します。

[形式]

```
DELETE /profiles/policies/groups/{groupid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

4.10.27 プロファイルのインポート

[概要]

指定したプロファイルをインポートします。

[形式]

```
POST /profiles/import
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
FilePath	string	プロファイルが格納されている「/＜ユーザーグループ名＞/ftp/」からの相対パスを含めたファイル名
ProfileType	string	プロファイルタイプ ProfileまたはPolicyを指定します。
ProfileGroupId	string	プロファイルグループID
OneTimePasswordKey	string	パスワードの暗号キー インポートするプロファイル内のすべてのパスワード情報について、AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定し、その暗号キーを指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProfileId	string	プロファイルID
ProfileName	string	プロファイル名(ポリシー名)

4.10.28 プロファイルのエクスポート

[概要]

指定したプロファイルをエクスポートします。

[形式]

```
POST /profiles/export
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProfileId	string	プロファイルID
PasswordKey	string	パスワードの暗号キー エクスポートするプロファイルのすべてのパスワード情報を、指定された暗号キーで暗号化(AES256+Base64)します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
FilePath	string	プロファイルが格納されている「/<ユーザーグループ名>/ftp/」からの相対パスを含めたファイル名

4.10.29 DVDインポート

[概要]

指定したDVDをインポートします。

[形式]

```
POST /system/settings/repositories/profiles/dvd/import
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
MediaType	string	DVDメディアの種類 DVDメディアの種類を指定します。 ・ ServerView Suite DVD ・ Azure Stack HCI, Version 23H2 (Microsoft Media) ・ Azure Stack HCI, Version 22H2 (Microsoft Media) ・ Azure Stack HCI, Version 21H2 (Microsoft Media) ・ Azure Stack HCI, Version 20H2 (Microsoft Media) ・ Windows Server 2025 Datacenter (Fujitsu Media)

パラメーター	型	説明
		・Windows Server 2025 Standard (Fujitsu Media) ・Windows Server 2025 (Microsoft Media) ・Windows Server 2025 (Microsoft VL Media) ・Windows Server 2022 Datacenter (Fujitsu Media) ・Windows Server 2022 Standard (Fujitsu Media) ・Windows Server 2022 (Microsoft Media) ・Windows Server 2022 (Microsoft VL Media) ・Windows Server 2019 Datacenter (Fujitsu Media) ・Windows Server 2019 Standard (Fujitsu Media) ・Windows Server 2019 (Microsoft Media) ・Windows Server 2019 (Microsoft VL Media) ・Windows Server 2016 Datacenter (Fujitsu Media) ・Windows Server 2016 Standard (Fujitsu Media) ・Windows Server 2016 (Microsoft Media) ・Windows Server 2016 (Microsoft VL Media) ・Windows Server 2012 R2 Datacenter (Fujitsu Media) ・Windows Server 2012 R2 Standard (Fujitsu Media) ・Windows Server 2012 R2 (Microsoft Media) ・Windows Server 2012 R2 (Microsoft VL Media) ・Windows Server 2012 Datacenter (Fujitsu Media) ・Windows Server 2012 Standard (Fujitsu Media) ・Windows Server 2012 (Microsoft Media) ・Windows Server 2012 (Microsoft VL Media) ・Windows Server 2008 R2 Datacenter + SP1 (Fujitsu Media) ・Windows Server 2008 R2 Enterprise + SP1 (Fujitsu Media) ・Windows Server 2008 R2 Standard + SP1 (Fujitsu Media) ・Windows Server 2008 R2 + SP1 (Microsoft Media) ・Windows Server 2008 R2 + SP1 (Microsoft VL Media) ・Red Hat Enterprise Linux 9.5 (x86_64) ・Red Hat Enterprise Linux 9.4 (x86_64) ・Red Hat Enterprise Linux 9.3 (x86_64) ・Red Hat Enterprise Linux 9.2 (x86_64) ・Red Hat Enterprise Linux 9.1 (x86_64) ・Red Hat Enterprise Linux 9.0 (x86_64) ・Red Hat Enterprise Linux 8.10 (x86_64)

パラメーター	型	説明
		・ Red Hat Enterprise Linux 8.9 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.8 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.7 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.6 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.5 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.4 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.3 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.2 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.1 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.0 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.9 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.8 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.7 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.6 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.5 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.4 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.3 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.2 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.1 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.10 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.10 (x86) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.9 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.9 (x86) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.8 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.8 (x86) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.7 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.7 (x86) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.6 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.6 (x86) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP6 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP5 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP4 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP3 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5 (x86_64)

パラメーター	型	説明
		・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP1 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 (x86) ・ VMware ESXi 9.0 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 8.0 Update 3 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 8.0 Update 2 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 8.0 Update 1 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 8.0 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 7.0 Update 3 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 7.0 Update 2 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 7.0 Update 1 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 7.0 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.7 Update 3 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.7 Update 2 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.7 Update 1 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.7 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.5 Update 3 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.5 Update 2 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.5 Update 1 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.5 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.0 Update 3 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.0 Update 2 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.0 Update 1 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 5.5 Update 3 (Fujitsu Media)
FilePath	string	DVDメディアを格納した「/＜ユーザーグループ名＞/ftp/」からの相対パスを含めたファイル名
FilePath2	string	DVDメディアを格納した「/＜ユーザーグループ名＞/ftp/」からの相対パスを含めたファイル名 以下のメディアタイプの場合に指定します。 ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 (x86_64)
DeleteFtpResource	boolean	ftpリソースファイルの削除指定 trueの場合、DVDインポート正常終了後、FilePathとFilePath2で指定したファイルを削除します。

パラメーター	型	説明
		falseの場合、キーが省略されている場合、もしくは、DVDインポートが異常終了した場合、FilePathとFilePath2で指定したファイルは削除しません。
UnMountResource	boolean	trueの場合、DVDインポート正常終了後、インポートで使用した共有ディレクトリーをアンマウントします。 falseの場合、もしくは、キーが省略されている場合、インポートで使用した共有ディレクトリーをアンマウントしません。
MountId	string	共有ディレクトリーのマウントID インポートでISM外の共有ディレクトリーを使用する場合に指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[注意事項]

- ISMがサポートするOSの種類や版数については、当社の本製品Webサイトで『管理対象機器一覧』([サポート対象OS]シートおよび[サーバー・シャーシ]シート)を参照してください。

  https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/environment/

4.10.30 DVDインポートの中止

[概要]

指定したタスクIDでDVDインポートを中止します。

[形式]

```
POST /system/settings/repositories/profiles/dvd/import/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

4.10.31 登録済みリポジトリの一覧取得

[概要]

登録済みリポジトリの一覧を取得します。

[形式]

```
GET /system/settings/repositories/profiles
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
RepositoryList	array	リポジトリリスト 最大値はなしです。(ディスク容量制限までです)
RepositoryId	string	リポジトリID
FileName	string	DVDメディアのファイル名 メディアのファイルが2種類ある場合、ファイル名とメディア情報を出力します。
FileName2	string	DVDメディアのファイル名 メディアのファイルが2種類ある場合に出力します。
MediaType	string	DVDメディアの種類 DVDメディアの種類を出力します。 DVDメディアの種類については、「4.10.29 DVDインポート」を参照してください。
RegisterTime	string	登録日時
FileSize	integer	DVDメディアのファイルサイズ FileNameのファイルサイズを出力します。
FileSize2	integer	DVDメディアのファイルサイズ FileName2のファイルサイズを出力します。 メディアのファイルが2種類ある場合に出力します。
Version	string	DVDメディアの版数 DVDメディアの種類がServerView Suite DVDの場合に出力します。

[注意事項]

- ISMがサポートするOSの種類や版数については、当社の本製品Webサイトで『管理対象機器一覧』([サポート対象OS]シートおよび[サーバー・シャーシ]シート)を参照してください。

  https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/environment/

4.10.32 登録済みリポジトリ削除

[概要]

指定した登録済みリポジトリを削除します。

[形式]

```
DELETE /system/settings/repositories/profiles/{repositoryid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

4.10.33 パッケージ、アプリケーション一覧取得

[概要]

指定したLinux OSの種類と言語により、パッケージとアプリケーションの一覧を取得します。

[形式]

```
GET /profiles/packages
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
ostype	string	OSの種類 指定したLinux OSの種類を出力します。 ・ Red Hat Enterprise Linux 9.5 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 9.4 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 9.3 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 9.2 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 9.1 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 9.0 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.10 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.9 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.8 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.7 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.6 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.5 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.4 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.3 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.2 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.1 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.0 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.9 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.8 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.7 (x86_64)

パラメーター	型	説明
		・ Red Hat Enterprise Linux 7.6 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.5 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.4 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.3 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.2 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.1 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.10 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.10 (x86) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.9 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.9 (x86) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.8 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.8 (x86) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.7 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.7 (x86) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.6 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.6 (x86) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP6 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP5 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP4 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP3 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP1 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 (x86)
language	string	OSの言語 指定したOSの言語を出力します。 ・ English:英語 ・ German:ドイツ語 ・ Japanese:日本語

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Package		object	指定OSでインストール可能なパッケージグループのリスト
	DefaultList	array(string)	デフォルトインストール指定のパッケージ一覧(リスト)
	MinimumList	array(string)	最小インストール指定のパッケージ一覧(リスト)
	FullList	array(string)	フルインストール指定のパッケージ一覧(リスト)
ApplicationList		array	指定OSでインストール可能なアプリケーションのリスト
	Name	string	アプリケーションの名前
	PackageDependencyList	array(string)	アプリケーションに依存関係のあるパッケージの一覧(リスト)

[注意事項]

- ISMがサポートするOSの種類や版数については、当社の本製品Webサイトで『管理対象機器一覧』([サポート対象OS]シートおよび[サーバー・シャーシ]シート)を参照してください。

  https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/environment/

4.10.34 ハードウェア設定バックアップ

[概要]

指定したノードからハードウェア設定をバックアップします。

以下のカテゴリーをサポートします。

- Server-BX:Server PRIMERGY BXシリーズ
- Server-RX:Server PRIMERGY RXシリーズ
- Server-TX:Server PRIMERGY TXシリーズ
- Server-CX:Server PRIMERGY CXシリーズ
- Server-PRIMEQUEST3000B:Server PRIMEQUEST 3000B
- Server-PRIMEQUEST4000E-Partition:Server PRIMEQUEST 4000Eシリーズ
- Storage-OntapCluster:Storage ETERNUS NR, AX, HX, AC シリーズ
- Switch-VDX:コンバージドスイッチVDXシリーズ

[形式]

```
POST /nodes/{nodeid}/profiles/backup
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
BackupType	array	バックアップするタイプを指定します。 サーバーに対して有効です。 "BIOS"、"iRMC"を1つ、もしくは組み合わせて、指定します。 例)["BIOS","iRMC"]

パラメーター	型	説明
		省略時またはnullの場合、バックアップ可能なすべてのタイプをバックアップします。
Description	string	バックアップの説明

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

4.10.35 ハードウェア設定バックアップの中止

[概要]

指定したタスクIDでハードウェア設定バックアップを中止します。

[形式]

```
POST /nodes/profiles/backup/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

4.10.36 登録済みバックアップの一覧取得

[概要]

登録済みバックアップの一覧を取得します。

[形式]

```
GET /profiles/backups
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
nodetype	string	ノードタイプ 指定したノードタイプのバックアップ一覧を出力します。 ・ Server ・ Storage ・ Switch ・ Other

パラメーター	型	説明
nodeid	integer	バックアップしたノードID 指定したノードIDのバックアップ一覧を出力します。
backuptype	string	バックアップタイプ 指定したバックアップタイプのバックアップ一覧を出力します。 ・ BIOS ・ iRMC
backupstatus	string	バックアップの状態 指定したバックアップ状態のバックアップ一覧を出力します。 ・ Running：バックアップ中 ・ Complete：完了 ・ Cancel-Running：キャンセル中 ・ Cancel-Complete：キャンセル完了 ・ Error：エラー
restorestatus	string	リストアの状態 指定したリストア状態のバックアップ一覧を出力します。 ・ Running：リストア中 ・ Complete：完了 ・ Cancel-Running：キャンセル中 ・ Cancel-Complete：キャンセル完了 ・ Error：エラー リストア未実行の場合、nullを出力します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
BackupList	array	バックアップリスト 最大値は16000です。各ノードタイプの最大値は、以下のとおりです。 ・ サーバー：10000 ・ ストレージ：1000 ・ スイッチ：5000
BackupId	string	バックアップID
NodeType	string	ノードタイプ 以下のどれか1つを出力します。 ・ Server ・ Storage ・ Switch ・ Other
NodeId	integer	バックアップしたノードID

パラメーター		型	説明
	BackupType	string	バックアップタイプ サーバーの場合に"BIOS"または"iRMC"を1つ出力します。 サーバー以外の場合は""を出力します。
	RegisterTime	string	登録日時 BackupStatusがComplete、Cancel-Complete、Errorの場合、日時を出力します。 BackupStatusがRunning、Cancel-Runningの場合、nullを出力します。
	BackupStatus	string	バックアップの状態 ・ Running:バックアップ中 ・ Complete:完了 ・ Cancel-Running:キャンセル中 ・ Cancel-Complete:キャンセル完了 ・ Error:エラー
	TaskId	string	タスクID BackupStatusまたはRestoreStatusがRunning、Cancel-Runningの場合にタスクIDを出力します。 上記以外の場合、""を出力します。
	RestoreStatus	string	リストアの状態 ・ Running:リストア中 ・ Complete:完了 ・ Cancel-Running:キャンセル中 ・ Cancel-Complete:キャンセル完了 ・ Error:エラー リストア未実行の場合、nullを出力します。
	RestoredTime	string	最終リストア日時 RestoreStatusがComplete、Cancel-Complete、Errorの場合、日時を出力します。 RestoreStatusがRunning、Cancel-Runningの場合、nullを出力します。
	Description	string	バックアップの説明

4.10.37 登録済みバックアップ削除

[概要]

指定した登録済みバックアップを削除します。

[形式]

```
DELETE /profiles/backups/{backupid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

4.10.38 登録済みバックアップのエクスポート

[概要]

指定した登録済みバックアップをエクスポートします。

以下のカテゴリーをサポートします。

- Server-BX：Server PRIMERGY BXシリーズ
- Server-RX：Server PRIMERGY RXシリーズ
- Server-TX：Server PRIMERGY TXシリーズ
- Server-CX：Server PRIMERGY CXシリーズ
- Server-PRIMEQUEST3000B：Server PRIMEQUEST 3000B
- Server-PRIMEQUEST4000E-Partition：Server PRIMEQUEST 4000Eシリーズ
- Storage-OntapCluster：Storage ETERNUS NR, AX, HX, AC シリーズ
- Switch-VDX：コンバージドスイッチVDXシリーズ

[形式]

```
POST /profiles/backups/export
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
BackupId	string	バックアップID

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
FilePath	string	バックアップが格納されている「/＜ユーザーグループ名＞/ftp/」からの相対パスを含めたファイル名

4.10.39 登録済みバックアップからのプロファイル追加

[概要]

登録済みバックアップをプロファイルに変換して追加します。

以下のカテゴリーをサポートします。

- Server-BX：Server PRIMERGY BXシリーズ

- Server-RX：Server PRIMERGY RXシリーズ
- Server-TX：Server PRIMERGY TXシリーズ
- Server-CX：Server PRIMERGY CXシリーズ
- Server-PRIMEQUEST3000B：Server PRIMEQUEST 3000B
- Server-PRIMEQUEST4000E-Partition：Server PRIMEQUEST 4000Eシリーズ

[形式]

```
POST /profiles/backups/profile
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
BackupList	array	プロファイルに変換、追加するバックアップリスト BackupIdは、BIOS、iRMCのどちらか1つ、またはBIOS、iRMCを各種類で最大1つの組合せで指定します。 サーバーに対して有効です。
BackupId	string	バックアップID
ProfileName	string	プロファイル名
Description	string	プロファイルの説明
ProfileGroupId	string	プロファイルグループID

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProfileId	string	プロファイルID
ProfileName	string	プロファイル名

4.10.40 登録済みバックアップからのポリシー追加

[概要]

登録済みバックアップをポリシーに変換して追加します。

以下のカテゴリーをサポートします。

- Server-BX：Server PRIMERGY BXシリーズ
- Server-RX：Server PRIMERGY RXシリーズ
- Server-TX：Server PRIMERGY TXシリーズ
- Server-CX：Server PRIMERGY CXシリーズ
- Server-PRIMEQUEST3000B：Server PRIMEQUEST 3000B
- Server-PRIMEQUEST4000E-Partition：Server PRIMEQUEST 4000Eシリーズ

[形式]

```
POST /profiles/backups/policy
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
BackupList	array	ポリシーに変換、追加するバックアップリスト BackupIdは、BIOS、iRMCのどちらか1つを指定します。 サーバーに対して有効です。
BackupId	string	バックアップID
PolicyName	string	ポリシー名
Description	string	ポリシーの説明
PolicyGroupId	string	ポリシーグループID

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
PolicyId	string	ポリシーID
PolicyName	string	ポリシー名

4.10.41 バックアップのインポート

[概要]

指定したバックアップをインポートします。

以下のカテゴリーをサポートします。

- Server-BX：Server PRIMERGY BXシリーズ
- Server-RX：Server PRIMERGY RXシリーズ
- Server-TX：Server PRIMERGY TXシリーズ
- Server-CX：Server PRIMERGY CXシリーズ
- Server-PRIMEQUEST3000B：Server PRIMEQUEST 3000B
- Server-PRIMEQUEST4000E-Partition：Server PRIMEQUEST 4000Eシリーズ
- Switch-VDX：コンバージドスイッチVDXシリーズ

[形式]

```
POST /profiles/backups/import
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
FilePath	string	バックアップが格納されている「/＜ユーザーグループ名＞/ftp/」からの相対パスを含めたファイル名 ノードタイプに応じて拡張子は以下となります。

パラメーター	型	説明
		• サーバー:指定なし • スイッチ:.cfg
BackupType	string	バックアップタイプ BIOSまたはiRMCを指定します。 サーバーに対して有効です。
Description	string	バックアップの説明
NodeId	integer	バックアップしたノードID

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
BackupId	string	バックアップID

4.10.42 ハードウェア設定リストア

[概要]

指定したノードへハードウェア設定をリストアします。

以下のカテゴリーをサポートします。

- Server-BX:Server PRIMERGY BXシリーズ
- Server-RX:Server PRIMERGY RXシリーズ
- Server-TX:Server PRIMERGY TXシリーズ
- Server-CX:Server PRIMERGY CXシリーズ
- Server-PRIMEQUEST3000B:Server PRIMEQUEST 3000B
- Server-PRIMEQUEST4000E-Partition:Server PRIMEQUEST 4000Eシリーズ
- Switch-VDX:コンバージドスイッチVDXシリーズ

[形式]

```
POST /nodes/{nodeid}/profiles/restore
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
BackupList	array	リストアするバックアップリスト サーバーの場合、BackupIdは、BIOS、iRMCのどちらか1つ、またはBIOS、iRMCを各種類で最大1つの組合せで指定します。 サーバー以外の場合、BackupIdは1つ指定します。
BackupId	string	バックアップID

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

4.10.43 ハードウェア設定リストアの中止

[概要]

指定したタスクIDでハードウェア設定リストアを中止します。

[形式]

```
POST /nodes/profiles/restore/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

4.10.44 プロファイル情報のノード一覧取得

[概要]

プロファイル情報のノード一覧を取得します。

[形式]

```
GET /profiles/profiles/nodes
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
listtype	string	一覧タイプ 指定した一覧タイプのプロファイル情報ノード一覧を出力します。 ・ All:すべてのデータ ・ Boot:ブート情報のデータ Bootを指定した場合、ノードタイプがServerのみの一覧を出力します。
nodeid	integer	ノードID 指定したノードIDのプロファイル情報ノード一覧を出力します。
nodetype	string	ノードタイプ 指定したノードタイプのプロファイル情報ノード一覧を出力します。 ・ Server

パラメーター	型	説明
		・ Storage ・ Switch ・ Other Otherを指定した場合、プロファイル適用対象外の一覧を出力します。
categoryid	string	カテゴリーID 指定したカテゴリーに属するプロファイル情報ノード一覧を出力します。
profileid	string	プロファイルID 指定したプロファイルIDのプロファイル情報ノード一覧を出力します。
status	string	アサイン状態 指定したアサイン状態のプロファイル情報ノード一覧を出力します。 ・ unassigned:アンアサイン(未適用) ・ assigned:アサイン済み (適用済み) ・ mismatch:アサイン済みのOS以外のプロファイルを編集し、それが未適用の状態(プロファイルと装置に差分がある状態) ・ mismatch os:アサイン済みのOSプロファイルのみを編集した状態(再適用は不可) ・ processing:アサイン・アンアサインの処理中 ・ canceling:アサイン・アンアサインのキャンセル処理中 ・ canceled:アサイン・アンアサインのキャンセル完了 ・ error:アサイン・アンアサインに失敗した状態

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProfileNodeList	array	プロファイル情報ノードリスト
NodeId	integer	ノードID
NodeType	string	ノードタイプ 以下のどれか1つを出力します。 ・ Server ・ Storage ・ Switch ・ Other プロファイル適用対象外のノードはOtherを出力します。
CategoryId	string	カテゴリーID
CategoryName	string	カテゴリー名

パラメーター	型	説明
		詳細は、「4.10.2 プロファイルのカテゴリー変換」の「CategoryName」の箇所を参照してください。
ProfileId	string	アサインされているプロファイルID プロファイル未適用の場合はnullです。
Status	string	アサイン状態を表します。 ・ unassigned:アンアサイン(未適用) ・ assigned:アサイン済み (適用済み) ・ mismatch:アサイン済みのOS以外のプロファイルを編集し、それが未適用の状態(プロファイルと装置に差分がある状態) ・ mismatch os:アサイン済みのOSプロファイルのみを編集した状態(再適用は不可) ・ processing:アサイン・アンアサインの処理中 ・ canceling:アサイン・アンアサインのキャンセル処理中 ・ canceled:アサイン・アンアサインのキャンセル完了 ・ error:アサイン・アンアサインに失敗した状態 プロファイル未適用の場合はnullです。
Boot	Object	ブート情報 ノードタイプがServerでない場合はnullです。
BootType	string	ブートタイプ ・ Not assigned:プロファイル未適用 ・ Local disk:ローカルディスクブート ・ SAN boot:SANブート ・ iSCSI boot:iSCSIブート ・ PXE boot:PXEブート ブートタイプ定義のないプロファイルをアサインした場合はLocal diskです。
Wwpn	string	WWPN SANブートで起動するストレージのWWPNです。 ブートタイプがSAN bootでない場合はnullです。
Lun	integer	LUN SANブートで起動するストレージのLUNです。 ブートタイプがSAN bootでない場合はnullです。
AssignedDate	string	プロファイル最終適用時間 プロファイル未適用の場合はnullです。

4.10.45 プロファイルのベリファイ

[概要]

ノードに適用されたプロファイルをベリファイします。

[形式]

```
POST /nodes/{nodeid}/profiles/verify
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

4.10.46 プロファイルのベリファイの中止

[概要]

指定したタスクIDでプロファイルのベリファイを中止します。

[形式]

```
POST /nodes/profiles/verify/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

4.10.47 eIMの最新版数への更新

[概要]

指定したノードのeIMを最新版数に更新します。

[形式]

```
POST /nodes/{nodeid}/profiles/eim/update
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

4.10.48 eIMの最新版数への更新の中止

[概要]

指定したタスクIDでeIMの最新版数への更新を中止します。

[形式]

```
POST /nodes/profiles/eim/update/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

4.11 ファームウェア管理機能

4.11.1 ファームウェア／ドライバーアップデートの開始

[概要]

ファームウェア/ドライバーのアップデート処理を開始します。

[形式]

```
POST /nodes/firmware/update
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
UpdateRequest	array	ファームウェアアップデートリクエストリスト
NodeId	integer	ノードID
eLCMUpdate	boolean	ファームアップデート方法（更新モード）に応じて以下の値を指定してください。 ・ Onlineアップデート：false ・ Offlineアップデート：false ・ eLCM Offlineアップデート：true ・ eLCM Offlineアップデート (SimpleUpdate) ：false

パラメーター	型	説明
		・ eLCM Onlineアップデート:false 省略時は、falseの扱いとします。同じノードに対して、異なるアップデートの更新モードを指定しないでください。 eLCM Offlineアップデートをするには、『解説書』の「2.6.3.5.1 Repository Serverまたは当社Webサイトのファームウェアデータを利用したアップデート」を参照してください。
eLCMSimpleUpdate	boolean	ファームアップデート方法(更新モード)に応じて以下の値を指定してください。 ・ Onlineアップデート:false ・ Offlineアップデート:false ・ eLCM Offlineアップデート:false ・ eLCM Offlineアップデート(SimpleUpdate):true ・ eLCM Onlineアップデート:false 省略時は、falseの扱いとします。同じノードに対して、異なるアップデートの更新モードを指定しないでください。 eLCM Offlineアップデート(SimpleUpdate)をするには、『解説書』の「2.6.3.5.2 ISMにインポートしたファームウェアデータを利用したアップデート」を参照してください。
eLCMSimpleUpdateNextBoot	boolean	eLCM Offlineアップデート(SimpleUpadate)において、対象ノードの次回起動時にアップデートを開始するか否かを指定します。 ・ アップデートを次回起動時に開始する:true ・ アップデートを次回起動時に開始しない:false 省略時はfalse扱いとします。同じノードに対して、異なる指定をしないでください。 アップデートをすぐに開始する、または、指定の実行時刻に開始する場合は、false(省略)を指定してください。 当該情報は、eLCMSimpleUpdateがtrueで、「4.11.5 ファームウェアの一覧取得」のレスポンスパラメーター"NextBootSupported"がtrueのファームウェアの場合に有効です。
eLCMBootType	string	ファームアップデート方法(更新モード)が、eLCM Offlineアップデートの場合は、アップデート時のブートモードを指定します。 ・ UEFI:UEFIブートモード ・ Legacy:レガシーBIOS互換モード このパラメーターを省略した場合は、UEFIブートモードとします。なお、eLCM Offlineアップデート以外の更新モードの場合は、パラメーターを省略してください。
eLCMOnlineUpdateInfo	object	ファームアップデート方法(更新モード)が、eLCM Onlineアップデートの場合のみ指定してください。eLCM Onlineアップデートをするには、『解説書』の「2.6.3.6 eLCMを利用したOnlineファームウェア/ドライバーアップデート」を参照してください。
eLCMOnlineUpdate	boolean	trueを指定してください。
FWDriverList	array	アップデートするファームウェア/ドライバー名リスト

パラメーター	型	説明
FWDriverName	string	アップデートするファームウェア/ドライバー名
FWDriverVersion	string	ファームウェア/ドライバーアップデート後バージョン
eLCMExecutionMode	string	ファームアップデート方法（更新モード）が、eLCM Offlineアップデート、またはeLCM Onlineアップデートの場合は、アップデートの実行範囲を指定します。 ・ 準備を実行する：Prepare ・ 適用を実行する：Apply ・ 準備と適用を実行する：Both
FirmwareName	string	ファームウェア名 ファームアップデート方法（更新モード）に応じて指定してください。 ・ Onlineアップデート：必要 ・ Offlineアップデート：必要 ・ eLCM Offlineアップデート：不要 ・ eLCM Offlineアップデート(SimpleUpdate)：必要 ・ eLCM Onlineアップデート：不要
RepositoryName	string	リポジトリ名 ファームアップデート方法（更新モード）に応じて指定してください。 ・ Onlineアップデート：必要 ・ Offlineアップデート：必要 ・ eLCM Offlineアップデート：不要 ・ eLCM Offlineアップデート(SimpleUpdate)：必要 ・ eLCM Onlineアップデート：不要
FirmwareVersion	string	ファームウェアバージョン ファームアップデート方法（更新モード）に応じて指定してください。 ・ Onlineアップデート：必要 ・ Offlineアップデート：必要 ・ eLCM Offlineアップデート：不要 ・ eLCM Offlineアップデート(SimpleUpdate)：必要 ・ eLCM Onlineアップデート：不要
OperationMode	string	対応モード ・ Online：Onlineアップデート ・ Offline：Offlineアップデート ファームアップデート方法（更新モード）に応じて以下の値を指定してください。 ・ Onlineアップデート：Online ・ Offlineアップデート：Offline

パラメーター	型	説明
		・ eLCM Offlineアップデート:Offline ・ eLCM Offlineアップデート(SimpleUpdate):Offline ・ eLCM Onlineアップデート:Online
AfterPowerOn	boolean	trueの場合、ファームウェアアップデート後に対象ノードの電源をONにします。 falseの場合、もしくはキーが省略されている場合は、ファームウェアアップデート後に対象ノードの電源をOFFにします。 OperationModeがOffline、かつeLCMSimpleUpdateNextBootがfalseの場合に有効です。
ExecutionDate	string	実行時刻(UTC時間) 設定例)2017-09-23T11:10:00.000Z 省略時は、すぐにアップデートを開始します。
AutoMaintenance	boolean	trueの場合、ファームウェアアップデート時にメンテナンスモードを設定し、ファームウェアアップデート後にメンテナンスモードを解除します。 falseの場合、キーが省略されている場合は、メンテナンスモードの設定、解除は行いません。
NodeRequest	array	ノードに対するリクエストリスト
NodeId	integer	ノードID
OfflineBootType	string	OfflineアップデートでPXEブートするときのブートモードを指定します。 ・ UEFI:UEFIブートモード ・ Legacy:レガシーBIOS互換モード このパラメーターが省略されている場合は、次のブートモードを使用します。 iRMC S4以前を搭載したサーバー:Legacy iRMC S5以降を搭載したサーバー:UEFI
PreScript	object	Preスクリプトの情報
ActionId	string	アクションID
WaitTime	integer	Pre scriptの実行から、ファームウェアアップデートの実行開始までの待ち時間を秒単位で指定します。
PostScript	object	Postスクリプトの情報
ActionId	string	アクションID
ForceExecute	boolean	trueの場合、ファームウェアアップデートに失敗しても、Post scriptを実行します。 falseの場合、キーが省略されている場合は、ファームウェアアップデートに失敗した際に、Post scriptを実行しません。
WaitTime	integer	ファームウェアアップデートの終了から、Post scriptの実行開始までの待ち時間を秒単位で指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID
CancelUri	string	中止時のURI
JobId	integer	ジョブID リクエストパラメーターのExecutionDateを指定しなかった場合は、省略されます。

4.11.2 ファームウェアアップデートの中止

[概要]

ファームウェアのアップデート処理を中止します。

[形式]

```
POST /nodes/firmware/update/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- ファームウェアアップデートの進捗によってはキャンセルできない場合があります。その場合、タスクはキャンセルに移行しますが、サブタスクはキャンセルになりません。また、キャンセルに失敗した旨のエラーがイベントの運用ログに登録されます。
- ファームウェアアップデートのタスクでない場合や、開始を実行したユーザー以外の場合は、エラーとなります。

4.11.3 ファームウェアのドキュメント一覧取得

[概要]

ファームウェアのドキュメント一覧を取得します。

[形式]

```
POST /system/settings/firmware/documents
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Lang	string	使用言語 ・ Ja: 日本語

パラメーター		型	説明
			・ En：英語
UpdateRequest		array	ファームウェアアップデートリクエスト
	NodeId	integer	ノードID
	FirmwareName	string	ファームウェア名
	RepositoryName	string	リポジトリ名
	FirmwareVersion	string	ファームウェアバージョン
	OperationMode	string	対応モード ・ Online：Onlineアップデート ・ Offiline：Offlineアップデート

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Lang		string	使用言語 ・ Ja：日本語 ・ En：英語
ReleaseNoteList		array	ファームウェアドキュメント
	NodeId	integer	ノードID
	FirmwareType	string	ファームウェアタイプ
	RepositoryName	string	リポジトリ名
	ReleaseNoteUrl	string	ドキュメント表示用のURL
	FileName	string	ドキュメントのファイル名

4.11.4 登録済みリポジトリの一覧取得

[概要]

個別ファームウェアインポート、DVDインポートで登録したリポジトリの一覧を取得します。

[形式]

```
GET /system/settings/firmware/repositories
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
RepositoryList		array	リポジトリリスト
	RepositoryId	integer	リポジトリID
	Name	string	リポジトリ名
	MediaType	string	メディアの種類 ・ Update DVD：ServerView Suite Update DVD ・ Update Supplement：Update Supplement

パラメーター		型	説明
			・ Dedicated：個別インポート用のリポジトリ
	UpdateDVDVersion	string	インポート元のUpdateDVDのバージョン MediaTypeが"Update DVD"の場合のみ以下の値を通知します。 ・ Vxx xxは、2桁の数字です。
	ImportDate	string	登録日
	DiskUsage	string	リポジトリが使用しているディスク容量(MB)
	ImportStatus	string	インポートの状態 ・ Running：実行中 ・ Complete：完了 ・ Cancel-Running：中止中
	TaskId	string	タスクID

4.11.5 ファームウェアの一覧取得

[概要]

ISM-VAに登録したファームウェアの一覧を取得します。

[形式]

```
GET /system/settings/firmware/list
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
nodeid	integer	ノードID
modelname	string	モデル名
firmwarename	string	ファームウェア名
repositoryid	integer	リポジトリID

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
FirmwareList		array	ファームウェアの一覧リスト
	FirmwareId	integer	ファームウェアID
	NodeId	integer	ノードID
	ModelName	string	モデル名
	FirmwareName	string	ファームウェア名
	RepositoryName	string	リポジトリ名
	FirmwareVersion	string	ファームウェアバージョン
	SimpleUpdate	boolean	SimpleUpdateの使用可否 ・ true：SimpleUpdateに使用できます。

パラメーター	型	説明
		・ false：SimpleUpdateに使用できません。 キー省略時は、falseと同等になります。
OperationMode	string	対応モード
OsType	string	PCIカードのファームウェアの場合に出力します。 ファームウェアファイルを実行するOSの種類を通知します。 ・ Linux：RedHat、SUSELinuxEnterprise ・ Windows：Windows
UpdateDVDVersion	string	OfflineアップデートでPXEブートを利用する場合に使用可能なUpdateDVDのバージョン、またはeLCM Offlineアップデート(SimpleUpdate)に使用可能なツールのバージョン この情報はOperationModeが"Offline"の場合に出力します。 ・ Vxx,Vxx,Vxx xxは、2桁の数字です。複数バージョンの場合は、カンマを区切り文字として出力します。
FirmwareType	string	ファームウェアタイプ
DiskUsage	string	ファームウェアが使用しているディスク容量(MB)
RegisterDate	string	ファームウェア登録日時
InitializeAfterFwup	boolean	ファームウェアアップデート実行後の設定初期化動作 FirmwareTypeに出力されている対象の設定項目が初期化されるかどうかを出力します。 ・ true：ファームアップデート実行後に初期化されます。 ・ false：ファームアップデート実行後も初期化されません。 キー省略時は、falseと同等になります。
NextBootSupported	boolean	ファームウェアがeLCM Offlineアップデート(SimpleUpdate)の「アップデートを次回起動時に開始する」に対応しているか否か。 ・ true：対応している ・ false：対応していない キー省略時は、falseと同等になります。
BaselineInformation	object	ベースラインの情報 この情報は以下の場合に出力します。 ・ クエリパラメーターに指定したノード ・ ノードにベースラインが割り当たっている ・ ベースラインに定義されているファームウェアである
BaselineId	integer	ベースラインのモデルID
Version	string	ベースラインに定義されているファームウェアバージョン
CompareBaseline	string	バージョン比較結果 ファームウェアバージョンとベースラインに定義されているファームウェアバージョンを比較した結果を出力します。 ・ Over：ベースラインより大きい値 ・ Equal：ベースラインと一致する

パラメーター			型	説明
				・ Under：ベースラインより小さい値 ・ Impossibility：判定できない
		isAllowLargeVersion	boolean	ベースラインの適合条件 ベースラインをノードに割当てるときに指定した値を通知します。 ・ true：ノードのファームウェアバージョンがベースラインのバージョン以上の場合、「適合」と判定します。 ・ false：ノードのファームウェアバージョンがベースラインのバージョンと一致する場合、「適合」と判定します。

[注意事項]

- クエリとして、"nodeid", "modelname", "firmwarename", "repositoryid"のキーが指定できます。各キーの指定は排他関係があり、1回の指定では1種類のキー指定しかできません。
  同一キーは複数指定可能です。
- nodeidを指定した場合、ユーザーが管理するファームウェアの中から指定したNodeIdの機器に適用可能なファームウェアリストが出力されます。
- modelnameを指定した場合、ユーザーが管理するファームウェアの中から指定したModelNameに対応する機器に適用可能なファームウェアリストが出力されます。
- firmwarenameを指定した場合、ユーザーが管理するファームウェアの中から指定したFirmwareNameに対応する機器に適用可能なファームウェアのリストが出力されます。
- repositoryidを指定した場合、ユーザーが管理するファームウェアの中から指定したRepositoryIdのリポジトリに格納されているファームウェアのリストが出力されます。
- クエリパラメーターが省略された場合、ユーザーが管理するすべてのファームウェアの情報が表示されます。

4.11.6 版数テンプレート情報の取得

[概要]

個別ファームウェアのインポートを行う際に入力する"Version"の入力方法のテンプレートの情報を取得します。

[形式]

```
GET /system/settings/firmware/template
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター			型	説明
VersionTemplateList			array	バージョン情報のテンプレートリスト
	FirmwareType		string	ファームウェアのタイプ
	ModelList		array	モデルリスト
		Model	string	モデル名
		VersionTemplate	string	個別ファームウェアのインポートを行う際に入力する"Version"の入力方法のテンプレート
		VersionExample	string	版数入力の例

[注意事項]

・ レスポンスパラメーターの"VersionTemplate"で出力される* は任意の数値、%は任意の英字、値なしは任意の文字列を意味します。

4.11.7 DVDインポート

[概要]

ファームウェアアップデートで利用する、Update DVD, Update Supplementのインポートを行います。

[形式]

```
POST /system/settings/firmware/dvd/import
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Path	string	インポートするDVDのISOイメージ、もしくはDVD内のファイルの入ったディレクトリーの「/＜ユーザーグループ名＞/ftp/」からの相対パス
Type	string	インポートするDVDの種類 メディアの種類 ・ Update DVD：ServerView Suite Update DVD ・ Update Supplement：Update Supplement
DeleteFtpResource	boolean	ftpリソースファイルの削除指定 trueの場合、DVDインポート正常終了後、Pathで指定したファイルを削除します。 falseの場合、キーが省略されている場合、またはDVDインポートが異常終了した場合、Pathで指定したファイルは削除しません。
UnMountResource	boolean	trueの場合、DVDインポート正常終了後、インポートで使用した共有ディレクトリーをアンマウントします。 falseの場合、またはキーが省略されている場合、インポートで使用した共有ディレクトリーをアンマウントしません。
MountId	string	共有ディレクトリーのマウントID インポートでISM外の共有ディレクトリーを使用する場合に指定します。
CreateBaseline	boolean	trueの場合DVDインポート時に、ベースラインを作成します。 falseの場合、または、キーが省略されている場合、ベースラインは作成しません。
LimitedRegistNode	boolean	trueの場合、実行者に割り当てられているノードに存在するファームウェアに対するベースラインのみ作成します。 falseの場合、または、キーが省略されている場合、DVDに存在するすべての情報のベースラインを作成します。
AssignNodeAuto	boolean	trueの場合、実行者が管理している割当て可能なノードに対し、展開するベースラインを割り当てます。

パラメーター	型	説明
		falseの場合、または、キーが省略されている場合、ベースラインを割当てません。
ImportSimpleUpdateTool	boolean	trueの場合、Update DVD内のeLCM Offlineアップデート(SimpleUpdate)ツールをインポートします。 falseの場合、または、キーが省略されている場合、eLCM Offlineアップデート(SimpleUpdate)ツールをインポートしません。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID
CancelUri	string	中止時のURI

[注意事項]

- リクエストパラメーター"Path"にDVD内のファイルが格納されたディレクトリーを指定する場合、対象ディレクトリーのディレクトリー構成がDVD内のディレクトリー構成と同じである必要があります。
- リクエストパラメーター"CreateBaseline"がtrue、かつ、同じDVDから作成したベースラインがすでに存在する場合、エラーで終了します。
- リクエストパラメーター"AssignNodeAuto"がtrue、かつ、実行者の管理するノードに別の割当てが存在した場合、割当てを解除した後、DVDのベースラインが割当てられます。

4.11.8 DVDインポートの中止

[概要]

DVDインポートの処理を中止します。

[形式]

```
POST /system/settings/firmware/dvd/import/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- DVDインポートのタスクでない場合や、インポートを実行したユーザー以外の場合は、エラーとなります。

4.11.9 個別ファームウェアインポート

[概要]

ファームウェアのインポートをします。

[形式]

```
POST /system/settings/firmware/import
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Path	string	ファームウェアのディレクトリーの「/＜ユーザーグループ名＞/ftp/」からの相対パス
FirmwareType	string	ファームウェアのタイプ
Model	string	ファームウェアのモデル
Version	string	ファームウェアのバージョン AutoAcquisitionVersionの値がtrueの場合、このパラメーターは無視されます。 AutoAcquisitionVersionの値がfalse、またはAutoAcquisitionVersionの指定がない場合は、このパラメーターは必須です。
AutoAcquisitionVersion	boolean	ファームウェアのバージョンの自動判定 ・ true:ファームウェアのバージョンの自動判定を行います。Versionは無視されます。 ・ false:ファームウェアのバージョンの自動判定を行いません。Versionの指定が必須となります。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID
CancelUri	string	中止時のURI

[注意事項]

- リクエストパラメーターの"Path"は、ファームウェアを格納しているディレクトリーを指定してください。

  リクエストパラメーターは、「4.11.6 版数テンプレート情報の取得」を参照してください。

4.11.10 個別ファームウェアインポートの中止

[概要]

個別ファームウェアインポートの処理を中止します。

[形式]

```
POST /system/settings/firmware/import/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- 個別ファームウェアインポートのタスクでない場合や、インポートを実行したユーザー以外の場合は、エラーとなります。

4.11.11 リポジトリの削除

[概要]

リポジトリを削除します。

[形式]

```
DELETE /system/settings/firmware/dvd/{repositoryid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- URIの{repositoryid}には削除対象のリポジトリIDを入力してください。

  リポジトリIDは、「4.11.4 登録済みリポジトリの一覧取得」から取得してください。

4.11.12 個別ファームウェアの削除

[概要]

個別ファームウェアインポートでインポートしたファームウェアを削除します。

[形式]

```
DELETE /system/settings/firmware/{firmwareid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- URIの{firmwareid}は削除対象のファームウェアIDを入力してください。
  ファームウェアIDは、「4.11.5 ファームウェアの一覧取得」から取得してください。

4.11.13 ファームウェアアップデートのジョブの一覧表示

[概要]

スケジューリングされたファームウェアアップデートのジョブの一覧を表示します。

[形式]

```
GET /system/settings/job/firmwareupdate
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター			型	説明
FirmwareJobList			array	
	JobId		integer	ジョブIDが通知されます。
	JobName		string	ジョブ名が通知されます。
	TaskId		string	タスクIDが通知されます。
	TaskType		string	タスクタイプが通知されます。
	ExecutionDate		string	アップデート予定時刻
	DetailedInformation		string	タスクの詳細情報が通知されます。
	JobDetailList		array	
		SubTaskId	string	サブタスクIDが通知されます。
		NodeId	integer	ノードIDが通知されます。

[注意事項]

- 表示するジョブがない場合は、キー、FirmwareJobListまでが通知されます。

  例）"FirmwareJobList":[]

4.11.14 ファームウェアアップデートのジョブの削除

[概要]

スケジューリングされたファームウェアアップデートのジョブを削除します。

[形式]

```
DELETE /system/settings/job/firmwareupdate/{JobId}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- URIの{JobId}には削除対象のファームウェアアップデートのジョブIDを入力してください。
  ファームウェアアップデートのジョブIDは、「4.11.13 ファームウェアアップデートのジョブの一覧表示」から取得してください。

4.11.15 ファームウェアベースラインの作成情報の取得

[概要]

ベースラインの定義を作成するためのテンプレートを取得します。

[形式]

```
GET /system/settings/firmware/baseline/template
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
BaselineTemplateList	array	ベースラインテンプレートリスト
BaseNodeType	string	ノードタイプ名 ・ server ・ storage ・ switch
BaselineModelList	array	ベースラインのモデルリスト
BaselineModelName	string	ベースラインのモデル名
FirmwareList	string-array	ファームウェアのリスト ベースラインのモデルに定義可能なファームウェアのリストを通知します。
FirmwareType	string	ファームウェアタイプ
ModelName	string	ファームウェアのモデル名
FirmwareName	string	ファームウェア名
VersionList	string-array	ファームウェアバージョンのリスト

パラメーター	型	説明
		インポートされているファームウェアのファームウェアバージョンのすべてをリスト形式で通知します。ファームウェアがインポートされていない場合、省略されます。
TooltipList	array	VersionListのバージョンに対応するツールチップ情報。 通知する情報がない場合、省略されます。
Version	string	VersionListに含まれているファームウェアバージョン
Tooltip	string	ファームウェアバージョンの補足情報

4.11.16 ファームウェアベースラインの作成編集

[概要]

ベースラインの定義を作成します。また、作成した定義を編集します。

[形式]

```
PATCH /system/settings/firmware/baseline/createupdate
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
BaselineName	string	ベースライン名
isUpdate	boolean	作成編集モード リクエストが編集であるか、または、作成であるかを指定します。 ・ true：編集 ・ false：作成
Description	string	ベースラインの説明
BaselineModelList	array	ベースラインのモデルリスト
BaselineModelName	string	ベースラインのモデル名
FirmwareList	array	ファームウェア定義のリスト
FirmwareType	string	ファームウェアタイプ
ModelName	string	ファームウェアのモデル名
FirmwareName	string	ファームウェア名
Version	string	ファームウェアバージョン

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

・ 作成するベースラインのモデル名は、「4.11.15 ファームウェアベースラインの作成情報の取得」から取得したベースラインのモデル名、"BaselineModelName"を使用してください。

4.11.17 ファームウェアベースラインの削除

[概要]

ベースラインの定義を削除します。

[形式]

```
PATCH /system/settings/firmware/baseline/delete
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
BaselineNameList		array	ベースライン名のリスト
	BaselineName	string	ベースライン名

[レスポンスパラメーター]

なし

4.11.18 ファームウェアベースラインの割当て

[概要]

ベースラインをノードに割当てます。

[形式]

```
PATCH /system/settings/firmware/baseline/allocate
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
BaselineName		string	ベースライン名
AllocationList		array	割当て情報のリスト
	NodeId	integer	ノードID
	isAllowLargeVersion	boolean	ベースラインの適合条件 ベースラインの適合条件について指定します。 ・ true：ノードのファームウェアバージョンがベースラインのバージョン以上の場合、「適合」と判定します。 ・ false：ノードのファームウェアバージョンがベースラインのバージョンと一致する場合、「適合」と判定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
BaselineName	string	ベースライン名
AllocationList	array	割当て結果のリスト
NodeId	integer	ノードID
Result	string	割当て結果 ・ Support：ベースラインを割当てました。 ・ Unsuport：ノードのモデルが未サポートのモデルだったため、割当てていません。 ・ Nodefinition：ノードのモデルに該当するモデルがベースラインに定義されていなかったため、割当てていません。
BaselineModel	string	ベースラインのモデル名 割当て結果"Result"が"Support"の場合、割り当てたベースラインのモデル名を通知します。 それ以外の場合は、省略されます。

[注意事項]

- 割当ての済みのノードを指定すると、エラーを通知します。ノードに割当てているベースラインを変更したい場合は、一度、「4.11.19 ファームウェアベースラインの割当て解除」を行ってから割当ててください。

4.11.19 ファームウェアベースラインの割当て解除

[概要]

ノードに割当てられているベースラインを解除します。

[形式]

```
PATCH /system/settings/firmware/baseline/allocate/release
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
AllocationReleaseList	integer -array	ノードIDのリスト 割当てを解除するノードIDを指定します。

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- 権限のないノードを1つでも指定した場合、エラーとなります。

4.11.20 ファームウェアベースラインの一覧取得

[概要]

ベースラインの定義内容、および、ベースラインを割当てているノードの適合判定結果を取得します。

[形式]

```
GET /system/settings/firmware/baseline/list
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
definition	boolean	trueを指定した場合、ベースラインの定義のみを取得します。 指定していない場合は、ベースラインの定義およびベースラインを割当てているノードの適合判定結果を取得します。
exceptrepositorylist	boolean	trueを指定した場合、ベースラインへファームアップするために必要なインポートされているファームウェアの通知をしません。

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
BaselineList	array	ベースラインのリスト
BaselineName	string	ベースライン名
RegisterDate	string	ベースラインの登録日時
UpdateDate	string	ベースラインの更新日時
Description	string	ベースラインの説明
BaselineCheckInformation	object	ベースラインの適合判定結果 クエリパラメーターでdefinition=trueを指定した場合、この適合判定結果は通知しません。
AssignNodeCount	integer	全ノード数 ベースラインに割り当てられている全ノード数を通知します。
NGNodeCount	integer	非適合のノード数 ベースラインで適合判定した結果、「非適合」と判定されたノードの数を通知します。
NANodeConut	integer	比較不可のノード数 ベースラインで適合判定した結果、「比較不可」と判定されたノードの数を通知します。 次の状態のノードを「比較不可」と判定します。 ・ ベースラインで定義した一部、またはすべてのコンポーネントが管理対象ノードにない ・ 管理対象ノードの一部、またはすべてのコンポーネントでファームウェアのバージョンが不明
BaselineModelList	array	ベースラインのモデルのリスト
Id	string	ベースラインのモデルID
BaselineModelName	string	ベースラインのモデル名
FirmwareList	string	定義されているファームウェア情報のリスト
FirmwareType	string	ファームウェアタイプ
ModelName	string	ファームウェアのモデル名

パラメーター	型	説明
FirmwareName	string	ファームウェア名
Version	string	ファームウェアバージョン
RepositoryFirmwareIdList	integer-array	ファームウェアIDリスト インポートされているファームウェアの中で、ファームウェアバージョン"Version"と一致するファームウェアのファームウェアIDリストを通知します。
NodeList	array	割当てたノードの情報および適合判定結果リスト
NodeId	integer	ノードID
isAllowLargeVersion	boolean	ベースラインの適合条件 定義されているベースラインの適合条件を通知します。 ・ true：ノードのファームウェアバージョンがベースラインのバージョン以上の場合、「適合」と判定します。 ・ false：ノードのファームウェアバージョンがベースラインのバージョンと一致する場合、「適合」と判定します。
BaselineCheckInformation	object	ノードの適合判定結果の情報 クエリパラメーターでdefinition=trueを指定した場合、この情報は省略します。
CheckResult	string	ベースラインの適合判定の結果 ノードがベースラインに適合しているかを通知します。 ・ OK：ベースラインに適合 ・ NG：ベースラインに非適合 ・ NA：比較不可
CheckList	array	バージョン比較結果のリスト ファームウェア単位でのバージョン比較結果のリストを通知します。
FirmwareName	string	ファームウェア名
CompareBaseline	string	バージョンの比較結果 ノードのファームウェアバージョンとベースラインに定義されているファームウェアバージョンを比較した結果を出力します。 ・ Over：ベースラインより大きい値 ・ Equal：ベースラインと一致する ・ Under：ベースラインより小さい値 ・ Impossibility：判定できない
InventoryList	array	「4.6.2 ノードの詳細情報の一覧取得」で出力されるノードのファームウェア名とファームウェアバージョンのリスト
InventoryFirmwareName	string	ファームウェア名
InventoryFirmwareVersion	string	ファームウェアバージョン
FirmwareList	array	ファームウェアの一覧リスト ベースラインに定義されているファームウェアバージョンへアップデートするために必要なファームウェアの一覧を通知します。

パラメーター		型	説明
			この一覧は、バージョンの比較結果"CompareBaseline"が、"Under"の場合に通知されます。また、クエリパラメーターにexceptrepositorylist=true が指定されていた場合、このリストは省略します。
	FirmwareId	integer	ファームウェアID
	NodeId	integer	ノードID
	ModelName	string	モデル名
	FirmwareName	string	ファームウェア名
	RepositoryName	string	リポジトリ名
	FirmwareVersion	string	ファームウェアバージョン
	SimpleUpdate	boolean	SimpleUpdateの使用可否 ・ true：SimpleUpdateに使用できます。 ・ false：SimpleUpdateに使用できません。 キー省略時は、falseと同等になります。
	OperationMode	string	対応モード
	OsType	string	PCIカードのファームウェアの場合に出力します。 ファームウェアファイルを実行するOSの種類を通知します。 ・ Linux：RedHat、SUSELinuxEnterprise ・ Windows：Windows
	UpdateDVDVersion	string	OfflineアップデートでPXEブートを利用する場合に使用可能なUpdateDVDのバージョン、またはeLCM Offlineアップデート(SimpleUpdate)に使用可能なツールのバージョン この情報はOperationModeが"Offline"の場合に出力します。 ・ Vxx,Vxx,Vxx xxは、2桁の数字です。複数バージョンの場合は、カンマを区切り文字として出力します。
	FirmwareType	string	ファームウェアタイプ
	DiskUsage	string	ファームウェアが使用しているディスク容量(MB)
	RegisterDate	string	ファームウェア登録日時
	InitializeAfterFwup	boolean	ファームウェアアップデート実行後の設定初期化動作 FirmwareTypeに出力されている対象の設定項目が初期化されるかどうかを出力します。 ・ true：ファームアップデート実行後に初期化されます。 ・ false：ファームアップデート実行後も初期化されません。 キー省略時は、falseと同等になります。
	NextBootSupported	boolean	ファームウェアがeLCM Offlineアップデート(SimpleUpdate)の「アップデートを次回起動時に開始する」に対応しているか否か。 ・ true：対応している ・ false：対応していない キー省略時は、falseと同等になります。

4.11.21 ファームウェアツールインポート

[概要]

ファームウェアツールのインポートをします。

[形式]

```
POST /system/settings/firmware/firmtool/import
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
ToolKind	integer	ツール種別 1: eLCM Offlineアップデート(SimpleUpdate)ツール
Path	string	ファームウェアのディレクトリーの「/＜ユーザーグループ名＞/ftp/」からの相対パス

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID
CancelUri	string	中止時のURI

[注意事項]

- リクエストパラメーターの"Path"は、ファームウェアツールを格納しているディレクトリーを指定してください。

4.11.22 ファームウェアツールインポートの中止

[概要]

ファームウェアツールインポートの処理を中止します。

[形式]

```
POST /system/settings/firmware/firmtool/import/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- ファームウェアツールインポートのタスクでない場合や、インポートを実行したユーザー以外の場合は、エラーとなります。

4.11.23 ファームウェアツールの一覧取得

[概要]

ファームウェアツールの一覧を取得します。

[形式]

```
GET /system/settings/firmware/firmtool/list
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
ToolList		array	
	ToolId	integer	ファームウェアツールIDが通知されます。
	ToolName	string	ファームウェアツール名が通知されます。
	ToolTargetInformation	string	ツールの対象の情報 Simple Update用ツール場合、eLCM Offlineアップデート(SimpleUpdate)に使用可能なツールのバージョンを出力します。 ・ Vxx,Vxx,Vxx xxは、2桁の数字です。複数バージョンの場合は、カンマを区切り文字として出力します。
	ToolNeedFlag	string	このツールが必要なファームウェアデータがインポートされているかのフラグ。 true はインポートあり、false はインポートなし。省略時はfalse
	ToolVersion	boolean	ツールバージョン
	RegisterDate	string	ツール登録日時
	DiskUsage	string	ファームウェアが使用しているディスク容量(MB)

[注意事項]

- 表示するファームウェアツールがない場合は、キー、ToolListまでが通知されます。

  例）"ToolList":[]

4.11.24 ファームウェアツールの削除

[概要]

「4.11.21 ファームウェアツールインポート」でインポートしたファームウェアツールを削除します。

[形式]

```
DELETE /system/settings/firmware/firmtool/{toolid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- URIの{toolid}は削除対象のファームウェアツールIDを入力してください。
  ファームウェアツールIDは、「4.11.23 ファームウェアツールの一覧取得」から取得してください。

4.12 ログ管理機能

4.12.1 ログ収集設定の取得

[概要]

指定したノードIDのログ収集設定を取得します。

クエリパラメーターにより複数のノードIDを指定できます。

ノードIDの指定がない場合は、ユーザーが属しているユーザーグループで管理しているすべてのノードIDが取得対象になります。

[形式]

```
GET /nodes/logs/collection/settings
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
nodeid	integer	ノードIDを使用した絞り込み

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
LogCollect	object	ログ収集設定情報
Nodes	array	ノード情報リスト
NodeId	integer	ノードID
Schedule	object	スケジュール情報
ScheduleEnable	integer	スケジュール (有効/無効) ・ 0:無効 ・ 1:有効
ScheduleMethod	string	スケジュール指定方法 ・ Days:日付指定 ・ Weeks:曜日指定
Days	array	日付指定情報リスト
Day	integer	日付

パラメーター	型	説明
		・ 0:毎日 ・ 1-31:1-31日 ・ 32:月末
Time	string	時間 (HHmm : 時 分) 設定範囲:0000-2359
Weeks	array	曜日指定情報リスト
Week	string	曜日 ・ Mon:月曜日 ・ Tue:火曜日 ・ Wed:水曜日 ・ Thu:木曜日 ・ Fri:金曜日 ・ Sat:土曜日 ・ Sun:日曜日
WeekNum	integer	曜日番号 ・ 0:毎週 ・ 1-5:第1番目-第5番目 ・ 6:最終
Time	string	時間 (HHmm : 時 分) 設定範囲:0000-2359
NextExecutionDate	string	次回実行日時 YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ (年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します)
ArchivedLogGeneration	integer	保管ログ保存世代数 設定範囲:0-366
SecurityLogGeneration	integer	ノードログ (セキュリティログ) 保存世代数 設定範囲:0-1830
OperationLogGeneration	integer	ノードログ (操作ログ) 保存世代数 設定範囲:0-1830
EventLogGeneration	integer	ノードログ (イベントログ) 保存世代数 設定範囲:0-1830
HWLogEnable	integer	対象 ハードウェアログ (有効/無効) ・ 0:無効 ・ 1:有効
OSLogEnable	integer	対象 オペレーティングシステムログ (有効/無効) ・ 0:無効

パラメーター			型	説明
				・ 1:有効
		SVSLogEnable	integer	対象 ServerView Suiteログ (有効/無効) ・ 0:無効 ・ 1:有効
		RAIDLogEnable	integer	対象 RAIDログ (有効/無効) ・ 0:無効 ・ 1:有効
		HWLogPossible	integer	収集可否 ハードウェアログ (可能/不可) ・ 0:不可 ・ 1:可能
		OSLogPossible	integer	収集可否 オペレーティングシステムログ (可能/不可) ・ 0:不可 ・ 1:可能
		SVSLogPossible	integer	収集可否 ServerView Suiteログ (可能/不可) ・ 0:不可 ・ 1:可能
		RAIDLogPossible	integer	収集可否 RAIDログ (可能/不可) ・ 0:不可 ・ 1:可能

[注意事項]

- 収集可否 (HWLogPossible) は、ISMがログ収集をサポートしているハードウェアの場合に、1 (可能) となります。
- 収集可否 (OSLogPossible) は、対象ノードにOS情報を登録し、ノードの詳細情報取得が行われ、ISMがログ収集をサポートしているOSの場合に、1 (可能) となります。
- 収集可否 (SVSLogPossible) は、対象ノードのOSにServerView Agents、または、ServerView Agentless Serviceがインストールされている場合に、1 (可能) となります。
- 収集可否 (RAIDLogPossible) は、対象ノードのOSにServerView RAID Managerがインストールされている場合に、1 (可能) となります。

4.12.2 ログ収集設定の変更

[概要]

指定したノードIDのログ収集設定を変更します。

複数のノードIDを受け付けます。

[形式]

```
PATCH /nodes/logs/collection/settings
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
LogCollect	object	ログ収集設定情報
Nodes	array	ノード情報リスト
NodeId	integer	ノードID
Schedule	object	スケジュール情報
ScheduleEnable	integer	スケジュール (有効/無効) ・ 0:無効 ・ 1:有効
ScheduleMethod	string	スケジュール指定方法 ・ Days:日付指定 ・ Weeks:曜日指定
Days	array	日付指定情報リスト
Day	integer	日付 ・ 0:毎日 ・ 1-31:1-31日 ・ 32:月末
Time	string	時間 (HHmm : 時 分) 設定範囲:0000-2359
Weeks	array	曜日指定情報リスト
Week	string	曜日 ・ Mon:月曜日 ・ Tue:火曜日 ・ Wed:水曜日 ・ Thu:木曜日 ・ Fri:金曜日 ・ Sat:土曜日 ・ Sun:日曜日
WeekNum	integer	曜日番号 ・ 0:毎週 ・ 1-5:第1番目-第5番目 ・ 6:最終
Time	string	時間 (HHmm : 時 分) 設定範囲:0000-2359

パラメーター	型	説明
ArchivedLogGeneration	integer	保管ログ保存世代数 ・ 設定範囲:0-366 ・ 0:保管ログを保存しません
SecurityLogGeneration	integer	ノードログ (セキュリティログ) 保存世代数 ・ 設定範囲:0-1830 ・ 0:ノードログ (セキュリティログ) を保存しません
OperationLogGeneration	integer	ノードログ (操作ログ) 保存世代数 ・ 設定範囲:0-1830 ・ 0:ノードログ (操作ログ) を保存しません
EventLogGeneration	integer	ノードログ (イベントログ) 保存世代数 ・ 設定範囲:0-1830 ・ 0:ノードログ (イベントログ) を保存しません
HWLogEnable	integer	対象 ハードウェアログ (有効/無効) ・ 0:無効 ・ 1:有効
OSLogEnable	integer	対象 オペレーティングシステムログ (有効/無効) ・ 0:無効 ・ 1:有効
SVSLogEnable	integer	対象 ServerView Suiteログ (有効/無効) ・ 0:無効 ・ 1:有効
RAIDLogEnable	integer	対象 RAIDログ (有効/無効) ・ 0:無効 ・ 1:有効

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
LogCollect	object	ログ収集設定情報
Nodes	array	ノード情報リスト
NodeId	integer	ノードID
Schedule	object	スケジュール情報
ScheduleEnable	integer	スケジュール (有効/無効) ・ 0:無効 ・ 1:有効

パラメーター	型	説明
ScheduleMethod	string	スケジュール指定方法 ・ Days:日付指定 ・ Weeks:曜日指定
Days	array	日付指定情報リスト
Day	integer	日付 ・ 0:毎日 ・ 1-31:1-31日 ・ 32:月末
Time	string	時間 (HHmm : 時 分) 設定範囲:0000-2359
Weeks	array	曜日指定情報リスト
Week	string	曜日 ・ Mon:月曜日 ・ Tue:火曜日 ・ Wed:水曜日 ・ Thu:木曜日 ・ Fri:金曜日 ・ Sat:土曜日 ・ Sun:日曜日
WeekNum	integer	曜日番号 ・ 0:毎週 ・ 1-5:第1番目-第5番目 ・ 6:最終
Time	string	時間 (HHmm : 時 分) 設定範囲:0000-2359
NextExecutionDate	string	次回実行日時 YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ (年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します)
ArchivedLogGeneration	integer	保管ログ保存世代数 設定範囲:0-366
SecurityLogGeneration	integer	ノードログ (セキュリティログ) 保存世代数 設定範囲:0-1830
OperationLogGeneration	integer	ノードログ (操作ログ) 保存世代数 設定範囲:0-1830
EventLogGeneration	integer	ノードログ (イベントログ) 保存世代数 設定範囲:0-1830
HWLogEnable	integer	対象 ハードウェアログ (有効/無効) ・ 0:無効

パラメーター			型	説明
				・ 1:有効
		OSLogEnable	integer	対象 オペレーティングシステムログ (有効/無効) ・ 0:無効 ・ 1:有効
		SVSLogEnable	integer	対象 ServerView Suiteログ (有効/無効) ・ 0:無効 ・ 1:有効
		RAIDLogEnable	integer	対象 RAIDログ (有効/無効) ・ 0:無効 ・ 1:有効
		HWLogPossible	integer	収集可否 ハードウェアログ (可能/不可) ・ 0:不可 ・ 1:可能
		OSLogPossible	integer	収集可否 オペレーティングシステムログ (可能/不可) ・ 0:不可 ・ 1:可能
		SVSLogPossible	integer	収集可否 ServerView Suiteログ (可能/不可) ・ 0:不可 ・ 1:可能
		RAIDLogPossible	integer	収集可否 RAIDログ (可能/不可) ・ 0:不可 ・ 1:可能

[注意事項]

- Days (array)、Weeks (array)以外のリクエストパラメーターは、すべて設定する必要があります。
- Days (array) は、ScheduleEnableに1（有効）を指定、かつScheduleMethodにDaysを指定した場合に必要です。
- Weeks (array) は、ScheduleEnableに1（有効）を指定、かつScheduleMethodにWeeksを指定した場合に必要です。
- Days (array)、Weeks (array)を省略した場合は、それぞれのスケジュール設定が削除されます。
- 必要なスケジュール設定は常にすべて（Days (array)、Weeks (array)の両方）設定してください。
- Time (string) には、ISMが動作している環境の時間（ローカルタイム）を基準に設定してください。
- リクエストパラメーターの対象 (HWLogEnable/OSLogEnable/SVSLogEnable/RAIDLogEnable) に1 （有効）を指定しても、収集可否 (HWLogPossible/OSLogPossible/SVSLogPossible/RAIDLogPossible) が0（不可）の場合は、対象は0（無効）として設定されます。

- 収集可否 (HWLogPossible) は、ISMがログ収集をサポートしているハードウェアの場合に、1（可能）となります。
- 収集可否 (OSLogPossible) は、対象ノードにOS情報を登録し、ノードの詳細情報取得が行われ、ISMがログ収集をサポートしているOSの場合に、1（可能）となります。
- 収集可否 (SVSLogPossible) は、対象ノードのOSにServerView Agents、または、ServerView Agentless Serviceがインストールされている場合に、1（可能）となります。
- 収集可否 (RAIDLogPossible) は、対象ノードのOSにServerView RAID Managerがインストールされている場合に、1（可能）となります。

4.12.3 ログファイル情報の取得

[概要]

指定したノードIDのログファイル情報を取得します。

クエリパラメーターにより複数のノードIDを指定できます。

ノードIDの指定がない場合は、ユーザーが属しているユーザーグループで管理しているすべてのノードIDが取得対象になります。

ログ種別の指定がない場合は、すべてのログ種別が取得対象になります。

[形式]

```
GET /nodes/logs/files
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
nodeid	integer	ノードIDを使用した絞り込み
logtype	string	ログ種別を使用した絞り込み ・ ArchivedLog：保管ログ ・ Event：ノードログ (イベントログ) ・ Security：ノードログ (セキュリティログ) ・ Operation：ノードログ (操作ログ)
excludekey	string	指定されたキー項目を除いた情報を表示 ・ Files：ファイル情報を省略 ・ Size：サイズ情報を省略

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
LogCollect	object	ログ収集情報
Nodes	array	ノードIDのリスト
NodeId	integer	ノードID
ArchivedLog	object	保管ログの情報
Generation	integer	保存されている世代数
Files	array	ファイルリスト
FileName	string	ファイル名
Size	integer	合計サイズ 単位：MB

パラメーター	型	説明
Security	object	ノードログ (セキュリティログ) の情報
Period	object	保存されている期間
From	string	開始日(YYYY-MM-DD : 年-月-日)
To	string	終了日(YYYY-MM-DD : 年-月-日)
Size	integer	合計サイズ 単位:MB
Operation	object	ノードログ (操作ログ) の情報
Period	object	保存されている期間
From	string	開始日(YYYY-MM-DD : 年-月-日)
To	string	終了日(YYYY-MM-DD : 年-月-日)
Size	integer	合計サイズ 単位:MB
Event	object	ノードログ (イベントログ) の情報
Period	object	保存されている期間
From	string	開始日(YYYY-MM-DD : 年-月-日)
To	string	終了日(YYYY-MM-DD : 年-月-日)
Size	integer	合計サイズ 単位:MB

4.12.4 ノード状態の取得

[概要]

指定したノードIDのノード状態を取得します。

クエリパラメーターにより複数のノードIDを指定できます。

ノードIDの指定がない場合は、ユーザーが属しているユーザーグループで管理しているすべてのノードIDが取得対象になります。

[形式]

```
GET /nodes/logs
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
nodeid	integer	ノードIDを使用した絞り込み

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
StatusInfo	object	ノード状態情報
Nodes	array	ノードIDのリスト
NodeId	integer	ノードID
Status	string	状態 ・ Idle:待機中 (ログ収集可能) ・ LogCollect:ログ収集中

パラメーター	型	説明
		・ LogDelete:ログ削除中 ・ Prepare:準備中 ・ Exempt:対象外 (ログ収集不可)

4.12.5 ログ収集

[概要]

指定したノードIDのログを収集します。

複数のノードIDを指定できます。

[形式]

```
POST /nodes/logs/collection/collect
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Nodes	array	ノードIDのリスト
NodeId	integer	ノードID
HWLogEnable	integer	対象 ハードウェアログ (有効/無効) ・ 0:無効 ・ 1:有効 この項目は省略可能です。 省略時はログ収集設定のとおりに動作します
OSLogEnable	integer	対象 オペレーティングシステムログ (有効/無効) ・ 0:無効 ・ 1:有効 この項目は省略可能です。 省略時はログ収集設定のとおりに動作します。
SVSLogEnable	integer	対象 ServerView Suiteログ (有効/無効) ・ 0:無効 ・ 1:有効 この項目は省略可能です。 省略時はログ収集設定のとおりに動作します。
RAIDLogEnable	integer	対象 RAIDログ (有効/無効)

パラメーター		型	説明
			・ 0:無効 ・ 1:有効 この項目は省略可能です。 省略時はログ収集設定のとおりに動作します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

4.12.6 ログ収集の中止

[概要]

ログ収集処理を中止します。

[形式]

```
POST /nodes/logs/collection/collect/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- ログ収集の進捗状況によっては、キャンセルできない場合があります。
- ログ収集のタスクでない場合や、キャンセル実行権限がないユーザーが実行した場合は、エラーとなります。

4.12.7 ノードログダウンロードファイル作成

[概要]

指定したノードIDおよび条件のノードログダウンロードファイルを作成します。

[形式]

```
POST /nodes/logs/nodelog/downloadfiles/create
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Nodes	array	ノードIDのリスト
NodeId	integer	ノードID
Period	object	抽出する期間
From	string	開始日(YYYY-MM-DD : 年-月-日)
To	string	終了日(YYYY-MM-DD : 年-月-日)
LogCategory	array(string)	種類 ・ HW:ハードウェアログ ・ OS:オペレーティングシステムログ
LogType	array(string)	ログ種別 ・ Event:ノードログ(イベントログ) ・ Security:ノードログ(セキュリティログ) ・ Operation:ノードログ(操作ログ)
PasswordEnable	integer	ダウンロードファイルへのパスワード設定 ・ 0:パスワードを設定しない ・ 1:パスワードを設定する
Password	string	ダウンロードファイルのパスワード PasswordEnableに1を指定した場合に暗号化したパスワードを設定します。暗号化の方法は「2.4 暗号化」を参照してください。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[注意事項]

- PasswordEnableが1(パスワードを設定する)の場合、Passwordが指定されていないか、nullの場合はエラーとなります。
- Periodには、「4.12.3 ログファイル情報の取得」のレスポンスパラメーター内にあるPeriod (保存されている期間) の範囲内の日付を指定してください。

4.12.8 ノードログダウンロードファイル作成の中止

[概要]

ノードログダウンロードファイルの作成処理を中止します。

[形式]

```
POST /nodes/logs/nodelog/downloadfiles/create/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- ノードログダウンロードファイル作成の進捗状況によっては、キャンセルできない場合があります。
- ノードログダウンロードファイル作成のタスクでない場合や、キャンセル実行権限がないユーザーが実行した場合は、エラーとなります。

4.12.9 保管ログダウンロードファイル作成

[概要]

指定したノードIDおよび条件の保管ログダウンロードファイルを作成します。

[形式]

```
POST /nodes/logs/archivedlog/downloadfiles/create
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Generation	object	作成するダウンロードファイルの世代情報
Nodes	array	ノードIDのリスト
NodeId	integer	ノードID
Generation	integer	世代数 指定範囲:1-366 例)1を指定すると、最新の保管ログ1つのダウンロードファイルが作成されます。
File	array	作成するダウンロードファイルの情報リスト
NodeId	integer	ノードID
Files	array	ファイル名リスト
FileName	string	ファイル名
PasswordEnable	integer	ダウンロードファイルへのパスワード設定 ・ 0:パスワードを設定しない ・ 1:パスワードを設定する
Password	string	ダウンロードファイルのパスワード PasswordEnableに1を指定した場合に暗号化したパスワードを設定します。暗号化の方法は「2.4 暗号化」を参照してください。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[注意事項]

- リクエストパラメーターのGeneration (object) とFile (array) を同時に指定した場合はエラーとなります。どちらかを指定してください。
- FileNameには、「4.12.3 ログファイル情報の取得」のレスポンスパラメーターのFileName (ファイル名) を指定してください。
- 世代数には、最新日付のログからのダウンロードしたい個数を指定します。例えば1を指定した場合は最新保管ログが1つダウンロードされます。
- PasswordEnableが1（パスワードを設定する）の場合、Passwordが指定されていないか、nullの場合はエラーとなります。

4.12.10 保管ログダウンロードファイル作成の中止

[概要]

保管ログダウンロードファイルの作成処理を中止します。

[形式]

```
POST /nodes/logs/archivedlog/downloadfiles/create/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- 保管ログダウンロードファイル作成の進捗状況によっては、キャンセルできない場合があります。
- 保管ログダウンロードファイル作成のタスクでない場合や、キャンセル実行権限がないユーザーが実行した場合は、エラーとなります。

4.12.11 ノードログダウンロードファイル情報の取得

[概要]

ノードログダウンロードファイルの作成情報を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/logs/nodelog/downloadfiles
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
DownloadFiles	object	ダウンロードファイルの情報
FileCreateStatus	string	ダウンロードファイル作成状況 ・ Created：作成済 ・ Creating：作成中 ・ Uncreated：未作成 ・ Error：作成異常 ・ Cancelled：キャンセル
TaskId	string	作成中、作成済のタスクID
FileUrl	string	ダウンロードファイルのURL
FileCreated	string	ダウンロードファイルのタイムスタンプ YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ（年-月-日 時:分:秒 ミリ秒Z、ZはISO8601形式でUTCを表します）
FileSize	string	ダウンロードファイルのサイズ
FileSizeUnit	string	ダウンロードファイルのサイズの単位 MiB

[注意事項]

- TaskIdは、FileCreateStatusがUncreated（未作成）以外の場合に出力されます。
- FileUrl／FileCreated／FileSize／FileSizeUnitは、FileCreateStatusがCreated（作成済）の場合のみ出力されます。
- FileUrlに示されたファイルをダウンロードする方法は、「B.5 ログの取り出し」の「(4) 保管ログダウンロード」を参考にしてください。

4.12.12 保管ログダウンロードファイル情報の取得

[概要]

保管ログダウンロードファイルの作成情報を取得します。

[形式]

```
GET /nodes/logs/archivedlog/downloadfiles
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
DownloadFiles	object	ダウンロードファイルの情報
FileCreateStatus	string	ダウンロードファイル作成状況 ・ Created：作成済 ・ Creating：作成中 ・ Uncreated：未作成 ・ Error：作成異常 ・ Cancelled：キャンセル

パラメーター	型	説明
TaskId	string	作成中、作成済のタスクID
FileUrl	string	ダウンロードファイルのURL
FileCreated	string	ダウンロードファイルのタイムスタンプ YYYY-MM-DDThh:mm:ss.xxxZ (年-月-日T時:分:秒.ミリ秒Z、T、ZはISO8601形式での区切り文字とUTCを表します)
FileSize	string	ダウンロードファイルのサイズ
FileSizeUnit	string	ダウンロードファイルのサイズの単位 MiB

[注意事項]

- TaskIdは、FileCreateStatusがUncreated（未作成）以外の場合に出力されます。
- FileUrl／FileCreated／FileSize／FileSizeUnitは、FileCreateStatusがCreated（作成済）の場合のみ出力されます。
- FileUrlに示されたファイルをダウンロードする方法は、「B.5 ログの取り出し」の「(4) 保管ログダウンロード」を参考にしてください。

4.12.13 ログファイル削除

[概要]

指定した条件のノードログ、および、保管ログファイルを削除します。

ノードログのみ削除する場合は、NodeLog (object)のみ指定してください。

保管ログのみ削除する場合は、ArchivedLog (object)のみ指定してください。

ArchivedLog (object) のGeneration (object) と File (array) は、両方同時に指定できます。

[形式]

```
POST /nodes/logs/files/delete
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
NodeLog	object	削除対象のノードログ情報
Nodes	array	ノードIDのリスト
NodeId	integer	ノードID
Period	string	日付(YYYY-MM-DD : 年-月-日) 指定した日付以前のノードログを削除します
LogType	array(string)	ログ種別 ・ Security：ノードログ（セキュリティログ） ・ Operation：ノードログ（操作ログ） ・ Event：ノードログ（イベントログ）
ArchivedLog	object	削除対象の保管ログ情報
Generation	object	世代数指定での削除リクエスト

パラメーター	型	説明
Nodes	array	ノードIDのリスト
NodeId	integer	ノードID
Generation	integer	世代数 指定した世代数以降を削除します 指定範囲:0-366 0および1は、指定ノードIDのすべての保管ログを削除します
File	array	削除対象のファイル情報リスト
NodeId	integer	ノードID
Files	array	ファイル名リスト
FileName	string	ファイル名

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[注意事項]

- Periodには、「4.12.3 ログファイル情報の取得」のレスポンスパラメーター内にあるPeriod (保存されている期間) の範囲内の日付を指定してください。
- FileNameには、「4.12.3 ログファイル情報の取得」のレスポンスパラメーターのFileName (ファイル名) を指定してください。

4.12.14 ログファイル削除の中止

[概要]

ログファイルの削除処理を中止します。

[形式]

```
POST /nodes/logs/files/delete/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- ログファイル削除の進捗状況によっては、キャンセルできない場合があります。
- ログファイル削除のタスクでない場合や、キャンセル実行権限がないユーザーが実行した場合は、エラーとなります。

4.13 ネットワーク管理機能

4.13.1 全ノードのポート情報取得

[概要]

全ノードのポート情報を取得します。ポート情報の一覧取得に対応するノードは、サーバーおよびネットワークスイッチです。

[形式]

```
GET /networks/ports
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
NodeInformation	array	ノード情報
NodeId	integer	ノードID
NodeMacAddress	string	ノードのMACアドレス
NodeWwnn	string	ノードのWWNN
PortInformation	array	ポート情報
PortName	string	ポート名
PortNumber	string	ポート番号
Category	string	ポートカテゴリー 出力:LAN, FC, FCoE, iSCSI, IB, CNA, Unknown
SubCategory	string	ポートサブカテゴリー 出力:Ether, FC, IB, LAN, SAS, LinkAggregation, Mirror, Backup, Backup LA, Peerlink
Technologytype	string	ポート種別 出力:LAN, FC, FCoE, iSCSI, Unified
LinkStatus	string	ポートのリンクステータス 出力:Up, Down, Unknown
DetailedInformation	object	ポートの詳細情報
IpAddress	object	ポートのIPアドレス情報
Ipv4Address	string	IPv4アドレス
Ipv6Address	string	IPv6アドレス
PortMacAddress	string	ポートのMACアドレス
PortWwpn	string	ポートのWWPN
Speed	object	ポートの通信速度情報
Value	string	ポートの通信速度の値
Unit	string	ポートの通信速度の単位
RemoteInformation	array	接続先情報
RemoteNodeId	integer	接続先のノードID

パラメーター	型	説明
RemotePortName	string	接続先のポート名
RemotePortNumber	string	接続先のポート番号
RemoteMacAddress	string	接続先のMACアドレス
RemotePortWwpn	string	接続先のWWPN
VirtualSwitchId	integer	接続先の仮想スイッチID
VirtualMachineId	integer	接続先の仮想マシンID
VirtualRouterId	integer	接続先の仮想ルーターID
CnaPortInformation	array	CNAポート情報
CnaPortName	string	分割されたCNAポート名
VirtualSwitchId	integer	接続先の仮想スイッチID
VirtualMachineId	integer	接続先の仮想マシンID
VirtualRouterId	integer	接続先の仮想ルーターID
PinGroups	array	Pinグループ情報
PinGroupName	string	Pinグループ名
PortList	array	Pinグループ構成ポートリスト
PortName	string	ポート名

4.13.2 全ノードの仮想スイッチ接続情報の取得

[概要]

全ノードの仮想スイッチ接続情報を取得します。

[形式]

```
GET /networks/virtualswitches
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
NodeInformation	array	ノード情報
NodeId	integer	ノードID
VirtualSwitchInformation	array	仮想スイッチ情報
VirtualSwitchId	integer	仮想スイッチID
ConnectionInformation	array	接続情報
VirtualPortName	string	仮想ポート名
RemoteInformation	object	接続先情報
RemoteNodeId	integer	接続先のノードID
RemotePortName	string	接続先のポート名
RemoteVirtualSwitchId	integer	接続先の仮想スイッチID
RemoteVirtualMachineId	integer	接続先の仮想マシンID

パラメーター	型	説明
RemoteVirtualRouterId	integer	接続先の仮想ルーターID
RemoteVirtualPortName	string	接続先の仮想ポート名
VlanId	string	VLAN ID

4.13.3 全ノードの仮想マシン接続情報の取得

[概要]

全ノードの仮想マシンの接続情報を取得します。

[形式]

```
GET /networks/virtualmachines
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
NodeInformation	array	ノード情報
NodeId	integer	ノードID
VirtualMachineInformation	array	仮想マシン情報
VirtualMachineId	integer	仮想マシンID
ConnectionInformation	array	接続情報
VirtualNetworkAdapterName	string	仮想ネットワークアダプター名
RemoteInformation	object	接続先情報
RemoteNodeId	integer	接続先のノードID
RemotePortName	string	接続先のポート名
RemoteVirtualSwitchId	integer	接続先の仮想スイッチID
RemoteVirtualRouterId	integer	接続先の仮想ルーターID
RemoteVirtualPortName	string	接続先の仮想ポート名

4.13.4 手動接続定義の一覧取得

[概要]

手動接続定義を一覧取得します。手動接続定義はISM管理者によって定義される接続情報です。

[形式]

```
GET /networks/connections
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター			型	説明
ConnectionInformation			array	手動接続定義情報
	ConnectionType		integer	手動接続定義のタイプ
	PortInformation		object	接続元のポート情報
		NodeId	integer	接続元のノードID
		PortName	string	接続元のポート名
	RemotePortInformation		object	接続先のポート情報
		RemoteNodeId	integer	接続先のノードID
		RemotePortName	string	接続先のポート名

4.13.5 手動接続定義の変更

[概要]

手動接続定義を変更します。ISM管理者は手動接続定義の変更が可能です。

[形式]

```
PATCH /networks/connections
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター			型	説明
ConnectionInformation			array	手動接続定義情報
	ConnectionType		integer	手動接続定義のタイプ 定義する接続の種類を分ける用途で手動接続定義のタイプを用意しています。0～9のラベルを指定もしくはnullの指定が可能です。
	PortInformation		object	接続元のポート情報
		NodeId	integer	接続元のノードID ノードIDはノード管理機能で取得できます。接続元のノードIDを設定する必要があります。
		PortName	string	接続元のポート名 ポート名はノードの詳細情報管理機能のノードの詳細情報の取得のAPIで取得できます。接続元のポート名を設定する必要があります。
	RemotePortInformation		object	接続先のポート情報
		RemoteNodeId	integer	接続先のノードID ノードIDはノード管理機能で取得できます。接続先のノードIDを設定する必要があります。
		RemotePortName	string	接続先のポート名 ポート名はノードの詳細情報管理機能のノードの詳細情報の取得のAPIで取得できます。接続先のポート名を設定する必要があります。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ConnectionInformation	array	手動接続定義情報
ConnectionType	integer	手動接続定義のタイプ
PortInformation	object	接続元のポート情報
NodeId	integer	接続元のノードID
PortName	string	接続元のポート名
RemotePortInformation	object	接続先のポート情報
RemoteNodeId	integer	接続先のノードID
RemotePortName	string	接続先のポート名

4.13.6 ネットワーク接続の変化情報の取得

[概要]

ネットワーク接続情報の基準時点からの変化情報を取得します。変化の種別は"add"と"delete"があり、"add"は新たにポート間の接続が追加されたこと、"delete"はポート間の接続が削除されたことを示します。

[形式]

```
GET /networks/differences
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ReferenceTime	string	ネットワーク接続の変化情報の基準設定の完了時刻 UTC時間で出力されます。 出力例）2016-06-22T09:09:41.741Z
DifferenceInformation	array	ネットワーク接続の変化情報
Kind	string	変化の種別 出力：add, delete
PortInformation	object	接続元のポート情報
NodeId	integer	接続元のノードID
PortName	string	接続元のポート名
RemotePortInformation	object	接続先のポート情報
RemoteNodeId	integer	接続先のノードID
RemotePortName	string	接続先のポート名

4.13.7 ネットワーク接続の変化情報の基準設定

[概要]

ネットワーク接続の変化情報の基準を設定します。設定した基準からの変化情報(接続の追加、削除)が記録されます。ISM管理者による基準の設定が可能です。

[形式]

```
POST /networks/differences
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

4.13.8 ネットワーク管理情報の更新実施情報の取得

[概要]

「4.13.9 ネットワーク管理情報の更新」の実施情報を取得します。直近に実施した「4.13.9 ネットワーク管理情報の更新」の開始時刻、終了時刻、最終更新時刻、実施結果が出力されます。

[形式]

```
GET /networks/refresh
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
RefreshInformation		object	
	RefreshStartTime	string	ネットワーク管理情報の更新の開始時刻 UTC時間で出力されます。 出力例）2016-06-22T09:09:41.741Z
	RefreshEndTime	string	ネットワーク管理情報の更新の終了時刻 UTC時間で出力されます。 出力例）2016-06-22T09:09:41.741Z
	UpdatedTime	string	ネットワーク管理情報の更新の最終更新時刻 UTC時間で出力されます。 出力例）2016-06-22T09:09:41.741Z
	Status	string	ネットワーク管理情報の更新の実施結果 出力：success, failure

4.13.9 ネットワーク管理情報の更新

[概要]

ネットワーク管理情報の更新を指示します。ネットワーク管理情報の更新の完了は、イベントリスト管理機能の運用ログを取得することで確認できます。ネットワーク管理情報を最新化するために、更新前にノードの詳細情報管理機能のノード情報取得を実行してください。更新中はネットワーク管理機能の各APIは実行できません。

[形式]

```
POST /networks/refresh
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

4.13.10 VLAN設定の一覧取得

[概要]

指定したノードのVLAN設定を一覧取得します。{nodeid}にノードIDを指定してください。ノードIDはノード管理機能で取得することができます。VLAN設定の一覧取得に対応するノードは、ネットワークスイッチです。

[形式]

```
GET /networks/nodes/{nodeid}/vlans
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
VlanInformation		array	VLAN情報
	PortName	string	ポート名
	TaggedVlanId	string	タグVLAN情報
	UntaggedVlanId	string	ポートVLAN情報

4.13.11 複数ノードのVLAN設定の一括変更

[概要]

指定したノードの指定ポートのVLAN設定を変更します。リクエストパラメーターのキー名:NodeIdにノードID、PortNameにポート名を指定してください。ポート名はノードの詳細情報管理機能のノードの詳細情報の取得のAPIで取得できます。

VLAN設定の一括変更に対応するノードは、ネットワークスイッチです。タグVLANとポートVLANを同じポートに設定できない機器に対して両方を指定した場合、タグVLANの設定が優先されます。

指定していないノードおよびポートは変更の対象外となります。

機器へのVLAN設定は非同期で実施します。

[形式]

```
POST /networks/vlans
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
NodeInformation	array	ノード情報
NodeId	integer	ノードID
VlanInformation	array	VLAN情報
PortName	string	ポート名
TaggedVlanId	string	タグVLAN情報 複数のタグVLAN IDの設定を変更することが可能です。複数のVLAN IDは、","(コンマ)または"-"(ハイフン)を用いて指定することができます。
UntaggedVlanId	string	ポートVLAN情報 ポートVLAN IDとしては単一のVLAN IDのみ設定可能です。複数のVLAN IDを指定することはできません。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

4.13.12 複数ノードのVLAN設定の一括変更の中止

[概要]

複数ノードのVLAN設定の一括変更処理を中止します。

[形式]

```
POST /networks/vlans/cancel
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- 複数ノードのVLAN設定の一括変更処理は中止できないため常にエラー応答となります。

4.13.13 リンクアグリゲーション設定の取得

[概要]

指定したノードのリンクアグリゲーション設定を取得します。{nodeid}にノードIDを指定してください。ノードIDはノード管理機能で取得することができます。

リンクアグリゲーション設定の取得に対応するノードは、ネットワークスイッチです。

[形式]

```
GET /networks/nodes/{nodeid}/lags
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
LagInformation	array	リンクアグリゲーション情報
LagName	string	リンクアグリゲーション名
LagMode	string	リンクアグリゲーションの動作モード 出力:Static, Active, Passive, Auto, Desirable, Auto non-silent, Desirable non-silent
LagType	string	リンクアグリゲーションの種別 出力:ISL, peerlink, MLAG
MlagId	string	MLAG ID(vPC ID)
CfabricPortType	string	C-Fabricポートタイプ 出力:endpoint, cir
PortInformation	array	リンクアグリゲーションのポート情報
PortName	string	ポート名

4.13.14 リンクアグリゲーション設定の変更

[概要]

指定したノードのリンクアグリゲーション設定を変更します。{nodeid}にノードIDを指定してください。ノードIDはノード管理機能で取得することができます。

リンクアグリゲーション設定の取得に対応するノードは、ネットワークスイッチです。

[形式]

```
PATCH /networks/nodes/{nodeid}/lags
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
LagInformation	array	リンクアグリゲーション情報
LagName	string	リンクアグリゲーション名

パラメーター	型	説明
		ノードによって指定できるリンクアグリゲーション名が異なるため注意してください。
LagMode	string	リンクアグリゲーションの動作モード Staticまたは、LACPアルゴリズム(Active, Passive)、PAgPアルゴリズム(Auto, Desirable, Auto non-silent, Desirable non-silent)を指定することが可能です。ノードによって設定できないアルゴリズムがあります。 選択肢:Static, Active, Passive, Auto, Desirable, Auto non-silent, Desirable non-silent
LagType	string	リンクアグリゲーションの種別 通常のリンクアグリゲーションの場合は、nullもしくは空文字("")を指定します。 MLAG(vPC)の場合は、MLAGを指定し、必要に応じて次のパラメーター"MlagId"にMLAG ID(vPC ID)を設定してください。 ISLおよびPeer-linkについては、設定を変更することはできません。 選択肢:ISL, peerlink, MLAG
MlagId	string	MLAG ID LagTypeがMLAGの場合に指定します。MLAG ID(vPC ID)が存在しない場合はnullを設定します。
CfabricPortType	string	C-Fabricポートタイプ 指定したノードがC-Fabricの場合に指定します。それ以外の場合は、nullを設定してください。 選択肢:endpoint, cir
PortInformation	array	リンクアグリゲーションのポート情報
PortName	string	ポート名 リンクアグリゲーションを構成するポート名を指定してください。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
LagInformation	array	リンクアグリゲーション情報
LagName	string	リンクアグリゲーション名
LagMode	string	リンクアグリゲーションの動作モード 出力:Static, Active, Passive, Auto, Desirable, Auto non-silent, Desirable non-silent
LagType	string	リンクアグリゲーションの種別 出力:ISL, peerlink, MLAG
MlagId	string	MLAG ID
CfabricPortType	string	C-Fabricポートタイプ 出力:endpoint, cir
PortInformation	array	リンクアグリゲーションのポート情報
PortName	string	ポート名

4.13.15 VFAB設定の一覧取得

[概要]

指定したノードのVFAB設定を一覧取得します。{nodeid}にノードIDを指定してください。ノードIDはノード管理機能で取得することができます。

[形式]

```
GET /networks/nodes/{nodeid}/vfabs
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
VfabInformation	array	VFAB情報
VfabId	string	VFAB ID
VfabStatus	string	VFABステータス 出力:on, off
VfabMode	string	VFABモード 出力:host, network, san
EndPointPortInformation	array	End Pointポート情報
IfGroupId	integer	インターフェイスグループID
VlanInformation	array	VLAN情報
VlanId	integer	VLAN ID
VlanType	string	VLANタイプ 出力:tagged, untagged
TranslateVlanId	integer	トランスレートVLAN ID
CirPortInformation	array	CIRポート情報
IfGroupId	integer	インターフェイスグループID
VlanInformation	array	VLAN情報
VlanId	integer	VLAN ID
VlanType	string	VLANタイプ 出力:tagged, untagged
TranslateVlanId	integer	トランスレートVLAN ID
AmppAreaInformation	array	AMPPエリア情報
IfGroupId	integer	インターフェイスグループID

4.13.16 インターフェイスグループ情報の一覧取得

[概要]

指定したノードのインターフェイスグループ情報を一覧取得します。{nodeid}にノードIDを指定してください。ノードIDはノード管理機能で取得することができます。

[形式]

```
GET /networks/nodes/{nodeid}/ifgroups
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
InterfaceGroupInformation	array	インターフェイスグループ情報
IfGroupId	integer	インターフェイスグループID
PortInformation	array	ポート情報
PortName	string	ポート名
LagInformation	array	リンクアグリゲーション情報
LagName	string	リンクアグリゲーション名 "ドメインID/グループID"の形式で設定されます。

4.13.17 全ノードの仮想ルーター接続情報の取得

[概要]

全ノードの仮想ルーターの接続情報を取得します。

[形式]

```
GET /networks/virtualrouters
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
NodeInformation	array	ノード情報
NodeId	integer	ノードID
VirtualRouterInformation	string	仮想ルーター情報
VirtualRouterId	integer	仮想ルーターID
ConnectionInformation	array	接続情報
PortName	string	仮想ポート名
RemoteInformation	object	接続先情報
RemoteNodeId	integer	接続先のノードID
RemotePortName	string	接続先のポート名
RemoteVirtualSwitchId	integer	接続先の仮想スイッチID
RemoteVirtualMachineId	integer	接続先の仮想マシンID
RemoteVirtualRouterId	integer	接続先の仮想ルーターID
RemoteVirtualPortName	string	接続先の仮想ポート名

4.14 電力制御機能（ISM 3.0.0から使用できません）

本機能は、ISM 3.0.0から使用できません。

4.15 仮想リソース管理機能

4.15.1 ストレージプールの一覧取得

[概要]

ISMで管理されているストレージプールの一覧を取得します。

[形式]

```
GET /resources/storagepools
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
BasicStoragePoolInfo	array	ストレージプール基本情報
PoolId	long	ストレージプールID
CmsId	long	ストレージプールが所属する仮想化管理ソフトウェア（CMS：Cloud Management Software）のID vSANまたはStorage Spaces Directの場合に出力されます。
NodeId	long	ノードID ETERNUS RAIDグループの場合に出力されます。
PoolStatus	string	ストレージプールのステータス ・ RED：異常 ・ YELLOW：注意 ・ GRAY：不明 ・ GREEN：正常
PoolName	string	ストレージプール名
PoolType	string	ストレージプールの種類 ・ VSAN："VMware Virtual SAN" ・ S2D："Microsoft Storage Spaces Direct" ・ ETERNUS DX："ETERNUS DX" ・ ETERNUS AF："ETERNUS AF"
TotalCapacity	long	ストレージプールの合計容量
FreeCapacity	long	ストレージプールの空き容量
NotAllocatedCapacity	long	ストレージプールの未割当て容量 Storage Spaces Directの場合に表示されます。
UsedCapacity	long	ストレージプールの使用容量

パラメーター		型	説明
	UsedRate	short	ストレージプールの使用率
	LatestUpdate	string	情報の最新取得日時

4.15.2 ストレージプールの個別取得

[概要]

指定した{storagepoolid}のストレージプールの情報を取得します。

[形式]

```
GET /resources/storagepools/{storagepoolid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
BasicStoragePoolInfo		object	ストレージプール基本情報
	PoolId	long	ストレージプールID
	CmsId	long	ストレージプールが所属する仮想化管理ソフトウェア（CMS：Cloud Management Software）のID vSANまたはStorage Spaces Directの場合に出力されます。
	NodeId	long	ノードID ETERNUS RAIDグループの場合に出力されます。
	PoolStatus	string	ストレージプールのステータス ・ RED：異常 ・ YELLOW：注意 ・ GRAY：不明 ・ GREEN：正常
	PoolName	string	ストレージプール名
	PoolType	string	ストレージプールの種類 ・ VSAN："VMware Virtual SAN" ・ S2D："Microsoft Storage Spaces Direct" ・ ETERNUS DX："ETERNUS DX" ・ ETERNUS AF："ETERNUS AF"
	TotalCapacity	long	ストレージプールの合計容量
	FreeCapacity	long	ストレージプールの空き容量
	NotAllocatedCapacity	long	ストレージプールの未割り当て容量 Storage Spaces Directの場合に出力されます。
	UsedCapacity	long	ストレージプールの使用容量
	UsedRate	short	ストレージプールの使用率
	LatestUpdate	string	情報の最新取得日時

パラメーター	型	説明
VariableData	object	ストレージプール種類別の固有情報
Url	string	データストアのURL vSANの場合に出力されます。
ManagedObjectId	string	仮想化管理ソフトウェアが割り振る管理番号（VMware Managed Object ID） vSANの場合に出力されます。
Version	string	バージョン vSANまたはStorage Spaces Directの場合に出力されます。
Iops	integer	IOPS 現在は未サポートです。
Throughput	integer	スループット vSANまたはStorage Spaces Directの場合に出力されます。 現在は未サポートです。
Response	integer	レスポンス 現在は未サポートです。
AcceptableFailure	integer	許容される障害数 vSANの場合に出力されます。 現在は未サポートです。
DiskStriping	integer	ディスクストライプ数 vSANの場合に出力されます。 現在は未サポートです。
ObjectSpaceReserve	integer	オブジェクトスペースの予約 vSANの場合に出力されます。 現在は未サポートです。
FlashCache	integer	フラッシュ読み取りに割り当てるキャッシュ量 vSANの場合に出力されます。 現在は未サポートです。
Provisioning	boolean	強制プロビジョニング vSANの場合に出力されます。 現在は未サポートです。
ClusterId	long	ストレージプールが属するクラスタのID vSANまたはStorage Spaces Directの場合に出力されます。
UniqueId	string	ストレージプールを一意に示すID Storage Spaces Directの場合に出力されます。
Deduplication	boolean	重複排除 Storage Spaces Directの場合に出力されます。
EquipmentInfo	array	ストレージプールを構成するノードの情報
NodeId	long	ノードID
NodeGroupId	long	ノードグループID

パラメーター	型	説明
NodeStatus	string	ノードステータス
AlarmStatus	string	アラームステータス
NodeName	string	ノード名
Type	string	ノードタイプ
ComputerName	string	コンピューター名
Model	string	モデル名
IpAddress	string	IPアドレス
IpVersion	string	IPアドレスの版数("V4"か"V6")
OS	string	OS名
MaintenanceMode	integer	メンテナンスモード ・ 0:通常モード ・ 1:メンテナンスモード
HDD	integer	HDD数 現在は未サポートです。
SSD	integer	SSD数 現在は未サポートです。
Description	string	ノードの説明
DatacenterId	long	搭載されているデータセンターID
DatacenterName	string	搭載されているデータセンター名
FloorId	long	搭載されているフロアID
FloorName	string	搭載されているフロア名
RackId	long	搭載されているラックID
RackName	string	搭載されているラック名
RackPosition	integer	ラック内位置
Firmware	array	ファームウェア情報
Name	string	ファームウェア名
SlotId	string	スロットID
Model	string	ファームウェアモデル
Type	string	ファームウェアタイプ(Card種別/iRMC/BIOS)
FirmwareVersion	string	ファームウェア版数
Slot	string	PCIバススロット番号
Segment	string	PCIバス セグメント番号
Bus	string	PCIバス バス番号
Device	string	PCIバス デバイス番号
Function	string	PCIバス ファンクション番号
Version	string	iRMCのバージョン
ParentName	string	親機器の名前
Unified	string	ユニファイドモデル
VirtualDiskInfo	array	仮想ディスク情報

パラメーター		型	説明
			Storage Spaces Directの場合に出力されます。
	UniqueId	string	仮想ディスクを一意に示すID
	HealthStatus	string	仮想ディスクの状態 ・ Healthy:正常 ・ Warning:注意 ・ Unhealthy:異常 ・ Unknown:不明
	FriendlyName	string	仮想ディスク名
	TotalCapacity	long	仮想ディスクの合計容量
	FreeCapacity	long	仮想ディスクの空き容量
	UsedCapacity	long	仮想ディスクの使用容量
	UsedRate	short	仮想ディスクの使用率
	FormatType	string	ファイルシステムのタイプ

4.15.3 ストレージプール情報の更新

[概要]

ストレージプールの情報の更新を行います。

[形式]

```
POST /resources/storagepools/refresh
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	long	タスク管理ID

4.15.4 クラスタの一覧取得

[概要]

ISMで管理されているクラスタ情報の一覧を取得します。

[形式]

```
GET /resources/clusters
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
BasicClusterInfo	array	クラスタ基本情報
ClusterId	long	クラスタID
CmsId	long	ストレージプールが所属する仮想化管理ソフトウェア（CMS：Cloud Management Software）のID vSANまたはStorage Spaces Directの場合に出力されます。
ClusterType	string	クラスタの動作するハイパーバイザー種類 ・ VMware：VMware vSAN Clusterの場合 ・ Hyper-V：Microsoft Failover Clusterの場合
ClusterName	string	クラスタ名
LatestUpdate	string	情報の最終更新日時
Status	string	クラスタのステータス ・ RED：異常 ・ YELLOW：注意 ・ GRAY：不明 ・ GREEN：正常
PoolId	array	クラスタに所属するストレージプールIDのリスト
Id	long	所属するストレージプールのID
NodeId	array	クラスタに所属するノードIDのリスト
Id	object	クラスタに所属するノードのID情報
resourceId	long	ResourceListサービス内部で管理するクラスタID
nodeId	long	ノードID

4.15.5 クラスタの個別取得

[概要]

指定した{clusterid}のクラスタ情報を取得します。

[形式]

```
GET /resources/clusters/{clusterid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
BasicClusterInfo	object	クラスタ基本情報
ClusterId	long	クラスタID
CmsId	long	ストレージプールが所属する仮想化管理ソフトウェア（CMS：Cloud Management Software）のID vSANまたはStorage Spaces Directの場合に出力されます。

パラメーター	型	説明
ClusterType	string	クラスタの動作するハイパーバイザー種類 ・ VMware：VMware vSAN Cluster ・ Hyper-V：Microsoft Failover Cluster
ClusterName	string	クラスタ名
LatestUpdate	string	情報の最終更新日時
Status	string	クラスタのステータス ・ RED：異常 ・ YELLOW：注意 ・ GRAY：不明 ・ GREEN：正常
PoolId	lsit	クラスタに所属するストレージプールIDのリスト
Id	long	クラスタに所属するストレージプールのID
NodeId	array	クラスタに所属するノードIDのリスト
Id	object	クラスタに所属するノードのID
resourceId	long	ResourceListサービス内部で管理するクラスタID
nodeId	long	ノードID
VariableData	object	クラスタ種類別の情報
ManagedObjectId	string	仮想化管理ソフトウェアのクラスタ管理ID（VMware Managed Object ID） VMwareクラスタの場合に出力されます。
Drs	boolean	VMware DRS機能 ・ true：有効 ・ false：無効 VMwareクラスタの場合に出力されます。
ClusterMode	boolean	vSANクラスタの動作モード ・ true：有効 ・ false：無効 VMwareクラスタの場合に出力されます。
Status	string	クラスタのステータス ・ RED：異常 ・ YELLOW：注意 ・ GRAY：不明 ・ GREEN：正常
Deduplication	boolean	重複排除の状態 ・ true：有効 ・ false：無効
Compression	boolean	圧縮の状態 ・ true：有効 ・ false：無効

パラメーター		型	説明
			VMwareクラスタの場合に出力されます。
	TotalDiskGroupNumber	number	VMwareクラスタの合計ディスクグループ数 VMwareクラスタの場合に出力されます。
	Id	string	クラスタを一意に示すID Microsoft Failover Clusterの場合に出力されます。
	CmsType	string	クラスタが所属しているCMSタイプ ・ MicrosoftFailoverCluster：Microsoft Windows Server ・ MicrosoftFailoverCluster(MAS HCI) : Microsoft Failover Cluster (MAS HCI) Microsoft Failover Clusterの場合に出力されます。
	OwnerNode	string	クラスタのオーナー（プライマリ）ノードの名前 Microsoft Failover Clusterの場合に出力されます。
	GroupStatus	string	クラスタグループのステータス ・ Online：グループ稼働中 ・ Offline：グループ未稼働 ・ Pending：グループ操作中 プライマリノード切り替え中は、Pendingになります。通信できない場合は、Offlineを返します。 Microsoft Failover Clusterの場合に出力されます。
EquipmentInfo		array	クラスタを構成するノード情報
	NodeId	long	ノードID
	NodeGroupId	long	ノードグループID
	NodeStatus	string	ノードステータス
	AlarmStatus	string	ノードのアラームステータス
	NodeName	string	ノード名
	Type	string	ノードの種類
	ComputerName	string	コンピューター名（OS上で設定されたコンピューター名）
	Model	string	ノードのモデル名
	IpAddress	string	ノードのIPアドレス
	IpVersion	string	ノードのIPアドレスバージョン "V4"または"V6"
	OS	string	ノードのOS種類
	MaintenanceMode	integer	メンテナンスモード ・ 0：通常モード ・ 1：メンテナンスモード
	HDD	integer	HDD数 現在は未サポートです。
	SSD	integer	SSD数 現在は未サポートです。
	Condition	string	ノードの状態

パラメーター	型	説明
		[クラスタの種類がVMwareクラスタの場合] ・ 接続状態："CONNECTED" ・ 未接続："DISCONNECTED" ・ レスポンスなし："NOTRESPONDING" [クラスタの種類がMicrosoft Failover Clusterの場合] ・ 不明："Unknown" ・ 未稼働・異常："Down" ・ 正常："Up" ・ 一部機能が使用できない："Paused" ・ クラスタへの組み込み中："Joining"
DrainStatus	string	ドレインステータス ・ NotInitiated：未実施 ・ InProgress：実行中 ・ Completed：完了 ・ Failed：エラー終了 Microsoft Failover Clusterの場合に出力されます。
Description	string	ノードの説明
Firmware	array	ファームウェア情報
Name	string	ファームウェア名
SlotId	string	スロットID
Model	string	ファームウェアモデル
Type	string	ファームウェアタイプ（Card種別/iRMC/BIOS）
FirmwareVersion	string	ファームウェア版数
Slot	string	PCIバススロット番号
Segment	string	PCIバスセグメント番号
Bus	string	PCIバスバス番号
Device	string	PCIバスデバイス番号
Function	string	PCIバスファンクション番号
Version	string	iRMCのバージョン
ParentName	string	親機器名
Unified	string	ユニファイドモデル
DatacenterName	string	搭載されているデータセンター名
DatacenterId	long	搭載されているデータセンターID
FloorName	string	搭載されているフロア名
FloorId	long	搭載されているフロアID
RackName	string	搭載されているラック名
RackId	long	搭載されているラックID
RackPosition	integer	ラック内位置

パラメーター			型	説明
	DiskGroup		array	ディスクグループ情報 VMwareクラスタの場合に出力されます。
		DiskNumber	long	ディスク数
		DiskGroupCapacity	long	ディスクグループ容量

4.15.6 仮想マシンの移動

[概要]

仮想マシンを指定されたノードへ移動します。

処理はタスク管理され、処理結果は「4.16.1 タスクの個別取得」のステータスと完了結果より確認できます。

[形式]

```
POST /resources/virtualmachines/{virtualmachineid}/move
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
To	integer	仮想マシン移動先のホストのノードID
Mode	integer	仮想マシン移動時の動作モードを指定(Microsoft Storage Spaces Directの場合のみ) ・ 1:Live ・ 2:Quick ・ 3:Shutdown ・ 4:ShutdownForce ・ 5:TurnOff キー省略時は「1:Live」指定で実行されます。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	long	タスク管理ID

[注意事項]

- VMwareの仮想マシンを移動する際は、以下の条件が必要です。
  - 移動元のノードと移動先のノードのCPUが同じであること。
  - 同じデータセンター間でのVM移動であること。

4.15.7 仮想マシンの電源投入

[概要]

指定された仮想マシンの電源投入を行います。

処理はタスク管理され、処理結果は「4.16.1 タスクの個別取得」のステータスと完了結果より確認できます。

[形式]

```
POST /resources/virtualmachines/{virtualmachineid}/power/on
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	long	タスク管理ID

4.15.8 仮想マシンの電源切断

[概要]

指定された仮想マシンの電源切断を行います。

処理はタスク管理され、処理結果は「4.16.1 タスクの個別取得」のステータスと完了結果より確認できます。

[形式]

```
POST /resources/virtualmachines/{virtualmachineid}/power/off
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
OperationType	integer	仮想マシンの電源切断方法を指定します。 ・ Shutdown：シャットダウン ・ PowerOff：電源切断 キー省略時は「Shutdown」指定で実行されます。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	long	タスク管理ID

4.15.9 ノードの再起動

[概要]

ストレージプールを構成するノードを指定して、再起動を行います。

処理結果は、「4.16.1 タスクの個別取得」のステータスと完了結果より確認します。

[形式]

```
POST /resources/nodes/{nodeid}/restart
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	long	タスク管理ID

[注意事項]

- 指定するノードがメンテナンスモード状態であることが必要です。

4.15.10 ノードのメンテナンスモード設定

[概要]

ストレージプールを構成するノードを指定して、メンテナンスモードの設定を行います。

処理はタスク管理され、処理結果は「4.16.1 タスクの個別取得」のステータスと完了結果より確認できます。

[形式]

```
POST /resources/nodes/{nodeid}/cmsmaintenancemode/set
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Mode	integer	メンテナンスモードの動作設定 [VMware vSANの場合] ・ 1:アクセシビリティの確保 ・ 2:全データの移行 ・ 3:データの移行なし [Microsoft Storage Spaces Directの場合] ・ 1:すべての仮想マシンをクラスタ内の他のホストに移動 ・ 2:実行中のすべての仮想マシンを保存された状態にする キーが省略された場合は、1が選択されたものとして動作します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	long	タスク管理ID

4.15.11 ノードのメンテナンスモード解除

[概要]

ストレージプールを構成するノードを指定して、メンテナンスモードの解除を行います。

処理結果は、「4.16.1 タスクの個別取得」のステータスと完了結果より確認します。

[形式]

```
POST /resources/nodes/{nodeid}/cmsmaintenancemode/unset
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	long	タスク管理ID

4.15.12 ストレージプールの履歴情報取得

[概要]

指定した{storagepoolid}のストレージプールの履歴情報を取得します。

[形式]

```
POST /resources/storagepools/{storagepoolid}/history
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
UpdateDateList	array	取得したい履歴の日付のリスト
UpdateDate	string	取得したい履歴の日付（YYYY-MM-DD：年-月-日）

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
StoragePoolInfoList	array	ストレージプールの履歴情報リスト
BasicStoragePoolInfo	object	ストレージプール基本情報
PoolId	long	ストレージプールID
CmsId	long	ストレージプールが所属する仮想化管理ソフトウェア（CMS：Cloud Management Software）のID vSANまたはStorage Spaces Directの場合に出力されます。
NodeId	long	ノードID

パラメーター	型	説明
		ETERNUS RAIDグループの場合に出力されます。
PoolStatus	string	ストレージプールのステータス ・ RED：異常 ・ YELLOW：注意 ・ GRAY：不明 ・ GREEN：正常
PoolName	string	ストレージプール名
PoolType	string	ストレージプールの種類 ・ VSAN："VMware Virtual SAN" ・ S2D："Microsoft Storage Spaces Direct" ・ ETERNUS DX："ETERNUS DX" ・ ETERNUS AF："ETERNUS AF"
TotalCapacity	long	ストレージプールの合計容量
FreeCapacity	long	ストレージプールの空き容量
NotAllocatedCapacity	long	ストレージプールの未割り当て容量 Storage Spaces Directの場合に出力されます。
UsedCapacity	long	ストレージプールの使用容量
UsedRate	short	ストレージプールの使用率
LatestUpdate	string	情報の最新取得日時
VariableData	object	ストレージプール種類別の固有情報
Url	string	データストアのURL vSANの場合に出力されます。
ManagedObjectId	string	仮想化管理ソフトウェアのデータストア管理ID（VMware Managed Object ID） vSANの場合に出力されます。
Version	string	バージョン vSANまたはStorage Spaces Directの場合に出力されます。
Availability	string	可用性
Iops	integer	IOPS 現在は未サポートです。
Throughput	integer	スループット vSANまたはStorage Spaces Directの場合に出力されます。
Response	integer	レスポンス 現在は未サポートです。
AcceptableFailure	integer	許容される障害数 vSANの場合に出力されます。 現在は未サポートです。
DiskStriping	integer	ディスクストライプ数 vSANの場合に出力されます。

パラメーター			型	説明
				現在は未サポートです。
		ObjectSpaceReserve	integer	オブジェクトスペースの予約 vSANの場合に出力されます。 現在は未サポートです。
		FlashCache	integer	フラッシュ読み取りに割り当てるキャッシュ量 vSANの場合に出力されます。 現在は未サポートです。
		Provisioning	boolean	強制プロビジョニング vSANの場合に出力されます。 現在は未サポートです。
		ClusterId	long	ストレージプールが属するクラスタのID vSANまたはStorage Spaces Directの場合に出力されます。
		UniqueId	string	ストレージプールを一意に示すID Storage Spaces Directの場合に出力されます。
		Deduplication	boolean	重複排除 Storage Spaces Directの場合に出力されます。

4.15.13 ノードのシャットダウン

[概要]

ストレージプールを構成するノードを指定して、シャットダウンを行います。

処理結果は、「4.16.1 タスクの個別取得」のステータスと完了結果より確認します。

[形式]

```
POST /resources/nodes/{nodeid}/shutdown
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	long	タスク管理ID

4.16 タスク管理機能

4.16.1 タスクの個別取得

[概要]

指定したタスクの情報を取得します。

[形式]

```
GET /tasks/{taskid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TaskId	string	タスクID
ServiceName	string	発行元サービス名
TaskType	string	タスクタイプ
TimeStampInfo	object	タイムスタンプ情報
Register	string	タスク登録日時
Update	string	タスク更新日時
ProgressNumerator	integer	タスクの進捗状況の分子
ProgressDenominator	integer	タスクの進捗状況の分母
Status	string	タスクステータス ・ Wait:受付済 ・ Running:実行中 ・ Complete:完了 ・ Cancel-Running:キャンセル実行中 ・ Cancel-Complete:キャンセル完了
Result	string	タスク完了結果 ・ Undecided:実行中 ・ Success:成功 ・ Error:失敗
CancelUri	string	中止時URI
UserName	string	ユーザー名
SubTaskInfoList	array	サブタスク情報リスト
SubTaskId	string	サブタスクID
TimeStampInfo	object	タイムスタンプ情報
Register	string	サブタスク登録日時
Update	string	サブタスク更新日時
ProgressNumerator	integer	サブタスクの進捗状況の分子
ProgressDenominator	integer	サブタスクの進捗状況の分母
Status	string	サブタスクステータス ・ Running:実行中 ・ Complete:完了 ・ Cancel-Running:キャンセル実行中 ・ Cancel-Complete:キャンセル完了

パラメーター		型	説明
	Result	string	サブタスク完了結果 ・ Undecided：実行中 ・ Success：成功 ・ Error：失敗
	TargetNode	string	サブタスク対象文字列
	Message	string	メッセージ
	Action	string	対処内容
	ResourceIdType	string	リソースIDタイプ
	ResourceId	integer	リソースID

4.16.2 タスクの一覧取得

[概要]

タスク一覧を取得します。

[形式]

```
GET /tasks
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
servicename	string	発行元サービス名を使用した絞り込み
tasktype	string	タスクタイプを使用した絞り込み
start	string	タスク登録日時の開始日時を使用した絞り込み
end	string	タスク登録日時の終了日時を使用した絞り込み
taskstatus	string	タスクステータスを使用した絞り込み
taskresult	string	タスク完了結果を使用した絞り込み
continuekey	string	継続読み出しキー
resourceidtype	string	リソースIDタイプを使用した絞り込み
resourceid	integer	リソースIDを使用した絞り込み

[レスポンスパラメーター]

パラメーター			型	説明
TaskInfoList			array	タスク情報 リスト
	TaskId		string	タスクID
	ServiceName		string	発行元サービス名
	TaskType		string	タスクタイプ
	TimeStampInfo		object	タイムスタンプ情報
		Register	string	タスク登録日時
		Update	string	タスク更新日時
	ProgressNumerator		integer	タスクの進捗状況の分子

パラメーター		型	説明
	ProgressDenominator	integer	タスクの進捗状況の分母
	Status	string	タスクステータス ・ Wait:受付済 ・ Running:実行中 ・ Complete:完了 ・ Cancel-Running:キャンセル実行中 ・ Cancel-Complete:キャンセル完了
	Result	string	タスク完了結果 ・ Undecided:実行中 ・ Success:成功 ・ Error:失敗
	UserName	string	ユーザー名
ContinueKey		string	継続読み出しキー
RowCounter		integer	総検索件数

[注意事項]

- クエリパラメーターがすべて省略された場合、ユーザーが実行するすべてのタスク情報が対象になります。
- クエリパラメーターで同一キーが複数指定された場合、最後の指定が有効になります。
  絞り込みを行う場合、「4.16.2 タスクの一覧取得」および「4.16.1 タスクの個別取得」の該当する出力結果の値を、クエリパラメーターの設定値として指定してください。
- 対象となるタスク情報が存在しない場合、0 件のタスク情報が出力されます。
- 対象となるタスク情報が1000件を超える場合、タスク登録日時の新しい順に 1000件まで出力されます。
- 絞り込み条件を変えずに、出力結果の"ContinueKey(継続読み出しキー)"の値を、クエリパラメーターの"continuekey(継続読み出しキー)"の設定値として指定することで、続きのタスク情報が出力されます。

4.17 ISM-VA管理機能

4.17.1 VA操作権の取得と解放

[概要]

VA操作権の取得と解放を行います。

[形式]

```
POST /ismva/privilege
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Mode	string	VA操作権モード

パラメーター	型	説明
		VA操作権の取得/解放を指定します。 ・ Get：VA操作権を取得します。 ・ Release：VA操作権を解放します。
Password	string	パスワード 暗号化したパスワードを指定します。暗号化の方法は「2.4 暗号化」を参照してください。 なお、復号結果が80文字以内となる暗号化文字列を指定してください。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Result	string	処理結果 ・ OK： ・ NG：

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 以下のAPIは、事前に本APIでVA操作権を取得する必要があります。VA操作権を取得していない場合、権限エラーとなります。
  - 4.2.1 ライセンスの設定
  - 4.2.3 ライセンス削除
  - 4.2.4 ライセンスの置換え
  - 4.17.5 ISM-VAシステム情報設定
  - 4.17.7 プラグイン適用
  - 4.17.8 修正適用
  - 4.17.10 プラグイン削除
  - 4.17.15 ロケール/キーマップ設定
  - 4.17.19 時刻情報設定
  - 4.17.22 LVMボリューム作成
  - 4.17.23 ユーザーグループのLVMボリューム割当て
  - 4.17.24 ユーザーグループのLVMボリューム割当て解除
  - 4.17.25 LVMボリューム削除
  - 4.17.26 LVMボリューム拡張
  - 4.17.28 SSL証明書配置
  - 4.17.31 ISM-VA内部DHCPサーバー設定
  - 4.17.33 ドメイン設定初期化
  - 4.17.34 ドメイン設定追加
  - 4.17.35 ドメイン設定を1つ前の状態に戻す
  - 4.17.37 ISM-VAの再起動

- 4.17.38 ISM-VAの停止
- 4.17.43 ISMバックアップの実行
- 4.17.44 ISMリストアの実行

・ 最初にVA操作権に設定されているパスワードは、各ユーザーのログインパスワードと同じです。

4.17.2 VA操作権のパスワード変更

[概要]

VA操作権のパスワード変更を行います。

[形式]

```
PATCH /ismva/privilege/settings
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
User		object	ユーザー情報
	UserName	string	ユーザー名 ユーザー名を空白に設定した場合、Administratorグループに属し、ユーザーロールがAdministratorのユーザーすべてに以下の値を設定します。
	PasswordPolicy	string	VA操作権モード VA操作権を常にユーザーに付与するかどうかを指定します。 ・ Disable：VA操作権を永続的に付与します。 ・ Enable：永続的に付与した操作権を解放します。
	Password	string	パスワード 暗号化したパスワードを指定します。暗号化の方法は「2.4 暗号化」を参照してください。 なお、復号結果が80文字以内となる暗号化文字列を指定してください。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
User		object	ユーザー情報
	UserName	string	ユーザー名
	PasswordPolicy	string	VA操作権モード
	Password	string	パスワード

[注意事項]

・ Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。

・ リクエストパラメーターについての注意事項を以下に示します。

ー パラメーターの省略は、そのパラメーターの内容は変更しないことを意味します。

ー パラメーターをnullと指定すると、そのパラメーターの内容をすべて削除することを意味します。

・ 出力データは、省略したリクエストパラメーターに該当する内容も含めてすべて出力します。

4.17.3 VA操作権情報表示

[概要]

VA操作権の情報を表示します。

[形式]

```
GET /ismva/privilege/settings
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserName	string	ユーザー名 指定なしの場合、Administratorグループ内の全ユーザーの情報が表示されます。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Users		object	ユーザー情報
	UserName	string	ユーザー名
	LastAccess	string	最終アクセス日時 最終アクセス日時が出力されます。
	Modified	string	更新日時 更新日時が出力されます。
	Status	string	状況 VA操作権情報の設定が出力されます。 ・ EternalValid：VA操作権が常に付与されています。 ・ PasswordValid：VA操作権のパスワードが設定されています。 ・ PasswordInValid：VA操作権のパスワードが設定されていません。

[注意事項]

・ Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。

4.17.4 ISM-VAシステム情報表示

[概要]

ISM-VAシステム情報を表示します。

[形式]

```
GET /ismva/settings
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
System	object	システム情報
ISM Version	string	バージョン情報
GUIPortNumber	string	GUIポート番号
HostName	string	ISM-VAのホスト名
Log Level	string	ログレベル ・ small ・ medium ・ large
PluginList	object	プラグイン情報
Name	string	プラグイン名
VL	string	VL
DebugMode	string	デバッグモード ・ Enable：デバッグモードをセット ・ Disable：デバッグモードを解除（初期値）
DebugServiceList	array(string)	デバッグモードのサービス デバッグモードとなるサービス名を配列で出力します。 デバッグモードでない場合、本キーは省略されます。

[注意事項]

- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - ー システム情報の表示：ismadm system show

4.17.5 ISM-VAシステム情報設定

[概要]

ISM-VAシステム情報を設定します。

[形式]

```
PATCH /ismva/settings
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
System	object	システム情報
GUIPortNumber	string	GUIポート番号
HostName	string	ISM-VAのホスト名
Log Level	string	ログレベル ・ small ・ medium ・ large
DebugMode	string	デバッグモード ・ Enable:デバッグモードをセット ・ Disable:デバッグモードを解除
DebugServiceList	array(string)	デバッグモードのサービス デバッグモードにするサービス名を配列で指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
System	object	システム情報
ISM Version	string	バージョン情報
GUIPortNumber	string	GUIポート番号
HostName	string	ISM-VAのホスト名
Log Level	string	ログレベル ・ small ・ medium ・ large
PluginList	object	プラグイン情報
Name	string	プラグイン名
VL	string	VL
DebugMode	string	デバッグモード ・ Enable:デバッグモードをセット ・ Disable:デバッグモードを解除
DebugServiceList	array(string)	デバッグモードのサービス デバッグモードとなるサービス名を配列で出力します。 デバッグモードでない場合、本キーは省略されます。
Restart	string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 ・ ISM-VA:ISM-VAの再起動が必要 ・ ISM-Service:ISMサービスの再起動が必要 ・ null:再起動の必要はない

パラメーター	型	説明
		上記で、ISM-VA、ISM-Serviceが出力された場合、本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - ISM公開サービスポート変更:ismadm service modify
  - ホスト名変更:ismadm system modify
  - 障害調査ログ切替え:ismadm system set-debug-flag
  - 障害調査ログレベル切替え:ismadm system change-log-level
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.6 保守ログ採取

[概要]

ISM-VAの保守ログを採取します。

[形式]

```
POST /system/snap
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
MaintenanceData	object	保守データ
Directory	string	出力先ディレクトリーを指定 同期モードによって指定が変わります。 ・ Syncの場合 Administratorディレクトリーのftpディレクトリーからの出力先を指定してください。 キー省略時、""、nullの場合、/Administrator/ftpが出力先となります。 ・ Asyncの場合 ユーザーグループ名からの相対パスを指定します。指定可能なパスは、以下の2種類です。 － /＜ユーザーグループ名＞/ftp/～ － /＜ユーザーグループ名＞/transfer/～
Mode	string	モード 以下のどちらかを指定してください。 ・ "Part":（初期値） ・ "Full":詳細情報を出力

パラメーター	型	説明
		null、""の場合、初期値が指定されたものとします。
SyncMode	string	同期モード 保守資料が大きい場合、同期モードではAPIのレスポンス完了まで取得できず、タイムアウトエラーとなります。この場合、Asyncモードで本APIを実行してください。 ・ Sync:同期実行(初期値) ・ Async:非同期実行
Period	object	採取期間
From	string	開始日 YYYYMMDD:年月日を、ローカルタイムで指定してください。
To	string	終了日 YYYYMMDD:年月日を、ローカルタイムで指定してください。
Offset	string	タイムゾーン 上記ローカルタイムの時間帯(UTC時刻との差)を指定してください。 例)+0900:日本、+0000:UTC、-0100、+1030など

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
MaintenanceData	object	保守データ
Path	string	出力ファイルのパス 出力ファイルのパスが出力されます。 ・ 同期モードで実行時 /<リクエストパラメーターで指定したDirectory>/ismsnap-YYYYMMDDHHMMSS.zip YYYYMMDDHHMMSS:ローカルタイム 例) "Path": "Administrator/ftp/test/ismsnap-20170927170755.zip" ・ 非同期モードで実行時 ""が出力されます。 非同期モードの場合、本API実行後、タスク完了後にファイルが以下の名前で生成されます。 /<リクエストパラメーターで指定したDirectory>/ismsnap-XXXX-YYYYMMDDHHMMSS.zip YYYYMMDDHHMMSS:ローカルタイム XXXX:タスクID 例) "Administrator/transfer/ismsnap-0100-20170927170755.zip"
Mode	string	モード

パラメーター		型	説明
			指定したモードが出力されます。
	SyncMode	string	同期モード 指定したモードが出力されます。
	TaskId	string	タスクID 非同期モードで実行した場合、タスクIDが出力されます。 それ以外はnullが出力されます。
Restart		string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 null：再起動の必要はない

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - 保守ログ採取：ismadm system snap

4.17.7 プラグイン適用

[概要]

プラグインを適用します。

[形式]

```
POST /ismva/settings/plugin/add
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
Plugin		object	プラグイン情報
	File	string	適用するプラグインのファイルを指定 Administratorディレクトリーのftpディレクトリーからのファイルパスを指定してください。
	ExecuteFile	string	プラグインファイルに含まれる任意のプログラムを実行 null、""およびキー省略時は、どのプログラムも実行しません。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Plugin		object	プラグイン情報
	Result	string	処理結果
	Output	string	実行ファイルの結果を出力 適用されたプラグインが実行した結果のパス名が出力されます。

パラメーター	型	説明
		/varesult/varesultXXXX XXXX：日時 出力結果がない場合は、キー省略されます。
Restart	string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 Auto：本API実行後、自動的に再起動されます。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - プラグイン適用：ismadm system plugin-add
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.8 修正適用

[概要]

修正の適用を行います。

[形式]

```
POST /ismva/settings/patch/add
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Patch	object	修正情報
File	string	実施する修正のファイルを指定します。 ・ MountIdを省略した場合 Administratorディレクトリーのftpディレクトリーからのファイルパスを指定してください。 ・ MoundIdを指定した場合 マウントポジションからの相対パスを指定してください。
DeleteFtpResource	boolean	ftpリソースファイルの削除指定 ・ MountIdを省略した場合 trueの場合、修正適用後、Fileで指定したファイルを削除します。 ・ MountIdが指定されている場合 Fileで指定したファイルは削除しません。
MountId	string	共有ディレクトリのマウントID

パラメーター	型	説明
		ISM外の共有ディレクトリ上の修正パッチを適用する場合に指定します。
Mode	string	適用モード ・ GUICheck：チェックモード。指定されたファイルをチェックします。 ・ GUIApply：適用モード。指定されたファイルを適用します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター			型	説明
Patch			object	修正情報
	Result		string	処理結果
	PatchDetail		object	パッチ内容 適用モードがGUICheckの場合、指定したパッチファイルの内容を出力します。
		Type	string	パッチ種別
		OldVersion	string	適用前版数
		NewVersion	string	適用後版数

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.9 プラグイン表示

[概要]

プラグイン情報を表示します。

[形式]

```
GET /ismva/settings/plugin
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Output		string	表示結果を出力
PluginList		object	プラグイン情報
	Name	string	プラグイン名
	VL	string	VL

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。

・ 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。

ー プラグイン表示：ismadm system plugin-show

4.17.10 プラグイン削除

[概要]

プラグインを削除します。

[形式]

```
POST /ismva/settings/plugin/delete
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Name	string	プラグイン名 削除するプラグイン名を指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Output	string	表示結果を出力
Restart	string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 ・ ISM-VA：ISM-VAの再起動が必要 ・ ISM-Service：ISMサービスの再起動が必要 上記で、ISM-VA、ISM-Serviceが出力された場合、本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

・ Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。

・ 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。

ー プラグイン削除：ismadm system plugin-del

・ 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.11 ISM-VAのログイン状況表示

[概要]

ISM-VAのシステムのログイン状況を取得します。

[形式]

```
GET /ismva/loginstatus
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
ISMLoginUsers		array	ISMログイン情報
	User	string	ユーザー名
SSHLoginUsers		array	ISMログイン情報
	User	string	ユーザー名
	IpAddress	string	IPアドレス
FTPLoginUsers		array	ISMログイン情報
	User	string	ユーザー名
	IpAddress	string	IPアドレス

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。

4.17.12 再起動前操作結果表示

[概要]

再起動前操作結果を表示します。

[形式]

```
GET /ismva/settings/result
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
Time	string	時刻 表示する結果の処理時刻 指定がない場合は、最新の処理結果を表示します。 時刻は、yyyy-mm-dd hh:mm:ssの形式で1つ指定できます。 本指定値より新しい結果を表示します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Output	string	処理結果 以下の実行結果の内容が出力されます。 /varesult/varesultXXXX XXXX: 日時

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。

4.17.13 Webサーバーログ出力

[概要]

Webサーバーログのhttps通信ログを出力します。

[形式]

```
POST /ismva/webserverlog/export
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Directory	string	出力先ディレクトリー Administratorディレクトリーのftpディレクトリーからのパスを指定してください。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
LogData	object	ログ情報
Path	string	出力ファイルのパス 指定したディレクトリーの保存したファイルへのパスが出力されます。 /<リクエストパラメーターで指定したDirectory>/weblogYYYYMMDDHHMMSS.tar.gz
Restart	string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 null：再起動の必要はない

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- ログは、最新5週間のものが出力されます。

4.17.14 ロケール/キーマップ表示

[概要]

設定されているロケール/キーマップを表示します。

[形式]

```
GET /ismva/settings/locale
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
LocaleSetting		object	ロケール情報
	Locale	string	ロケール
	Keymap	string	キーマップ

[注意事項]

・ 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。

ー ロケール/キーマップ表示:ismadm locale show

4.17.15 ロケール/キーマップ設定

[概要]

ロケール/キーマップを設定します。

[形式]

```
PATCH /ismva/settings/locale
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
LocaleSetting		object	ロケール情報
	Locale	string	ロケールを指定 設定するロケールを指定します。 ロケール一覧の出力結果を指定します。
	Keymap	string	キーマップを指定 設定するキーマップを指定します。 キーマップ一覧の出力結果を指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
LocaleSetting		object	ロケール情報
	Locale	string	ロケール
	Keymap	string	キーマップ
Restart		string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 ISM-VA:ISM-VAの再起動が必要 本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- Localeパラメーター、Keymapパラメーターのどちらかが指定されている必要があります。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - ロケール設定:ismadm locale set-locale
  - キーマップ設定:ismadm locale set-keymap
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.16 設定可能ロケール表示

[概要]

設定可能ロケールの一覧が表示されます。

[形式]

```
GET /ismva/settings/locale/list
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
LocaleList	array(string)	ロケールが配列で出力されます。

[注意事項]

- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - 設定可能ロケール表示:ismadm locale list-locales

4.17.17 設定可能キーマップ表示

[概要]

設定可能キーマップの一覧が表示されます。

[形式]

```
GET /ismva/settings/locale/keymap/list
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
KeymapList	array(string)	キーマップが配列で出力されます。

[注意事項]

- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - 設定可能キーマップ表示:ismadm locale list-keymaps

4.17.18 時刻情報表示

[概要]

ISMの時刻情報を表示します。

[形式]

```
GET /ismva/settings/time
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
OutputMode	string	出力モード 出力モードを指定します。 ・ All:すべて出力 ・ VA:曜日を含む形式で現在時刻のみ出力 ・ API(初期値):曜日を含まない形式で現在時刻のみ出力

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Time		object	時間情報
	LocalTime	string	ローカルタイム 出力形式は以下のとおりです。 ・ OutputMode=AllまたはVAの場合 曜日 年-月-日 時:分:秒 タイムゾーン 例)Wed 2017-02-01 15:19:50 JST ・ OutputMode=APIの場合 年-月-日T時:分:秒.nnn UTCとの時差 例)2017-02-01T15:19:50.000+09:00
	UniversalTime	string	UTC時刻 UTC時刻を出力します。 ・ OutputMode=AllまたはVAの場合 曜日 年-月-日 時:分:秒 UTC 例)Wed 2017-02-01 06:19:50 UTC ・ OutputMode=APIの場合 年-月-日T時:分:秒.nnnZ 例)2017-02-01T06:19:50.000Z
	Timezone	string	タイムゾーン 例)

パラメーター	型	説明
		Asia/Tokyo (JST, +0900) UTC (UTC, +0000)
NTP	object	NTP情報 OutputModeがAllのときのみ出力されます。
NTPenabled	string	NTPサーバーの有効/無効 NTPサーバーの有効/無効が出力されます。 ・ Disabled：NTPサーバー無効 ・ Enabled：NTPサーバー有効
NTPsynchronized	string	NTPサーバーとの同期の有無 NTPサーバーとの同期の有無を出力します。 ・ no：同期なし ・ yes：同期あり
RTCinlocalTZ	string	リアルタイムクロックのタイムゾーン設定
DSTactive	string	夏時間の設定 ・ yes：夏時間の期間 ・ no：夏時間の期間外 ・ n/a：夏時間の設定がないタイムゾーン
LastDSTChange	string	直前の夏時間変更情報 ・ DSTactive: yesの場合、直前に開始した夏時間開始時の時刻情報 例） DST began at Sun 2017-03-12 01:59:59 CST Sun 2017-03-12 03:00:00 CDT ・ DSTactive: noの場合、直前に終了した夏時間終了時の時刻情報 例） DST ended at Sun 2016-11-06 01:59:59 EDT Sun 2016-11-06 01:00:00 EST
NextDSTChange	string	次の夏時間変更情報 ・ DSTactive: yesの場合、次に夏時間終了時の時刻情報 例） DST ends (the clock jumps one hour backwards) at Sun 2017-11-05 01:59:59 CDT Sun 2017-11-05 01:00:00 CST ・ DSTactive: noの場合、次の夏時間開始時の時刻情報 例） DST begins (the clock jumps one hour forward) at Sun 2017-03-12 01:59:59 EST Sun 2017-03-12 03:00:00 EDT

パラメーター	型	説明
NTPStatus	string	NTPサーバー状況 以下が出力されます。 ・ NTPサーバー未設定の場合 506 Cannot talk to daemon ・ NTPサーバー設定済の場合 210 Number of sources = n (登録サーバー数)
NTPServerList	array	NTPサーバー
Type	string	種類 NTP種類が以下の種類で出力されます。 ・ Server:サーバー
Status	string	状況 現在の状況が通知されます。 ・ *:同期対象 ・ +:同期対象候補 ・ -:同期対象外 ・ ?:対象検証中
Name	string	ホスト名 ホスト名かIPアドレス
Stratum	string	階層 NTPサーバーの階層
Poll	string	問い合わせ間隔 問い合わせ間隔(秒数) 元データ(2を底とする問い合わせ間隔(秒)の対数。2をPollの値で累乗した値が問い合わせ間隔)を変換した値
Reach	string	問い合わせ結果 最近8回の問い合わせが成功したかどうかを8進数で表したもの
LastRx	string	前回問合せ どれくらい前に前回問い合わせが行われたか
LastSample	string	ずれ 前回測定時の時刻のずれ。[]内はslew調整分を除いたもの。+/-以降は測定誤差マージン

[注意事項]

・ 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。

ー 時刻設定表示:ismadm time show

4.17.19 時刻情報設定

[概要]

ISMの時刻情報を設定します。

[形式]

```
PATCH /ismva/settings/time
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Time	object	時間情報
Timezone	string	設定タイムゾーン名 設定するタイムゾーン名を指定します。タイムゾーン一覧から設定します。 nullの場合、初期値を設定します。 キー省略した場合は、値を設定しません。
Time	string	設定時刻 設定する時刻を指定します。 キー省略した場合は、値を設定しません。
NTP	object	NTP情報
NTPenabled	string	NTPサーバーの有効/無効 NTPサーバー設定の有効無効を指定します。 ・ Disabled:NTPサーバー無効 ・ Enabled:NTPサーバー有効
NTPServerList	array	NTPサーバー
Name	string	ホスト名 ホスト名かIPアドレス
Mode	string	モード Nameで指定したサーバーの処理モードを指定します。 ・ Add:サーバーを追加する。 ・ Delete:サーバーを削除する。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Time	object	時間情報
LocalTime	string	ローカルタイム 出力形式は以下のとおりです。 ・ OutputMode=AllまたはVAの場合 曜日 年-月-日 時:分:秒 タイムゾーン 例）Wed 2017-02-01 15:19:50 JST

パラメーター	型	説明
		・ OutputMode=APIの場合 年-月-日T時:分:秒.nnn UTCとの時差 例）2017-02-01T15:19:50.000+09:00
UniversalTime	string	UTC時刻 UTC時刻を出力します。 ・ OutputMode=AllまたはVAの場合 曜日 年-月-日 時:分:秒 UTC 例）Wed 2017-02-01 06:19:50 UTC ・ OutputMode=APIの場合 年-月-日T時:分:秒.nnnZ 例）2017-02-01T06:19:50.000Z
Timezone	string	タイムゾーン 例） Asia/Tokyo (JST, +0900) UTC (UTC, +0000)
NTP	object	NTP情報 OutputModeがAllのときのみ出力されます。
NTPenabled	string	NTPサーバーの有効/無効 NTPサーバーの有効/無効が出力されます。 ・ Disabled：NTPサーバー無効 ・ Enabled：NTPサーバー有効
NTPsynchronized	string	NTPサーバーとの同期の有無 NTPサーバーとの同期の有無を出力します。 ・ no：同期なし ・ yes：同期あり
RTCinlocalTZ	string	リアルタイムクロックのタイムゾーン設定
DSTactive	string	夏時間の設定 ・ yes：夏時間の期間 ・ no：夏時間の期間外 ・ n/a：夏時間の設定がないタイムゾーン
LastDSTChange	string	直前の夏時間変更情報 ・ DSTactive: yesの場合、直前に開始した夏時間開始時の時刻情報 例） DST began at Sun 2017-03-12 01:59:59 CST Sun 2017-03-12 03:00:00 CDT ・ DSTactive: noの場合、直前に終了した夏時間終了時の時刻情報 例）

パラメーター	型	説明
		DST ended at Sun 2016-11-06 01:59:59 EDT Sun 2016-11-06 01:00:00 EST
NextDSTChange	string	次の夏時間変更情報 ・ DSTactive: yesの場合、次に夏時間終了時の時刻情報 例） DST ends (the clock jumps one hour backwards) at Sun 2017-11-05 01:59:59 CDT Sun 2017-11-05 01:00:00 CST ・ DSTactive: noの場合、次の夏時間開始時の時刻情報 例） DST begins (the clock jumps one hour forward) at Sun 2017-03-12 01:59:59 EST Sun 2017-03-12 03:00:00 EDT
NTPStatus	string	NTPサーバー状況 以下が出力されます。 ・ NTPサーバー未設定の場合 506 Cannot talk to daemon ・ NTPサーバー設定済の場合 210 Number of sources = n (登録サーバー数)
NTPServerList	array	NTPサーバー
Type	string	種類 NTP種類が以下の種類で出力されます。 ・ Server:サーバー
Status	string	状況 現在の状況が通知されます。 ・ *:同期対象 ・ +:同期対象候補 ・ -:同期対象外 ・ ?:対象検証中
Name	string	ホスト名 ホスト名かIPアドレス
Stratum	string	階層 NTPサーバーの階層
Poll	string	問い合わせ間隔 問い合わせ間隔（秒数） 元データ（2を底とする問い合わせ間隔（秒）の対数。2をPollの値で累乗した値が問い合わせ間隔）を変換した値
Reach	string	問い合わせ結果 最近8回の問い合わせが成功したかどうかを8進数で表したもの

パラメーター	型	説明
LastRx	string	前回問合せ どれくらい前に前回問い合わせが行われたか
LastSample	string	ずれ 前回測定時の時刻のずれ。[]内はslew調整分を除いたもの。 +/-以降は測定誤差マージン
Restart	string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 ISM-VA:ISM-VAの再起動が必要 本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - 日時/時刻設定:ismadm time set-time
  - タイムゾーン設定:ismadm time set-timezone
  - NTP同期有効/無効設定:ismadm time set-ntp
  - NTPサーバー追加:ismadm time add-ntpserver
  - NTPサーバー削除:ismadm time del-ntpserver
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。
- 時刻の設定と、NTPサーバーの設定を同時に行うとエラーとなることがあります。

4.17.20 設定可能タイムゾーン表示

[概要]

設定可能タイムゾーン一覧を表示します。

[形式]

```
GET /ismva/settings/timezone
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TimezoneList	array(string)	タイムゾーン一覧 タイムゾーンが配列で出力されます。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - 設定可能タイムゾーン表示:ismadm time list-timezones

4.17.21 ボリューム設定表示

[概要]

ボリュームの設定情報を表示します。

[形式]

```
GET /ismva/settings/volume
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Output	string	出力結果 コマンド出力結果をそのまま出力します。
FilesystemList	object	ファイルシステム情報リスト
Size	string	全体サイズ 単位、G,Mなど自動的に設定されます。 空きディスクの場合、nullが設定されます。
Used	string	使用サイズ 単位、G,Mなど自動的に設定されます。 空きディスクの場合、nullが設定されます。
Avail	string	空きサイズ 単位、G,Mなど自動的に設定されます。 空きディスクの場合、nullが設定されます。
UseRate	string	使用率% 空きディスクの場合、nullが設定されます。
MountedOn	string	マウントディレクトリー 空きディスクの場合、nullが設定されます。
UserGroupName	string	ユーザーグループ名 ユーザーグループに割り当てられている場合に出力されます。 ユーザーグループに割り当てられていない場合は、nullが出力されます。
VolumeList	object	ボリューム情報リスト
DeviceName	string	ディスク名
VolumeName	string	ボリューム名
DeviceSize	string	サイズ
FreeDeviceList	array	空き装置情報リスト
DeviceName	string	ディスク名
DirectoryList	object	ディレクトリー情報リスト
DirectoryType	string	ディレクトリーの種別を通知されます。 ・ Log:ログ全体

パラメーター		型	説明
			・ IsmLog:ISMのRASログ全体 ・ Repository:リポジトリ ・ UserGroup
	DirectoryName	string	ディレクトリー名が通知されます。 ディレクトリー名は、以下が通知されます。 ・ Log:"ISM-VA Log" ・ IsmLog:"ISM RasLog" ・ Repository:"Repository" ・ ユーザーグループ名
	DirectorySize	string	上記ディレクトリー名のサイズ ユーザーグループの場合、ユーザーグループの詳細に出力される使用サイズと一致する値です。Usedで示されるサイズとは異なります。

[注意事項]

・ 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。

ー ボリューム設定表示:ismadm volume show

4.17.22 LVMボリューム作成

[概要]

LVMボリュームを作成します。

[形式]

```
POST /ismva/settings/volume
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
Volume		object	ボリューム情報
	VolumeName	string	ボリューム名
	DeviceName	string	仮想ディスクのデバイス名

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Volume		object	ボリューム情報
	VolumeName	string	ボリューム名
	DeviceName	string	仮想ディスクのデバイス名
Restart		string	本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。

パラメーター	型	説明
		ISM-VA:ISM-VAの再起動が必要 本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - LVMボリューム追加:ismadm volume add
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.23 ユーザーグループのLVMボリューム割当て

[概要]

指定したユーザーグループにLVMボリュームを割り当てます。

[形式]

```
POST /ismva/settings/volume/mount
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
Volume		object	ボリューム情報
	VolumeName	string	ボリューム名
	UserGroupName	string	ユーザーグループ名

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Volume		object	ボリューム情報
	VolumeName	string	ボリューム名
	UserGroupName	string	ユーザーグループ名
Restart		string	本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 ・ ISM-VA:ISM-VAの再起動が必要 ・ ISM-Service:ISMサービスの再起動が必要 ・ null:再起動の必要はない 上記で、ISM-VA、ISM-Serviceが出力された場合、本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。

・ 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。

　ー ユーザーグループにLVMボリューム割当て：ismadm volume mount

・ 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.24 ユーザーグループのLVMボリューム割当て解除

[概要]

指定したユーザーグループのLVMボリューム割当てを解除します。

[形式]

```
POST /ismva/settings/volume/umount
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserGroupName	string	ユーザーグループ名

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Volume		object	割り当てられていたボリューム情報
	VolumeName	string	ボリューム名
	UserGroupName	string	ユーザーグループ名
Restart		string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 ・ ISM-VA：ISM-VAの再起動が必要 ・ ISM-Service：ISMサービスの再起動が必要 ・ null：再起動の必要はない 上記で、ISM-VA、ISM-Serviceが出力された場合、本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

・ Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。

・ 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。

　ー ユーザーグループのLVMボリューム割当て解除：ismadm volume umount

・ 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.25 LVMボリューム削除

[概要]

LVMボリュームを削除します。

[形式]

```
POST /ismva/settings/volume/delete
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
VolumeName	string	ボリューム名

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Volume		object	削除されたボリューム情報
	VolumeName	string	ボリューム名
	DeviceName	string	仮想ディスクのデバイス名
Restart		string	本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 ISM-VA:ISM-VAの再起動が必要 本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - LVMボリューム削除:ismadm volume delete
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.26 LVMボリューム拡張

[概要]

LVMボリュームを拡張します。

[形式]

```
POST /ismva/settings/volume/extend
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
Volume		object	ボリューム情報
	VolumeName	string	ボリューム名 キー省略、空文字、nullの場合、システムボリュームに追加します。
	DeviceName	string	仮想ディスクのデバイス名

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Volume		object	ボリューム情報
	VolumeName	string	ボリューム名
	DeviceName	string	仮想ディスクのデバイス名
Restart		string	本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 ISM-VA：ISM-VAの再起動が必要 本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - LVMボリュームサイズ拡張：ismadm volume extend
  - システムのLVMボリュームサイズを拡張：ismadm volume sysvol-extend
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.27 SSL証明書表示

[概要]

SSL証明書を表示します。

[形式]

```
GET /ismva/settings/sslcert
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
SSLCert		object	証明書情報
	Issuer	string	発行者
	Subject	string	発行先（サブジェクト）（CN部分のみ）
	ValidityNotBefore	string	有効期限の開始
	ValidityNotAfter	string	有効期限の終了
	Output	string	証明書内容（openssl x509 -text -noout -inの出力結果）が出力されます。

[注意事項]

- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - SSL証明書表示：ismadm sslcert show

4.17.28 SSL証明書配置

[概要]

SSL証明書を配置します。

[形式]

```
PATCH /ismva/settings/sslcert
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
SSLCert		object	証明書情報
	KeyFile	string	設定するkeyファイルを指定します。
	CrtFile	string	設定するcrtファイルを指定します。
	CaFile	string	設定するcaファイルを指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Output	string	証明書内容（openssl x509 -text -noout -inの出力結果）が出力されます。
Restart	string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 ISM-VA：ISM-VAの再起動が必要 本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - SSL証明書配置：ismadm sslcert set
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.29 SSL証明書出力

[概要]

SSL証明書を出力します。

[形式]

```
POST /ismva/settings/sslcert/export
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Directory	string	出力先ディレクトリーを指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Path	string	出力ファイル 出力ファイルのパスが出力されます。
Restart	string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 ISM-VA:ISM-VAの再起動が必要 本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - SSL証明書出力:ismadm sslcert export

4.17.30 ISM-VA内部DHCPサーバー情報表示

[概要]

ISM-VA内部のDHCPサーバー情報を表示します。

[形式]

```
GET /ismva/settings/dhcp
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
OutputMode	string	出力モード 出力モードを指定します。 ・ Conf:Confファイルを出力します。 ・ Log:動作ログを出力します。 この場合、Lineパラメーターも同時に指定可能です。 ・ DHCPMode:DHCPサーバー動作モードを指定します。 ・ All:すべて出力します。
Line	integer	出力行数を指定します。 未指定の場合は20行出力します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
DHCP	object	DHCP情報

パラメーター	型	説明
DHCPMode	string	動作モード DHCPの動作モードが表示されます。 ・ local:ISM内部のDHCPサーバーを使用 ・ remote:外部のDHCPサーバーを使用
DHCPConf	string	Confファイルの内容
DHCPLog	string	動作ログ内容

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - 現在設定されているDHCPサーバーの内容を表示:ismadm dhcpsrv show-conf
  - DHCPサーバーのメッセージ表示:ismadm dhcpsrv show-msg [-line]

4.17.31 ISM-VA内部DHCPサーバー設定

[概要]

ISM-VA内部のDHCPサーバーを設定します。

[形式]

```
PATCH /ismva/settings/dhcp
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
DHCP	object	DHCP情報
DHCPMode	string	動作モード DHCPの動作モードを指定します。 ・ local:ISM内部のDHCPサーバーを使用 ・ remote:外部のDHCPサーバーを使用
DHCPConf	string	Confファイルのファイルパス 動作モードがremoteの場合、設定が必要です。
DHCPLog	string	動作ログ内容
Setting	object	DHCP簡易設定内容 動作モードがlocalの場合、設定が必要です。
Subnet	string	サブネットアドレスを指定
Netmask	string	ネットマスクを指定
Start	string	リース開始アドレスを指定
End	string	リース終了アドレスを指定
Broadcast	string	ブロードキャストアドレスを指定

パラメーター			型	説明
		Dns	string	DNSサーバーのアドレスを指定
		GateWay	string	ゲートウェイのアドレスを指定

[レスポンスパラメーター]

パラメーター			型	説明
DHCP			object	DHCP情報
	DHCPMode		string	動作モード DHCPの動作モードが表示されます。 ・ local：ISM内部のDHCPサーバーを使用 ・ remote：外部のDHCPサーバーを使用
	DHCPConf		string	Confファイルの内容
	DHCPLog		string	動作ログ内容
	Setting		object	DHCP簡易設定内容
		Subnet	string	サブネットアドレス
		Netmask	string	ネットマスク
		Start	string	リース開始アドレス
		End	string	リース終了アドレス
		Broadcast	string	ブロードキャストアドレス
		Dns	string	DNSサーバーのアドレス
		GateWay	string	ゲートウェイのアドレス
Restart			string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 null：再起動不要

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - ISM-VA内部のDHCPサーバーの設定：ismadm dhcpsrv set-simple、ismadm dhcpsrv set-file
  - DHCPサーバーの切替え：ismadm dhcpsrv show-mode
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.32 ISM-VA内部DHCP設定ファイル出力

[概要]

使用中のDHCP設定ファイルを出力します。

[形式]

```
POST /ismva/settings/dhcp/export
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Directory	string	出力先ディレクトリーを指定します。
ExportMode	string	出力モード 出力モードを指定します。 ・ Conf：使用中のDHCP設定ファイル ・ Sample：サンプルのDHCP設定ファイル

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Path	string	出力ファイルのパス 出力ファイルのパスが出力されます。 ・ ExportModeがConfの場合 /リクエストパラメーターのDirectory/dhcpd.conf ・ ExportModeがSampleの場合 /リクエストパラメーターのDirectory/dhcpd.conf.sample
Restart	string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 null：再起動不要

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - 現在の設定内容（confファイル）をftpアクセス可能な場所へエクスポート：ismadm dhcpsrv export-conf -dir
  - 設定内容（confファイル）のサンプルをftpアクセス可能な場所へエクスポート：ismadm dhcpsrv export-sample -dir

4.17.33 ドメイン設定初期化

[概要]

ドメイン設定を初期化します。

[形式]

```
POST /ismva/settings/kerberos/init
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Restart	string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 ISM-VA:ISM-VAの再起動が必要 本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - ー ドメイン設定情報を初期化する:ismadm kerberos init
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.34 ドメイン設定追加

[概要]

ドメイン設定を追加します。

[形式]

```
POST /ismva/settings/kerberos
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
Domain		object	ドメイン情報
	DomainName	string	ドメイン名を指定します。
	Realm	string	レルム名を指定します。
	ControllerName	string	ドメインコントロールサーバーを指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Domain		object	ドメイン情報
	DomainName	string	ドメイン名
	Realm	string	レルム名
	ControllerName	string	ドメインコントロールサーバー
Restart		string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 ISM-VA:ISM-VAの再起動が必要 本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - ドメイン設定情報を追加:ismadm kerberos add
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.35 ドメイン設定を1つ前の状態に戻す

[概要]

ドメイン設定を1つ前の状態に戻します。

[形式]

```
POST /ismva/settings/kerberos/restore
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Restart	string	再起動 本APIの結果再起動が必要かどうかを出力します。 ISM-VA:ISM-VAの再起動が必要 本APIの処理結果が再起動後に有効となることを示します。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - ドメイン設定情報を1つ前の状態に戻す:ismadm kerberos restore
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.36 ドメイン設定の表示

[概要]

ドメイン設定を表示します。

[形式]

```
GET /ismva/settings/kerberos
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Domain	object	ドメイン情報
Logging	object	ロギング情報
Default	string	Default
Kdc	string	kdc
AdminServer	string	admins_server
Comment	string	コメント情報
Libdefaults	object	初期値情報
Dns_lookup_realm	string	dns_lookup_realm
Ticket_lifetime	string	ticket_lifetime
Renew_lifetime	string	renew_lifetime
Forwardable	string	forwardable
Rdns	string	rdns
Default_ccache_name	string	default_ccache_name
Default_realm	string	default_realm
Comment	string	コメント情報
Realms	object	レルム情報
Realm	string	realm
Kdc	string	kdc
AdminServer	string	admin_server
Comment	string	コメント情報
DomainRealm	array(string)	
Output	string	コマンド出力結果

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - ドメイン設定情報を表示:ismadm kerberos show

4.17.37 ISM-VAの再起動

[概要]

ISM-VAの再起動を行います。

[形式]

```
POST /ismva/power/restart
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- ISM-VAの再起動時の注意事項を以下に示します。
  - ー ログインしているセッションを内部でログアウト後、ISM-VAの再起動を行います。
  - ー 本APIの応答を返すため、応答の数秒後にISM-VAの再起動を行います。
  - ー 再起動後は、自動的にログインは行いません。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - ー ISM-VA再起動：ismadm power restart
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.38 ISM-VAの停止

[概要]

ISM-VAの停止を行います。

[形式]

```
POST /ismva/power/stop
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- ログインしているセッションを内部でログアウト後、ISM-VAの停止を行います。
- 本APIの応答を返すため、応答の数秒後にISM-VAの停止を行います。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - ー ISM-VA停止：ismadm power stop
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。

4.17.39 サービス状態表示

[概要]

ISM-VA内ISMサービスの状態を表示します。

[形式]

```
GET /ismva/settings/service
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
ServiceList		string	サービスリスト
	UnitFile	string	サービス名 以下が出力されます。 ism.service
	Active	string	実行状況 動作中の場合、以下が出力されます。 active (running) since 起動日時 起動日時は、以下の形式で出力されます。 曜日 YYYY-MM-DD hh:mm:ss Timezone;経過時間 例）Thu 2017-10-26 19:06:14 JST; 24h ago

4.17.40 ISM版数の取得

[概要]

ISMの版数情報を取得します。

[形式]

```
GET /system/ismva/version
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
IsmVersion	string	ISM版数情報

4.17.41 CAS設定の取得

[概要]

ISMに含まれているCAS設定を取得します。

[形式]

```
GET /ismva/settings/cas
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
CasSettings	object	CAS設定
CasEnabled	string	CASが有効か無効かが出力されます。 ・Enabled : 有効 ・Disabled : 無効
Port	integer	ポート番号
Status	string	CAS状態が出力されます。 ・Normal : 正常起動済み ・Updating : CAS設定中 ・Error : 起動時にエラー ・"" : CAS無効
UserRole	string	サーバーにアクセスするユーザーのユーザーロール Administratorグループに属し、本ユーザーロール以上のユーザーロールを持つユーザーのみ自動ログイン対象となるユーザーロールが出力されます。 ・Administrator : 初期値 ・Operator ・Monitor
Modified	string	更新日付 更新された日時がUTC時間で出力されます。

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。

4.17.42 CAS設定の更新

[概要]

ISMに含まれているCAS設定を更新します。

[形式]

```
PATCH /ismva/settings/cas
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
CasSettings	object	CAS設定
CasEnabled	string	CASが有効か無効かを指定します。 ・Enabled : 有効 ・Disabled : 無効

パラメーター		型	説明
	Port	integer	ポート番号を指定します。
	UserRole	string	CASにアクセスするユーザーのユーザーロールを指定します。 Administratorグループに属し、本ユーザーロール以上のユーザーロールを持つユーザーのみ自動ログイン対象となります。 ・Administrator：初期値 ・Operator ・Monitor

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
CasSettings		object	CAS設定
	CasEnabled	string	CASが有効か無効かが出力されます。 ・Enabled：有効 ・Disabled：無効
	Port	integer	ポート番号
	TaskId	string	タスクID CASが起動中の場合、起動したタスクIDが出力されます。
	UserRole	string	CASにアクセスするユーザーのユーザーロール Administratorグループに属し、本ユーザーロール以上のユーザーロールを持つユーザーのみ自動ログイン対象となるユーザーロールが出力されます。 ・Administrator：初期値 ・Operator ・Monitor
Modified		string	更新日付 更新された日時がUTC時間で出力されます。

[注意事項]

・ Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。

4.17.43 ISMバックアップの実行

[概要]

ISMのバックアップを実行します。

[形式]

```
POST /ismva/settings/backup
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Backup	object	バックアップ情報
Mode	string	実行モード ・ GUICheck：チェックモード。バックアップの実行可否をチェックします。 ・ GUIExecute：実行モード。バックアップを実行します。 キー省略時は、GUIExecuteと同等になります。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Backup	object	バックアップ情報
Result	string	処理結果 ・ 実行モードがGUICheckの場合 バックアップ実行可否が出力されます。 OK：バックアップ実行可能 NG：バックアップ実行不可能 ・ 実行モードがGUIExecuteの場合 OK：バックアップ実行
BackupDetail	object	バックアップ情報詳細 実行モードがGUICheckの場合に、バックアップ情報詳細が出力されます。
JudgementInfo	object	バックアップ実行可否判定情報
DiskSpace	string	ディスク容量判定結果 ・ OK：バックアップ実行可能 ・ Insufficient：ディスク容量不足
Task	string	タスク判定結果 ・ OK：バックアップ実行可能 ・ Active：実行中のタスクがあるため実行不可能
SystemInfo	object	システム情報
Version	string	ISM-VAのバージョン
DiskSpaceAvailableList	array	使用可能なディスク容量
Name	string	名前 ・ System ・ /Administrator：仮想ディレクトリがマウントされている場合のみ出力する。
DiskSize	string	サイズ
DiskSizeUnit	string	単位：MB
DiskSpaceRequiredList	array	必要なディスク容量
Name	string	名前 ・ System

パラメーター	型	説明
		・ /Administrator：仮想ディレクトリがマウントされている場合のみ出力する。
DiskSize	string	サイズ
DiskSizeUnit	string	単位：MB
ActiveTask	integer	実行中のタスク数
Path	string	バックアップファイルの出力先ディレクトリ Administrator/transfer/webbackup

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - ー ISMバックアップ：ismadm system backup
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。なお、リクエストパラメーターのModeにGUICheckを指定する場合は、VA操作権の取得は不要です。

4.17.44 ISMリストアの実行

[概要]

ISMのリストアを実行します。

[形式]

```
POST /ismva/settings/restore
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Restore	object	リストア情報
Mode	string	実行モード ・ GUICheck：チェックモード。リストアの実行可否をチェックします。 ・ GUIExecute：実行モード。リストアを実行します。 キー省略時は、GUIExecuteと同等になります。
File	string	バックアップファイル名 Administratorディレクトリのftpディレクトリからのファイルパスを指定してください。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Restore	object	リストア情報
Result	string	処理結果

パラメーター	型	説明
		・ 実行モードがGUICheckの場合 リストア実行可否が出力されます。 OK:リストア実行可能 NG:リストア実行不可能 ・ 実行モードがGUIExecuteの場合 OK:リストア実行
RestoreDetail	object	リストア情報詳細 実行モードがGUICheckの場合に、リストア情報詳細が出力されます。
JudgementInfo	object	リストア実行可否判定情報
DiskSpace	string	ディスク容量判定結果 ・ OK:リストア実行可能 ・ Insufficient:ディスク容量不足
Version	string	バージョン判定結果 ・ OK:リストア実行可能 ・ Mismatch:バージョン不一致
SystemInfo	object	システム情報
Version	string	ISM-VAのバージョン
BackupFileInfo	object	バックアップファイル情報
Version	string	バックアップファイルのバージョン
DiskSpaceAvailableList	array	使用可能なディスク容量
Name	string	名前:System
DiskSize	string	サイズ
DiskSizeUnit	string	単位:MB
DiskSpaceRequiredList	array	必要なディスク容量
Name	string	名前:System
DiskSize	string	サイズ
DiskSizeUnit	string	単位:MB

[注意事項]

- Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIは、以下のismadmコマンドを実行します。
  - ー ISMリストア:ismadm system restore
- 本APIの実行には、事前にVA操作権を取得する必要があります。なお、リクエストパラメーターのModeにGUICheckを指定する場合は、VA操作権の取得は不要です。

4.18 共通情報

4.18.1 FTPファイルの一覧取得

[概要]

ユーザーが属しているユーザーグループで管理している、ISMのFTPサイトに格納されているすべてのファイルを取得します。

[形式]

```
GET /system/settings/ftp/filelist
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Directory		array	ファイル情報
	Path	string	所属パス
	Name	string	ファイル名またはディレクトリー名
	Type	string	タイプ ・ File : ファイル ・ Folder : ディレクトリー
	Size	integer	サイズ
	Timestamp	string	更新日時
	UserId	integer	所有ユーザーID ISM-VAのユーザーIDです。
	GroupId	integer	所有グループID ISM-VAのグループIDです。
	Permission	string	アクセス権限 例）"rwxr--r--"

4.18.2 仮想化管理ソフトウェア登録

[概要]

仮想化管理ソフトウェアを登録します。

[形式]

```
POST /system/settings/cms
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター		型	説明
CmsInfo		object	仮想化管理ソフトウェア情報
	UserGroupId	string	仮想化管理ソフトウェアを管理するユーザーグループID
	CmsName	string	管理上の仮想化管理ソフトウェア名 ISM で一意の名前を指定してください。

パラメーター	型	説明
CmsType	string	仮想化管理ソフトウェアタイプ ・ vCenter：VMware vCenter Server ・ MicrosoftFailoverCluster：Microsoft Failover Cluster ・ MicrosoftFailoverCluster(MAS HCI)：Microsoft Failover Cluster (MAS HCI) ・ SystemCenter：Microsoft System Center Virtual Machine Manager ・ KVM RedHat：Red Hat Enterprise Linux上で動作しているKVM ・ KVM SUSELinuxEnterprise：SUSE Linux Enterprise Server上で動作しているKVM ・ IPCOM OS：IPCOM OS ・ OpenStack：OpenStack
CmsVersion	string	仮想化管理ソフトウェアの版数 ・ vCenter：5.5/ 6.0/ 6.5/ 6.7/ 7.0/ 8.0 ・ MicrosoftFailoverCluster：2012/ 2012R2/ 2016/ 2019/ 2022/ 2025 ・ MicrosoftFailoverCluster(MAS HCI)：20H2/ 21H2/ 22H2/ 23H2 ・ SystemCenter：2012/ 2012R2/ 2016/ 2019/ 2022/ 2025 ・ KVM RedHat：6.0/ 6.1/ 6.2/ 6.3/ 6.4/ 6.5/ 6.6/ 6.7/ 6.8/ 6.9/ 6.10/ 7.0/ 7.1/ 7.2/ 7.3/ 7.4/ 7.5/ 7.6/ 7.7/ 7.8/ 7.9/ 8.0/ 8.1/ 8.2/ 8.3/ 8.4/ 8.5/ 8.6/ 8.7/ 8.8/ 8.9/ 8.10/ 9.0/ 9.1/ 9.2/ 9.3/ 9.4 ・ KVM RedHat：9.5（ISM 3.0.0.010以降) ・ KVM SUSELinuxEnterprise：11/ 11SP1/ 11SP2/ 11SP3/ 11SP4/ 12/ 12SP1/ 12SP2/ 12SP3/ 12SP4/ 12SP5/ 15/ 15SP1/ 15SP2/ 15SP3/ 15SP4/ 15SP5/ 15SP6 ・ IPCOM OS：1.x ・ OpenStack：Ocata/ Pike/ Queens
IpAddress	string	仮想化管理ソフトウェアのIPアドレス
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6
PortNum	integer	使用ポート番号 ポート番号、またはnullを指定します。 nullを指定した場合、プロトコルの標準ポート番号が設定されます。 各仮想化管理ソフトウェアの接続プロトコルは以下のとおりです。 ・ vCenter：CIM（443番）

パラメーター	型	説明
		• MicrosoftFailoverCluster, MicrosoftFailoverCluster(MAS HCI), SystemCenter：WinRM（5986番） • KVM RedHat, KVM SUSELinuxEnteprise, IPCOM OS：SSH（22番） • OpenStack：HTTPS（OpenStack接続用ポート番号、5001番）
DomainName	string	ドメイン名 仮想化管理ソフトウェアタイプにより指定するドメイン名は以下のとおりです。 • vCenter, MicrosoftFailoverCluster, SystemCenter, KVM RedHat, KVM SUSELinuxEnterprise, IPCOM OS：Windowsドメイン名 • OpenStack：OpenStackドメイン名 Windowsドメイン名の場合、レルムのFQDN名を指定してください。 例）ISMDOMAIN.LOCAL MicrosoftFailoverCluster、SystemCenterの場合、指定必須です。 OpenStackの場合、nullを指定すると"Default"（文字列）が設定されます。
AccountName	string	アカウント名 レルムを除いたアカウント名を指定してください。 例）ismadmin
Password	string	パスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。
Url	string	WebURL WebUIへのアクセスURLなどを登録できます。
VCenter	object	vCenter用追加情報 現在は未サポートです。
Scvmm	object	SCVMM用追加情報 現在は未サポートです。
OpenStack	object	OpenStack用追加情報 現在は未サポートです。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
CmsInfo	object	仮想化管理ソフトウェア情報
CmsId	integer	仮想化管理ソフトウェアID
UserGroupId	string	仮想化管理ソフトウェアを管理するユーザーグループID
CmsName	string	管理上の仮想化管理ソフトウェア名
CmsType	string	仮想化管理ソフトウェアタイプ

パラメーター	型	説明
		・ vCenter：VMware vCenter Server ・ MicrosoftFailoverCluster：Microsoft Failover Cluster ・ MicrosoftFailoverCluster(MAS HCI)：Microsoft Failover Cluster (MAS HCI) ・ SystemCenter：Microsoft System Center Virtual Machine Manager ・ KVM RedHat：Red Hat Enterprise Linux上で動作しているKVM ・ KVM SUSELinuxEnterprise：SUSE Linux Enterprise Server上で動作しているKVM ・ IPCOM OS：IPCOM OS ・ OpenStack：OpenStack
CmsVersion	string	仮想化管理ソフトウェアの版数
IpAddress	string	仮想化管理ソフトウェアのIPアドレス
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6
PortNum	integer	使用ポート番号
DomainName	string	ドメイン名
AccountName	string	アカウント名
Url	string	WebURL
VCenter	object	vCenter用追加情報 現在は未サポートです。
Scvmm	object	SCVMM用追加情報 現在は未サポートです。
MicrosoftFailoverCluster	object	Microsoft Failover Cluster 用追加情報
SystemCenterId	integer	SystemCenter の仮想化管理ソフトウェアID Microsoft Failover Cluster が SystemCenter によって管理されている場合、SystemCenter の仮想化管理ソフトウェアIDが設定されます。 SystemCenter で管理されている Microsoft Failover Cluster からは情報取得を行えません。 SystemCenterから情報を取得してください。
OpenStack	object	OpenStack用追加情報 現在は未サポートです。
Timestamp	string	最終更新時刻
RefreshDate	string	仮想化管理ソフトウェア情報の最終情報取得時刻
MaintenanceMode	boolean	イベント出力抑止モード ・ True：イベント出力抑止モード有効 ・ False：イベント出力抑止モード無効（初期値）

[注意事項]

- 先頭がアンダーバー "_" で始まる仮想化管理ソフトウェア名は、ISMで使用しているため、使用できません。仮想化管理ソフトウェアを登録後、仮想情報取得指示を実行してください。

4.18.3 仮想化管理ソフトウェアの一覧取得

[概要]

ユーザーが属しているユーザーグループで管理しているすべての仮想化管理ソフトウェアを取得します。

[形式]

```
GET /system/settings/cms
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
usergroupid	string	ユーザーグループIDによる絞り込み

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
CmsInfoList	array	仮想化管理ソフトウェア情報
CmsId	integer	仮想化管理ソフトウェアID
UserGroupId	string	仮想化管理ソフトウェアを管理するユーザーグループID
CmsName	string	管理上の仮想化管理ソフトウェア名
CmsType	string	仮想化管理ソフトウェアタイプ ・ vCenter：VMware vCenter Server ・ MicrosoftFailoverCluster：Microsoft Failover Cluster ・ MicrosoftFailoverCluster(MAS HCI)：Microsoft Failover Cluster (MAS HCI) ・ SystemCenter：Microsoft System Center Virtual Machine Manager ・ KVM RedHat：Red Hat Enterprise Linux上で動作しているKVM ・ KVM SUSELinuxEnterprise：SUSE Linux Enterprise Server上で動作しているKVM ・ IPCOM OS：IPCOM OS ・ OpenStack：OpenStack
CmsVersion	string	仮想化管理ソフトウェアの版数
IpAddress	string	仮想化管理ソフトウェアのIPアドレス
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6
PortNum	integer	使用ポート番号
DomainName	string	ドメイン名

パラメーター	型	説明
AccountName	string	アカウント名
Url	string	WebURL
VCenter	object	vCenter用追加情報 現在は未サポートです。
Scvmm	object	SCVMM用追加情報 現在は未サポートです。
MicrosoftFailoverCluster	object	Microsoft Failover Cluster 用追加情報
SystemCenterId	integer	SystemCenter の仮想化管理ソフトウェアID Microsoft Failover Cluster が SystemCenter によって管理されている場合、SystemCenter の仮想化管理ソフトウェアIDが設定されます。 SystemCenter で管理されている Microsoft Failover Cluster からは情報取得を行えません。 SystemCenterから情報を取得してください。
OpenStack	object	OpenStack用追加情報 現在は未サポートです。
Timestamp	string	最終更新時刻
RefreshDate	string	仮想化管理ソフトウェア情報の最終情報取得時刻
MaintenanceMode	boolean	イベント出力抑止モード ・ True：イベント出力抑止モード有効 ・ False：イベント出力抑止モード無効（初期値）

4.18.4 仮想化管理ソフトウェアの個別取得

[概要]

指定した仮想化管理ソフトウェアを取得します。

[形式]

```
GET /system/settings/cms/{cmsid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
CmsInfo	object	仮想化管理ソフトウェア情報
CmsId	integer	仮想化管理ソフトウェアID
UserGroupId	string	仮想化管理ソフトウェアを管理するユーザーグループID
CmsName	string	管理上の仮想化管理ソフトウェア名
CmsType	string	仮想化管理ソフトウェアタイプ ・ vCenter：VMware vCenter Server ・ MicrosoftFailoverCluster：Microsoft Failover Cluster

パラメーター	型	説明
		・ MicrosoftFailoverCluster(MAS HCI):Microsoft Failover Cluster (MAS HCI) ・ SystemCenter:Microsoft System Center Virtual Machine Manager ・ KVM RedHat:Red Hat Enterprise Linux上で動作しているKVM ・ KVM SUSELinuxEnterprise : SUSE Linux Enterprise Server上で動作しているKVM ・ IPCOM OS:IPCOM OS ・ OpenStack:OpenStack
CmsVersion	string	仮想化管理ソフトウェアの版数
IpAddress	string	仮想化管理ソフトウェアのIPアドレス
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4:IPv4 ・ V6:IPv6
PortNum	integer	使用ポート番号
DomainName	string	ドメイン名
AccountName	string	アカウント名
Url	string	WebURL
VCenter	object	vCenter用追加情報 現在は未サポートです。
Scvmm	object	SCVMM用追加情報 現在は未サポートです。
MicrosoftFailoverCluster	object	Microsoft Failover Cluster 用追加情報
SystemCenterId	integer	SystemCenter の仮想化管理ソフトウェアID Microsoft Failover Cluster が SystemCenter によって管理されている場合、SystemCenter の仮想化管理ソフトウェアIDが設定されます。 SystemCenter で管理されている Microsoft Failover Cluster からは情報取得を行えません。 SystemCenterから情報を取得してください。
OpenStack	object	OpenStack用追加情報 現在は未サポートです。
Timestamp	string	最終更新時刻
RefreshDate	string	仮想化管理ソフトウェア情報の最終情報取得時刻
MaintenanceMode	boolean	イベント出力抑止モード ・ True:イベント出力抑止モード有効 ・ False:イベント出力抑止モード無効(初期値)

4.18.5 仮想化管理ソフトウェアの更新

[概要]

指定した仮想化管理ソフトウェア情報を更新します。

[形式]

```
PATCH /system/settings/cms/{cmsid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
CmsInfo	object	仮想化管理ソフトウェア情報
UserGroupId	string	仮想化管理ソフトウェアを管理するユーザーグループID
CmsName	string	管理上の仮想化管理ソフトウェア名 ISM で一意の名前を指定してください。
CmsVersion	string	仮想化管理ソフトウェアの版数 仮想化管理ソフトウェアの詳細については、「4.18.2 仮想化管理ソフトウェア登録」を参照してください。
IpAddress	string	仮想化管理ソフトウェアのIPアドレス
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6
PortNum	integer	使用ポート番号 ポート番号、またはnullを指定します。 nullを指定した場合、プロトコルの標準ポート番号が設定されます。 各仮想化管理ソフトウェアの接続プロトコルは以下のとおりです。 ・ vCenter：CIM（443番） ・ MicrosoftFailoverCluster, MicrosoftFailoverCluster(MAS HCI), SystemCenter：WinRM（5986番） ・ KVM RedHat, KVM SUSELinuxEnteprise, IPCOM OS：SSH（22番） ・ OpenStack：HTTPS（OpenStack接続用ポート番号、5001番）
DomainName	string	ドメイン名 仮想化管理ソフトウェアタイプにより指定するドメイン名は以下のとおりです。 ・ vCenter, MicrosoftFailoverCluster, SystemCenter, KVM RedHat, KVM SUSELinuxEnterprise, IPCOM OS：Windowsドメイン名 ・ OpenStack：OpenStackドメイン名 Windowsドメイン名の場合、レルムのFQDN名を指定してください。

パラメーター	型	説明
		例）ISMDOMAIN.LOCAL MicrosoftFailoverCluster、SystemCenterの場合、指定必須です。 OpenStackの場合、nullを指定すると"Default"（文字列）が設定されます。
AccountName	string	アカウント名 レルムを除いたアカウント名を指定してください。 例）ismadmin
Password	string	パスワード 「2.4 暗号化」に示された方法で、暗号化してください。
Url	string	WebURL WebUIへのアクセスURLなどを登録できます。
VCenter	object	vCenter用追加情報 現在は未サポートです。
Scvmm	object	SCVMM用追加情報 現在は未サポートです。
OpenStack	object	OpenStack用追加情報 現在は未サポートです。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
CmsInfo	object	仮想化管理ソフトウェア情報
CmsId	integer	仮想化管理ソフトウェアID
UserGroupId	string	仮想化管理ソフトウェアを管理するユーザーグループID
CmsName	string	管理上の仮想化管理ソフトウェア名
CmsType	string	仮想化管理ソフトウェアタイプ ・ vCenter：VMware vCenter Server ・ MicrosoftFailoverCluster：Microsoft Failover Cluster ・ MicrosoftFailoverCluster(MAS HCI)：Microsoft Failover Cluster (MAS HCI) ・ SystemCenter：Microsoft System Center Virtual Machine Manager ・ KVM RedHat：Red Hat Enterprise Linux上で動作しているKVM ・ KVM SUSELinuxEnterprise：SUSE Linux Enterprise Server上で動作しているKVM ・ IPCOM OS：IPCOM OS ・ OpenStack：OpenStack
CmsVersion	string	仮想化管理ソフトウェアの版数
IpAddress	string	仮想化管理ソフトウェアのIPアドレス
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン

パラメーター	型	説明
		・ V4:IPv4 ・ V6:IPv6
PortNum	integer	使用ポート番号
DomainName	string	ドメイン名
AccountName	string	アカウント名
Url	string	WebURL
VCenter	object	vCenter用追加情報 現在は未サポートです。
Scvmm	object	SCVMM用追加情報 現在は未サポートです。
MicrosoftFailoverCluster	object	Microsoft Failover Cluster 用追加情報
SystemCenterId	integer	SystemCenter の仮想化管理ソフトウェアID Microsoft Failover Cluster が SystemCenter によって管理されている場合、SystemCenter の仮想化管理ソフトウェアIDが設定されます。 SystemCenter で管理されている Microsoft Failover Cluster からは情報取得を行えません。 SystemCenterから情報を取得してください。
OpenStack	object	OpenStack用追加情報 現在は未サポートです。
Timestamp	string	最終更新時刻
RefreshDate	string	仮想化管理ソフトウェア情報の最終情報取得時刻
MaintenanceMode	boolean	イベント出力抑止モード ・ True:イベント出力抑止モード有効 ・ False:イベント出力抑止モード無効(初期値)

[注意事項]

・ 先頭がアンダーバー "_" で始まる仮想化管理ソフトウェア名は、ISMで使用しているため、使用できません。仮想化管理ソフトウェアを更新後、仮想情報取得指示を実行してください。

4.18.6 仮想化管理ソフトウェアの削除

[概要]

指定した仮想化管理ソフトウェア情報を削除します。

[形式]

```
DELETE /system/settings/cms/{cmsid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

4.18.7 プールの設定

[概要]

ISM で管理するプール情報を設定します。

[形式]

```
PATCH /pools
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Pool	object	プール情報
PoolType	string	プールタイプ ・ MacAddress：仮想MACアドレス ・ Wwn：仮想WWN
ValueRangeList	array	プールする値の範囲 指定したプールタイプの範囲情報をすべて指定してください。指定された値でプールタイプの情報が上書きされます。 範囲が重複するような指定はできません。また、すでに払い出し済の値があり、かつ払い出し済の値がプール範囲外になった場合はエラーとなります。
BeginValue	string	範囲の開始値 プールタイプごとに正しい形式で指定してください。 ・ MacAddress：xx-xx-xx-xx-xx-xx (xは0-9a-f、大文字小文字可、区切りは-または:) ・ Wwn：XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX (Xは0-9A-F、大文字小文字可、区切りは-または:)
EndValue	string	範囲の終了値 プールタイプごとに正しい形式で指定してください。 ・ MacAddress：xx-xx-xx-xx-xx-xx (xは0-9a-f、大文字小文字可、区切りは-または:) ・ Wwn：XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX (Xは0-9A-F、大文字小文字可、区切りは-または:)
UserGroupId	string	プール範囲を使用可能なユーザーグループID 指定がない場合、全ユーザーが使用可能な範囲となります。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
Pool	object	プール情報
PoolType	string	プールタイプ ・ MacAddress：仮想MACアドレス ・ Wwn：仮想WWN
ValueRangeList	array	プールする値の範囲
BeginValue	string	範囲の開始値 ・ MacAddress：xx-xx-xx-xx-xx-xx (xは0-9a-f、小文字、区切りは-) ・ Wwn：XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX (xは0-9A-F、大文字、区切りは:)
EndValue	string	範囲の終了値 ・ MacAddress：xx-xx-xx-xx-xx-xx (xは0-9a-f、小文字、区切りは-) ・ Wwn：XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX (xは0-9A-F、大文字、区切りは:)
UserGroupId	string	プール範囲を使用可能なユーザーグループID 指定がない場合、全ユーザーが使用可能な範囲となります。

[注意事項]

- ISM管理者のみ実行可能です。
- プール範囲を以下のように指定した場合はエラーとなります。
  - 複数のプールの範囲が重複する場合
  - すでに払い出し済の値があり、かつ払い出し済の値がプール範囲外になる場合

4.18.8 プール情報の取得

[概要]

ユーザーが属しているユーザーグループで管理しているすべてのプール情報を取得します。

[形式]

```
GET /pools
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
pooltype	string	プールタイプによる絞り込み ・ MacAddress：仮想MACアドレス ・ Wwn：仮想WWN
assigned	string	払い出された値リストの出力有無 払い出し済プール値情報は、情報量が大きくなる場合があるため、pooltypeとの併用を推奨します。

パラメーター	型	説明
		・ 指定なし:表示しない ・ Output:表示する

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
PoolList	array	プール情報
PoolType	string	プールタイプ ・ MacAddress:仮想MACアドレス ・ Wwn:仮想WWN
ValueRangeList	array	プールする値の範囲
BeginValue	string	範囲の開始値 ・ MacAddress:xx-xx-xx-xx-xx-xx (xは0-9a-f、小文字、区切りは-) ・ Wwn:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX (xは0-9A-F、大文字、区切りは:)
EndValue	string	範囲の終了値 ・ MacAddress:xx-xx-xx-xx-xx-xx (xは0-9a-f、小文字、区切りは-) ・ Wwn:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX (xは0-9A-F、大文字、区切りは:)
UserGroupId	string	プール範囲を使用可能なユーザーグループID 指定がない場合、全ユーザーが使用可能な範囲となります。
ValueLeftNumber	integer	使用可能なプール値の個数 払い出されていないプール値の数が表示されます。
AssignedList	array(string)	払い出し済の値 クエリパラメーター"assigned"に "Output" を指定した場合のみ表示されます。

4.18.9 プールから値の払い出し

[概要]

ユーザーが属しているユーザーグループで管理しているプール情報から値を払い出します。

[形式]

```
POST /pools/assign
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Pool	object	プール情報

パラメーター		型	説明
	PoolType	string	プールタイプ ・ MacAddress：仮想MACアドレス ・ Wwn：仮想WWN
	UserGroupId	string	払い出し要求のユーザーグループ 指定されたユーザーグループが使用可能な範囲の値が払い出されます。 ユーザーグループ管理の値範囲が優先されます。ユーザーグループ管理の値範囲から払い出し可能な値がない場合、全ユーザーが使用可能な範囲から払い出されます。払い出せる値がない場合、エラーとなります。
	AssignMode	string	払い出しモード 指定がない場合は Automatic で動作します。 ・ Automatic：空いている値が自動的に払い出されます。 ・ Manual：払い出したい値を指定します。ユーザーが使用可能な範囲内の値でない場合、エラーとなります。
	Value	string	払い出す値 AssignModeがManualの場合に指定してください。 プールタイプごとに正しい形式で指定してください。 ・ MacAddress：xx-xx-xx-xx-xx-xx (xは0-9a-f、大文字小文字可、区切りは-または:) ・ Wwn：XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX (Xは0-9A-F、大文字小文字可、区切りは-または:)

[レスポンスパラメーター]

パラメーター		型	説明
Pool		object	プール情報
	PoolType	string	プールタイプ ・ MacAddress：仮想MACアドレス ・ Wwn：仮想WWN
	Value	string	払い出された値 ・ MacAddress：xx-xx-xx-xx-xx-xx (xは0-9a-f、小文字、区切りは-) ・ Wwn：XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX (xは0-9A-F、大文字、区切りは:)

4.18.10 払い出した値の解放

[概要]

ユーザーが属しているユーザーグループで管理している払い出し済の値を解放します。

[形式]

```
POST /pools/unassign
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
Pool	object	プール情報
PoolType	string	プールタイプ ・ MacAddress：仮想MACアドレス ・ Wwn：仮想WWN
Value	string	解放する値 ・ MacAddress：xx-xx-xx-xx-xx-xx (xは0-9a-f、小文字、区切りは-) ・ Wwn：XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX:XX (xは0-9A-F、大文字、区切りは:)

[レスポンスパラメーター]

なし

4.18.11 共有ディレクトリーの追加

[概要]

共有ディレクトリーを追加します。

[形式]

```
POST /system/settings/shareddirectory/{usergroupid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
SharedDirectoryList	array	共有ディレクトリー情報リスト 共有ディレクトリー情報を指定します。最大数は5つです。
SharedDirectoryHostName	string	ホスト名 IPアドレス(または ホスト名)を指定します。
SharedDirectoryDomainName	string	ドメイン名
SharedDirectoryAccountSetting	object	アカウント情報
Account	string	アカウント名 アカウント名（ユーザー名）を指定します。
Password	string	パスワード アカウント名に対するパスワードを暗号化して指定します。暗号化の方法は「2.4 暗号化」を参照してください。

パラメーター	型	説明
		なお、復号結果が256文字以内となる暗号化文字列を指定してください。
SharedDirectoryPath	string	共有ディレクトリーパス 共有ディレクトリーパスを指定します。
SharedDirectoryType	string	共有ディレクトリータイプ 共有ディレクトリータイプを指定します。 ・ NFS：NFSにマウントする ・ SMB：SMB/CIFSにマウントする

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserGroupList	array	ユーザーグループ情報リスト
SharedDirectory	object	共有ディレクトリー情報
MountId	string	マウントID マウントIDが通知されます。 ResultがNGの場合、nullが通知されます。
SharedDirectoryHostName	string	ホスト名 IPアドレス(またはホスト名)が通知されます。
SharedDirectoryDomainName	string	ドメイン名
SharedDirectoryAccountSetting	object	アカウント情報
Account	string	アカウント名
SharedDirectoryPath	string	共有ディレクトリーパス 共有ディレクトリーパスが通知されます。
SharedDirectoryType	string	共有ディレクトリータイプ 共有ディレクトリータイプが通知されます。 ・ NFS：NFSにマウントする ・ SMB：SMB/CIFSにマウントする
Modified	string	更新日時 更新日時のタイムスタンプが通知されます。
Result	string	結果 追加した結果が通知されます。以下が通知されます。 ・ OK：成功 ・ NG：失敗 ・ -：未処理
Message	object	メッセージ ResultがNGの場合、エラーメッセージが通知されます。
MessageId	string	メッセージID
Message	string	メッセージ本文

[注意事項]

- Administratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 本APIのエラーには、以下の 2種類あります。
  - ー API自体がエラーとなる場合

    APIレスポンスはエラー

    Resultパラメーターには、-が設定されます。
  - ー 指定された1要素がエラーとなる場合

    APIレスポンスは正常

    Resultパラメーターには、NGが設定されます。
- マウントIDについて、以下に示します。
  - ー ユーザーグループごとに、以下のような規則により生成されます。

    ユーザーグループID ＋ 1～nの番号（n:ユーザーグループごとにマウントできる最大数）

    上記のため、追加、削除を繰り返すと、同じ番号となることがあります。
- 登録数について、以下に示します。
  - ー ユーザーグループごとに最大 5つまで登録できます。
  - ー 6つ目を登録しようとした場合、エラーとなります。
- ドメイン指定について、以下に示します。

  Sambaサーバーが Kerberosドメインに参加していた場合に指定します。

4.18.12 共有ディレクトリーの一覧取得

[概要]

共有ディレクトリーの情報を一覧で取得します。

[形式]

```
GET /system/settings/shareddirectory
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserGroupId	string	ユーザーグループID 指定なしの場合、実行したユーザーが属するユーザーグループ範囲内のすべてが表示されます。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserGroupList	array	ユーザーグループ情報リスト
UserGroupId	string	ユーザーグループID
SharedDirectory	object	共有ディレクトリー情報リスト 共有ディレクトリー情報が通知されます。最大数は5つです。
MountId	string	マウントID マウントIDが通知されます。

パラメーター	型	説明
		ResultがNGの場合、nullが通知されます。
SharedDirectoryHostName	string	ホスト名 IPアドレス(または ホスト名)が通知されます。
SharedDirectoryDomainName	string	ドメイン名
SharedDirectoryPath	string	共有ディレクトリーパス 共有ディレクトリーパスが通知されます。
SharedDirectoryType	string	共有ディレクトリータイプ 共有ディレクトリータイプが通知されます。 ・ NFS:NFSにマウントする ・ SMB:SMB/CIFSにマウントする
SharedDirectoryStatus	string	マウント状態 マウント状態が通知されます。 ・ Mount:マウント中である。 ・ Unmount:マウントしていない。
SharedDirectoryMountOn	string	マウントポジション マウントされている場合、マウントポジションが以下のように通知されます。 /ユーザーグループ/～ マウントされていない場合、nullが通知されます。

[注意事項]

・ Administrator、またはOperatorのロールを持つユーザーで実行できます。

4.18.13 共有ディレクトリーの個別取得

[概要]

指定した共有ディレクトリーの情報を取得します。

[形式]

```
GET /system/settings/shareddirectory/{mountid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserGroup	object	ユーザーグループ情報リスト
UserGroupId	string	ユーザーグループID
SharedDirectoryList	object	共有ディレクトリー情報リスト 共有ディレクトリー情報が通知されます。最大数は5つです。
MountId	string	マウントID

パラメーター	型	説明
		マウントIDが通知されます。 ResultがNGの場合、nullが通知されます。
SharedDirectoryHostName	string	ホスト名 IPアドレス(または ホスト名)が通知されます。
SharedDirectoryDomainName	string	ドメイン名
SharedDirectoryAccountSetting	object	アカウント情報
Account	string	アカウント名 アカウント名（ユーザー名）が通知されます。
SharedDirectoryPath	string	共有ディレクトリーパス 共有ディレクトリーパスが通知されます。
SharedDirectoryType	string	共有ディレクトリータイプ 共有ディレクトリータイプが通知されます。 ・ NFS：NFSにマウントする ・ SMB：SMB/CIFSにマウントする
Modified	string	更新日時 更新日時のタイムスタンプが通知されます。
SharedDirectoryStatus	string	マウント状態 マウント状態が通知されます。 ・ Mount：マウント中である。 ・ Unmount：マウントしていない。
SharedDirectoryMountOn	string	マウントポジション マウントされている場合、マウントポジションが以下のように通知されます。 /ユーザーグループ/～ マウントされていない場合、nullが通知されます。
SharedDirectoryMountCounter	integer	マウント回数 マウントされている場合、マウント回数が通知されます。 マウントされていない場合、nullが通知されます。
Mounted	string	マウント日時 マウントした日時のタイムスタンプが通知されます。 マウントされていない場合、nullが通知されます。

[注意事項]

・ Administrator、またはOperatorのロールを持つユーザーで実行できます。

4.18.14 共有ディレクトリーの更新

[概要]

共有ディレクトリーを更新します。

[形式]

```
PATCH /system/settings/shareddirectory/{mountid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
SharedDirectory	object	共有ディレクトリー情報 共有ディレクトリー情報を指定します。最大数は5つです。
SharedDirectoryHostName	string	ホスト名 IPアドレス（または ホスト名）を指定します。
SharedDirectoryDomainName	string	ドメイン名
SharedDirectoryAccountSetting	object	アカウント情報
Account	string	アカウント名 アカウント名（ユーザー名）を指定します。
Password	string	パスワード アカウント名に対するパスワードを暗号化して指定します。暗号化の方法は「2.4 暗号化」を参照してください。 なお、復号結果が256文字以内となる暗号化文字列を指定してください。
SharedDirectoryPath	string	共有ディレクトリーパス 共有ディレクトリーパスを指定します。
SharedDirectoryType	string	共有ディレクトリータイプ 共有ディレクトリータイプを指定します。 ・ NFS：NFSにマウントする ・ SMB：SMB/CIFSにマウントする

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserGroup	object	ユーザーグループ情報
UserGroupId	string	ユーザーグループID
SharedDirectory	object	共有ディレクトリー情報 共有ディレクトリー情報が通知されます。最大数は5つです。
MountId	string	マウントID マウントIDが通知されます。 ResultがNGの場合、nullが通知されます。
SharedDirectoryHostName	string	ホスト名 IPアドレス(または ホスト名)が通知されます。
SharedDirectoryDomainName	string	ドメイン名
SharedDirectoryAccountSetting	object	アカウント情報

パラメーター	型	説明
Account	string	アカウント名 アカウント名（ユーザー名）が通知されます。
SharedDirectoryPath	string	共有ディレクトリーパス 共有ディレクトリーパスが通知されます。
SharedDirectoryType	string	共有ディレクトリータイプ 共有ディレクトリータイプが通知されます。 ・ NFS：NFSにマウントする ・ SMB：SMB/CIFSにマウントする
Modified	string	更新日時 更新日時のタイムスタンプが通知されます。

[注意事項]

- Administratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- 指定されたキーのもののみ更新します。省略したキーの値は、変更しません。
- キーにnullを指定された場合、エラーとなります。（どのキー要素も初期値がなく、かつ削除できないため）
- マウント中の共有ディレクトリー情報は変更できません。

4.18.15 共有ディレクトリーの削除

[概要]

共有ディレクトリーを削除します。

[形式]

```
DELETE /system/settings/shareddirectory/{mountid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- Administratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。
- マウント中の共有ディレクトリー情報は変更できません。

4.18.16 共有ディレクトリーのマウント

[概要]

共有ディレクトリーへのマウントを行います。

[形式]

```
POST /system/settings/shareddirectory/mount/{mountid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
SharedDirectory	object	共有ディレクトリー情報 共有ディレクトリー情報を指定します。最大数は5つです。
MountOn	string	マウントポジション マウントポジションを指定します。 指定がない場合は、マウント時に適宜通知されます。 指定する場合は、以下のように指定します。 /ユーザーグループ/～

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
SharedDirectory	object	共有ディレクトリー情報 共有ディレクトリー情報が通知されます。最大数は5つです。
MountId	string	マウントID マウントIDが通知されます。 ResultがNGの場合、nullが通知されます。
SharedDirectoryMountOn	string	マウントポジション マウントポジションが以下のように通知されます。 ・ マウントポジションが指定されていない場合 /ユーザーグループ/mount/n（n：1～5） ・ マウントポジションが指定されていた場合 指定したマウントポジションが通知されます。
Mounted	string	マウント日時 マウントした日時のタイムスタンプが通知されます。

[注意事項]

- Administratorまたは、Operatorのロールを持つユーザーで実行できます。
- マウントしたディレクトリーの権限について、以下に示します。
  - 読み込み専用でマウントします。
  - SMBの場合：マウント先ディレクトリーと同じ
  - NFSの場合：root
- 同じ共有ディレクトリー情報は、異なるマウント先にマウントできません。
- 同じ共有ディレクトリー情報を、同じマウント先には、複数回マウントできます。

4.18.17 共有ディレクトリーのマウント解除

[概要]

共有ディレクトリーのマウントを解除します。

[形式]

```
POST /system/settings/shareddirectory/umount/{mountid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
UmountMode	string	マウント解除モード マウント解除のモードを指定します。 ・ Normal：マウント解除をマウント回数に応じて実行する。 ・ Forced：強制的にマウント解除を行う。 キー省略時は、Normalが指定されたものとします。

[レスポンスパラメーター]

なし

[注意事項]

- Administrator、またはOperatorのロールを持つユーザーで実行できます。
- 同じ共有ディレクトリー情報を、同じマウント先に、複数回マウントした場合、マウント回数が0のときマウント解除します。

4.18.18 プロキシ設定の追加

[概要]

プロキシ設定を追加します。

[形式]

```
POST /system/settings/proxy
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
UserGroupId	string	ユーザーグループID 本キーを省略した場合、実行したユーザーが属するユーザーグループに対してプロキシ設定を追加します。
ProxySetting	object	プロキシ設定情報
DetailSettings	array	プロキシ設定の詳細設定を指定します。

パラメーター	型	説明
ProxyHostName	string	プロキシホスト名 プロキシサーバーのIPアドレスまたはホスト名を指定します。
ProxyPortNum	integer	プロキシポート番号 プロキシサーバーのポート番号を指定します。
ProxyAccountSetting	object	プロキシサーバーの認証情報 プロキシサーバーの認証が必要な場合に指定します。 本キーは、省略可能です。
Account	string	アカウント名 アカウント名（ユーザー名）を指定します。
Password	string	パスワード アカウント名に対するパスワードを暗号化して指定します。暗号化の方法は「2.4 暗号化」を参照してください。 なお、復号結果が256文字以内となる暗号化文字列を指定してください。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProxySetting	object	プロキシ設定情報
ProxyId	string	プロキシID
UserGroupId	string	ユーザーグループID
DetailSettings	array	プロキシ設定の詳細設定
ProxyHostName	string	プロキシホスト名
ProxyPortNum	integer	プロキシポート番号
ProxyAccountSetting	object	プロキシサーバーの認証情報 プロキシサーバーの認証情報が設定されている場合に出力します。
Account	string	アカウント名

[注意事項]

- Administrator、またはOperatorのロールを持つユーザーで実行できます。
- 登録数について、以下に示します。
  - ユーザーグループごとに1つのみ設定できます。
  - 全ノード管理のユーザーグループでは、プロキシ設定は共通です。
  - 2つ目を登録しようとした場合、エラーとなります。
- アカウント名を指定する場合は、パスワードは省略できません。
- パスワードを指定する場合は、アカウント名は省略できません。
- 本APIでは、プロキシ設定情報が誤っている場合でも追加されます。プロキシ設定情報が正しいか確認する場合は、「4.18.22 プロキシ設定の接続テスト」を実行してください。

4.18.19 プロキシ設定の表示

[概要]

プロキシ設定を表示します。

[形式]

```
GET /system/settings/proxy
```

[クエリパラメーター]

パラメーター	型	説明
usergroupid	string	ユーザーグループID
proxyid	string	プロキシID

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProxySettingList	array	プロキシ設定情報リスト
ProxyId	string	プロキシID
UserGroupId	string	ユーザーグループID
DetailSettings	array	プロキシ設定の詳細設定
ProxyHostName	string	プロキシホスト名
ProxyPortNum	integer	プロキシポート番号
ProxyAccountSetting	object	プロキシサーバーの認証情報 プロキシサーバーの認証情報が設定されている場合に出力します。
Account	string	アカウント名

[注意事項]

- Administrator、Operator、Monitorのロールを持つユーザーで実行できます。
- クエリパラメーターが指定なしの場合、実行したユーザーが属するユーザーグループのプロキシ設定を出力します。
- クエリパラメーターのusergroupidに、全ノード管理のユーザーグループIDを指定した場合、Administratorグループと共通のプロキシ設定を出力します。

4.18.20 プロキシ設定の更新

[概要]

プロキシ設定を更新します。

[形式]

```
PATCH /system/settings/proxy/{proxyid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProxySetting	object	プロキシ設定情報
DetailSettings	array	プロキシ設定の詳細設定を指定します。
ProxyHostName	string	プロキシホスト名 プロキシサーバーのIPアドレスまたはホスト名を指定します。
ProxyPortNum	integer	プロキシポート番号 プロキシサーバーのポート番号を指定します。
ProxyAccountSetting	object	プロキシサーバーの認証情報 プロキシサーバーの認証が必要な場合に指定します。
Account	string	アカウント名 アカウント名（ユーザー名）を指定します。 nullを指定した場合、アカウント名の設定値をクリアします。
Password	string	パスワード アカウント名に対するパスワードを暗号化して指定します。暗号化の方法は「2.4 暗号化」を参照してください。 なお、復号結果が256文字以内となる暗号化文字列を指定してください。 nullを指定した場合、パスワードの設定値をクリアします。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProxySetting	object	プロキシ設定情報
ProxyId	string	プロキシID
UserGroupId	string	ユーザーグループID
DetailSettings	array	プロキシ設定の詳細設定
ProxyHostName	string	プロキシホスト名
ProxyPortNum	integer	プロキシポート番号
ProxyAccountSetting	object	プロキシサーバーの認証情報 プロキシサーバーの認証情報が設定されている場合に出力します。
Account	string	アカウント名

[注意事項]

- Administrator、またはOperatorのロールを持つユーザーで実行できます。
- 指定されたキーのみ更新します。省略したキーの値は、更新しません。
- 本APIでは、プロキシ設定情報が誤っている場合でも更新されます。プロキシ設定情報が正しいか確認する場合は、「4.18.22 プロキシ設定の接続テスト」を実行してください。
-

4.18.21 プロキシ設定の削除

[概要]

プロキシ設定を削除します。

[形式]

```
DELETE /system/settings/proxy/{proxyid}
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProxyId	string	プロキシID

[注意事項]

- Administrator、またはOperatorのロールを持つユーザーで実行できます。

4.18.22 プロキシ設定の接続テスト

[概要]

プロキシ設定の接続テストをします。

[形式]

```
POST /system/settings/proxy/test
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
ProxyId	string	プロキシID 本キーを省略した場合、必ずPasswordキーを指定してください。
ProxyHostName	string	プロキシホスト名 プロキシサーバーのIPアドレスまたはホスト名を指定します。
ProxyPortNum	integer	プロキシポート番号 プロキシサーバーのポート番号を指定します。
ProxyAccountSetting	object	プロキシサーバーの認証情報 プロキシサーバーの認証が必要な場合に指定します。 本キーは、省略可能です。
Account	string	アカウント名 アカウント名（ユーザー名）を指定します。
Password	string	パスワード

パラメーター	型	説明
		アカウント名に対するパスワードを暗号化して指定します。暗号化の方法は「2.4 暗号化」を参照してください。 なお、復号結果が256文字以内となる暗号化文字列を指定してください。
ValidationURL	string	接続テスト用URL 指定したプロキシ設定で接続確認するための接続テスト用URLを指定します。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
TestInfo	object	テスト情報
TestResult	string	テストのステータス ・ Success：成功 ・ IPaddressFailed：IPアドレス不正 ・ PortClosed：ポート閉塞 ・ IpaddressOrPortFailed：IPアドレス不正またはポート閉塞 ・ AuthenticationFailed：認証失敗 ・ UnexpectedFailed：予期せぬ失敗 ・ Timeout：タイムアウト ・ ValidationURLFailed：接続テスト用URL不正 ・ DNSFailed：名前解決に失敗
TestDetails	string	通信結果 失敗時：詳細メッセージ

[注意事項]

- Administrator、またはOperatorのロールを持つユーザーで実行できます。
- リクエストパラメーターにプロキシIDを指定した場合は、指定したプロキシIDで管理するパスワードを使用してテスト実行します。
- リクエストパラメーターにプロキシIDとパスワードどちらも指定した場合は、パスワードで指定した値を使用してテスト実行します。

4.18.23 仮想化管理ソフトウェアのイベント出力抑止モードの変更

[概要]

仮想化管理ソフトウェアのイベント出力抑止モードを変更します。

[形式]

```
POST /system/settings/cms/{cmsid}/maintenancemode
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
CmsInfo	object	仮想化管理ソフトウェア情報
MaintenanceMode	boolean	イベント出力抑止モード ・ True:イベント出力抑止モード有効 ・ False:イベント出力抑止モード無効(初期値)

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
CmsInfo	object	仮想化管理ソフトウェア情報
MaintenanceMode	boolean	イベント出力抑止モード ・ True:イベント出力抑止モード有効 ・ False:イベント出力抑止モード無効(初期値)

4.18.24 中継ルート設定の取得

[概要]

中継ルート設定を取得します。

[形式]

```
GET /system/settings/relayroute
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
RelayRouteSetting	object	中継ルート設定
RelayRouteSettingList	array	中継ルート設定リスト
RelayRouteId	integer	中継ルート番号
Client	object	クライアント情報
IpAddress	string	IPアドレス IPアドレスが設定されていない場合、nullが出力されます。
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4:IPv4 ・ V6:IPv6 ・ null:IPアドレスが設定されていない場合

[注意事項]

・ Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。

4.18.25 中継ルート設定の更新

[概要]

中継ルート設定を更新します。

中継ルートとは、iRMCログイン(「4.5.5 iRMCログインセッションの取得」)使用時、クライアントから直接アクセスできないネットワーク内にあるiRMCのWeb画面を表示できるように通信を中継する機能です。

中継ルート番号に対して、中継ルートを経由してiRMCのWeb画面を表示するクライアントからISMへの通信に使用するIPアドレスを設定します。

[形式]

```
PATCH /system/settings/relayroute
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

パラメーター	型	説明
RelayRouteSetting	object	中継ルート設定
RelayRouteSettingList	array	中継ルート設定リスト
RelayRouteId	integer	中継ルート番号 「4.18.24 中継ルート設定の取得」のレスポンスパラメーター「RelayRouteId」に出力される中継ルート番号を指定してください。
Client	object	クライアント情報
IpAddress	string	IPアドレス 中継ルートを使用するクライアントからISMへの通信に使用するIPアドレスを指定します。 中継ルートを使用するクライアントから「4.18.26 中継ルート情報の取得」を実行し、レスポンスパラメーター「IpAddress」に出力されるIPアドレスを指定してください。 設定を削除(解除)する場合は、nullを指定してください。

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
RelayRouteSetting	object	中継ルート設定
RelayRouteSettingList	array	中継ルート設定リスト
RelayRouteId	integer	中継ルート番号
Client	object	クライアント情報
IpAddress	string	IPアドレス IPアドレスが設定されていない場合、nullが出力されます。
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4:IPv4 ・ V6:IPv6

パラメーター	型	説明
		・ null：IPアドレスが設定されていない場合

[注意事項]

・ Administratorグループに属し、かつAdministratorのロールを持つユーザーでのみ実行できます。

4.18.26 中継ルート情報の取得

[概要]

自クライアントが使用できる中継ルート情報（IPアドレス、中継ルート番号）を取得します。

[形式]

```
GET /system/relayroute
```

[クエリパラメーター]

なし

[リクエストパラメーター]

なし

[レスポンスパラメーター]

パラメーター	型	説明
RelayRoute	object	中継ルート設定
Client	object	自クライアント情報
IpAddress	string	IPアドレス リクエストヘッダー「X-Forwarded-For」からIPアドレスを取得します。 リクエストヘッダーに「X-Forwarded-For」が含まれていない場合は、nullが出力されます。
IpVersion	string	IPアドレスのIPバージョン ・ V4：IPv4 ・ V6：IPv6 ・ null：IPアドレスが取得できなかった場合
RelayRouteList	array	中継ルートリスト
RelayRouteId	integer	中継ルート番号 自クライアントIPアドレスが設定されている中継ルート番号が出力されます。
RelayedDestination	object	中継先情報
NodeId	integer	ノードID 中継中の中継先ノードIDが出力されます。 中継していない場合は、nullが出力されます。

付録A　各APIの権限一覧表

ここでは、ユーザーの種類（権限）に応じてどのAPIを実行できるかを一覧にまとめています。

凡例を以下に示します。

権限者

下記表の「各権限者の実行可否」欄の権限者について説明します。

－ ISM管理者

Administratorグループに属し、Administratorロールを持つユーザーです。

テナントに割り当てる前の資源の管理や、テナントでの共有部分（ラックやシャーシ）に対する操作ができます。

－ Administrator

Administratorグループ以外のグループに属し、Administratorロールを持つユーザーです。

所属するグループ内の資源の割振り操作（ユーザー作成など）ができます。

－ Operator

任意のグループ（Administratorグループを含む）に属し、Operatorロールを持つユーザーです。

所属するグループ内の資源の操作ができます。

－ Monitor

任意のグループ（Administratorグループを含む）に属し、Monitorロールを持つユーザーです。

所属するグループ内の資源の参照ができます。

表中記号の見方

○：実行可能

- ：実行不可

●：「ISM管理者」のみ実行可能

API		各権限者の実行可否						備考
		ISM全体の資源操作			所属グループの資源操作			
URI	メソッド	ISM管理者	Operator	Monitor	Administrator	Operator	Monitor	
/datacenters	GET	○	○	○	○	○	○	
/datacenters	POST	●	-	-	-	-	-	
/datacenters/{datacenterid}	DELETE	●	-	-	-	-	-	
/datacenters/{datacenterid}	GET	○	○	○	○	○	○	
/datacenters/{datacenterid}	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/event/actions	GET	○	○	○	○	○	○	
/event/actions	POST	○	○	-	○	○	-	
/event/actions/{actionid}	DELETE	○	○	-	○	○	-	
/event/actions/{actionid}	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/event/actions/{actionid}/test	POST	○	○	-	○	○	-	
/event/alarms	GET	○	○	○	○	○	○	

API		各権限者の実行可否						備考
		ISM全体の資源操作			所属グループの資源操作			
URI	メソッド	ISM管理者	Operator	Monitor	Administrator	Operator	Monitor	
/event/alarms	POST	○	○	-	○	○	-	
/event/alarms/{alarmid}	DELETE	○	○	-	○	○	-	
/event/alarms/{alarmid}	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/event/alarms/eventlist	GET	○	○	○	○	○	○	
/event/alarms/settings	GET	○	○	○	○	○	○	
/event/alarms/settings	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/event/alarms/traplist	GET	○	○	○	○	○	○	
/event/history	GET	○	○	○	○	○	○	
/event/history/anomaly/export	POST	○	○	○	○	○	○	
/event/history/anomaly/logs/{logid}	GET	○	○	○	○	○	○	
/event/history/anomaly/show	GET	○	○	○	○	○	○	
/event/history/audit/export	POST	●	-	-	-	-	-	ISM管理者以外には、ユーザー権限不当が通知されます。
/event/history/audit/logs/{logid}	GET	●	○	○	○	○	○	ISM管理者以外には、0件の検索結果が通知されます。
/event/history/audit/show	GET	●	○	○	○	○	○	ISM管理者以外には、0件の検索結果が通知されます。
/event/history/event/export	POST	○	○	○	○	○	○	
/event/history/event/logs/{logid}	GET	○	○	○	○	○	○	
/event/history/event/show	GET	○	○	○	○	○	○	
/event/history/retentionperiod/settings	GET	○	○	○	○	○	○	
/event/history/retentionperiod/settings	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/event/history/trap	GET	○	○	○	○	○	○	
/event/history/trap/ignore	GET	○	○	○	○	○	○	
/event/history/trap/ignore	POST	○	○	-	○	○	-	
/event/history/trap/ignore/delete	POST	○	○	-	○	○	-	
/event/snmpmanagers	GET	○	○	○	○	○	○	
/event/snmpmanagers	POST	○	○	-	○	○	-	
/event/snmpmanagers/{snmpserverid}	DELETE	○	○	-	○	○	-	
/event/snmpmanagers/{snmpserverid}	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/floors	GET	○	○	○	○	○	○	
/floors	POST	●	-	-	-	-	-	
/floors/{floorid}	DELETE	●	-	-	-	-	-	

API		各権限者の実行可否						備考
		ISM全体の資源操作			所属グループの資源操作			
URI	メソッド	ISM管理者	Operator	Monitor	Administrator	Operator	Monitor	
/floors/{floorid}	GET	○	○	○	○	○	○	
/floors/{floorid}	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/ismva/loginstatus	GET	●	-	-	-	-	-	
/ismva/power/restart	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/power/stop	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/privilege	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/privilege/settings	GET	●	-	-	-	-	-	
/ismva/privilege/settings	POST	○	○	○	-	-	-	
/ismva/settings	GET	○	○	○	○	○	○	
/ismva/settings	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/backup	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/cas	GET	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/cas	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/dhcp	GET	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/dhcp	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/dhcp/export	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/kerberos	GET	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/kerberos	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/kerberos/init	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/kerberos/restore	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/locale	GET	○	○	○	○	○	○	
/ismva/settings/locale	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/locale/keymap/list	GET	○	○	○	○	○	○	
/ismva/settings/locale/list	GET	○	○	○	○	○	○	
/ismva/settings/patch/add	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/plugin	GET	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/plugin/add	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/plugin/delete	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/restore	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/result	GET	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/service	GET	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/sslcert	GET	○	○	○	○	○	○	
/ismva/settings/sslcert	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/sslcert/export	POST	●	-	-	-	-	-	

API		各権限者の実行可否						備考
		ISM全体の資源操作			所属グループの資源操作			
URI	メソッド	ISM管理者	Operator	Monitor	Administrator	Operator	Monitor	
/ismva/settings/time	GET	○	○	○	○	○	○	
/ismva/settings/time	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/timezone	GET	○	○	○	○	○	○	
/ismva/settings/volume	GET	○	○	○	○	○	○	
/ismva/settings/volume	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/volume/delete	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/volume/extend	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/volume/mount	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/settings/volume/umount	POST	●	-	-	-	-	-	
/ismva/webserverlog/export	POST	●	-	-	-	-	-	
/networks/connections	GET	○	○	○	○	○	○	
/networks/connections	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/networks/differences	GET	○	○	○	○	○	○	
/networks/differences	POST	●	-	-	-	-	-	
/networks/nodes/{nodeid}/ifgroups	GET	○	○	○	○	○	○	
/networks/nodes/{nodeid}/lags	GET	○	○	○	○	○	○	
/networks/nodes/{nodeid}/lags	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/networks/nodes/{nodeid}/vfabs	GET	○	○	○	○	○	○	
/networks/nodes/{nodeid}/vlans	GET	○	○	○	○	○	○	
/networks/ports	GET	○	○	○	○	○	○	
/networks/refresh	GET	○	○	○	○	○	○	
/networks/refresh	POST	○	○	○	○	○	○	
/networks/virtualmachines	GET	○	○	○	○	○	○	
/networks/virtualrouters	GET	○	○	○	○	○	○	
/networks/virtualswitches	GET	○	○	○	○	○	○	
/networks/vlans	POST	○	○	○	○	○	○	
/networks/vlans/cancel	POST	○	○	○	○	○	○	
/nodegroups	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodegroups	POST	●	-	-	-	-	-	
/nodegroups/{nodegroupid}	DELETE	●	-	-	-	-	-	
/nodegroups/{nodegroupid}	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodegroups/{nodegroupid}	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/nodes	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes	POST	●	-	-	-	-	-	

API		各権限者の実行可否						備考
		ISM全体の資源操作			所属グループの資源操作			
URI	メソッド	ISM管理者	Operator	Monitor	Administrator	Operator	Monitor	
/nodes/account/authentication/check（ISM 3.0.0.010以降）	POST	●	-	-	-	-	-	
/nodes/{nodeid}	DELETE	●	-	-	-	-	-	
/nodes/{nodeid}	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes/{nodeid}	PATCH	○	○	-	○	○	-	ラック搭載位置情報はISM管理者のみ変更できます。
/nodes/{nodeid}/accounts	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes/{nodeid}/accounts	POST	○	○	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/accounts/{accountid}	DELETE	○	○	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/accounts/{accountid}	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes/{nodeid}/accounts/{accountid}	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/alarmstatus/deactivate	POST	○	○	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/inventory	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes/{nodeid}/inventory/refresh	POST	○	○	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/irmcloginsession	POST	○	○	○	○	○	○	Monitorは、AVRおよびリモートストレージ使用不可。
/nodes/{nodeid}/led	GET	○	○	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/led	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/maintenancemode	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/monitor/itemlist	GET	○	○	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/monitor/network	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/monitor/network/history	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes/{nodeid}/monitor/settings	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes/{nodeid}/monitor/settings	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/os	DELETE	○	○	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/os	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes/{nodeid}/os	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/os	POST	○	○	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/power	GET	○	○	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/power	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/profiles/assign	POST	○	-	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/profiles/backup	POST	○	-	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/profiles/eim/update	POST	○	-	-	○	○	-	

API		各権限者の実行可否						備考
		ISM全体の資源操作			所属グループの資源操作			
URI	メソッド	ISM管理者	Operator	Monitor	Administrator	Operator	Monitor	
/nodes/{nodeid}/profiles/restore	POST	○	-	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/profiles/unassign	POST	○	-	-	○	○	-	
/nodes/{nodeid}/profiles/verify	POST	○	-	-	○	○	-	
/nodes/aisgateway/scripts/download	POST	○	-	-	○	-	-	
/nodes/discovery/auto	GET	●	-	-	-	-	-	
/nodes/discovery/auto/{discoverednodeid}	POST	●	-	-	-	-	-	
/nodes/discovery/auto/{discoverednodeid}/authentication/check（ISM 3.0.0.010以降）	POST	●	-	-	-	-	-	
/nodes/discovery/manual	GET	●	-	-	-	-	-	
/nodes/discovery/manual	POST	●	-	-	-	-	-	
/nodes/discovery/manual/{manualdiscoveryid}/{manualnodeid}	POST	●	-	-	-	-	-	
/nodes/discovery/manual/{manualdiscoveryid}/{manualnodeid}/authentication/check（ISM 3.0.0.010以降）	POST	●	-	-	-	-	-	
/nodes/discovery/manual/{manualdiscoveryid}/cancel	POST	●	-	-	-	-	-	
/nodes/discovery/manual/csv	POST	●	-	-	-	-	-	
/nodes/discovery/manual/csvitems	GET	●	-	-	-	-	-	
/nodes/firmware/update	POST	○	○	-	○	○	-	
/nodes/firmware/update/cancel	POST	○	○	-	○	○	-	実行したユーザーと同一ユーザー（ユーザーID）の必要があります。
/nodes/inventory	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes/logs	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes/logs/archivedlog/downloadfiles	GET	○	○	-	○	○	-	
/nodes/logs/archivedlog/downloadfiles/create	POST	○	○	-	○	○	-	
/nodes/logs/archivedlog/downloadfiles/create/cancel	POST	○	○	-	○	○	-	
/nodes/logs/collection/collect	POST	○	○	-	○	○	-	
/nodes/logs/collection/collect/cancel	POST	○	○	-	○	○	-	
/nodes/logs/collection/settings	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes/logs/collection/settings	PATCH	○	○	-	○	○	-	

API		各権限者の実行可否						備考
		ISM全体の資源操作			所属グループの資源操作			
URI	メソッド	ISM管理者	Operator	Monitor	Administrator	Operator	Monitor	
/nodes/logs/files	GET	○	○	-	○	○	-	
/nodes/logs/files/delete	POST	○	○	-	○	○	-	
/nodes/logs/files/delete/cancel	POST	○	○	-	○	○	-	
/nodes/logs/nodelog/downloadfiles	GET	○	○	-	○	○	-	
/nodes/logs/nodelog/downloadfiles/create	POST	○	○	-	○	○	-	
/nodes/logs/nodelog/downloadfiles/create/cancel	POST	○	○	-	○	○	-	
/nodes/monitor/items	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes/monitor/items	POST	○	○	-	○	○	-	
/nodes/monitor/items/{itemid}	DELETE	○	○	-	○	○	-	
/nodes/monitor/items/{itemid}	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/nodes/monitor/items/{itemid}/history	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes/monitor/network	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes/monitor/prediction/globalthreshold	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes/monitor/prediction/globalthreshold	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/nodes/nodes	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/nodes/nodes/os	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/nodes/schedules	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/nodes/nodegroups/assign	POST	●	-	-	-	-	-	
/nodes/nodetags	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes/os	GET	○	○	○	○	○	○	
/nodes/powercapping	GET	●	-	-	-	-	-	
/nodes/powercapping	POST	●	-	-	-	-	-	
/nodes/powercapping/{cappingid}	DELETE	●	-	-	-	-	-	
/nodes/powercapping/{cappingid}	GET	●	-	-	-	-	-	
/nodes/powercapping/{cappingid}	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/nodes/powercapping/{cappingid}/policy	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/nodes/powercapping/cancel	POST	●	-	-	-	-	-	
/nodes/profiles/assign/cancel	POST	○	-	-	○	○	-	
/nodes/profiles/backup/cancel	POST	○	-	-	○	○	-	
/nodes/profiles/eim/update/cancel	POST	○	-	-	○	○	-	

API		各権限者の実行可否						備考
		ISM全体の資源操作			所属グループの資源操作			
URI	メソッド	ISM管理者	Operator	Monitor	Administrator	Operator	Monitor	
/nodes/profiles/restore/cancel	POST	○	-	-	○	○	-	
/nodes/profiles/unassign/cancel	POST	○	-	-	○	○	-	
/nodes/profiles/verify/cancel	POST	○	-	-	○	○	-	
/pools	GET	○	○	○	○	○	○	
/pools	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/pools/assign	POST	○	○	-	○	○	-	
/pools/unassign	POST	○	○	-	○	○	-	
/profiles/backups	GET	○	-	-	○	○	○	
/profiles/backups/{backupid}	DELETE	○	-	-	○	○	-	
/profiles/backups/export	POST	○	-	-	○	○	-	
/profiles/backups/import	POST	○	-	-	○	○	-	
/profiles/backups/policy	POST	○	-	-	○	○	-	
/profiles/backups/profile	POST	○	-	-	○	○	-	
/profiles/categories	GET	○	-	-	○	○	○	
/profiles/categories	POST	○	-	-	○	○	○	
/profiles/export	POST	○	-	-	○	○	-	
/profiles/import	POST	○	-	-	○	○	-	
/profiles/packages	GET	○	-	-	○	○	○	
/profiles/policies	GET	○	-	-	○	○	○	
/profiles/policies	POST	○	-	-	○	○	-	
/profiles/policies/{policyid}	DELETE	○	-	-	○	○	-	
/profiles/policies/{policyid}	GET	○	-	-	○	○	○	
/profiles/policies/{policyid}	PATCH	○	-	-	○	○	-	
/profiles/policies/groups	GET	○	-	-	○	○	○	
/profiles/policies/groups	POST	○	-	-	○	○	-	
/profiles/policies/groups/{groupid}	DELETE	○	-	-	○	○	-	
/profiles/policies/groups/{groupid}	GET	○	-	-	○	○	○	
/profiles/policies/groups/{groupid}	PATCH	○	-	-	○	○	-	
/profiles/profiles	GET	○	-	-	○	○	○	
/profiles/profiles	POST	○	-	-	○	○	-	
/profiles/profiles/{profileid}	DELETE	○	-	-	○	○	-	
/profiles/profiles/{profileid}	GET	○	-	-	○	○	○	
/profiles/profiles/{profileid}	PATCH	○	-	-	○	○	-	
/profiles/profiles/groups	GET	○	-	-	○	○	○	

API		各権限者の実行可否						備考
		ISM全体の資源操作			所属グループの資源操作			
URI	メソッド	ISM管理者	Operator	Monitor	Administrator	Operator	Monitor	
/profiles/profiles/groups	POST	○	-	-	○	○	-	
/profiles/profiles/groups/{groupid}	DELETE	○	-	-	○	○	-	
/profiles/profiles/groups/{groupid}	GET	○	-	-	○	○	○	
/profiles/profiles/groups/{groupid}	PATCH	○	-	-	○	○	-	
/profiles/profiles/nodes	GET	○	-	-	○	○	○	
/racks	GET	○	○	○	○	○	○	
/racks	POST	●	-	-	-	-	-	
/racks/{rackid}	DELETE	●	-	-	-	-	-	
/racks/{rackid}	GET	○	○	○	○	○	○	
/racks/{rackid}	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/resources/clusters	GET	○	○	○	○	○	○	
/resources/clusters/{clusterid}	GET	○	○	○	○	○	○	
/resources/inventory/refresh	POST	○	○	-	○	○	-	
/resources/inventory/virtualmachine/test	POST	○	○	-	○	○	-	
/resources/nodes/{nodeid}/cmsmaintenancemode/set	POST	○	○	-	○	○	-	
/resources/nodes/{nodeid}/cmsmaintenancemode/unset	POST	○	○	-	○	○	-	
/resources/nodes/{nodeid}/restart	POST	○	○	-	○	○	-	
/resources/storagepools	GET	○	○	○	○	○	○	
/resources/storagepools/{storagepoolid}	GET	○	○	○	○	○	○	
/resources/storagepools/{storagepoolid}/history	POST	○	○	○	○	○	○	
/resources/storagepools/refresh	POST	○	○	-	○	○	○	
/resources/virtualmachines	GET	○	○	○	○	○	○	
/resources/virtualmachines/{virtualmachineid}	GET	○	○	○	○	○	○	
/resources/virtualmachines/{virtualmachineid}/move	POST	○	○	-	○	○	-	
/resources/virtualmachines/{virtualmachineid}/power/off	POST	○	○	-	○	○	-	
/resources/virtualmachines/{virtualmachineid}/power/on	POST	○	○	-	○	○	-	
/resources/virtualrouters	GET	○	○	○	○	○	○	
/resources/virtualrouters/{virtualrouterid}	GET	○	○	○	○	○	○	

API		各権限者の実行可否						備考
		ISM全体の資源操作			所属グループの資源操作			
URI	メソッド	ISM管理者	Operator	Monitor	Administrator	Operator	Monitor	
/resources/virtualswitches	GET	○	○	○	○	○	○	
/resources/virtualswitches/{virtualswitchid}	GET	○	○	○	○	○	○	
/sustainability/co2emissions/export	POST	○	○	-	-	-	-	
/sustainability/co2emissions/export/cancel	POST	○	○	-	-	-	-	
/sustainability/co2emissions/summary	GET	○	○	○	-	-	-	
/sustainability/settings	GET	○	○	○	-	-	-	
/sustainability/settings	PATCH	○	○	-	-	-	-	
/system/ismva/version	GET	○	○	○	○	○	○	
/system/licenses	GET	●	-	-	-	-	-	
/system/licenses	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/system/licenses	POST	●	-	-	-	-	-	
/system/licenses/delete	POST	●	-	-	-	-	-	
/system/relayroute	GET	○	○	○	○	○	○	
/system/settings/cms	GET	○	○	○	○	○	○	
/system/settings/cms	POST	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/cms/{cmsid}	DELETE	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/cms/{cmsid}	GET	○	○	○	○	○	○	
/system/settings/cms/{cmsid}	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/cms/{cmsid}/maintenancemode	POST	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/firmware/{firmwareid}	DELETE	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/firmware/documents	POST	○	○	○	○	○	○	
/system/settings/firmware/dvd/{repositoryid}	DELETE	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/firmware/dvd/import	POST	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/firmware/dvd/import/cancel	POST	○	○	-	○	○	-	実行したユーザーと同一ユーザー（ユーザーID）の必要があります。
/system/settings/firmware/import	POST	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/firmware/import/cancel	POST	○	○	-	○	○	-	実行したユーザーと同一ユーザー（ユーザーID）の必要があります。
/system/settings/firmware/repositories	GET	○	○	○	○	○	○	
/system/settings/firmware/template	GET	○	○	○	○	○	○	

API		各権限者の実行可否						備考
		ISM全体の資源操作			所属グループの資源操作			
URI	メソッド	ISM管理者	Operator	Monitor	Administrator	Operator	Monitor	
/system/settings/firmware/list	GET	○	○	○	○	○	○	
/system/settings/firmware/baseline/createupdate	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/firmware/baseline/delete	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/firmware/baseline/list	GET	○	○	○	○	○	○	
/system/settings/firmware/baseline/allocate	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/firmware/baseline/allocate/release	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/firmware/baseline/template	GET	○	○	○	○	○	○	
/system/settings/firmware/firmtool/import	POST	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/firmware/firmtool/import/cancel	POST	○	○	-	○	○	-	実行したユーザーと同一ユーザー（ユーザーID）の必要があります。
/system/settings/firmware/firmtool/list	GET	○	○	○	○	○	○	
/system/settings/firmware/firmtool/{toolid}	DELETE	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/ftp/filelist	GET	○	○	○	○	○	○	
/system/settings/job/firmwareupdate	GET	○	○	○	○	○	○	
/system/settings/job/firmwareupdate/{JobId}	DELETE	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/ldaps	GET	●	-	-	-	-	-	
/system/settings/ldaps	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/system/settings/ldaps/switch	POST	●	-	-	-	-	-	
/system/settings/proxy	GET	○	○	○	○	○	○	
/system/settings/proxy	POST	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/proxy/{proxyid}	DELETE	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/proxy/{proxyid}	PATCH	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/proxy/test	POST	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/relayroute	GET	●	-	-	-	-	-	
/system/settings/relayroute	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/system/settings/repositories/profiles	GET	○	-	-	○	○	○	
/system/settings/repositories/profiles/{repositoryid}	DELETE	○	-	-	○	○	-	

API		各権限者の実行可否						備考
		ISM全体の資源操作			所属グループの資源操作			
URI	メソッド	ISM管理者	Operator	Monitor	Administrator	Operator	Monitor	
/system/settings/repositories/profiles/dvd/import	POST	○	-	-	○	○	-	
/system/settings/repositories/profiles/dvd/import/cancel	POST	○	-	-	○	○	-	
/system/settings/shareddirectory	GET	○	○	○	○	○	○	
/system/settings/shareddirectory/{mountid}	DELETE	●	-	-	-	-	-	
/system/settings/shareddirectory/{mountid}	GET	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/shareddirectory/{mountid}	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/system/settings/shareddirectory/{usergroupid}	POST	●	-	-	-	-	-	
/system/settings/shareddirectory/mount/{mountid}	POST	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/shareddirectory/umount/{mountid}	POST	○	○	-	○	○	-	
/system/settings/smtpserver	GET	○	○	○	○	○	○	
/system/settings/smtpserver	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/system/settings/snmptrapsettings	POST	●	-	-	-	-	-	
/system/settings/snmptrapsettings	GET	●	-	-	-	-	-	
/system/settings/snmptrapsettings/{snmptrapsettingsid}	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/system/settings/snmptrapsettings/{snmptrapsettingsid}	DELETE	●	-	-	-	-	-	
/system/snap	POST	●	-	-	-	-	-	
/tasks	GET	○	○	○	○	○	○	
/tasks/{taskid}	GET	○	○	○	○	○	○	
/usergroups	GET	○	○	○	○	○	○	
/usergroups	POST	●	-	-	-	-	-	
/usergroups/{usergroupid}	DELETE	●	-	-	-	-	-	
/usergroups/{usergroupid}	GET	○	○	○	○	○	○	
/usergroups/{usergroupid}	PATCH	●	-	-	-	-	-	
/usergroups/search	GET	●	-	-	-	-	-	
/users	GET	○	○	○	○	○	○	Administratorロールを持たないユーザーで実行した場合、実行ユーザーの情報のみ取得できます。

API		各権限者の実行可否						備考
		ISM全体の資源操作			所属グループの資源操作			
URI	メソッド	ISM管理者	Operator	Monitor	Administrator	Operator	Monitor	
/users	POST	○	-	-	○	-	-	
/users/{userid}	DELETE	○	-	-	○	-	-	
/users/{userid}	GET	○	○	○	○	○	○	Administratorロールを持たないユーザーで実行した場合、実行ユーザーの情報のみ取得できます。
/users/{userid}	PATCH	○	○	○	○	○	○	Administratorロールを持たないユーザーで実行した場合、実行ユーザーの一部情報のみ変更できます。
/users/{userid}/selectgroup	POST	○	○	○	○	○	○	対象ユーザーのみ実行できます。
/users/login	POST	○	○	○	○	○	○	
/users/logout	POST	○	○	○	○	○	○	
/users/policy	GET	○	○	○	○	○	○	
/users/policy	POST	●	-	-	-	-	-	

付録B　REST APIの使用例

ここでは、以下の運用を想定したISMのREST APIの使用例を説明します。

- ノード登録（検出～登録）

  ノード管理機能のREST APIを利用して、ノードを登録する手順の利用例を説明します。

- ノードのステータス一覧表示

  ノード管理機能のREST APIを利用して、ノードのステータス一覧を表示する手順の利用例を説明します。

- プロファイルの適用

  プロファイル管理機能のREST APIを利用して、ノードにプロファイルを適用する手順の利用例を説明します。

- ファームウェアアップデート

  ファームウェア管理機能のREST APIを利用して、ノードにファームウェアアップデートを行う手順の利用例を説明します。

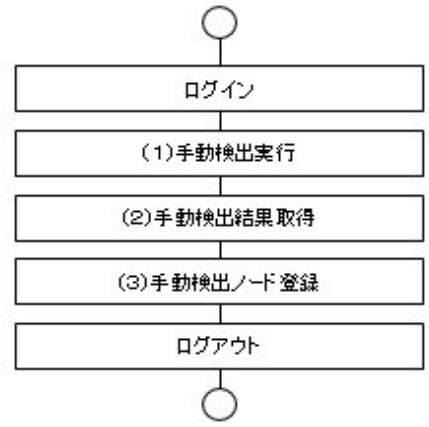
- ログの取り出し

  ログ管理機能のREST APIを利用して、ノードからログを取り出す手順の利用例を説明します。

B.1　ノード登録（検出～登録）

サーバーを検出して、ノード登録するREST APIの使用例を説明します。

ノード登録の処理概要を以下に示します。



ポイント

上記フローの「ログイン」「ログアウト」については、「3.1.2 セッション認証」を参照してください。

上記の処理概要から、ノード検出機能のREST APIの使用例を説明します。

なお、REST APIの使用例は、curl コマンドの例として説明します。

以降の記述例では、以下の前提で記述します。

- ISM-VAのIPアドレスは、「192.168.1.2」とします。
- ISMから取得した証明書は、「/tmp/certificate.crt」に格納されているものとします。
- ログインで取得したセッションIDは、「123456789」とします。

ノード登録対象サーバーの情報は、以下とします。パスワードは、「2.4 暗号化」の手順に従って暗号化したパスワードとします。

- モデル名：PRIMERGY RX2540 M4

- シリアル番号 : XXXXXXXX
- IPアドレス: 192.168.1.10
- ユーザー名: admin
- 暗号化したパスワード: abcdefgh

(1)手動検出実行

検出するIPアドレスとアカウント情報を指定してノードを手動検出します。

表B.1 ノードを手動検出するREST API

REST API	参照先
POST /nodes/discovery/manual	4.4.1 ノード手動検出実行

リクエスト例

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/discovery/manual" -X POST
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
    -d '{"IsmBody":{"ManualDiscoverySetting":{
      "Ranges":[{"IpAddressRange":"192.168.1.10","IpVersion":"V4"}],
      "Accounts":[{"AccountType":"Ipmi","PortNum":623,"AccountName":"admin","Password":"abcdefgh",
       "Property":{"Ipmi":null,"Ssh":null,
        "SnmpV1":{"CommunityName":null},"SnmpV2":{"CommunityName":null},
        "SnmpV3":{"SecurityLevel":null, "AuthProtocol":null, "PrivProtocol":null,
          "PrivPassword":null, "ContextName":null,"EngineId":null}
       }
     }]
   }}}'
```

レスポンス(JSON)例

```
{
 "SchemaType":"https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/Nodes/NodesDiscoveryManual-POST-Out.0.0.1.json",
 "MessageInfo":[],
 "IsmBody":{
  "ManualDiscoveryId":1
 }
}
```

(2)手動検出結果取得

手動検出の進捗と検出結果を取得します。

表B.2 手動検出結果を取得するREST API

REST API	参照先
GET /nodes/discovery/manual	4.4.2 ノードの手動検出結果取得

リクエスト例

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/discovery/manual" -X GET
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
```

レスポンス(JSON)例 (検出処理未完了)

```
{
 "SchemaType":"https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/Nodes/NodesDiscoveryManual-GET-Out.0.0.1.json",
 "MessageInfo":[],
```

```
 "IsmBody":{
  "ManualDiscoveryId":1,
  "Status":"Running",
  "ManualDiscoveredNodes":[],
  "ManualDiscoverySetting":{
    "Ranges":[{"IpAddressRange":"192.168.1.10","IpVersion":"V4"}],
    "Accounts":[{"AccountType":"Ipmi","PortNum":623,"AccountName":"admin",
     "Property":{"Ipmi":null,"Ssh":null,
     "SnmpV1":{"CommunityName":null},"SnmpV2":{"CommunityName":null},
     "SnmpV3":{"SecurityLevel":null, "AuthProtocol":null, "PrivProtocol":null,
       "ContextName":null,"EngineId":null}
     }
   }]
  }
 }
}
```


レスポンス(JSON)例 (検出処理完了)


```
{
"SchemaType":"https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/Nodes/NodesDiscoveryManual-GET-Out.0.0.1.json",
  "MessageInfo":[],
  "IsmBody":{
    "ManualDiscoveryId":1,
    "Status":"Complete",
    "TotalIpAddressCount":1,
    "CompletedIpAddressCount":1,
    "ManualDiscoveredNodes":[{
     "ManualNodeId":1,
     "IpAddress":"192.168.1.10",
     "IpVersion":"V4",
     "NodeStatus":"Success",
     "NodeType":"server",
     "Model":"PRIMERGY RX2540 M4",
     "SerialNumber":"XXXXXXXX",
     "DomainName":"DomainName-1",
     "Chassis":null,
     "Accounts":[{"AccountType":"Ipmi"}]
  }],
  "ManualDiscoverySetting":{
   "Ranges":[{"IpAddressRange":"192.168.1.10","IpVersion":"V4"}],
   "Accounts":[{"AccountType":"Ipmi","PortNum":623,"AccountName":"admin",
    "Property":{"Ipmi":null,"Ssh":null,
     "SnmpV1":{"CommunityName":null},"SnmpV2":{"CommunityName":null},
     "SnmpV3":{"SecurityLevel":null, "AuthProtocol":null, "PrivProtocol":null,
      "ContextName":null,"EngineId":null}
    }
   }]
  }
 }
}
```


(3)手動検出ノード登録

手動検出されたノードをISMに登録します。「(2)手動検出結果取得」で手動検出処理が完了し、手動検出ノードステータスが成功であることを確認してから実行してください。

以降の記述例では、以下の前提で記述します。手動検出IDおよび手動検出ノードIDは、「(2)手動検出結果取得」で取得できます。

- 手動検出ID: 1
- 手動検出ノードID: 1
- ノード名: Server-1

- ラック搭載位置情報
  - ラックID: 1
  - 搭載位置: 11 (11～12)
  - ラック占有ユニット数: 2

注意

ラック搭載位置情報を設定する場合は、手動検出ノード登録を実行する前に「4.3.6 ラック登録」を実行してください。

表B.3 手動検出ノードを登録するREST API

REST API	参照先
POST /nodes/discovery/manual/{manualdiscoveryid}/{manualnodeid}	4.4.3 手動検出ノードの登録

リクエスト例

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/discovery/manual/1/1" -X POST
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
    -d ' {"IsmBody":{"Node":{"Name":"Server-1","Type":"server","Model":"PRIMERGY RX2540 M4",
      "WebUrl":"http://192.168.1.10","Description":null, "NodeTagList":[{"NodeTag":"Windows"}],
      "RackInfo":{"RackId":1,"Position":11,"OccupySize":2},"MountType":null,"PduPosition":null,
      "Outlet":[],"Chassis":null
    }}}'
```

レスポンス(JSON)例

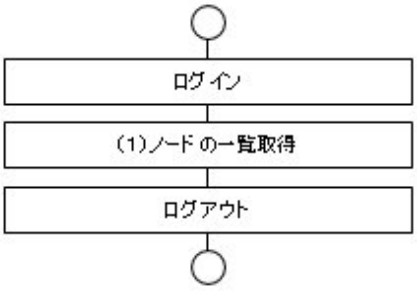
```
{
 "SchemaType":"https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/Nodes/NodesDiscoveryManualManualDiscoveryIdManualNodeId-POST-
Out.0.0.1.json",
 "MessageInfo":[],
 "IsmBody":{
  "Node":{
   "NodeId":10110,
   "Name":"Server-1",
   "Type":"server",
   "Model":"PRIMERGY RX2540 M4",
   "IpAddress":"192.168.1.10",
   "IpVersion":"V4",
   "WebUrl":"http://192.168.1.10",
    "Discription":null,
    "NodeTagList":[{"NodeTag":"Windows"}],
    "RackInfo":{"RackId":1, "Position":11, "OccupySize":2},
    "MountType":null,
    "PduPosition":null,
    "Outlet":[],
    "SlotNum":null,
    "ParentNodeId":null,
    "ParentFabricId":null,
    "ChildNodeList":[],
    "Fabric":[],
    "Status":"Updating",
    "AlarmStatus":"Normal",
    "MaintenanceMode":"Normal",
    "NodeGroupId":8,
    "UniqInfo":"XXXXXXXX",
    "UpdateDate":"2017-09-21T09:26:43.572Z"
   }
```

```
  }
}
```

B.2 ノードのステータス一覧表示

ノード登録したすべての機器のステータスを取得するREST APIの使用例を説明します。

ノードのステータス一覧表示の処理概要を以下に示します。



ポイント

上記フローの「ログイン」「ログアウト」については、「3.1.2 セッション認証」を参照してください。

上記の処理概要から、ノード管理機能のREST APIの使用例を説明します。

なお、REST APIの使用例は、curlコマンドの例として説明します。

以降の記述例では、以下の前提で記述します。

- ISM-VAのIPアドレスは、「192.168.1.2」とします。
- ISMから取得した証明書は、「/tmp/certificate.crt」に格納されているものとします。
- ログインで取得したセッションIDは、「123456789」とします。

(1)ノードの一覧取得

ユーザーが属しているユーザーグループで管理しているすべてのノードの情報を取得し、各ノードのステータスを取得します。

表B.4 ノードの一覧を取得するREST API

REST API	参照先
GET /nodes	4.3.2 ノードの一覧取得

リクエスト例

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes" -X GET
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
```

レスポンス(JSON)例

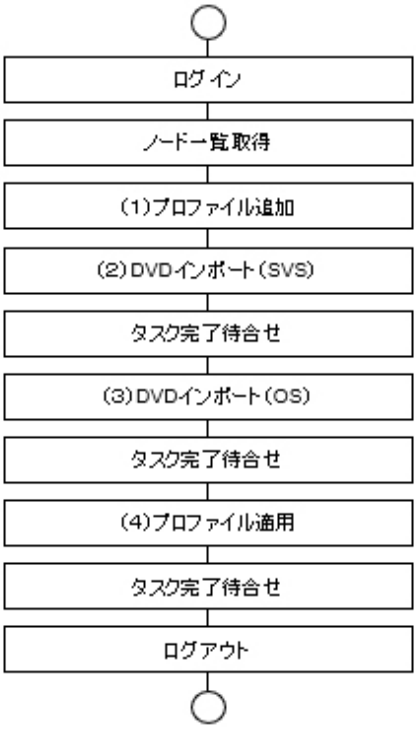
```
{
 "SchemaType":"https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/Nodes/Nodes-GET-Out.0.0.1.json",
 "MessageInfo":[],
  "IsmBody":{
   "Nodes":[{
   "NodeId":10110,
   "Name":"Server-1",
   "Type":"server",
```

```
    "Model":"PRIMERGY RX2540 M4",
   "IpAddress":"192.168.1.10",
   "IpVersion":"V4",
   "WebUrl":"http://192.168.1.10",
   "Urls":[],
   "Discription":null,
   "NodeTagList":[{"NodeTag":"Windows"}],
   "RackInfo":{"RackId":1, "Position":11, "OccupySize":2},
   "MountType":null,
   "PduPosition":null,
   "Outlet":[],
   "SlotNum":null,
   "ParentNodeId":null,
   "ParentFabricId":null,
   "ChildNodeList":[],
   "Fabric":[],
   "Status":"Normal",
   "AlarmStatus":"Normal",
   "MaintenanceMode":"Normal",
   "NodeGroupId":8,
   "UniqInfo":"XXXXXXXX",
   "UpdateDate":"2017-09-21T09:26:43.572Z"
 },{
   "NodeId":10111,
   "Name":"Server-2",
   "Type":"server",
   "Model":"PRIMERGY RX2540 M4",
   "IpAddress":"192.168.1.11",
   "IpVersion":"V4",
   "WebUrl":"http://192.168.1.11",
   "Urls":[],
   "Discription":null,
   "NodeTagList":[{"NodeTag":"Windows"}],
   "RackInfo":{"RackId":1, "Position":13, "OccupySize":2},
   "MountType":null,
   "PduPosition":null,
   "Outlet":[],
   "SlotNum":null,
   "ParentNodeId":null,
   "ParentFabricId":null,
   "ChildNodeList":[],
   "Fabric":[],
   "Status":"Normal",
   "AlarmStatus":"Normal",
   "MaintenanceMode":"Normal",
   "NodeGroupId":8,
   "UniqInfo":"YYYYYYYY",
   "UpdateDate":"2017-09-21T09:26:43.572Z"
  }]
 }
}
```


B.3 プロファイルの適用

ノード登録した機器へRed Hat Enterprise Linux 7.4 (x86_64) OSインストールのプロファイルを適用するREST APIの使用例を説明します。

プロファイル適用の処理概要を以下に示します。



ポイント

- 上記フローの「ログイン」「ログアウト」については、「3.1.2 セッション認証」を参照してください。
- 上記フローの「ノード一覧取得」については、「B.2 ノードのステータス一覧表示」を参照してください。
- 上記フローの「タスク完了待合せ」については、「3.8 タスク」を参照してください。

上記の処理概要から、プロファイル管理機能のREST APIの使用例を説明します。

なお、REST APIの使用例は、curlコマンドの例として説明します。

以降の記述例では、以下の前提で記述します。

- ISM-VAのIPアドレスは、「192.168.1.2」とします。
- ISMから取得した証明書は、「/tmp/certificate.crt」に格納されているものとします。
- ログインで取得したセッションIDは、「123456789」とします。
- ノード一覧取得時にサーバーのみを取得したノードIDは、「10110」とします。

パスワード情報は、以下とします。パスワードは、「2.4 暗号化」の手順に従って暗号化したパスワードとします。

- パスワード:password123
- 暗号化に使用するパスワードキー:192.168.1.2
- 暗号化したパスワード:U2FsdGVkX1+25IsK4ZPpgfJitxBE2XM1IqSyuLEMy0M=

(1)プロファイル追加

OSインストール方法を指定するプロファイルを追加します。

表B.5 プロファイルを追加するREST API

REST API	参照先
POST /profiles/profiles	4.10.3 プロファイルの追加

リクエスト例(OS:Red Hat Enterprise Linux 7.4 (x86_64)の場合)

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/profiles/profiles" -X POST
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
    -d '{"IsmBody":{"ProfileName":"SampleProfile","CategoryId":"2","OneTimePasswordKey":"192.168.1.2",
     "ProfileData":{"Server-RX":{
     "OSInstallation":{"Linux":{
      "OsType":{"Type":"Red Hat Enterprise Linux 7.4 (x86_64)"},
      "RaidConfig":{"LogicalDiskType":"RAID","RAIDController":"Disabled"},
      "Volumes":{
       "boot":{"CreatePartition":"Enabled","FileSystem":"ext4",
               "FillToMaximumAllowableSize":"Disabled","PartitionSize":256},
       "swap":{"CreatePartition":"Enabled", "FileSystem":"swap",
               "FillToMaximumAllowableSize":"Disabled", "PartitionSize":1024},
       "root":{"CreatePartition":"Enabled", "FileSystem":"ext4",
               "FillToMaximumAllowableSize":"Enabled"}
      },"AdditionalVolumes":[],
      "BasicSettings":{"Language":"English", "Keyboard":"United States - English",
                       "TimeZone":"Tokyo Standard Time", "SystemClockUsesUTC":"Disabled"
      },"PackageSettings":{
      "SelectPackages":{"SelectPackageList":["core"]},
      "SinglePackages":{"SinglePackageList":[]}
      },"SystemSettings":{
      "InstallBootloader":"Enabled", "BootloaderLocation":"MBR", "KernelParameters":"",
      "SELinux":"Enforcing", "UseShadowPasswords":"Enabled", "UseMD5":"Enabled", "EnableNSCD":"Enabled"
      },"AdditionalParameters":{"SelectApplicationList":[]
      },"OsIndividualConfig":{
      "BasicSettings":{"RootPassword":"U2FsdGVkX1+25IsK4ZPpgfJitxBE2XM1IqSyuLEMyOM="},
      "NetworkSettings":{"GetComputerNameViaDNS":"Enabled", "DhcpEnable":"Enabled",
      "NetworkInterface":{"IPv4":{}}}
      }}}
    }}
  }}'
```

レスポンス(JSON)例

```
{
  "SchemaType":"https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/Profiles/ProfilesProfiles-POST-Out.0.0.1.json",
  "MessageInfo":[],
  "IsmBody":{
    "ProfileId":"1",
    "ProfileName":"SampleProfile"
  }
}
```

(2)DVDインポート(SVS)

OSインストールで使用するServerView Suite DVDをインポートします。

表B.6 DVDをインポートするREST API

REST API	参照先
POST /system/settings/repositories/profiles/dvd/import	4.10.29 DVDインポート

リクエスト例(MediaType:ServerView Suite DVDの場合)

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/system/settings/repositories/profiles/dvd/import" -X POST
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
    -d '{"IsmBody":{"MediaType" : "ServerView Suite DVD","FilePath" : "SVIM_12.17.09.04.iso"}}'
```

レスポンス(JSON)例

```
{
  "SchemaType":"https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/System/SystemSettingsRepositoriesProfilesDvdImport-POST-Out.
0.0.1.json",
  "MessageInfo":[],
  "IsmBody":{
  "TaskId": "10"
 }
}
```

(3)DVDインポート(OS)

OSインストールで使用するOS DVDをインポートします。

表B.7 DVDをインポートするREST API

REST API	参照先
POST /system/settings/repositories/profiles/dvd/import	4.10.29 DVDインポート

リクエスト例(MediaType:Red Hat Enterprise Linux 7.4 (x86_64)の場合)

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/system/settings/repositories/profiles/dvd/import" -X POST
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
    -d '{"IsmBody":{"MediaType" : "Red Hat Enterprise Linux 7.4 (x86_64)",
                    "FilePath" : "rhel-server-7.4-x86_64-dvd.iso"}}'
```

レスポンス(JSON)例

```
{
  "SchemaType":"https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/System/SystemSettingsRepositoriesProfilesDvdImport-POST-Out.
0.0.1.json",
  "MessageInfo":[],
  "IsmBody":{
    "TaskId": "11"
 }
}
```

(4)プロファイル適用

ノードにプロファイルを適用します。

表B.8 ノードにプロファイルを適用するREST API

REST API	参照先
POST /nodes/{nodeid}/profiles/assign	4.10.8 プロファイルのノードへの適用

リクエスト例(ノードID:10110、プロファイルID:1の場合)

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/10110/profiles/assign" -X POST
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
    -d '{"IsmBody":{"ProfileId" : "1"}}'
```

レスポンス(JSON)例

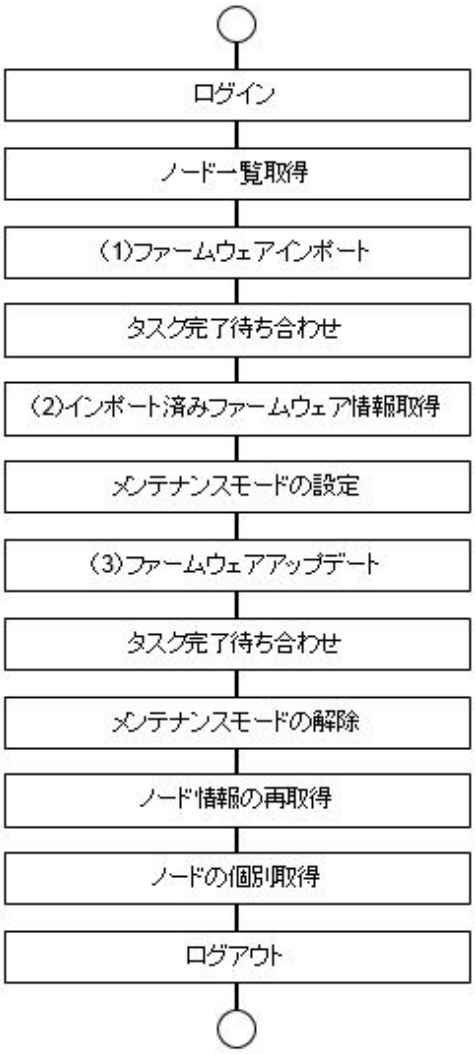
```
{
 "SchemaType":"https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/Nodes/NodesNodeIdProfilesAssign-POST-Out.0.0.1.json",
 "MessageInfo":[],
 "IsmBody":{
 "TaskId": "12"
```

```
  }
}
```

B.4 ファームウェアアップデート

ノード登録した機器に対するファームウェアアップデートを想定したファームウェア管理機能のREST APIの使用例を説明します。

ファームウェアアップデートするときの処理概要を以下に示します。



ポイント

- 上記フローの「ログイン」「ログアウト」については、「3.1.2 セッション認証」を参照してください。
- 上記フローの「ノード一覧取得」については、「B.2 ノードのステータス一覧表示」を参照してください。
- 上記フローの「タスク完了待合せ」については、「3.8 タスク」を参照してください。

上記の処理概要から、ファームウェア管理機能のREST APIの使用例を説明します。

なお、REST APIの使用例は、curlコマンドの例として説明します。

以降の記述例では、以下の前提で記述します。

- ISM-VAのIPアドレスは、「192.168.1.2」とします。
- ISMから取得した証明書は、「/tmp/certificate.crt」に格納されているものとします。
- ログインで取得したセッションIDは、「123456789」とします。
- ファームウェアアップデート対象サーバーのノードIDは、「10110」「10111」とします。
- インポート対象のファームウェアは、ISM-VAの「＜ユーザーグループ名＞/ftp/RX200_S8」に配置されているものとします。

(1)ファームウェアインポート

事前にノード一覧取得で取得したサーバーのノードIDを参照して、ファームウェア情報を確認します。確認後、適用するファームウェアをダウンロードしてください。ダウンロード後に対象のサーバーに適用するファームウェアをISM-VAのFTPサーバーに転送します。

ファームウェアを転送後、本REST APIを使用してISM-VAのリポジトリにファームウェアを登録します。

ポイント

- ISM-VAのFTPサーバーにファームウェアを転送する方法については、『解説書』の「2.1.2 FTPアクセス」を参照してください。
- ファームウェア情報の確認については、「4.6.2 ノードの詳細情報の一覧取得」または「4.6.3 ノードの詳細情報の個別取得」を参照してください。

表B.9 ファームウェアインポートを開始するREST API

REST API	参照先
POST /system/settings/firmware/import	4.11.9 個別ファームウェアインポート

リクエスト例（PRIMERGY RX200 S8のiRMCファームウェア（版数8.12F&3.0）をインポートする場合）

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/system/settings/firmware/import" -X POST
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
    -d '{"IsmBody":{"Path":"RX200_S8","FirmwareType":"iRMC","Model":"RX200 S8", "Version":"8.12F&3.0"}}'
```

レスポンス(JSON)例

```
{
    "SchemaType":"https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/System/SystemSettingsFirmwareImport-POST-Out.0.0.1.json",
    "MessageInfo": [],
    "IsmBody": {
        "TaskId": "1",
        "CancelUri": "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/system/settings/firmware/import/cancel"
    }
}
```

ポイント

リクエストで指定するFirmwareType、Model、Versionの値は、以下のREST APIを実行して該当するFirmwareType、Model、VersionExampleを参考にして指定してください。

表B.10 版数テンプレートを取得するREST API

REST API	参照先
GET /system/settings/firmware/template	4.11.6 版数テンプレート情報の取得

リクエスト例

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/system/settings/firmware/template" -X GET
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
```

レスポンス(JSON) 抜粋

```
{
   "SchemaType": "https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/System/SystemSettingsFirmwareTemplate-GET-Out.0.0.1.json",
   "MessageInfo": [],
    "IsmBody": {
        "VersionTemplateList": [
            {
                "FirmwareType": "iRMC",
                "ModelList": [
                    {
                        "Model": "RX100 S7",
                        "VersionTemplate": "*.*A&*.*",
                        "VersionExample": "6.62A&3.42"
                    },
(省略)
                   {
                        "Model": "RX200 S8",
                        "VersionTemplate": "*.*F&*.*",
                        "VersionExample": "7.82F&3.60"
                    },
(省略)
                    {
                        "Model": "PRIMEQUEST 3800L",
                        "VersionTemplate": "PA*",
                        "VersionExample": "PA17082"
                    }
                ]
            }
        ]
    }
}
```

(2)インポート済みファームウェア情報取得

ファームウェアインポートのタスク完了後、インポート済みファームウェア情報を取得します。

表B.11 インポート済みファームウェア情報を取得するREST API

REST API	参照先
GET /system/settings/firmware/list?nodeid={value}	4.11.5 ファームウェアの一覧取得

リクエスト例(ノードID 10110,10111に適用可能なファームウェアの一覧を表示する)

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/system/settings/firmware/list?nodeid=10110&nodeid=10111" -X GET
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
```

レスポンス(JSON)例

```
{
    "SchemaType": "https://10.21.114.117:25566/ism/schema/v2/System/SystemSettingsFirmwareList-GET-Out.0.0.1.json",
    "MessageInfo": [],
    "IsmBody": {
        "FirmwareList": [
            {
```

```
                "FirmwareId": 1,
                "NodeId": 10110,
                "ModelName": "RX200 S8",
                "FirmwareName": "RX200 S8_iRMC",
                "RepositoryName": "Individual Repository Administrator",
                "FirmwareVersion": "8.12F&3.0",
                "OperationMode": "Online",
                "FirmwareType": "iRMC",
                "DiskUsage": "31",
                "RegisterDate": "2017-09-22T04:00:50.497Z"
            },
            {
                "FirmwareId": 1,
                "NodeId": 10111,
                "ModelName": "RX200 S8",
                "FirmwareName": "RX200 S8_iRMC",
                "RepositoryName": "Individual Repository Administrator",
                "FirmwareVersion": "8.12F&3.0",
                "OperationMode": "Online",
                "FirmwareType": "iRMC",
                "DiskUsage": "31",
                "RegisterDate": "2017-09-22T04:00:50.497Z"
            }
        ]
    }
}
```


取得した情報のFirmwareName、FirmwareVersion、NodeId、OperationMode、RepositoryName は、ファームウェアアップデートのREST APIを実行するときに利用します。

メンテナンスモードの設定

ファームウェアを適用するノードをメンテナンスモードにします。

ポイント

ファームウェアアップデートのリクエストパラメーター(AutoMaintenance)の値をtrueに設定した場合は、自動的にメンテナンスモードの設定/解除が行われるため、本手順は不要です。

詳細は、「4.11.1 ファームウェア／ドライバーアップデートの開始」を参照してください。

表B.12 メンテナンスモードの変更をするREST API

REST API	参照先
PATCH /nodes/{nodeid}/maintenancemode	4.3.33 メンテナンスモードの変更

リクエスト例(ノードID:10110の場合)

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/10100/maintenancemode" -X PATCH
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
    -d '{"IsmBody":{"Node":{"MaintenanceMode":"Maintenance"}}}'
```

レスポンス(JSON) 抜粋


```
{
    "MessageInfo": [],
    "SchemaType": "https://192.168.10.160:25566/ism/schema/v2/Nodes/NodesNodeIdMaintenanceMode-PATCH-Out.0.0.1.json",
    "IsmBody": {
        "Node": {
            "MaintenanceMode": "Maintenance"
```

```
        }
    },
}
```

(3)ファームウェアアップデート

リポジトリに格納したファームウェアを利用して、ファームウェアアップデートを開始します。

ポイント

ファームウェアインポート時にドキュメントを合わせてインポートしている場合は、ドキュメントを確認できます。

ドキュメントを確認する場合は、「4.11.3 ファームウェアのドキュメント一覧取得」を参照してください。

表B.13 ファームウェアアップデートを開始するREST API

REST API	参照先
POST /nodes/firmware/update	4.11.1 ファームウェア／ドライバーアップデートの開始

リクエスト例（ノードID：10110, 10111にPRIMERGY RX200 S8のiRMCのファームウェア版数8.12F&30を適用する場合）

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/firmware/update" -X POST
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
-d '{"IsmBody": {"UpdateRequest": [ {"NodeId":10110, "FirmwareName":"RX200 S8_iRMC", "RepositoryName":"Individual
Repository Administrator", "FirmwareVersion":"8.12F&3.0", "OperationMode":"Online"},{"NodeId":10111,
"FirmwareName":"RX200 S8_iRMC", "RepositoryName":"Individual Repository Administrator",
"FirmwareVersion":"8.12F&3.0", "OperationMode":"Online"} ] } }'
```

レスポンス(JSON)例

```
{
   "SchemaType":"https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/nodes/NodesFirmwareUpdate-POST-Out.0.0.1.json",
   "MessageInfo":[],
   "IsmBody":{
   "TaskId":"2",
   "CancelUri":"https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/firmware/update/cancel"
   }
}
```

注意

ファームウェアアップデートのタスクが完了しても、ノードを再起動しないとファームウェアが更新されない機器があります。任意のタイミングでノードを再起動してください。再起動する必要がある機器については、『解説書』の「2.6.3.2 ファームウェアアップデート時の動作」を参照してください。

メンテナンスモードの解除

ファームウェアの適用が完了したノードのメンテナンスモードを解除します。

ポイント

ファームウェアアップデートのリクエストパラメーター（AutoMaintenance）の値をtrueに設定した場合は、自動的にメンテナンスモードの設定/解除が行われるため、本手順は不要です。

詳細は、「4.11.1 ファームウェア／ドライバーアップデートの開始」を参照してください。

表B.14 メンテナンスモードの変更をするREST API

REST API	参照先
PATCH /nodes/{nodeid}/maintenancemode	4.3.33 メンテナンスモードの変更

リクエスト例(ノードID:10110の場合)

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/10100/maintenancemode" -X PATCH
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
    -d '{"IsmBody":{"Node":{"MaintenanceMode":"Normal"}}}'
```

レスポンス(JSON) 抜粋

```
{
    "MessageInfo": [],
    "SchemaType": "https://192.168.10.160:25566/ism/schema/v2/Nodes/NodesNodeIdMaintenanceMode-PATCH-Out.0.0.1.json",
    "IsmBody": {
        "Node": {
            "MaintenanceMode": "Normal"
        }
    }
}
```

ノード情報の再取得

メンテナンスモードを解除したあと、ファームウェアが正しく機器に適用されたか確認するために、ノード情報の更新を行います。

ポイント

オフラインアップデート後にノード情報の再取得を行うため、ノード情報の再取得は不要です。

表B.15 ノード情報を取得するREST API

REST API	参照先
POST /nodes/{nodeid}/inventory/refresh	4.6.1 ノード情報取得の実行指示

リクエスト例(ノードID:10110の場合)

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/10100/inventory/refresh" -X POST
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
```

レスポンス(JSON) 抜粋

```
{
    "MessageInfo": [],
    "SchemaType": "https://192.168.10.160:25566/ism/schema/v2/Nodes/NodesNodeIdInventoryRefresh-POST-Out.0.0.1.json",
    "IsmBody": {
        "RefreshDate": "2017-09-22T06:56:00.668Z"
    }
}
```

ノードの個別取得

ノード情報の再取得が完了したあとに、ノードの詳細情報の個別取得を行います。ファームウェア情報を確認して正しく機器にファームウェアが正しく適用されたか確認してください。

リクエスト例(ノードID:10110の場合)

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/10110/inventory?level=all&target=Firmware" -X GET
--cacert /tmp/certificate.crt
-H "X-Ism-Authorization:123456789"
-H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
```

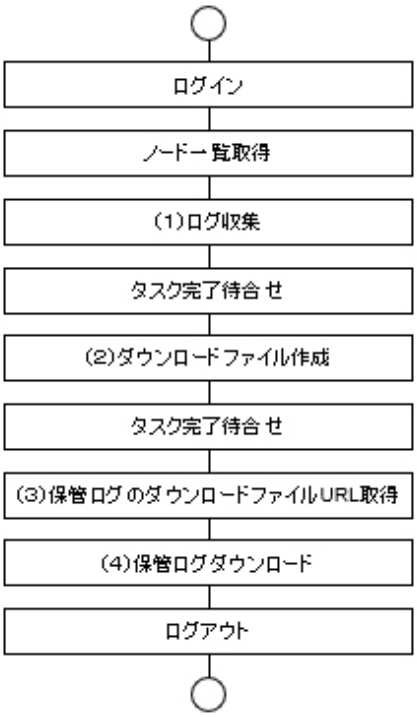
レスポンス(JSON) 抜粋


```
{
  "MessageInfo": [],
  "SchemaType": "https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/Nodes/NodesNodeIdInventory-GET-Out.0.0.1.json",
  "IsmBody": {
    "Node": {
      "Manufacture": "FUJITSU",
      "MacAddress": "00-00-00-00-00-00",
      "Wwnn": null,
      "VariableData": {
        "Firmware": [
          {
            "Function": null,
            "Slot": null,
            "Name": "RX200S8_BIOS",
            "Bus": null,
            "ParentName": null,
            "Version": null,
            "Device": null,
            "Model": "RX200 S8",
            "Segment": null,
            "Type": "BIOS",
            "FirmwareVersion": "R1.17.0"
          },
          {
            "Function": null,
            "Slot": null,
            "Name": "RX200 S8_iRMC",
            "Bus": null,
            "ParentName": null,
            "Version": "iRMCS3",
            "Device": null,
            "Model": "RX200 S8",
            "Segment": null,
            "Type": "iRMC",
            "FirmwareVersion": "8.12F&3.0"
          }
        ]
      },
      "Name": "Server",
      "HardwareLogTarget": 1,
      "SerialNumber": "ABCDEFGHIJ",
      "ServerViewLogTarget": 0,
      "NodeId": 10110,
      "ProductName": "PRIMERGY RX200 S8",
      "UpdateDate": "2017-09-22T06:57:00.668Z",
      "Progress": "Complete",
      "RaidLogTarget": 0,
      "SoftwareLogTarget": 1
    }
  }
}
```

B.5 ログの取り出し

ノード登録したすべての機器からサーバーの保管ログ(ハードウェアログとオペレーティングシステムログ)を任意のタイミングで収集して、ダウンロードする運用を想定して、ログ管理機能のREST APIの使用例を説明します。

ログを取り出すときの処理概要を以下に示します。



ポイント

- 上記フローの「ログイン」「ログアウト」については、「3.1.2 セッション認証」を参照してください。
- 上記フローの「ノード一覧取得」については、「B.2 ノードのステータス一覧表示」を参照してください。
- 上記フローの「タスク完了待合せ」については、「3.8 タスク」を参照してください。

上記の処理概要から、ログ管理機能のREST APIの使用例を説明します。

なお、REST APIの使用例は、curlコマンドの例として説明します。

以降の記述例では、以下の前提で記述します。

- ISM-VAのIPアドレスは、「192.168.1.2」とします。
- ISMから取得した証明書は、「/tmp/certificate.crt」に格納されているものとします。
- ログインで取得したセッションIDは、「123456789」とします。
- ノード一覧取得時にサーバーのみを取得したノードIDは、「10110」「10111」とします。

(1)ログ収集

事前に取得したサーバーのノードIDに対してノード状態を取得し、ログ収集設定を行います。

ログ収集設定後、ログ収集を行います。

ノード状態の取得

表B.16 ノード状態を取得するREST API

REST API	参照先
GET /nodes/logs?nodeid={value}	4.12.4 ノード状態の取得

リクエスト例（ノードID：10110, 10111の場合）

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/logs?nodeid=10110&nodeid=10111" -X GET
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
```

レスポンス(JSON)例

```
{
  "SchemaType": "https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/Nodes/NodesLogs-GET-Out.0.0.1.json",
  "IsmBody": {
    "StatusInfo": {
      "Nodes": [
        {
          "NodeId": 10110,
          "Status": "Idle"
        },
        {
          "NodeId": 10111,
          "Status": "Idle"
        }
      ]
    }
  },
  "MessageInfo": []
}
```

ログ収集設定の取得、および変更

ノードの状態（Status）が対象外（Exempt）以外（待機中：Idle など）のノードに対してログ収集設定を登録します。

ログ収集設定は、ログ収集の設定を取得後、取得した設定をパラメーターにして、ログ収集の設定を変更します。

スケジュール設定を無効にして、ハードウェアログ（HWLogEnable）とオペレーティングシステムログ（OSLogEnable）の収集を指定します。

注意

対象ノードにOSの情報が設定されていないと、ログ収集設定でオペレーティングシステムログのログ収集を有効にしてもログ収集時に無効として扱われます。

表B.17 ログ収集設定を取得するREST API

REST API	参照先
GET /nodes/logs/collection/settings?nodeid={value}	4.12.1 ログ収集設定の取得

リクエスト例（ノードID：10110の場合）

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/logs/collection/settings?nodeid=10110" -X GET
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
```

レスポンス(JSON)例

```
{
  "SchemaType": "https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/Nodes/NodesLogsCollectionSettings-GET-Out.0.0.1.json",
  "IsmBody": {
```

```
    "LogCollect": {
      "Nodes": [
        {
          "NodeId": 10110,
          "Schedule": {
            "ScheduleEnable": 0,
            "ScheduleMethod": "Days",
            "NextExecutionDate": ""
          },
          "ArchivedLogGeneration": 7,
          "SecurityLogGeneration": 30,
          "OperationLogGeneration": 30,
          "EventLogGeneration": 30,
          "HWLogEnable": 1,
          "OSLogEnable": 0,
          "SVSLogEnable": 0,
          "RAIDLogEnable": 0,
          "HWLogPossible": 1,
          "OSLogPossible": 1,
          "SVSLogPossible": 1,
          "RAIDLogPossible": 1
        }
      ]
    }
  },
  "MessageInfo": []
}
```


表B.18 ログ収集設定を変更するREST API

REST API	参照先
PATCH /nodes/logs/collection/settings	4.12.2 ログ収集設定の変更

リクエスト例（ノードID:10110の場合）

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/logs/collection/settings" -X PATCH
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
-d '{"IsmBody": {"LogCollect": {"Nodes": [{"NodeId": 10110, "Schedule": {"ScheduleEnable": 0, "ScheduleMethod":
"Days"}, "ArchivedLogGeneration": 7, "SecurityLogGeneration": 30, "OperationLogGeneration": 30,
"EventLogGeneration": 30, "HWLogEnable": 1, "OSLogEnable": 1, "SVSLogEnable": 0, "RAIDLogEnable": 0}]}}}'
```

レスポンス(JSON)例


```
{
  "SchemaType": "https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/Nodes/NodesLogsCollectionSettings-PATCH-Out.0.0.1.json",
  "IsmBody": {
    "LogCollect": {
      "Nodes": [
        {
          "NodeId": 10110,
          "Schedule": {
            "ScheduleEnable": 0,
            "ScheduleMethod": "Days",
            "NextExecutionDate": ""
          },
          "ArchivedLogGeneration": 7,
          "SecurityLogGeneration": 30,
          "OperationLogGeneration": 30,
          "EventLogGeneration": 30,
          "HWLogEnable": 1,
          "OSLogEnable": 1,
```

```
          "SVSLogEnable": 0,
          "RAIDLogEnable": 0,
          "HWLogPossible": 1,
          "OSLogPossible": 1,
          "SVSLogPossible": 1,
          "RAIDLogPossible": 1
        }
      ]
    }
  },
  "MessageInfo": []
}
```


ログ収集

ログ収集設定を変更後、サーバーのノードIDに対してログ収集を開始します。

表B.19 ログ収集を開始するREST API

REST API	参照先
POST /nodes/logs/collection/collect	4.12.5 ログ収集

リクエスト例（ノードID：10110, 10111の場合）

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/logs/collection/collect" -X POST
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
-d '{"IsmBody": {"Nodes": [{"NodeId": 10110}, {"NodeId": 10111}]}}'
```

レスポンス(JSON)例


```
{
  "SchemaType": "https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/Nodes/NodesLogsCollectionCollect-POST-Out.0.0.1.json",
  "IsmBody": {
    "TaskId": "1"
  },
  "MessageInfo": []
}
```


(2)ダウンロードファイル作成

ログ収集のタスク完了後、保管ログのダウンロードファイルを作成します。

最新の保管ログのダウンロードファイルを作成する例を示します。

表B.20 保管ログのダウンロードファイルを作成するREST API

REST API	参照先
POST /nodes/logs/archivedlog/downloadfiles/create	4.12.9 保管ログダウンロードファイル作成

リクエスト例（ノードID：10110, 10111の場合）

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/logs/archivedlog/downloadfiles/create" -X POST
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
    -d '{"IsmBody": {"Generation": {"Nodes": [{"NodeId": 10110}, {"NodeId": 10111}], "Generation": 1},
"PasswordEnable": 0}}'
```

レスポンス(JSON)例


```
{
  "SchemaType": "https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/Nodes/NodesLogsArchivedLogDownloadFilesCreate-POST-Out.
0.0.1.json",
```

```
  "IsmBody": {
    "TaskId": "2"
  },
  "MessageInfo": []
}
```

(3)保管ログのダウンロードファイルURL取得

保管ログのダウンロードファイルURLを取得します。

表B.21 保管ログのダウンロードファイルURLを取得するREST API

REST API	参照先
GET /nodes/logs/archivedlog/downloadfiles	4.12.12 保管ログダウンロードファイル情報の取得

リクエスト例

```
curl "https://192.168.1.2:25566/ism/api/v2/nodes/logs/archivedlog/downloadfiles" -X GET
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -H "X-Ism-Authorization:123456789"
    -H "Content-Type:application/JSON;charset=UTF8"
```

レスポンス(JSON)例

```
{
  "SchemaType": "https://192.168.1.2:25566/ism/schema/v2/Nodes/NodesLogsArchivedLogDownloadFiles-GET-Out.0.0.1.json",
  "IsmBody": {
    "DownloadFiles": {
      "FileCreateStatus": "Created",
      "TaskId": "2",
      "FileUrl": "https://192.168.1.2:25566/ism/data/export/Administrator/transfer/Archive/123456789/download/
archivedlog/2/ArchivedLog_20170930120000.zip",
      "FileCreated": "2017-09-30T03:00:00.000Z",
      "FileSize": "5",
      "FileSizeUnit": "MiB"
    }
  },
  "MessageInfo": []
}
```

(4)保管ログダウンロード

保管ログのダウンロードファイル作成が完了している場合、ダウンロードファイル作成状況(FileCreateStatus)がCreatedとなります。

この場合、ダウンロードファイルURL(FileUrl)が指定されていますので、ここからファイルをダウンロードします。

```
curl -O "https://192.168.1.2:25566/ism/data/export/Administrator/transfer/Archive/123456789/download/archivedlog/2/
ArchivedLog_20170930120000.zip"
    --cacert /tmp/certificate.crt
    -b "X-Ism-Authorization=123456789"
```

付録C　プロファイルパラメーター（ProfileData）

ここでは、以下のパラメーターの詳細情報について説明します。

- 4.10.3 プロファイルの追加
- 4.10.5 プロファイルの個別取得
- 4.10.6 プロファイルの更新
- 4.10.17 ポリシーの追加
- 4.10.19 ポリシーの個別取得
- 4.10.20 ポリシーの更新

C.1　Server-BX

パラメーター	型	説明
BIOS	object	BIOSの設定 「4.10.6 プロファイルの更新」ですべてのBIOS設定を削除する場合、本項目を省略してください。 ポリシーを参照している場合、設定は削除できません。
SasController	string	オンボードSAS/SATAストレージコントローラーユニット（SCU）の動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：SCUを有効にします。 ・ Disabled：SCUを無効にします。
SasSataOpRom	string	SAS/SATAコントローラーのOption ROM動作を指定します。 SasControllerがEnabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：Option ROMを有効にします。 ・ Disabled：Option ROMを無効にします。
SasSataDriver	string	SAS/SATAコントローラーのOption ROMの種類を指定します。 SasSataOpRomがEnabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ LSI MegaRAID：Embedded MegaRAID用Option ROMを使用します。 ・ Intel RSTe：Intel RSTe用Option ROMを使用します。
AspmSupport	string	Active State Power Management（ASPM）の動作を指定します。 ASPMを全般的に有効にしても、ASPMをサポートしている場合にのみ特定のリンクに対して有効になります。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Disabled：機能を無効にします。 ・ Auto：省電力を最大化されるように設定します。

パラメーター	型	説明
		・ L1 Only：PCI Expressリンクの低電力モードをL1（単方向）に設定します。 ・ Force L0s / Limit to L0s：PCI Expressリンクの低電力モードをL0s（単方向）に設定します。
Above4Gdecoding	string	4 GBのアドレス境界を超えるメモリリソースをPCIデバイスに割り当てることができるかどうかを指定します。 選択肢は、オペレーティングシステムと取り付けられているアダプタカードによって決まります。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Disabled：4 GBのアドレス境界未満のメモリリソースのみ、PCIデバイスに割り当てます。 ・ Enabled：4 GBのアドレス境界を超えるメモリリソースをPCIデバイスに割り当てます。
DmiControl	string	CPUとチップセット間のバス接続速度を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ GEN 1：CPUとチップセット間のバス接続を設定して2.5 GT/sで実行します。 ・ GEN 2：CPUとチップセット間のバス接続を設定して5.0 GT/sで実行します。
SR_IOV	string	システムにSR-IOV対応のPCIeデバイスが搭載されている場合、Single Root IO Virtualizationを有効にするかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
HyperThreading	string	CPUのHyper Threading Technology動作を指定します。 本機能を持たないCPUを搭載している場合、本設定は意味を持ちません。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
CoreProcessingMode	string	複数のプロセッサコアが含まれているプロセッサに対して、有効なプロセッサコアの数を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ All：使用可能なすべてのプロセッサコアを有効にします。 ・ 1-16：選択した数のプロセッサコアのみを有効にし、残りのプロセッサコアは無効にします。
HardwarePrefetcher	string	メモリーバスが非アクティブになったときに、必要になる可能性のあるメモリー内容が自動的にキャッシュにプリロードするか指定します。

パラメーター	型	説明
		設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
AdjacentCacheLinePrefetch	string	プロセッサのキャッシュ要求時に追加の隣接する64バイトキャッシュラインをロードするか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：要求されたキャッシュラインと隣接キャッシュラインをロードします。 ・ Disabled：要求されたキャッシュラインをロードします。
DcuStreamerPrefecher	string	メモリーバスが非アクティブになったときに、必要になる可能性のあるデータ内容が自動的にL1データキャッシュにプリロードするか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
DcuIpPrefecher	string	CPUのDCU IP Prefetch動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
XDBitfunctionalityAndNXMemoryProtection	string	CPUのExecute Disable Bit動作を指定します。 本機能はXD（eXecute Disable）ビット、またはNX（No eXecute）ビットとも呼ばれます。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
VirtualizationTechnology	string	CPUの仮想化支援機能の動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
IntelVTd	string	CPUのVirtualization Technology for Directed I/O機能動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
PowerTechnologyCpu	string	CPUの電源管理動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。

パラメーター	型	説明
		・ Energy Efficient：省電力に最適化された動作をします。 ・ Custom：追加設定項目により詳細動作を設定します。 ・ Disabled：電源管理機能を無効にします。
CPUHardwarePowerManagement	string	パフォーマンスおよび省電力を管理するHWPM（Hardware Power Management）の設定を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Disabled：機能を無効にします。 ・ Native Mode：HWPMは、ソフトウェアインターフェイス経由でオペレーティングシステムと協調動作します。 ・ OOB Mode：CPUは、オペレーティングシステムのエネルギー効率ポリシーの設定に基づいて周波数を自動的に制御します。
EnhancedSpeedStep	string	省電力機能の動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
TurboMode	string	CPUのTurbo Boost Technology動作を指定します。 本機能を持たないCPUを搭載している場合、本設定に関わらず無効になります。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
OverrideOsEnergyPerformance	string	OSがセットアップのエネルギー効率ポリシーの設定を上書きしないように防止するか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
EnergyPerformance	string	非レガシーオペレーティングシステムでのプロセッサのエネルギー効率ポリシーを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Performance：エネルギー効率を犠牲にしても、よりパフォーマンスを得る方向に最適化します。 ・ Balanced Performance：エネルギーを節約しながら、パフォーマンスを得る方向に設定します。 ・ Balanced Energy：良好なパフォーマンスを得ながら、エネルギーを節約する方向に設定します。 ・ Energy Efficient：パフォーマンスを犠牲にしても、よりエネルギー効率を得る方向に最適化します。

パラメーター	型	説明
UtilizationProfile	string	異なるシステム利用に最適化されるエネルギーパフォーマンスの割合を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Even：エネルギーパフォーマンスのバランスが取れたシステム利用のために最適化します。 ・ Unbalanced：パフォーマンスを優先したアンバランスのシステム利用のために最適化します。
CpuC1eSupport	string	電力の節約が可能なときにプロセッサを停止するか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
AutonomousCStateSupport	string	プロセッサのAutonomous Cステートクロック制御を有効にするか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
CpuC3Report	string	プロセッサのC3状態をACPI C-2状態としてOSPM（OS Power Management）に渡すか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：CPU C3はACPI C-2状態としてOSPMに提供します。 ・ Disabled：CPU C3はACPI C-2状態としてOSPMに提供しません。
CpuC6Report	string	プロセッサのC6状態をACPI C-3状態としてOSPMに渡して、プロセッサのDeep Power Down Technologyを有効にするか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：CPU C6はACPI C-3状態としてOSPMに提供します。 ・ Disabled：CPU C6はACPI C-3状態としてOSPMに提供しません。
PackageCStateLimit	string	プロセッサのC Stateの上限を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ C0：C Stateの上限をC0に設定します。 ・ C2：C Stateの上限をC2に設定します。

パラメーター	型	説明
		・ C6：C Stateの上限をC6に設定します。 ・ C6(Retention)：C6 RetentionをC状態限度に設定します。 ・ C7：C Stateの上限をC7に設定します。 ・ No Limit：C Stateの上限をC7に設定します。 ・ Auto：システムで自動に設定します。
QpiLinkFrequencySelect	string	リンク周波数を、共通してサポートされるCPUの周波数に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Auto：システムに存在するCPUとチップセットに基づいて、BIOSから最大速度を設定します。 使用可能な速度設定はCPUに依存します。 ・ 6.4 GT/s ・ 7.2 GT/s ・ 8.0 GT/s ・ 9.6 GT/S ・ 10.4 GT/s
UncoreFrequencyOverride	string	プロセッサのアンコア周波数を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Disabled：電力を節約するために、事前に定義された範囲でプロセッサが自動的に周波数を制御します。 ・ Maximum：周波数は常に事前に定義された最大値を設定します。 ・ Nominal：電力を節約するために、事前に定義された範囲でプロセッサが自動的に周波数を制御します。定格周波数を上回ることはありません。 ・ Power balanced：電力とパフォーマンスのバランスを最適化するために、事前に定義された範囲でプロセッサが自動的に周波数を制御します。
LlcDeadLineAlloc	string	LLC（Last Level Cache）のデッドラインの処理を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：便宜的にLLCのデッドラインを満たします。 ・ Disabled：LLCのデッドラインを満たしません。
StaleAtoS	string	Caching Agentで利用価値が減少したデータのディレクトリー最適化をするか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：最適化を有効にします。 ・ Disabled：最適化を無効にします。

パラメーター	型	説明
CODEnable	string	COD（Cluster-on-Die）で、BIOSが追加のNUMAノードをソケットごとに構成し、NUMA指向性の高い作業負荷のパフォーマンスを最適化するか指定します。 2つのホームエージェントを持つCPUが必要です。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
EarlySnoop	string	早期スヌーピングを有効にするか指定します。 CODが有効な場合はサポートされません。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。 ・ Auto：システム構成でCODが無効な場合に、早期スヌーピングが有効になります。
HomeSnoopDirOsb	string	Home Snoop Directory with plain OSB（Opportunistic Snoop Broadcast）キャッシングを使用してスヌープ処理を最適化するか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
NUMA	string	NUMA（Non-Uniform Memory Access）機能の動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：NUMA機能を有効にします。 ・ Disabled：NUMA機能を無効にします。
DDR_Performance	string	メモリモジュールの動作を指定します。 メモリモジュールは異なる速度（周波数）で動作します。 高速になるほどパフォーマンスが向上し、低速になるほど省電力になります。 使用可能なメモリー速度は、取り付けられているメモリモジュールの構成に応じて異なります。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Low-Voltage optimized：低電圧で可能な最も高速な設定 ・ Energy optimized：省電力で可能な最も低速な設定 ・ Performance optimized：最高のパフォーマンスを得るために可能な最も高速な設定 ・ Power balanced：電力とパフォーマンスのバランスをとるために速度を低減した設定

パラメーター	型	説明
PatrolScrub	string	全メモリーをバックグラウンドで定期的にスクリーニングするかどうかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：スクリーニングを有効にします。 ・ Disabled：スクリーニングを無効にします。
ImcInterleaving	string	Integrated Memory Controllers（IMC）のインターリービングを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Auto：使用可能なメモリー構成に応じて、BIOSでインターリービングを自動的に選択します。 ・ 1-Way：1-Wayインターリービングを選択します。 ・ 2-Way：2-Wayインターリービングを選択します。
SubNumaClustering	string	LLC（Last Level Cache）をアドレス範囲に基づいて別々のクラスタに分割します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：1-Wayインターリービングの2クラスタをサポートします。 ・ Disabled：機能を無効にします。 ・ Auto：IMCインターリービングの選択によって、1クラスタまたは2クラスタをサポートします。
SATAControllerModeSelection	string	SATAインターフェイスの動作モードを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Disabled：動作モードを無効にします。 ・ IDE：IDEモードで動作します。 ・ AHCI：AHCIモードで動作します。 ・ RAID：RAIDモードで動作します。
SATAController	string	SATAコントローラーを有効または無効にします。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Disabled：SATAコントローラーを無効にします。 ・ Enabled：SATAコントローラーを有効にします。
sSATAController	string	SSATAコントローラーを有効または無効にします。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Disabled：SSATAコントローラーを無効にします。 ・ Enabled：SSATAコントローラーを有効にします。

パラメーター	型	説明
Csm	string	CSM（Compatibility Support Module）の実行動作を指定します。 CSM がロードされている場合のみ、レガシーオペレーティングシステムを起動できます。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：Legacy または UEFI オペレーティングシステムを起動できるように、CSM が実行されます。 ・ Disabled：UEFI オペレーティングシステムのみ起動できるように、CSMは実行されません。
BootOptionFilter	string	ドライブのブート動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ UEFI and Legacy：UEFI OS ドライブおよび Legacy OS ドライブからブートできます。 ・ Legacy only：Legacy OS ドライブからのみブートできます。 ・ UEFI only：UEFI OS ドライブからのみブートできます。
LaunchPxeOpRomPolicy	string	起動する PXE Option ROM を指定します。 PXE ブートの場合は、使用可能な通常の（Legacy）PXE ブートおよび UEFI PXE ブートがあります。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Do not launch：Option ROM は起動しません。 ・ UEFI only：UEFI Option ROM のみ起動します。 ・ Legacy only：Legacy Option ROM のみ起動します。
LaunchStorageOpRomPolicy	string	起動する Storage Option ROM を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Do not launch：Storage Option ROM は起動しません。 ・ UEFI only：UEFI Storage Option ROM のみ起動します。 ・ Legacy only：Legacy Storage Option ROM のみ起動します。
OtherPciDeviceRomPriority	string	ネットワーク、マスストレージデバイス、ビデオ以外の、デバイスで起動する Option ROM を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ UEFI OpROM：UEFI Option ROM のみ起動します。 ・ Legacy OpROM：Legacy Option ROM のみ起動します。
USBHostController	string	システムボードのUSBコントローラーを有効にするか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Disabled：USBコントローラーを無効にします。 ・ Enabled：USBコントローラーを有効にします。
NetworkStack	string	UEFI Network StackをUEFIでネットワークアクセスに使用できるかどうかを指定します。

パラメーター	型	説明
		例えば、UEFIネットワークスタックを使用できない場合、PXE経由でUEFIインストールを実行できません。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Disabled：UEFIネットワークスタックは使用できません。 ・ Enabled：UEFIネットワークスタックは使用できます。
IPv4PxeSupport	string	オペレーティングシステムのインストールに、IPv4によるPXE UEFI BootをUEFI モードで使用できるかどうかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Disabled：IPv4によるPXE UEFI Bootは使用できません。 ・ Enabled：IPv4によるPXE UEFI Bootを使用できます。
IPv6PxeSupport	string	オペレーティングシステムのインストールに、IPv6によるPXE UEFI BootをUEFIモードで使用できるかどうかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Disabled：IPv6によるPXE UEFI Bootは使用できません。 ・ Enabled：IPv6によるPXE UEFI Bootを使用できます。
LaunchSlot1Oprom	string	PCIスロット1に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。 ・ Disabled：拡張ROMを実行しません。
LaunchSlot2Oprom	string	PCIスロット2に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。 ・ Disabled：拡張ROMを実行しません。
LaunchSlot3Oprom	string	PCIスロット3に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。 ・ Disabled：拡張ROMを実行しません。
LaunchSlot4Oprom	string	PCIスロット4に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。

パラメーター	型	説明
		・ Disabled：拡張ROMを実行しません。
LaunchSlot5Oprom	string	PCIスロット5に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。 ・ Disabled：拡張ROMを実行しません。
LaunchSlot6Oprom	string	PCIスロット6に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。 ・ Disabled：拡張ROMを実行しません。
SecureBoot	string	署名されていないブートローダ/UEFI OpROMのブートを許可するかを指定します。 本設定はハードウェアの仕様としてDisabledにできない場合があります。その場合、サーバーのBIOSインターフェイスから値を設定してください。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：署名されたブートローダ/UEFI OpROMのブートのみ許可します。 ・ Disabled：すべてのブートローダ/OpROM（Legacy/UEFI）を実行できます。
SyncRTCwithMMB	string	Real Time Clockをマネジメントブレードと同期させるかどうかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：同期します。 ・ Disabled：同期しません。
AdjustDateTime	string	プロファイル適用時に、サーバーの時刻を管理サーバーの時刻を基準にして変更するかどうかを指定します。 SyncRTCwithMMBがDisabledの場合のみ設定できます。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Local Time：管理サーバーのタイムゾーン設定に応じた時刻を指定します。 ・ UTC：管理サーバーのタイムゾーン設定からUTCに変換した時刻を指定します。
iRMC	object	iRMC（Integrated Remote Management Controller）の設定 「4.10.6 プロファイルの更新」ですべてのiRMC設定を削除する場合、本項目を省略してください。 ポリシーを参照している場合、設定は削除できません。

パラメーター	型	説明
ConfAisConnectEnabled	string	AIS Connect有効 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効 ・ Disabled:無効
ConfAisConnectServiceMode	string	Service Mode有効 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効 ・ Disabled:無効
ConfAisConnectUseProxyAuth	string	HTTPプロキシサーバー使用 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled: 使用 ・ Disabled: 未使用
ConfAisConnectCountryId	string	AIS Connect RP(Reverse Proxy)国 設定しない場合、nullを指定します。
ConfAisConnectAllowRemoteSession	string	リモートセッション許可 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled: 許可 ・ Disabled: 拒否
ConfPostErrorHalt	string	サーバー起動エラー時の動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Continue:エラーが発生しても、起動処理を続けます。 ・ Halt on errors:エラーが発生すると、キー入力があるまで起動を停止します。
ConfPowerControlMode	string	サーバーの省電力動作や静音動作に関する設定を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ O/S Controlled:OSの制御に従います。 ・ Minimum Power:消費電力を抑えることを優先した動作となります。
ConfPowerFailBehavior	string	AC電源入力が切断されたあと、電源復旧した際の電源動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ As Before:電源切断発生時の状態を保持します(切断時にサーバーが電源ON中だった場合は電源投入します。電源OFF中だった場合は電源投入しません) ・ Remain Off:常に電源OFFになります ・ Always On:常に電源ONになります
ConfSoftWatchdogEnable	string	ソフトウェアウォッチドッグにて、OS動作中の定期的な通信チェック動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。

パラメーター	型	説明
		・ Enabled：通信を監視します。 ・ Disabled：通信を監視しません。 設定はサーバー再起動後に有効となります。
ConfSoftWatchdogBehavior	string	ソフトウェアウォッチドッグで通信が行えない場合の動作を指定します。 ConfSoftWatchdogEnableがEnabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Continue：処理を継続します。 ・ Reset：サーバーを再起動します。 ・ Power Cycle：一度サーバーを電源OFFしたあと、電源ONします。 設定はサーバー再起動後に有効となります。
ConfSoftWatchdogTime	integer	ソフトウェアウォッチドッグの監視時間を1～100分までの数値で指定します。 ConfSoftWatchdogEnableがEnabledの場合に指定します。 ここで指定した時間を超えて通信がない場合に通信できないと判断されます。 設定しない場合、nullを指定します。 設定はサーバー再起動後に有効となります。
ConfBootWatchdogEnable	string	Bootウォッチドッグにて、POST終了後からOS起動までの時間監視動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：時間監視します。 ・ Disabled：時間監視しません。 設定はサーバー再起動後に有効となります。
ConfBootWatchdogBehavior	string	Bootウォッチドッグで指定した時間内にOSが起動しない場合の動作を指定します。 ConfBootWatchdogEnableがEnabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Continue：処理を継続します。 ・ Reset：サーバーを再起動します。 ・ Power Cycle：一度サーバーを電源OFFしたあと、電源ONします。 設定はサーバー再起動後に有効となります。
ConfBootWatchdogTime	integer	Bootウォッチドッグの監視時間を1～100分までの数値で指定します。 ConfBootWatchdogEnableがEnabledの場合に指定します。 ここで指定した時間を超えてOSが起動しない場合に異常と判断されます。 設定しない場合、nullを指定します。 設定はサーバー再起動後に有効となります。

パラメーター	型	説明
ConfPermanentBiosConfigStorageEnabled	string	自動BIOSパラメータバックアップを有効にするかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled: 自動BIOSパラメータバックアップを有効にします。 ・ Disabled: 自動BIOSパラメータバックアップを無効にします。 設定はサーバー再起動後に有効となります。
ConfBmcProxyAddress	string	プロキシサーバーのDNS名またはIPアドレス 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大127文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBmcProxyPort	integer	プロキシサービスのポート番号 デフォルトは81です。 設定しない場合、nullを指定します。
ConfBmcProxyUserName	string	プロキシサーバー認証用のユーザー名 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大127文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、ドット(.)、アンダーバー(_)、アットマーク(@)、円マーク(¥)です。 また、文字列の最初の文字は、半角の英字またはアラビア数字を指定する必要があります。
ConfBmcProxyPassword	string	プロキシサーバー認証用のパスワード 設定しない場合、nullを指定します。 AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、ASCII文字(0x20～0x7e)で構成された1～127文字の文字列を指定します。
ConfBMCUseDNS	string	iRMCのDNSを有効にするかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効 ・ Disabled:無効
ConfBMCObtainDNSfromDHCP	string	DHCPからDNS構成を取得するかを指定します。 本項目を有効にする場合、事前にDHCPを有効にしてください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:DHCPからDNS構成を取得する ・ Disabled:DHCPからDNS構成を取得しない
ConfBMCDNSDomain	string	DNS サーバーへの要求に対するデフォルトドメインの名前を指定します。 ConfBMCObtainDNSfromDHCPがDisabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大48文字までです。

パラメーター	型	説明
		指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、ドット(.)です。
ConfBMCDNSDomainSearchPath	string	DNS検索パスをリストで指定します。リストのドメイン名は1 つ以上のスペース文字で区切ります。 ConfBMCObtainDNSfromDHCPがDisabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大127文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、ドット(.)、スペース( )です。
ConfBMCDNSServer1	string	DNSサーバーのIPアドレスを指定します。 ConfBMCObtainDNSfromDHCPがDisabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCDNSServer2	string	DNSサーバーのIPアドレスを指定します。 ConfBMCObtainDNSfromDHCPがDisabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCDNSServer3	string	DNSサーバーのIPアドレスを指定します。 ConfBMCObtainDNSfromDHCPがDisabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCDNSRetries	integer	DNS リトライ回数を1～5回の範囲で指定します。 デフォルトは2回となります。 設定しない場合、nullを指定します。
ConfBMCDNSTimeout	integer	iRMC が DNS 応答を待機する時間を1～30秒の範囲で指定します。 デフォルトは5秒となります。 設定しない場合、nullを指定します。
ConfBMCRegisterDNS	string	iRMCのDNS名の設定方法を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Disabled:選択しない ・ Register DHCP in DNS:DHCPアドレスをDNSに登録

パラメーター	型	説明
		・ Register FQDN with DHCP in DNS:DHCPによる完全修飾ドメイン名をDNSに登録 ・ DNS Update Enabled:動的DNS有効
ConfBMCUseNetworkName	string	ConfBMCNetworkNameに指定した iRMC 名を、DNS 名の一部として使用するかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled: 使用する ・ Disabled: 使用しない
ConfBMCNetworkName	string	DNS名の一部として使用されるiRMC名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 下記以外の場合、ドット(.)は期待通りの動作をしないため、指定しないでください。 PRIMERGY RX/TX/CX M4以降、PRIMEQUEST 3000B 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、ドット(.)です。
ConfBMCAddSerialNumber	string	MACアドレスの最後の3バイトをiRMCのDHCP 名に付加するかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled: 付加する ・ Disabled: 付加しない
ConfBMCAddExtension	string	ConfBMCNameExtensionに指定された拡張子名をiRMCのDHCP名に付加するかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled: 付加する ・ Disabled: 付加しない
ConfBMCNameExtension	string	iRMC の拡張子名 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大16文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、ドット(.)です。
ConfBmcSsdpEnable	string	SSDP 経由で自動検出するかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled: 自動検出する ・ Disabled: 自動検出しない
ConfBmcSnmpServiceEnable	string	iRMC での SNMP サービス動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：有効にします。 ・ Disabled：無効にします。
ConfBMCSnmpServicePort	integer	SNMP サービスが待機しているポート番号を指定します。

パラメーター	型	説明
		通常は UDP 161ポートとなります。 設定しない場合、nullを指定します。
ConfBMCSnmpServiceEnableV3Only	string	SNMPプロトコルを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ All (SNMPv1/v2c/v3) : 全プロトコルサポート (SNMPv1/v2c/v3) ・ SNMPv3 only : SNMPv3
ConfBMCSnmpServiceCommunityName	string	SNMP v1/v2c の場合のコミュニティー名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 設定可能な文字数は最大18文字までです。 指定可能な文字は、A-Z、a-z、0-9(*/:,_?;-@&)%!です。 スペース文字と¥ は使用できません。
ConfBMCSnmpV3UserServiceEnabled	string	ユーザーに対する SNMPv3 サポート動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled : 有効にします。 ・ Disabled : 無効にします。
ConfBMCSnmpV3UserAuthType	string	SNMPv3 が認証に使用する認証プロトコルを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ SHA : SHA (Secure Hash Algorithm)を認証に使用します。 ・ MD5 : MD5 (Message-Digest Algorithm 5)を認証に使用します。 ・ none : 認証を使用しません。 ・ SHA256 : SHA256 (Secure Hash Algorithm 256-bit)を認証に使用します。 ・ SHA384 : SHA384 (Secure Hash Algorithm 384-bit)を認証に使用します。 ・ SHA512 : SHA512 (Secure Hash Algorithm 512-bit)を認証に使用します。
ConfBMCSnmpV3UserPrivType	string	SNMPv3 が SNMPv3 トラフィックの暗号化に使用する暗号化プロトコルを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ DES : DES (Digital Encryption Standard)を SNMPv3 トラフィックの暗号化に使用します。 ・ AES : AES (Advanced Encryption Standard) 128 ビット暗号化をSNMPv3 トラフィックの暗号化に使用します。 ・ none : 暗号を使用しません。
ConfBMCSnmpV3UserAccessType	string	ユーザーのアクセス権限を指定します。 「読み取りのみ」があらかじめ固定で設定されています。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Read Only : 読み取りのみ

パラメーター	型	説明
ConfBMCSnmpTrapCommunityName	string	SNMP コミュニティー名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 設定可能な文字数は最大18文字までです。 指定可能な文字は、A-Z、a-z、0-9(*/:,_?;-@&)%!です。 スペース文字と¥ は使用できません。
ConfBMCSnmpV3UserSelected	string	SNMPv3トラップ送信先に定義済みの SNMPv3 ユーザーを指定します。 iRMC上に作成済みのユーザー名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ユーザー名は最大16文字まで指定できます。 有効なユーザー名はアルファベットで開始する必要があります。 名前の残りの部分には、アルファベット、数字、アンダーバー、ダッシュ、ピリオド、アットマーク(@)のみ含めることができます。 空白文字は使用できません。
ConfBMCSnmpTrapDestName1	string	「トラップ送信先」として設定するコミュニティーに属するサーバーのDNS 名または IP アドレスを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCSnmpTrapDestName2	string	「トラップ送信先」として設定するコミュニティーに属するサーバーのDNS 名または IP アドレスを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCSnmpTrapDestName3	string	「トラップ送信先」として設定するコミュニティーに属するサーバーのDNS 名または IP アドレスを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCSnmpTrapDestName4	string	「トラップ送信先」として設定するコミュニティーに属するサーバーのDNS 名または IP アドレスを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCSnmpTrapDestName5	string	「トラップ送信先」として設定するコミュニティーに属するサーバーのDNS 名または IP アドレスを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。

パラメーター	型	説明
		指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCSnmpTrapDestName6	string	「トラップ送信先」として設定するコミュニティーに属するサーバーのDNS 名または IP アドレスを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCSnmpTrapDestName7	string	「トラップ送信先」として設定するコミュニティーに属するサーバーのDNS 名または IP アドレスを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCSnmpProtocol1	string	トラップの受信に使用する SNMP プロトコルバージョンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ SNMPv1：SNMP プロトコルバージョン1 ・ SNMPv2c：SNMP プロトコルバージョン2c ・ SNMPv3：SNMP プロトコルバージョン3
ConfBMCSnmpProtocol2	string	トラップの受信に使用する SNMP プロトコルバージョンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ SNMPv1：SNMP プロトコルバージョン1 ・ SNMPv2c：SNMP プロトコルバージョン2c ・ SNMPv3：SNMP プロトコルバージョン3
ConfBMCSnmpProtocol3	string	トラップの受信に使用する SNMP プロトコルバージョンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ SNMPv1：SNMP プロトコルバージョン1 ・ SNMPv2c：SNMP プロトコルバージョン2c ・ SNMPv3：SNMP プロトコルバージョン3
ConfBMCSnmpProtocol4	string	トラップの受信に使用する SNMP プロトコルバージョンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ SNMPv1：SNMP プロトコルバージョン1 ・ SNMPv2c：SNMP プロトコルバージョン2c ・ SNMPv3：SNMP プロトコルバージョン3
ConfBMCSnmpProtocol5	string	トラップの受信に使用する SNMP プロトコルバージョンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。

パラメーター	型	説明
		・ SNMPv1：SNMP プロトコルバージョン1 ・ SNMPv2c：SNMP プロトコルバージョン2c ・ SNMPv3：SNMP プロトコルバージョン3
ConfBMCSnmpProtocol6	string	トラップの受信に使用する SNMP プロトコルバージョンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ SNMPv1：SNMP プロトコルバージョン1 ・ SNMPv2c：SNMP プロトコルバージョン2c ・ SNMPv3：SNMP プロトコルバージョン3
ConfBMCSnmpProtocol7	string	トラップの受信に使用する SNMP プロトコルバージョンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ SNMPv1：SNMP プロトコルバージョン1 ・ SNMPv2c：SNMP プロトコルバージョン2c ・ SNMPv3：SNMP プロトコルバージョン3
ConfBmcCasEnable	string	iRMC での CAS サービス動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効にします ・ Disabled:無効にします
ConfBmcCasServer	string	CAS サーバーの IP アドレスまたは DNS 名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBmcCasPort	string	CAS サービスが待機しているポート番号を指定します。 通常は 3170ポートとなります。 設定しない場合、nullを指定します。
ConfBmcCasVerifyServerCert	string	SSL証明書確認動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効にします ・ Disabled:無効にします
ConfBmcCasAlwaysDisplayLogin	string	ログインページを常に表示するかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:ログインページを常に表示する ・ Disabled:ログインページを常に表示しない
ConfBmcCasLoginUri	string	ログインURLを指定します。 通常は「/cas/login」となります。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大32文字までです。

パラメーター	型	説明
		指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)と記号の「?/.:~-_%」です。
ConfBmcCasLogoutUri	string	ログアウトURLを指定します。 通常は「/cas/logout」となります。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大32文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)と記号の「?/.:~-_%」です。
ConfBmcCasValidateUri	string	認証URLを指定します。 通常は「/cas/validate」となります。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大32文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)と記号の「?/.:~-_%」です。
ConfBmcCasAssignConfiguredPermissions	string	アクセス許可を指定します。 「ローカル」があらかじめ固定で設定されています。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ LocalAssignedPermissions:ローカル
ConfBmcCasNetworkPrivilege	string	ユーザーの権限レベルを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ User:ユーザー ・ Operator:オペレーター ・ Administrator:管理者 ・ OEM:OEM
ConfBmcCasPermissionRedfish	string	Redfishロールを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Administrator:管理者 ・ Operator:オペレーター ・ ReadOnly:リードオンリー ・ NoAccess:Redfishを使用しない
ConfBmcCasPermissionConfigureUsers	string	ユーザー変更権限を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効にします ・ Disabled:無効にします
ConfBmcCasPermissionConfigureBmc	string	iRMC設定変更権限を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効にします ・ Disabled:無効にします
ConfBmcCasPermissionAvrEnabled	string	ビデオリダイレクション使用権限を指定します。

パラメーター	型	説明
		設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効にします ・ Disabled:無効にします
ConfBmcCasPermissionRemoteStorageEnabled	string	リモートストレージ使用権限を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効にします ・ Disabled:無効にします
IOVirtualization	object	仮想IOの設定 詳細は、「D.3 IOVirtualization」を参照してください。
OSInstallation	object	OSインストールの設定 詳細は、「D.4 OSInstallation」を参照してください。

C.2 Storage-DX

パラメーター	型	説明
StandRaid	object	RAID設定
RaidGroup	array	RAIDグループ一覧
RaidGroupName	string	RAIDグループ名
RaidLevel	string	構築するディスクアレイのRAIDレベル ・ RAID1:RAIDレベル1 ・ RAID5:RAIDレベル5 ・ RAID6:RAIDレベル6 ・ RAID1+0:RAIDレベル1+0
DiskCount	integer	RAIDグループで利用されるディスク数
DiskKind	object	RAIDグループとして登録するディスク情報リスト
Inch	string	ディスクインチ ・ 2.5Inch:2.5インチ ・ 3.5Inch:3.5インチ
Type	string	ディスクインターフェイス ・ SAS:SAS ・ NL-SAS:ニアラインSAS ・ SED:自己暗号化ディスク ・ SSD:SSD
Size	string	ディスク容量 ・ 100GB ・ 200GB ・ 300GB ・ 400GB

パラメーター	型	説明
		・ 450GB ・ 600GB ・ 800GB ・ 900GB ・ 1TB ・ 1.2TB ・ 1.6TB ・ 1.8TB ・ 2TB ・ 3TB ・ 4TB ・ 6TB
Volumes	array	ボリューム情報リスト
VolumeName	string	ボリューム名
VolumeSize	string	ボリュームサイズ
GHotSpare	object	ホットスペア設定
GHotDisks	array	ホットスペア一覧
Disks	array	ホットスペアとして登録するディスク情報リスト
Inch	string	ディスクインチ ・ 2.5Inch：2.5インチ ・ 3.5Inch：3.5インチ
Type	string	ディスクインターフェイス ・ SAS：SAS ・ NL-SAS：ニアラインSAS ・ SED：自己暗号化ディスク ・ SSD：SSD
Size	string	ディスク容量 ・ 100GB ・ 200GB ・ 300GB ・ 400GB ・ 450GB ・ 600GB ・ 800GB ・ 900GB ・ 1TB ・ 1.2TB

パラメーター	型	説明
		・ 1.6TB ・ 1.8TB ・ 2TB ・ 3TB ・ 4TB ・ 6TB
HostAffinity	object	ホストアフィニティ設定
HostAffinities	array	ホストアフィニティ一覧
LunGroup	object	LUNグループ情報
LunGroupName	string	LUNグループ名
Volumes	array	ボリューム情報
VolumeName	string	ボリューム名
PortGroup	object	Portグループ情報
PortGroupName	string	Portグループ名
Ports	array	ポートグループに属するポート情報
PortNumber	string	ポート番号
HostGroup	object	ホストグループ情報
HostGroupName	string	ホストグループ名
HostType	string	ホストの種類 ・ iscsi：iSCSI ・ fc：FC
FcParameter	array	FCのホスト情報 HostTypeが"FC"のときに指定してください。
HostName	string	ホスト名
HostWwn	string	ホストWWN
IscsiParameter	array	iSCSIのホスト情報 HostTypeが"iSCSI"のときに指定してください。
HostName	string	ホスト名
IscsiName	string	iSCSI名 先頭に"iqn."または"eui."を指定します。
DetailSettings	object	プロファイルの詳細設定
PostRunCommand	string	プロファイル適用動作（RAID/ホットスペア構築）実行前にETERNUSで実施する制御コマンド
PreRunCommand	string	プロファイル適用動作（RAID/ホットスペア構築）実行後にETERNUSで実施する制御コマンド

C.3 Storage-OntapCluster

パラメーター	型	説明
Snmp	object	SNMP機能情報

パラメーター	型	説明
Service	object	SNMP機能設定情報
Mode	string	SNMP機能の有効/無効 ・ on：SNMP機能を有効にします。 ・ off：SNMP機能を無効にします。
Communities	array	SNMPコミュニティー情報 最大256個を設定可能です。
Name	string	SNMPコミュニティー名 3～32文字を文字列で指定します。
Users	array	SNMPユーザー情報 最大100個を設定可能です。
Username	string	SNMPユーザー名 3～32文字を文字列で指定します。
Auth	object	SNMP認証プロトコル情報
Auth	string	SNMP認証プロトコル ・ md5：MD5を使用します。 ・ sha：SHAを使用します。 ・ sha2-256:SHA2を使用します（ONTAPの版数が9.2以上の場合のみ有効です）。 ・ noauth：認証プロトコルを使用しません。
Password	string	SNMP認証パスワード AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、8～30文字です。
Priv	object	SNMP暗号プロトコル情報 SNMP認証プロトコルがmd5、sha、sha2-256の場合に有効です。
Priv	string	SNMP暗号プロトコル ・ des：DESを使用します。 ・ aes128:AES 128ビットを使用します（ONTAPの版数が9.2以上の場合のみ有効です）。 ・ nopriv：暗号プロトコルを使用しません。
Password	string	SNMP暗号パスワード AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、8～30文字です。
Traphosts	array	SNMP通知受信情報 最大3個を設定可能です。
Address	string	SNMP通知を受信するIPアドレス、またはホスト名を指定します。 IPアドレスの場合はIPv4、IPv6のアドレス表記に従った文字列を指定します。
Username	string	SNMPv3 USMユーザーを指定します。

パラメーター	型	説明
		初期値は、「public」です。
Notify	object	SNMPトラップ通知許可情報
Access	string	SNMPトラップ通知許可 ・ 1:SNMPトラップ通知を許可します。 ・ 0:SNMPトラップ通知を許可しません。 初期値は、「1:有効」です。
Ntp	object	自動時刻設定情報
Servers	array	時刻提供サーバーの情報 最大10個を設定可能です。
Address	string	時刻情報を提供しているサーバーのIPアドレス、またはホスト名 IPアドレスの場合、IPv4、IPv6のアドレス表記に従った文字列を指定します。
Version	string	時刻情報を提供しているサーバーとの通信に使用するNTPプロトコルのバージョンを指定します。 ・ 3:インターネット標準RFC#1305に基づくNTPプロトコルバージョン3 ・ 4:インターネット標準RFC#5905に基づいたNTPプロトコルバージョン4 ・ auto(デフォルト):Data ONTAPでNTPプロトコルのバージョンを選択

C.4 Switch-SRX

パラメーター	型	説明
Snmp	object	SNMP機能情報
Service	object	SNMPエージェント機能およびSNMPトラップ機能の有効/無効設定
Mode	string	SNMP機能の有効/無効 ・ on:SNMP機能を有効にします。 ・ off:SNMP機能を無効にします。
Agent	object	SNMPエージェント機能
Address	object	SNMPエージェントのアドレス情報
Address	string	SNMPエージェントのアドレス 「1.0.0.1 ～ 126.255.255.254、128.0.0.1 ～ 191.255.255.254、192.0.0.1 ～ 223.255.255.254」を指定します。 0.0.0.0 を指定した場合、設定を削除します。
Engineid	object	SNMPエンジンID情報
Engineid	string	SNMPエンジンID 1～27文字の文字列で指定します。 SNMPv3を使用する場合に指定します。

パラメーター	型	説明
Manager	array	SNMPマネージャー機能 最大8個を設定可能です。 SNMPv1、SNMPv2cを使用する場合に指定します。
Number	string	SNMPホスト定義番号 「0」～「7」を文字列で指定します。
Address	string	SNMPホストのIPアドレス 「1.0.0.1 ～ 126.255.255.254、128.0.0.1 ～ 191.255.255.254、192.0.0.1 ～ 223.255.255.254」を指定します。 0.0.0.0を指定した場合、すべてのホストからのアクセスを許可します。
Community	string	SNMPコミュニティー名 「public」（任意ホストと通信可能）、または任意の文字列1～32文字を指定します。
Trap	string	SNMPトラップの送信有無 ・ v1：SNMPv1トラップを送信します。 ・ v2c：SNMPv2トラップを送信します。 ・ off：SNMPトラップを送信しません。
Write	string	SNMPマネージャーからの書き込み許可 ・ enable：SNMPマネージャーからの書き込みを許可します。 ・ disable：SNMPマネージャーからの書き込みを許可しません
User	array	SNMPユーザー機能 最大8個を設定可能です。 SNMPv3を使用する場合に指定します。
Number	string	SNMPユーザー定義番号 「0」～「7」を文字列で指定します。
Name	object	SNMPユーザー名情報
Name	string	SNMPユーザー名 「public」（任意ホストと通信可能）、または任意の文字列1～32文字を指定します。
Address	object	SNMPホストアドレス情報
Number	string	SNMPホスト定義番号 「0」～「7」を文字列で指定します。
Address	string	SNMPホストのIPアドレス IPv4の場合、「1.0.0.1 ～ 126.255.255.254、128.0.0.1 ～ 191.255.255.254、192.0.0.1 ～ 223.255.255.254」を指定します。 0.0.0.0を指定した場合、すべてのIPv4ホストからのアクセスを許可します。 IPv6の場合、「::2～fe7f:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff、fec0:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff」を指定します。

パラメーター	型	説明
		::を指定した場合、すべてのIPv6ホストからのアクセスを許可します。
Notification	object	SNMPトラップ通知ホストアドレス情報
Number	string	SNMPホスト定義番号 「0」～「7」を文字列で指定します。
Address	string	SNMPホストのIPアドレス IPv4の場合、「1.0.0.1 ～ 126.255.255.254、128.0.0.1 ～ 191.255.255.254、192.0.0.1 ～ 223.255.255.254」を指定します。 IPv6の場合、「::2～fe7f:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff、fec0:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff」を指定します。
Auth	object	SNMP認証プロトコル情報
Protocol	string	SNMP認証プロトコル ・ md5：MD5を使用します。 ・ sha：SHAを使用します。 ・ none：認証プロトコルを使用しません。
Password	string	SNMP認証パスワード AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、8～16文字です。
Priv	object	SNMP暗号プロトコル情報
Protocol	string	SNMP暗号プロトコル ・ des：DESを使用します。 ・ none：暗号プロトコルを使用しません。
Password	string	SNMP暗号パスワード AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、8～16文字です。
Write	object	SNMP MIB書き込み許可情報
Access	string	SNMP MIB書き込み許可 ・ all：MIB書き込みを許可します。 ・ none：MIB書き込みを許可しません
Read	object	SNMP MIB読み出し許可情報
Access	string	SNMP MIB読み出し許可 ・ all：MIB読み出しを許可します。 ・ none：MIB読み出しを許可しません
Notify	object	SNMPトラップ通知許可情報
Access	string	SNMPトラップ通知許可 ・ all：SNMPトラップ通知を許可します。 ・ none：SNMPトラップ通知を許可しません
AutoTime	object	自動時刻設定情報
Server	object	時刻提供サーバー情報

パラメーター	型	説明
Address	string	時刻提供サーバーのIPアドレス IPv4の場合、「1.0.0.1 ～ 126.255.255.254、128.0.0.1 ～ 191.255.255.254、192.0.0.1 ～ 223.255.255.254」を指定します。 IPv6の場合、「::2 ～ fe7f:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff、fec0:: ～ feff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff」を指定します。
Protocol	string	使用プロトコル ・ time：TCPを使用します。 ・ sntp：UDPを使用します。
Interval	object	自動時刻設定する間隔
Time	string	自動時刻設定する間隔 「start」（電源投入時に時刻を設定する）、または0 秒～10 日をd(日)、h(時)、m(分)、s(秒)の単位で表現した文字列を指定します。
Zone	object	装置が使用するタイムゾーン
Offset	string	装置が使用するタイムゾーン 60進数「-2359」～「2359」を文字列で指定します。
Account	object	装置管理者のパスワード情報
Password	string	パスワード AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、8～32文字です。
Stp	object	STP
Mode	string	STPの動作モード ・ disable:STPを使用しません。 ・ stp：STP動作モード ・ rstp：RSTP動作モード ・ mstp：MSTP動作モード

C.5 Switch-CFX

パラメーター	型	説明
Interface	array	インターフェイス情報 最大256個を設定可能です。
Targets	string	設定対象のetherポート 「シャーシID/etherポート番号」または「ドメインID/スイッチID/シャーシID/etherポート番号」で指定します。 シャーシIDが0、etherポート番号が1の場合、"0/1"を指定します。 "0/1-0/3"のように「-」文字を用いた範囲指定や、"0/1,0/3"のように「,」文字を用いた部分指定も可能です。 ・ ドメインID：1～32の範囲で10 進数値で設定します。

パラメーター	型	説明
		・ スイッチ ID:1～8の範囲で10 進数値で設定します。 ・ シャーシID:0～2の範囲で10 進数値で設定します。 ・ ether ポート番号:10 進数値で設定します。
Type	object	etherポート種別情報
Mode	string	etherポート種別 ・ endpoint:C-Fabric End Point
Lldp	object	etherポートのLLDP動作情報
Mode	string	etherポートのLLDP動作 ・ disable:LLDP機能は動作しません。 ・ enable:LLDP情報の送受信を行います。 ・ send:LLDP情報の送信だけを行います。 ・ receive:LLDP情報の受信だけを行います。
Cfab	object	etherポート種別の使用モード情報
Mode	string	etherポート種別の使用モード ・ auto:自動的に検知したポート種別で動作します。 ・ external:強制的に外部ポートとして動作します。
Snmp	object	SNMP機能情報
Service	object	SNMPエージェント機能およびSNMPトラップ機能の有効/無効設定
Mode	string	SNMP機能の有効/無効 ・ on:SNMP機能を有効にします。 ・ off:SNMP機能を無効にします。
Agent	array	SNMPエージェント機能 最大32個を設定可能です。
Domainid	string	ドメインID 「1」～「32」を文字列で指定します。
Address	object	SNMPエージェントのアドレス情報
Address	string	SNMPエージェントのアドレス IPv4の場合、「1.0.0.1 ～ 126.255.255.254、128.0.0.1 ～ 191.255.255.254、192.0.0.1 ～ 223.255.255.254」を指定します。 0.0.0.0 を指定した場合、設定を削除します。 IPv6の場合、「::2～fe7f:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff、fec0:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff」を指定します。 ::を指定した場合、設定を削除します。
Engineid	object	SNMPエンジンID情報
Engineid	string	SNMPエンジンID 1～27文字の文字列で指定します。 SNMPv3を使用する場合に指定します。
Manager	array	SNMPマネージャー機能

パラメーター	型	説明
		最大8個を設定可能です。 SNMPv1、SNMPv2cを使用する場合に指定します。
Number	string	SNMPホスト定義番号 「0」～「7」を文字列で指定します。
Address	string	SNMPホストのIPアドレス IPv4の場合、「1.0.0.1 ～ 126.255.255.254、128.0.0.1 ～ 191.255.255.254、192.0.0.1 ～ 223.255.255.254」を指定します。 0.0.0.0を指定した場合、すべてのIPv4ホストからのアクセスを許可します。 IPv6の場合、「::2～fe7f:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff、fec0:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff」を指定します。 ::を指定した場合、すべてのIPv6ホストからのアクセスを許可します。
Community	string	SNMPコミュニティー名 「public」（任意ホストと通信可能）、または任意の文字列1～32文字を指定します。
Trap	string	SNMPトラップの送信有無 ・ v1：SNMPv1トラップを送信します。 ・ v2c：SNMPv2トラップを送信します。 ・ off：SNMPトラップを送信しません。
Write	string	SNMPマネージャーからの書き込み許可 ・ enable：SNMPマネージャーからの書き込みを許可します。 ・ disable：SNMPマネージャーからの書き込みを許可しません。
User	array	SNMPユーザー機能 最大8個を設定可能です。 SNMPv3を使用する場合に指定します。
Number	string	SNMPユーザー定義番号 「0」～「7」を文字列で指定します。
Name	object	SNMPユーザー名情報
Name	string	SNMPユーザー名 任意の文字列1～32文字を指定します。
Address	object	SNMPホストアドレス情報
Number	string	SNMPホスト定義番号 「0」～「7」を文字列で指定します。
Address	string	SNMPホストのIPアドレス IPv4の場合、「1.0.0.1 ～ 126.255.255.254、128.0.0.1 ～ 191.255.255.254、192.0.0.1 ～ 223.255.255.254」を指定します。 IPv6の場合、「::2～fe7f:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff、fec0:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff」を指定します。

パラメーター	型	説明
Notification	object	SNMPトラップ通知ホストアドレス情報
Number	string	SNMPホスト定義番号 「0」～「7」を文字列で指定します。
Address	string	SNMPホストのIPアドレス IPv4の場合、「1.0.0.1 ～ 126.255.255.254、128.0.0.1 ～ 191.255.255.254、192.0.0.1 ～ 223.255.255.254」を指定します。 IPv6の場合、「::2～fe7f:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff、fec0:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff」を指定します。
Auth	object	SNMP認証プロトコル情報
Protocol	string	SNMP認証プロトコル ・ md5：MD5を使用します。 ・ sha：SHAを使用します。 ・ none：認証プロトコルを使用しません。
Password	string	SNMP認証パスワード AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、8～16文字です。
Priv	object	SNMP暗号プロトコル情報
Protocol	string	SNMP暗号プロトコル ・ des：DESを使用します。 ・ none：暗号プロトコルを使用しません。
Password	string	SNMP暗号パスワード AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、8～16文字です。
Write	object	SNMP MIB書き込み許可情報
Access	string	SNMP MIB書き込み許可 ・ all：MIB書き込みを許可します。 ・ none：MIB書き込みを許可しません。
Read	object	SNMP MIB読み出し許可情報
Access	string	SNMP MIB読み出し許可 ・ all：MIB読み出しを許可します。 ・ none：MIB読み出しを許可しません。
Notify	object	SNMPトラップ通知許可情報
Access	string	SNMPトラップ通知許可 ・ all：SNMPトラップ通知を許可します。 ・ none：SNMPトラップ通知を許可しません。
AutoTime	object	自動時刻設定情報
Server	object	時刻提供サーバー情報
Address	string	時刻提供サーバーのIPアドレス

パラメーター	型	説明
		IPv4の場合、「1.0.0.1 ～ 126.255.255.254、128.0.0.1 ～ 191.255.255.254、192.0.0.1 ～ 223.255.255.254」を指定します。 0.0.0.0を指定した場合、DHCPサーバーから広報されるアドレスを使用します。 255.255.255.255を指定した場合、ブロードキャストアドレスを使用します。 IPv6の場合、「::2 ～ fe7f:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff、fec0:: ～ feff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff」を指定します。 ::を指定した場合、DHCPサーバーから広報されるアドレスを使用します。
Protocol	string	使用プロトコル ・ time：TCPを使用します。 ・ sntp：UDPを使用します。
Interval	object	自動時刻設定する間隔
Time	string	自動時刻設定する間隔 「start」（電源投入時に時刻を設定する）、もしくは0秒～10日をd(日)、h(時)、m(分)、s(秒)の単位で表現した文字列を指定します。
Zone	object	装置が使用するタイムゾーン
Offset	string	装置が使用するタイムゾーン 60進数「-1200」～「1300」を文字列で指定します。
Account	object	装置管理者のパスワード情報
Password	string	パスワード AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、8～32文字です。
Aaa	array	AAA情報
Groupid	string	グループID 「0」～「9」を文字列で指定します。
Ldap	object	LDAP情報
Service	object	LDAP機能の有効/無効設定
Mode	string	LDAP機能の有効/無効 ・ on：LDAP機能を有効にします。 ・ off：LDAP機能を無効にします。
Client	array	クライアント情報
Number	string	サーバー定義番号 「0」～「3」を文字列で指定します。
Serverinfo	object	サーバー情報
Address	string	LDAP認証サーバーのIPアドレス IPv4の場合、「1.0.0.1 ～ 126.255.255.254、128.0.0.1 ～ 191.255.255.254、192.0.0.1 ～ 223.255.255.254」を指定します。

パラメーター	型	説明
		IPv6の場合、「::2～fe7f:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff、fec0:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff」を指定します。
Source	object	LDAP認証クライアント情報
Domainid	string	ドメインID 「1」～「32」を文字列で指定します。
Address	string	IPアドレス IPv4の場合、「1.0.0.1 ～ 126.255.255.254、128.0.0.1 ～ 191.255.255.254、192.0.0.1 ～ 223.255.255.254」を指定します。 IPv6の場合、「::2～fe7f:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff、fec0:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff」を指定します。
Rdn	object	LDAP認証の相対識別名情報
Name	string	バインド識別名の相対識別名属性 例）CN
Bindnordn	object	LDAP認証サーバー情報
Name	string	相対識別名を除くバインド識別名 例）CN:user,DC:local
Admin	object	LDAP認証サーバーの管理者クラス情報
Classid	string	クラス定義番号 「0」～「3」を文字列で指定します。
Adminclass	string	管理者クラス値 例）user

C.6 Switch-VDX

パラメーター	型	説明
Snmp	object	SNMP機能情報
Service	object	SNMP機能設定情報
Mode	string	SNMP機能の有効/無効 NOS6の場合、装置に反映します（有効無効の操作が可能です）。 NOS4の場合、装置に反映しません（常時有効で無効にできません）。 ・ on：SNMP機能を有効にします。 ・ off：SNMP機能を無効にします。
Host	array	SNMPv1/2c トラップと送信先の設定 最大6個を設定可能です。 SNMPv1/2cを使用する場合に指定します。
Address	string	SNMP ホストのIPアドレス IPv4、IPv6のアドレス表記に従った文字列を指定します。
Community	string	SNMP コミュニティー名

パラメーター	型	説明
		「Snmp」→「Community」→「Name」キーで複数個設定した文字列のいずれかを指定します。
Severitylevel	string	SNMP トラップ レベル ・ none：None ・ debug：Debug ・ info：Informational ・ warning：Warning ・ error：Error ・ critical：Critical
Trapversion	string	SNMP トラップ バージョン ・ 1：SNMPバージョン1 ・ 2c：SNMPバージョン2c
Udpport	string	SNMP トラップ 送信ポート番号 「0」～「65535」を文字列で指定します。
V3host	array	SNMPv3 トラップと送信先の設定 最大6個を設定可能です。 SNMPv3を使用した場合に指定します。
Address	string	SNMP ホストのIPアドレス IPv4、IPv6のアドレス表記に従った文字列を指定します。
Username	string	SNMP ユーザー名 1～16文字を文字列で指定します。 「Snmp」→「User」→「Username」キーで複数個設定した文字列のいずれかを指定します。
Notifytype	string	SNMP トラップタイプ ・ traps：トラップ ・ informs：インフォーム
Engineid	string	SNMP エンジンID 「0:0:0:0:0:0:0:0:0」～「FF:FF:FF:FF:FF:FF:FF:FF:FF」を文字列で指定します（文字パターンは、MACアドレスと同様です。バイト数は9バイト分です）。
Udpport	string	SNMP トラップ 送信ポート番号 「0」～「65535」を文字列で指定します。
Severitylevel	string	SNMP トラップ レベル ・ none：None ・ debug：Debug ・ info：Informational ・ warning：Warning ・ error：Error ・ critical：Critical

パラメーター	型	説明
Community	array	SNMP コミュニティー情報 最大256個を設定可能です。 プロファイル適用時、デフォルトで存在するコミュニティーを削除するため、必要があれば再作成する必要があります。
Name	string	SNMP コミュニティー名 1～64文字を文字列で指定します。
Write	object	SNMP コミュニティーの書き込み許可情報
Access	string	SNMP コミュニティーの書き込み許可 NOS6の場合、装置に反映しません(コミュニティーを直接関連付ける機能がありません)。 NOS4の場合、装置に反映します(機能があります)。 ・ enable：SNMP コミュニティーの書き込みを許可します。 ・ disable：SNMP コミュニティーの書き込みを許可しません。
Group	object	SNMP グループ情報
Name	string	SNMP グループ名 1～16文字を文字列で指定します。 「Snmp」→「Group」→「Name」キーで複数個設定した文字列のいずれかを指定します。
User	array	SNMP ユーザー情報 最大10個を設定可能です。
Username	string	SNMP ユーザー名 1～16文字を文字列で指定します。
Groupname	string	SNMP グループ名 1～16文字を文字列で指定します。 「Snmp」→「Group」→「Name」キーで複数個設定した文字列のいずれかを指定します。
Auth	object	SNMP 認証プロトコル情報
Auth	string	SNMP 認証プロトコル ・ md5：MD5を使用します。 ・ sha：SHAを使用します。 ・ noauth：認証プロトコルを使用しません。
Password	string	SNMP 認証パスワード AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、1～32文字です。
Priv	object	SNMP 暗号プロトコル情報
Priv	string	SNMP 暗号プロトコル ・ DES：DESを使用します。 ・ AES128：AES128を使用します。 ・ nopriv：暗号プロトコルを使用しません。
Password	string	SNMP 暗号パスワード

パラメーター	型	説明
		AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、1～32文字です。
Group	array	SNMPグループ情報 最大10個を設定可能です。 NOS6の場合、装置に反映します（MIBのアクセス可否をグループ化する機能があります）。 NOS4の場合、装置に反映しません（機能がありません）。
Name	string	グループ名 1～16文字を文字列で指定します。
Snmpversion	string	SNMPバージョン ・ v1：SNMPバージョン1 ・ v2c：SNMPバージョン2c ・ v3：SNMPバージョン3
V3	object	SNMPv3情報
Securitylevel	string	SNMPv3用セキュリティレベル SNMPv3を設定する場合に指定します。 ・ priv：認証と暗号を有効にします。 ・ auth：認証を有効にします。 ・ noauth：認証と暗号を無効にします。
Read	object	SNMP MIB読み出し許可情報
Access	string	SNMP MIB読み出し許可 ・ all：MIB読み出しを許可します。 ・ none：MIB読み出しを許可しません
Write	object	SNMP MIB書き込み許可情報
Access	string	SNMP MIB書き込み許可 ・ all：MIB書き込みを許可します。 ・ none：MIB書き込みを許可しません
Notify	object	SNMPトラップ通知許可情報
Access	string	SNMPトラップ通知許可 ・ all：SNMPトラップ通知を許可します。 ・ none：SNMPトラップ通知を許可しません。
AutoTime	object	自動時刻設定情報
Server	array	時刻提供サーバーの情報 最大5個を設定可能です。
Address	string	時刻情報を提供しているサーバーのIPアドレス IPv4、IPv6のアドレス表記に従った文字列を指定します。
Zone	object	タイムゾーン情報
Regioncity	string	地域・都市 ・ Africa/Luanda

パラメーター	型	説明
		・ Africa/Ouagadougou ・ Africa/Bujumbura ・ Africa/Porto-Novo ・ Africa/Gaborone ・ Africa/Kinshasa ・ Africa/Lubumbashi ・ Africa/Bangui ・ Africa/Brazzaville ・ Africa/Abidjan ・ Africa/Douala ・ Africa/Djibouti ・ Africa/Algiers ・ Africa/Cairo ・ Africa/El_Aaiun ・ Africa/Asmara ・ Africa/Ceuta ・ Africa/Addis_Ababa ・ Africa/Libreville ・ Africa/Accra ・ Africa/Banjul ・ Africa/Conakry ・ Africa/Malabo ・ Africa/Bissau ・ Africa/Nairobi ・ Africa/Monrovia ・ Africa/Maseru ・ Africa/Tripoli ・ Africa/Casablanca ・ Africa/Bamako ・ Africa/Nouakchott ・ Africa/Blantyre ・ Africa/Maputo ・ Africa/Windhoek ・ Africa/Niamey ・ Africa/Lagos ・ Africa/Kigali ・ Africa/Khartoum

パラメーター	型	説明
		・ Africa/Freetown ・ Africa/Dakar ・ Africa/Mogadishu ・ Africa/Sao_Tome ・ Africa/Mbabane ・ Africa/Ndjamena ・ Africa/Lome ・ Africa/Tunis ・ Africa/Dar_es_Salaam ・ Africa/Kampala ・ Africa/Johannesburg ・ Africa/Lusaka ・ Africa/Harare ・ America/Antigua ・ America/Anguilla ・ America/Curacao ・ America/Argentina/Buenos_Aires ・ America/Argentina/Cordoba ・ America/Argentina/San_Luis ・ America/Argentina/Jujuy ・ America/Argentina/Tucuman ・ America/Argentina/Catamarca ・ America/Argentina/La_Rioja ・ America/Argentina/San_Juan ・ America/Argentina/Mendoza ・ America/Argentina/Rio_Gallegos ・ America/Argentina/Ushuaia ・ America/Aruba ・ America/Guatemala ・ America/Guyana ・ America/Tegucigalpa ・ America/Port-au-Prince ・ America/Guadeloupe ・ America/Jamaica ・ America/St_Kitts ・ America/Cayman ・ America/St_Lucia

パラメーター	型	説明
		・ America/Marigot ・ America/Adak ・ America/Martinique ・ America/Montserrat ・ America/Mexico_City ・ America/Cancun ・ America/Edmonton ・ America/Cambridge_Bay ・ America/Yellowknife ・ America/Inuvik ・ America/Dawson_Creek ・ America/Vancouver ・ America/Whitehorse ・ America/Thunder_Bay ・ America/Iqaluit ・ America/Pangnirtung ・ America/Resolute ・ America/Rankin_Inlet ・ America/Winnipeg ・ America/Rainy_River ・ America/Regina ・ America/Barbados ・ America/St_Barthelemy ・ America/La_Paz ・ America/Noronha ・ America/Belem ・ America/Fortaleza ・ America/Recife ・ America/Araguaina ・ America/Maceio ・ America/Bahia ・ America/Sao_Paulo ・ America/Campo_Grande ・ America/Cuiaba ・ America/Santarem ・ America/Porto_Velho ・ America/Merida

パラメーター	型	説明
		・ America/Monterrey ・ America/Mazatlan ・ America/Chihuahua ・ America/Hermosillo ・ America/Tijuana ・ America/Managua ・ America/Panama ・ America/Lima ・ America/Miquelon ・ America/Puerto_Rico ・ America/Asuncion ・ America/Paramaribo ・ America/El_Salvador ・ America/Grand_Turk ・ America/Montevideo ・ America/St_Vincent ・ America/Caracas ・ America/Tortola ・ America/St_Thomas ・ America/New_York ・ America/Detroit ・ America/Kentucky/Monticello ・ America/Indiana/Indianapolis ・ America/Indiana/Vincennes ・ America/Indiana/Knox ・ America/Indiana/Winamac ・ America/Indiana/Marengo ・ America/Indiana/Vevay ・ America/Chicago ・ America/Boa_Vista ・ America/Manaus ・ America/Eirunepe ・ America/Rio_Branco ・ America/Nassau ・ America/Belize ・ America/St_Johns ・ America/Halifax

パラメーター	型	説明
		・ America/Glace_Bay ・ America/Moncton ・ America/Goose_Bay ・ America/Blanc-Sablon ・ America/Montreal ・ America/Toronto ・ America/Nipigon ・ America/Swift_Current ・ America/Dawson ・ America/Santiago ・ America/Bogota ・ America/Costa_Rica ・ America/Havana ・ America/Dominica ・ America/Santo_Domingo ・ America/Guayaquil ・ America/Grenada ・ America/Cayenne ・ America/Godthab ・ America/Danmarkshavn ・ America/Scoresbysund ・ America/Thule ・ America/Indiana/Tell_City ・ America/Indiana/Petersburg ・ America/Menominee ・ America/North_Dakota/Center ・ America/North_Dakota/New_Salem ・ America/Denver ・ America/Boise ・ America/Shiprock ・ America/Phoenix ・ America/Los_Angeles ・ America/Anchorage ・ America/Juneau ・ America/Yakutat ・ America/Nome ・ America/Port_of_Spain

パラメーター	型	説明
		・ Antarctica/McMurdo ・ Antarctica/South_Pole ・ Antarctica/Rothera ・ Antarctica/Mawson ・ Antarctica/Davis ・ Antarctica/Casey ・ Antarctica/Vostok ・ Antarctica/DumontDUrville ・ Antarctica/Syowa ・ Arctic/Longyearbyen ・ Asia/Dubai ・ Asia/Kabul ・ Asia/Yerevan ・ Asia/Baku ・ Asia/Dhaka ・ Asia/Bahrain ・ Asia/Brunei ・ Asia/Thimphu ・ Asia/Shanghai ・ Asia/Harbin ・ Asia/Chongqing ・ Asia/Urumqi ・ Asia/Kashgar ・ Asia/Nicosia ・ Asia/Tbilisi ・ Asia/Hong_Kong ・ Asia/Jakarta ・ Asia/Pontianak ・ Asia/Makassar ・ Asia/Jayapura ・ Asia/Jerusalem ・ Asia/Kolkata ・ Asia/Baghdad ・ Asia/Tehran ・ Asia/Amman ・ Asia/Tokyo ・ Asia/Bishkek

パラメーター	型	説明
		・ Asia/Phnom_Penh ・ Asia/Pyongyang ・ Asia/Seoul ・ Asia/Kuwait ・ Asia/Almaty ・ Asia/Qyzylorda ・ Asia/Aqtobe ・ Asia/Aqtau ・ Asia/Oral ・ Asia/Vientiane ・ Asia/Beirut ・ Asia/Colombo ・ Asia/Rangoon ・ Asia/Ulaanbaatar ・ Asia/Hovd ・ Asia/Choibalsan ・ Asia/Macau ・ Asia/Kuala_Lumpur ・ Asia/Kuching ・ Asia/Katmandu ・ Asia/Muscat ・ Asia/Manila ・ Asia/Karachi ・ Asia/Gaza ・ Asia/Qatar ・ Asia/Yekaterinburg ・ Asia/Omsk ・ Asia/Novosibirsk ・ Asia/Krasnoyarsk ・ Asia/Irkutsk ・ Asia/Yakutsk ・ Asia/Vladivostok ・ Asia/Sakhalin ・ Asia/Magadan ・ Asia/Kamchatka ・ Asia/Anadyr ・ Asia/Riyadh

パラメーター	型	説明
		・ Asia/Singapore ・ Asia/Damascus ・ Asia/Bangkok ・ Asia/Dushanbe ・ Asia/Dili ・ Asia/Ashgabat ・ Asia/Taipei ・ Asia/Samarkand ・ Asia/Tashkent ・ Asia/Ho_Chi_Minh ・ Asia/Aden ・ Atlantic/Bermuda ・ Atlantic/Cape_Verde ・ Atlantic/Canary ・ Atlantic/Stanley ・ Atlantic/Faroe ・ Atlantic/South_Georgia ・ Atlantic/Reykjavik ・ Atlantic/Madeira ・ Atlantic/Azores ・ Atlantic/St_Helena ・ Australia/Lord_Howe ・ Australia/Hobart ・ Australia/Currie ・ Australia/Melbourne ・ Australia/Sydney ・ Australia/Brisbane ・ Australia/Lindeman ・ Australia/Adelaide ・ Australia/Darwin ・ Australia/Perth ・ Australia/Eucla ・ Europe/Andorra ・ Europe/Tirane ・ Europe/Vienna ・ Europe/Mariehamn ・ Europe/Sarajevo

パラメーター	型	説明
		・ Europe/Brussels ・ Europe/Sofia ・ Europe/Minsk ・ Europe/Zurich ・ Europe/Prague ・ Europe/Berlin ・ Europe/Copenhagen ・ Europe/Tallinn ・ Europe/Madrid ・ Europe/Helsinki ・ Europe/Paris ・ Europe/London ・ Europe/Guernsey ・ Europe/Oslo ・ Europe/Gibraltar ・ Europe/Athens ・ Europe/Zagreb ・ Europe/Budapest ・ Europe/Dublin ・ Europe/Isle_of_Man ・ Europe/Rome ・ Europe/Jersey ・ Europe/Vaduz ・ Europe/Vilnius ・ Europe/Luxembourg ・ Europe/Riga ・ Europe/Monaco ・ Europe/Chisinau ・ Europe/Podgorica ・ Europe/Skopje ・ Europe/Malta ・ Europe/Amsterdam ・ Europe/Warsaw ・ Europe/Lisbon ・ Europe/Bucharest ・ Europe/Belgrade ・ Europe/Kaliningrad

パラメーター	型	説明
		・ Europe/Moscow ・ Europe/Volgograd ・ Europe/Samara ・ Europe/Stockholm ・ Europe/Ljubljana ・ Europe/Bratislava ・ Europe/San_Marino ・ Europe/Istanbul ・ Europe/Kiev ・ Europe/Uzhgorod ・ Europe/Zaporozhye ・ Europe/Simferopol ・ Europe/Vatican ・ Indian/Cocos ・ Indian/Christmas ・ Indian/Chagos ・ Indian/Comoro ・ Indian/Antananarivo ・ Indian/Mauritius ・ Indian/Maldives ・ Indian/Reunion ・ Indian/Mahe ・ Indian/Kerguelen ・ Indian/Mayotte ・ Pacific/Pago_Pago ・ Pacific/Rarotonga ・ Pacific/Easter ・ Pacific/Galapagos ・ Pacific/Fiji ・ Pacific/Truk ・ Pacific/Ponape ・ Pacific/Kosrae ・ Pacific/Guam ・ Pacific/Tarawa ・ Pacific/Enderbury ・ Pacific/Kiritimati ・ Pacific/Majuro

パラメーター	型	説明
		・ Pacific/Kwajalein ・ Pacific/Saipan ・ Pacific/Noumea ・ Pacific/Norfolk ・ Pacific/Nauru ・ Pacific/Niue ・ Pacific/Auckland ・ Pacific/Chatham ・ Pacific/Tahiti ・ Pacific/Marquesas ・ Pacific/Gambier ・ Pacific/Port_Moresby ・ Pacific/Pitcairn ・ Pacific/Palau ・ Pacific/Guadalcanal ・ Pacific/Fakaofo ・ Pacific/Tongatapu ・ Pacific/Funafuti ・ Pacific/Johnston ・ Pacific/Midway ・ Pacific/Wake ・ Pacific/Honolulu ・ Pacific/Efate ・ Pacific/Wallis ・ Pacific/Apia
Account	object	アカウント情報
Password	string	パスワード AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、8～32文字です。

C.7 Switch-PSWITCH

パラメーター	型	説明
Snmp	object	SNMP機能情報
Service	object	SNMP機能設定情報
Mode	string	SNMP機能の有効/無効 ・ on：SNMP機能を有効にします。 ・ off：SNMP機能を無効にします。

パラメーター	型	説明
Host	array	SNMPv1/2c トラップと送信先の設定 最大8個を設定可能です。 SNMPv1/2cを使用する場合に指定します。
Address	string	SNMP ホストのIPアドレス IPv4、IPv6のアドレス表記に従った文字列を指定します。
Community	string	SNMP コミュニティー名 1～20文字を文字列で指定します。 「Snmp」→「Community」→「Name」キーで複数個設定した文字列のいずれかを指定します。
Trapversion	string	SNMP トラップ バージョン ・ 1:SNMPバージョン1 ・ 2c:SNMPバージョン2c
Udpport	string	SNMP トラップ 送信ポート番号 「1」～「65535」を文字列で指定します。
V3host	array	SNMPv3 トラップと送信先の設定 最大8個を設定可能です。 SNMPv3を使用した場合に指定します。
Address	string	SNMP ホストのIPアドレス IPv4、IPv6のアドレス表記に従った文字列を指定します。
Username	string	SNMP ユーザー名 1～30文字を文字列で指定します。 「Snmp」→「User」→「Username」キーで複数個設定した文字列のいずれかを指定します。
Notifytype	string	SNMP トラップタイプ ・ traps:トラップ ・ informs:インフォーム
Udpport	string	SNMP トラップ 送信ポート番号 「1」～「65535」を文字列で指定します。
Community	array	SNMP コミュニティー情報 最大8個を設定可能です。
Name	string	SNMP コミュニティー名 1～20文字を文字列で指定します。
Write	object	SNMP コミュニティーの書き込み許可情報
Access	string	SNMP コミュニティーの書き込み許可 ・ enable:SNMP コミュニティーの書き込みを許可します。 ・ disable:SNMP コミュニティーの書き込みを許可しません。
Group	object	SNMP グループ情報
Name	string	SNMP グループ名 1～30文字を文字列で指定します。

パラメーター	型	説明
		「Snmp」→「Group」→「Name」キーで複数個設定した文字列のいずれかを指定します。
User	array	SNMP ユーザー情報 最大8個を設定可能です。
Username	string	SNMP ユーザー名 1～30文字を文字列で指定します。
Groupname	string	SNMP グループ名 1～30文字を文字列で指定します。 「Snmp」→「Group」→「Name」キーで複数個設定した文字列のいずれかを指定します。
Auth	object	SNMP 認証プロトコル情報
Auth	string	SNMP 認証プロトコル ・ md5：MD5を使用します。 ・ sha：SHAを使用します。 ・ noauth：認証プロトコルを使用しません。
Password	string	SNMP 認証パスワード AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、1～32文字です。
Priv	object	SNMP 暗号プロトコル情報
Priv	string	SNMP 暗号プロトコル ・ des：DESを使用します。 ・ nopriv：暗号プロトコルを使用しません。
Password	string	SNMP 暗号パスワード AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、1～32文字です。
Group	array	SNMPグループ情報 最大8個を設定可能です。
Name	string	グループ名 1～30文字を文字列で指定します。
Snmpversion	string	SNMPバージョン ・ v1：SNMPバージョン1 ・ v2c：SNMPバージョン2c ・ v3：SNMPバージョン3
V3	object	SNMPv3情報
Securitylevel	string	SNMPv3用セキュリティレベル SNMPv3を設定する場合に指定します。 ・ priv：認証と暗号を有効にします。 ・ auth：認証を有効にします。 ・ noauth：認証と暗号を無効にします。

パラメーター	型	説明
Read	object	SNMP MIB読み出し許可情報
Access	string	SNMP MIB読み出し許可 ・ Default：MIB読み出しを許可します。 ・ none：MIB読み出しを許可しません。
Write	object	SNMP MIB書き込み許可情報
Access	string	SNMP MIB書き込み許可 ・ Default：MIB書き込みを許可します。 ・ none：MIB書き込みを許可しません。
Notify	object	SNMPトラップ通知許可情報
Access	string	SNMPトラップ通知許可 ・ Default：SNMPトラップ通知を許可します。 ・ none：SNMPトラップ通知を許可しません。
AutoTime	object	自動時刻設定情報
Server	array	時刻提供サーバーの情報 最大3個を設定可能です。
Address	string	時刻情報を提供しているサーバーのIPアドレス IPv4、IPv6のアドレス表記に従った文字列を指定します。
Mode	string	使用モード ・ broadcast：SNTPサーバーにブロードキャスト情報を問い合わせして時刻を同期します。 ・ unicast：SNTPクライアントはSNTPサーバーとポイント・ツー・ポイントの関係で動作します。
Interval	object	自動時刻設定する間隔
Time	integer	自動時刻設定する間隔 6～10 秒までで秒単位の値を指定します。 初期値は6秒です。
Zone	object	タイムゾーン情報
Offset	string	装置が使用するタイムゾーン 60進数「-1200」～「1300」を文字列で指定します。
Account	object	アカウント情報
Password	string	パスワード AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、8～64文字です。

付録D　プロファイルパラメーター（ProfileData）の詳細

ここでは、以下のパラメーターの詳細情報について説明します。

- 4.10.3 プロファイルの追加
- 4.10.5 プロファイルの個別取得
- 4.10.6 プロファイルの更新
- 4.10.17 ポリシーの追加
- 4.10.19 ポリシーの個別取得
- 4.10.20 ポリシーの更新
- C.1 Server-BX

D.1　BIOS

パラメーター	型	説明
BIOS	object	BIOSの設定 「4.10.6 プロファイルの更新」ですべてのBIOS設定を削除する場合、本項目を省略してください。 ポリシーを参照している場合、設定は削除できません。
SasController	string	オンボードSAS/SATAストレージコントローラーユニット（SCU）の動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：SCUを有効にします。 ・ Disabled：SCUを無効にします。
SasSataOpRom	string	SAS/SATAコントローラーのOption ROM動作を指定します。 SasControllerがEnabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：Option ROMを有効にします。 ・ Disabled：Option ROMを無効にします。
SasSataDriver	string	SAS/SATAコントローラーのOption ROMの種類を指定します。 SasSataOpRomがEnabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ LSI MegaRAID：Embedded MegaRAID用Option ROMを使用します。 ・ Intel RSTe：Intel RSTe用Option ROMを使用します。
AspmSupport	string	Active State Power Management（ASPM）の動作を指定します。 ASPMを全般的に有効にしても、ASPMをサポートしている場合にのみ特定のリンクに対して有効になります。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Disabled：機能を無効にします。 ・ Auto：省電力を最大化されるように設定します。

パラメーター	型	説明
		• L1 Only：PCI Expressリンクの低電力モードをL1（単方向）に設定します。 • Force L0s / Limit to L0s：PCI Expressリンクの低電力モードをL0s（単方向）に設定します。
Above4Gdecoding	string	4 GBのアドレス境界を超えるメモリリソースをPCIデバイスに割り当てることができるかどうかを指定します。 選択肢は、オペレーティングシステムと取り付けられているアダプタカードによって決まります。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 • Disabled：4 GBのアドレス境界未満のメモリリソースのみ、PCIデバイスに割り当てます。 • Enabled：4 GBのアドレス境界を超えるメモリリソースをPCIデバイスに割り当てます。
DmiControl	string	CPUとチップセット間のバス接続速度を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 • GEN 1：CPUとチップセット間のバス接続を設定して2.5 GT/sで実行します。 • GEN 2：CPUとチップセット間のバス接続を設定して5.0 GT/sで実行します。
SR_IOV	string	システムにSR-IOV対応のPCIeデバイスが搭載されている場合、Single Root IO Virtualizationを有効にするかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 • Enabled：機能を有効にします。 • Disabled：機能を無効にします。
HyperThreading	string	CPUのHyper Threading Technology動作を指定します。 本機能を持たないCPUを搭載している場合、本設定は意味を持ちません。 設定しない場合、nullを指定します。 • Enabled：機能を有効にします。 • Disabled：機能を無効にします。
CoreProcessingMode	string	複数のプロセッサコアが含まれているプロセッサに対して、有効なプロセッサコアの数を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 • All：使用可能なすべてのプロセッサコアを有効にします。 • 1-64：選択した数のプロセッサコアのみを有効にし、残りのプロセッサコアは無効にします。
HardwarePrefetcher	string	メモリーバスが非アクティブになったときに、必要になる可能性のあるメモリー内容が自動的にキャッシュにプリロードするか指定します。

パラメーター	型	説明
		設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
AdjacentCacheLinePrefetch	string	プロセッサのキャッシュ要求時に追加の隣接する64バイトキャッシュラインをロードするか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：要求されたキャッシュラインと隣接キャッシュラインをロードします。 ・ Disabled：要求されたキャッシュラインをロードします。
DcuStreamerPrefecher	string	メモリーバスが非アクティブになったときに、必要になる可能性のあるデータ内容が自動的にL1データキャッシュにプリロードするか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
DcuIpPrefecher	string	CPUのDCU IP Prefetch動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
XDBitfunctionalityAndNXMemoryProtection	string	CPUのExecute Disable Bit動作を指定します。 本機能はXD（eXecute Disable）ビット、またはNX（No eXecute）ビットとも呼ばれます。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
VirtualizationTechnology	string	CPUの仮想化支援機能の動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
IntelVTd	string	CPUのVirtualization Technology for Directed I/O機能動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
PowerTechnologyCpu	string	CPUの電源管理動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。

パラメーター	型	説明
		・ Energy Efficient：省電力に最適化された動作をします。 ・ Custom：追加設定項目により詳細動作を設定します。 ・ Disabled：電源管理機能を無効にします。
CPUHardwarePowerManagement	string	パフォーマンスおよび省電力を管理するHWPM（Hardware Power Management）の設定を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Disabled：機能を無効にします。 ・ Native Mode：HWPMは、ソフトウェアインターフェイス経由でオペレーティングシステムと協調動作します。 ・ OOB Mode：CPUは、オペレーティングシステムのエネルギー効率ポリシーの設定に基づいて周波数を自動的に制御します。
EnhancedSpeedStep	string	省電力機能の動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
TurboMode	string	CPUのTurbo Boost Technology動作を指定します。 本機能を持たないCPUを搭載している場合、本設定に関わらず無効になります。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
OverrideOsEnergyPerformance	string	OSがセットアップのエネルギー効率ポリシーの設定を上書きしないように防止するか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
EnergyPerformance	string	非レガシーオペレーティングシステムでのプロセッサのエネルギー効率ポリシーを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Performance：エネルギー効率を犠牲にしても、よりパフォーマンスを得る方向に最適化します。 ・ Balanced Performance：エネルギーを節約しながら、パフォーマンスを得る方向に設定します。 ・ Balanced Energy：良好なパフォーマンスを得ながら、エネルギーを節約する方向に設定します。 ・ Energy Efficient：パフォーマンスを犠牲にしても、よりエネルギー効率を得る方向に最適化します。

パラメーター	型	説明
UtilizationProfile	string	異なるシステム利用に最適化されるエネルギーパフォーマンスの割合を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Even:エネルギーパフォーマンスのバランスが取れたシステム利用のために最適化します。 ・ Unbalanced:パフォーマンスを優先したアンバランスのシステム利用のために最適化します。
CpuC1eSupport	string	電力の節約が可能なときにプロセッサを停止するか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled:機能を有効にします。 ・ Disabled:機能を無効にします。
AutonomousCStateSupport	string	プロセッサのAutonomous Cステートクロック制御を有効にするか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled:機能を有効にします。 ・ Disabled:機能を無効にします。
CpuC3Report	string	プロセッサのC3状態をACPI C-2状態としてOSPM(OS Power Management)に渡すか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled:CPU C3はACPI C-2状態としてOSPMに提供します。 ・ Disabled:CPU C3はACPI C-2状態としてOSPMに提供しません。
CpuC6Report	string	プロセッサのC6状態をACPI C-3状態としてOSPMに渡して、プロセッサのDeep Power Down Technologyを有効にするか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled:CPU C6はACPI C-3状態としてOSPMに提供します。 ・ Disabled:CPU C6はACPI C-3状態としてOSPMに提供しません。
PackageCStateLimit	string	プロセッサのC Stateの上限を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ C0:C Stateの上限をC0に設定します。 ・ C2:C Stateの上限をC2に設定します。 ・ C6:C Stateの上限をC6に設定します。 ・ C6(Retention):C6 RetentionをC状態限度に設定します。 ・ C7:C Stateの上限をC7に設定します。 ・ No Limit:C Stateの上限をC7に設定します。

パラメーター	型	説明
		・ Auto：システムで自動に設定します。
QpiLinkFrequencySelect	string	リンク周波数を、共通してサポートされるCPUの周波数に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Auto：システムに存在するCPUとチップセットに基づいて、BIOSから最大速度を設定します。 使用可能な速度設定はCPUに依存します。 ・ 6.4 GT/s ・ 7.2 GT/s ・ 8.0 GT/s ・ 9.6 GT/S ・ 10.4 GT/s
UncoreFrequencyOverride	string	プロセッサのアンコア周波数を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Disabled：電力を節約するために、事前に定義された範囲でプロセッサが自動的に周波数を制御します。 ・ Maximum：周波数は常に事前に定義された最大値を設定します。 ・ Nominal：電力を節約するために、事前に定義された範囲でプロセッサが自動的に周波数を制御します。定格周波数を上回ることはありません。 ・ Power balanced：電力とパフォーマンスのバランスを最適化するために、事前に定義された範囲でプロセッサが自動的に周波数を制御します。
LlcDeadLineAlloc	string	LLC（Last Level Cache）のデッドラインの処理を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：便宜的にLLCのデッドラインを満たします。 ・ Disabled：LLCのデッドラインを満たしません。
StaleAtoS	string	Caching Agentで利用価値が減少したデータのディレクトリー最適化をするか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：最適化を有効にします。 ・ Disabled：最適化を無効にします。
CODEnable	string	COD（Cluster-on-Die）で、BIOSが追加のNUMAノードをソケットごとに構成し、NUMA指向性の高い作業負荷のパフォーマンスを最適化するか指定します。 2つのホームエージェントを持つCPUが必要です。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。

パラメーター	型	説明
		・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
EarlySnoop	string	早期スヌーピングを有効にするか指定します。 CODが有効な場合はサポートされません。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。 ・ Auto：システム構成でCODが無効な場合に、早期スヌーピングが有効になります。
HomeSnoopDirOsb	string	Home Snoop Directory with plain OSB（Opportunistic Snoop Broadcast）キャッシングを使用してスヌープ処理を最適化するか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：機能を有効にします。 ・ Disabled：機能を無効にします。
NUMA	string	NUMA（Non-Uniform Memory Access）機能の動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：NUMA機能を有効にします。 ・ Disabled：NUMA機能を無効にします。
DDR_Performance	string	メモリモジュールの動作を指定します。 メモリモジュールは異なる速度（周波数）で動作します。 高速になるほどパフォーマンスが向上し、低速になるほど省電力になります。 使用可能なメモリー速度は、取り付けられているメモリモジュールの構成に応じて異なります。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Low-Voltage optimized：低電圧で可能な最も高速な設定 ・ Energy optimized：省電力で可能な最も低速な設定 ・ Performance optimized：最高のパフォーマンスを得るために可能な最も高速な設定 ・ Power balanced：電力とパフォーマンスのバランスをとるために速度を低減した設定
PatrolScrub	string	全メモリーをバックグラウンドで定期的にスクリーニングするかどうかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：スクリーニングを有効にします。 ・ Disabled：スクリーニングを無効にします。

パラメーター	型	説明
ImcInterleaving	string	Integrated Memory Controllers（IMC）のインターリービングを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Auto：使用可能なメモリー構成に応じて、BIOSでインターリービングを自動的に選択します。 ・ 1-Way：1-Wayインターリービングを選択します。 ・ 2-Way：2-Wayインターリービングを選択します。
SubNumaClustering	string	LLC（Last Level Cache）をアドレス範囲に基づいて別々のクラスタに分割します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled：1-Wayインターリービングの2クラスタをサポートします。 ・ Disabled：機能を無効にします。 ・ Auto：IMCインターリービングの選択によって、1クラスタまたは2クラスタをサポートします。
FlexibleLOMSupport	string	Flexible LOM (OCP) のポートを有効にするかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:すべてのFlexible LOMのポートを有効にする ・ Disabled:Flexible LOMのポートを無効にする
FlexibleLOMOpromSupport	string	Flexible LOMアダプターのLegacy Option ROMを起動するかどうかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:Legacy Option ROMを起動する ・ Disabled:Legacy Option ROMを起動しない
LAN	string	機能させるLANコントローラーを指定します。 サーバーの種類によって、BIOSの設定値が「Disabled / Enabled」になっている場合があります。BIOSの設定値を「Enabled」にしたい場合、本項目で「LAN 1」を指定してください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Disabled:両方のLANコントローラーを無効にする ・ LAN 1:LAN 1コントローラーを有効にし、LAN 2 コントローラーを無効にする ・ LAN 1 & 2:両方のLANコントローラーを有効にする
Lan1Oprom	string	LAN 1のOption ROMを起動するかどうかを指定し、起動する場合はOption ROMのタイプを指定します。 LANがLAN 1、もしくはLAN 1 & 2の場合に指定します。 サーバーの種類によって、BIOSの設定値が「Disabled / Enabled」になっている場合があります。BIOSの設定値を「Enabled」にしたい場合、本項目で「PXE」を指定してください。 設定しない場合、nullを指定します。

パラメーター	型	説明
		・ Disabled:Option ROMを起動しない ・ PXE:PXE Option ROMを起動する ・ iSCSI:iSCSI Option ROMを起動する
Lan2Oprom	string	LAN 2のOption ROMを起動するかどうかを指定し、起動する場合はOption ROMのタイプを指定します。 LANがLAN 1 & 2の場合に指定します。サーバーのモデルによってはLAN 2 コントローラがない場合があります。その場合、本項目を無効化してください。 サーバーの種類によって、BIOSの設定値が「Disabled / Enabled」になっている場合があります。BIOSの設定値を「Enabled」にしたい場合、本項目で「PXE」を指定してください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Disabled:Option ROMを起動しない ・ PXE:PXE Option ROMを起動する ・ iSCSI:iSCSI Option ROMを起動する
SATAControllerModeSelection	string	SATAインターフェイスの動作モードを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Disabled：動作モードを無効にします。 ・ IDE：IDEモードで動作します。 ・ AHCI：AHCIモードで動作します。 ・ RAID：RAIDモードで動作します。
SATAController	string	SATAコントローラーを有効または無効にします。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Disabled：SATAコントローラーを無効にします。 ・ Enabled：SATAコントローラーを有効にします。
sSATAController	string	SSATAコントローラーを有効または無効にします。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Disabled：SSATAコントローラーを無効にします。 ・ Enabled：SSATAコントローラーを有効にします。
Csm	string	CSM（Compatibility Support Module）の実行動作を指定します。 CSM がロードされている場合のみ、レガシーオペレーティングシステムを起動できます。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：Legacy またはUEFIオペレーティングシステムを起動できるように、CSM が実行されます。 ・ Disabled：UEFI オペレーティングシステムのみ起動できるように、CSMは実行されません。

パラメーター	型	説明
BootOptionFilter	string	ドライブのブート動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ UEFI and Legacy：UEFI OSドライブおよびLegacy OSドライブからブートできます。 ・ Legacy only：Legacy OSドライブからのみブートできます。 ・ UEFI only：UEFI OSドライブからのみブートできます。
LaunchPxeOpRomPolicy	string	起動するPXE Option ROMを指定します。 PXEブートの場合は、使用可能な通常の（Legacy）PXEブートおよびUEFI PXEブートがあります。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Do not launch：Option ROMは起動しません。 ・ UEFI only：UEFI Option ROMのみ起動します。 ・ Legacy only：Legacy Option ROMのみ起動します。
LaunchStorageOpRomPolicy	string	起動するStorage Option ROMを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Do not launch：Storage Option ROMは起動しません。 ・ UEFI only：UEFI Storage Option ROMのみ起動します。 ・ Legacy only：Legacy Storage Option ROMのみ起動します。
OtherPciDeviceRomPriority	string	ネットワーク、マスストレージデバイス、ビデオ以外のデバイスで起動するOption ROMを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ UEFI OpROM：UEFI Option ROMのみ起動します。 ・ Legacy OpROM：Legacy Option ROMのみ起動します。
USBHostController	string	システムボードのUSBコントローラーを有効にするか指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Disabled：USBコントローラーを無効にします。 ・ Enabled：USBコントローラーを有効にします。
NetworkStack	string	UEFI Network StackをUEFIでネットワークアクセスに使用できるかどうかを指定します。 例えば、UEFIネットワークスタックを使用できない場合、PXE経由でUEFIインストールを実行できません。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Disabled：UEFIネットワークスタックは使用できません。 ・ Enabled：UEFIネットワークスタックは使用できます。
IPv4PxeSupport	string	オペレーティングシステムのインストールに、IPv4によるPXE UEFI BootをUEFIモードで使用できるかどうかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Disabled：IPv4によるPXE UEFI Bootは使用できません。

パラメーター	型	説明
		・ Enabled：IPv4によるPXE UEFI Bootを使用できます。
IPv6PxeSupport	string	オペレーティングシステムのインストールに、IPv6によるPXE UEFI BootをUEFIモードで使用できるかどうかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Disabled：IPv6によるPXE UEFI Bootは使用できません。 ・ Enabled：IPv6によるPXE UEFI Bootを使用できます。
LaunchSlot1Oprom	string	PCIスロット1に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。 ・ Disabled：拡張ROMを実行しません。
LaunchSlot2Oprom	string	PCIスロット2に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。 ・ Disabled：拡張ROMを実行しません。
LaunchSlot3Oprom	string	PCIスロット3に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。 ・ Disabled：拡張ROMを実行しません。
LaunchSlot4Oprom	string	PCIスロット4に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。 ・ Disabled：拡張ROMを実行しません。
LaunchSlot5Oprom	string	PCIスロット5に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。 ・ Disabled：拡張ROMを実行しません。

パラメーター	型	説明
LaunchSlot6Oprom	string	PCIスロット6に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。 ・ Disabled：拡張ROMを実行しません。
LaunchSlot7Oprom	string	PCIスロット7に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。 ・ Disabled：拡張ROMを実行しません。
LaunchSlot8Oprom	string	PCIスロット8に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。 ・ Disabled：拡張ROMを実行しません。
LaunchSlot9Oprom	string	PCIスロット9に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。 ・ Disabled：拡張ROMを実行しません。
LaunchSlot10Oprom	string	PCIスロット10に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。 ・ Disabled：拡張ROMを実行しません。
LaunchSlot11Oprom	string	PCIスロット11に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：拡張ROMを実行します。 ・ Disabled：拡張ROMを実行しません。

パラメーター	型	説明
LaunchSlot12Oprom	string	PCIスロット12に搭載されたオプションカードの拡張ROM実行を指定します。 プロファイルでは多くのスロットに対して指定できますが、実機上に存在しないスロットに対しては設定しないでください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:拡張ROMを実行します。 ・ Disabled:拡張ROMを実行しません。
SecureBoot	string	署名されていないブートローダ/UEFI OpROMのブートを許可するかを指定します。 本設定はハードウェアの仕様としてDisabledにできない場合があります。その場合、サーバーのBIOSインターフェイスから値を設定してください。 設定しない場合、nullを指定します。 省略した場合、null指定として扱います。 ・ Enabled:署名されたブートローダ/UEFI OpROMのブートのみ許可します。 ・ Disabled:すべてのブートローダ/OpROM(Legacy/UEFI)を実行できます。

D.2 iRMC

パラメーター	型	説明
iRMC	object	iRMC(Integrated Remote Management Controller)の設定 「4.10.6 プロファイルの更新」ですべてのiRMC設定を削除する場合、本項目を省略してください。 ポリシーを参照している場合、設定は削除できません。
ConfAisConnectEnabled	string	AIS Connect有効 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効 ・ Disabled:無効
ConfAisConnectServiceMode	string	Service Mode有効 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効 ・ Disabled:無効
ConfAisConnectUseProxyAuth	string	HTTPプロキシサーバー使用 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled: 使用 ・ Disabled: 未使用
ConfAisConnectCountryId	string	AIS Connect RP(Reverse Proxy)国 設定しない場合、nullを指定します。
ConfAisConnectAllowRemoteSession	string	リモートセッション許可

パラメーター	型	説明
		設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:許可 ・ Disabled:拒否
ConfDefaultGuiLanguage	string	言語の初期設定を指定します。 次回 iRMC Web インターフェイスを呼び出す際に有効になります。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ English:英語 ・ German:ドイツ語 ・ Japanese:日本語
ConfBmcTimeSyncSource	string	iRMC の時刻設定動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ System RTC:iRMC は、管理対象サーバーのシステムクロックから時刻を取得します。 ・ NTP Server:iRMC は、ネットワークタイムプロトコル(NTP)を使用して独自の時刻を参照時刻ソースとして動作する NTP サーバーと同期します。
ConfBmcRtcTimeMode	string	iRMC の時刻表示動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ UTC:iRMCの時刻をUTC(協定世界時)形式で表示します。 ・ Localtime:iRMCの時刻をローカルタイム形式で表示します。
ConfBmcTimeZoneLocation	string	サーバーのある場所に対応するタイムゾーンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Asia/Tokyo ・ US/Pacific ・ US/Mountain ・ US/Central ・ US/Eastern ・ Europe/Berlin ・ Europe/London ・ UTC
ConfBmcNtpServer0	string	プライマリー NTP サーバーの IP アドレスまたは DNS 名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。
ConfBmcNtpServer1	string	セカンダリー NTP サーバーの IP アドレスまたは DNS 名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。
ConfPostErrorHalt	string	サーバー起動エラー時の動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Continue:エラーが発生しても、起動処理を続けます。 ・ Halt on errors:エラーが発生すると、キー入力があるまで起動を停止します。

パラメーター	型	説明
ConfPowerControlMode	string	サーバーの省電力動作や静音動作に関する設定を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ O/S Controlled：OSの制御に従います。 ・ Minimum Power：消費電力を抑えることを優先した動作となります。
ConfDisableFanTest	string	ファンの診断動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：毎日指定した時刻にテストを行います。 ・ Disabled：ファンテストを行いません。
ConfFanDailyTestTime	string	ファンテストの開始時刻を指定します。 ファンテストを実行する場合に有効になります。 設定しない場合、nullを指定します。
ConfPowerFailBehavior	string	AC電源入力が切断されたあと、電源復旧した際の電源動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ As Before：電源切断発生時の状態を保持します（切断時にサーバーが電源ON中だった場合は電源投入します。電源OFF中だった場合は電源投入しません）。 ・ Remain Off：常に電源OFFになります。 ・ Always On：常に電源ONになります。
ConfSoftWatchdogEnable	string	ソフトウェアウォッチドッグにて、OS動作中の定期的な通信チェック動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：通信を監視します。 ・ Disabled：通信を監視しません。 設定はサーバー再起動後に有効となります。
ConfSoftWatchdogBehavior	string	ソフトウェアウォッチドッグで通信が行えない場合の動作を指定します。 ConfSoftWatchdogEnableがEnabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Continue：処理を継続します。 ・ Reset：サーバーを再起動します。 ・ Power Cycle：一度サーバーを電源OFFしたあと、電源ONします。 設定はサーバー再起動後に有効となります。
ConfSoftWatchdogTime	integer	ソフトウェアウォッチドッグの監視時間を1～100分までの数値で指定します。 ConfSoftWatchdogEnableがEnabledの場合に指定します。 ここで指定した時間を超えて通信がない場合に通信できないと判断されます。 設定しない場合、nullを指定します。 設定はサーバー再起動後に有効となります。

パラメーター	型	説明
ConfBootWatchdogEnable	string	Bootウォッチドッグにて、POST終了後からOS起動までの時間監視動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：時間監視します。 ・ Disabled：時間監視しません。 設定はサーバー再起動後に有効となります。
ConfBootWatchdogBehavior	string	Bootウォッチドッグで指定した時間内にOSが起動しない場合の動作を指定します。 ConfBootWatchdogEnableがEnabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Continue：処理を継続します。 ・ Reset：サーバーを再起動します。 ・ Power Cycle：一度サーバーを電源OFFしたあと、電源ONします。 設定はサーバー再起動後に有効となります。
ConfBootWatchdogTime	integer	Bootウォッチドッグの監視時間を1～100分までの数値で指定します。 ConfBootWatchdogEnableがEnabledの場合に指定します。 ここで指定した時間を超えてOSが起動しない場合に異常と判断されます。 設定しない場合、nullを指定します。 設定はサーバー再起動後に有効となります。
ConfPermanentBiosConfigStorageEnabled	string	自動BIOSパラメータバックアップを有効にするかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：自動BIOSパラメータバックアップを有効にします。 ・ Disabled：自動BIOSパラメータバックアップを無効にします。 設定はサーバー再起動後に有効となります。
ConfBMCTelnetPort	integer	iRMC の Telnet ポート番号を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。
ConfBMCSshPort	integer	iRMC の SSH（Secure Shell）ポート番号を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。
ConfBMCTelnetEnable	string	Telnet接続動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：Telnet接続を有効にします。 ・ Disabled：Telnet接続を無効にします。
ConfBMCSshEnable	string	SSH 接続動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：SSH接続を有効にします。 ・ Disabled：SSH接続を無効にします。
ConfBmcProxyAddress	string	プロキシサーバーのDNS名またはIPアドレス 設定しない場合、nullを指定します。

パラメーター	型	説明
		指定可能な文字数は、最大127文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBmcProxyPort	integer	プロキシサービスのポート番号 デフォルトは81です。 設定しない場合、nullを指定します。
ConfBmcProxyUserName	string	プロキシサーバー認証用のユーザー名 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大127文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、ドット(.)、アンダーバー(_)、アットマーク(@)、円マーク(¥)です。 また、文字列の最初の文字は、半角の英字またはアラビア数字を指定する必要があります。
ConfBmcProxyPassword	string	プロキシサーバー認証用のパスワード 設定しない場合、nullを指定します。 AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、ASCII文字(0x20～0x7e)で構成された1～127文字の文字列を指定します。
ConfBMCUseDNS	string	iRMCのDNSを有効にするかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効 ・ Disabled:無効
ConfBMCObtainDNSfromDHCP	string	DHCPからDNS構成を取得するかを指定します。 本項目を有効にする場合、事前にDHCPを有効にしてください。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:DHCPからDNS構成を取得する ・ Disabled:DHCPからDNS構成を取得しない
ConfBMCDNSDomain	string	DNS サーバーへの要求に対するデフォルトドメインの名前を指定します。 ConfBMCObtainDNSfromDHCPがDisabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大48文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、ドット(.)です。
ConfBMCDNSDomainSearchPath	string	DNS検索パスをリストで指定します。リストのドメイン名は1 つ以上のスペース文字で区切ります。 ConfBMCObtainDNSfromDHCPがDisabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大127文字までです。

パラメーター	型	説明
		指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、ドット(.)、スペース( )です。
ConfBMCDNSServer1	string	DNSサーバーのIPアドレスを指定します。 ConfBMCObtainDNSfromDHCPがDisabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCDNSServer2	string	DNSサーバーのIPアドレスを指定します。 ConfBMCObtainDNSfromDHCPがDisabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCDNSServer3	string	DNSサーバーのIPアドレスを指定します。 ConfBMCObtainDNSfromDHCPがDisabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCDNSRetries	integer	DNS リトライ回数を1～5回の範囲で指定します。 デフォルトは2回となります。 設定しない場合、nullを指定します。
ConfBMCDNSTimeout	integer	iRMC が DNS 応答を待機する時間を1～30秒の範囲で指定します。 デフォルトは5秒となります。
ConfBMCRegisterDNS	string	iRMCのDNS名の設定方法を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Disabled:選択しない ・ Register DHCP in DNS:DHCPアドレスをDNSに登録 ・ Register FQDN with DHCP in DNS:DHCPによる完全修飾ドメイン名をDNSに登録 ・ DNS Update Enabled:動的DNS有効
ConfBMCUseNetworkName	string	ConfBMCNetworkNameに指定した iRMC 名を、DNS 名の一部として使用するかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled: 使用する ・ Disabled: 使用しない
ConfBMCNetworkName	string	DNS名の一部として使用されるiRMC名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 下記以外の場合、ドット(.)は期待通りの動作をしないため、指定しないでください。

パラメーター	型	説明
		PRIMERGY RX/TX/CX M4以降、PRIMEQUEST 3000B 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、ドット(.)です。
ConfBMCAddSerialNumber	string	MACアドレスの最後の3バイトをiRMCのDHCP 名に付加するかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled: 付加する ・ Disabled: 付加しない
ConfBMCAddExtension	string	ConfBMCNameExtensionに指定された拡張子名をiRMCのDHCP 名に付加するかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled: 付加する ・ Disabled: 付加しない
ConfBMCNameExtension	string	iRMC の拡張子名 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大16文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、ドット(.)です。
ConfBmcSsdpEnable	string	SSDP 経由で自動検出するかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled: 自動検出する ・ Disabled: 自動検出しない
ConfBmcSnmpServiceEnable	string	iRMC での SNMP サービス動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：有効にします。 ・ Disabled：無効にします。
ConfBMCSnmpServicePort	integer	SNMP サービスが待機しているポート番号を指定します。 通常は UDP 161ポートとなります。 設定しない場合、nullを指定します。
ConfBMCSnmpServiceEnableV3Only	string	SNMPプロトコルを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ All (SNMPv1/v2c/v3)：全プロトコルサポート(SNMPv1/v2c/v3) ・ SNMPv3 only：SNMPv3
ConfBMCSnmpServiceCommunityName	string	SNMP v1/v2c の場合のコミュニティー名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 設定可能な文字数は最大18文字までです。 指定可能な文字は、A-Z、a-z、0-9(*/:,_?;-@&)%!です。 スペース文字と￥は使用できません。

パラメーター	型	説明
ConfBMCSnmpV3UserServiceEnabled	string	ユーザーに対する SNMPv3 サポート動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：有効にします。 ・ Disabled：無効にします。
ConfBMCSnmpV3UserAuthType	string	SNMPv3 が認証に使用する認証プロトコルを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ SHA：SHA（Secure Hash Algorithm）を認証に使用します。 ・ MD5：MD5（Message-Digest Algorithm 5）を認証に使用します。 ・ none：認証を使用しません。 ・ SHA256：SHA256（Secure Hash Algorithm 256-bit）を認証に使用します。 ・ SHA384：SHA384（Secure Hash Algorithm 384-bit）を認証に使用します。 ・ SHA512：SHA512（Secure Hash Algorithm 512-bit）を認証に使用します。
ConfBMCSnmpV3UserPrivType	string	SNMPv3 が SNMPv3 トラフィックの暗号化に使用する暗号化プロトコルを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ DES：DES（Digital Encryption Standard）を SNMPv3 トラフィックの暗号化に使用します。 ・ AES：AES（Advanced Encryption Standard）128 ビット暗号化を SNMPv3 トラフィックの暗号化に使用します。 ・ none：暗号を使用しません。
ConfBMCSnmpV3UserAccessType	string	ユーザーのアクセス権限を指定します。 「読み取りのみ」があらかじめ固定で設定されています。 設定しない場合、nullを指定します。 Read Only：読み取りのみ
ConfBMCSnmpTrapCommunityName	string	SNMP コミュニティー名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 設定可能な文字数は最大18文字までです。 指定可能な文字は、A-Z、a-z、0-9(*/:,_?;-@&)%!です。 スペース文字と￥は使用できません。
ConfBMCSnmpV3UserSelected	string	SNMPv3 トラップ送信先に定義済みの SNMPv3 ユーザーを指定します。 iRMC上に作成済みのユーザー名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ユーザー名は最大16文字まで指定できます。 有効なユーザー名はアルファベットで開始する必要があります。 名前の残りの部分には、アルファベット、数字、アンダーバー、ダッシュ、ピリオド、アットマーク（@）のみ含めることができます。

パラメーター	型	説明
		空白文字は使用できません。
ConfBMCSnmpTrapDestName1	string	「トラップ送信先」として設定するコミュニティーに属するサーバーのDNS 名または IP アドレスを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCSnmpTrapDestName2	string	「トラップ送信先」として設定するコミュニティーに属するサーバーのDNS 名または IP アドレスを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCSnmpTrapDestName3	string	「トラップ送信先」として設定するコミュニティーに属するサーバーのDNS 名または IP アドレスを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCSnmpTrapDestName4	string	「トラップ送信先」として設定するコミュニティーに属するサーバーのDNS 名または IP アドレスを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCSnmpTrapDestName5	string	「トラップ送信先」として設定するコミュニティーに属するサーバーのDNS 名または IP アドレスを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCSnmpTrapDestName6	string	「トラップ送信先」として設定するコミュニティーに属するサーバーのDNS 名または IP アドレスを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBMCSnmpTrapDestName7	string	「トラップ送信先」として設定するコミュニティーに属するサーバーのDNS 名または IP アドレスを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。

パラメーター	型	説明
ConfBMCSnmpProtocol1	string	トラップの受信に使用するSNMPプロトコルバージョンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ SNMPv1：SNMPプロトコルバージョン1 ・ SNMPv2c：SNMPプロトコルバージョン2c ・ SNMPv3：SNMPプロトコルバージョン3
ConfBMCSnmpProtocol2	string	トラップの受信に使用するSNMPプロトコルバージョンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ SNMPv1：SNMPプロトコルバージョン1 ・ SNMPv2c：SNMPプロトコルバージョン2c ・ SNMPv3：SNMPプロトコルバージョン3
ConfBMCSnmpProtocol3	string	トラップの受信に使用するSNMPプロトコルバージョンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ SNMPv1：SNMPプロトコルバージョン1 ・ SNMPv2c：SNMPプロトコルバージョン2c ・ SNMPv3：SNMPプロトコルバージョン3
ConfBMCSnmpProtocol4	string	トラップの受信に使用するSNMPプロトコルバージョンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ SNMPv1：SNMPプロトコルバージョン1 ・ SNMPv2c：SNMPプロトコルバージョン2c ・ SNMPv3：SNMPプロトコルバージョン3
ConfBMCSnmpProtocol5	string	トラップの受信に使用するSNMPプロトコルバージョンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ SNMPv1：SNMPプロトコルバージョン1 ・ SNMPv2c：SNMPプロトコルバージョン2c ・ SNMPv3：SNMPプロトコルバージョン3
ConfBMCSnmpProtocol6	string	トラップの受信に使用するSNMPプロトコルバージョンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ SNMPv1：SNMPプロトコルバージョン1 ・ SNMPv2c：SNMPプロトコルバージョン2c ・ SNMPv3：SNMPプロトコルバージョン3
ConfBMCSnmpProtocol7	string	トラップの受信に使用するSNMPプロトコルバージョンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ SNMPv1：SNMPプロトコルバージョン1 ・ SNMPv2c：SNMPプロトコルバージョン2c ・ SNMPv3：SNMPプロトコルバージョン3
ConfBmcCasEnable	string	iRMCでのCASサービス動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。

パラメーター	型	説明
		・ Enabled:有効にします ・ Disabled:無効にします
ConfBmcCasServer	string	CAS サーバーの IP アドレスまたは DNS 名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
ConfBmcCasPort	string	CAS サービスが待機しているポート番号を指定します。 通常は 3170ポートとなります。 設定しない場合、nullを指定します。
ConfBmcCasVerifyServerCert	string	SSL証明書確認動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効にします ・ Disabled:無効にします
ConfBmcCasAlwaysDisplayLogin	string	ログインページを常に表示するかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:ログインページを常に表示する ・ Disabled:ログインページを常に表示しない
ConfBmcCasLoginUri	string	ログインURLを指定します。 通常は「/cas/login」となります。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大32文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)と記号の「?/.:~-_%」です。
ConfBmcCasLogoutUri	string	ログアウトURLを指定します。 通常は「/cas/logout」となります。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大32文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)と記号の「?/.:~-_%」です。
ConfBmcCasValidateUri	string	認証URLを指定します。 通常は「/cas/validate」となります。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大32文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)と記号の「?/.:~-_%」です。
ConfBmcCasAssignConfiguredPermissions	string	アクセス許可を指定します。 「ローカル」があらかじめ固定で設定されています。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ LocalAssignedPermissions:ローカル

パラメーター	型	説明
ConfBmcCasNetworkPrivilege	string	ユーザーの権限レベルを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ User:ユーザー ・ Operator:オペレーター ・ Administrator:管理者 ・ OEM:OEM
ConfBmcCasPermissionRedfish	string	Redfishロールを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Administrator:管理者 ・ Operator:オペレーター ・ ReadOnly:リードオンリー ・ NoAccess:Redfishを使用しない
ConfBmcCasPermissionConfigureUsers	string	ユーザー変更権限を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効にします ・ Disabled:無効にします
ConfBmcCasPermissionConfigureBmc	string	iRMC設定変更権限を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効にします ・ Disabled:無効にします
ConfBmcCasPermissionAvrEnabled	string	ビデオリダイレクション使用権限を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効にします ・ Disabled:無効にします
ConfBmcCasPermissionRemoteStorageEnabled	string	リモートストレージ使用権限を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:有効にします ・ Disabled:無効にします
ConfLcmUpdateRepoAddr	string	eLCMを利用したファームウェアアップデートに使用するリポジトリのURLを指定します。 通常は「https://support.ts.fujitsu.com」となります。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大128文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字(a～z、A～Z)、アラビア数字(0～9)と記号の「.:/_」です。
ConfLcmUpdateUseProxy	string	ファームウェアアップデートに利用するリポジトリへの接続にプロキシサーバーを使用するかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:使用します

パラメーター	型	説明
		・ Disabled：使用しません
ConfLcmSkipHclVerification	string	VMware ハードウェア互換性検証をスキップするかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：スキップします ・ Disabled：スキップしません
ConfConfLcmUpdateSkipCertificateVerification	string	SSL/TLS証明書有効性確認をスキップするかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：スキップします ・ Disabled：スキップしません
ConfLcmDeploymentRepoAddr	string	eLCMを利用したデプロイメント（OSインストール）に使用するリポジトリのURLを指定します。 通常は「https://webdownloads.ts.fujitsu.com」となります。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大128文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字（a～z、A～Z）、アラビア数字（0～9）と記号の「.:/_」です。
ConfLcmDeploymentUseProxy	string	デプロイメント（OSインストール）に使用するリポジトリへの接続にプロキシサーバーを使用するかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：使用します ・ Disabled:使用しません
ConfConfLcmDeploymentSkipCertificateVerification	string	SSL/TLS証明書有効性確認をスキップするかを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：スキップします ・ Disabled：スキップしません
ConfBMCForceHttps	string	HTTPSの使用方法について指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：HTTPS接続のみ ・ Disabled：HTTP接続可能
ConfBMCNetworkTLS11Enabled	string	Webアクセスのセキュリティプロトコル TLS1.1の有効/無効を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：TLS1.1を有効にします ・ Disabled：TLS1.1を無効にします
ConfBMCNetworkTLS12Enabled	string	Webアクセスのセキュリティプロトコル TLS1.2の有効/無効を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：TLS1.2を有効にします ・ Disabled：TLS1.2を無効にします

パラメーター	型	説明
ConfIPTelnetDropTime	integer	セッションドロップアウト時間を0～120分までの数値で指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 0＝セッションタイムアウト無効
ConfKVMRedirType	string	KVMリダイレクションタイプを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ JViewer (JAVA)：Java経由でのAVRを使用 ・ HTML5 Viewer：HTML5経由でのAVRを使用 ・ VNC：VNCで接続
ConfBmcAvrTitle	string	AVRのウィンドウタイトルを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。
ConfVT100Enable	string	コンソールリダイレクションの有効/無効を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：コンソールリダイレクションを有効にします ・ Disabled：コンソールリダイレクションを無効にします
ConfVT100BaudRate	string	シリアルポートのボーレートを指定します。 ConfVT100EnableがEnabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 9600 / 19200 / 38400 / 57600 / 115200
ConfVT100FlowControl	string	シリアルポートのフロー制御を指定します。 ConfVT100EnableがEnabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ No flow control imposed：フロー制御を行わない ・ CTS/RTS (hardware)：通信制御がハードウェアによって行われる
ConfSerial1MuxMode	string	マルチプレクサの設定との整合性を指定します。 ConfVT100EnableがEnabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ System：Serial ・ iRMC：LAN
ConfPowerMonitoringEnable	string	消費電力の時間経過の監視の有効/無効を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：消費電力監視を行う ・ Disabled：消費電力監視を行わない
ConfBMCAcctUserPassword	string	adminユーザーのパスワードを指定します。 ノード登録時（通信方法）に指定したユーザーにadmin以外のユーザーを指定してください。adminを指定していた場合、ノードへの通信ができなくなります。 設定しない場合、nullを指定します。 AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。

パラメーター	型	説明
		暗号化前のパスワードは、ASCII文字(0x20～0x7e)で構成された1～127文字の文字列を指定します。
ConfBMCLDAPEnable	string	LDAPの有効/無効を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:LDAPを有効にします ・ Disabled:LDAPを無効にします
ConfBMCLDAPSSLEnable	string	LDAP SSL/TLSの有効/無効を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:LDAP SSL/TLSを有効にします ・ Disabled:LDAP SSL/TLSを無効にします
ConfBMCLDAPServerName	string	プライマリ LDAPサーバーを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。
ConfLDAPAuthorizationType	string	権限タイプを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ ServerView LDAP Group with Authorization Settings on LDAP Server:LDAPサーバーでの認証設定によるServerViewLDAPグループ ・ Standard LDAP Group with Authorization Settings on iRMC:iRMCでの認証設定による標準LDAPグループ
ConfBMCLDAPDomainName	string	ドメイン名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。
ConfLdapGroupDN	string	ベース DN 配下のグループディレクトリを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。
ConfBMCLDAPgroupsUserName	string	認証 LDAP ユーザー名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。
ConfBMCLDAPgroupsUserPasswd	string	認証 LDAPのパスワードを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のパスワードは、ASCII文字(0x20～0x7e)で構成された1～127文字の文字列を指定します。
ConfLDAPAuthorizationUserGroupNames	string	LDAP ユーザーグループを指定します。 "ConfLDAPAuthorizationType" が "Standard LDAP Group with Authorization Settings on iRMC" の場合に指定します。 ノード側にユーザーグループが作成されていない場合のみ指定してください。すでにユーザーグループが存在する場合、ノード側にはユーザーグループは作成されません。 設定しない場合、nullを指定します。

パラメーター	型	説明
		指定可能な文字数は、最大64文字までです。
ConfBmcIpv6Enabled	string	IPv6 プロトコルの有効/無効を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:IPv6 プロトコルを有効にします ・ Disabled:IPv6 プロトコルを無効にします
ConfHpSimIntegrationDisable	string	HP System Insight Manager(HP SIM)連携の有効/無効を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:HP SIM 連携を有効にします ・ Disabled:HP SIM 連携をを無効にします
ConfSystemGUIDByteOrderLsbFirst	string	Get System GUIDコマンドの応答フォーマットを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ IPMI specification compatible:IPMI仕様互換を指定 ・ SMBIOS 2.6 specification compatible:SMBIOS 2.6仕様互換を指定

D.3 IOVirtualization

パラメーター	型	説明
IOVirtualization	object	仮想IOの設定 「4.10.6 プロファイルの更新」ですべてのIOVirtualization設定を削除する場合、本項目を省略してください。
AdapterConfigIrmc	object	仮想IOの設定
UseVirtualAddresses	string	プロファイルで仮想アドレスを使用するかどうかを指定します。 ・ true:仮想アドレスを使用します。ポートのUseVirtualAddressesをfalseにすると、任意のポートのみ仮想アドレスを無効にできます。 ・ false:仮想アドレスを使用しません。このプロファイルのすべてのVirtualAddressは指定しないでください。
BootMenuEnable	string	ブートメニューを有効にするかどうかを指定します。 ・ true:ブートメニューを有効にします。 ・ false:ブートメニューを無効にします。
SmuxSetting	string	SMUXの設定を指定します。 SMUXとはLANカードとFabricの接続を変更する機能です。 SMUXの設定に未対応の機種では、設定を省略してください。 省略時はFabric4が指定された状態と同等になります。 ・ Fabric3:Fabric3を使用します。 ・ Fabric4:Fabric4を使用します。 ・ Fabric3+4:LAN1はFabric3、LAN2はFabric4を使用します。
SRIOV	string	SR-IOVを使用するかどうかを指定します。 ・ true:SR-IOVを有効にします。ポートのSRIOVをfalseにすると、任意のポートのSR-IOVを無効にできます。

パラメーター	型	説明
		• false: SR-IOVを無効にします。
BootMode	string	ブートデバイスとして定義されるIOチャネルがある場合に、使用するブートモードを表します。 • LegacyFirst:レガシーブート(BIOS)を優先します。UEFI ブートも使用します。 • LegacyOnly:レガシーブート(BIOS)のみ使用します。 • UEFIFirst:UEFI ブートを優先します。レガシーブート(BIOS)も使用します。 • UEFIOnly:UEFI ブートのみ使用します。
Slots	object	スロット設定
Slot	array	スロット設定
OnboardControllers	object	オンボードの設定を指定します。 オンボードの設定が不要な場合は省略します。
OnboardController	array	オンボードの設定を指定します。 CNAAdapter、LANAdapter、FCAdapterのいずれかを指定します。
@OnboardControllerIdx	integer	オンボードが所属する番号を指定します。 1から始まる値になります。 スロット番号の異なる複数のオンボードが存在する場合、オンボードのスロット番号を先頭から数えたときの順番で指定してください。
CNAAdapter	object	CNAアダプター設定 CNAアダプターの設定が不要な場合は省略します。 詳細は、「D.3.1 CNAAdapter」を参照してください。
LANAdapter	object	LANアダプター設定 詳細は、「D.3.2 LANAdapter」を参照してください。
FCAdapter	object	FCアダプター設定 詳細は、「D.3.3 FCAdapter」を参照してください。
AddOnCards	object	PCIカードの設定を指定します。 PCIカードの設定が不要な場合は省略します。
AddOnCard	array	PCIカードの設定を指定します。 CNAAdapter、LANAdapter、FCAdapterのいずれかを指定します。
@AddOnCardIdx	integer	PCIカードが所属する番号を指定します。 1から始まる値になります。
CNAAdapter	object	CNAアダプター設定 CNAアダプターの設定が不要な場合は省略します。 詳細は、「D.3.1 CNAAdapter」を参照してください。
LANAdapter	object	LANアダプター設定 詳細は、「D.3.2 LANAdapter」を参照してください。
FCAdapter	object	FCアダプター設定 詳細は、「D.3.3 FCAdapter」を参照してください。
DaughterCards	object	拡張カードの設定を指定します。

パラメーター	型	説明
		拡張カードの設定が不要な場合は省略します。
DaughterCard	array	拡張カードの設定を指定します。 CNAAdapter、LANAdapter、FCAdapterのいずれかを指定します。
@DaughterCardIdx	integer	拡張カードが所属する番号を指定します。 1から始まる値になります。
CNAAdapter	object	CNAアダプター設定 CNAアダプターの設定が不要な場合は省略します。 詳細は、「D.3.1 CNAAdapter」を参照してください。
LANAdapter	object	LANアダプター設定 詳細は、「D.3.2 LANAdapter」を参照してください。
FCAdapter	object	FCアダプター設定 詳細は、「D.3.3 FCAdapter」を参照してください。

D.3.1 CNAAdapter

パラメーター	型	説明
CNAAdapter	object	CNAアダプター設定 CNAアダプターの設定が不要な場合は省略します。
Ports	object	ポート設定
Port	array	ポート設定
@PortIdx	integer	ポート番号を指定します。 1から始まる値になります。
PortEnable	string	ポート有効設定 ・ true：ポートを有効にします。 ・ false：ポートを有効にしません。
Functions	object	CNA Function LANFunction、FCoEFunction、ISCSIFunctionのいずれかを指定します。
Function	array	CNA Function
@FunctionIdx	integer	Functionの番号を指定します。 1から始まる値になります。
LANFunction	object	LAN Function
FunctionEnable	string	Function有効設定 ・ true：Functionを有効にします。 ・ false：Functionを有効にしません。
VLANId	integer	VLAN IDを指定します。
Bandwidth	integer	帯域幅の設定を指定します。 1つのIOチャネルのすべての合計が100になるように指定します。 1つのIOチャネルのすべての帯域幅の合計が100 でない場合、帯域幅の値はそれに応じて内部で調整されます。

パラメーター	型	説明
RateLimit	integer	このFunctionで使用可能な帯域幅の最大共有パーセント このFunctionのBandwidthの値以上である必要があります。
SRIOV	string	SR-IOV有効設定 ・ true:SR-IOVを有効にします。 ・ false:SR-IOVを無効にします。
RoCE	string	RoCE使用設定 本項目を設定する場合、「D.3 IOVirtualization」のUseVirtualAddressesでtrueを指定してください。 本項目を設定する場合、SRIOVでfalseを指定してください。 ・ no:RoCE を使用しない ・ v1:RoCE v1を使用する ・ v2:RoCE v2を使用する
UseVirtualAddresses	string	仮想アドレス使用設定 ・ true:仮想アドレスを使用します。 ・ false:仮想アドレスを使用しません。
VirtualAddress	object	仮想アドレスを指定します。 仮想アドレスを使用しない場合は不要です。 仮想MACアドレス、WWPN、IQNは、全体で一意である必要があります。 WWNNは、同一カードを除き、全体で一意である必要があります。 IQN、WWPN、WWNNが重複し、同一ボリュームに同時にアクセスするとボリュームを破壊する可能性があります。 仮想MACアドレスが重複すると、ネットワーク通信ができなくなります。 マルチキャストMACアドレスは仮想MACアドレスとして使用できません。 任意に仮想アドレスを設定すると、他カードの工場出荷値と重複する可能性があります。
MAC	string	仮想MACアドレスを指定します。 2桁ずつの半角英数字をコロン(:)またはハイフン(-)で区切ります。 仮想アドレスを自動で割り当てる場合、nullを指定します。
BootProtocol	string	ブート方法設定 ・ None:ブート方法を指定しません。 ・ PXE:PXEを使用します。
BootPriority	integer	ブート順序を1～4の値で指定します。 プロファイル内で重複する値は使用できません。
PXEBootEnvironment	object	PXEブート設定
IPUsage	string	PXEブートで使用するIPプロトコルを指定します。 ・ IP4first:はじめにIPv4を使用します。 ・ IP4only:IPv4のみを使用します。

パラメーター	型	説明
		• IP6first：はじめにIPv6を使用します。 • IP6only：IPv6のみを使用します。
FCoEFunction	object	FCoE Function
FunctionEnable	string	Function有効設定 • true：Functionを有効にします。 • false：Functionを有効にしません。
Bandwidth	integer	帯域幅の設定を指定します。 1つのIOチャネルのすべての合計が100になるように設定します。 1つのIOチャネルのすべての帯域幅の合計が100 でない場合、帯域幅の値はそれに応じて内部で調整されます。
RateLimit	integer	このFunctionで使用可能な帯域幅の最大共有パーセント このFunctionのBandwidthの値以上である必要があります。
SRIOV	string	SR-IOV有効設定 • true：SR-IOVを有効にします。 • false：SR-IOVを無効にします。
UseVirtualAddresses	string	仮想アドレス使用設定 • true：仮想アドレスを使用します。 • false：仮想アドレスを使用しません。
VirtualAddress	object	仮想アドレス 仮想アドレスを使用しない場合は不要です。 仮想MACアドレス、WWPN、IQNは、全体で一意である必要があります。 WWNNは、同一カードを除き、全体で一意である必要があります。 IQN、WWPN、WWNNが重複し、同一ボリュームに同時にアクセスするとボリュームを破壊する可能性があります。 仮想MACアドレスが重複すると、ネットワーク通信ができなくなります。 マルチキャストMACアドレスは仮想MACアドレスとして使用できません。 任意に仮想アドレスを設定すると、他カードの工場出荷値と重複する可能性があります。
WWNN	string	仮想WWNNを指定します。 2桁ずつの半角英数字をコロン(:)で区切ります。 仮想アドレスを自動で割り当てる場合、nullを指定します。
WWPN	string	仮想WWPNを指定します。 2桁ずつの半角英数字をコロン(:)で区切ります。 WWPNは他のプロファイルも含めて、全体で一意である必要があります。 仮想アドレスを自動で割り当てる場合、nullを指定します。
MAC	string	仮想MACアドレスを指定します。 2桁ずつの半角英数字をコロン(:)またはハイフン(-)で区切ります。

パラメーター	型	説明
		仮想アドレスを自動で割り当てる場合、nullを指定します。
BootProtocol	string	ブート方法設定 ・ None:ブート方法を指定しません。 ・ FC:FCを使用します。
BootPriority	integer	ブート順序を1～4の値で指定します。 プロファイル内で重複する値は使用できません。
FCBootEnvironment	object	FC Boot設定
FCTargets	object	FC Target設定
FCTarget	array	FC Target設定 SANブートで起動する1番目、2番目のストレージの情報を指定します。
@FCTargetIdx	integer	SANブートで起動する1番目、2番目のストレージの情報を指定します。
TargetWWPN	string	SANブートで起動するストレージのWWPNを指定します。
TargetLUN	integer	SANブートで起動するストレージのLUNを指定します。
FCLinkSpeed	string	接続速度を指定します。 ・ auto:自動 ・ 1:1 Gbit/s ・ 2:2 Gbit/s ・ 4:4 Gbit/s ・ 8:8 Gbit/s ・ 16:16 Gbit/s 設定したい接続速度が選択肢にない場合は、autoを選択してください。
FCTopology	string	接続形態を指定します。 ・ auto_loop:自動(はじめにArbitrated loopで接続を試みます) ・ PtP:Point-to-Point ・ auto_PtP:自動(はじめにPoint-to-Pointで接続を試みます) ・ loop:Arbitrated loop
ISCSIFunction	object	iSCSI Function
FunctionEnable	string	Function有効設定 ・ true:Functionを有効にします。 ・ false:Functionを有効にしません。
VLANId	integer	VLAN ID
Bandwidth	integer	帯域幅の設定を指定します。 1つのIOチャネルのすべての合計が100になるように設定します。 1つのIOチャネルのすべての帯域幅の合計が100 でない場合、帯域幅の値はそれに応じて内部で調整されます。
RateLimit	integer	このFunctionで使用可能な帯域幅の最大共有パーセント

パラメーター	型	説明
		このFunctionのBandwidthの値以上である必要があります。
SRIOV	string	SR-IOV有効設定 ・ true：SR-IOVを有効にします。 ・ false：SR-IOVを無効にします。
UseVirtualAddresses	string	仮想アドレス使用設定 ・ true：仮想アドレスを使用します。 ・ false：仮想アドレスを使用しません。
VirtualAddress	object	仮想アドレスを指定します。 仮想アドレスを使用しない場合は不要です。 仮想MACアドレス、WWPN、IQNは、全体で一意である必要があります。 WWNNは、同一カードを除き、全体で一意である必要があります。 IQN、WWPN、WWNNが重複し、同一ボリュームに同時にアクセスするとボリュームを破壊する可能性があります。 仮想MACアドレスが重複すると、ネットワーク通信ができなくなります。 マルチキャストMACアドレスは仮想MACアドレスとして使用できません。 任意に仮想アドレスを設定すると、他カードの工場出荷値と重複する可能性があります。
MAC	string	仮想MACアドレス 2桁ずつの半角英数字をコロン(:)またはハイフン(-)で区切ります。 仮想アドレスを自動で割り当てる場合、nullを指定します。
BootProtocol	string	ブート方法設定 ・ None：ブート方法を指定しません。 ・ ISCSI：iSCSIを使用します。
BootPriority	integer	ブート順序を1～4の値で指定します。 プロファイル内で重複する値は使用できません。
ISCSIBootEnvironment	object	iSCSIブート設定
ISCSIInitiator	object	iSCSIイニシエータ設定
DHCPUsage	string	イニシエータのアドレス取得方法設定 ・ true：DHCPサーバーから動的にアドレスを取得します。 ・ false：静的にアドレスを設定します
Name	string	イニシエータIQN 先頭および、末尾が英数字、それ以外は、英数字および記号(ピリオド"."、コロン":"およびハイフン"-")で構成された223文字以内の文字列を指定します。
IPv4Address	string	イニシエータのIPアドレス 半角数字(0～255)とピリオド(".")で構成された文字列を指定します。 DHCPUsageがfalseの場合に指定します。

パラメーター	型	説明
SubnetMask	string	サブネットマスク 半角数字(0～255)とピリオド(".")で構成された文字列を指定します。 DHCPUsageがfalseの場合に指定します。
GatewayIPv4Address	string	ゲートウェイアドレス 半角数字(0～255)とピリオド(".")で構成された文字列を指定します。 DHCPUsageがfalseの場合に指定します。
VLANId	integer	HBA が要求を送信するために使用されるVLAN ID
ISCSITarget	object	iSCSIターゲット設定
DHCPUsage	string	ターゲットのアドレス取得方法設定 ・ true：DHCPサーバーから動的にアドレスを取得します。 ・ false：静的にアドレスを設定します。
Name	string	ターゲットIQN 先頭および、末尾が英数字、それ以外は、英数字および記号(ピリオド"."、コロン":"およびハイフン"-")で構成された223文字以内の文字列を指定します。 ISCSITargetのDHCPUsageがtrueの場合は省略可能です。
IPv4Address	string	ターゲットのIPアドレス 半角数字(0～255)とピリオド(".")で構成された文字列を指定します。 DHCPUsageがfalseの場合に指定します。
PortNumber	integer	ターゲットポート番号 DHCPUsageがfalseの場合に指定します。DHCPUsageがfalseでも省略可能です。 省略した場合3260を設定します。
BootLUN	integer	ターゲットのLUN番号(0～255)を指定します。 DHCPUsageがfalseの場合に指定します。
AuthenticationMethod	string	認証方式設定 ・ None：認証なし ・ CHAP：CHAP認証 ・ MutualCHAP：相互CHAP認証
ChapUserName	string	認証ユーザー名 半角英数字および記号で構成された127文字以内の文字列を指定します。 AuthenticationMethodがNone以外の場合に指定します。 ハードウェアのモデルによっては記号が使用できない場合があります。 半角英数字のみを使用することを推奨します。
ChapSecret	string	CHAP認証のシークレット AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。

パラメーター	型	説明
		暗号化前のシークレットは、半角英数字および記号で構成された12以上16文字以内の文字列を使用します。 AuthenticationMethodがNone以外の場合に指定します。 ハードウェアのモデルによっては記号が使用できない場合があります。半角英数字のみを使用することを推奨します。
MutualChapSecret	string	相互CHAP認証のシークレット AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のシークレットは、半角英数字および記号で構成された12以上16文字以内の文字列を使用します。 AuthenticationMethodがNone以外の場合に指定します。 ハードウェアのモデルによっては記号が使用できない場合があります。半角英数字のみを使用することを推奨します。

D.3.2 LANAdapter

パラメーター	型	説明
LANAdapter	object	LANアダプター設定
Ports	object	ポート設定
Port	array	ポート設定
@PortIdx	integer	ポート番号を指定します。 1から始まる値になります。
PortEnable	string	ポート有効設定 ・ true:ポートを有効にします。 ・ false:ポートを有効にしません。
SRIOV	string	SR-IOV有効設定 ・ true:SR-IOVを有効にします。 ・ false:SR-IOVを無効にします。
RoCE	string	RoCE使用設定 本項目を設定する場合、「D.3 IOVirtualization」のUseVirtualAddressesでtrueを指定してください。 本項目を設定する場合、SRIOVでfalseを指定してください。 ・ no:RoCE を使用しない ・ v1:RoCE v1を使用する ・ v2:RoCE v2を使用する
UseVirtualAddresses	string	仮想アドレス使用設定 ・ true:仮想アドレスを使用します。 ・ false:仮想アドレスを使用しません。
VirtualAddress	object	仮想アドレスを指定します。 仮想アドレスを使用しない場合は不要です。 仮想MACアドレス、WWPN、IQNは、全体で一意である必要があります。

パラメーター	型	説明
		WWNNは、同一カードを除き、全体で一意である必要があります。 IQN、WWPN、WWNNが重複し、同一ボリュームに同時にアクセスするとボリュームを破壊する可能性があります。 仮想MACアドレスが重複すると、ネットワーク通信ができなくなります。 マルチキャストMACアドレスは仮想MACアドレスとして使用できません。 任意に仮想アドレスを設定すると、他カードの工場出荷値と重複する可能性があります。
MAC	string	仮想MACアドレス 2桁ずつの半角英数字をコロン(:)またはハイフン(-)で区切ります。 仮想アドレスを自動で割り当てる場合、nullを指定します。
BootProtocol	string	ブート方法設定 ・ None：ブート方法を指定しません。 ・ PXE：PXEを使用します。 ・ ISCSI：iSCSIを使用します。
BootPriority	integer	ブート順序を1～4の値で指定します。 プロファイル内で重複する値は使用できません。
ISCSIBootEnvironment	object	iSCSIブート設定
ISCSIInitiator	object	iSCSIイニシエータ設定
DHCPUsage	string	イニシエータのアドレス取得方法設定 ・ true：DHCPサーバーから動的にアドレスを取得します。 ・ false：静的にアドレスを設定します
Name	string	イニシエータIQN 先頭および、末尾が英数字、それ以外は、英数字および記号(ピリオド"."、コロン":"およびハイフン"-")で構成された223文字以内の文字列を指定します。
IPv4Address	string	イニシエータのIPアドレス 半角数字(0～255)とピリオド(".")で構成された文字列を指定します。 DHCPUsageがfalseの場合に指定します。
SubnetMask	string	サブネットマスク 半角数字(0～255)とピリオド(".")で構成された文字列を指定します。 DHCPUsageがfalseの場合に指定します。
GatewayIPv4Address	string	ゲートウェイアドレス 半角数字(0～255)とピリオド(".")で構成された文字列を指定します。 DHCPUsageがfalseの場合に指定します。
VLANId	integer	HBA が要求を送信するために使用されるVLAN ID
ISCSITarget	object	iSCSIターゲット設定
DHCPUsage	string	ターゲットのアドレス取得方法設定 ・ true：DHCPサーバーから動的にアドレスを取得します。 ・ false：静的にアドレスを設定します。
Name	string	ターゲットIQN

パラメーター	型	説明
		先頭および、末尾が英数字、それ以外は、英数字および記号(ピリオド"."、コロン":"およびハイフン"-")で構成された223文字以内の文字列を指定します。 ISCSITargetのDHCPUsageがtrueの場合は省略可能です。
IPv4Address	string	ターゲットのIPアドレス 半角数字(0～255)とピリオド(".")で構成された文字列を指定します。 DHCPUsageがfalseの場合に指定します。
PortNumber	integer	ターゲットポート番号 DHCPUsageがfalseの場合に指定します。DHCPUsageがfalseでも省略可能です。省略した場合3260を設定します。
BootLUN	integer	ターゲットのLUN番号(0～255)を指定します。 DHCPUsageがfalseの場合に指定します。
AuthenticationMethod	string	認証方式設定 ・ None:認証なし ・ CHAP:CHAP認証 ・ MutualCHAP:相互CHAP認証
ChapUserName	string	認証ユーザー名 半角英数字および記号で構成された127文字以内の文字列を指定します。 AuthenticationMethodがNone以外の場合に指定します。 ハードウェアのモデルによっては記号が使用できない場合があります。半角英数字のみを使用することを推奨します。
ChapSecret	string	CHAP認証のシークレット AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のシークレットは、半角英数字および記号で構成された12以上16文字以内の文字列を使用します。 AuthenticationMethodがNone以外の場合に指定します。 ハードウェアのモデルによっては記号が使用できない場合があります。 半角英数字のみを使用することを推奨します。
MutualChapSecret	string	相互CHAP認証のシークレット AES256+Base64で暗号化されたパスワードを設定します。 暗号化前のシークレットは、半角英数字および記号で構成された12以上16文字以内の文字列を使用します。 AuthenticationMethodがNone以外の場合に指定します。 ハードウェアのモデルによっては記号が使用できない場合があります。 半角英数字のみを使用することを推奨します。
PXEBootEnvironment	object	PXEブート設定
IPUsage	string	PXEブートで使用するIPプロトコル設定 ・ IP4first:はじめにIPv4を使用します。 ・ IP4only:IPv4のみを使用します。 ・ IP6first:はじめにIPv6を使用します。

パラメーター	型	説明
		・ IP6only：IPv6のみを使用します。

D.3.3 FCAdapter

パラメーター	型	説明
FCAdapter	object	FCアダプター設定
Ports	object	ポート設定
Port	array	ポート設定
@PortIdx	integer	ポート番号を指定します。 1から始まる値になります。
PortEnable	string	ポート有効設定 ・ true：ポートを有効にします。 ・ false：ポートを有効にしません。
SRIOV	string	SR-IOV有効設定 ・ true：SR-IOVを有効にします。 ・ false：SR-IOVを無効にします。
UseVirtualAddresses	string	仮想アドレス使用設定 ・ true：仮想アドレスを使用します。 ・ false：仮想アドレスを使用しません。
VirtualAddress	object	仮想アドレスを指定します。 仮想アドレスを使用しない場合は不要です。 仮想MACアドレス、WWPN、IQNは、全体で一意である必要があります。 WWNNは、同一カードを除き、全体で一意である必要があります。 IQN、WWPN、WWNNが重複し、同一ボリュームに同時にアクセスするとボリュームを破壊する可能性があります。 仮想MACアドレスが重複すると、ネットワーク通信ができなくなります。 マルチキャストMACアドレスは仮想MACアドレスとして使用できません。 任意に仮想アドレスを設定すると、他カードの工場出荷値と重複する可能性があります。
WWNN	string	仮想WWNNを指定します。 2桁ずつの半角英数字をコロン(:)で区切ります。 仮想アドレスを自動で割り当てる場合、nullを指定します。
WWPN	string	仮想WWPNを指定します。 2桁ずつの半角英数字をコロン(:)で区切ります。WWPNは他のプロファイルも含めて、全体で一意である必要があります。 仮想アドレスを自動で割り当てる場合、nullを指定します。
BootProtocol	string	ブート方法設定 ・ None：ブート方法を指定しません。 ・ FC：FCを使用します。

パラメーター	型	説明
		FCAdapterの場合、NoneかFCを設定します。
BootPriority	integer	ブート順序を1～4の値で指定します。 プロファイル内で重複する値は使用できません。
FCBootEnvironment	object	FC Boot設定
FCTargets	object	FC Target設定
FCTarget	array	FC Target設定 SANブートで起動する1番目、2番目のストレージの情報を指定します。
@FCTargetIdx	integer	SANブートで起動する1番目、2番目のストレージの情報を指定します。
TargetWWPN	string	SANブートで起動するストレージのWWPNを指定します。
TargetLUN	integer	SANブートで起動するストレージのLUNを指定します。
FCLinkSpeed	string	接続速度設定 ・ auto：自動 ・ 1：1 Gbit/s ・ 2：2 Gbit/s ・ 4：4 Gbit/s ・ 8：8 Gbit/s ・ 16：16 Gbit/s 設定したい接続速度が選択肢にない場合は、autoを選択してください。
FCTopology	string	接続形態設定 ・ auto_loop：自動(はじめにArbitrated loopで接続を試みます) ・ PtP：Point-to-Point ・ auto_PtP：自動(はじめにPoint-to-Pointで接続を試みます) ・ loop：Arbitrated loop

D.4 OSInstallation

パラメーター	型	説明
OSInstallation	object	OSインストールの設定 「4.10.6 プロファイルの更新」ですべてのOSInstallation設定を削除する場合、本項目を省略してください。 ポリシーを参照している場合、設定は削除できません。
Linux	object	Linuxの設定
OsType	object	OS種別
Type	string	インポートしたOSメディアのタイプ ・ Red Hat Enterprise Linux 9.5 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 9.4 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 9.3 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 9.2 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 9.1 (x86_64)

パラメーター	型	説明
		・ Red Hat Enterprise Linux 9.0 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.10 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.9 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.8 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.7 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.6 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.5 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.4 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.3 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.2 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.1 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 8.0 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.9 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.8 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.7 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.6 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.5 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.4 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.3 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.2 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 7.1 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.10 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.10 (x86) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.9 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.9 (x86) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.8 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.8 (x86) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.7 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.7 (x86) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.6 (x86_64) ・ Red Hat Enterprise Linux 6.6 (x86) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP6 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP5 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP4 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP3 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1 (x86_64)

パラメーター	型	説明
		・ SUSE Linux Enterprise Server 15 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP1 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 (x86_64) ・ SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 (x86)
ServerViewSuiteDVD	object	ServerView Suite DVDの設定 InstallationModeにeLCMを指定する場合、本項目を省略してください。
Version	string	インストールに使用するDVDの版数 ServerView Suite DVDの設定を省略した場合は、インポート済みの版数の中から最新の版数を使用します。
PostScript	object	インストール後に実行する任意のスクリプトの設定
FolderPath	string	実行するスクリプトを保存したFTPディレクトリーと、実行するスクリプトファイル名
ScriptName	string	実行するスクリプトファイル名
RaidConfig	object	アレイコントローラーの設定
LogicalDiskType	string	ディスクドライブの種類 ・ RAID：RAID ・ SATA：SATA ・ SAS：SAS ・ FC：FC ・ ISCSIHBA：iSCSI HBA ・ PCIeSSD：PCIeSSD ・ USBSTOR：USBSTOR SASコントローラーカードとSASアレイコントローラーカードの両方の機能を持つカードをSASコントローラーカードとして使用する場合、RAIDを選択します。
RAIDController	string	アレイコントローラーの種類 ・ Disabled：既存アレイ構成を使用します（RAIDを使用しない場合も選択します）。 ・ OnBoard：オンボードのアレイコントローラーを使用します。 ・ SasRaid01：SAS RAID0/1対応のアレイコントローラーを使用します。 ・ SasRaid0156：SAS RAID0/1/5/6対応のアレイコントローラーを使用します。 ・ SpecifiedRaid：アレイコントローラーを指定したい場合に使用します。

パラメーター	型	説明
		アレイを新規に構築する場合に、アレイコントローラーの種類を選択します。既存アレイ構成を使用する場合は、Disabledを選択します。
SelectRaidController	object	アレイコントローラーの選択方法 アレイコントローラーの種類がSpecifiedRaidの場合、有効となります。 アレイコントローラーの種類がSpecifiedRaid以外の場合、アレイコントローラーの選択方法は無視されます。 アレイコントローラーの選択方法の配下に指定するキーは1種類までにしてください。
Index	integer	アレイコントローラーを指定する順番
Name	string	アレイコントローラーを指定する名前
RAIDLevel	string	構築するディスクアレイのRAIDレベル ・ RAID0：RAIDレベル0 ・ RAID1：RAIDレベル1 ・ RAID1E：RAIDレベル1E ・ RAID5：RAIDレベル5 ・ RAID6：RAIDレベル6 ・ RAID10：RAIDレベル1+0
RAIDDisk	integer	RAIDに組込むディスクの台数
ManagementLanInfo	object	管理LANとして使用するLAN情報 省略した場合はオンボードの先頭ポートを使用します。
AdapterInfo	object	管理LANとして使用するアダプターの情報 MACAddress(MACアドレス)かAdapterInfo(アダプター)のどちらかを指定します。
AdapterType	string	アダプターの種類 ・ Onboard：オンボード ・ AddOnCard：PCIカード
SlotIndex	integer	Slot番号
PortIndex	integer	ポート番号
MACAddress	string	管理LANとして使用するMACアドレス MACアドレスかアダプターのどちらかを指定します。 ポリシーの設定はできません。
PxeBootInfo	object	PXEブートの設定
BootType	string	ブート種別 ・ Legacy：レガシー ・ UEFI：UEFI（Unified Extensible Firmware Interface） 機種によって指定した場合の動作が異なります。 本指定を行っても、BIOSで設定されているブート順の種別が優先されてPXEブートする機種があります。 未指定の場合は、以下のとおりに指定された状態となります。

パラメーター	型	説明
		・ PRIMERGY RX/CX M4以降、PRIMEQUEST 3000B/3000E：UEFI ・ 上記機種以外：Legacy
InstallationInfo	object	インストール情報の設定
InstallationMode	string	OSインストールモード ・ PXEBoot：PXEブート ・ eLCM：eLCM PRIMEQUEST2000-Partition, PRIMEQUEST2000B, PRIMEQUEST3000E-Partitionの場合、eLCMは指定できません。 省略した場合は、PXEBootが指定された状態となります。
Volumes	object	マウントポイントの指定
boot	object	/bootの設定
CreatePartition	string	パーティション作成 ・ Enabled：パーティションを作成します。 ・ Disabled：パーティションを作成しません。
FileSystem	string	ファイルシステムの種類 ・ ext2：ext2 ・ ext3：ext3 ・ ext4：ext4 ・ xfs：XFS ・ vfat：vfat xfsは、Red Hat Enterprise Linux 6系では指定できません。
PartitionSize	integer	パーティションの容量(MB) 最大許容量までの使用を有効に指定した場合、省略可能です。
FillToMaximumAllowableSize	string	最大許容量までの使用可否 Enabled：最大許容量までパーティションの容量を使用します。 Disabled：最大許容量までパーティションの容量を使用しません。
swap	object	/swapの設定
CreatePartition	string	パーティション作成 ・ Enabled：パーティションを作成します。 ・ Disabled：パーティションを作成しません。
FileSystem	string	ファイルシステムの種類 ・ swap：スワップ
PartitionSize	integer	パーティションの容量(MB) 最大許容量までの使用を有効に指定した場合、省略可能です。
FillToMaximumAllowableSize	string	最大許容量までの使用可否 ・ Enabled：最大許容量までパーティションの容量を使用します。 ・ Disabled：最大許容量までパーティションの容量を使用しません。
root	object	/rootの設定

パラメーター	型	説明
CreatePartition	string	パーティション作成 ・ Enabled：パーティションを作成します。 ・ Disabled：パーティションを作成しません。
FileSystem	string	ファイルシステムの種類 ・ ext2：ext2 ・ ext3：ext3 ・ ext4：ext4 ・ xfs：XFS ・ vfat：vfat xfsは、Red Hat Enterprise Linux 6系では指定できません。
PartitionSize	integer	パーティションの容量(MB) 最大許容量までの使用を有効に指定した場合、省略可能です。
FillToMaximumAllowableSize	string	最大許容量までの使用可否 ・ Enabled：最大許容量までパーティションの容量を使用します。 ・ Disabled：最大許容量までパーティションの容量を使用しません。
home	object	/homeの設定
CreatePartition	string	パーティション作成 ・ Enabled：パーティションを作成します。 ・ Disabled：パーティションを作成しません。
FileSystem	string	ファイルシステムの種類 ・ ext2：ext2 ・ ext3：ext3 ・ ext4：ext4 ・ xfs：XFS ・ vfat：vfat xfsは、Red Hat Enterprise Linux 6系では指定できません。
PartitionSize	integer	パーティションの容量(MB) 最大許容量までの使用を有効に指定した場合、省略可能です。
FillToMaximumAllowableSize	string	最大許容量までの使用可否 ・ Enabled：最大許容量までパーティションの容量を使用します。 ・ Disabled：最大許容量までパーティションの容量を使用しません。
var	object	/varの設定
CreatePartition	string	パーティション作成 ・ Enabled：パーティションを作成します。 ・ Disabled：パーティションを作成しません。
FileSystem	string	ファイルシステムの種類 ・ ext2：ext2 ・ ext3：ext3

パラメーター	型	説明
		・ ext4：ext4 ・ xfs：XFS ・ vfat：vfat xfsは、Red Hat Enterprise Linux 6系では指定できません。
PartitionSize	integer	パーティションの容量(MB) 最大許容量までの使用を有効に指定した場合、省略可能です。
FillToMaximumAllowableSize	string	最大許容量までの使用可否 ・ Enabled：最大許容量までパーティションの容量を使用します。 ・ Disabled：最大許容量までパーティションの容量を使用しません。
user	object	/userの設定
CreatePartition	string	パーティション作成 ・ Enabled：パーティションを作成します。 ・ Disabled：パーティションを作成しません。
FileSystem	string	ファイルシステムの種類 ・ ext2：ext2 ・ ext3：ext3 ・ ext4：ext4 ・ xfs：XFS ・ vfat：vfat xfsは、Red Hat Enterprise Linux 6系では指定できません。
PartitionSize	integer	パーティションの容量(MB) 最大許容量までの使用を有効に指定した場合、省略可能です。
FillToMaximumAllowableSize	string	最大許容量までの使用可否 ・ Enabled：最大許容量までパーティションの容量を使用します。 ・ Disabled：最大許容量までパーティションの容量を使用しません。
opt	object	/optの設定
CreatePartition	string	パーティション作成 ・ Enabled：パーティションを作成します。 ・ Disabled：パーティションを作成しません。
FileSystem	string	ファイルシステムの種類 ・ ext2：ext2 ・ ext3：ext3 ・ ext4：ext4 ・ xfs：XFS ・ vfat：vfat xfsは、Red Hat Enterprise Linux 6系では指定できません。
PartitionSize	integer	パーティションの容量(MB) 最大許容量までの使用を有効に指定した場合、省略可能です。

パラメーター	型	説明
FillToMaximumAllowableSize	string	最大許容量までの使用可否 ・ Enabled：最大許容量までパーティションの容量を使用します。 ・ Disabled：最大許容量までパーティションの容量を使用しません。
tmp	object	/tmpの設定
CreatePartition	string	パーティション作成 ・ Enabled：パーティションを作成します。 ・ Disabled：パーティションを作成しません。
FileSystem	string	ファイルシステムの種類 ・ ext2：ext2 ・ ext3：ext3 ・ ext4：ext4 ・ xfs：XFS ・ vfat：vfat xfsは、Red Hat Enterprise Linux 6系では指定できません。
PartitionSize	integer	パーティションの容量(MB) 最大許容量までの使用を有効に指定した場合、省略可能です。
FillToMaximumAllowableSize	string	最大許容量までの使用可否 ・ Enabled：最大許容量までパーティションの容量を使用します。 ・ Disabled：最大許容量までパーティションの容量を使用しません。
AdditionalVolumes	array	マウントポイントの指定
Volume	object	マウントポイントの指定
MountPoint	string	作成するマウントポイント名
CreatePartition	string	パーティション作成 ・ Enabled：パーティションを作成します。 ・ Disabled：パーティションを作成しません。
FileSystem	string	ファイルシステムの種類 ・ ext2：ext2 ・ ext3：ext3 ・ ext4：ext4 ・ xfs：XFS ・ vfat：vfat xfsは、Red Hat Enterprise Linux 6系では指定できません。
PartitionSize	integer	パーティションの容量(MB) 最大許容量までの使用を有効に指定した場合、省略可能です。
FillToMaximumAllowableSize	string	最大許容量までの使用可否 ・ Enabled：最大許容量までパーティションの容量を使用します。 ・ Disabled：最大許容量までパーティションの容量を使用しません。
BasicSettings	object	基本設定

パラメーター	型	説明
Language	string	言語の指定 ・ English:英語 ・ German:ドイツ語 ・ Japanese:日本語
Keyboard	string	キーボード種類 ・ United States - English:英語キーボード ・ German:ドイツ語キーボード ・ Japanese:日本語キーボード
TimeZone	string	タイムゾーンの指定 ・ GMT Standard Time ・ Pacific Standard Time ・ Mountain Standard Time ・ Central Standard Time ・ Eastern Standard Time ・ W. Europe Standard Time ・ Tokyo Standard Time
SystemClockUsesUTC	string	システムクロックでのUTC使用 ・ Enabled:システムクロックでUTCを使用します。 ・ Disabled:システムクロックでUTCを使用しません。
PackageSettings	object	インストールするパッケージの設定
SelectPackages	object	パッケージグループの選択
SelectPackageList	array(string)	インストールするパッケージグループ SLESをインストールしたサーバーをISMで管理する場合、gnome-basic(またはgnome_basic)とsap_serverを指定してください。 ・ 32bit ・ additional-devel ・ apparmor ・ backup-client ・ backup-server ・ base ・ basic-desktop ・ base-x ・ Basis-Devel ・ cifs-file-server ・ compat-libraries ・ console-internet ・ container-management

パラメーター	型	説明
		・ core ・ debugging ・ desktop-debugging ・ desktop-platform ・ desktop-platform-devel ・ development ・ devel_basis（SLES15） ・ dhcp_dns_server ・ dial-up ・ directory_server ・ directory-client ・ directory-server ・ documentation ・ Dom0 ・ dotnet-core ・ eclipse ・ emacs ・ file_server ・ file-server ・ fonts ・ ftp-server ・ gateway_server ・ general-desktop ・ german-support ・ gnome ・ gnome-basic（SLES11、SLES12） ・ gnome_basic（SLES15） ・ gnome-desktop ・ graphical-admin-tools ・ graphics ・ guest-agents ・ Guest-Desktop-Agents ・ hardware-monitoring ・ headless-management ・ identity-management-server ・ infiniband ・ input-methods

パラメーター	型	説明
		• internet-browser • japanese-support • java-platform • kde • kde-desktop • kvm_server • kvm_tools • lamp_server • large-systems • legacy-unix • legacy-x • load-balancer • mail_server • mail-server • mainframe-access • mariadb • mariadb-client • multimedia • mysql • mysql-client • networkmanager-submodules • network-file-system-client • network-server • network-tools • nfs-file-server • ofed • oracle_server • performance • perl-runtime • php • platform-devel • postgresql • postgresql-client • print_server • print-client • printing • print-server

パラメーター	型	説明
		・ remote-desktop-clients ・ remote-system-management ・ RPM-Development-Tools ・ ruby-runtime ・ sap_server ・ scientific ・ security-tools ・ server-platform ・ server-platform-devel ・ smart-card ・ standard ・ storage-client-fcoe ・ storage-client-iscsi ・ storage-client-multipath ・ storage-server ・ system-tools ・ system-admin-tools ・ system-management ・ system-management-messaging-client ・ system-management-snmp ・ system-management-wbem ・ technical-writing ・ tex ・ texlive ・ turbogears ・ virtualization ・ virtualization-client ・ virtualization-hypervisor ・ virtualization-platform ・ virtualization-tools ・ WBEM ・ web-server ・ web-servlet ・ x11 ・ xen_server ・ xen_tools
SinglePackages	object	個別パッケージの選択

パラメーター	型	説明
SinglePackageList	array(string)	インストールするパッケージ名
SystemSettings	object	システム設定
ConfigureXWindowsSystem	string	X Windows System設定 ・ Enabled：X Window Systemを使用します。 ・ Disabled：X Window Systemを使用しません。
DisplayResolution	string	画面解像度の指定 ・ 640x480 ・ 800x600 ・ 1024x768 ・ 1152x864 ・ 1280x800 ・ 1280x1024 ・ 1400x1050 ・ 1600x1200 ・ 1920x1440 ・ 2048x1536
ColorDepth	string	画面の色数の指定 ・ 8 ・ 16 ・ 24 ・ 32
DefaultDesktop	string	デフォルトで使用するデスクトップの種類 ・ GNOME：GNOMEを使用します。 ・ KDE：KDEを使用します。 ・ None：指定しません。
StartXWindowsSystemOnBoot	string	システムのブート時にX Window System起動 ・ Enabled：X Window Systemを起動します。 ・ Disabled：X Window Systemを起動しません。 SUSE Linux Enterprise Serverの場合は省略可能です。
InstallBootloader	string	ブートローダのインストール ・ Enabled：ブートローダをインストールします。 ・ Disabled：ブートローダをインストールしません。
BootloaderLocation	string	ブートローダのインストール先 ・ MBR：Master Boot Record
KernelParameters	string	カーネルパラメーター
SELinux	string	SE Linux使用設定 ・ Enforcing：enforcingモードで使用します。

パラメーター	型	説明
		・ Disabled：disabledモードで使用します。 ・ Permissive：permissiveモードで使用します。
UseShadowPasswords	string	シャドウパスワード使用設定 ・ Enabled：シャドウパスワードを使用します。 ・ Disabled：シャドウパスワードを使用しません。
UseMD5	string	パスワード暗号化のMD5使用設定 ・ Enabled：パスワード暗号化でMD5を使用します。 ・ Disabled：パスワード暗号化でMD5を使用しません。
EnableNSCD	string	Name Switch Cache使用設定 ・ Enabled：Name Switch Cacheを使用します。 ・ Disabled：Name Switch Cacheを使用しません。
AdditionalParameters	object	OSインストール後に自動的にインストールするアプリケーション
SelectApplicationList	array(string)	インストールするアプリケーション ・ ServerView Agentless Service ・ ServerView CIM Provider ・ ServerView RAID Manager ・ AIS Connect ・ ServerView Operations Manager ・ Java Runtime [注] ・ SV Agent ・ SV Agent SLES ・ SV Update Agent ・ SV Update Agent SLES ・ DSNAP ・ Software Support Guide ・ Dynamic Reconfiguration utility PQ2 ・ REMCS Option PQ2 ・ HBA blockage PQ2 ・ SIRMS PQ2 ・ ServerView Mission Critical Option PQ2 [注]：ServerView Suite DVD V13.18.12以降では、Java Runtimeを指定してもインストールされません。
OsIndividualConfig	object	OS個別設定
BasicSettings	object	OS個別の基本設定
RootPassword	string	rootパスワード
NetworkSettings	object	OS個別のネットワーク設定
GetComputerNameViaDNS	string	DNS取得のホスト名利用設定 ・ Enabled：DNS取得のホスト名を利用します。

パラメーター	型	説明
		・ Disabled：DNS取得のホスト名を利用しません。 ・ ポリシーでGetComputerNameViaDNSをEnabledからDisabledに変更する場合、関連付くプロファイルのComputerNameを事前に設定してください。
ComputerName	string	DNSからホスト名を取得しない場合の任意のホスト名 ポリシーの設定はできません。
DhcpEnable	string	DHCP使用設定 ・ Enabled：DHCPを使用します。 ・ Disabled：DHCPを使用しません。 ・ ポリシーでDhcpEnableをEnabledからDisabledに変更する場合、関連付くプロファイルのAddressを事前に設定してください。
NetworkInterface	object	ネットワーク設定
IPv4	object	IPv4の設定
Address	string	IPアドレス ポリシーの設定はできません。
SubnetMask	string	サブネットマスク
DefaultGateWay	string	デフォルトゲートウェイ
DnsServer	string	DNSサーバーのIPアドレス 本設定はDHCPを使用せず、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定を行う場合でも省略可能です。
AdditionalSettings	object	追加設定
WaitTimeForFinishOsInstallation	integer	OSインストール完了時の待ち時間（分） InstallationModeがPXEBootの場合かつ、SUSE Linux Enterprise Serverの場合に有効です。省略時は初期値（12分）を使用します。
Windows	object	Windowsの設定
OsType	object	OS種別
Type	string	インポートしたOSメディアのタイプ ・ Azure Stack HCI, Version 23H2 (Microsoft Media) ・ Azure Stack HCI, Version 22H2 (Microsoft Media) ・ Azure Stack HCI, Version 21H2 (Microsoft Media) ・ Azure Stack HCI, Version 20H2 (Microsoft Media) ・ Windows Server 2025 Datacenter (Fujitsu Media) ・ Windows Server 2025 Standard (Fujitsu Media) ・ Windows Server 2025 (Microsoft Media) ・ Windows Server 2025 (Microsoft VL Media) ・ Windows Server 2022 Datacenter (Fujitsu Media) ・ Windows Server 2022 Standard (Fujitsu Media) ・ Windows Server 2022 (Microsoft Media) ・ Windows Server 2022 (Microsoft VL Media) ・ Windows Server 2019 Datacenter (Fujitsu Media)

パラメーター	型	説明
		・ Windows Server 2019 Standard (Fujitsu Media) ・ Windows Server 2019 (Microsoft Media) ・ Windows Server 2019 (Microsoft VL Media) ・ Windows Server 2016 Datacenter (Fujitsu Media) ・ Windows Server 2016 Standard (Fujitsu Media) ・ Windows Server 2016 (Microsoft Media) ・ Windows Server 2016 (Microsoft VL Media) ・ Windows Server 2012 R2 Datacenter (Fujitsu Media) ・ Windows Server 2012 R2 Standard (Fujitsu Media) ・ Windows Server 2012 R2 (Microsoft Media) ・ Windows Server 2012 R2 (Microsoft VL Media) ・ Windows Server 2012 Datacenter (Fujitsu Media) ・ Windows Server 2012 Standard (Fujitsu Media) ・ Windows Server 2012 (Microsoft Media) ・ Windows Server 2012 (Microsoft VL Media) ・ Windows Server 2008 R2 Datacenter + SP1 (Fujitsu Media) ・ Windows Server 2008 R2 Enterprise + SP1 (Fujitsu Media) ・ Windows Server 2008 R2 Standard + SP1 (Fujitsu Media) ・ Windows Server 2008 R2 + SP1 (Microsoft Media) ・ Windows Server 2008 R2 + SP1 (Microsoft VL Media)
CoreVersion	string	コアバージョン ・ Full:フルインストール ・ Core:コアインストール
Edition	string	エディション ・ Standard:スタンダード ・ Datacenter:データセンター ・ Enterprise:エンタープライズ
ServerViewSuiteDVD	object	ServerView Suite DVDの設定 InstallationModeにeLCMを指定する場合、本項目を省略してください。
Version	string	インストールに使用するDVDの版数 ServerView Suite DVDの設定を省略した場合は、インポート済みの版数の中から最新の版数を使用します。
PostScript	object	インストール後に実行する任意のスクリプト
FolderPath	string	実行するスクリプトを保存したFTPディレクトリーと、実行するスクリプトファイル名
ScriptName	string	実行するスクリプトファイル名
RaidConfig	object	アレイコントローラーの設定

パラメーター	型	説明
LogicalDiskType	string	ディスクドライブの種類 ・ RAID：RAID ・ SATA：SATA ・ SAS：SAS ・ FC：FC ・ ISCSIHBA：iSCSI HBA ・ PCIeSSD：PCIeSSD ・ USBSTOR：USBSTOR SASコントローラーカードとSASアレイコントローラーカードの両方の機能を持つカードをSASコントローラーカードとして使用する場合、RAIDを選択します。
RAIDController	string	アレイコントローラーの種類 ・ Disabled：既存アレイ構成を使用します（RAIDを使用しない場合も選択します）。 ・ OnBoard：オンボードのアレイコントローラーを使用します。 ・ SasRaid01：SAS RAID0/1対応のアレイコントローラーを使用します。 ・ SasRaid0156：SAS RAID0/1/5/6対応のアレイコントローラーを使用します。 ・ SpecifiedRaid：アレイコントローラーを指定したい場合に使用します。 アレイを新規に構築する場合に、アレイコントローラーの種類を選択します。既存アレイ構成を使用する場合は、Disabledを選択します。
SelectRaidController	object	アレイコントローラーの選択方法 アレイコントローラーの種類がSpecifiedRaidの場合、有効となります。 アレイコントローラーの種類がSpecifiedRaid以外の場合、アレイコントローラーの選択方法は無視されます。 アレイコントローラーの選択方法の配下に指定するキーは1種類までにしてください。
Index	integer	アレイコントローラーを指定する順番
Name	string	アレイコントローラーを指定する名前
RAIDLevel	string	構築するディスクアレイのRAIDレベル ・ RAID0：RAIDレベル0 ・ RAID1：RAIDレベル1 ・ RAID1E：RAIDレベル1E ・ RAID5：RAIDレベル5 ・ RAID6：RAIDレベル6 ・ RAID10：RAIDレベル1+0
RAIDDisk	integer	RAIDに組込むディスクの台数
ManagementLanInfo	object	管理LANとして使用するLAN情報

パラメーター	型	説明
		省略した場合はオンボードの先頭ポートを使用します。
AdapterInfo	object	管理LANとして使用するアダプターの情報 MACAddress(MACアドレス)かAdapterInfo(アダプター)のどちらかを指定します。
AdapterType	string	アダプターの種類 ・ Onboard:オンボード ・ AddOnCard:PCIカード
SlotIndex	integer	Slot番号
PortIndex	integer	ポート番号
MACAddress	string	管理LANとして使用するMACアドレス MACアドレスかアダプターのどちらかを指定します。 ポリシーの設定はできません。
PxeBootInfo	object	PXEブートの設定
BootType	string	ブート種別 ・ Legacy:レガシー ・ UEFI:UEFI(Unified Extensible Firmware Interface) 機種によって指定した場合の動作が異なります。 本指定を行っても、BIOSで設定されているブート順の種別が優先されてPXEブートする機種があります。 未指定の場合は、以下のとおりに指定された状態となります。 ・ PRIMERGY RX/CX M4以降、PRIMEQUEST 3000B/3000E:UEFI ・ 上記機種以外:Legacy
InstallationInfo	object	インストール情報の設定
InstallationMode	string	OSインストールモード ・ PXEBoot:PXEブート ・ eLCM:eLCM PRIMEQUEST2000-Partition, PRIMEQUEST2000B, PRIMEQUEST3000E-Partitionの場合、eLCMは指定できません。 省略した場合は、PXEBootが指定された状態となります。
Volumes	array	ボリュームリスト
Volume	object	ボリューム情報
Label	string	ボリューム名
FileSystem	string	ファイルシステムの種類 ・ NTFS:NT File System
SpecifyPartitionSize	string	パーティションサイズの自動設定/指定の選択 ・ Enabled: パーティションサイズを指定します。 ・ Disabled:パーティションサイズを自動で設定します。
PartitionSize	integer	パーティションサイズ(MB) SpecifyPartitionSizeがEnabledの場合に指定します。

パラメーター	型	説明
QuickFormat	string	パーティションのクイックフォーマット利用設定 ・ Enabled：クイックフォーマットを利用します。 ・ Disabled：クイックフォーマットを利用しません。
BasicSettings	object	基本設定
TimeZone	string	タイムゾーン ・ GMT Standard Time ・ Pacific Standard Time ・ Mountain Standard Time ・ Central Standard Time ・ Eastern Standard Time ・ W. Europe Standard Time ・ Tokyo Standard Time
Language	string	地域と言語 ・ English：英語 ・ German：ドイツ語 ・ Japanese：日本語
Keyboard	string	キーボードの言語や種類 ・ United States - English：英語キーボード ・ United States - International：英語インターナショナルキーボード ・ German：ドイツ語キーボード ・ Japanese：日本語キーボード
ProductID	string	プロダクトキー ポリシーの設定はできません。
SystemSettings	object	システム設定
DisplayResolution	string	画面解像度 ・ 640x480 ・ 800x600 ・ 1024x768 ・ 1152x864 ・ 1280x1024 ・ 1600x1200
RefreshRate	string	リフレッシュレート ・ 60 ・ 70 ・ 72 ・ 75 ・ 80

パラメーター	型	説明
		・ 85 ・ 100
ColorDepth	string	画面の表示色数 ・ 1 ・ 4 ・ 8 ・ 15 ・ 16 ・ 24 ・ 32
Service	object	サービス
Snmp	object	SNMP設定
Setup	string	SNMPサービスのインストール設定 ・ true：SNMPサービスをインストールします。 ・ false：SNMPサービスをインストールしません。
TrapConfigurations	array	SNMPトラップ設定リスト
TrapConfiguration	object	トラップ設定
CommunityName	string	コミュニティー名
TrapDestination	string	トラップ送信先IPアドレス
Securities	array	SNMPセキュリティ設定リスト
Security	object	セキュリティ設定
CommunityName	string	受け付けるコミュニティー名
Privilege	string	コミュニティーの権利 ・ None ・ Read Create ・ Read Write ・ Read Only ・ Notify
SnmpAgent	object	SNMPエージェント設定
ContactName	string	連絡先(管理者の名前)
Location	string	場所(物理位置)
SnmpMisc	object	SNMP Misc設定
AuthenticationTrap	string	認証トラップ送信設定 ・ Enabled：認証トラップを送信します。 ・ Disabled：認証トラップを送信しません。
AcceptSnmpPacketsFromLocalhost	string	LocalhostのSNMPパケット受信設定 ・ Enabled：LocalhostのSNMPパケットを受信します。 ・ Disabled：LocalhostのSNMPパケットを受信しません。

パラメーター	型	説明
AcceptHostName	string	SNMPパケットを受け付けるホスト名
ServiceApp	string	アプリケーションサービス設定 ・ Enabled：アプリケーションサービスを利用します。 ・ Disabled：アプリケーションサービスを利用しません。
ServiceEndToEnd	string	End-To-Endサービス設定 ・ Enabled：End-To-Endサービスを利用します。 ・ Disabled：End-To-Endサービスを利用しません。
ServiceInternet	string	インターネットサービス設定 ・ Enabled：インターネットサービスを利用します。 ・ Disabled：インターネットサービスを利用しません。
ServiceDataLink	string	データリンクサービス設定 ・ Enabled：データリンクサービスを利用します。 ・ Disabled：データリンクサービスを利用しません。
ServicePhysical	string	物理サービス設定 ・ Enabled：物理サービスを利用します。 ・ Disabled：物理サービスを利用しません。
AdditionalParameter	object	リモートアシスタンス設定
RemoteDesktop	string	リモートデスクトップ利用設定 ・ Enabled：リモートデスクトップを利用します。 ・ Disabled：リモートデスクトップを利用しません。
RemoteAssistance	string	リモートアシスタンス利用設定 ・ Enabled：リモートアシスタンスを利用します。 ・ Disabled：リモートアシスタンスを利用しません。
FullRemoteControl	string	リモート制御設定 ・ Enabled：リモート制御します。 ・ Disabled：リモート制御しません。
ExpiredHours	integer	招待を有効にする最大時間
ScvmmFirewallException	string	SCVMMへの登録に必要なファイアウォール設定 ・ Enabled：SCVMMへの登録に必要なファイアウォールを設定します。 ・ Disabled：SCVMMへの登録に必要なファイアウォールを設定しません。
AddOnConfig	object	追加アプリケーション設定
JavaRuntime	string	Java Runtime Environment（JRE）インストール設定 ・ Enabled：Java Runtime Environment（JRE）をインストールします。 ・ Disabled：Java Runtime Environment（JRE）をインストールしません。 CoreVersionがCoreの場合、インストールできません。

パラメーター	型	説明
		ServerView Suite DVD V13.18.12以降では、Enabledを指定してもインストールされません。
SVAgent	string	ServerViewエージェントインストール設定 ・ Enabled：ServerViewエージェントをインストールします。 ・ Disabled：ServerViewエージェントをインストールしません。
SVUpdateAgent	string	ServerViewアップデートエージェントインストール設定 ・ Enabled：ServerViewアップデートエージェントをインストールします。 ・ Disabled：ServerViewアップデートエージェントをインストールしません。 ServerViewアップデートエージェントをインストールするにはServerViewエージェントのインストールが必要です。
AgentlessService	string	ServerViewエージェントレスサービスインストール設定 ・ Enabled：ServerViewエージェントレスサービスをインストールします。 ・ Disabled：ServerViewエージェントレスサービスをインストールしません。
DSNAP	string	DSNAPインストール設定 ・ Enabled：DSNAPをインストールします。 ・ Disabled：DSNAPをインストールしません。
SoftwareSupportGuide	string	ソフトウェアサポートガイドインストール設定 ・ Enabled：ソフトウェアサポートガイドをインストールします。 ・ Disabled：ソフトウェアサポートガイドをインストールしません。
RAIDManager	string	Server View RAID Managerインストール設定 ・ Enabled：Server View RAID Managerをインストールします。 ・ Disabled：Server View RAID Managerをインストールしません。
OsIndividualConfig	object	個別情報
BasicSettings	object	基本設定
AdministratorPassword	string	Administratorパスワード
UserName	string	使用者の名前
Organization	string	組織名
ComputerName	string	コンピューター名 ポリシーの設定はできません。
SystemSettings	object	システム設定
DomainOrWorkgroup	string	ワークグループ・ドメインの参加設定 ・ Workgroup：ワークグループ ・ Domain：ドメイン
WorkGroupName	string	ワークグループ名
DomainName	string	ドメイン名
DomainUser	string	ドメインユーザー名

パラメーター	型	説明
DomainPassword	string	ドメインパスワード
NetworkInterface	object	ネットワーク設定
IPv4	object	IPv4アドレス設定
DhcpEnable	string	DHCP有効設定 ・ Enabled：DHCPを有効にします。 ・ Disabled：DHCPを有効にしません。 ・ ポリシーでDhcpEnableをEnabledからDisabledに変更する場合、関連付くプロファイルのAddressを事前に設定してください。
Address	string	IPアドレス ポリシーの設定はできません。
SubnetMask	string	サブネットマスク
DefaultGateWay	string	ゲートウェイ
DnsDomainName	string	DNSドメイン名 本設定はDHCPを使用せず、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定を行う場合でも省略可能です。
DnsServer	string	DNSサーバーのIPアドレス 本設定はDHCPを使用せず、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定を行う場合でも省略可能です。
DnsServer2	string	DNSサーバーのIPアドレス 本設定はDNSサーバーを複数設定したい場合に指定します。 DHCPを使用せず、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定を行う場合でも省略可能です。
Vmware	object	VMware ESXiの設定
OsType	object	OS種別
Type	string	インポートしたOSメディアのタイプ ・ VMware ESXi 9.0 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 8.0 Update 3 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 8.0 Update 2 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 8.0 Update 1 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 8.0 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 7.0 Update 3 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 7.0 Update 2 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 7.0 Update 1 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 7.0 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.7 Update 3 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.7 Update 2 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.7 Update 1 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.7 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.5 Update 3 (Fujitsu Media)

パラメーター	型	説明
		・ VMware ESXi 6.5 Update 2 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.5 Update 1 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.5 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.0 Update 3 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.0 Update 2 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 6.0 Update 1 (Fujitsu Media) ・ VMware ESXi 5.5 Update 3 (Fujitsu Media)
ServerViewSuiteDVD	object	ServerView Suite DVDの設定 InstallationModeにeLCMを指定する場合、本項目を省略してください。
Version	string	インストールに使用するDVDの版数 ServerView Suite DVDの設定を省略した場合は、インポート済みの版数の中から最新の版数を使用します。
PostScript	object	インストール後に実行する任意のスクリプト
FolderPath	string	実行するスクリプトを保存したFTPディレクトリーと、実行するスクリプトファイル名
ScriptName	string	実行するスクリプトファイル名
RaidConfig	object	アレイコントローラーの設定
LogicalDiskType	string	ディスクドライブの種類 ・ RAID：RAID ・ SATA：SATA ・ SAS：SAS ・ FC：FC ・ ISCSIHBA：iSCSI HBA ・ PCIeSSD：PCIeSSD ・ USBSTOR：USBSTOR SASコントローラーカードとSASアレイコントローラーカードの両方の機能を持つカードをSASコントローラーカードとして使用する場合、RAIDを選択します。
RAIDController	string	アレイコントローラーの種類 ・ Disabled：既存アレイ構成を使用します（RAIDを使用しない場合も選択します）。 ・ OnBoard：オンボードのアレイコントローラーを使用します。 ・ SasRaid01：SAS RAID0/1対応のアレイコントローラーを使用します。 ・ SasRaid0156：SAS RAID0/1/5/6対応のアレイコントローラーを使用します。 ・ SpecifiedRaid：アレイコントローラーを指定したい場合に使用します。 アレイを新規に構築する場合に、アレイコントローラーの種類を選択します。既存アレイ構成を使用する場合は、Disabledを選択します。

パラメーター	型	説明
SelectRaidController	object	アレイコントローラーの選択方法 アレイコントローラーの種類がSpecifiedRaidの場合、有効となります。 アレイコントローラーの種類がSpecifiedRaid以外の場合、アレイコントローラーの選択方法は無視されます。 アレイコントローラーの選択方法の配下に指定するキーは1種類までにしてください。
Index	integer	アレイコントローラーを指定する順番
Name	string	アレイコントローラーを指定する名前
RAIDLevel	string	構築するディスクアレイのRAIDレベル ・ RAID0：RAIDレベル0 ・ RAID1：RAIDレベル1 ・ RAID1E：RAIDレベル1E ・ RAID5：RAIDレベル5 ・ RAID6：RAIDレベル6 ・ RAID10：RAIDレベル1+0
RAIDDisk	integer	RAIDに組込むディスクの台数
ManagementLanInfo	object	管理LANとして使用するLAN情報 省略した場合はオンボードの先頭ポートを使用します。
AdapterInfo	object	管理LANとして使用するアダプターの情報 MACAddress(MACアドレス)かAdapterInfo(アダプター)のどちらかを指定します。
AdapterType	string	アダプターの種類 ・ Onboard：オンボード ・ AddOnCard：PCIカード
SlotIndex	integer	Slot番号
PortIndex	integer	ポート番号
MACAddress	string	管理LANとして使用するMACアドレス MACアドレスかアダプターのどちらかを指定します。 ポリシーの設定はできません。
PxeBootInfo	object	PXEブートの設定
BootType	string	ブート種別 ・ Legacy：レガシー ・ UEFI：UEFI（Unified Extensible Firmware Interface） 機種によって指定した場合の動作が異なります。 本指定を行っても、BIOSで設定されているブート順の種別が優先されてPXEブートする機種があります。 未指定の場合は、以下のとおりに指定された状態となります。 ・ PRIMERGY RX/CX M4以降、PRIMEQUEST 3000B/3000E：UEFI ・ 上記機種以外：Legacy

パラメーター	型	説明
InstallationInfo	object	インストール情報の設定
InstallationMode	string	OSインストールモード ・ PXEBoot:PXEブート ・ eLCM:eLCM PRIMEQUEST2000-Partition, PRIMEQUEST2000B, PRIMEQUEST3000E-Partitionの場合、eLCMは指定できません。 省略した場合は、PXEBootが指定された状態となります。
BasicSettings	object	基本設定
LicenseAgreement	string	使用許諾契約書の同意設定 ・ Enabled:使用許諾契約書に同意します。 ・ Disabled:使用許諾契約書に同意しません
Keyboard	string	キーボードの言語や種類 ・ United States - English:英語キーボード ・ German:ドイツ語キーボード ・ Japanese:日本語キーボード
NetworkSettings	object	ネットワーク設定
SetupStandardNetworkForVM	string	VM標準ネットワークのセットアップ設定 ・ Enabled:VM標準ネットワークをセットアップします。 ・ Disabled:VM標準ネットワークをセットアップしません
VLanId	integer	VLAN ID
AdditionalParameters	object	追加パラメーター
Cms	object	Cloud Management Software情報
AddVmHostAfterInstallation	string	インストール後の仮想化管理ソフトウェア登録設定 ・ Enabled:仮想化管理ソフトウェアを登録します。 ・ Disabled:仮想化管理ソフトウェアを登録しません。 登録する場合、ネットワークの設定においてDHCPを無効にしてIPアドレスを入力してください。
CmsName	string	ISMに登録している仮想化管理ソフトウェアのCloud Management Software名
AddLocation	string	ホスト登録先のフォルダー名またはクラスタ名を指定します。 日本語など(全角文字)を含む名称を指定できません。フォルダーが階層的に作成されている場合、最下層のフォルダー名を指定します。 同一名称のフォルダーがほかに存在する場合は、意図した場所へ登録されないことがあります。
OsIndividualConfig	object	個別情報設定
BasicSettings	object	基本設定
RootPassword	string	Rootパスワード シャープ(#)は使用できません。シャープ(#)を使用した場合、OSのインストーラーでエラーとなります。
NetworkSettings	object	ネットワークの設定

パラメーター	型	説明
GetComputerNameViaDNS	string	DNS取得のホスト名利用設定 ・ Enabled：DNS取得のホスト名を利用します。 ・ Disabled：DNS取得のホスト名を利用しません。 ・ ポリシーでGetComputerNameViaDNSをEnabledからEnabledに変更する場合、関連付くプロファイルのComputerNameを事前に設定してください。
ComputerName	string	ホスト名 ポリシーの設定はできません。
DhcpEnable	string	DHCP使用設定 ・ Enabled：DHCPを使用します。 ・ Disabled：DHCPを使用しません。 ・ ポリシーでDhcpEnableをEnabledからDisabledに変更する場合、関連付くプロファイルのAddressを事前に設定してください。
NetworkInterface	object	ネットワークインターフェイスの設定
IPv4	object	ネットワークインターフェイスの設定
Address	string	固定IPアドレス ポリシーの設定はできません。
SubnetMask	string	サブネットマスク
DefaultGateWay	string	ゲートウェイ
DnsDomainName	string	DNSドメイン名 本設定はDHCPを使用せず、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定を行う場合でも省略可能です。
DnsServer	string	DNSサーバーのIPアドレス 本設定はDHCPを使用せず、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定を行う場合でも省略可能です。

[注意事項]

・ ISMがサポートするOSの種類や版数については、当社の本製品Webサイトで『管理対象機器一覧』([サポート対象OS]シートおよび[サーバー・シャーシ]シート)を参照してください。

https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/environment/

D.5 MMB

パラメーター	型	説明
MMB	object	MMB(Management Board)のPartition設定 「4.10.6 プロファイルの更新」ですべてのMMB設定を削除する場合、本項目を省略してください。 ポリシーを参照している場合、設定は削除できません。
ConfRetryCounterMax	integer	ウォッチドッグやハードウェアエラーでOSがシャットダウンした場合に、OSをリスタートするリトライ回数を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 再起動しない場合は0を指定します。

パラメーター	型	説明
		再起動させたい場合は回数(1～10)を指定します。
ConfRetryZeroAction	string	リトライ回数を超えた場合の動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Stop rebooting and Power off:リブート処理を止め、パーティションの電源をOFFにします。 ・ Stop rebooting:リブート処理を止め、パーティションを停止します。 ・ Diagnostic Interrupt assert:リブート処理を止め、パーティションに対してNMI割り込みを指示します。
ConfSoftWatchdogEnable	string	ソフトウェアウォッチドッグにて、OS動作中の定期的な通信チェック動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:通信を監視します。 ・ Disabled:通信を監視しません。
ConfSoftWatchdogBehavior	string	ソフトウェアウォッチドッグで通信が行えない場合の動作を指定します。 ConfSoftWatchdogEnableがEnabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Continue:処理を継続します。 ・ Reset:サーバーを再起動します。 ・ Power Cycle:一度サーバーを電源OFFしたあと、電源ONします。 ・ NMI:NMIを発生させます。
ConfSoftWatchdogTime	integer	ソフトウェアウォッチドッグの監視時間を1～6000秒までの数値で指定します。 ConfSoftWatchdogEnableがEnabledの場合に指定します。 ここで指定した時間を超えて通信ができない場合に異常と判断されます。 設定しない場合、nullを指定します。
ConfBootWatchdogEnable	string	Bootウォッチドッグにて、POST終了後からOS起動までの時間監視動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled:時間監視します。 ・ Disabled:時間監視しません。
ConfBootWatchdogBehavior	string	Bootウォッチドッグで指定した時間内にOSが起動しない場合の動作を指定します。 ConfBootWatchdogEnableがEnabledの場合に指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Continue:処理を継続します。 ・ Reset:サーバーを再起動します。

パラメーター	型	説明
		・ Power Cycle：一度サーバーを電源OFFしたあと、電源ONします。
ConfBootWatchdogTime	integer	Bootウォッチドッグの監視時間を1～6000秒までの数値で指定します。 ConfBootWatchdogEnableがEnabledの場合に指定します。 ここで指定した時間を超えてOSが起動しない場合に異常と判断されます。 設定しない場合、nullを指定します。

D.6 Monitoring

パラメーター	型	説明
TimeSync	object	時刻設定
TimeSyncSource	string	時刻設定動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ System RTC：システムクロックから時刻を取得します。 ・ NTP Server：ネットワークタイムプロトコル（NTP）を使用して独自の時刻を参照時刻ソースとして動作するNTP サーバーと同期します。
RtcTimeMode	string	時刻表示動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ UTC：時刻をUTC（協定世界時）形式で表示します。 ・ Localtime：時刻をローカルタイム形式で表示します。
TimeZoneLocation	string	サーバーのある場所に対応するタイムゾーンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Asia/Tokyo ・ US/Pacific ・ US/Mountain ・ US/Central ・ US/Eastern ・ Europe/Berlin ・ Europe/London ・ UTC
NtpServers	arrays	NTP サーバーの設定を指定します。
NtpServer	string	NTP サーバーの IP アドレスまたは DNS 名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。
Snmp	object	SNMP設定
ServiceEnable	string	SNMP サービス動作を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ Enabled：有効にします。

パラメーター	型	説明
		・ Disabled：無効にします。
ServicePort	integer	SNMP サービスが待機しているポート番号を指定します。 通常は UDP 161ポートとなります。 設定しない場合、nullを指定します。
ServiceCommunityName	string	SNMP v1/v2c の場合のコミュニティー名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 設定可能な文字数は最大18文字までです。 指定可能な文字は、A-Z、a-z、0-9(*/:,_?;-@&)%!です。 スペース文字と¥ は使用できません。
TrapCommunityName	string	SNMPトラップ送信先の コミュニティー名を指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 設定可能な文字数は最大18文字までです。 指定可能な文字は、A-Z、a-z、0-9(*/:,_?;-@&)%!です。 スペース文字と¥ は使用できません。
Traps	arrays	トラップ送信先のリストを指定します。
TrapDestination	string	「トラップ送信先」として設定するコミュニティーに属するサーバーの DNS 名または IP アドレスを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 指定可能な文字数は、最大64文字までです。 指定可能な文字は、半角の英字（a～z、A～Z）、アラビア数字（0～9）、ハイフン(-)、コロン(:)、ドット(.)です。
SnmpProtocol	string	トラップの受信に使用する SNMP プロトコルバージョンを指定します。 設定しない場合、nullを指定します。 ・ SNMPv1：SNMP プロトコルバージョン1 ・ SNMPv2c：SNMP プロトコルバージョン2c

D.7 RAID

パラメーター	型	説明
RAID	object	RAIDの設定
RAID_RAIDLevel	string	構築するディスクアレイのRAIDレベルを指定します。 ・ RAID0：RAIDレベル0 ・ RAID1：RAIDレベル1 ・ RAID1E：RAIDレベル1E ・ RAID5：RAIDレベル5 ・ RAID6：RAIDレベル6 ・ RAID10：RAIDレベル1+0
RAID_DiskCount	integer	RAIDに組込む1ディスクグループあたりのディスク台数を指定します。 ・ RAID0:1～32

パラメーター	型	説明
		・ RAID1:2 ・ RAID1E:4～32 ・ RAID5:3～32 ・ RAID6:4～32 ・ RAID10:2～16 ・ キー省略、null:指定したRAIDレベルの最小構成で自動的に設定します
RAID_GroupCount	integer	RAIDに組込むディスクグループ数を指定します。 ・ RAID0:1 ・ RAID1:1 ・ RAID1E:1 ・ RAID5:1 ・ RAID6:1 ・ RAID10:2～8 ・ キー省略、null:指定したRAIDレベルの最小構成で自動的に設定します
SelectRaidController	object	アレイコントローラーの選択方法 本キーが入力された場合のみ有効になります。省略された場合、アレイコントローラーの選択方法は無視されます。 アレイコントローラーの選択方法の配下に指定するキーは1種類までにしてください。
Index	integer	アレイコントローラーを指定する順番
Name	string	アレイコントローラーを指定する名前

D.8 BIOSByModel

パラメーター	型	説明
BIOSByModel	object	BIOS（モデル毎）の設定
ModelName	string	モデル名
AttributeVersion	string	BIOS設定項目の版数
BIOSData	object	BIOS設定項目を元にBIOS設定を指定します。装置に対して設定が不要な項目は、省略してください。

D.9 iRMCByModel

パラメーター	型	説明
iRMCByModel	object	iRMC（モデル毎）の設定
ModelName	string	モデル名
AttributeVersion	string	iRMC設定項目の版数
iRMCData	object	iRMC設定項目を元にiRMC設定を指定します。装置に対して設定が不要な項目は、省略してください。

D.10 iRMCUser

パラメーター	型	説明
iRMCUser	object	iRMCのユーザー設定 本設定が不要な場合は、本キーを省略してください。
AddModifyUserDatas	array	ユーザーの追加、または変更の設定 本設定が不要な場合は、本キーを省略してください。
UserData	object	ユーザーデータの設定
Enabled	boolean	Redfish/WebUIユーザーを有効にするかどうかを設定します。[注] ・ true:有効 ・ false:無効
UserName	string	ユーザー名を指定します。
Password	string	パスワードを指定します。[注] 追加の場合は本キーを指定してください。
Description	string	ユーザーの説明を指定します。 説明が不要な場合は、本キーを省略してください。
RoleId	string	Redfishロールを指定します。[注] ・ Administrator:管理者 ・ Operator:オペレーター ・ ReadOnly:読み取りのみ
Oem	object	基本情報、基本権限、Email情報、SNMPv3情報の設定 本キーが省略された場合、配下の各値には省略時の値が指定されます。
ts_fujitsu	object	基本情報と権限情報の設定 本キーが省略された場合、配下の各値には省略時の値が指定されます。
BaseValues	object	基本情報の設定 本キーが省略された場合、配下の各値には省略時の値が指定されます。
Enabled	boolean	ユーザーを有効にするかどうかを指定します。[注] ・ true:有効 ・ false:無効
Shell	string	使用シェル(textアクセス)を指定します。[注] ・ RemoteManager:Remote Manager ・ None:なし
Permissions	object	権限情報の設定 本キーが省略された場合、配下の各値には省略時の値が指定されます。
Standard	object	権限情報の基本情報の設定 本キーが省略された場合、配下の各値には省略時の値が指定されます。

パラメーター	型	説明
Lan	string	LANチャンネル権限を指定します。[注] ・ User:ユーザー ・ Operator:オペレーター ・ Administrator:管理者 ・ Oem:OEM
Serial	string	シリアルアクセス権限を指定します。[注] ・ User:ユーザー ・ Operator:オペレーター ・ Administrator:管理者 ・ Oem:OEM
Extended	object	権限情報の拡張情報の設定 本キーが省略された場合、配下の各値には省略時の値が指定されます。
ConfigureUsers	boolean	ユーザアカウント変更を有効にするかどうかを指定します。[注] ・ true:有効 ・ false:無効
ConfigureIrmc	boolean	iRMC設定変更を有効にするかどうかを指定します。[注] ・ true:有効 ・ false:無効
UseVideoRedirection	boolean	ビデオリダイレクションを有効にするかどうかを指定します。[注] ・ true:有効 ・ false:無効
UseRemoteStorage	boolean	リモートストレージを有効にするかどうかを指定します。[注] ・ true:有効 ・ false:無効
Email	object	Email情報の設定 本キーが省略された場合、配下の各値には省略時の値が指定されます。
AlertChassisEventsUser	boolean	Email警告を有効にするかどうかを指定します。[注] ・ true:有効 ・ false:無効
Address	string	Emailアドレスを指定します。[注]
PreferredMailServer	string	優先メールサーバーを指定します。[注] ・ Auto:自動 ・ Primary:プライマリ ・ Secondary:セカンダリ

パラメーター	型	説明
Layout	string	Emailフォーマットを指定します。[注] ・ Standard:標準 ・ FixedSubject:固定件名 ・ ITS:ITS フォーマット ・ REMCS:SMS フォーマット
AttachSystemReport	boolean	システムレポート添付を有効にするかどうかを指定します。[注] ・ true:有効 ・ false:無効
AlertFilter	object	警告レベルの設定 本キーが省略された場合、配下の各値には省略時の値が指定されます。
Fans	string	ファンセンサの警告レベルを指定します。[注] ・ None:なし ・ Warning:警告 ・ Critical:危険 ・ All:全て
Hardware	string	異常ハードウェアエラーの警告レベルを指定します。[注] ・ None:なし ・ Warning:警告 ・ Critical:危険 ・ All:全て
Harddisk	string	ディスクドライバーとコントローラーの警告レベルを指定します。[注] ・ None:なし ・ Warning:警告 ・ Critical:危険 ・ All:全て
Memory	string	メモリーの警告レベルを指定します。[注] ・ None:なし ・ Warning:警告 ・ Critical:危険 ・ All:全て
NetworkError	string	ネットワークインターフェースの警告レベルを指定します。[注] ・ None:なし ・ Warning:警告 ・ Critical:危険

パラメーター	型	説明
		・ All:全て
Others	string	その他の警告レベルを指定します。[注] ・ None:なし ・ Warning:警告 ・ Critical:危険 ・ All:全て
Post	string	POSTエラーの警告レベルを指定します。[注] ・ None:なし ・ Warning:警告 ・ Critical:危険 ・ All:全て
RemoteManagement	string	リモート管理の警告レベルを指定します。[注] ・ None:なし ・ Warning:警告 ・ Critical:危険 ・ All:全て
Security	string	セキュリティの警告レベルを指定します。[注] ・ None:なし ・ Warning:警告 ・ Critical:危険 ・ All:全て
SystemHang	string	システムハングの警告レベルを指定します。[注] ・ None:なし ・ Warning:警告 ・ Critical:危険 ・ All:全て
PowerSupply	string	システム電力の警告レベルを指定します。[注] ・ None:なし ・ Warning:警告 ・ Critical:危険 ・ All:全て
SystemStatus	string	システム状態の警告レベルを指定します。[注] ・ None:なし ・ Warning:警告 ・ Critical:危険 ・ All:全て
Temperature	string	湿度センサの警告レベルを指定します。[注]

パラメーター	型	説明
		・ None:なし ・ Warning:警告 ・ Critical:危険 ・ All:全て
SnmpV3	object	SNMPv3情報の設定 本キーが省略された場合、配下の各値には省略時の値が指定されます。
ServiceEnabled	boolean	SNMPv3を有効にするかどうかを指定します。[注] ・ true:有効 ・ false:無効
AuthPrivType	string	プライバシー認証を指定します。[注] ・ SHA256_AES:認証がSHA256、プライバシーがAESとして指定されます。 ・ SHA384_AES:認証がSHA384、プライバシーがAESとして指定されます。 ・ SHA512_AES:認証がSHA512、プライバシーがAESとして指定されます。 ・ SHA256_DES:認証がSHA256、プライバシーがDESとして指定されます。 ・ SHA384_DES:認証がSHA384、プライバシーがDESとして指定されます。 ・ SHA512_DES:認証がSHA512、プライバシーがDESとして指定されます。
AccessType	string	アクセス権を指定します。[注] ・ ReadOnly:読み取りのみ
DeleteUserDatas	array	iRMCユーザー削除。 本設定が不要な場合は、本キーを省略してください。
UserData	object	ユーザーデータの設定
UserName	string	ユーザー名を指定します。

[注] :ユーザーが追加される場合かつ、キー省略またはnullが指定された場合、iRMCに依存したデフォルトの値が設定されます。

索 引

[D]

/datacenters....110,111
/datacenters/{datacenterid}....112,113,114

[E]

/event/actions....225,229
/event/actions/{actionid}....231,234
/event/actions/{actionid}/test....253
/event/alarms....235,237
/event/alarms/eventlist....249
/event/alarms/settings....252,253
/event/alarms/traplist....248
/event/alarms/{alarmid}....238,241
/event/history....259
/event/history/anomaly/export....270
/event/history/anomaly/logs/{logid}....267
/event/history/anomaly/show....263
/event/history/audit/export....269
/event/history/audit/logs/{logid}....266
/event/history/audit/show....261
/event/history/event/export....268
/event/history/event/logs/{logid}....265
/event/history/event/show....259
/event/history/retentionperiod/settings....271
/event/history/trap....249
/event/history/trap/ignore....251
/event/history/trap/ignore/delete....252
/event/snmpmanagers....243,245
/event/snmpmanagers/{snmpserverid}....246,248

[F]

/floors....105,106
/floors/{floorid}....107,108,110

[I]

/ismva/loginstatus....408
/ismva/power/restart....433
/ismva/power/stop....434
/ismva/privilege....397
/ismva/privilege/settings....399,400
/ismva/settings....400,401
/ismva/settings/backup....437
/ismva/settings/cas....435,436
/ismva/settings/dhcp....427,428
/ismva/settings/dhcp/export....429
/ismva/settings/kerberos....431,432
/ismva/settings/kerberos/init....430
/ismva/settings/kerberos/restore....432
/ismva/settings/locale....410,411
/ismva/settings/locale/keymap/list....412
/ismva/settings/locale/list....412
/ismva/settings/patch/add....406
/ismva/settings/plugin....407
/ismva/settings/plugin/add....405
/ismva/settings/plugin/delete....408
/ismva/settings/restore....439
/ismva/settings/result....409
/ismva/settings/service....434
/ismva/settings/sslcert....425,426
/ismva/settings/sslcert/export....426
/ismva/settings/time....413,415
/ismva/settings/timezone....419
/ismva/settings/volume....420,421
/ismva/settings/volume/delete....423
/ismva/settings/volume/extend....424
/ismva/settings/volume/mount....422
/ismva/settings/volume/umount....423
/ismva/webserverlog/export....410

[N]

/networks/connections....370,371
/networks/differences....372
/networks/nodes/{nodeid}/ifgroups....378
/networks/nodes/{nodeid}/lags....375,376
/networks/nodes/{nodeid}/vfabs....378
/networks/nodes/{nodeid}/vlans....374
/networks/ports....368
/networks/refresh....373
/networks/virtualmachines....370
/networks/virtualrouters....379
/networks/virtualswitches....369
/networks/vlans....374
/networks/vlans/cancel....375
/nodegroups....114,115
/nodegroups/{nodegroupid}....116,117,118
/nodes....72,83
/nodes/aisgateway/scripts/download....130
/nodes/discovery/auto....150
/nodes/discovery/auto/{discoverednodeid}....134,151
/nodes/discovery/manual....137,139
/nodes/discovery/manual/csv....158,160,162
/nodes/discovery/manual/csvitems....159
/nodes/discovery/manual/{manualdiscoveryid}/cancel....160
/nodes/discovery/manual/{manualdiscoveryid}/{manualnodeid}....144
/nodes/firmware/update....328
/nodes/firmware/update/cancel....332
/nodes/inventory....167
/nodes/logs....359
/nodes/logs/archivedlog/downloadfiles....365
/nodes/logs/archivedlog/downloadfiles/create....363
/nodes/logs/archivedlog/downloadfiles/create/cancel....364
/nodes/logs/collection/collect....360
/nodes/logs/collection/collect/cancel....361
/nodes/logs/collection/settings....351,353
/nodes/logs/files....358
/nodes/logs/files/delete....366
/nodes/logs/files/delete/cancel....367
/nodes/logs/nodelog/downloadfiles....364
/nodes/logs/nodelog/downloadfiles/create....361
/nodes/logs/nodelog/downloadfiles/create/cancel....362

/nodes/monitor/items..... 205,207
/nodes/monitor/items/{itemid}..... 209,212
/nodes/monitor/items/{itemid}/history..... 212
/nodes/monitor/network..... 213
/nodes/monitor/prediction/globalthreshold. 219,220,221,224,225
/nodes/nodegroups/assign..... 118
/nodes/nodes 130
/nodes/nodes/os..... 202,203
/nodes/nodetags..... 129
/nodes/os..... 184
/nodes/profiles/assign/cancel..... 292
/nodes/profiles/backup/cancel..... 317
/nodes/profiles/eim/update/cancel..... 328
/nodes/profiles/restore/cancel..... 324
/nodes/profiles/unassign/cancel..... 293
/nodes/profiles/verify/cancel..... 327
/nodes/{nodeid}..... 87,91,96
/nodes/{nodeid}/accounts..... 119,122
/nodes/{nodeid}/accounts/{accountid}..... 123,124,128
/nodes/{nodeid}/alarmstatus/deactivate..... 128
/nodes/{nodeid}/inventory..... 180
/nodes/{nodeid}/inventory/refresh..... 166
/nodes/{nodeid}/irmcloginsession..... 165
/nodes/{nodeid}/led..... 163,164
/nodes/{nodeid}/maintenancemode..... 129
/nodes/{nodeid}/monitor/itemlist..... 204
/nodes/{nodeid}/monitor/network..... 215
/nodes/{nodeid}/monitor/network/history..... 218
/nodes/{nodeid}/monitor/settings..... 213
/nodes/{nodeid}/os..... 181,185,187,189
/nodes/{nodeid}/power..... 163,165
/nodes/{nodeid}/profiles/assign..... 291
/nodes/{nodeid}/profiles/backup..... 316
/nodes/{nodeid}/profiles/eim/update..... 327
/nodes/{nodeid}/profiles/restore..... 323
/nodes/{nodeid}/profiles/unassign..... 293
/nodes/{nodeid}/profiles/verify..... 326

[P]

/pools..... 451,452
/pools/assign..... 453
/pools/unassign..... 454
/profiles/backups..... 317
/profiles/backups/export..... 320
/profiles/backups/import..... 322
/profiles/backups/policy..... 321
/profiles/backups/profile..... 320
/profiles/backups/{backupid}..... 319
/profiles/categories..... 272,273
/profiles/export..... 308
/profiles/import..... 307
/profiles/packages..... 314
/profiles/policies..... 296,299
/profiles/policies/groups..... 304,305
/profiles/policies/groups/{groupid}..... 305,306,307
/profiles/policies/{policyid}..... 300,303,304
/profiles/profiles..... 274,279
/profiles/profiles/groups..... 293,294
/profiles/profiles/groups/{groupid}..... 294,295,296
/profiles/profiles/nodes..... 324
/profiles/profiles/{profileid}..... 283,290,291

[R]

/racks..... 97,99
/racks/{rackid}..... 100,102,104
/resources/clusters..... 384
/resources/clusters/{clusterid}..... 385
/resources/inventory/refresh..... 190
/resources/inventory/virtualmachine/test..... 200
/resources/nodes/{nodeid}/cmsmaintenancemode/set..... 391
/resources/nodes/{nodeid}/cmsmaintenancemode/unset..... 392
/resources/nodes/{nodeid}/restart..... 390
/resources/nodes/{nodeid}/shutdown..... 394
/resources/storagepools..... 380
/resources/storagepools/refresh..... 384
/resources/storagepools/{storagepoolid}..... 381
/resources/storagepools/{storagepoolid}/history..... 392
/resources/virtualmachines..... 190
/resources/virtualmachines/{virtualmachineid}..... 193
/resources/virtualmachines/{virtualmachineid}/move..... 389
/resources/virtualmachines/{virtualmachineid}/power/off..... 390
/resources/virtualmachines/{virtualmachineid}/power/on..... 389
/resources/virtualrouters..... 198
/resources/virtualrouters/{virtualrouterid}..... 199
/resources/virtualswitches..... 195
/resources/virtualswitches/{virtualswitchid}..... 196

[S]

/system/ismva/version..... 435
/system/licenses..... 68,69,71
/system/licenses/delete..... 70
/system/relayroute..... 471
/system/settings/cms..... 441,445
/system/settings/cms/{cmsid}..... 446,447,450
/system/settings/cms/{cmsid}/maintenancemode..... 468
/system/settings/firmware/baseline/allocate..... 344
/system/settings/firmware/baseline/allocate/release..... 345
/system/settings/firmware/baseline/createupdate..... 343
/system/settings/firmware/baseline/delete..... 344
/system/settings/firmware/baseline/list..... 345
/system/settings/firmware/baseline/template..... 342
/system/settings/firmware/documents..... 332
/system/settings/firmware/dvd/import..... 337
/system/settings/firmware/dvd/import/cancel..... 338
/system/settings/firmware/dvd/{repositoryid}..... 340
/system/settings/firmware/firmtool/import..... 349
/system/settings/firmware/firmtool/import/cancel..... 349
/system/settings/firmware/firmtool/list..... 350
/system/settings/firmware/firmtool/{toolid}..... 350
/system/settings/firmware/import..... 338
/system/settings/firmware/import/cancel..... 339
/system/settings/firmware/list..... 334
/system/settings/firmware/repositories..... 333
/system/settings/firmware/template..... 336
/system/settings/firmware/{firmwareid}..... 340

/system/settings/ftp/filelist....440
/system/settings/job/firmwareupdate....341
/system/settings/job/firmwareupdate/{JobId}....341
/system/settings/ldaps....53,56
/system/settings/ldaps/switch....62
/system/settings/proxy....463,464
/system/settings/proxy/test....467
/system/settings/proxy/{proxyid}....465,466
/system/settings/relayroute....469,470
/system/settings/repositories/profiles....312
/system/settings/repositories/profiles/dvd/import....308
/system/settings/repositories/profiles/dvd/import/cancel....312
/system/settings/repositories/profiles/{repositoryid}....313
/system/settings/shareddirectory....457
/system/settings/shareddirectory/mount/{mountid}....461
/system/settings/shareddirectory/umount/{mountid}....463
/system/settings/shareddirectory/{mountid}....458,459,461
/system/settings/shareddirectory/{usergroupid}....455
/system/settings/smtpserver....241,242
/system/settings/snmptrapsettings....254,255
/system/settings/snmptrapsettings/{snmptrapsettingsid} 256,258
/system/snap....403

[T]

/tasks....396
/tasks/{taskid}....394

[U]

/usergroups....36,43
/usergroups/search....41
/usergroups/{usergroupid}....44,47,53
/users....24,27
/users/login....20
/users/logout....23
/users/policy....62,64
/users/{userid}....29,31,36
/users/{userid}/selectgroup....42